

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第346集

# 秋浦Ⅰ遺跡発掘調査報告書

東北新幹線盛岡・八戸間建設工事関連遺跡発掘調査

《分冊1 本文編》

(財)岩手県文化振興事業団  
埋蔵文化財センター

あきうらいち  
秋浦 I 遺跡発掘調査報告書

東北新幹線盛岡・八戸間建設工事関連遺跡発掘調査

《分冊 1 本文編》





カラー写真図版 1 秋浦 I 遺跡出土土器（円筒式土器と大木式土器）





カラー写真図版 2 遺跡遠景（南より）





平成9年度調査



平成10年度調査





調査区北側基本土層



調査区南側基本土層



## 序

岩手県には旧石器時代の遺跡をはじめとする数多くの埋蔵文化財包蔵地があり、平成11年度の岩手県教育委員会のまとめでは10,600箇所を越えております。これら先人たちの創造してきた文化遺産を保存し、後世に伝えていくことは、私たち県民に課せられた重大な責務であります。

一方、広大な面積を有する本県の大部分は山地であり、地域開発に伴う社会資本の充実も県民の切実な願いであることは言うまでもありません。

このような情勢の中で、埋蔵文化財の保護・保存と開発との調和は今日的課題であり、当岩手県文化振興事業団では、埋蔵文化財センター創立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡の発掘調査を行い、記録保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、「東北新幹線盛岡～八戸間の建設工事」に関連して、平成9・10年度の2カ年にわたり発掘調査を行った岩手郡岩手町秋浦I遺跡の調査結果をまとめたものであります。同遺跡からは縄文時代中期後葉の住居跡やフラスコ状土坑のほかに平安時代の住居跡も発見されております。ここに調査結果をまとめた報告書を発刊する運びとなりました。

この報告書が広く活用され、斯学の研究のみならず埋蔵文化財に対する理解の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、これまで発掘調査及び報告書作成にご援助、ご協力を賜りました日本鉄道建設公団盛岡支社及び岩手町教育委員会をはじめとする関係各位に衷心より謝意を表します。

平成13年2月

財団法人岩手県文化振興事業団  
理事長 千葉浩一

## 例 言

1. 本報告書は、岩手郡岩手町大字川口第19地割字門前75-2ほかに所在する秋浦<sup>あきうら</sup>I遺跡の発掘調査結果を収録したものである。
2. 本遺跡の発掘調査は東北新幹線盛岡～八戸間の建設工事に伴う事前の緊急発掘調査である。調査は岩手県教育委員会と日本鉄道建設公団盛岡支社の協議を経て、(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが記録保存を目的として実施した緊急発掘調査である。
3. 岩手県遺跡台帳に登録される遺跡番号・遺跡略号は次のとおりである。  
遺跡番号 KE38-0112  
遺跡略号 AUI-97・98
4. 発掘調査期間と調査面積及び野外調査担当者は以下のとおりである  
平成9年6月17日～11月14日 4,217㎡ 古舘貞身・柴田慈幸・木戸口俊子・鳥居達人・佐々木志麻  
平成10年4月10日～8月11日 2,630㎡ 古舘貞身・佐々木琢・柴田慈幸・鈴木浩二
5. 各年度調査の室内整理期間と整理担当者は以下のとおりである。  
平成9年度調査 平成9年11月17日～平成10年11月30日 古舘貞身・柴田慈幸・佐々木志麻  
平成10年度調査 平成10年12月1日～平成12年3月31日 古舘貞身・平澤里香・鈴木浩二  
なお平成9年度の室内整理については、発掘調査担当者の野外調査と並行して行われた。
6. 本報告書の執筆は古舘貞身・柴田慈幸が担当した。
7. 自然科学関連の分析鑑定と保存処理及び遺物実測の一部は次の方々と機関に依頼した(敬称略)  
火山灰分析・・・(株)古環境研究所  
石質鑑定・・・花崗岩研究会  
樹種同定・・・早坂松次郎(岩手県木炭協会)・高橋利彦(木工舎ゆい)  
鉄製品の保存処理・・・新日本製鐵(株)釜石文化財処理センター  
石器実測トレース(石鏃)・・・株式会社アルカ
8. 遺構内の基準点測量及び空中写真撮影は次の機関に依頼した。  
基準点測量・・・平成9年度 東日本測量設計株式会社、平成10年度 株式会社岩手開発測量設計  
空中写真・・・平成9年度 株式会社ハイマーテック、平成10年度 東邦航空株式会社
9. 野外調査を含めて本報告書作成にあたり次の方々、機関からご指導とご協力をいただいた。(敬称略)  
熊谷常正(盛岡大学)、高橋昭治(北進考古館)、菅原修(岩手町教育委員会)、斎藤邦夫(岩手県教育委員会)、佐藤嘉広(岩手県立博物館)、鈴木克彦(青森県立郷土館)、松本建速(筑波大学)、岩手町教育委員会
10. 調査成果の一部は、『岩手県埋蔵文化財調査略報(平成9年度分)』『同(平成10年度分)』(岩埋文282・311集)に概略を発表しているが本書の内容が優先するものである。
11. 土層の観察は、『新版標準土色帖』(小山・竹原:1992)によった。
12. 本報告書で使用した地形図は国土地理院発行のものであり、図中に図幅名と縮尺を記した。
13. 調査で得られた出土遺物と整理に関わる一切の資料は、岩手県立埋蔵文化財センターで保管・管理している。



# 目次

巻頭写真

序

例言

目次

## [本文]

I 調査に至る経過	1	5 集石遺構	233
II 遺跡の位置と環境	1	6 柱穴状ピット群	236
1 遺跡の位置	1	V 遺構外出土遺物	241
2 地形	6	1 土器	241
3 調査区の基本層序	6	2 土製品	244
4 周辺の遺跡	9	3 石器	245
III 調査方法と室内整理	13	4 石製品	249
1 野外調査	13	5 金属製品	249
2 室内整理	14	VI まとめ	301
IV 検出された遺構と遺物	29	引用・参考文献1	12
1 竪穴住居跡	29	引用・参考文献2	307
2 土坑	103	附編1 火山灰分析	308
3 炉・焼土遺構	205	附編2 炭化材樹種同定	310
4 土器埋設遺構	232	報告書抄録	313

## [図版]

第1図 岩手県全図	2	第12図 遺構配置図(6)南区柱穴状ピット	23
第2図 遺跡の分布図	3	第13図 遺構配置図(5)南区土坑	25
第3図 遺跡周辺地形分類図	5	第14図 遺構配置図(4)南区竪穴住居跡他	27
第4図 遺跡周辺の地形	7	第15図 R A 02竪穴住居跡	30
第5図 基本土層	8	第16図 R A 03竪穴住居跡	31
第6図 遺跡の位置と周辺の遺跡	11	第17図 R A 04竪穴住居跡	32
第7図 凡例	15	第18図 R A 05竪穴住居跡	33
第8図 調査範囲・グリッド配置図	16	第19図 R A 06竪穴住居跡	34
第9図 遺構配置図(3)北区柱穴状ピット	17	第20図 R A 07竪穴住居跡	35
第10図 遺構配置図(2)北区土坑	19	第21図 R A 08竪穴住居跡	37
第11図 遺構配置図(1)北区竪穴住居跡他	21	第22図 R A 09竪穴住居跡	39

第23图	R A 10豎穴住居跡	40	第61图	R A 52豎穴住居跡	82
第24图	R A 11豎穴住居跡	41	第62图	R A 54豎穴住居跡	83
第25图	R A 13豎穴住居跡	42	第63图	R A 55豎穴住居跡	84
第26图	R A 14豎穴住居跡	42	第64图	R A 56豎穴住居跡	85
第27图	R A 15豎穴住居跡	44	第65图	R A 57豎穴住居跡	86
第28图	R A 16豎穴住居跡	45	第66图	R A 58豎穴住居跡	88
第29图	R A 17豎穴住居跡	46	第67图	R A 59豎穴住居跡	89
第30图	R A 18豎穴住居跡	47	第68图	R A 60豎穴住居跡	90
第31图	R A 19豎穴住居跡	48	第69图	R A 61豎穴住居跡	91
第32图	R A 20豎穴住居跡	49	第70图	R A 62豎穴住居跡	92
第33图	R A 21豎穴住居跡	49	第71图	R A 63豎穴住居跡	93
第34图	R A 22豎穴住居跡	50	第72图	R A 64豎穴住居跡	94
第35图	R A 23豎穴住居跡	51	第73图	R A 01豎穴住居跡	95
第36图	R A 24豎穴住居跡	53	第74图	R A 12豎穴住居跡	97
第37图	R A 25豎穴住居跡	53	第75图	R A 26豎穴住居跡	98
第38图	R A 27豎穴住居跡	54	第76图	R A 36豎穴住居跡	99
第39图	R A 28豎穴住居跡	55	第77图	R A 37豎穴住居跡	100
第40图	R A 29豎穴住居跡	57	第78图	R A 53豎穴住居跡	102
第41图	R A 30豎穴住居跡	58	第79图	R D 01~10・35土坑	151
第42图	R A 31豎穴住居跡	59	第80图	R D 11~16土坑	152
第43图	R A 32豎穴住居跡	61	第81图	R D 17~23土坑	153
第44图	R A 33豎穴住居跡	63	第82图	R D 24~28土坑	154
第45图	R A 34豎穴住居跡	64	第83图	R D 29~34	
第46图	R A 35豎穴住居跡	65		・36~38土坑	155
第47图	R A 38豎穴住居跡	66	第84图	R D 39~42土坑	156
第48图	R A 39豎穴住居跡	68	第85图	R D 43~46	
第49图	R A 40豎穴住居跡	69		・50・53土坑	157
第50图	R A 41豎穴住居跡	69	第86图	R D 47~49・51	
第51图	R A 42豎穴住居跡	70		・52・74土坑	158
第52图	R A 43豎穴住居跡	71	第87图	R D 54~58土坑	159
第53图	R A 44豎穴住居跡	72	第88图	R D 59~61・63土坑	160
第54图	R A 45豎穴住居跡	73	第89图	R D 62・64	
第55图	R A 46豎穴住居跡	74		・65・69土坑	161
第56图	R A 47豎穴住居跡	75	第90图	R D 66~68・70土坑	162
第57图	R A 48豎穴住居跡	76	第91图	R D 71~73土坑	163
第58图	R A 49豎穴住居跡	77	第92图	R D 75・77	
第59图	R A 50豎穴住居跡	78		・78・81土坑	164
第60图	R A 51豎穴住居跡	80	第93图	R D 80・82	



	· 83・85土坑 ……………165	第118图	R D 201~204 · 207土坑 ……………190
第94图	R D 76・84・86 · 87・89・99土坑 ……………166	第119图	R D 208~212土坑 ……………191
第95图	R D 88・90~92土坑 ……………167	第120图	R D 213~218土坑 ……………192
第96图	R D 93~98土坑 ……………168	第121图	R D 219~223土坑 ……………193
第97图	R D 100~104土坑 ……………169	第122图	R D 226~230土坑 ……………194
第98图	R D 105~108 · 110土坑 ……………170	第123图	R D 231~233土坑 ……………195
第99图	R D 109・111 ~113土坑 ……………171	第124图	R D 234~238土坑 ……………196
第100图	R D 114~117土坑 ……………172	第125图	R D 239~244土坑 ……………197
第101图	R D 118~121 · 123・124土坑 ……………173	第126图	R D 245~250土坑 ……………198
第102图	R D 122・125 ~128土坑 ……………174	第127图	R D 251~255 · 257土坑 ……………199
第103图	R D 129~132土坑 ……………175	第128图	R D 256・258 ~260土坑 ……………200
第104图	R D 133~138土坑 ……………176	第129图	R D 261~265土坑 ……………201
第105图	R D 139~143土坑 ……………177	第130图	R D 266・268 ~271土坑 ……………202
第106图	R D 144~148土坑 ……………178	第131图	R D 272~276土坑 ……………203
第107图	R D 149~151・154 · 205・224土坑 ……………179	第132图	R D 277~281土坑 ……………204
第108图	R D 152・153 · 155~157土坑 ……………180	第133图	R F 01~07炉・烧土遺構 ……………217
第109图	R D 159~161土坑 ……………181	第134图	R F 08~10炉・烧土遺構 ……………218
第110图	R D 162~165土坑 ……………182	第135图	R F 11~14炉・烧土遺構 ……………219
第111图	R D 166~169土坑 ……………183	第136图	R F 15~20炉・烧土遺構 ……………220
第112图	R D 170~172土坑 ……………184	第137图	R F 21~24炉・烧土遺構 ……………221
第113图	R D 173・174・176 · 177・179土坑 ……………185	第138图	R F 25~28炉・烧土遺構 ……………222
第114图	R D 178・180 ~182土坑 ……………186	第139图	R F 29~33炉・烧土遺構 ……………223
第115图	R D 183~185 · 187土坑 ……………187	第140图	R F 34~36炉・烧土遺構 ……………224
第116图	R D 186・188 ~192土坑 ……………188	第141图	R F 37~39炉・烧土遺構 ……………225
第117图	R D 193~200土坑 ……………189	第142图	R F 40~42炉・烧土遺構 ……………226
		第143图	R F 43~46炉・烧土遺構 ……………227
		第144图	R F 47~49炉・烧土遺構 ……………228
		第145图	R F 50~52炉・烧土遺構 ……………229
		第146图	R F 53~55炉・烧土遺構 ……………230
		第147图	R F 56~59炉・烧土遺構 ……………231
		第148图	R P 01~05土器埋設遺構 ……………234
		第149图	R H 01・02集石遺構 ……………235

[表]

第1表	周辺の遺跡一覧	10	第6表	遺構外石器観察表	288
第2表	柱穴一覧	237	第7表	土製品観察表	294
第3表	遺構内土器観察表	250	第8表	石製品観察表	298
第4表	遺構内石器観察表	272	第9表	金属製品観察表	299
第5表	遺構外土器観察	281	第10表	竪穴住居跡一覧表	303

## I. 調査に至る経過

秋浦 I 遺跡は「東北新幹線盛岡～八戸間の建設工事」の施行に伴って、その事業区内に存することから発掘調査を実施することになったものである。

東北新幹線は昭和48年に盛岡～青森間の整備計画が策定され、平成3年に盛岡～沼宮内間及び八戸～青森間は新幹線鉄道直通線（ミニ新幹線）とし、沼宮内～八戸間は標準軌新線（フル規格新幹線）として実施計画が認可され、同年9月に盛岡～青森間の建設工事に着手した。その後、平成7年に盛岡～沼宮内間がフル規格新幹線に変更になり、現在、盛岡～八戸間96.9kmの新幹線工事が本格的に進められている。

盛岡～八戸間の埋蔵文化財包蔵地については、岩手県教育委員会が平成7年度に分布調査を実施し、秋浦 I 遺跡も確認されている。その結果に基づいて岩手県教育委員会は日本鉄道建設公団盛岡支社に対し、事業について照会した。回答を受けた岩手県教育委員会は日本鉄道建設公団盛岡支社と協議を行い、発掘調査を財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの受託事業とする事とした。

これにより、岩手県教育委員会は平成9年度事業について、平成9年1月17日付「教文第854号」により、財団法人岩手県文化振興事業団に通知し、これを受けた財団法人岩手県文化振興事業団は秋浦 I 遺跡について平成9年6月13日付で委託契約を締結し、同6月17日から発掘調査に着手した。

さらに、平成10年度事業については平成10年1月29日付「教文第902号」により通知を受け、平成10年4月1日付で委託契約を結び、同4月10日から発掘調査に着手した。

なお、発掘調査は平成10年度で完了し、平成12年度に報告書を刊行するはこびとなった。

## II. 遺跡の位置と環境

### 1 遺跡の位置（第1・2・4・6図）

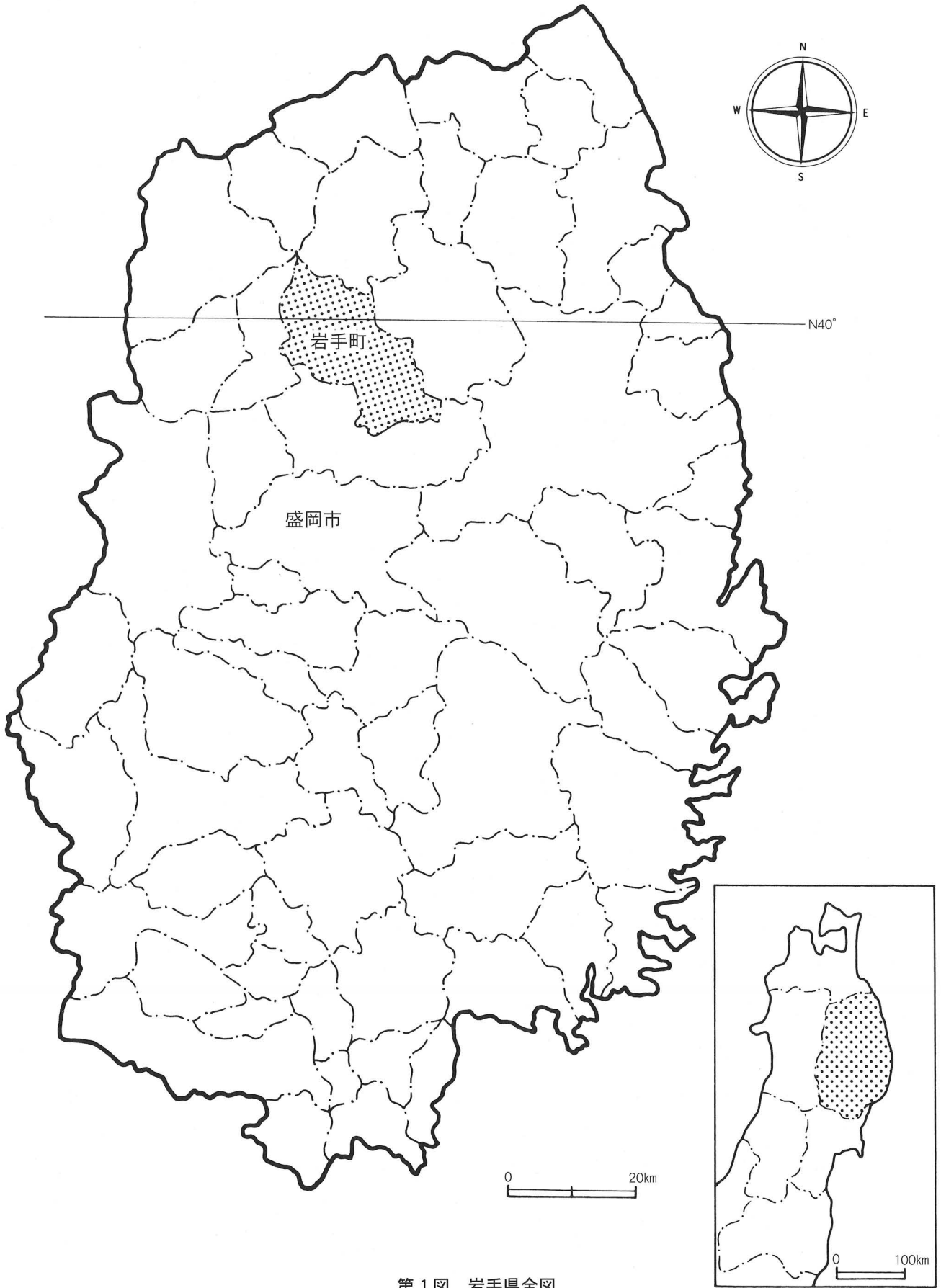
秋浦 I 遺跡は岩手県岩手郡岩手町大字川口第19地割に所在し、東日本旅客鉄道東北本線岩手川口駅より東約1.6kmに位置する。地形図上では、国土地理院発行の5万分の1地形図「ぬまくない」N J - 54 - 13 - 13（盛岡13号）の図幅に含まれ、北緯39度55分、東経141度13分付近となる。

岩手町は岩手県の北部に位置し、北緯40度の町、及び北上川源流の町として知られているところである。昭和30年7月、町村合併法により、旧沼宮内町、川口村、一方井村及び御堂村の1町3か村の合併がなり「岩手町」となって現在に至っている。面積は360.93平方キロメートルでそのほぼ中央を国道4号と、東日本旅客鉄道東北本線がほぼ南北に併走している。

北に一戸町、東は葛巻町と境を接し、西は西根町、南は玉山村に接している。これを水系でみると、ここ岩手町は、南流して宮城県石巻市で太平洋に注ぐ北上川の源流であり、それぞれ東、北に境を接する葛巻町、一户町は北流して青森県八戸市で太平洋に注ぐ馬淵川を有している。いわゆる、北方の青森県側へ流れる水系と、南方の宮城県側へ流れる水系の分水嶺となっており、岩手町そのものは南方へ流れる水系の最北端といえることができる。

遺跡の所在する当町川口地区は岩手町の南端にあり、北上川が周囲の支流を抱え込んで、次第にその流路を広げ始める地域である。秋浦 I 遺跡はこの地域の東部に位置している。

遺跡は、姫神山麓に端を発し、西流して北上川に注ぐ古館川の右岸に形成された段丘及び山麓緩斜面の南

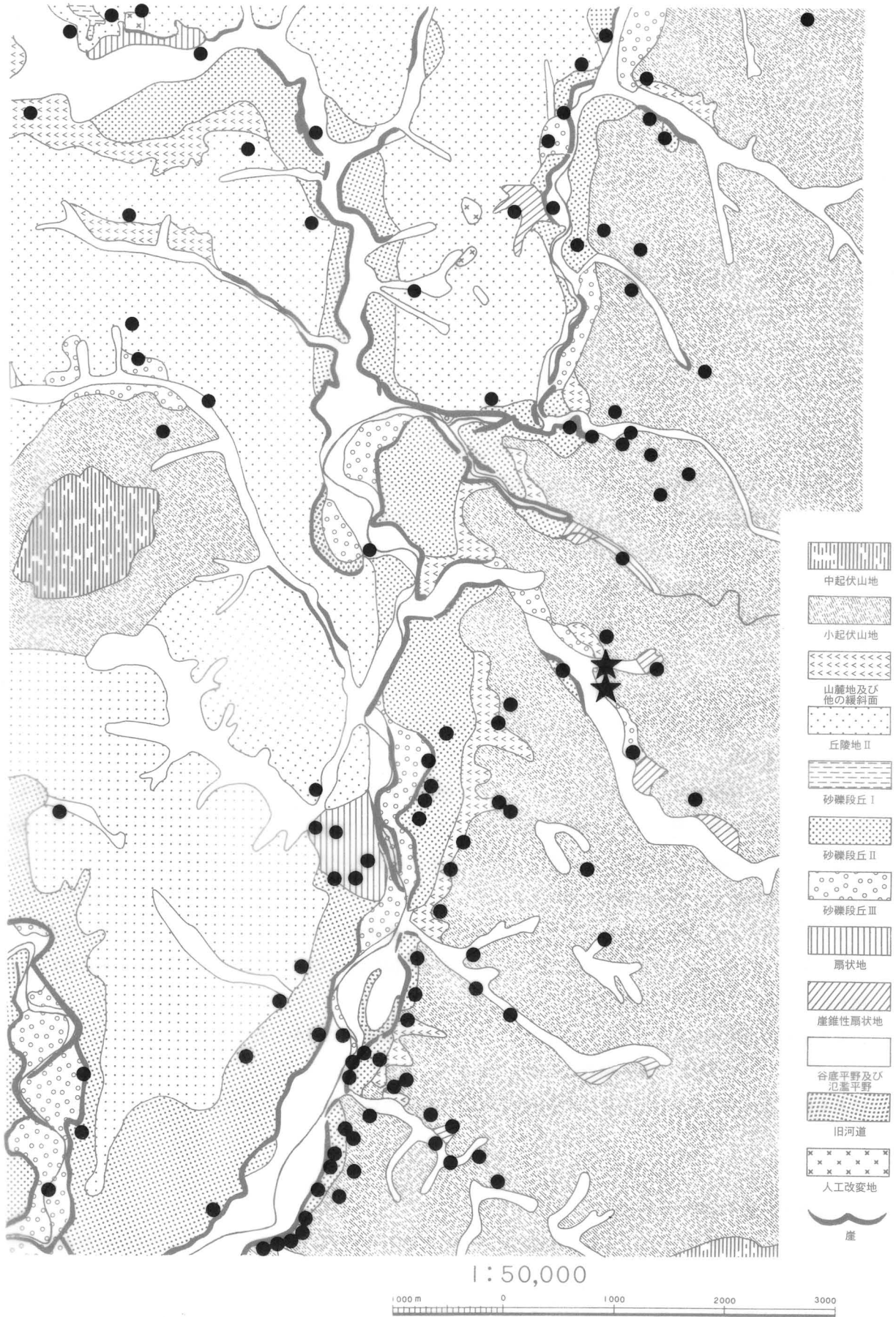


第1図 岩手県全図

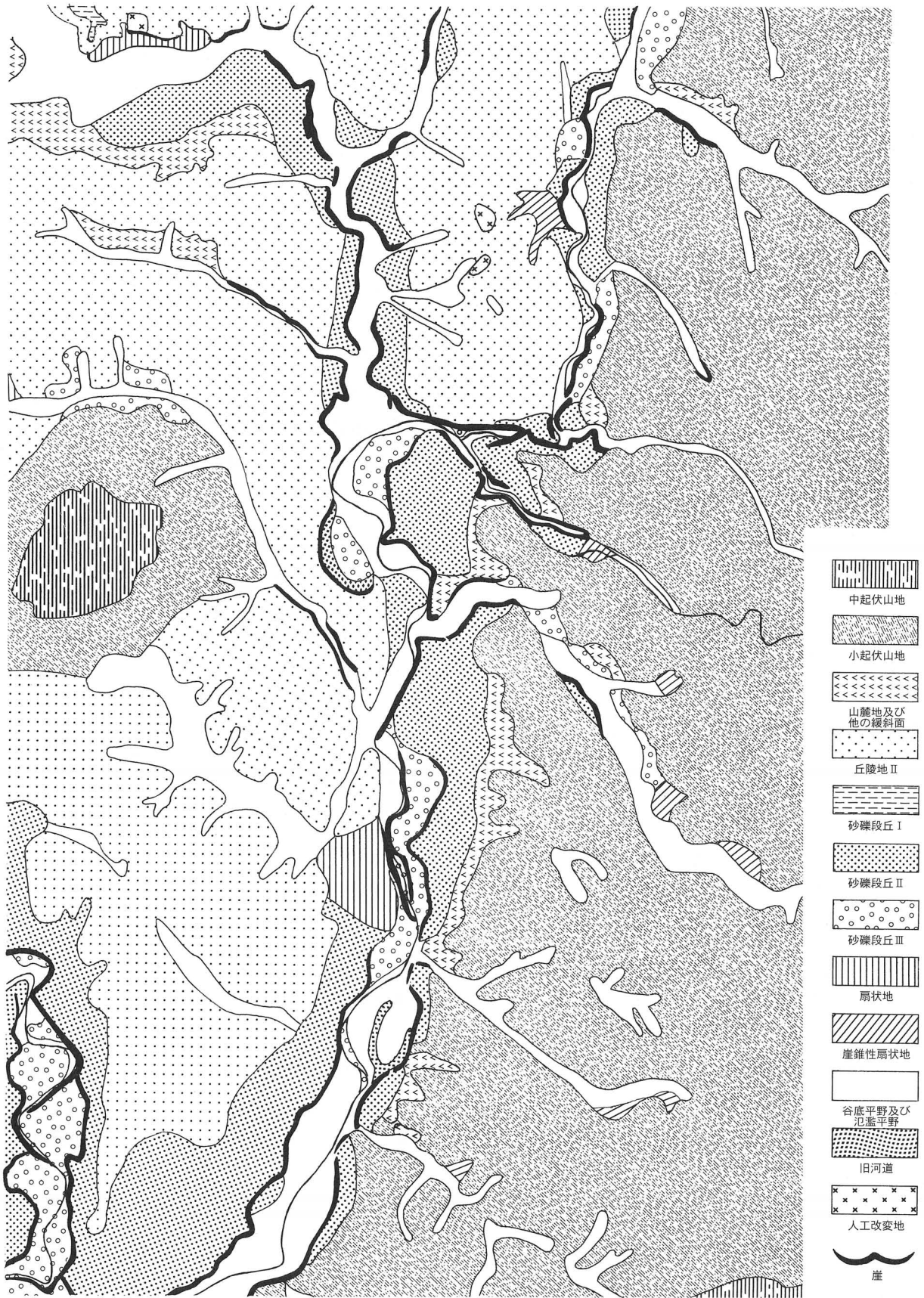




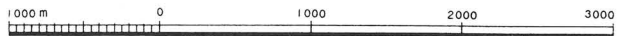
第2図 遺跡の分布図



第3章 遺跡の分布図



1:50,000



第3図 遺跡周辺地形分類図

西に面した場所であり、標高は250m前後、古館川との比高は約20m前後で、現況は水田と畑地になっている。なおここから10m程下位の段丘面には、平成10年度調査が行われた秋浦Ⅱ遺跡がある。

## 2 地形 (第3・4図)

岩手県は、その西部を那須火山帯に属する奥羽山脈が南北に走り、代表する岩手山はいまもって噴火の危険性を秘めているのは周知の事実である。一方東部は、老年期山地がその後の地殻変動によって隆起準平原となった北上山地に覆われており、その中間を縫うようにして北上川が南流している。岩手町の北部は、この奥羽山脈と北上山地の接するところである。町内の標高の最低地でも200mを越えているごとく、町の大半は山地であるが、中央を流れる北上川及びその支流流域には平坦地が幾分発達している。

第3図で見る限りにおいては、中央を南流する北上川を境に東部は北上山地に属する起伏量200m未満の小起伏山地でしめられており、いずれも北上川に注ぐ中小河川の流域の谷間に細長い平坦地が形成され、そこに農耕地、集落が発達している。また、山麓や丘陵地の端には随所に緩斜面が見られる他に、小規模な扇状地や崖錐性扇状地が発達している。一方、北上川西岸地域は、50～60m以下の起伏量を持つ低高度の丘陵地(土川丘陵)、各河川沿いの段丘及び氾濫原、そして丘陵間、段丘上に残丘的に残る送仙山(472.4m)などの孤立山体で構成されている。

今ここに図幅中の古代以前の遺跡を洗い出してみると、その大半は、北上川東岸、いわゆる北上山地の縁辺部の段丘面と、北上川に注ぐ中小河川沿いの、やはり段丘面に集中していることがわかる。

秋浦Ⅰ遺跡も前述のごとく、古館川との比高20m程の段丘面及び山麓緩斜面上に位置している。

なお、遺跡の現況については前述のとおり、水田と畑地であるが、昭和30年代の開田ブームによりここも改変されている。

もともとここ秋浦地区は土器が拾える場所として地元の子供たちには有名な場所であった。現に地権者も、その昔、石鏟を収集し幾度となく学校に持っていったとのことであった。その地権者の言によると昭和38年に、それまでの緩斜面を利用した畑地だったところを、ブルドーザ4台により大規模な開田作業を行ない、南北に平で東西に段を持つ水田に改変したということである。さらに揚水施設を整備し、この地区にははかり大規模に水田経営が行われていた。その際、大量の遺物が出土し、県外にまで流出したそうである。

この造成により、遺構の浅い部分は削平をうけており、同時に切り盛りによる大量の土の移動に伴い、遺物もかなり動いているようであった。

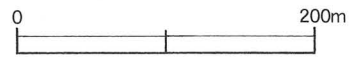
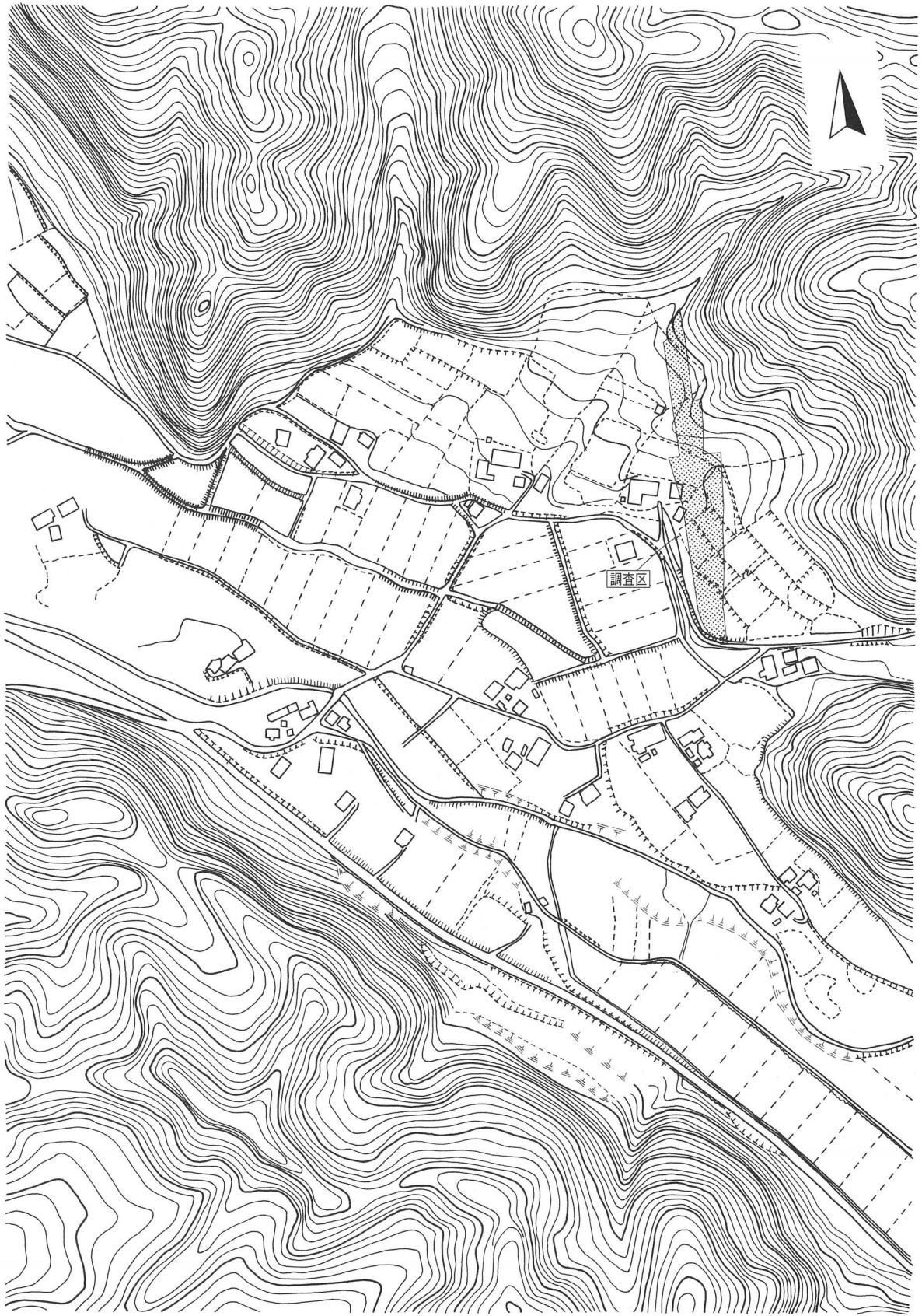
また遺跡の地形も改変をうけているようであり、これは調査中に分かったことであるが、どうやら現在、平坦になっている部分は、沢が調査区を横切るように、東西に走っていたらしく、この沢をはさんで、北側にある尾根の南西斜面沿い、そして沢の南側の台地上の南西斜面の二箇所にもたがる土地利用が当時行われているようであった。

## 3 調査区の基本層序 (第5図)

調査区域はほぼ南北に長く、しかも前述のとおり中央部からやや北よりの部分を境に北側と南側の2方所に、当時の土地利用が行われていたようであったため、北区、南区でのそれぞれの基本土層を確認した。

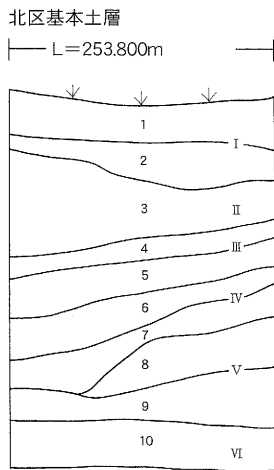
結果的にはそれぞれの箇所での層位に多少の違いはあるが、基本的な堆積状況は大差ないと認められたので、基本層序についての呼称は共通のものとした。但し、基本層序を観察した箇所では確認できなかった層位も後々出てきたが、それについてはⅥ層上、若しくはⅤ層下と表現することとした。



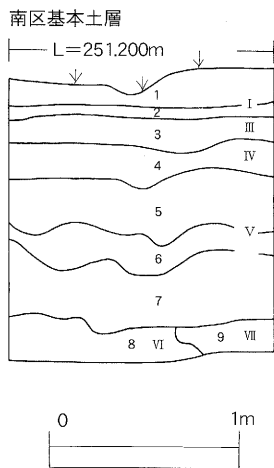


第4図 遺跡周辺の地形





- I層 { 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・締まりなし植物根多  
2 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり・締まりあり 浮石多 酸化鉄層あり
- II層 3 10YR3/4 暗褐色土主体に同3/3暗褐色土 同4/6褐色土の混合  
粘性・締まり明るい色ほどあり 浮石多 炭化物微量
- III層 { 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性・締まりややあり 浮石・炭化物微量  
5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まり 浮石は4よりある 炭化物微量
- IV層 { 6 10YR2/3と2/2 黒褐色土混合 粘性・締まりややあり 浮石・炭化物微量  
7 10YR2/3 黒褐色土 粘性・締まりややあり 浮石少量 炭化物微量
- V層 { 8 10YR3/3 暗褐色土 粘性・締まりややあり 浮石多量 炭化物微量  
9 10YR4/4 褐色土 粘性あり 締まりややあり 浮石・炭化物少量 礫少量
- VI層 10 10YR5/6 黄褐色土 粘性・締まりあり



- I層 { 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性・締まりあり (水田耕作土)  
2 10YR3/2 黒褐色土 粘性・締まり非常にあり 酸化鉄含む
- III層 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりなし (旧耕作土)
- IV層 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性・締まりややあり 浮石・炭化物微量
- V層 { 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性・締まりややあり 浮石・炭化物微量  
6 10YR4/4 褐色土 粘性・締まりややあり 浮石・炭化物微量  
7 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりあり 浮石微量
- VI層 8 10YR5/6 黄褐色土 粘性・締まり非常にあり 浮石微量 (地山)
- VII層 9 2.5Y4/4 オリーブ褐色 粘性締まり全くなし 砂層

第5図 基本土層

南区の基本土層を観察した場所ではII層は確認されなかった

- I層 暗褐色～黒褐色土 水田・畑地の耕作土、水田の床土で、いわゆる表土として扱った。
- II層 暗褐色土、褐色土、一部黄褐色土も含む混合土で、水田造成時の盛土、いわゆる整地層である。この層の見られないところは整地の際に削平された可能性もある。
- III層 黒褐色～暗褐色土 盛土される前のいわゆる旧耕作土である。
- IV層 黒褐色土 遺構検出面である、オレンジ色の浮石、炭化物が多く見られる。
- V層 暗褐色～褐色土 この面も遺構検出面である。IV層との違いは、褐色土の割合が高く、遺構が営まれていた時期に造成が行われた痕跡、いわゆる遺構を掘り上げた土が多く混在している様に見受けらる。
- VI層 黄褐色土 地山と思われる層。多くの遺構はこの層までも深く掘りこんで造られている。
- VII層 砂礫層である。調査区全域に見られるわけではなく調査区中央の南よりに見られた。この層まで掘りこんでいる土坑もあった。

遺物はI層からV層までに見られる。但し、I～III層間は開田時の大規模な造成による土の移動を考慮しなければならぬし、さらにV層については、当時の遺構構築時の土が混在していると思われることから縄文時代の遺物については、新旧関係は単純には判定できない。

#### 4 周辺の遺跡（第6図、第1表）

この地域の先駆的研究をしたのは、当時町の小学校に勤務していた小田島禄郎氏であり、新しくは、草間俊一氏、高橋昭治氏、田中定一氏、田村松太郎氏等の努力があり、数多くの遺跡及び資料が知られている。現在、岩手県教育委員会事務局文化課作成の遺跡台帳によると、平成11年度段階で岩手町に188件、玉山村では201件の遺跡が登録されており、これをもとに、当遺跡（縄文時代、平安時代の複合遺跡）を中心とした範囲のなかで同時代的なものだけの分布を探ってみたのが第6図である。

これによると、岩手町と玉山村にわたる地域となり、西根町も一部含まれ、総数110件の遺跡があげられる。内訳は、岩手町53遺跡、玉山村56遺跡、西根町1遺跡となるが、以後市町村別の遺跡数はここでは何の意味もなく思われるので、市町村の枠を取り払って述べることにする。

図幅内の遺跡のなかには時期の重複するものがあり、時期別に延べ遺跡数をみると143遺跡ある。時代別では縄文時代が87遺跡、弥生時代が31遺跡、古代が25遺跡で、時代、性格の明らかにされていない遺跡は5である。

遺跡を概観すると、北上川周辺とそれに流れ込む中小河川沿いに分布することが分かる。高橋昭治氏は「北上川上流地域の考古学資料」の岩手町、西根町の土師器出土地点地形図の項目で「300～500mは縄文文化生活圏であり、300m以下は古墳文化生活圏である。縄文文化生活圏と古墳文化生活圏との接点が、弥生文化生活圏である」との試案を呈している。

さて、本遺跡の周囲にはどのような遺跡が分布するであろうか。古館川流域では本遺跡の他に、秋浦Ⅱ遺跡（標高240m）（平成10年度調査・同12年度報告書発刊）、43秋浦Ⅲ、42秋浦Ⅳ遺跡、と1kmほど上流に53高梨遺跡（標高255m）がある。高梨遺跡については、昭和31年の開田時に縄文晩期の完形品が8点出土したことで、遺跡として知られるようになり、高橋昭治氏の「遺物出土表」によれば縄文後期末から晩期初頭の遺物が表採されている。さらに、ここは昭和58年に東北大学によって発掘調査され、住居跡3棟、土壙1基が確認されており、縄文時代中期中葉から晩期中葉、同末、弥生時代中期後半の遺物が出土している。報告によれば住居跡は縄文時代後期末以前に属すると推定され、さらに周辺に墓域が広がる可能性が指摘されている。さらに上流の54桑畑遺跡（標高300m）では弥生時代中期前半、及び同後期遺物が表採されている。

古館川が北上川に合流する付近には39川口Ⅱ遺跡（標高218m）がある。ここは昭和58年岩手県埋蔵文化財センターによる調査が行われ、縄文時代後期中葉の住居跡5棟他が検出され、うち2棟からは入り口状施設が確認されている。遺物は縄文時代後期初頭から末葉の土器が出土している。さらに1.5km程南東の箇所には昭和57、58年度に同センターにより調査された46川口Ⅰ遺跡（標高214m）があり、ここからは平安時代の住居跡1棟の他に弥生土器片が出土している。また、川口Ⅰ遺跡の東部には、岩手町教育委員会により、平成7年度から3年間の調査が行われた44上境田遺跡（標高233m）がある。ここからは縄文時代早期、前期、後期の遺物が出土し、同後期中頃の集落跡が検出されている。

玉山村にはいると、平成8年に岩手県埋蔵文化財センターが調査した65才津沢遺跡（標高216m）がある。縄文時代後期前葉、同晩期中葉、弥生時代前期と奈良・平安時代の住居跡が検出されているが、特に弥生時代の住居跡は『ほぼ円形で、径は9.8mを測り県内最大級である。4本の支柱穴と壁溝内の小柱穴によって上屋構造を支えており、炉は石囲炉（石の抜き取り痕から推定）と「二」の字形の配石炉を持っている』と報告されている。さらに南に下ると88芦名沢Ⅰ遺跡（標高220m前後）があり、縄文時代前期の住居跡3棟と平安時代の住居跡6棟、他に土坑、焼土遺構が検出され、平安時代の住居跡には鍛冶炉を持つも

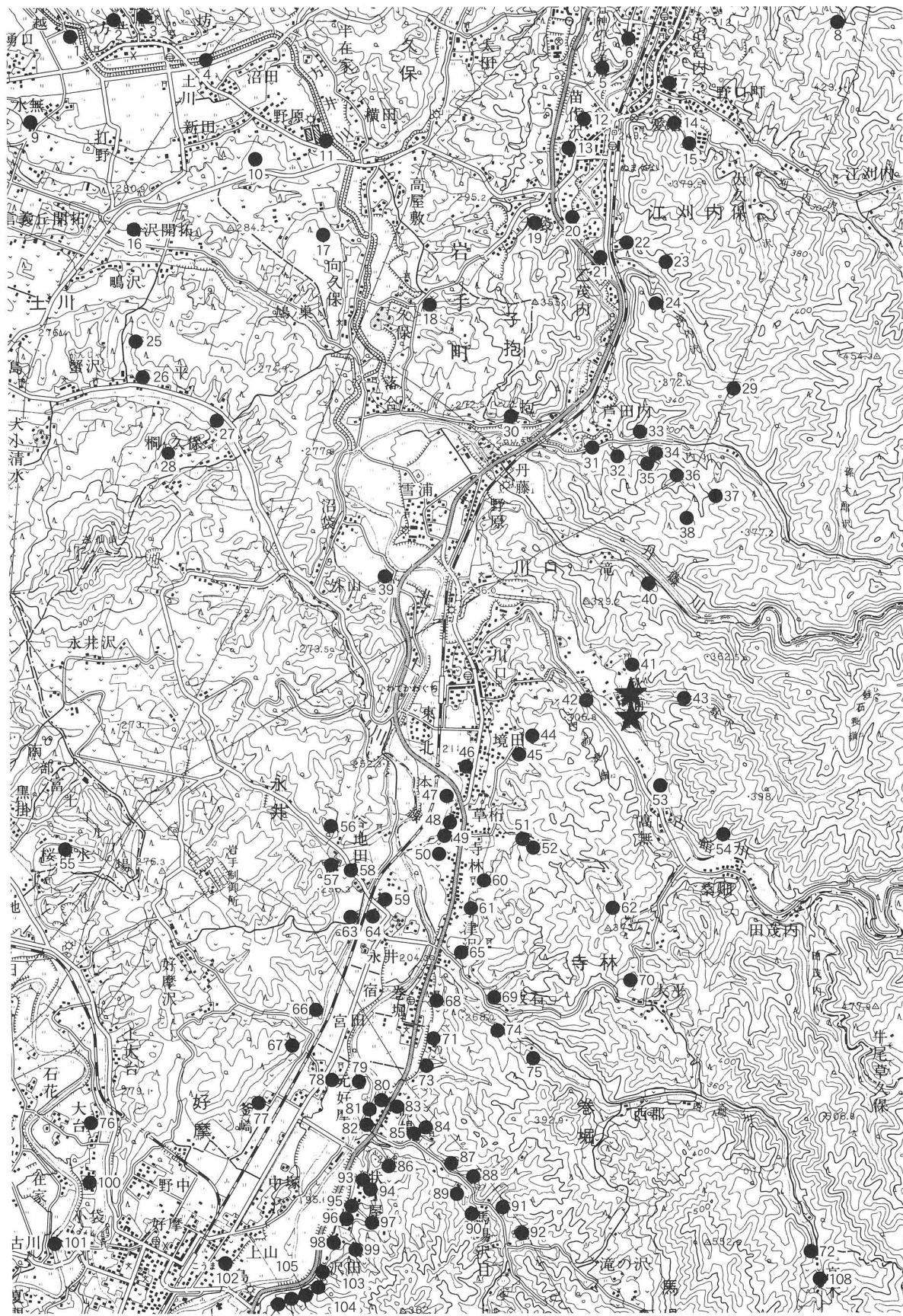


第1表 周辺の遺跡一覧 図中★は秋浦Ⅰ・Ⅱ遺跡

図No.	町村	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物
1	岩手町	打越	散	縄・古	縄土器、土師器
2	岩手町	輪台	散	縄・平	縄文土器(後期)、土師器、須恵器
3	岩手町	一方井小学校裏	集	平	土師器、須恵器、裹体部片
4	岩手町	ざるくぼ	散	縄	縄文土器(後・晩期)
5	岩手町	石神下Ⅱ	散	縄	縄文土器
6	岩手町	石神下Ⅰ	散	弥	弥生土器
7	岩手町	沼宮内	散		
8	岩手町	大坊Ⅱ	散	縄・弥	縄文土器(後期)、弥生土器
9	岩手町	今松	集	古	土師器
10	岩手町	仙波堤	集	平	土師器、須恵器
11	岩手町	沢口	集	平	土師器、切子玉、砥石、紡錘車、土製勾玉
12	岩手町	石神下Ⅲ	散	縄	江別式土器、縄文土器(後期)
13	岩手町	苗代沢	散	弥	弥生土器(後期)、後北式土器
14	岩手町	江刈内Ⅰ	散	縄・弥	二枚橋式弥生土器(前期)、縄文土器(晩期)、石鏃
15	岩手町	江刈内Ⅱ	散	縄・弥	縄文土器(前・後・晩期)、弥生土器
16	岩手町	鳴沢	散	平	土師器
17	岩手町	久保	散		
18	岩手町	内の沢	散		
19	岩手町	一本杉	散?	縄	縄文土器
20	岩手町	犬袋	散	縄	縄文土器(前・後期)
21	岩手町	乙茂内Ⅰ	散	縄・弥・古	縄文土器(後期)、弥生土器、土師器
22	岩手町	一辺沢	散	縄・弥	縄文土器(後期)、弥生土器
23	岩手町	乙茂内Ⅱ	散	縄	縄文土器(後期)
24	岩手町	乙茂内Ⅲ	散	縄・弥	縄文土器(後期)、弥生土器
25	岩手町	オオヤモリ	散	古	土師器
26	岩手町	浮島ガンジャ(蟹沢)	散	縄	縄文土器(早期、貝殻文様)
27	岩手町	桐ヶ久保	散	縄	縄文土器(早・前・後期)、(貝殻文)
28	岩手町	築場平	散	縄	縄文土器
29	岩手町	乙茂内Ⅳ	散	弥	弥生土器(前期)、石棒、石皿、石鏃
30	岩手町	子抱	散	縄	縄文土器(後・晩期)、石鏃、石匙、石斧、フレーク
31	岩手町	芦田内Ⅰ	集	縄・弥	円筒下層式土器、縄文、弥生土器
32	岩手町	芦田内Ⅱ	集	縄・弥	縄文土器(後期)、弥生土器(中期)
33	岩手町	芦田内Ⅶ	散	縄	縄文土器
34	岩手町	芦田内Ⅳ	散	縄・弥・古	縄文土器、弥生土器、須恵器、石鏃
35	岩手町	芦田内Ⅲ	散	縄・弥	縄文土器(後期)、弥生土器、石器
36	岩手町	芦田内Ⅴ	散	縄・弥	縄文土器(早・前・後・晩期)、弥生土器(中期)
37	岩手町	芦田内Ⅶ	散	縄・弥	縄文土器(後期)、弥生土器(中期)
38	岩手町	芦田内Ⅵ	集	弥	縄文土器(後期)、弥生土器(谷起鳥式)、赤焼き土師器、石器、竪穴2ヶ所
39	岩手町	川口Ⅱ	集	縄	縄文土器(後期)
40	岩手町	丹藤滝	散	縄・弥	縄文土器(前・後期)、石器
41	岩手町	円満寺跡	寺・集	縄	縄文土器(中・後期)
42	岩手町	秋浦Ⅳ	集	縄・弥	縄文土器(前・中期)
43	岩手町	秋浦Ⅲ	散	縄	縄文土器(後・晩)
44	岩手町	上境田	集	縄	縄文土器(中期)
45	岩手町	上境田	散	縄	縄文土器、ろくろ土器
46	岩手町	川口Ⅰ	散	弥	縄文土器(後期)、土師住居跡、陥し穴、後北
47	岩手町	草桁	散	縄・弥	縄文土器(後期)、石器
48	岩手町	ニツ森Ⅱ	散	縄・弥	縄文土器
49	玉山村	平	散	縄・弥	縄文土器、弥生土器
50	玉山村	梨木平	散	縄・弥	縄文土器、弥生土器、フレーク
51	岩手町	草桁	散	縄・弥	縄文土器

図No.	町村	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物
52	玉山村	大森Ⅱ	散	縄	縄文土器
53	岩手町	高梨	集	縄	縄文土器(後～晩期)、石器
54	岩手町	桑畑Ⅰ	散	縄・弥	縄文土器(後期)、弥生土器
55	西根町	大石平	散	縄	縄文土器、土師器
56	玉山村	永井沢Ⅰ	集	縄	縄文土器、土師器
57	玉山村	百目木	散		土器、土師器
58	玉山村	永井	集	平	土器、土師器、須恵器、瓦質土器
59	玉山村	荒屋	散	縄	縄文土器、土師器
60	玉山村	千手観音堂裏	散	縄・弥・平	縄文・弥生土器、土師器、須恵器
61	玉山村	平森Ⅰ	散	縄	縄文土器(晩期)
62	玉山村	境平Ⅱ	集	縄	縄文土器
63	玉山村	永井沢Ⅱ	集		土器、土師器、須恵器
64	玉山村	土橋	散	縄	縄文土器、土師器
65	玉山村	才津沢	集	縄・弥・平	縄文土器(晩期)、土師器、弥生土器
66	玉山村	いたこ石	散		土器、土師器、須恵器
67	玉山村	元好摩	散	縄	縄文土器(前・中・後期)、土師器
68	玉山村	本宮Ⅰ	散	縄・平	縄文土器、土師器
69	玉山村	幅下Ⅰ	散	縄・弥	縄文土器(後期)、弥生土器
70	玉山村	平森Ⅱ	散	縄	縄文土器
71	玉山村	巻堀Ⅰ	散	縄	縄文土器(晩期)
72	玉山村	高木Ⅱ	散	縄	縄文土器(晩期)、土師器
73	玉山村	巻堀Ⅱ	散・集	縄	縄文土器(晩期)
74	玉山村	幅下Ⅱ	散	縄・弥	縄文土器(後期)、弥生土器
75	玉山村	三枚石	散	縄・弥	縄文(中・後期)、弥生土器、土師器
76	玉山村	小袋Ⅱ	集		土師器
77	玉山村	釜崎	集	縄	縄文土器、土師器
78	玉山村	袋袋Ⅰ	散		土師器?
79	玉山村	築袋Ⅱ	散	縄	縄文土器
80	玉山村	場北	散	縄	縄文土器
81	玉山村	馬場中	散	縄	縄文土器、土師器
82	玉山村	馬場南	散	縄	縄文土器、磁器、土師器
83	玉山村	馬場Ⅰ	集	縄	縄文土器
84	玉山村	馬場Ⅳ	散	縄	縄文土器
85	玉山村	馬場Ⅱ	集	縄	縄文土器(中期末)
86	玉山村	状小屋Ⅰ	散	縄	縄文土器(前・中期)、すり石、陶器
87	玉山村	馬場Ⅲ	散	縄	縄文土器
88	玉山村	芦名沢Ⅰ	散	縄・平	縄文土器、土師器
89	玉山村	芦名沢Ⅱ	散	縄	縄文土器
90	玉山村	芦名沢Ⅲ	散	縄	縄文土器
91	玉山村	芦名沢Ⅳ	散	縄	縄文土器
92	玉山村	山館(小館)	城・散	縄・中世	縄文土器(後期)、掘切、平場、二重空堀、吊鐘状土製品
93	玉山村	状小屋Ⅱ	散	縄	縄文土器、土師器、フレーク
94	玉山村	状小屋Ⅲ	散	縄	縄文土器
95	玉山村	沢田Ⅱ	散	縄	縄文土器、土師器
96	玉山村	沢田Ⅰ	散	縄	縄文土器
97	玉山村	沢田	散	縄	縄文土器
98	玉山村	沢田Ⅳ	集・散	縄・平	縄文土器、土師器、陶器
99	玉山村	芋田Ⅴ	集	縄	縄文土器、土師器
100	玉山村	小袋Ⅰ	集		土師器
101	玉山村	古川	集		土師器
102	玉山村	上山Ⅰ	散	縄	縄文土器
103	玉山村	沢田Ⅲ	集・散	縄・平	縄文土器(前期)、土師器
104	玉山村	沢田Ⅵ	散	縄	縄文土器
105	玉山村	芋田A	散	縄・平	縄文土器、土師器
106	玉山村	芋田Ⅱ	散	弥・平	弥生土器、土師器
107	玉山村	芋田E	散	縄	縄文土器
108	玉山村	高木Ⅰ	散	縄	縄文土器(中・後期)

散・散布地、集・集落跡、寺・寺院跡、城・城館跡  
 縄・縄文、弥・弥生、古・古代、平・平安



107 106  
 1:50,000 沼宮内  
 1000 m 0 1000 2000 3000

第6図 遺跡の位置と周辺の遺跡



のも報告されている。一方ここの対岸の89芦名沢Ⅱ遺跡（標高212m）から縄文時代早期後葉のムシリ式と思われる土器がまとまって出土しており、住居跡は削平が激しいが複式炉を持つ縄文時代中期後葉の住居跡が1棟検出されている。図の南端の106芋田Ⅱ遺跡（標高200m前後）は平成9年の調査により奈良時代の住居跡21棟、平安時代の竪穴状遺構4棟が検出され、4号住居跡からは耳皿4個が同時に出土している。また土師器、須恵器の他に、続縄文式土器（後北C2-D式）が19点ほど出土している。

図の中には含まれないが、岩手町一方井地区には遺跡が集中しており、このことを考えあわせると、この地域は奥羽山系周囲の遺跡と北上山地周辺の遺跡が北上川による低地を挟んで分布していることがうかがえる。しかも北上山地と奥羽山系が接するのが岩手町北端であり、これを分水嶺として、北流する馬淵川と南流する北上川がある。大木系の土器と円筒系の土器の接点を考えるとき、このような環境も考慮しなければならないと思われる。

《引用・参考文献1》

岩手町史編纂委員会 「岩手町史」1976

高橋昭治 「北上川上流地域の考古学資料（1）」1970

「北上川上流地域の考古学資料（5）」1975

「岩手町遺物出土表」1965

岩手町教育委員会 岩手町埋蔵文化財調査報告書第2集「町内遺跡発掘調査報告書Ⅱ」秋浦Ⅱ遺跡1994

岩手町教育委員会 岩手町埋蔵文化財調査報告書第3集「町内遺跡発掘調査報告書Ⅲ」高梨遺跡 1995

岩手町教育委員会 岩手町埋蔵文化財調査報告書第4集「川原木遺跡発掘調査報告書」1995

岩手町教育委員会 岩手町埋蔵文化財調査報告書第7集「町内遺跡発掘調査報告書Ⅴ」黒内Ⅸ遺跡1997

東北大学文学部考古学研究室 「東北大学考古学研究報告1」1985

岩手県企画開発室 「北上山系開発地域土地分類基本調査（沼宮内）」1975

（財）岩手県文化振興事業団

埋蔵文化財センター 「川口Ⅰ遺跡発掘調査報告書」（岩埋文報告書83集）1984

” 「川口Ⅱ遺跡発掘調査報告書」（岩埋文報告書84集）1985

” 「黄金堂遺跡発掘調査報告書」（岩埋文報告書86集）1985

” 「倍田Ⅳ遺跡発掘調査報告書」（岩埋文報告書207集）1994

” 「才津沢遺跡発掘調査報告書」（岩埋文報告書278集）1998

” 「芋田Ⅱ遺跡発掘調査報告書」（岩埋文報告書304集）1999

” 「芦名沢Ⅱ遺跡発掘調査報告書」（岩埋文報告書322集）2000

### Ⅲ. 調査方法と室内整理

#### 1 野外調査

野外調査は平成9年度、10年度の2カ年にわたって行われ、初年度は予定より1カ月遅れの6月17日より調査を開始した。

調査区北側より順次調査をすすめたが、予想に反して遺構の集中度が高く、特に8月半ば以降から調査した中央部は、住居跡、土坑が幾重にも重なり合い、調査の進捗状況が著しくダウンした。さらに調査区南端部は餅米の作付けが行われている水田になっており、収穫が終了するまで調査に入れない状況などもあって、調査は予定を延ばして11月14日まで行った。それでもなお全域を調査終了することが困難となり、10月半ば以降からは遺構の精査の傍ら、未調査部分の遺構確認作業を並行させた。

初年度調査では縄文時代の複式炉をもつ住居跡の他にフラスコ状土坑や縄文時代前期末から同後期初めにかけての遺物が検出され、縄文時代中期後葉の集落跡であることが分かったが、平安時代の住居跡も同時に検出され、縄文時代と平安時代の遺構、遺物を伴う複合遺跡であることも分かった。

平成10年度調査は4月10日から行われ、前年度の確認調査の後を受けて未調査部分の本格的な遺構検出を行った。しかし、新幹線工事に関する設計変更があり、調査区北側部分で調査範囲の拡幅がなされたため、前年度調査終了部分の西側を広げての調査が加わった。さらに年度途中には調査区南側でも拡幅が行われるという状況が出来し、調査面積は増えたが、遺跡の内容把握には有効であったと思われる。

調査は、先ず前年度に表土を除去し、遺構の確認だけで終わっていた南端部で遺構の検出作業を行い、同時に前年度未調査だった拡幅部分を持つ北側での検出作業を行った。ところが、予想外に北側部分での遺構数が多く、南端部との同時進行が困難となったため、北側部分を先に集中して終了させてから、中央部、南端部に移る計画が進めた。紆余曲折はあったが同年8月11日をもって調査を終了することができた。

#### (1) グリッドの設定 (第8図)

本遺跡の調査区域は、南北約320m、東西の最大幅約40mで北北東～南南西に最大長をもつ。ここに基準点測量を委託し、平面直角座標第X系を利用してグリッドの設定を行った。

基準点1、基準点2を設け、この2点を結んだ線を基準線とした。この基準線を延長し、平面直角座標第X系にそった20m×20mの大グリッドで調査区全域を区画した。これらの区画には北西端を原点として東西方向に西から順にI、II、IIIの番号を付し、南北方向に北から順にA、B、Cのアルファベットを与え、A I、C III等と表示した。さらにこの大グリッド内を25等分し4×4mの小グリッドに区画し、北西端から01、02、03、…25までの番号を付しA I 01、N II 21等と表示した。

それぞれの年度の基準点の成果値は以下のとおりである。

平成9年度調査 基点1  $X=-9,100.000$   $Y=33,200.000$   $H=251.231m$

基点2  $X=-9,000.000$   $Y=33,200.000$   $H=253.709m$

平成10年度調査 基点1  $X=-9,080.000$   $Y=33,200.000$   $H=249.862m$

基点2  $X=-9,000.000$   $Y=33,200.000$   $H=253.709m$  (平成9年度と同一)

調査範囲を、遺構が全くない中央部分を境に、南側と北側に分けそれぞれを便宜的に北区、南区と呼称している。さらに南区は大グリッドMとNを境に北側と南側に区画できるようである。第9、10、11、12、13、14図の遺構配置図は、北区、南区それぞれの遺構集中範囲のみを図化したものである。

## (2) 粗掘・遺構検出・精査・遺物の取り上げ

調査区の地形に合わせて約2m幅のトレンチを入れ、遺跡の状況把握につとめた。その結果、遺構の検出されない範囲についてはトレンチを広げ、遺物はグリッド名を付して、基本土層に基づいて取り上げた。遺構も遺物も確認されない箇所では、重機で地山までの掘り下げを行った。

トレンチにより、遺構の確認された箇所は極力人力でトレンチを広げたが、場所によっては、重機で遺構検出面までの表土除去も行った。

遺構の精査は原則として、住居跡は4分法、土坑その他は2分法を採用して行い、必要に応じてその他の方法も併用し、埋土の状況観察、さらには遺構の規模、残存状況の把握につとめた。

実測は簡易遣り方で行い、一部平板測量も用い作業の迅速化をはかった。縮尺は断面、平面ともに20分の1を基本としたが、炉跡、埋設土器などは10分の1で、規模の大きな住居跡は40分の1で実測したものもある。

## (3) 遺構名の付け方

遺構には遺構毎の略号をつけ、検出された順番に番号を付した。そのために、平安時代の住居跡が01、12、26、36、37、53となり時代毎の連番となっていない。遺物も全てこの番号にならって記録しているので、混乱を避けるため敢えて番号の付け直しは行わなかった。なお、遺構毎の略号は以下のとおりである。

RA・・・住居跡、RD・・・土坑、RF・・・焼土・炉跡、P・・・住居内柱穴

PP・・・柱穴状ピット、RP・・・埋設土器、RH・・・集石

## (4) 写真撮影

6×7判カメラ（モノクロ）をメインとし、35mm判カメラ2台（モノクロ、カラーリバーサル）を補助的に使い、さらにポラロイドカメラ1台をメモ的な用途として使用した。また、調査終了間近には外部委託し、セスナ機による調査区の空中写真撮影をそれぞれの調査年度に行った。

## (5) その他

平成10年度調査の中盤には現地遺跡説明会を行い、地元近隣の方々はじめ、報道関係者など多くの方の参加を得ることができた。また岩手町の小中学校社会科教育研究会の先生方が研修の一環として来跡し、岩手町立川口中学校の生徒数名も引率教諭と一緒に研究授業の資料作りのための取材に訪れており、これらは埋蔵文化財に対する啓蒙活動として有意義であったと思われる。

## 2 室内整理

### (1) 遺物の処理

遺物は水洗、注記、接合、復元の順に行った。土器類については、その後、報告書掲載用の選別を数段階にわたり行い、台帳を作成して登録した。登録後、実測・拓本・写真撮影・トレースを行い、遺物観察表を作成しながら遺物図版を作成した。

石器については、剥片及び自然石との選別を行った後、器種毎に分類し、石質鑑定を委託し台帳登録した。登録後、報告書掲載用の選別を行い、土器と同様に進めたが、一部石鏃については、実測トレースを外注した。

### (2) 遺構図面

野外調査で作成された図面は、調査終了後、数値及び平面・断面の突き合わせなどの確認を行い、第二原図を作成した。その後トレースし遺構図版の作成を行った。



(3) 遺構図版

遺構配置図については、グリッド配置図で調査区範囲を表すことにして、遺構配置図そのものは、遺構の集中する北区、南区それぞれの範囲を括ったものである。他の遺構図版は遺構の種類毎に掲載した。住居跡に関しては、登録番号が検出した順のため、平安時代の住居跡と縄文時代の住居跡が混在しているが、図版では縄文→平安の順であり、登録番号をそのまま掲載番号として使用しているため番号が前後している場合がある。

縮尺については住居跡50分の1、60分の1、土坑40分の1、焼土・炉跡20分の1、土器埋設15分の1、集石25分の1、50分の1で掲載してあり、それぞれの図にスケールを付してある。

(4) 遺物図版

遺物の掲載にあたっては、遺構内出土と遺構外出土に分け、それぞれを土器、石器、金属の順に掲載した。遺構内については、立体土器→破片であり、円筒系と大木式の土器の場合は円筒系→大木式の順にした。

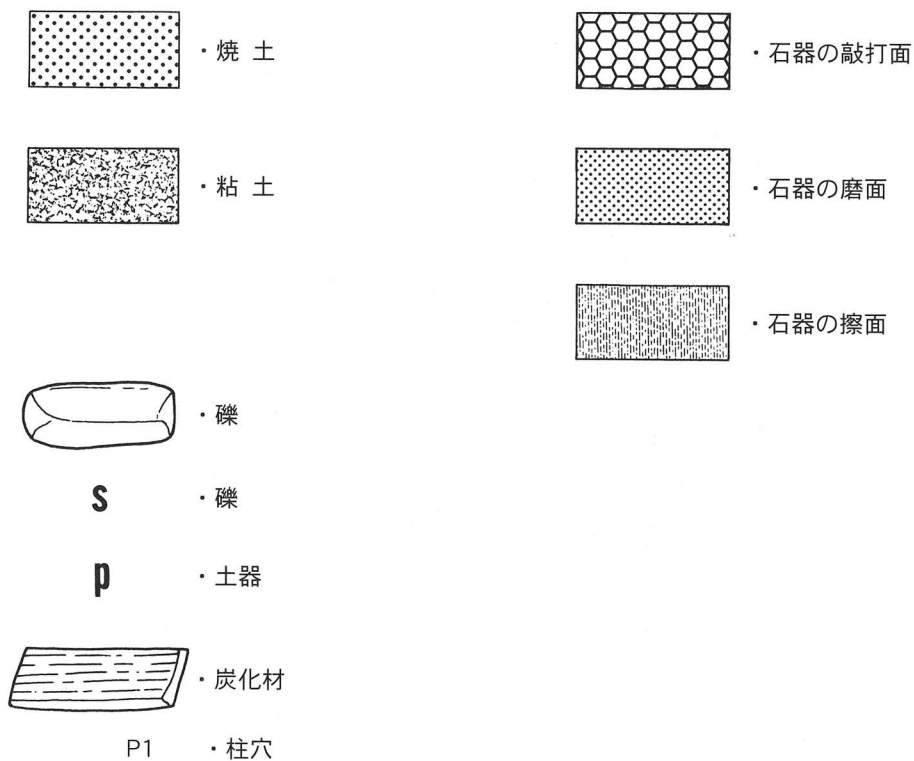
縮尺は土器実測図・拓影図・礫石器が3分の1、土製品・ミニチュア土器・剥片石器・石製品・金属は2分の1を原則にしたが、それぞれで大きさが不揃いのため、例外もある。何れも各頁にスケールを付してある。なお、掲載番号は遺物の種類を問わず、掲載順に通して連番としてあり、写真番号も同一である。

(5) 写真図版

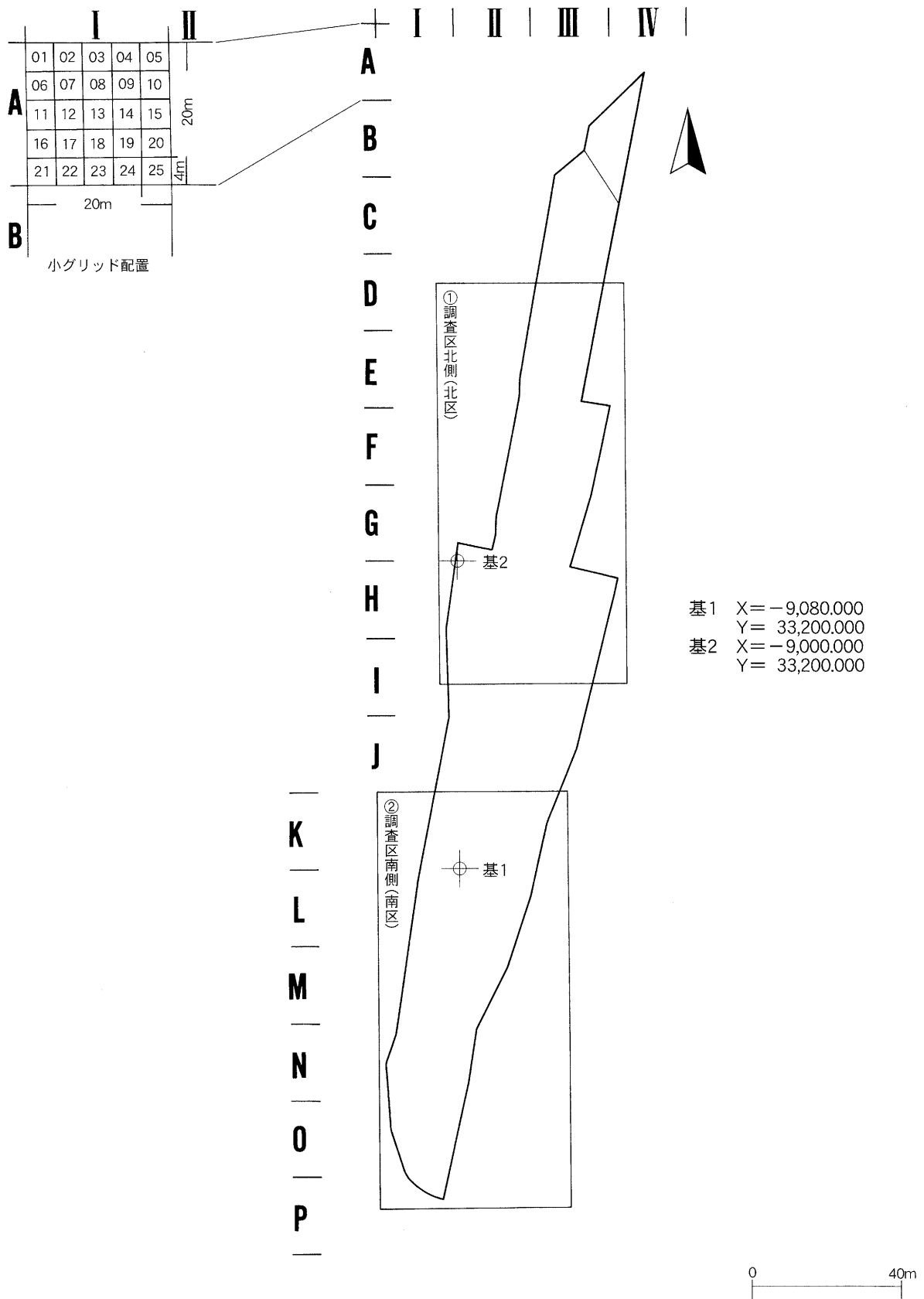
遺構については遺構図版と同じ順に掲載した。なお縮尺は任意である。

土器についてはその大きさにより4分の1～10分の1、剥片石器は2分の1、礫石器は6分の1、ミニチュア土器、土製品、石製品、金属（古銭）は2分の1を基本にしてある。

以下に凡例を示す



第7図 凡例



第8図 調査範囲・グリッド配置図

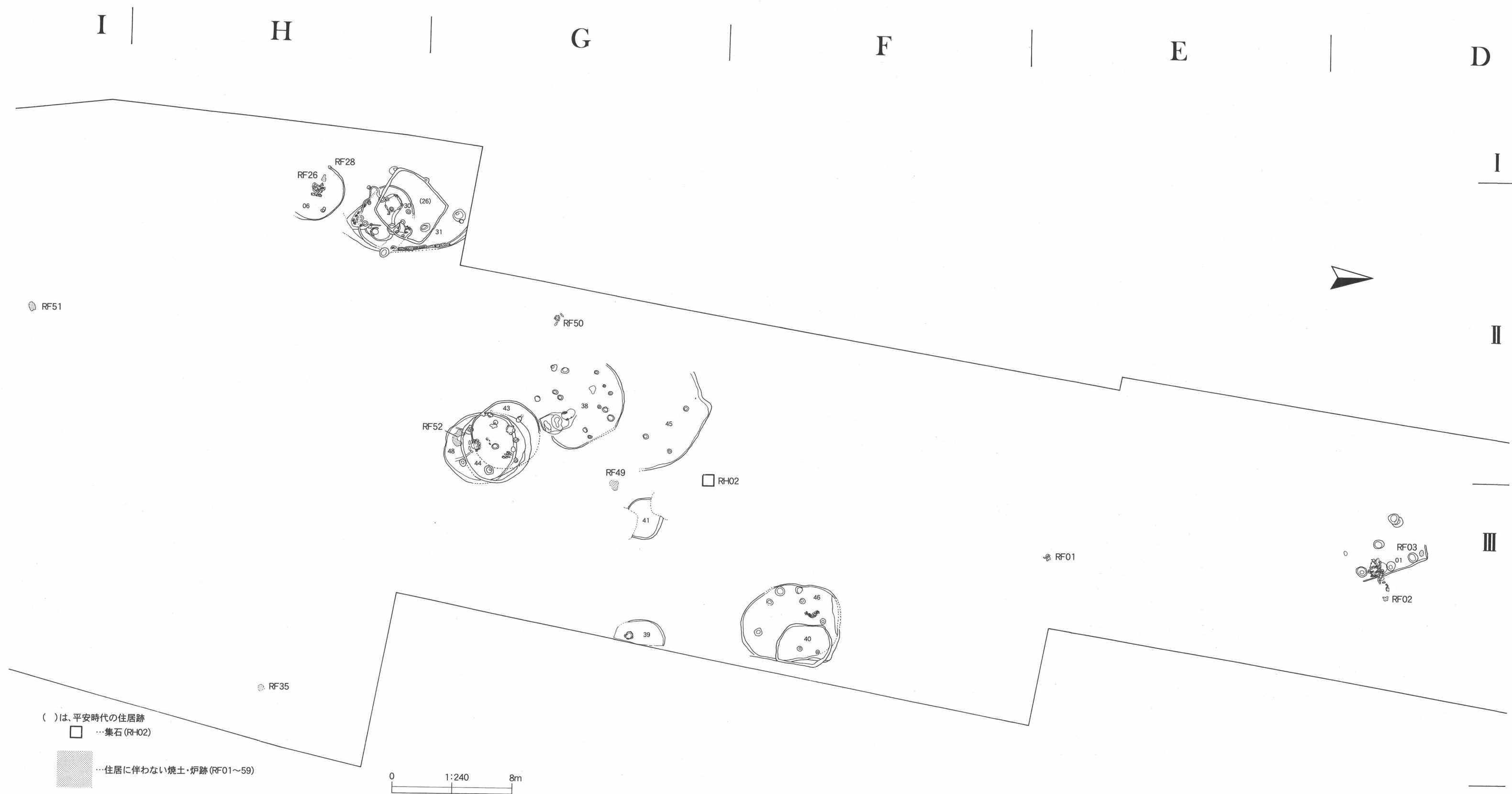


第9図 遺構配置図(3)北区柱穴状ピット

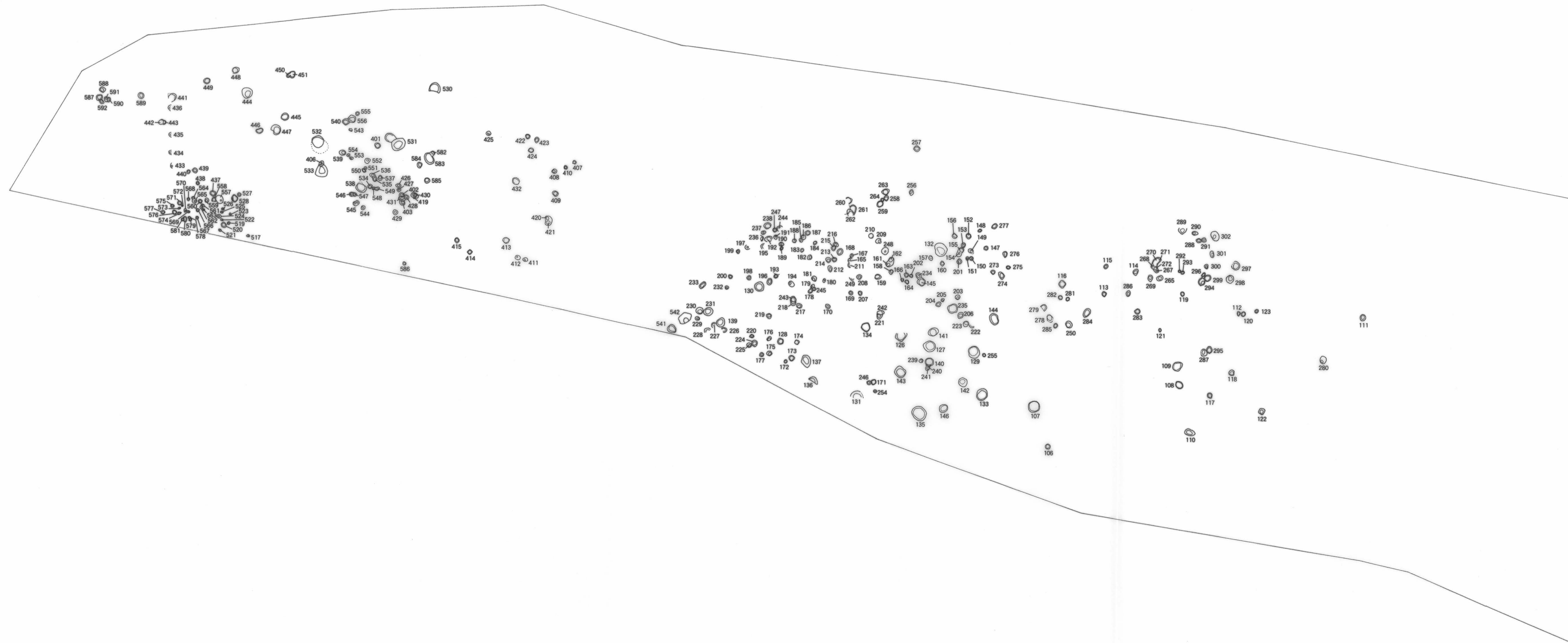




第10圖 遺構配置圖(2)北区土坑

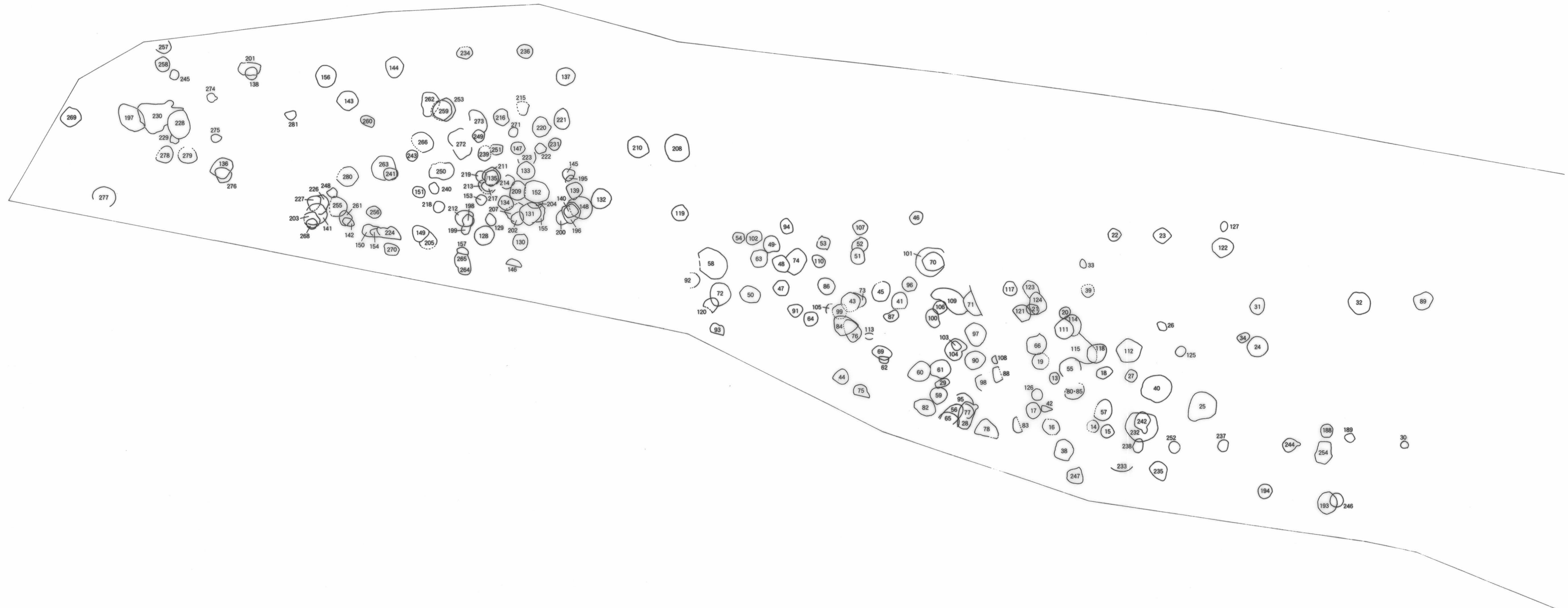


第11図 遺構配置図(1)北区竪穴住居跡他

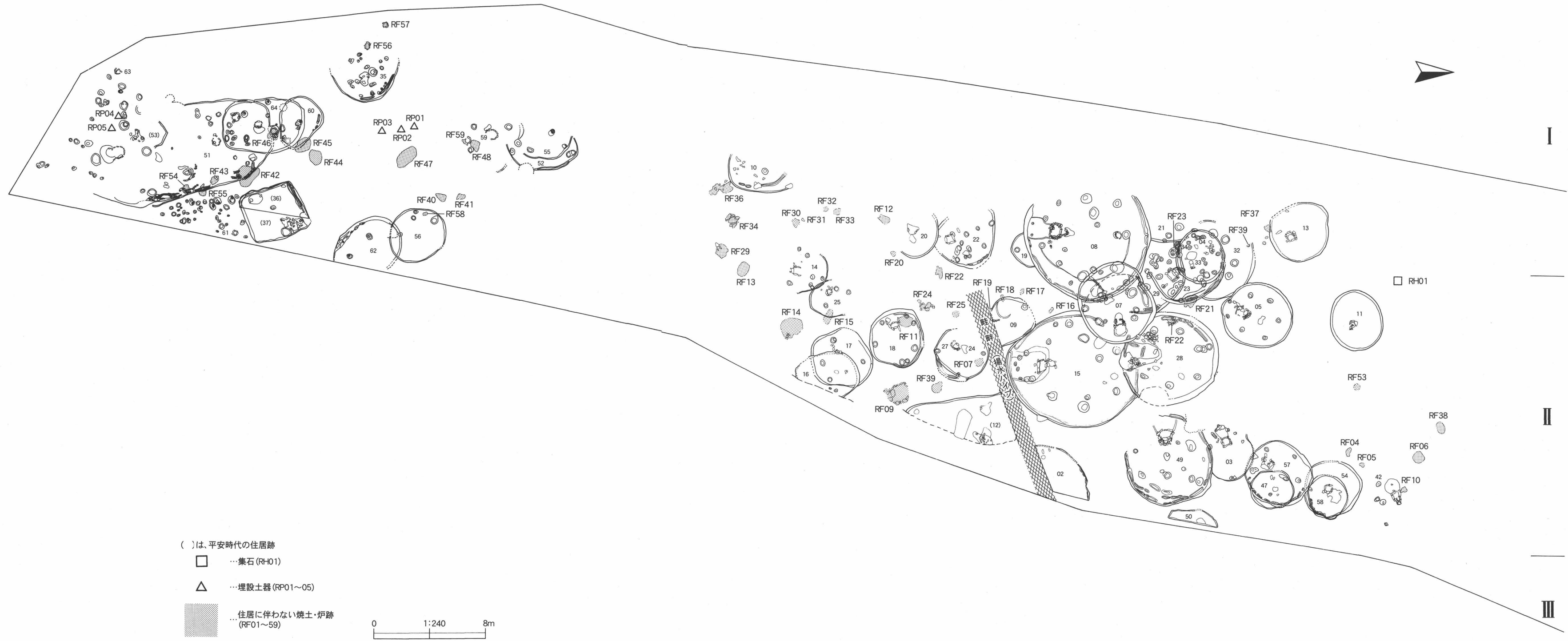


第12図 遺構配置図(6)南区柱穴状ビット





第13图 遺構配置図(5)南区土坑



- ( )は、平安時代の住居跡
- …集石 (RH01)
- △ …埋設土器 (RP01~05)
- …住居に伴わない焼土・炉跡 (RF01~59)

0 1:240 8m

第14図 遺構配置図(4)南区竪穴住居跡他

## IV. 検出された遺構と遺物

平成9・10年度の2カ年の調査により検出された遺構は、住居跡64棟(平安時代のもの6棟を含む)、土坑277基、焼土・炉跡59基、集石遺構2基、土器埋設遺構5基、他に柱穴群である。出土遺物は、土器がコンテナ160箱、石器は登録したものが1508点、石製品29点、土製品191点、古銭を含めた金属は92点となる。この中から、2482点を掲載したがこれらをを記載、掲載するに当たってのお断りと若干の注意点を以下に記す。

住居跡についての登録番号は、検出した順に付してあり時代ごとに番号の付け替えは行わなかったが、記載については最初に縄文時代の住居跡について記し、次に平安時代の住居跡について記載した。そのためRA01(平安時代の住居跡)はRA64(縄文時代の住居跡)の後に記載してある。これは掲載図版・写真も同様である。ちなみにRA01、12、26、36、37、53の6棟が平安時代の住居跡である。

事実記載の中で柱穴のデータを表形式で本文中に記載してあるが、その中で数値に下線が施されてあるのは正確な数値がわからず、残存部分から割り出した推定値を意味するものである。

土坑(略号はRD)は観察表の形で記載したが、これも検出した順に登録番号を付してあり、時代順、若しくは形態ごとにはなっていない。また、後に登録を抹消した遺構もあり、それらは欠番となっている。なお、調査時の登録番号をそのまま使っているのは、整理作業時の混乱を防ぐためであり、特別な意味はない。

他にRFは炉・焼土遺構を、RPは土器埋設遺構を、RH是集石遺構を表す略号として使っている。

掲載図版について、特に住居跡については、重複関係を事実記載の中で述べているが、図がそのとおりになっていない部分がある。これは、掲載図版は実測した時点での状態を図化したものであり、遺構の埋土の中に重複する遺構全体が入り込んでいる場合か、または層位を異にして重なっている等の場合は重複遺構として表されていない。なお重複関係については、事実記載に基づいて、遺構配置図を参照してもらいたい。

土坑について、一部断面図のない遺構があるが、これは、柱穴と判断し精査を進めたが、結局は土坑となった場合や、作業手順のミスにより断面を記録する前に完掘してしまったなどの理由からである。また、土坑の切り合いの激しいところでは全景を把握できないような写真もある。この点をご容赦願いたい。

### 1 竪穴住居跡

RA02(第15図 写真図版1)

<位置> 南区LⅡ19グリッド 一部調査区外にかかっている。<検出状況> 水田耕作土直下のV層上面で検出した。大部分が調査区域外にかかっているが、揚水パイプ埋設部分の断面に床および壁が確認されたことから住居跡と判断した。<平面形・規模> 調査区域外にかかる部分が多いため不明だが おそらく円形ではないかと思われる。規模は不明。<重複> RD38を切っている。<埋土> 2~7が本遺構の埋土と考えられる。<壁・床面> 壁は外傾して立ち上がり、壁高は10~45cmである。床面は地山であり凸凹が見られるが かたく締まっている。<柱穴> 調査した所からは柱穴は検出されなかった。

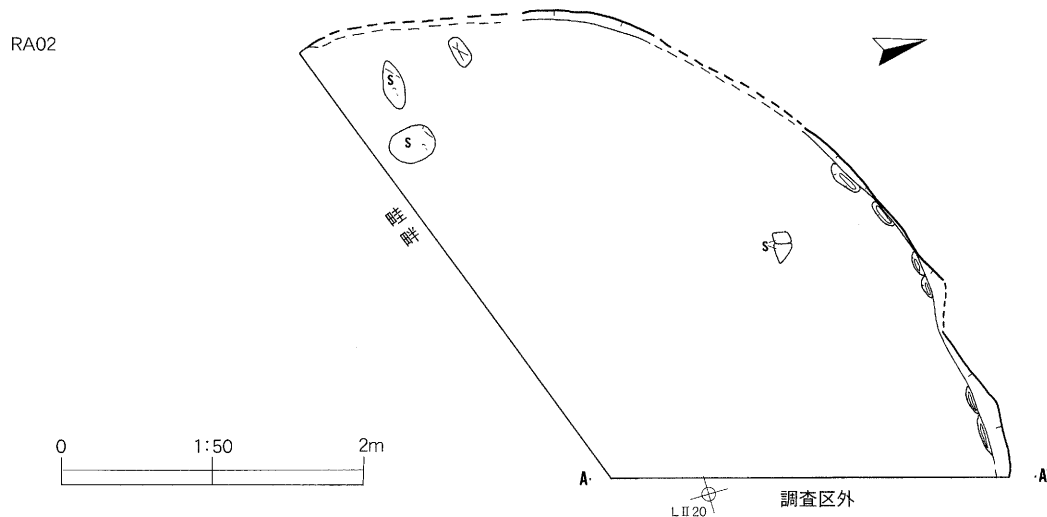
<炉> 石囲部を検出、そこから西には数個の礫が残っており、石囲部+前庭部からなる複式炉の可能性はある。焼土の発達はあまり良くなく、厚さは4cm程度である。住居の全体構造が不明のためこの炉が住居のどの位置にあたるのか、また複式炉になるのかどうか、炉については不明な点が多い。

(遺物)(第150図 写真図版150)

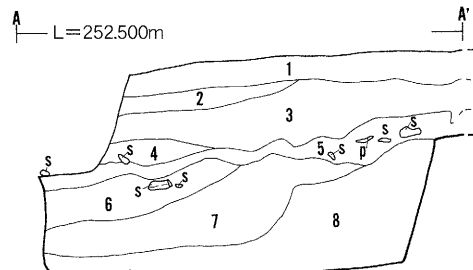
1は床出土の円筒上層a式の深鉢である。他に9、10等後期初頭と思われるものも出土している。

<時期> 出土遺物より縄文時代中期前葉以降と思われる。





- RA02(A-A')
- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まりややあり オレンジの浮石微量(Ⅲ層)
  - 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まりややあり
  - 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりややあり オレンジの浮石微量 植物根あり 5YR5/6明赤褐色焼土含む
  - 4 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりややあり 浮石微量
  - 5 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 締まりややあり オレンジの浮石 炭化物微量
  - 6 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 締まりあり オレンジの浮石微量 炭化物ブロック状あり
  - 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややあり オレンジの浮石微量
  - 8 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/4褐色土の混合土 粘性あり 締まりややなし オレンジの浮石 炭化物微量



第15図 RA02竪穴住居跡

RA03 (第16図 写真図版2)

〈位置〉 南区K II 24グリッド、RA49の北、RA57の南 〈検出状況〉 RA49の精査途中に本遺構の床面を検出し、精査終了後に、残り部分でベルトを設定し、プランの検出を行った。〈重複関係〉 南隣のRA49には切られており、北隣のRA57にも切られているようである。〈平面形・規模〉 南北の壁を切られ西側は削平をうけているが、残存部分から推測すると4.0m×3.6m程のやや楕円形に近い形になると思われる。

〈埋土〉 最上位の1層も最下層の4層も黄褐色土ブロックを含むため、人為的堆積と思われる。

〈壁・床〉 残存部では直立しており、壁高は40cm程である。床は平坦で締まっている。

〈柱穴〉 9基検出したが、主柱穴はP1～P4と思われる。〈炉〉 当初、石囲い炉と考えていたが、住居

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9
径cm	22×17	22×18	25×17	36×28	32×18	28×14	16×8	16×12	18×10
深さcm	40	26	30	12	18	16	16	14	15

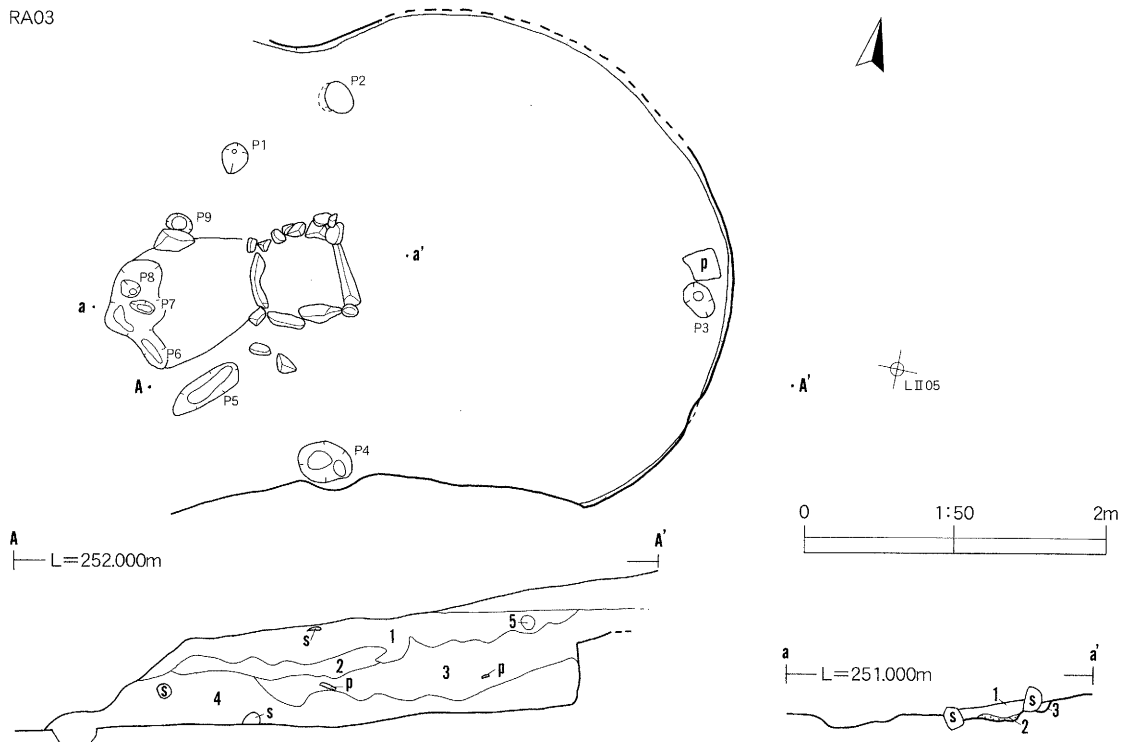
西側に寄り過ぎ  
てゐる事、炉  
の西側に落ち込

みが観察されたこと、炉石の一端が外側に張り出すこと等から石囲部と前庭部をもつ複式炉と判断した。

(遺物) (第151, 152図 写真図版150)

17, 18は住居東側の床上で検出された小型深鉢である。18は無文であるが、17は二重の沈線で逆U字状に区画した中に複節の斜縄文を施している大木9式のものである。

〈時期〉 出土遺物から縄文時代中期後葉と思われる。



RA03(A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性ややなし 締まりあり 炭化物微量 オレンジの浮石少量 上位に黄褐色土をブロック状に含む
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややなし 締まりあり 炭化物微量 オレンジの浮石少量
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややなし 締まりややあり オレンジ 白色浮石少量含む
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性・締まりややあり 炭化物下位に少量 オレンジ 白色浮石含む 黄褐色土がブロック状に下位に入る
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性・締まりなし 木根?

RA03 炉(a-a')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりなし 黄褐色土を少々ブロック状に含む
- 2 5YR4/8 赤褐色土 粘性・締まりなし
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりなし(4/6褐色土が少量混じる)(炉石掘り方)

第16図 RA03竪穴住居跡

RA04 (第17図 写真図版3)

<位置> 南区L I 05グリッド <検出状況> V層上面で検出した。RA23などの住居跡を切っつけられている。<平面形・規模> 平面形はやや楕円形。規模は3.9×3.5m <埋土> 黒褐色土主体に3層に区分される。<壁・床面> 壁はやや外傾して立ち上がり 壁高は20~30cmである。床面はやや斜面に合わせて傾いており、締まりはない。<柱穴> 8基検出したが、P5とP8は他と埋土状況が違っており、本住居の柱穴でない可能性もある。

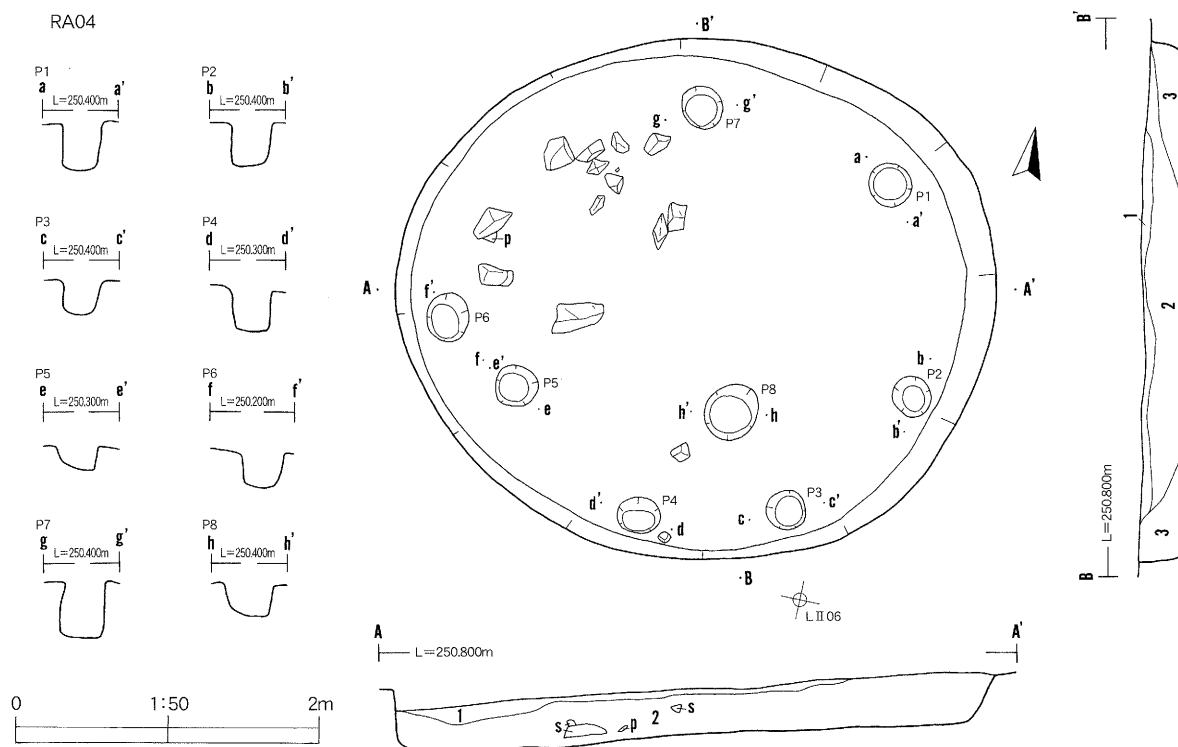
	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8
径cm	30×28	28×24	28×26	28×24	28×26	32×28	30×26	40×34
深さcm	31	32	25	30	17	24	39	24

<炉> 住居跡中央からやや北寄りに数個の礫を検出したが、床面に埋め込まれた様子もなく、規則的な配列もない。また焼土も検出されなかったことから炉とは断定できなかった。

(遺物) (第152~155図 写真図版151)

大木8 b式~9式、後期初頭の縄文土器片と石器、ミニチュア土器が出土している。

<時期> 重複関係から縄文時代中期後葉~後期初頭と推定できる。



RA04(A-A'・B-B')

- 1 10YR3/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし 浮石 炭化物微量
- 2 10YR3/2 黒褐色土 粘性・縮まりややなし 浮石 炭化物微量
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりなし 浮石 炭化物微量

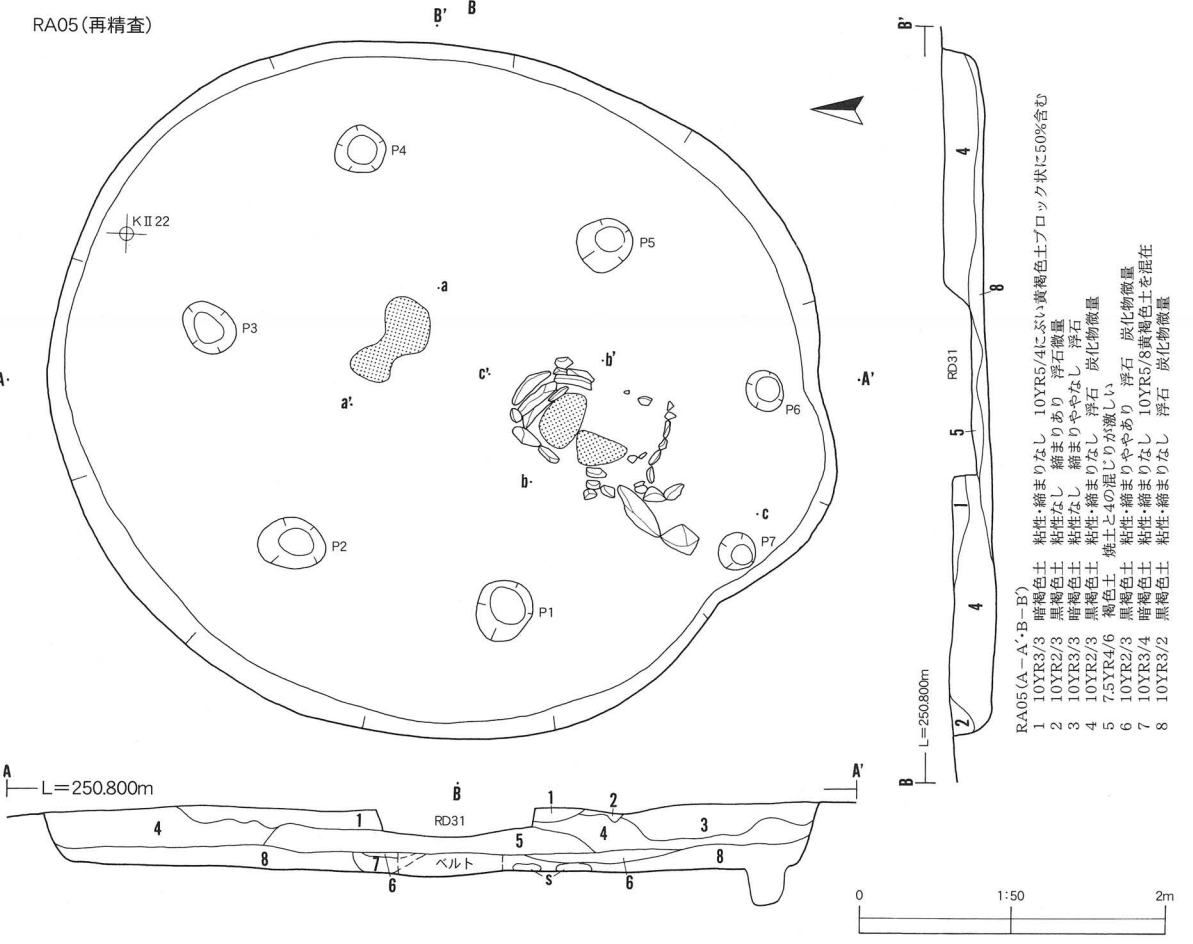
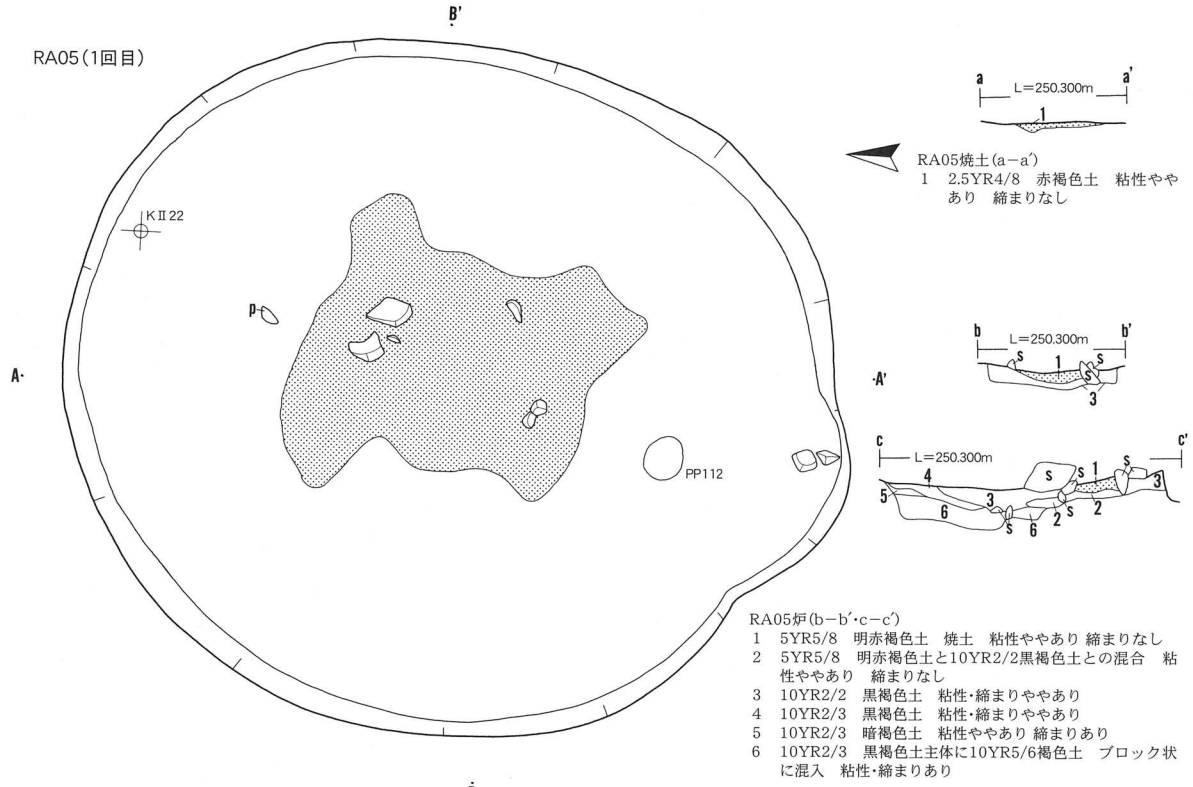
第17図 RA04竪穴住居跡

R A05 (第18図 写真図版4)

〈位置〉 南区 K II 21グリッド 〈検出状況〉 IV層中で検出した。ほぼ中心にRD31があり、その精査中に底から焼土が検出されたためその面を床面と考え壁を検出した。この焼土はおよそ250×150cmの範囲で不整形に広がり、厚さは最大で15cm程にもなるが現地性のものではない。この焼土の中には多数の礫と土器片が散乱している。土器片は復元できたのは粗製土器1点のみであとは小片であり、時期は大木9～10、後期初頭のもが含まれている。この焼土を精査後除去したが、柱穴は検出されなかった。その後だめ押しのトレンチを入れたところ焼土面から約10cm下に床面と思われる面を発見し、さらに広げて柱穴と複式炉を検出した。なお、プランは焼土検出時と炉検出時で全く同じであり焼土面は床面ではなく、廃棄されたものと思われるがどのような経過で入り込んだかは不明である。〈重複〉 西側で一部R A32を切っておりR A05の方が新しい。〈平面形・規模〉 平面形はほぼ円形で複式炉前庭部付近に若干張り出し部分がある。規模は約5.2×4.6mである。〈埋土〉 8層に区分。なお1～5が焼土検出までの土層で6～8がそこから床面までの土層である。このため4と8は分けしてあるが実際は同じものである可能性もある。〈壁・床面〉 壁はやや外傾して立ち上がり壁高は26～40cmである。床面は平坦でやや縮まっている。〈柱穴〉 7基検出されたが、P 1～P 5が主柱穴と考えられる。〈炉〉 複式炉と地床炉が検出された。

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7
径cm	36×30	39×30	32×26	30×28	32×29	24×20	22×22
深さcm	53	47	42	51	45	26	40

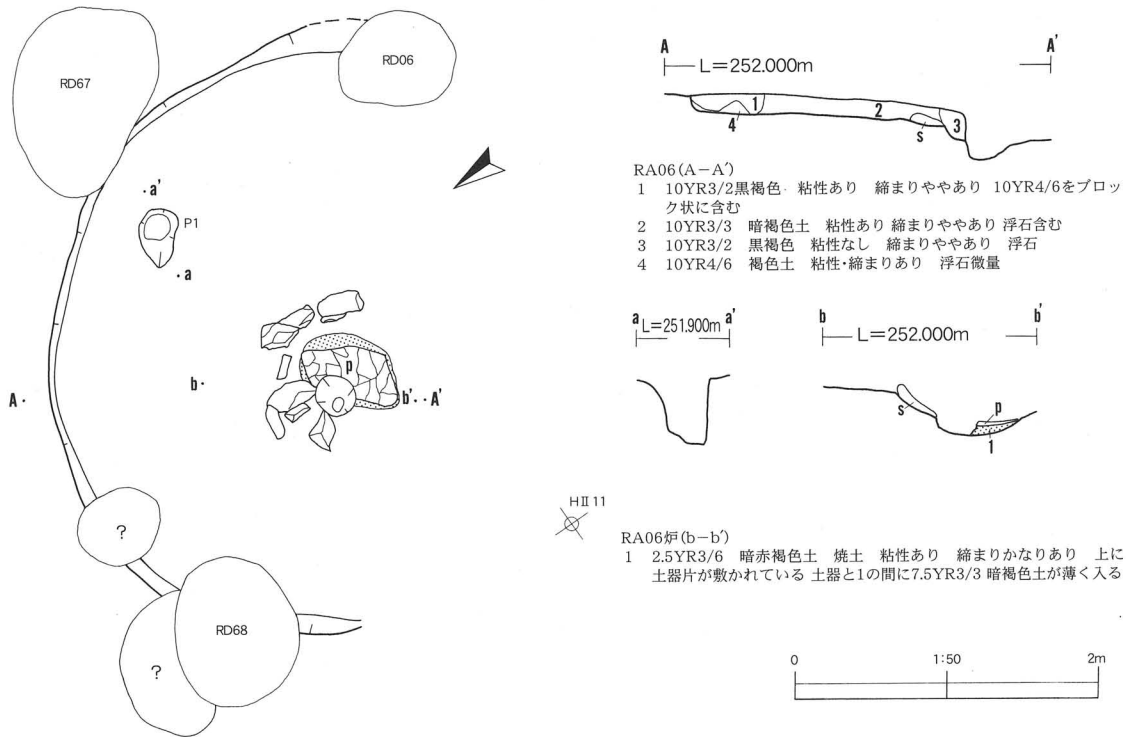
地床炉はほぼ中央部にあり、およそ60×30cmの範囲に不整形に広がり焼土は厚さ6cm程を測る。



第18図 RA05竪穴住居跡



RA06



第19図 RA06竪穴住居跡

複式炉は石囲部+石囲部+掘り込みの前庭部からなると思われるが、2つの石囲部を仕切る礫は検出されていない。単純に石囲部+前庭部ということも考えられる。規模は長軸で160cm 短軸最長で90cmである。長軸の方向は南南西に向いている。焼土は石囲部にのみ形成され、厚さは最大12cmである。

(遺物) (第155~157図 写真図版152)

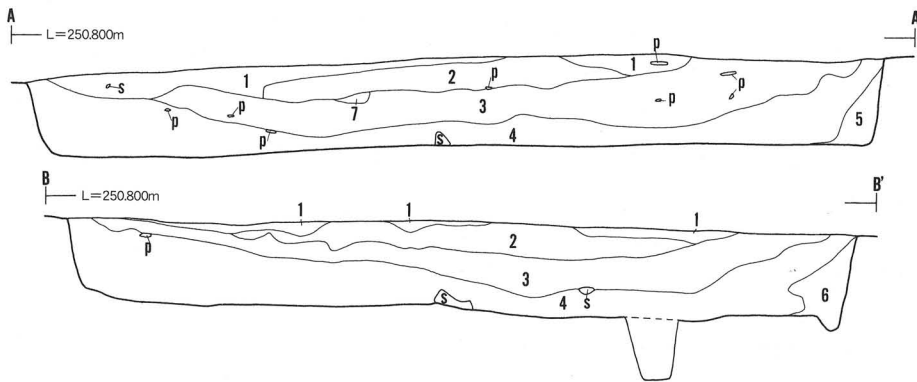
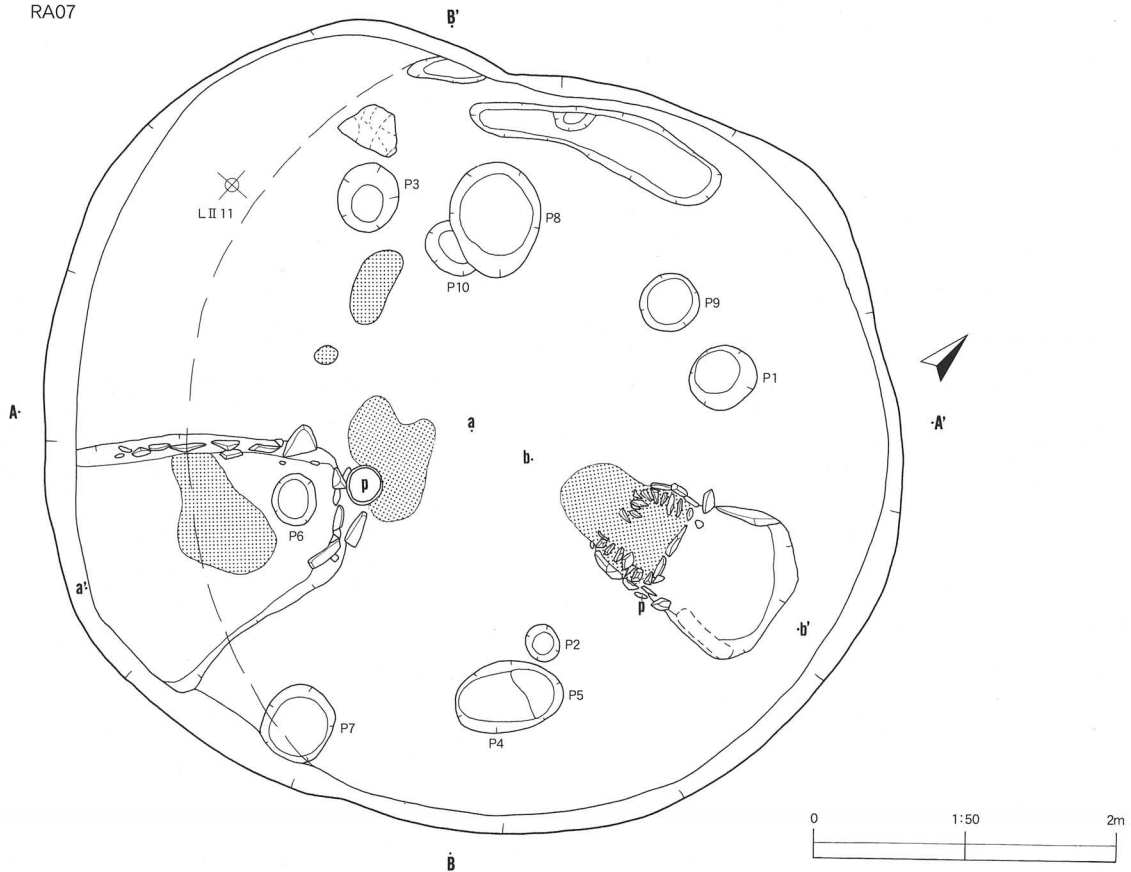
縄文時代中期後葉から後期初頭の土器が出土している。複式炉近辺からは大木9式の深鉢が出土している。

<時期> 床面直上出土土器から縄文時代中期後葉と推定される。

RA06 (第19図 写真図版5)

<位置> 北区H II 06グリッド <検出状況> 調査区北区の南端にあたり、近世土坑・柱穴が密集する地区である。柱穴群の東端にあった柱穴の底部から焼土及び縄文土器片が出土したため、精査した結果石囲炉を検出した。これをもとに住居のプランを掴もうとしたが攪乱が激しく南半分のプランは確認できなかった。<平面形・規模> 径約4.0mの円形を呈すると思われる。<埋土> 4層に区分した。暗褐色土が主体であるが、床面直上あるいは床面を掘り込む形での攪乱が激しい。<壁・床面> 前述のとおり攪乱をかなり受けており、残存状態は良くない。北半分に壁高7~20cmを確認した。地山を掘り込んでつくられていると思われる。床面はほぼ平らである。<柱穴> 新しい柱穴・土坑が重複しており、本来この住居に伴うと思われる柱穴は1基しか検出できなかった。径38×24cm、深さ51cm <炉> 土器を敷きつめた石囲炉であり、南半分は消失している。土器片の裏を上にして敷きつめた下に薄く暗褐色土がはいり、その下に焼土がレンズ状に形成されている。この炉の北側に弧状の石列が接続して検出されている。調査時は、

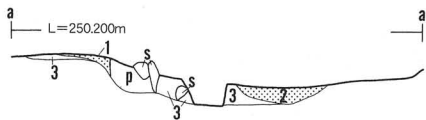
RA07



RA07 (A-A'・B-B')

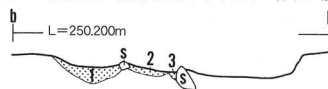
- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 浮石 炭化材微量
- 2 10YR4/6 褐色土と10YR3/4暗褐色土の混合 粘性ややあり 縮まりなし

- 3 10YR2/2~2/3 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化材少量 土器片混在
- 4 10YR3/3~3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化材 焼土粒少量 土器片混在
- 5 10YR3/3~3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化材微量
- 6 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 7 7.5YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 焼土 炭化物微量



RA07 (a-a')

- 1 5YR4/6 赤褐色土 焼土 粘性ややあり 縮まりなし
- 2 5YR4/6 赤褐色土 焼土 粘性ややあり 縮まりなし 下位に炭化物15% 10YR3/4暗褐色土5%混入
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物微量



RA07 (b-b')

- 1 5YR3/6 暗赤褐色土 粘性なし 縮まりややあり 焼土粒 炭化物多量に混入
- 2 5YR4/8 赤褐色土 焼土 粘性なし 縮まりあり
- 3 5YR3/4 暗赤褐色土 粘性・縮まりなし

第20図 RA07竪穴住居跡

本遺構より古いと思われる石囲炉の一部と推測していたが、複式炉としての断片かもしれない。

(遺物) (第157図 写真図版152)

石囲炉内に敷きつめられていた土器は大木9式の深鉢であり、炉の周辺からも同類のものが出土している。

<時期> 炉に使用されていた土器の特徴等から、縄文時代中期後葉に属すると考えられる。

#### R A 07-1 (新) (第20図 写真図版6)

<位置> 南区 L II 06, 11グリッド <検出状況> 水田耕作土下 V層上面で検出した。精査時は1棟の住居跡と認識していたが、床面で複式炉が2基検出されたことや、プランがだるま状になっていることや、写真などを検討した結果、2棟の住居跡の切り合いと判断した。そのため東側の複式炉に伴う新しい方をR A 07-1、西側の複式炉に伴う古いものをR A 07-2と登録しなおした。<重複> R A 08、15、28、29、RD39を切っている。<平面形・規模> 西半分はR A 07-2の床・壁と思われるため正確には分からないが平面形はほぼ円形、規模は5.1×4.8m程度と考えられる。<埋土> (R A 07-1とR A 07-2を含めて) 7層に区分した。暗褐色土～褐色土を主体とし、炭化物、焼土を含んでいる。なお、精査後に2棟の切り合いと判断したため、実際はR A 07-1と2を明確に区分することができるはずであるが精査時には区分することができなかった。しかし断面写真からははっきりとはないが、2棟の切り合いの様子が観察できるようである。このため実際は7層以上に区分されるはずである。<壁・床面> 壁は東側ではやや外傾して立ち上がる。西側については不明である。また壁高は残っている部分で48～56cmである。床面は地山であり堅く締まっている。<柱穴> R A 07全体では 合計10基検出されたがその中でP 1、4、6、8、10が支柱穴として考えられる。なおP 9、10はだめ押しの時に検出されたものである。<炉> 掘り込みはあるが石囲

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10
径cm	44×42	24×22	46×40	58×46	44×26	34×28	52×46	76×60	40×38	40×30
深さcm	68	44	54	45	26	20	30	14	41	48

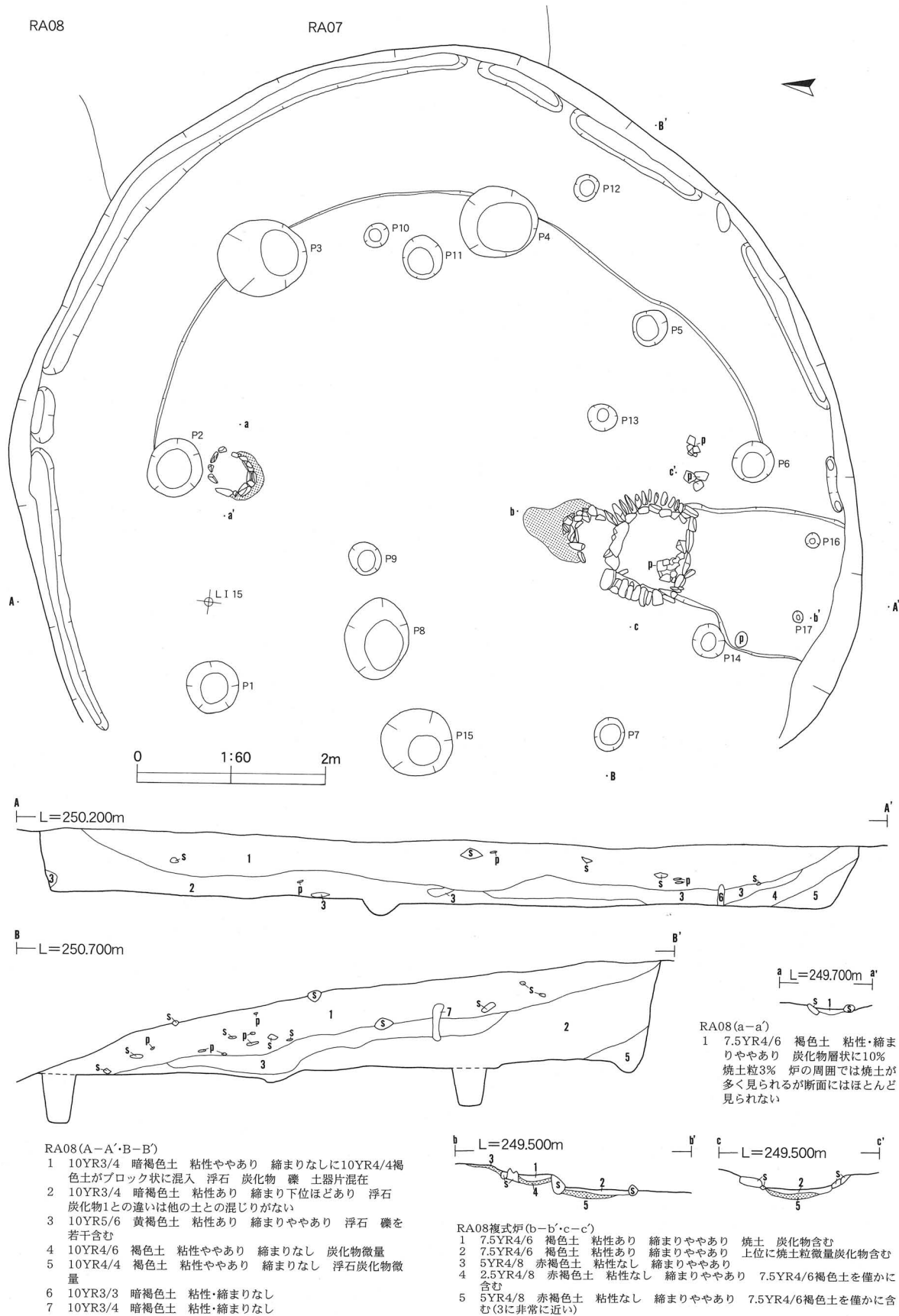
がない部分+石囲部+前庭部からなる複式炉を検出した。このうち掘り込み部と石囲部から焼土が検出されている。前庭部は非常にかたく締まっている。炉の規模は長軸170cm 短軸の最長は100cm程である。

(遺物) 略。R A 07-2での項で記載。遺物はR A 07として取り上げており、本遺構と確実に言える遺物は無い。

<時期> 重複関係、炉の形態から中期後葉～末期(大木9～10式期)と推定できる。なお遺物は埋土下位から大木10式のものも多く出土している。

#### R A 07-2 (古) (第20図 写真図版6)

<位置> R A 07-1より約1m西である。<検出状況>略 <重複関係> R A 08、29を切っている。R A 15とは重複している様であるが新旧関係は不明である。<平面形・規模> 東半分はR A 07-1に切られているが壁溝の一部が残っているため、平面形はほぼ円形、規模は5.0×4.5mと推定できる。<埋土>略 <壁・床面>壁はやや外傾して立ち上がり、壁高は残存している部分で約55cmである。床面はR A 07-1とほぼ同じであったと思われる。一部はR A 08の埋土を床としておりその部分はあまり締まってないが、その他の部分はかたく締まっている。全体的に平坦である。<柱穴> R A 07-2の柱穴としてはP 3、5、7、9、10のうちのいずれかが考えられる。<炉> 複式炉を検出した。検出時の形態は土器埋設炉+前庭部であるが、土器埋設炉+石囲部+前庭部であった可能性もある。埋設土器の北側により多く焼土が形成されており、



第21図 RA08竪穴住居跡



焼土も含めると長軸250cm、短軸の最長は170cm程になる。埋設土器は大木9式の深鉢胴部の一部である。

(遺物) (第158～160図 写真図版153)

101は炉埋設土器である。胴部だけであり大木9式でも新しいものようである。

<時期> 埋設土器から縄文時代中期後葉と考えられる。

#### R A 08 (第21図 写真図版7)

<位置> 南区 L I 15グリッド中心 <検出状況> 水田耕作土下 V層上面で検出された。西側には斜面があり、地山を検出していたため、そこから床面を検出し掘り進めた。当初は2棟の切り合いを想定していたが、床面レベルも変わらず、断面にも重複関係が見られないため1棟の住居跡と判断し精査した。

<重複関係> R A 21、29、RD39を切っているがR A 07-2 (古) には切られている。R A 19とも重複関係にあり新旧は不明だが検出状況からR A 08の方が新しいと思われる。 <平面形・規模> 西側の斜面の地形は自然地形ではなく後から削平されたものと考えられ、その際に西側の壁・床が削られて残っていない。しかし残存部から平面形はほぼ円形、規模は直径約9.2mと推定される。 <埋土> 暗褐色土を主体に8層に区分される。このうち埋土の上位には大量の土器片が含まれている。

<壁・床面> 壁・床面とも地山であり堅く締まっている。壁は壁溝から外傾して立ち上がり、壁高は削平された部分もあると思われるが、最も高い所で110cmある。床面は平坦であるが、P 2の北側からP 3、4、5の外側を通りP 6の東側まで半円状に約5～12cmの段差ができており、円の外側は一段高くなっている。この段差は建て替えの際に生じたものではなく、もともと住居内にあるいわゆるベッド状遺構ではないかと考えられる。 <柱穴> 計17基検出した。P 16と17は出入り口状の施設(例えばはしご)と思われる。

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10	P 11
径cm	57×54	64×58	94×80	84×76	40×38	44×42	36×32	88×68	36×32	28×24	46×42
深さcm	71	78	92	109	42	49	53	70	21	18	45

	P 12	P 13	P 14	P 15	P 16	P 17
径cm	30×24	32×30	38×34	77×71	16×16	14×12
深さcm	23	37	47	96	35	35

<炉> 複式炉と石囲炉を検出した。複式炉は石囲部+石囲部+前庭部からなり、長軸は約300cm、短軸の最長は120cmである。

焼土の発達は石囲部内側だけでなく外側にも広がり、前庭部に近い方の石囲部からは焼土面上位に多量の炭化物が検出された。住居北寄りの石囲炉の規模は径50cm程の円形で焼土の発達は薄く、むしろ外側に焼土が広がっている。

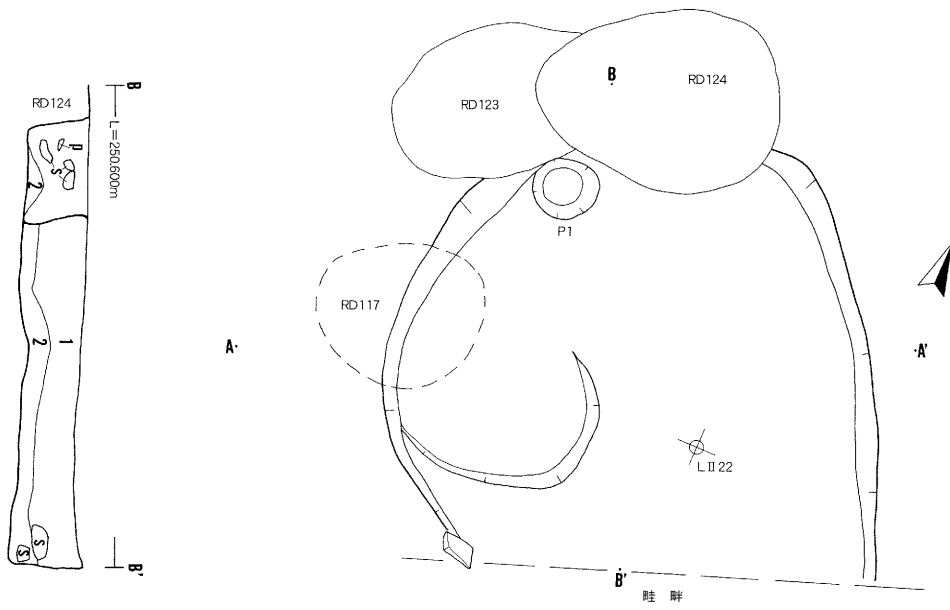
(遺物) (第161～167図 写真図版154～156)

埋土の量が多く、従って遺物の量も多量である。大木7 a 式、8 b 式、9 式の土器が出土しているが、流れ込みも多くあると思われる。182～186は斧状土製品である。これの出土は本遺跡では限られており、R A 31からも2点出土している。両遺構の共通点は径8 mを越す大型住居であること、大木9式の土器を伴い、複式炉を持つことである。

<時期> 炉の形態や重複関係から 縄文時代中期後葉と考えられる。

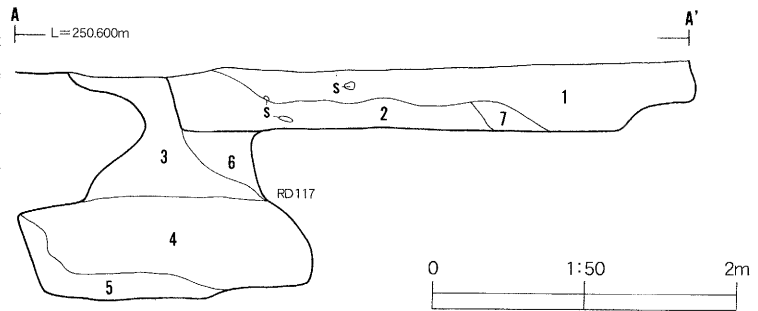
住居内に複式炉と石囲い炉を同時に持つ例は今のところ不明である。石囲い炉の近くに柱穴があることも、この石囲い炉が本遺構に伴うものかどうかという疑問が残る。しかし検出した時点では、このような形になった。本遺構構築以前に、床面を共有した小型の住居があったのかもしれないが、詳細は不明である。

RA09



RA09(A-A'-B-B')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり 炭化物 浮石少々含む
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物 10YR7/8黄橙色土含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 10YR7/8黄橙色土との混合土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物 浮石少々含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物含む
- 5 10YR5/8 黄褐色土 粘性ややあり 縮まりあり
- 6 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり(地山の崩落土)
- 7 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり



第22図 RA09竪穴住居跡

RA09 (第22図 写真図版8)

〈位置〉 南区 L II 16、21グリッド 〈検出状況〉 V層中で検出。より色の暗い暗褐色土のプランを検出したが、プランが明確でなく精査は難航した。実際にはもう少し上で検出されていたものと思われる。

〈重複関係〉 RD117、121を切り、RD123、124には切られている。また一部RA15と重複していると思われるが新旧は不明である。〈平面形・規模〉 南側は、水田への揚水パイプが埋設されており確認できないが揚水パイプの反対側には本遺構に続くプランが確認されていない。そのため平面形は円形もしくは楕円形。規模は長軸で最長でも3.8mを超えないと考えられる。〈埋土〉 1、2、7の3層に区別される。

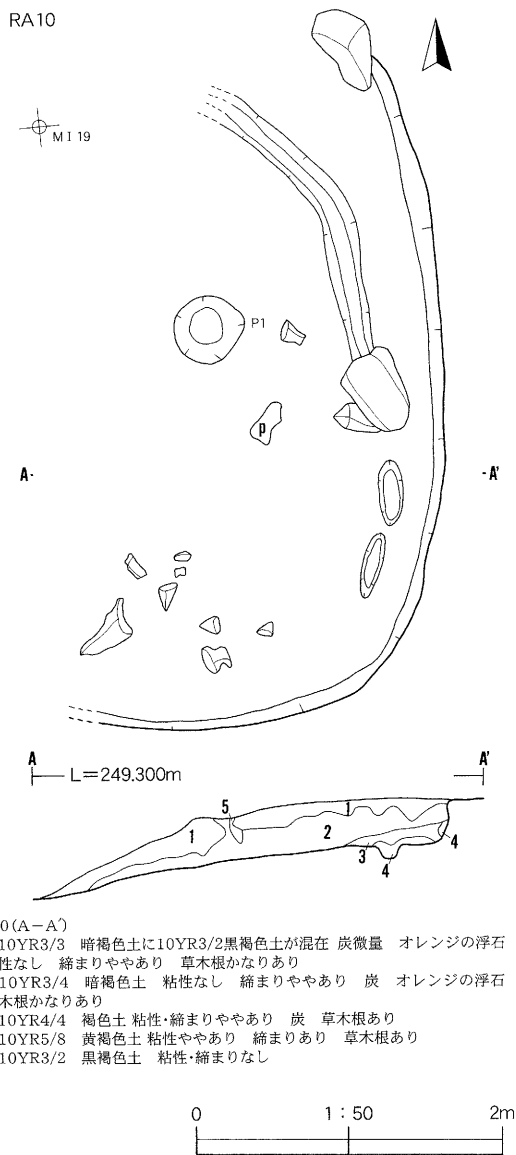
〈壁・床面〉 壁はやや外傾して立ち上がり、床も壁も地山であり堅く締まっているが他の住居と比べて、凹凸が目立つ。また住居の西側に径1m程度の半円状の段差がある。段差の上と下では最大で10cmの差があるが、これがどのような意味を持つのか不明である。なお、壁高は30~40cmである。

〈柱穴〉1基のみ検出された。径22×40cm、深さ55cm 〈炉〉 揚水パイプの側に焼土を若干ではあるが確認したが実測は行っていない。これが地床炉、あるいは石囲炉の一部になるかどうかは不明である。

(遺物) (第167・168図 写真図版156)

縄文時代中期の土器が出土している。

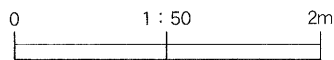
〈時期〉 不明であるが検出状況、出土遺物から縄文時代中期と思われる。



第23図 RA10竪穴住居跡

RA10(A-A)

- 1 10YR3/3 暗褐色土に10YR3/2黒褐色土が混在 炭微量 オレンジの浮石 粘性なし 縮まりややあり 草木根かなりあり
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 炭 オレンジの浮石 草木根かなりあり
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭 草木根あり
- 4 10YR5/8 黄褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 草木根あり
- 5 10YR3/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし



RA10 (第23図 写真図版9)

〈位置〉 南区 MI 19グリッド 〈検出状況〉 VI層(地山)で検出された。西側は斜面で削平をうけており不明である。〈平面形・規模〉 西側プランが削平により不明であるが、検出できた部分からは平面形は楕円形または隅丸方形状と推測される。規模は不明。

〈埋土〉 暗褐色土を主体に5層に区分した。

〈壁・床面〉 壁はやや外傾して立ち上がり、壁高は0~30cmである。床面は地山で平坦であるが、巨礫の一部が露出している部分もある。また、壁より20~50cm内側に壁溝がめぐる部分があり、この住居の拡張の可能性が考えられる。〈柱穴〉 検出できた範囲からは1基のみ検出された。径48×44cm、深さ37cm

〈炉〉 検出されなかった。(遺物) (第168図 写真図版157)

217は住居床からの出土。口縁部に原体圧痕を山形に配し頸部から胴部にかけて垂下隆帯をもつ。胴部は横位の綾織り文で、大木7b式と思われる。

〈時期〉 床面直上土器から縄文時代中期前葉(大木7b式期)と考えられる。

RA11 (第24図 写真図版10)

〈位置〉 南区 K II 11、12グリッド 〈検出状況〉 時期不明の土坑RD32の精査中に炉の一部を確認しそこから壁・床を検出した。検出面はIV層

中であるがプランの検出状況はあまり明確ではない。〈平面形・規模〉 平面形はやや楕円形。規模は約4.3×3.8m。〈埋土〉 2層に区分した。〈壁・床面〉 壁は外傾し、壁高は約20cmである。床面は炉から判断したが縮まりはない。〈柱穴〉 検出されていない。〈炉〉 石囲炉を検出した。残存値で径60cm強の方形かと思われる。焼土は厚さ約5cmである。

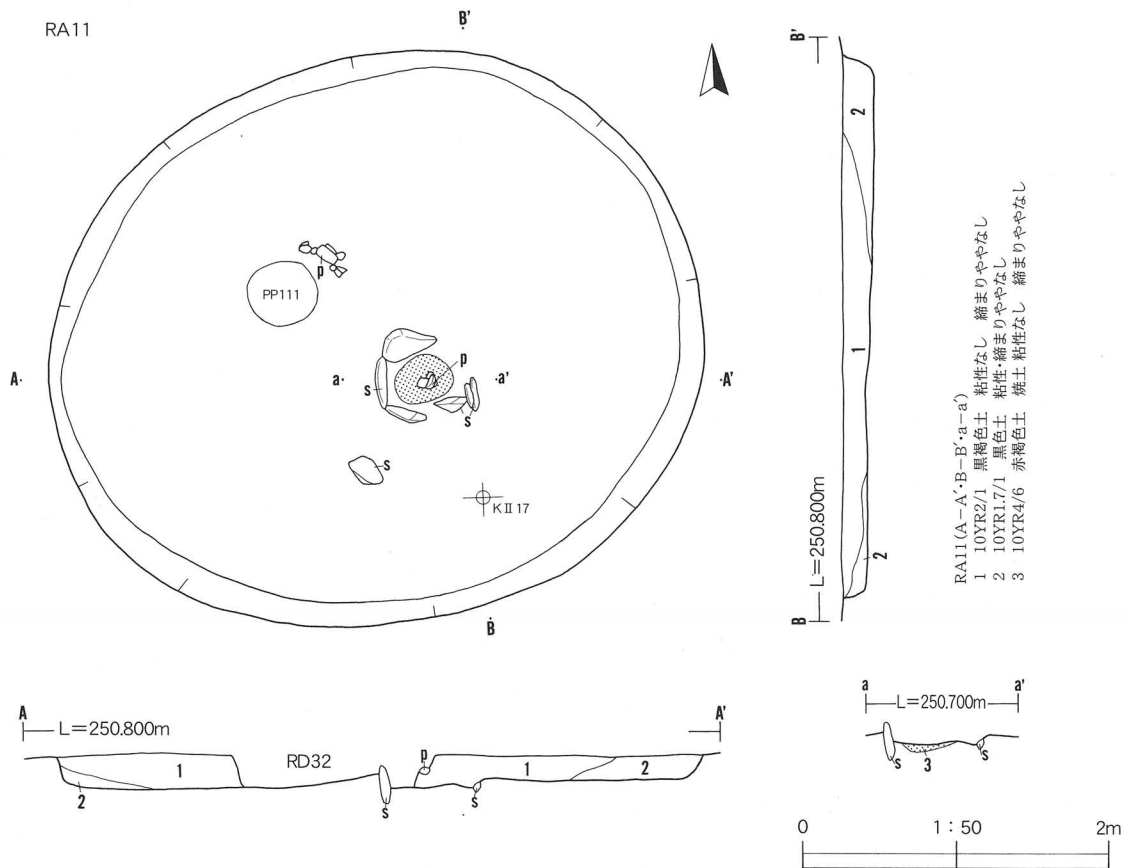
(遺物) (第169図 写真図版157)

縄文土器は 大木8b~9を中心に出土している。223は床出土、隆沈線で渦巻、縣垂文を描く。225、226は炉及び焼土から出土した。床面出土土器は大木8b式(大木8b式の中でもかなり新しい方だと考えられる。)

〈時期〉 床面出土土器から縄文時代中期中葉~後葉と推定される。

RA13 (第25図 写真図版11)

〈位置〉 南区 K I 20、25グリッド 〈検出状況〉 IV層 黒色土中で検出した。精査時に立ち上がりがかからず、西側の壁は掘りすぎて残っていない。〈平面形・規模〉 平面形は円形。規模は約4.2×4.1m



第24図 RA11竪穴住居跡

〈埋土〉 5層に区分したが5は埋土ではなく壁であった可能性が高い。また、埋土はほとんどが遺構構築時の排土と考えられ、炭化物や焼土が混入している。〈壁・床面〉 壁・床面とも基本的には黒色土であるが、西側はあまり明確ではない。壁高は10～35cm程度である。また床面はほぼ平坦でやや縮まっている。〈柱穴〉 検出されず。〈炉〉 住居中央からやや南寄りに石囲炉を検出した。当初は複式炉を想定したが、石囲炉南側の礫は埋め込まれたものではなく前庭部にはならないと判断した。焼土層は6cm程度である。(遺物) (第169～172図 写真図版157、158)

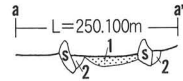
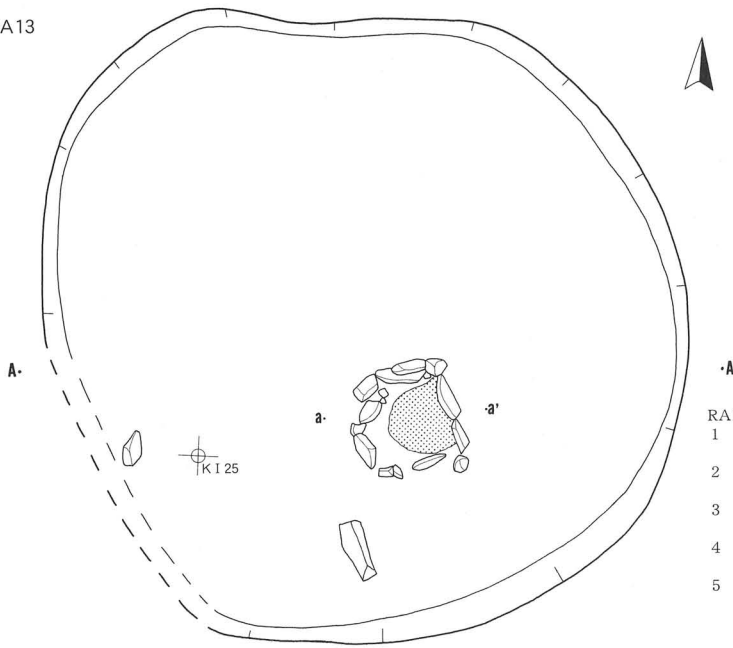
埋土の量はそれほど多くはないが多種の土器が出土している。231は大木9式、233は大木7a式と思われる。他に円筒下層d式、最花式、240は胴部破片で不整撚り糸文が施され本遺跡では唯一のものである。

〈時期〉 土器は大半が縄文時代前期末～中期前葉である。埋土自体が近くの遺構構築時の排土と思われるため住居の時代を特定する根拠に乏しいが、周辺の遺構よりは古く、縄文時代中期前葉の可能性がある。

#### RA14 (第26図 写真図版12)

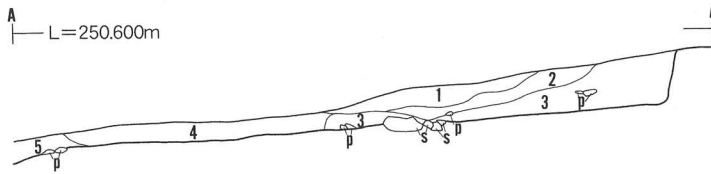
〈位置〉 南区MI15、MII11グリッド 〈検出状況〉 V層中にトレンチを入れたところ、石囲炉を検出した。その炉石付近を床として広げると円形状となり、住居跡と判断したが南側、東側はプランを把握できなかった。〈重複関係〉RD74、110を切っている。〈平面形・規模〉 検出できたのは半分程度であるが、平面形は円形か、楕円形状で、規模は径3m前後と思われる。〈埋土〉 3層に区分したが、3は埋土ではなく壁の立ち上がりと思われる。〈壁・床面〉 壁・床面ともV層中である。壁の立ち上がりはあまり明瞭でないが外傾するようである。壁高は0～7cm。床はほぼ平坦でやや縮まっている。〈柱穴〉 7基検出。

RA13



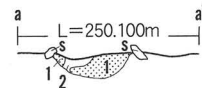
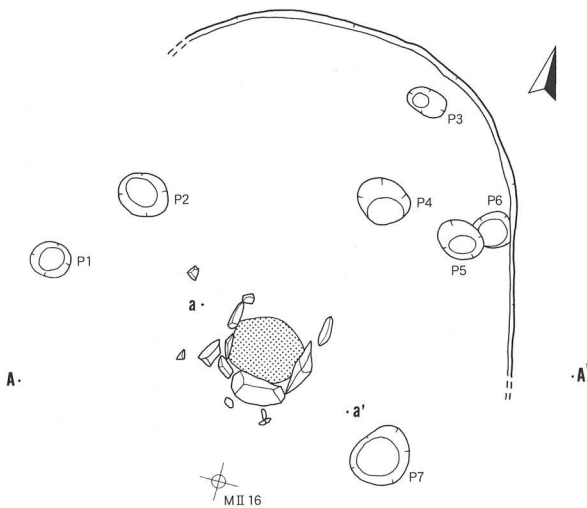
- RA13(a-a')
- 1 7.5YR4/3 褐色土 焼土 粘性・縮まりややなし
  - 2 10YR2/1 黒色土 粘性なし 縮まりややあり

- RA13(A-A')
- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりあり 浮石 炭化物微量
  - 2 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりかなりあり 浮石少量
  - 3 10YR3/2 黒褐色土 粘性ややなし 縮まりややあり 土器 炭化物混入
  - 4 5YR2/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり 焼土粒 炭化物多量
  - 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりややなし 土器片混入



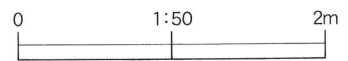
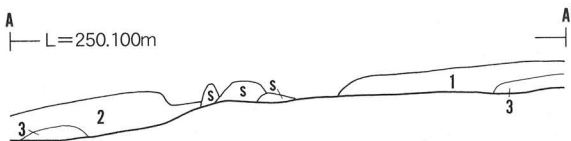
第25図 RA13竪穴住居跡

RA14



- RA14(a-a')
- 1 2.5YR5/8 明赤褐色土 焼土 粘性なし 縮まりややあり
  - 2 7.5YR3/4 暗赤褐色土 粘性・縮まりややなし 炭化物混入 攪乱

- RA14(A-A')
- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石
  - 2 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 土器片 礫あり
  - 3 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり



第26図 RA14竪穴住居跡



	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7
径cm	27×23	34×29	26×17	35×30	31×24	26×25	42×35
深さcm	26	19	25	30	33	15	29

重複する住居跡がないため、何れも本遺構のものと考えられる。

<炉> 住居中央部と思われる場

所で石囲炉が検出された。礫が一部欠落するが径60cm程と思われる。焼土の発達をよく、厚さは最大で15cm程。

(遺物) (第172、173図 写真図版158)

出土遺物の量が少なく、6点のみの掲載である。259は円盤状土製品、261は両面使用のくぼみ石である。

<時期> 重複関係から縄文時代中期前葉以降と推測できるがこれ以上は不明である。

#### RA 15 (第27図 写真図版13)

<位置> 南区 L II 12グリッド中心 <検出状況> RD19の底から炉の一部を検出した。当初プランが不明確であったため、炉直前の深さまで掘り下げて床面を検出後に壁を出していく方法をとった。プランが大規模になったため、重複する遺構を気づかず削平してしまった可能性が高い。<重複関係> 床面に検出されている土坑群(RD55、57、66、80、85、111、112、114、115、118)を切るが、RA07、28、RD42には切られている。<平面形・規模> 壁・床の一部をRA07、28に切られているが、壁溝が残っているため、平面形は南北にやや長い楕円形、規模は9.3×8.5mと推定できる。<埋土> 16層に細分される。また全てが本遺構の埋土ではなく、そのうちのいくつかは単独の遺構の埋土である可能性が非常に高い。<壁・床面> 壁は外傾して立ち上がり、残存している部分で壁高は34～80cmである。床面は地山であり堅く締まっているが、重複している部分は締まりがややある程度である。<柱穴> 合計18基検出した。このうちだめ押しで検出したのはP6～8、10、11の5基である。なお12～18の7本は炉に付随したものと考えられる。またP4と11やP1などに重複関係が見られることから最低1回の建て替えが行われたと思われる。

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10	P 11
径cm	79×58	60×47	87×81	70×62	42×32	33×30	56×50	54×49	61×43	40×37	28×?
深さcm	57	57	71	58	68	10	37	61	49	29	55

	P 12	P 13	P 14	P 15	P 16	P 17	P 18
径cm	45×37	44×38	22×16	26×21	26×18	33×27	42×28
深さcm	32	20	10	25	26	42	70

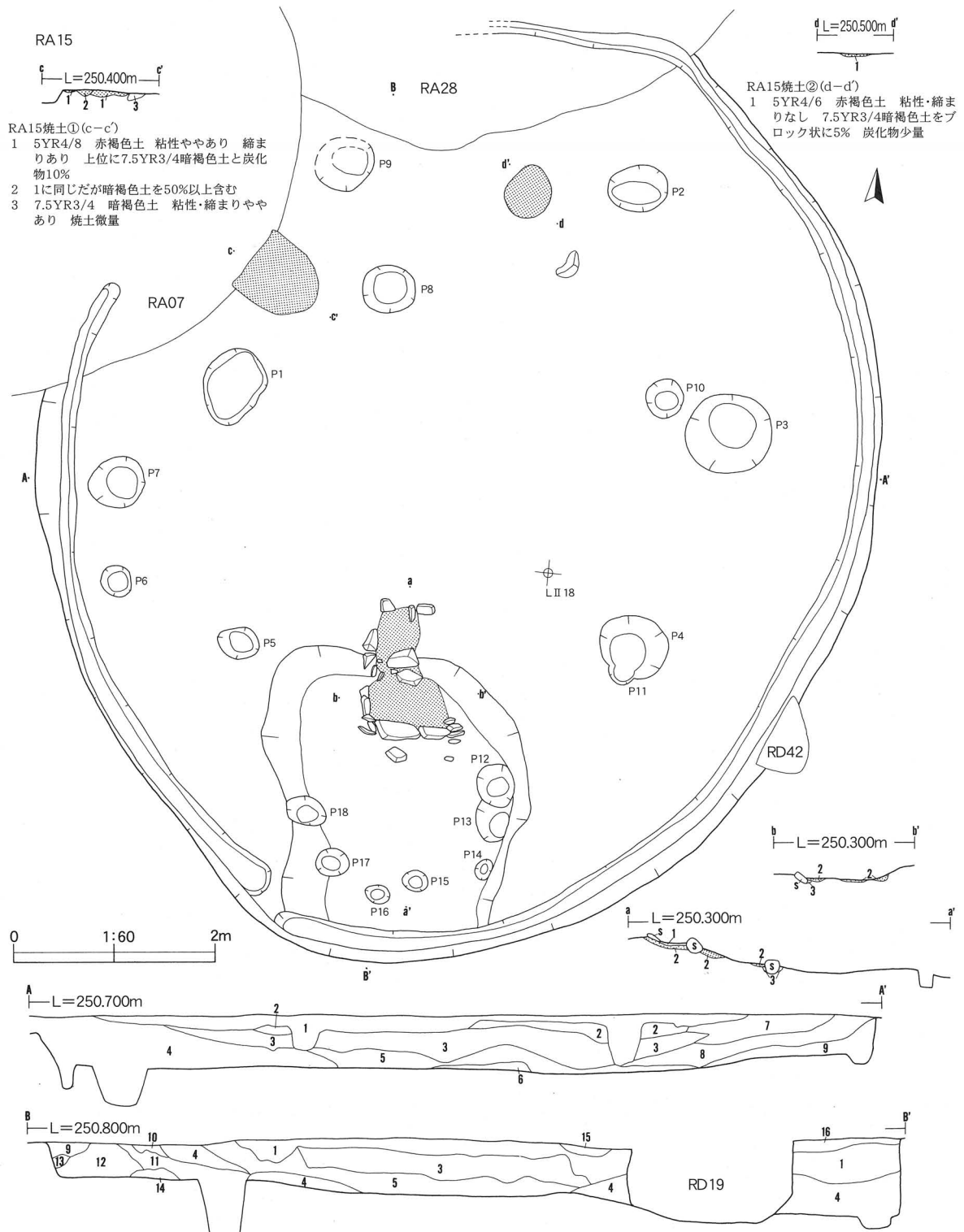
<炉> 複式炉1基と地床炉と思われる2基(焼土径70と50cm)、計3基を検出した。複式炉は、

住居の南側に位置しており、石を欠く部分もあるが、石囲部+石囲部+前庭部の構造をもっている。特徴としては中央の石囲部が北側のそれより一段低くなっており、掘り込みの前庭部の一部に組み込まれたような構造になっていることである。規模は長軸で330cm、短軸最長で250cmとかなり大形である。特に前庭部が大きく、ここだけで270×250cmある。また前庭部の低くなる所で柱穴状のピットを7基検出しており、性格は不明であるが形は長方形に近い。主柱穴の一部あるいは出入口状施設の一部であろうか。北側に地床炉と思われる焼土が2基検出されたが、1基は住居の北西寄りにあった。RA07に切られているが、平面形は残存部で75×70cmの楕円形であったと思われ、厚さはおよそ6cmである。良く焼けた赤褐色土で堅く締まっている。住居の北東寄りで見出されたもう1基は50×40cmの範囲で不整に広がり、厚さは3cm程度である。先の焼土に比べると締まりもなく薄いため現地性ではなく廃棄されたものである可能性もある。

(遺物) (第173～175図 写真図版158)

縄文時代中期の土器が出土している。埋土下位～床面の土器はほとんどが大木9式である。

<時期> 重複関係や炉の形態から縄文時代中期後葉と推定される。本遺構の上位にもう1棟住居の可能性。



RA15  
 c-c' L=250.400m

- RA15焼土①(c-c')
- 1 5YR4/8 赤褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 上位に7.5YR3/4暗褐色土と炭化物10%
  - 2 1に同じだが暗褐色土を50%以上含む
  - 3 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 焼土微量

RA15焼土②(d-d')

- 1 5YR4/6 赤褐色土 粘性・縮まりなし 7.5YR3/4暗褐色土をブロック状に5% 炭化物少量

RA15(A-A'・B-B')

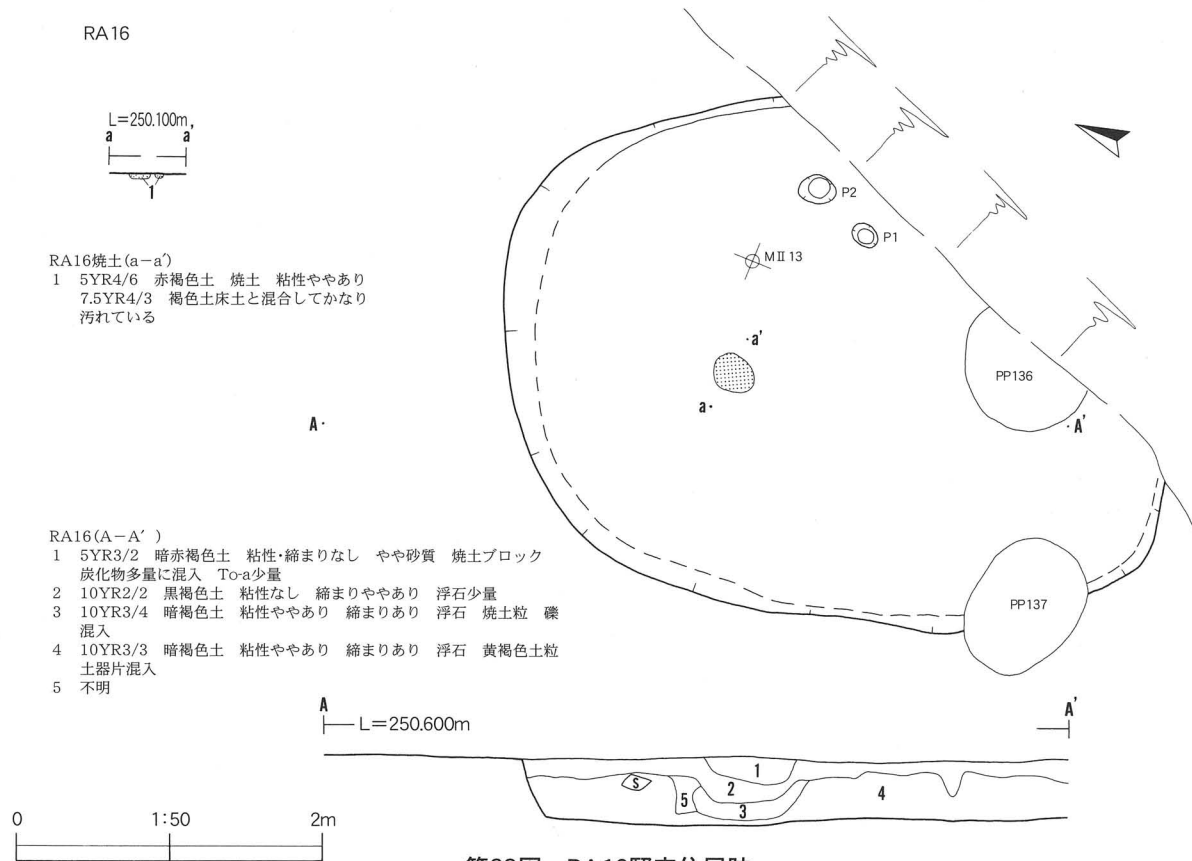
- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石
- 2 1に10YR5/6 黄褐色土をブロック状に含む 浮石
- 3 1と10YR2/2 黒色土の混合 上位に10YR5/6を筋状に含む
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石はあるが炭化物なし
- 6 10YR3/3 暗褐色土に10YR5/6黄褐色土が混合
- 7 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石 炭化物少量
- 8 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石 炭化物少量
- 9 10YR4/4褐色土 粘性・縮まりややあり

- 10 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 10YR5/6黄褐色土をブロック状に含む
- 11 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 浮石 炭化物
- 12 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 浮石 炭化物10YR5/6黄褐色土が混在
- 13 10YR4/4 褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合
- 14 10YR5/6 黄褐色土 粘性ややあり 縮まりあり
- 15 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石微量
- 16 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりややありに10YR2/1黒色土と10YR4/4褐色土が混合 浮石微量

RA15複式炉(a-a'・b-b')

- 1 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり
- 2 5YR4/6 赤褐色土 焼土 粘性なし 縮まりややあり
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりあり

第27図 RA15竪穴住居跡



RA16



RA16焼土(a-a')

- 1 5YR4/6 赤褐色土 焼土 粘性ややあり
- 7.5YR4/3 褐色土床土と混合してかなり汚れている

RA16(A-A')

- 1 5YR3/2 暗赤褐色土 粘性・縮まりなし やや砂質 焼土ブロック 炭化物多量に混入 To-a少量
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石少量
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 焼土粒 礫混入
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 黄褐色土粒 土器片混入
- 5 不明

第28図 RA16竪穴住居跡

RA16 (第28図 写真図版14)

〈位置〉 南区 MII07、12グリッド 〈検出状況〉 V層上面で検出。東側は調査区域外に延びるため不明。また、ベルトを南北に設定し、両側から掘り始めたが、東側が地山を床面にしていたため、西側も同じであろうと考えた結果下位の住居RA17まで掘り込んでしまった。このため西側の床面は不明である。

〈重複関係〉 RA17の上であり、本遺構が新しい。〈平面形・規模〉 検出した部分から平面形はやや楕円形と推測される。規模は長軸4m以上になる。〈埋土〉 4層に区分される。〈壁・床面〉 壁は外傾して立ち上がり、壁高は25~28cmある。床面は平坦である。縮まりは場所によって違いがある。

〈柱穴〉 2基検出したがいずれも小さく、住居の柱穴となり得るかどうかは不明である。〈炉〉 地床炉と思われる焼土を検出した。しかし焼土はごくわずかしが形成されておらず、30×22cmの範囲に厚さ3cm程度あるのみである。

	P 1	P 2
径cm	19×14	25×19
深さcm	12	16

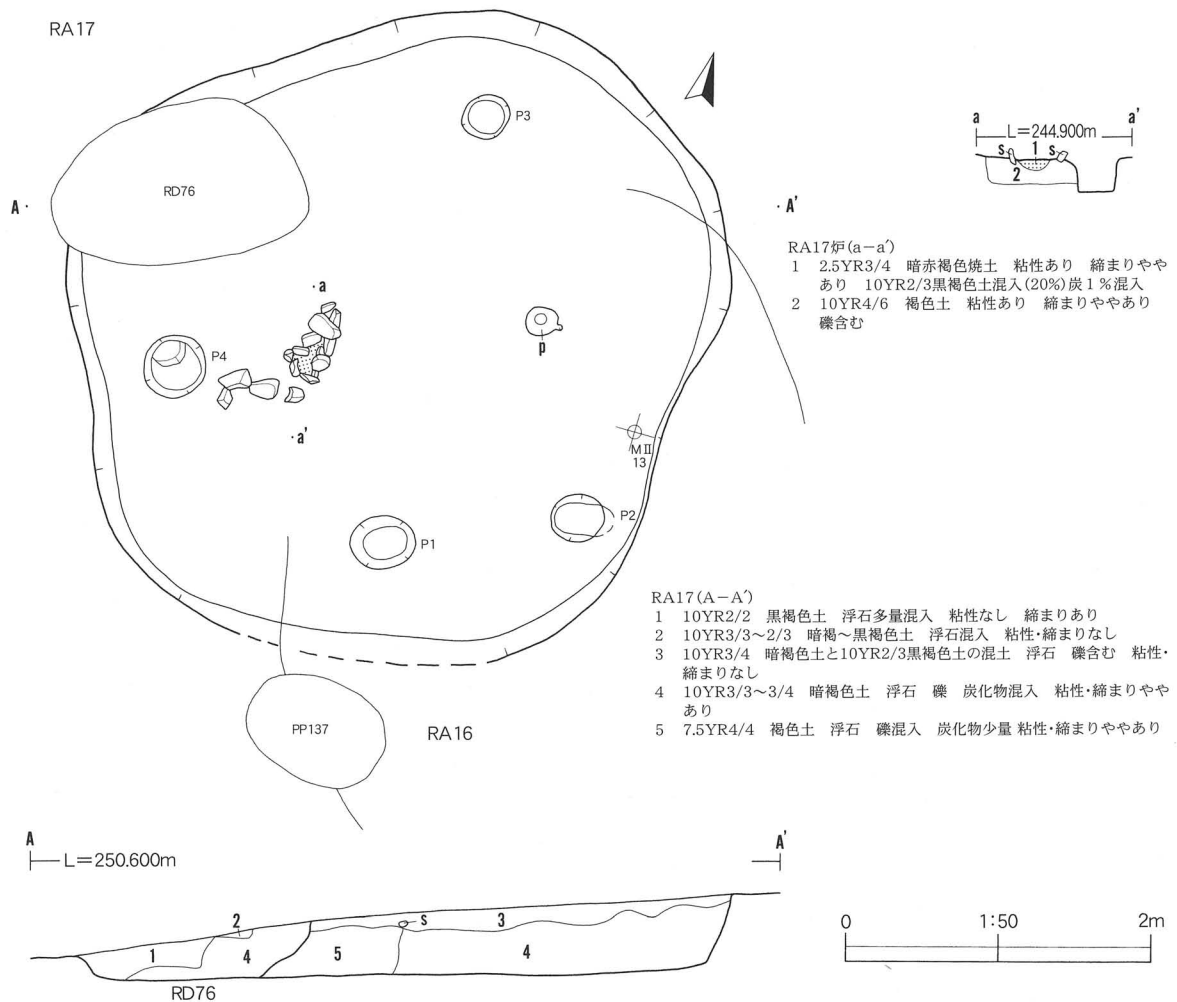
(遺物) (第175、176図 写真図版159)

281は本遺跡では出土数の少ない大木10式、282、288は後期初頭のものである。

〈時期〉 重複関係から少なくとも縄文時代中期末葉(大木10式)から同後期初頭までの間と考えられる。

RA17 (第29図 写真図版15)

〈位置〉 南区 MII07、12グリッド 〈検出状況〉 RA16の精査中に掘りすぎた断面ベルトから検出、またRA16床面にもプランは見えていた。このため本来はV層中で検出できていたものと考えられる。



第29図 RA17竪穴住居跡

＜重複関係＞ RD44を切るが、RA16、RD76には切られている。＜平面形・規模＞ 平面形は五角形組みであり、規模は径4.0~4.5mである。＜埋土＞ 6層に区分した。そのうち1、2、4はRD76の埋土である。＜壁・床面＞ 壁はややゆるやかに外傾しており、壁高は12~55cmである。床面は地山で堅く締まっている。＜柱穴＞ 4基検出した。＜炉＞ 石囲炉の一部と思われるものを検出した。炉石は半円状に残り焼土はごくわずかに石囲いの内側に見られるのみである。

	P 1	P 2	P 3	P 4
径cm	43×36	35×31	33×28	43×40
深さcm	50	67	26	28

(遺物) (第177、178図 写真図版159)

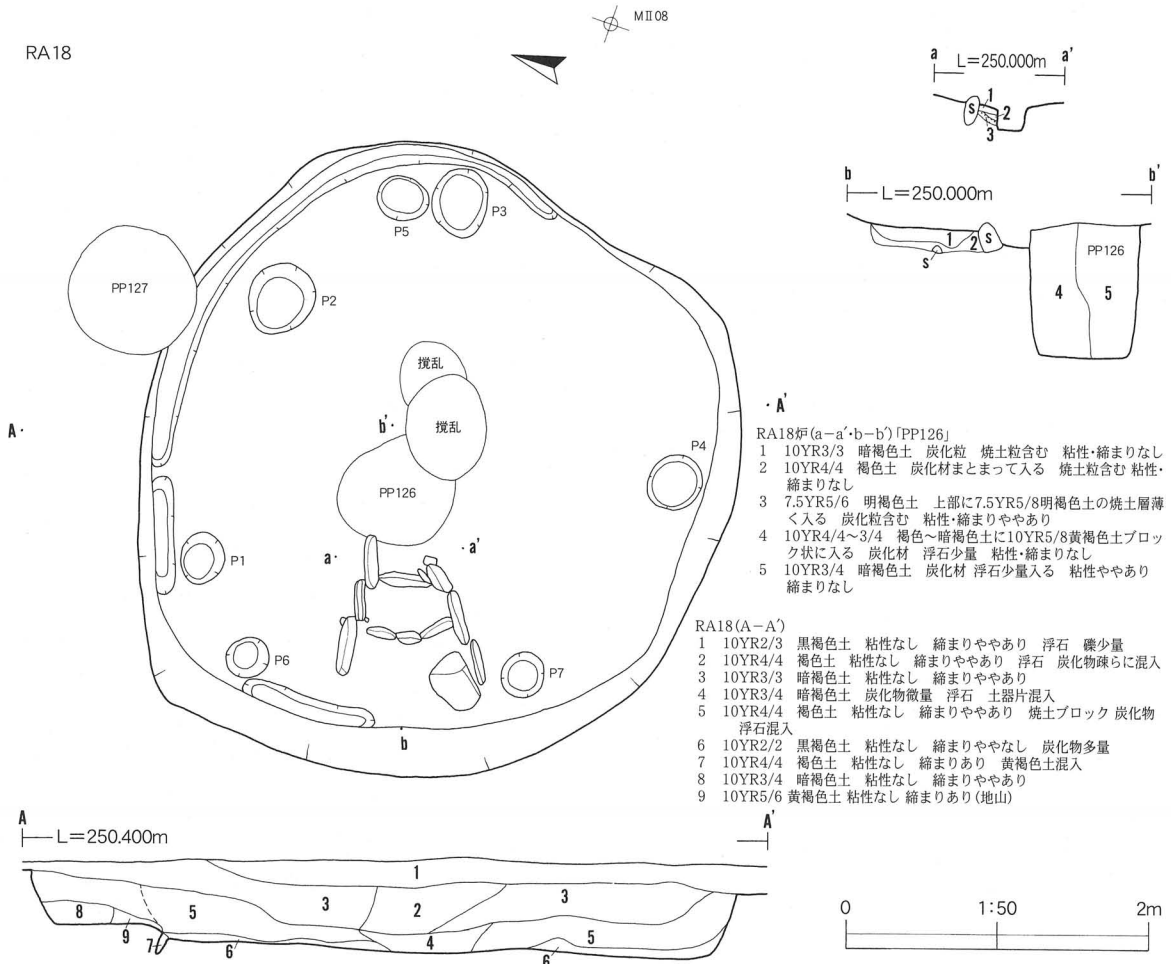
291は床面出土の大木10式の注口土器である。

＜時期＞ 床面出土遺物から縄文時代中期末葉(大木10式期)と推定できる。

RA18 (第30図 写真図版16)

＜時期＞ 南区 MII02グリッド中心 <検出状況> V層上面で検出した。＜重複関係＞ RD41、87、

RA18



第30図 RA18竪穴住居跡

62を切るが 柱穴群には切られている。〈平面形・規模〉 平面形はほぼ円形、規模は径4.2×3.9mである。〈埋土〉 9層に区分したが そのうち2、4はこの住居を切る柱穴の埋土の可能性が高い。〈壁・床面〉 壁・床ともV層の土である。壁はややゆるやかに外傾し、壁高は35~45cmである。また、住居の北側半分に壁溝が検出された。床面上には炭化材や焼土粒が多量に広がっており焼失住居であった可能性もある。床面はほぼ平坦である。

〈柱穴〉合計7本検出された。すべて壁寄りである。〈炉〉 複式炉を検出した。石囲部だったと思われる部分は、新しい柱穴により破壊され半分程しか残存しない。構造は石囲部+石囲部+前庭部である。

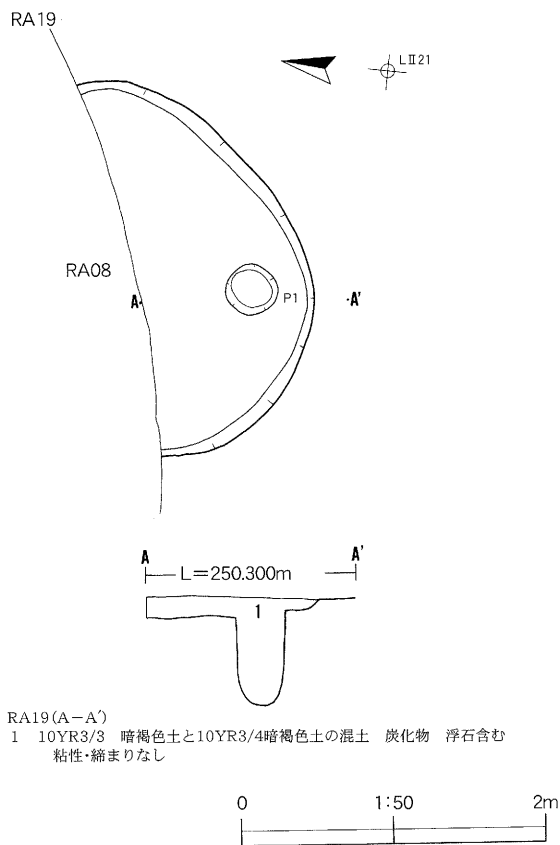
焼土は東側の石囲部にわずかに残っている程度で長期間使用されたとは考えにくい。

(遺物) (第178図 写真図版159)

300は大木10式の浅鉢と思われる。301、302は無文に沈線で曲線を描く後期初頭もの。他は破片である。

〈時期〉 炉の形態と出土遺物から縄文時代中期末葉(大木10式期)と思われる。





第31図 RA19竪穴住居跡

RA19 (第31図 写真図版17)

〈位置〉 南区 LI20グリッド 〈検出状況〉 V層上位で検出した。また、RA08の壁にも床面及び立ち上がりが確認できた。〈重複関係〉 RA08と重複しているが新旧は不明である。ただし検出状況、出土遺物を検討すると本遺構の方が古いと考えられる。〈平面形・規模〉 検出できたのは半分程だが、そこからは平面形は円形と推測でき、また規模は直径2.5m程と考えられる。

〈埋土〉 暗褐色土の単層。〈壁・床面〉 壁はややゆるやかに外傾し、壁高は残っている部分で2~10cmである。床面はV層で平坦であるが縮まりはあまりない。〈柱穴〉 1基のみ検出された。径35×34cm、深さ62cm 〈炉〉 検出されず。

(遺物) (第179図 写真図版160)

小片である。310は木目状撚糸文でこの文様は本遺跡では円筒下層d式に多く見られるものである。

〈時期〉 RA08よりは古いと考えられるのだが確証はなく、時期は不明である。ただし縄文時代中期前葉~後期初頭の間には収まるであろう。

RA20 (第32図 写真図版18)

〈位置〉 南区 MI05グリッド 〈検出状況〉 V層 暗褐色土中で検出された。平面プランの中央部付近から下げ、炉と焼土を検出し、その後壁を出す方法をとった。西側は斜面、および攪乱により壁・床とも不明である。〈重複関係〉 RA22と重複し、壁の一部を切っているため本遺構が新しい。また、RD46を削平しており本遺構の方が新しい。〈平面形・規模〉 西側のプランが不明だが、平面形は円形もしくは楕円形と推測される。規模は不明。〈埋土〉 暗褐色土の単層である。西側の層は攪乱によるもの。

〈壁・床面〉 壁は外傾して立ち上がり、壁高は残っている部分で5~16cmである。床面は平坦でやや縮まっている。〈柱穴〉 検出されなかった。〈炉〉 住居中央部?に石囲の一部と思われる礫と焼土があり、またそこからすぐ東側にも地床炉と思われる焼土が検出された。本来は複式炉であった可能性もある。

(遺物) (第179図 写真図版160)

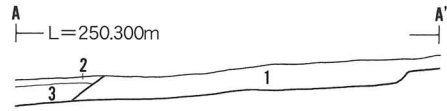
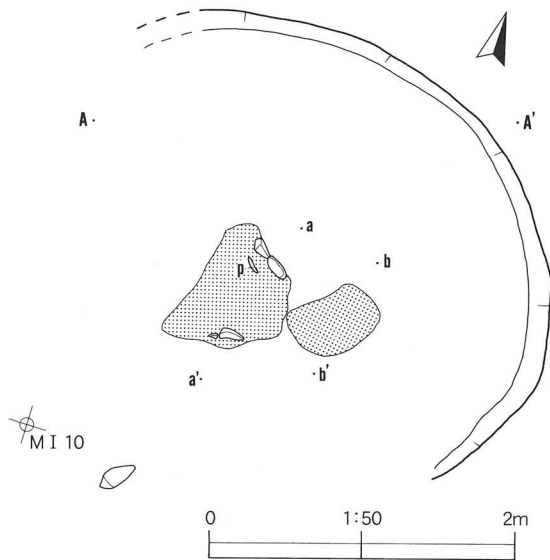
縄文土器片と磨製石斧の欠損品が出土している。

〈時期〉 出土遺物からの時期決定は難しいが、重複関係から縄文時代中期後葉~後期初頭の間と思われる。

RA21 (第33図 写真図版17)

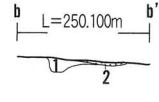
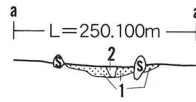
〈位置〉 南区 LI10グリッド 〈検出状況〉 V層中で検出できたと思われるが平面プランは明確には把握できなかった。そこでRA08の壁に現れた床面と思われる部分を広げていったのだが、その際北側については立ち上がりが分からず掘りすぎてしまったうえ西側は斜面によって削られているため、結果として東壁の一部しか検出できなかった。〈重複関係〉 RA23、29を切り、RA08には切られる。

RA20



RA20(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 小礫混入 粘性・縮まりややなし
- 2 10YR4/4 褐色土 盛土
- 3 10YR2/2 黒褐色土 盛土



RA20炉(a-a')

- 1 2.5YR5/8 明赤褐色土 焼土 粘性なし 縮まりややなし
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりなし

RA20焼土(b-b')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石 炭 少々含む
- 2 2.5YR5/6 明赤褐色土

第32図 RA20竪穴住居跡

〈平面形・規模〉 いずれも不明。〈埋土〉 7層に区分したが このうち5、6は柱穴の埋土である。〈壁・床面〉 東壁は地山で北壁は黒色土であったようである。ややゆるやかに外傾して立ち上がり、壁高は残っている東壁で18~28cmである。床面は地山であり、平坦でやや堅く締まっている。〈柱穴〉 住居に伴うと思われる柱穴が2基、可能性のあるのが1基の計3基

	P 1	P 2	P 3
径cm	25×22	44×38	44×39
深さcm	35	31	25

検出した。  
なお、この付近には

高密度で住居跡が重複し、できるだけ床面での柱穴検出に努めたが、結果としてしだめ押しの際に39基の柱穴を検出した。これらの柱穴と住居との帰属関係は推測の域を出ない。関係ある住居は合計6棟で単純に考えると1棟当たり平均6.5基の柱穴を持つ計算である。住居の建て替えも含めて帰属関係は残念ながら不明である。

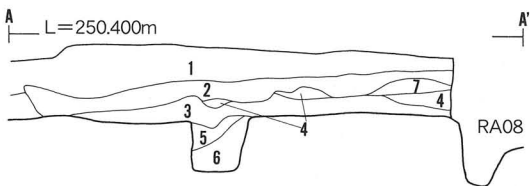
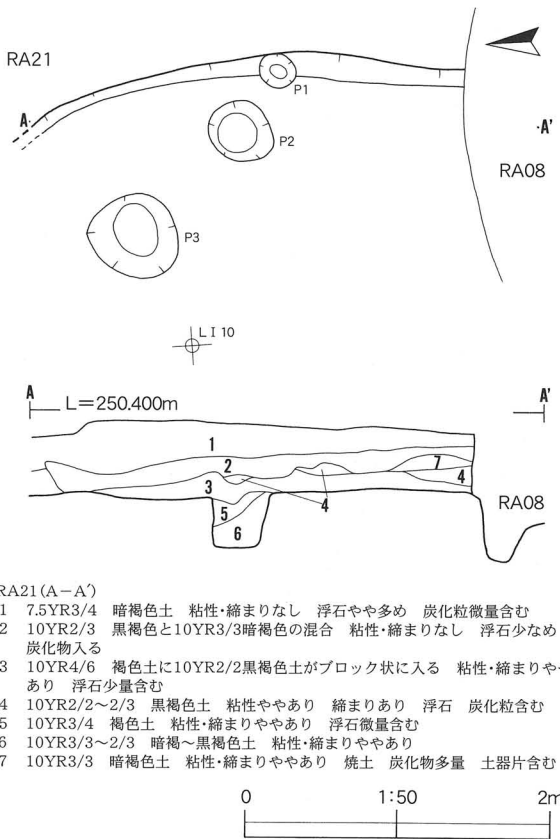
〈炉〉 検出されず。

(遺物) (第179図 写真図版160)

320は滑石製の石製品で縦に溝が走っている。本来は縦孔をもつものが、半分を欠損したものらしい。

〈時期〉重複関係から縄文時代中期後葉と推定。

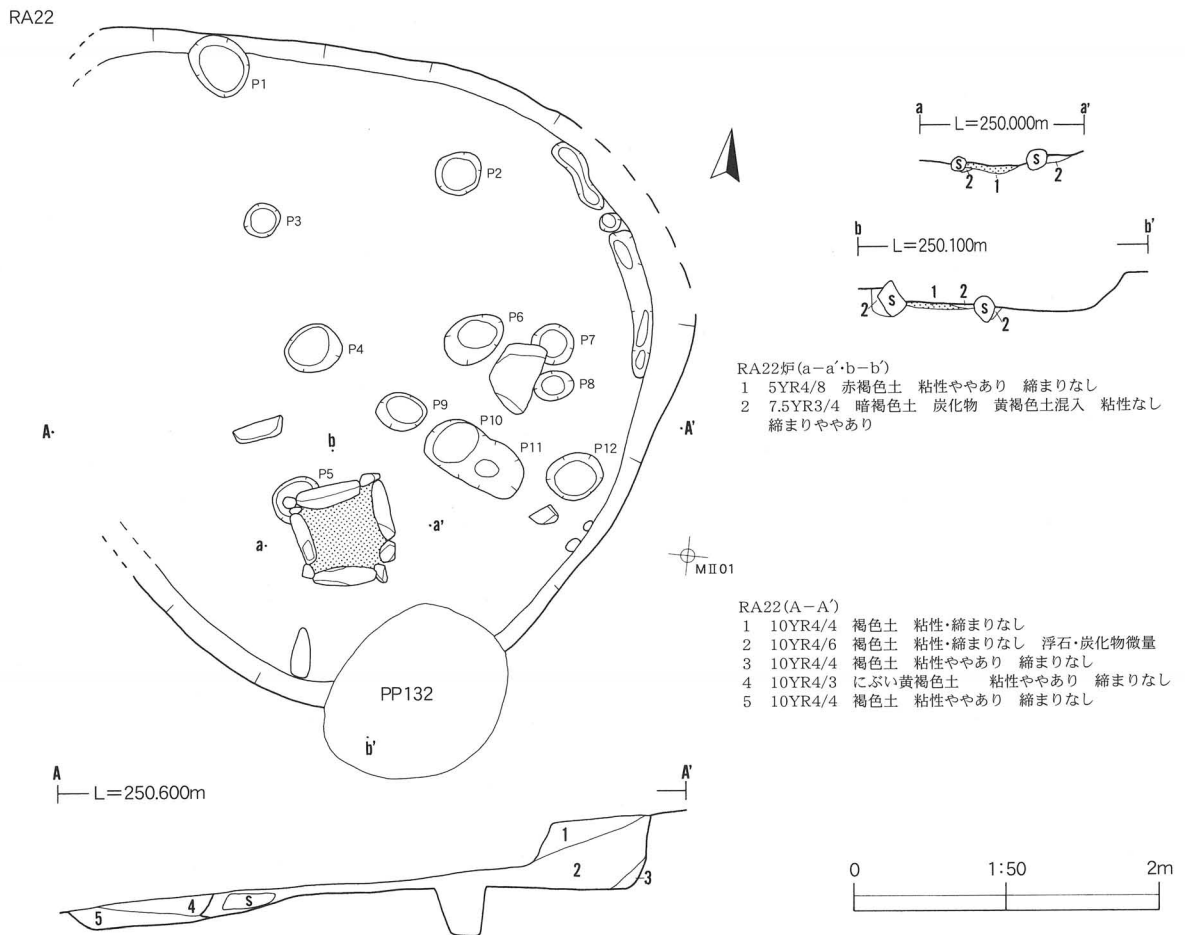
RA21



RA21(A-A')

- 1 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 浮石やや多め 炭化粒微量含む
- 2 10YR2/3 黒褐色と10YR3/3暗褐色の混合 粘性・縮まりなし 浮石少なめ炭化物入る
- 3 10YR4/6 褐色土に10YR2/2黒褐色土がブロック状に入る 粘性・縮まりややあり 浮石少量含む
- 4 10YR2/2~2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化粒含む
- 5 10YR3/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む
- 6 10YR3/3~2/3 暗褐~黒褐色土 粘性・縮まりややあり
- 7 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 焼土 炭化物多量 土器片含む

第33図 RA21竪穴住居跡



第34図 RA22 竪穴住居跡

RA22 (第34図 写真図版19)

〈位置〉 南区 LI 25グリッド 〈検出状況〉 V層上面から1.0×0.5mのトレンチを入れ、平面プランの一部を検出した。検出はV層中。南隣のRA20同様に西側は攪乱、斜面により壁・床とも不明であった。

〈平面形・規模〉 西側のプランは不明だが、平面形はほぼ円形、規模は直径およそ4.5mと推定される。

〈埋土〉 5層に区分した。1～3は埋土であるが、4と5は攪乱によるものと思われ、遺構の埋土ではないと考えられる。〈壁・床面〉 壁は外傾して立ち上がり、壁高は残存部で4～53cmである。床面は地山であり堅く締まり平坦である。また住居東側の一部にのみ壁溝が見られる。〈柱穴〉 床面検出時点ではなく、

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10	P 11
径cm	42×30	32×29	23×22	38×32	33×28	42×32	28×25	25×20	32×25	35×34	34×34
深さcm	51	27	51	63	45	31	19	43	27	32	49

だめ押しの際に計12基検出した。そのうちの1基は炉石の下から検出されており、建て替え（炉の作り替え）の可能性がある。〈炉〉 石囲部+前庭部からなる複式炉を検出した。石囲部は礫を四角に組み、焼土は石囲部内のみ形成され、厚さ4cm程。前庭部は非常に堅く締まる。

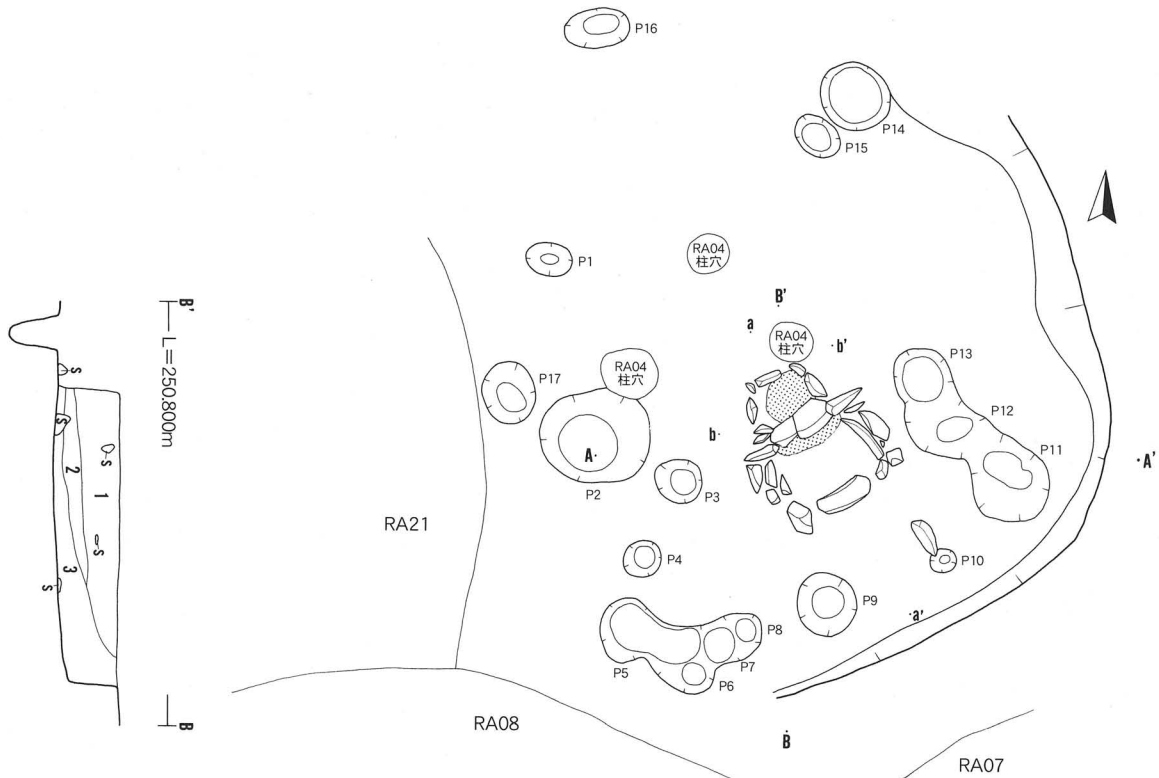
(遺物) (第179、180図 写真図版160)

出土遺物の大半は大木9式のものである。

〈時期〉 出土遺物、炉の形態から縄文時代中期後葉（大木9式期）と推定される。

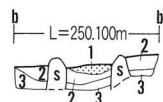
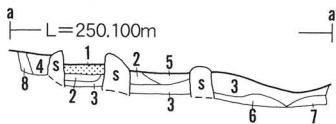
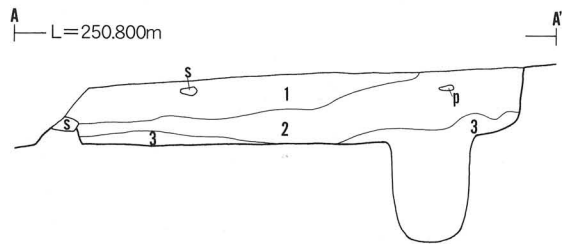
P 12
38×32
11

RA23



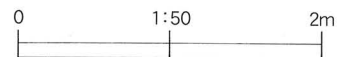
RA23(A-A'・B-B')

- 1 10YR3/4 暗褐色土に10YR4/6褐色土がブロック状に少量入る 粘性なし 縮まりややあり 炭化材少量 浮石 礫含む
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり 炭化材 浮石の細粒 焼土少量 礫 土器片含む
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 炭化材微量 浮石含む



RA23 炬 (a-a'・b-b')

- 1 5YR4/8 赤褐色焼土 粘性・縮まりなし
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 5YR4/8赤褐色焼土粒 散在
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 10YR5/8黄褐色土粒 散在
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化材含む
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりなし 浮石微量含む
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりなし 浮石含む(6層より粗粒)
- 8 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む(地山)



第35図 RA23 竪穴住居跡

R A 23 (第35図 写真図版20)

〈位置〉 南区L I 05グリッド中心 〈検出状況〉 V層上面で検出できたようだ。南側は比較的明確な床及び壁が検出されたが、西側はR A 21に切られている。また北側については壁・床とも不明確であり全体像を明らかにするまでには至らなかった。〈重複関係〉 下位の住居であるR A 33に床を貼ってつくられており R A 33よりは新しい。また前述のとおりR A 21に切られている。〈平面形・規模〉 残存している壁から円形、あるいは多角形状の平面形が推測される。規模は不明だが、おそらく径5m程であろう。〈埋土〉 3層に区分 〈壁・床面〉 壁・床面とも褐色土で、床土はR A 33の上に貼床したと考えられる。地山ではないがやや堅く締まっている。壁高は残っている部分で約40cm程。壁溝は検出されない。〈柱穴〉 住居に伴う柱穴は前庭部に2基検出された。また可能性のあるものは15基あり、計17基である。

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10	P 11
径cm	43×36	73×62	33×30	26×24	?×44	41×24	29×?	27×22	43×40	18×15	60×52
深さcm	50	63	41	21	49	36	45	37	23	34	68

	P 12	P 13	P 14	P 15	P 16	P 17
径cm	52×44	42×38	48×43	32×24	44×26	33×19
深さcm	46	53	34	38	25	43

〈炉〉 複式炉を検出した。石囲部+石囲部+前庭部の構造をもち、規模は長軸で190cm、短軸の最長は90cmである。焼土は両

方の石囲部に見られ、北側の石囲炉で厚さ12cm程形成されている。前庭部は床面に比べて非常に堅く締まる。

(遺物) (第180・181図 写真図版160)

328は大木8b式、330は大木9式のものである。332は土偶の一部と思われる。

〈時期〉 炉の構造と重複関係により縄文時代中期後葉と推測できる。

R A 24 (第36図 写真図版21)

〈位置〉 南区L II 22グリッド 〈検出状況〉 VI層で検出した。他遺構との重複が激しく、検出に手間取り、平面プランの西側は検出できなかつた。削平されてしまった可能性が高い。〈重複関係〉土坑群を切るが柱穴には切られる。R A 27の直上であり、R A 27に貼床をした模様。R A 27より新しい。

〈平面形・規模〉 西側の壁は不明であるが平面形は隅丸方形、規模は直径約4mと推定される。〈埋土〉 4層に区分した。主体は褐色土である。〈壁・床面〉 壁は外傾して立ち上がり、壁高は0~16cmである。床はR A 27の上に貼ってつくられており、やや締まりがあり平坦である。〈柱穴〉 この住居の床面からは検出されなかつた。〈炉〉 地床炉と思われる焼土を検出した。住居のほぼ中央に位置しており、柱穴(P P 129)に一部切られている。規模は60×45cmで楕円形状に広がり、厚さは5cm程である。

(遺物) (第181図 写真図版161)

小片のみであるが、大木9式土器が出土している。

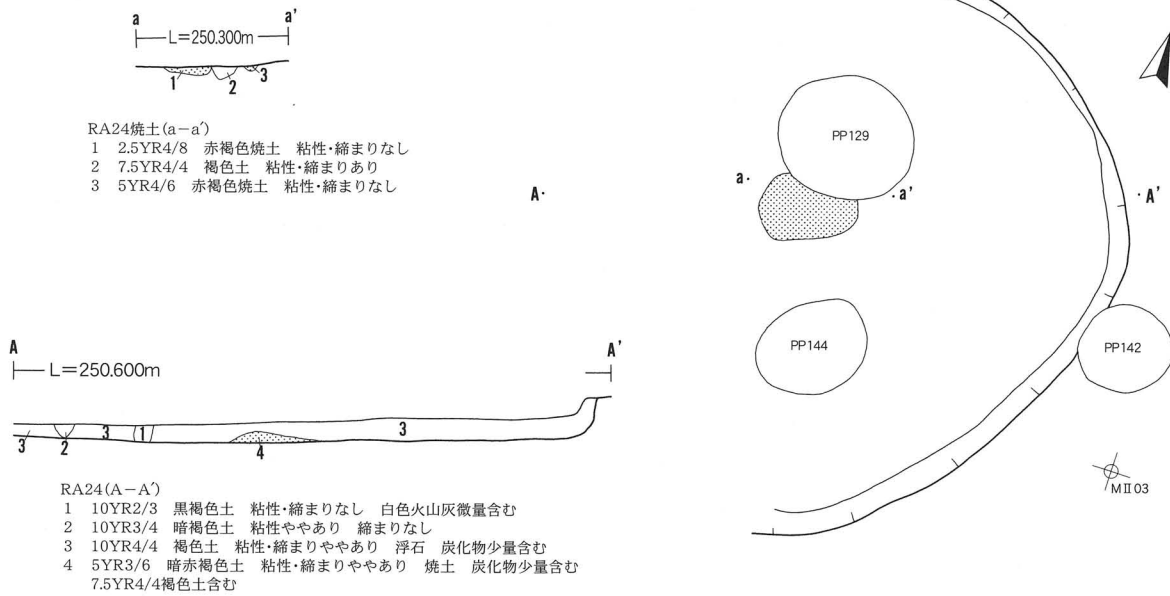
〈時期〉 出土遺物、重複関係から縄文時代中期後~末葉と推定される。

R A 25 (第37図 写真図版22)

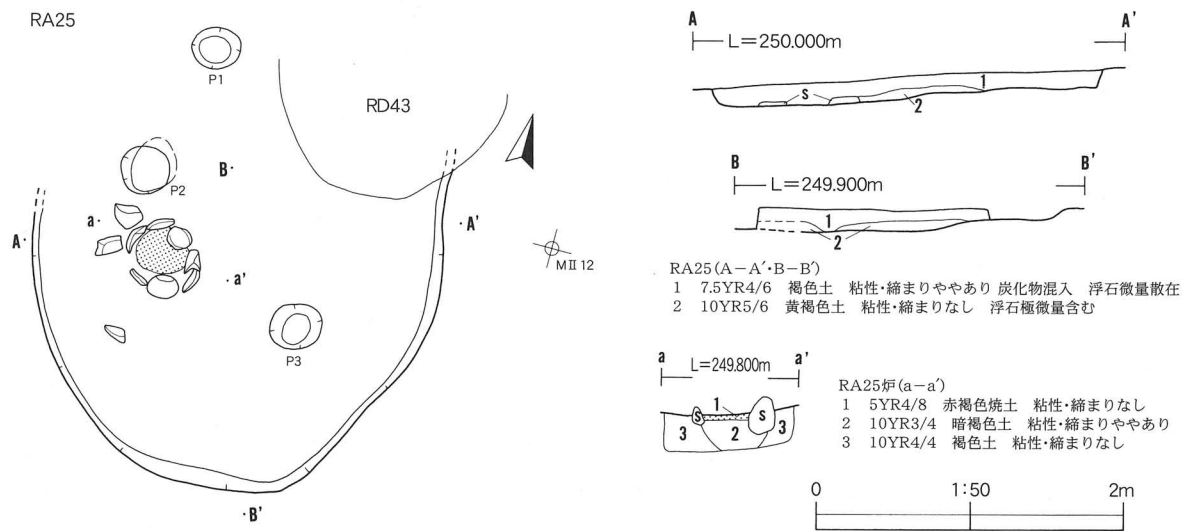
〈位置〉 南区M II 11グリッド 〈検出状況〉 地山で検出した。本来はもう少し上の面で検出できていたと思われる。北側は壁を検出することができなかつた。〈重複関係〉 RD43と重複、新旧は不明、R A 14とも重複しており本遺構が古い。RD86を切っている。〈平面形・規模〉 北側プランが不明であるが、検出できた部分から平面形は楕円形状、規模は径2.5~3.0m程度と考えられる。〈埋土〉 2層に区分し



RA24



第36図 RA24竪穴住居跡



第37図 RA25竪穴住居跡

だが、2は貼り床の可能性もある。〈壁・床面〉 壁は外傾して立ち上がり、壁高は0~15cmである。床面は地山であり、若干の凹凸がある。〈柱穴〉 合計3基を検出した。

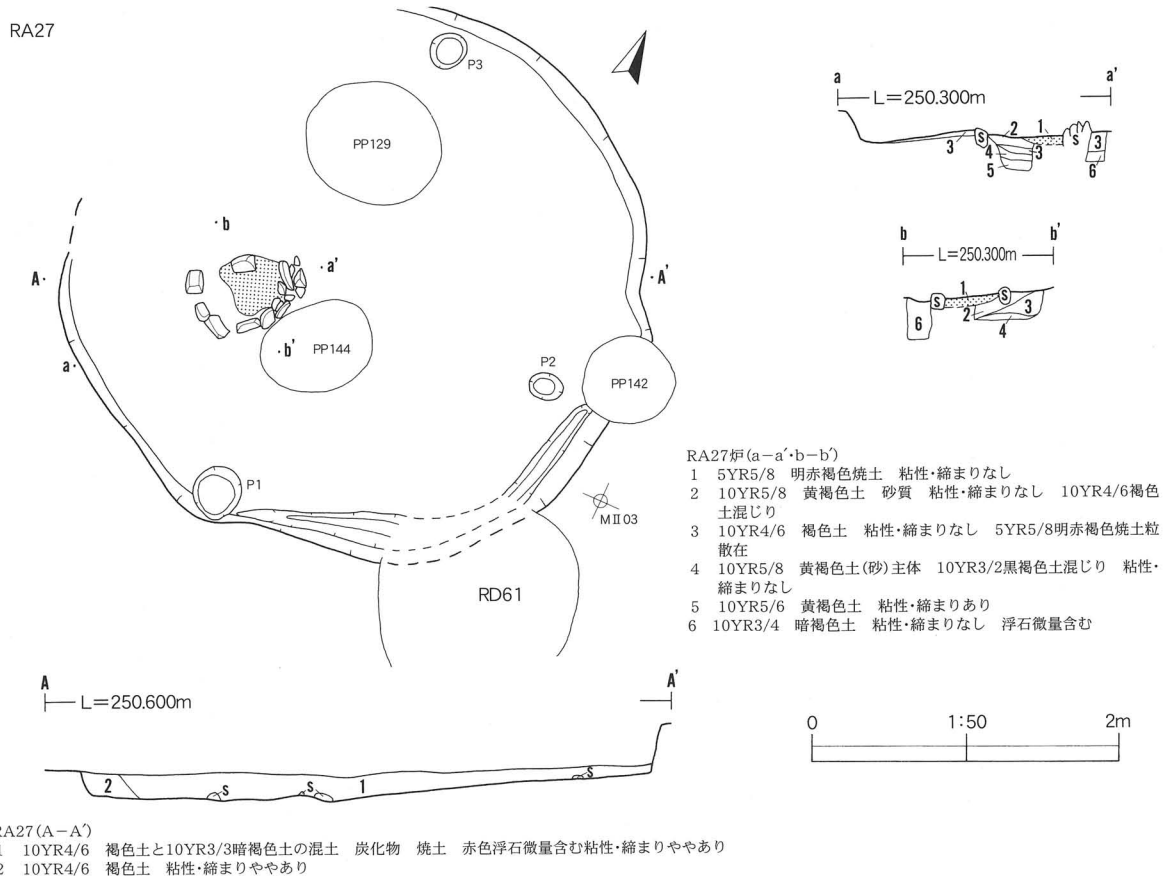
〈炉〉 石囲い炉を検出した。規模は60×50cm程度。焼土は3cm程度形成されている。

(遺物) (第182図 写真図版161)

344は口縁部を折返し縄文と沈線を施し、直下に無文帯、胴上半に沈線で三角文を描き、底部網代痕の後期初頭の深鉢である。347は円盤状土製品で中央に穿孔。柱穴から後期初頭の土器片出土。他に大木10式。

〈時期〉 出土遺物より縄文時代中期末葉~後期初頭の範囲と思われる。

	P 1	P 2	P 3
径cm	32×27	32×32	32×30
深さcm	25	48	19



第38図 RA27 竪穴住居跡

RA27 (第38図 写真図版23)

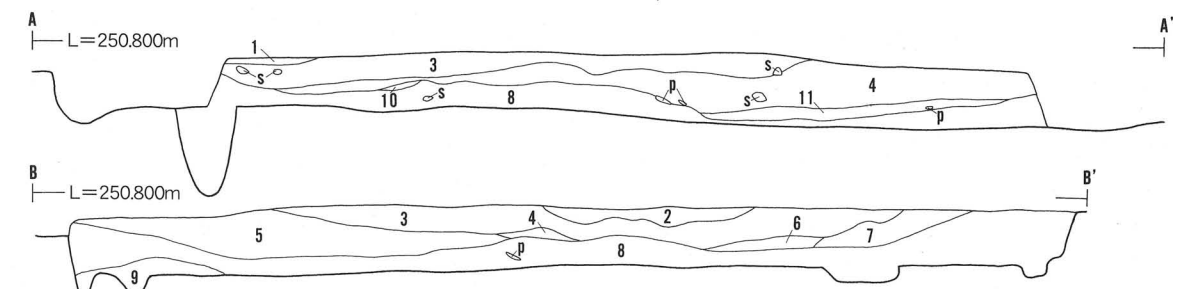
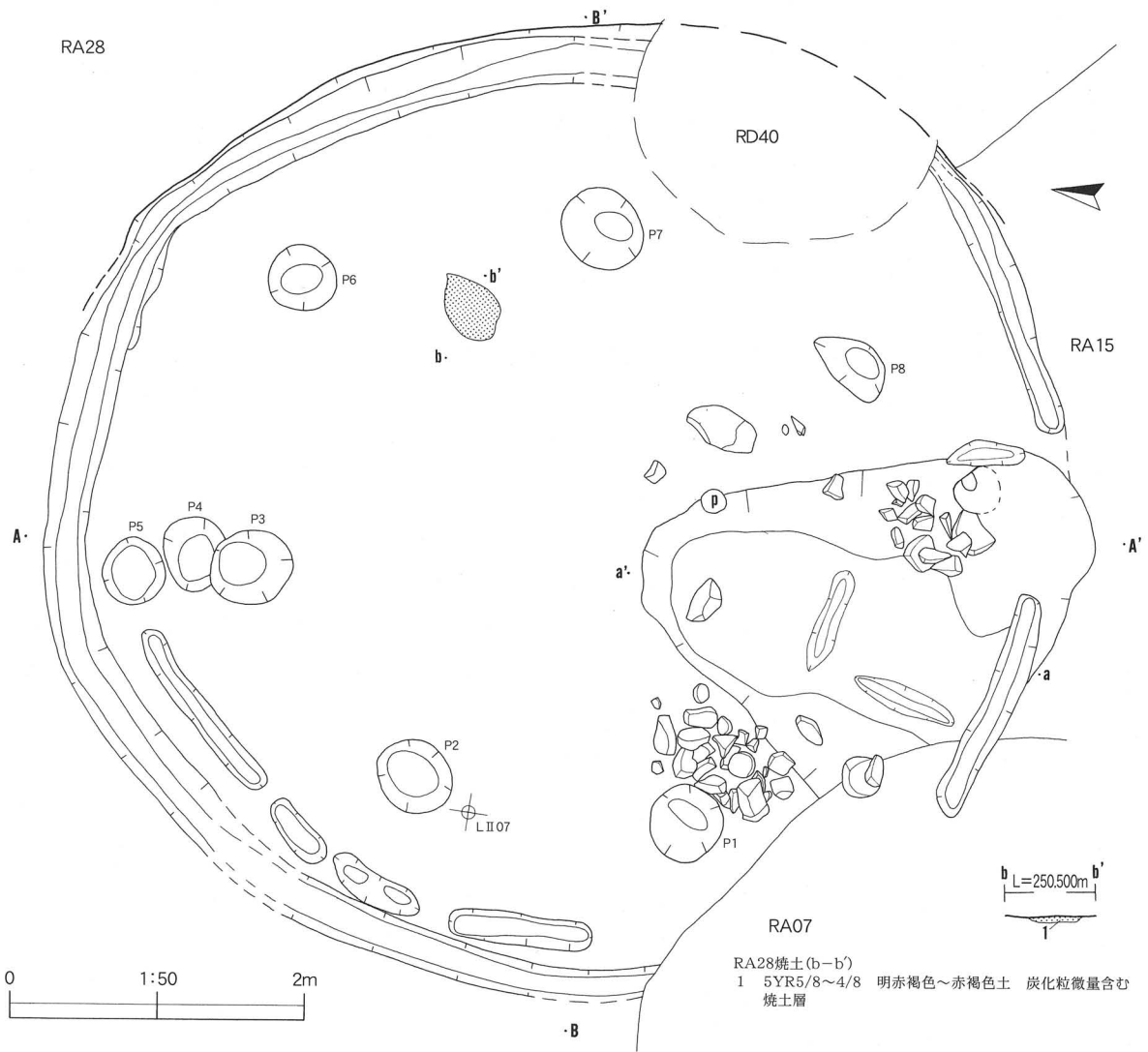
〈位置〉 南区 L II 22グリッド 〈検出状況〉 RA24の床面を精査後、貼り床を除去した時点で炉を検出。その後壁、壁溝を検出した。〈重複関係〉 RA24の下位、柱穴3基に切られ、RD61にも切られる。

〈平面形・規模〉 RA24より若干大きい。西側の一部はRA24と同様に不明であるが、平面形は六角形に近い形であり、規模は径4m強になると考えられる。〈埋土〉 2層に区分したがどちらもRA24の貼り床であろうと考えられる。〈壁・床面〉 壁・床面とも地山であり、堅く締まっている。壁は外傾しており、壁高は6～22cmある。また住居東側には壁溝がめぐる。〈柱穴〉 3基検出した。何れも壁際に配置する。〈炉〉 住居中央よりやや南寄りに炉を検出した。石囲部の南西側は非常に堅く締まっており、周囲の床面よりやや低くなっている。これが前庭部になる可能性を考えれば石囲部+前庭部の複式炉になることも考えられる。焼土は石囲の内側にのみ形成されており、厚さは6cmを測る。

(遺物) (第182図 写真図版161)

出土遺物は少ない。大木9式土器が出土している。

〈時期〉 出土遺物は少ないが重複関係から考えても縄文時代中期後葉～末葉と推定できる。



- RA28(A-A'-B-B')
- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし
  - 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなしを主体に10YR5/8黄褐色土をブロック状に含む 浮石 炭化粒含む
  - 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化粒含む
  - 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなしを主体に10YR5/8黄褐色土をブロック状に含む 浮石 炭化粒含む 土器混じる
  - 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややありと10YR4/6褐色土 粘性・縮まりややなしの混合土 浮石 炭化粒含む
  - 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化材含む
  - 7 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり
  - 8 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量 炭化材含む(底部はより密)土器片混じる
  - 9 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり(8よりは粘性・縮まり共になし)浮石極微量含む
  - 10 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 焼土粒微量混じる
  - 11 10YR4/6 褐色土主体 粘性・縮まりあり 10YR3/4暗褐色土所々混じる
- RA28炉跡(a-a')
- 1 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりなし 浮石 炭化物多量 10YR5/6ブロック含む
  - 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
  - 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化材含む
  - 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
  - 5 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む
  - 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物 地山ブロック微量含む
  - 7 10YR3/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む
  - 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む 地山ブロック6よりややあり
  - 9 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり 地山

第39図 RA28竪穴住居跡

RA28 (第39図 写真図版24)

〈位置〉 南区 L II 07グリッド中心 〈検出状況〉 V層中で検出した(水田耕作土直下)。先に古い方のRA15及びRD40を精査したため、南～南東の壁は破壊してしまい壁溝しか残っていない。

〈重複関係〉RA15、RD40、RD112を切るがRA07-2には切られる。RA07-1との関係は不明。〈平面形・規模〉平面形はほぼ円形である。なお壁溝が2重に検出される場所があり、少なくとも1回の建て替えがあったことが推測される。規模は建て替え前が6.3×6.2m建て替え後は6.8×6.6mである。〈埋土〉暗褐色土を主体に11層に細分。〈壁・床面〉壁は残存している部分では壁溝の上端から直立ぎみに立ち上がり、壁高は30cm程度である。床面は地山で、非常に強く締まり平坦である。〈柱穴〉8基検出した。このうちP1～P6は床面検出時に検出したもので、残りのP7、P8はだめ押し時に検出したものである。

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8
径cm	54×50	54×48	58×51	50×43	46×42	48×45	59×51	54×33
深さcm	54	50	58	62	20	63	86	?

〈炉〉住居の南側に複式炉と思われる台形状のプランを検出し、精査した

ところ炉の石組みや焼土は全く見られず径20cm前後の礫が10数個集石となって現れたのみであった。しかし完掘時のプランは石囲部+前庭部の複式炉のものにそっくりであるし、所々に石の抜き取り痕と思われるものが見られるため、炉跡と考えられる。おそらくRA28の廃棄時に炉石を抜き取って集石の状態にしたと思われる。炉跡の埋土は暗褐色～褐色土を主体とし、規模は長軸250cm、短軸最長が240cmで、隅丸の二等辺三角形形状である。なお住居の中心から北東寄りに焼土が検出されている。範囲は約50×35cm、厚さは4cmである。(遺物)(第183図 写真図版161)

352、353、355、356は何れも大木9式のものである。362は軽石製の石皿のミニチュアである。363は砂岩製のV字状石製品である。〈時期〉埋土下位から床面にかけて出土している土器はほとんどが大木9式であることから縄文時代中期後葉(大木9式期)の可能性が高い。

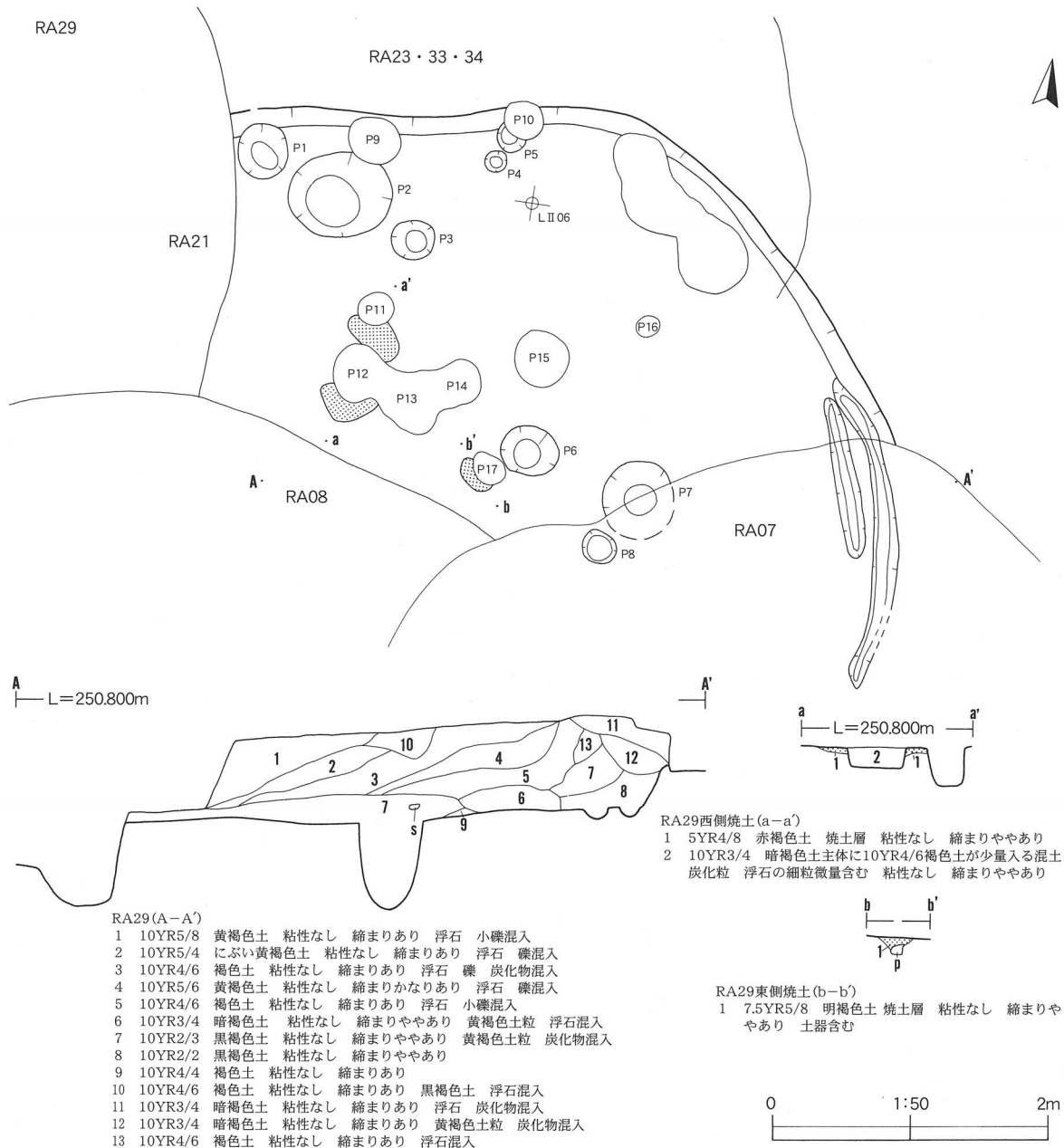
RA29 (第40図 写真図版25)

〈位置〉 南区 L I 10・L II 06グリッド 〈検出状況〉 RA08の壁に床面と壁らしき部分を確認し、床面を検出し広げた為、より新しいRA34の存在に気づかず、RA34の南壁と床面の一部を壊してしまった。

〈重複関係〉 RA07、08、21、34に切られる。〈平面形・規模〉 半分以上が別遺構に切られているが、残存部分から考えると平面形は円形基調と推測される。規模は不明。〈埋土〉 13層に細分される。このうちのかなりの部分が、東隣のRA28構築時の排土と見られ、さまざまな色調の混入土がある。そう考えると少なくともこの住居がRA28より古いことが推測される。〈壁・床面〉 壁は外傾して立ち上がり、壁高は残っている部分で2～30cmを測る。床面は地山で、平坦かつ強く締まる。〈柱穴〉 住居に伴うものが3基、可能性のあるのが5基、計8基検出した。柱穴の位置が近い

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8
径cm	43×36	73×62	33×30	17×16	25×22	43×36	57×53	26×24
深さcm	50	63	41	11	18	36	64	42

所に集まっていることや、周溝の一部が二重になっていることから、建て替えが行われた可能性が考えられる。〈炉〉 地床炉と思われる焼土を2カ所で検出した。両方ともより新しい住居のものと思われる柱穴の一部に切られている。大きい方はちょうど真ん中を柱穴に切られているが、範囲はおよそ80×50cm、平面形は楕円形基調であったと思われる。層厚は6cmである。小さい方も柱穴に切られて、一部しか残存しないが直径約30cmの円形に広がっていたと推測できる。なお焼土の下位に土器が入っている様に見えたが、土器自



第40図 RA29竪穴住居跡

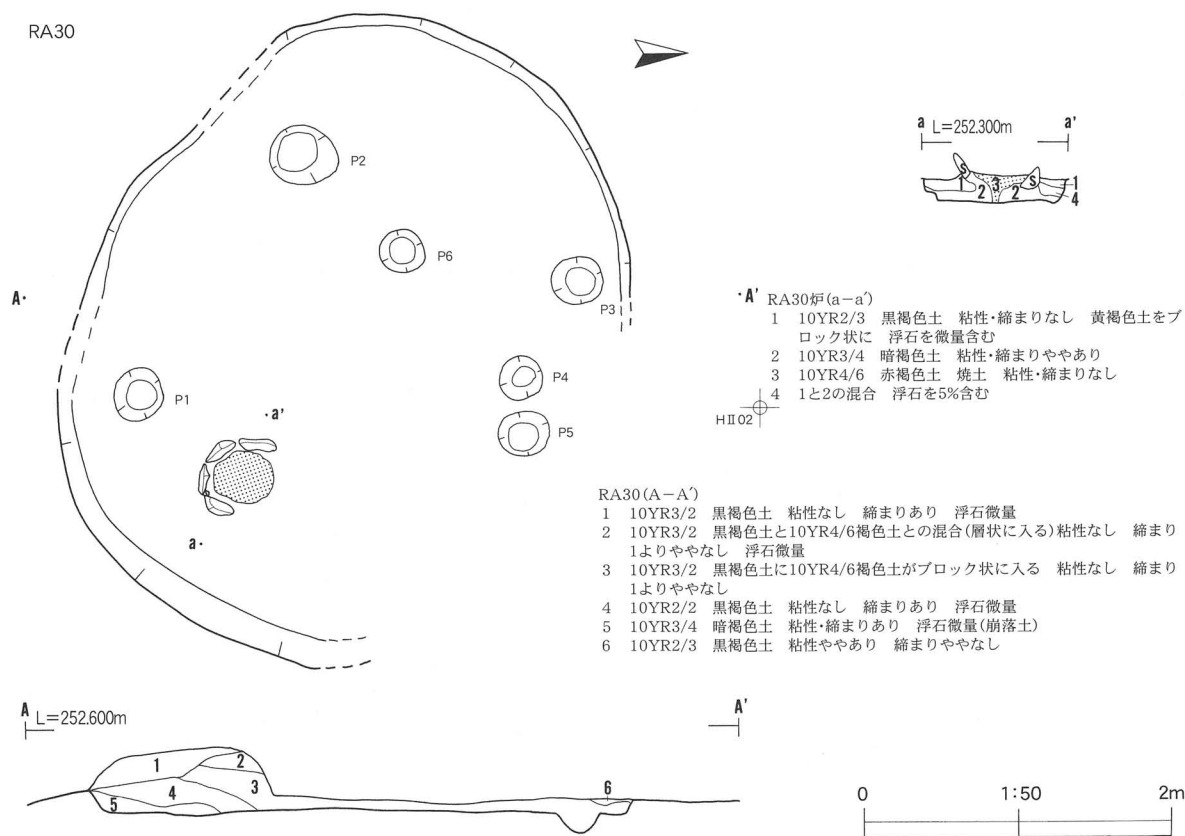
体は、焼土を切る住居の柱穴に入り込んだものと考えられ、この炉とは直接関わらないと判断した。

(遺物) (第184図 写真図版161)

総じて円筒上層a式土器が多く、縄文時代中期後葉のものは出土していない。

<時期> 重複関係からみると、縄文時代中期後葉を含め、それ以前である。出土遺物からすると、可能性として縄文時代中期前葉～中葉が考えられるが詳細は不明である。





第41図 RA30竪穴住居跡

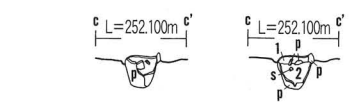
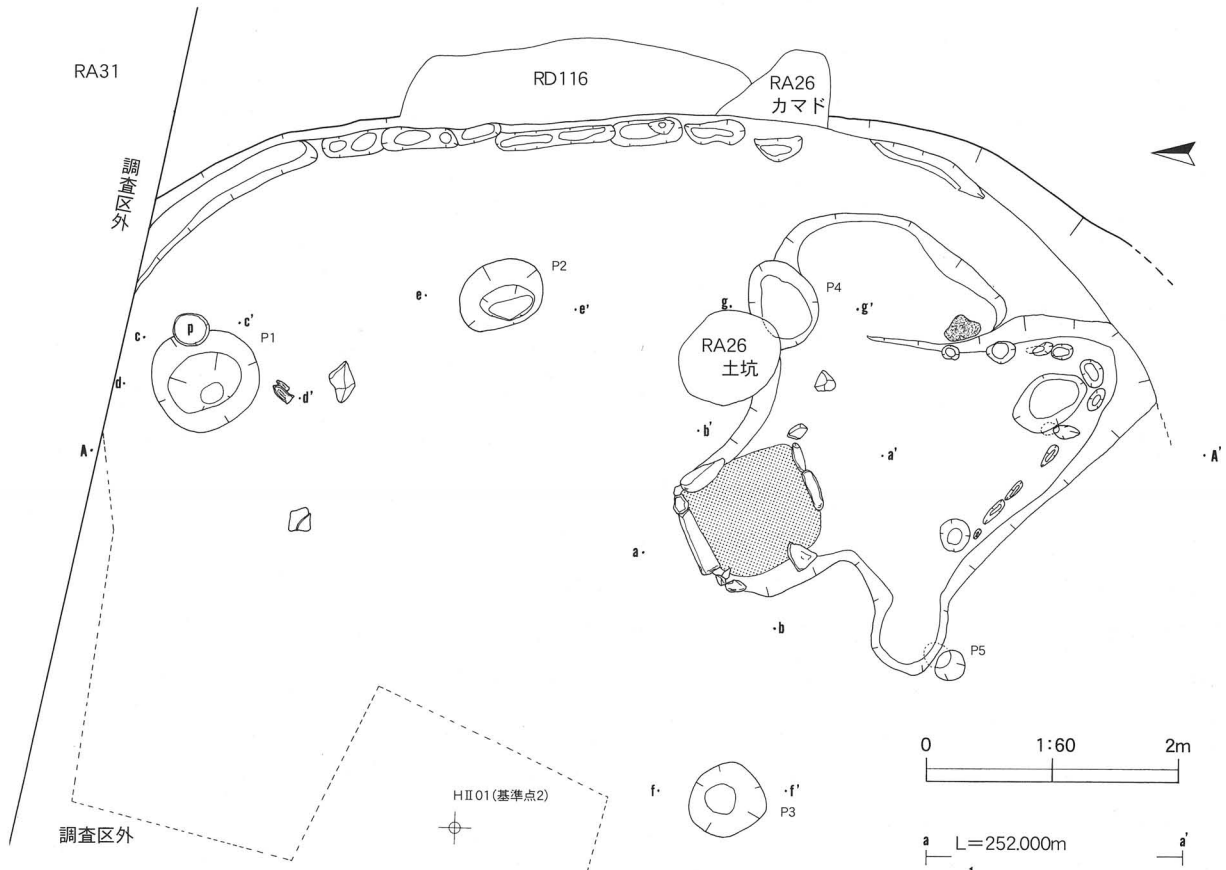
RA30 (第41図 写真図版26)

〈位置〉 北区HII 01グリッド 〈検出状況〉 調査範囲のほぼ中央部でRA06の北隣にある。古代の住居跡RA26の下位にあり、これに3分の1強切られる。RA26の南壁を精査途中で石囲炉を検出し、これを手がかりに床面、さらに壁と検出したが、RA26に切られた北側だけでなく、南西側も2カ所程削平されていた。〈重複関係〉 上位に古代の住居跡であるRA26があり、下位にRA31がある。〈平面形・規模〉 3.6×4.4mの楕円形を呈すると思われる。〈埋土〉 RA26検出時に当遺構の埋土はほとんど失われており、全体の様子は観察できないが南側のみで見ると、5層に大別され、黒褐色土を主体とする。褐色土をブロック状に含む黒褐色土が層状に入っており、他からの投げ込みと思われる。壁際には暗褐色の崩落土が見られる。〈壁・床面〉 壁高の残存値は最大でも17cmである。黒褐色土を壁とし、やや外傾して立ち上がる。当遺構の上に位置するRA26床面とのレベル差は約15cm、さらに下に位置するRA31床面とのレベル差も約15cmである。床面はほぼ平坦。〈柱穴〉 6基検出したが浅いものもあり、全てが支柱穴に

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6
径cm	36×32	45×40	34×31	30×28	34×29	30×29
深さcm	24	12	13	17	13	15

なると思われぬ。〈炉〉 石囲炉を検出した。遺構中央部より、かなり南東壁際に位置する。炉石は床面を掘り込んで

設置されていたが北東側の2つは床面上に浮いていた。直径60cm程の円形を呈すると思われる。焼土は厚さ10cm程に形成されているが木根やネズミ穴等により攪乱をうけている。

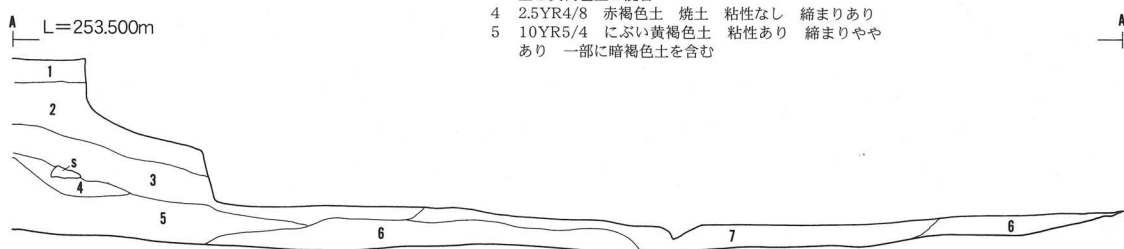
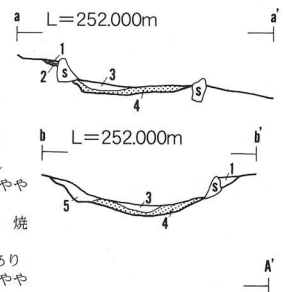
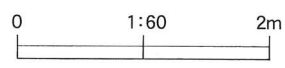


RA31埋設土器断面(c-c')

- 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 10YR6/8明黄褐色土 10YR7/8 黄褐色土がブロック状に入る 住居跡の埋土と同じ
- 10YR6/8 明黄褐色土 粘性・縮まりややあり 礫含む

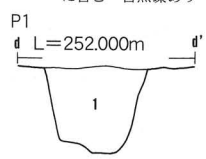
RA31柵(a-a'・b-b')

- 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややなし
- 2.5YR4/6 赤褐色土 焼土 粘性なし 縮まりややなし
- 5YR4/6 赤褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 焼土と黄褐色土の混合
- 2.5YR4/8 赤褐色土 焼土 粘性なし 縮まりあり
- 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性あり 縮まりややあり 一部に暗褐色土を含む



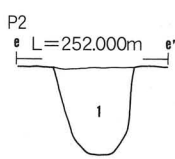
RA31(A-A')

- 10YR2/1 黒色土 粘性なし 縮まりあり 浮石含む 田の耕作土
- 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石を1と同じに含む 畑時代の耕作土
- 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石を1と同じに含む 自然礫あり
- 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり
- 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量を含む
- 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり
- 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 黒色・黄褐色土を小さいブロック状に含んでいる



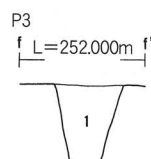
RA31P1(d-d')

- 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし



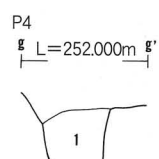
RA31P2(e-e')

- 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物少量含む



RA31P3(f-f')

- 10YR3/3~3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量



RA31P4(g-g')

- 10YR3/3~3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし

第42図 RA31竪穴住居跡

(遺物) (第184図 写真図版161)

ほとんど埋土下位からの出土である。土器は全部破片で完形となるものではなく、識別できるもののほとんどは大木9式である。他に欠損しているが、ミニチュア土器1点と埋土中より剥片石器5点が出土している。  
〈時期〉 重複関係、及び出土遺物より縄文時代中期後葉かそれを大きく下らない時期と考えられる。

RA31 (第42図 写真図版27)

〈位置〉 北区HⅡ01グリッド 〈検出状況〉 RA06の北隣に位置し、上位にRA30(縄文時代中期後葉と思われる)、RA26(平安時代)があり、RA30を完全に内包している。RA30の壁(黒褐色土)の外側に黄褐色土の立ち上がりを確認し、これを手がかりに壁、床面を検出した。〈平面形・規模〉 北西側は調査区外に延び、南側は削平を受け、全体像は表せないが、残存部から推定すると楕円形と思われる。規模は検出した面だけで、長径8.5m、短径7.0mあり、実際にはこれ以上になると思われる。〈埋土〉 RA26、RA30の検出時に大半は失われたため、満足な断面は観察できなかったが、残存部でみると、4層は壁の崩落土であろうか。6層は比較的早い段階で埋まった(埋められた)土、7層は上位のRA30の床を構成していた層と考えられる。〈壁・床面〉 壁は残存値で75cm前後となる。黄褐色土を壁としほぼ垂直に立ち上がる。床面はほぼ平坦。〈柱穴〉 検出したのは4基である。P1、P2に関しては半楕円形と思われたプランが精査してみるとそれよりも大きい円形となった。〈壁溝〉 東側のみに壁に沿って壁溝を確認した。幅20cm前後、深さ15~20cm程で、

連続してはいない。〈炉〉 住居跡の南東壁寄りに110cm四方の石囲と270×200cmの前庭部を

	P1	P2	P3	P4	P5
径cm	85×84	71×52	60×60	72×52	26×24
深さcm	77	?	85	72	60

もつ複式炉を検出した。石囲の部分は50~10cm程の大小の礫を利用しているが、約半分は消失している。石囲内の焼土は最も厚い所で8cm程のレンズ状に形成されている。非常に堅く、削ると石のようにガリガリする状態であった。前庭部は石囲部から南東壁方向に向けて徐々に狭くなる逆扇形となっている。扇頂部を挟んで両側に壁柱列状にピットが並んでおり、扇頂部に近いピットのうち、穴の掘り込みが住居跡外側方向に斜に向くものが2基、対になって検出されている。〈埋設土器〉 住居内北側の床面の柱穴際(P1)で検出した。最大径29cmの深鉢で、正立の状態では床面下に22cm程埋められ、床面上に出ている部分は壊れていたが、ほとんどが土器周辺及びその中に一括して残されていた。復元の結果器高は48cmとなった。

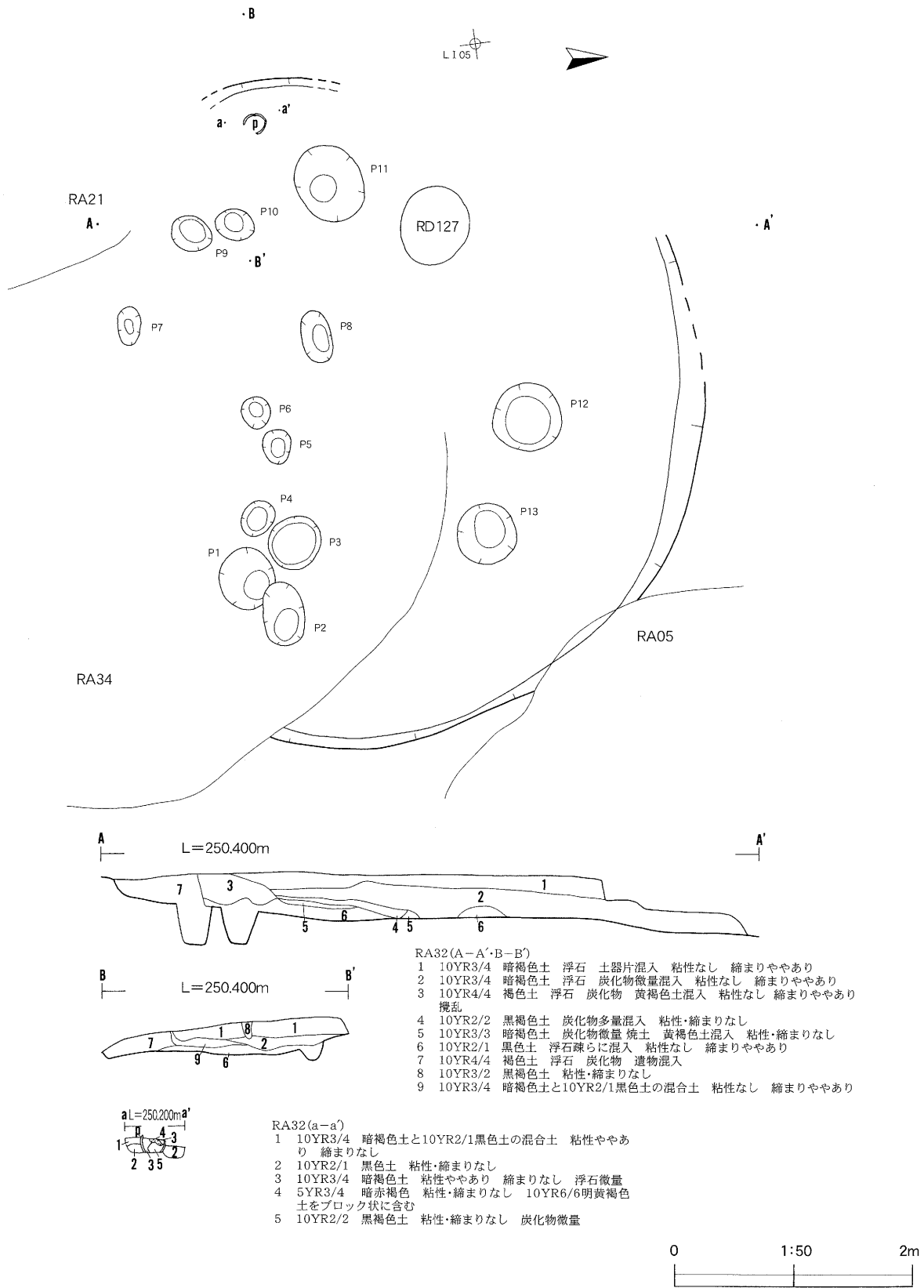
(遺物) (第184~186図 写真図版162)

埋設土器を始め、土器片、土製品、石器類が出土している。土器は中期後葉のものである。384は基部に挟入のある無茎鎌、386は横型の石匙、389、390は凹石であるが磨石としても利用されているもの、391は最大径34cmの不整形の台石で、はっきりした敲打痕をもつ。374の埋設土器は大木9式の深鉢であり、381は床直上で検出された大木9式の深鉢破片である。埋設土器のあったP1の南隣の床面直上から斧状土製品が2点出土している。うち382は接合後、完形となった。炉前庭部東隣に径30cm、高さ20cm程の粘土の塊が置かれていた。また、石囲部内の焼土中に、石器作製時の剥片ではないかと思われるものが散乱していた。〈時期〉 埋設土器及び炉の形態から判断して縄文時代中期後葉に属すると考えられる。

RA32 (第43図 写真図版28)

〈位置〉 南区LⅡ01中心 〈検出状況〉 RA23精査後に壁の一部を検出、そこから残存する壁と床を出していった。重複が激しいため詳細な状況把握は困難であったが、検出面はおそらくV層下位と思われる。

RA32



第43図 RA32竪穴住居跡

＜重複関係＞ 大部分をRA33に切られ、RA05にも一部切られている。＜平面形・規模＞ 残存部から考えると平面形は円形もしくは楕円形状、規模は直径約5～6mと推定される。＜埋土＞ 埋土は1のみである。他は攪乱や重複による別遺構の埋土のようである。＜壁・床面＞ 壁は黒色土または暗褐色土で外傾して立ち上がり、残存部分で壁高は8～42cmである。床面は黒色土と一部暗褐色土で、ほぼ平坦でやや締まっている。＜柱穴＞ 住居に伴う柱穴は3基、また可能性のあるものが10基の合計13基検出した。

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10	P 11
径cm	52×46	54×34	48×43	32×24	30×22	28×24	32×19	44×26	35×30	34×26	67×54
深さcm	58	68	34	38	48	36	43	25	36	33	42

＜炉＞残存部分では検出されなかった。＜その他＞ 住居北側の壁近くに埋設土器を検出した。土器は下部のみで底部を欠き正立に埋設されていた。最初は土器埋設炉を想定したが、若干の焼土が見られただけでこの土器が炉として使用されたとは考えにくい。

P 12	P 13
58×58	54×52
60	56

(遺物) (第187図 写真図版162、163)

392は粗製深鉢で前述の埋設土器である。他には円筒下層d及び円筒上層a式土器が出土している。

＜時期＞ 重複関係、出土遺物から縄文時代中期前葉～中葉、しかも円筒上層期の可能性が考えられる。埋土中からは中期後葉(＝大木式)の土器片は見つかっていない。

#### RA33 (第44図 写真図版29)

＜位置＞ 南区LⅡ01グリッド中心 ＜検出状況＞ 先に精査を終えた柱穴の側面に焼土が検出されたため、RA23の床面を下げたところ、焼土よりも浅い面で地床炉と思われる別の焼土を検出し、その検出面を床面と判断し広げた。その際に壁溝も検出したのだが結果としてRA23よりも若干大きいだけであることが分かった。つまり本住居に貼り床をして建て替えたものがRA23になるようである。また、壁際と床面近くには多量の炭化物や焼土粒が検出され、この住居が焼失したものである可能性は高いと考えられる。＜重複関係＞ RA32を切っている。また下位の住居であるRA34に貼り床をしている点でそれよりも新しいがRA23よりは古い。＜平面形・規模＞ 径5.5m前後の円形と推定される。＜埋土＞ 暗褐色土を主体に4層に区分した。＜壁・床面＞ 壁は黒色土でやや外傾して立ち上がる。壁高は0～55cmである。床面は黒色土と暗褐色土が混在しておりやや堅く締まっていて平坦である。また、住居北側と東側には周溝がめぐっている。＜柱穴＞本遺構に伴うと確実に言えるものはないが、可能性があるのは25基検

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10	P 11
径cm	?×44	41×24	29×?	27×22	26×20	26×24	33×30	16×16	?×21	60×52	52×44
深さcm	49	36	45	37	?	21	41	11	18	68	46

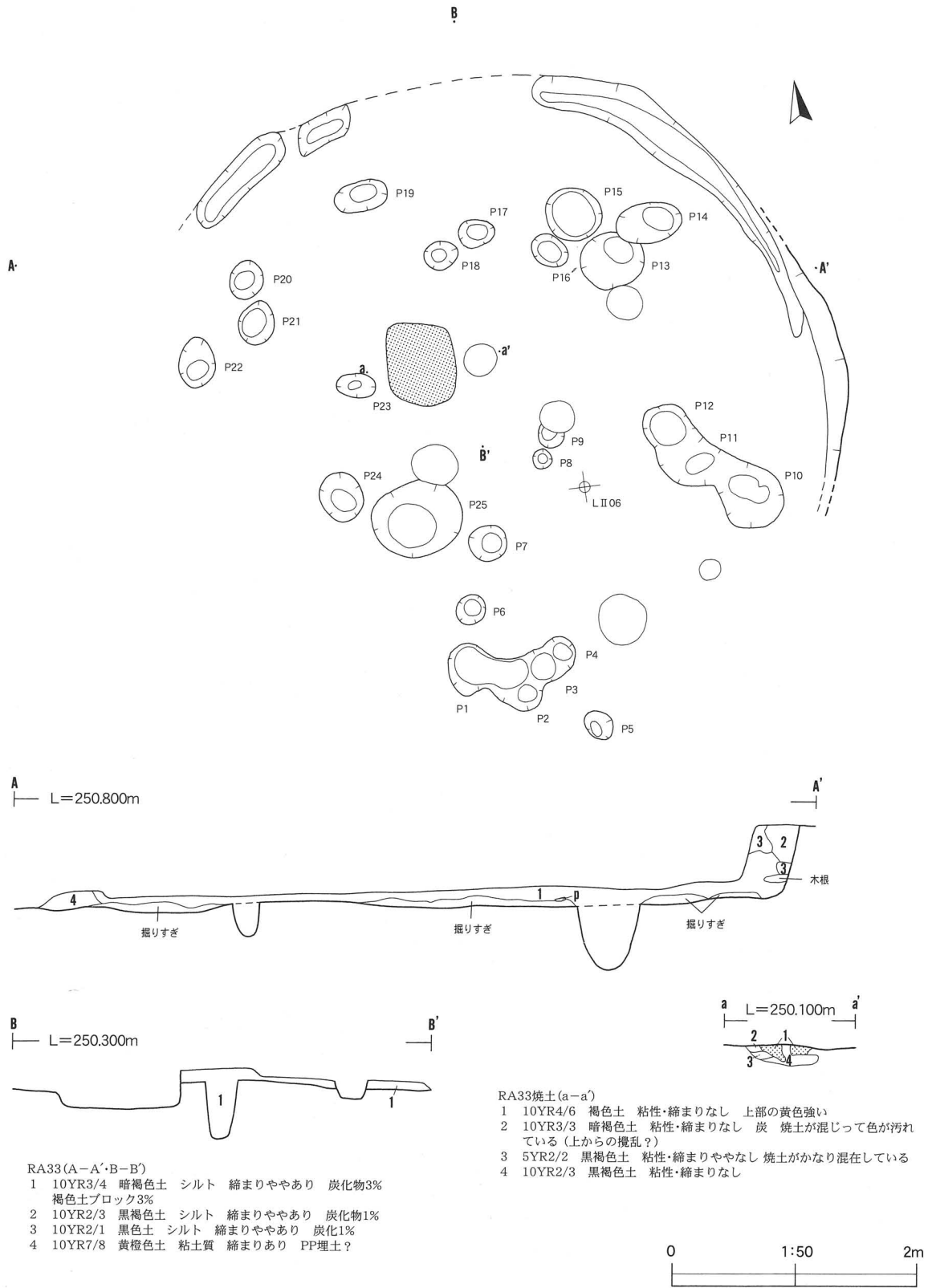
	P 12	P 13	P 14	P 15	P 16	P 17	P 18	P 19	P 20	P 21	P 22
径cm	42×38	52×46	54×34	48×43	32×24	30×22	28×24	44×26	34×26	35×30	42×30
深さcm	53	58	68	34	38	48	36	25	33	36	22

出した。＜炉＞ 地床炉と思われる焼土を検出した。焼土範囲は70×55cmで長方形に広がっており厚さは最大15cmある。所々攪乱を受けているが良く発達している。遺物は出土していない。

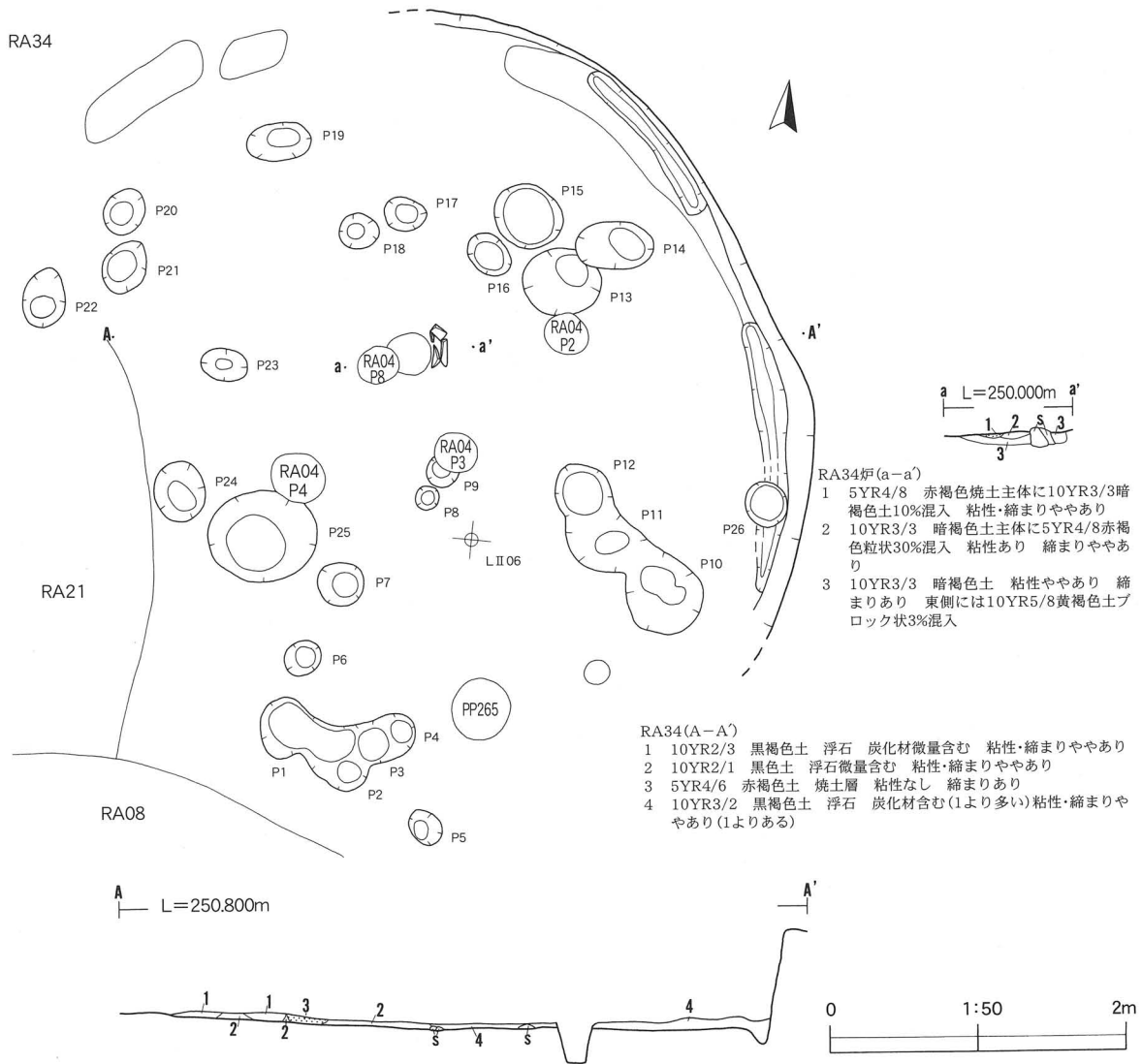
P 23	P 24	P 25
33×19	43×36	73×62
43	50	63

＜時期＞ 重複関係から縄文時代中期に属することは確実であるが出土遺物が全くないためこれ以上詳細なことに関しては不明である。





第44図 RA33竪穴住居跡

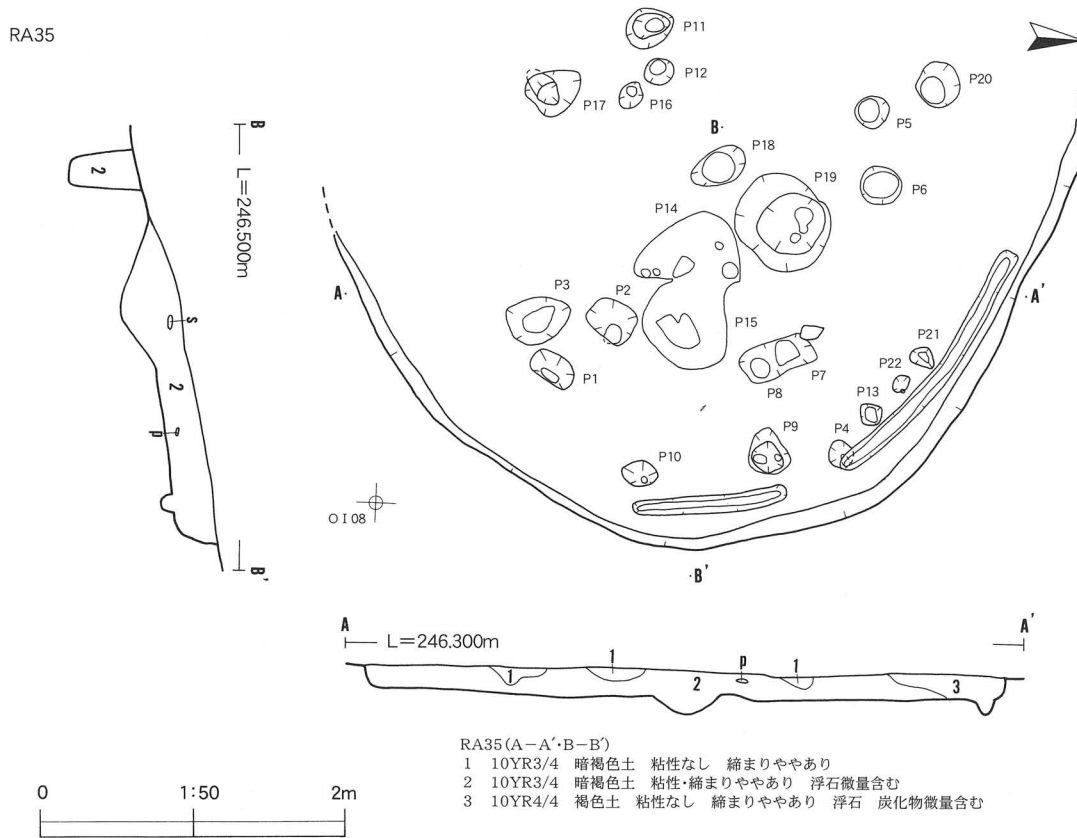


第45図 RA34 竪穴住居跡

RA34 (第45図 写真図版30)

〈位置〉 南区L II 01グリッド中心 〈検出状況〉 RA33の下位の遺構の存在が柱穴の精査より分かったため、RA33の床面を少し下げたところ、炉の一部と思われる礫の並びと焼土を検出した。その面を床面と判断し、床を広げていったが壁はRA33とほとんど同じであった。〈重複関係〉 RA32を切る。またRA33よりは古い。〈平面形・規模〉 RA33と同じく円形、規模もほぼ同じ5.5m前後と推定される。

〈埋土〉 黒褐色土を主体に4層に区分されるが、3は上の住居に伴う焼土であり本遺構とは関係がない。〈壁・床面〉 壁は黒色土でやや外傾して立ち上がり、壁高は0~63cmである。床面はほとんどが地山であり、平坦で強く締まる。また、東側の一部に壁溝がめぐっており、大部分はRA33と共通になると思われるが、部分的にずれる場所も検出されている。〈柱穴〉 住居に伴う柱穴は確実なものがP26の1基で他はRA33との共有と思われる。P26は径32×28cm、深さ22cmである。(他の数値はRA33参照) 〈炉〉 石囲炉と思われるものを検出した。石は焼土の東側にのみ埋め込まれている。西側は新しい柱穴(RA04の



第46図 RA35竪穴住居跡

P 8) によって切られている。焼土は直径約20cmの円形状に形成されており、厚さは4cm程度である。

(遺物) (第188図 写真図版163)

縄文時代中期前葉のものは出土しているが、本遺跡で多く見られる同中期後葉のものは出土していない。

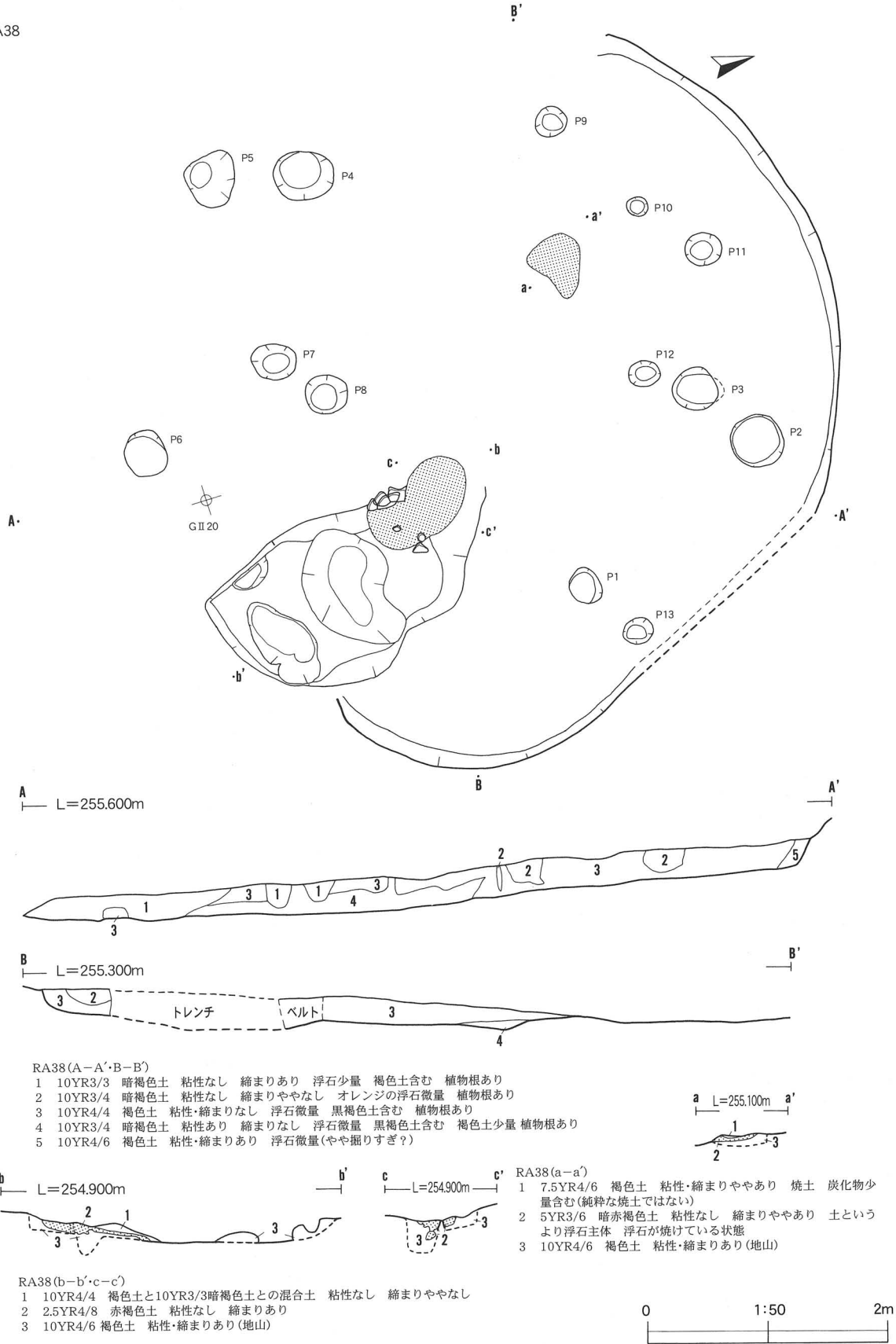
<時期> 重複関係からは縄文時代中期であることはいえる。また、出土遺物は前述のとおりである。このため、時期は縄文時代中期前葉～中葉の可能性があり、とまでしか言及できない。

R A 35 (第46図 写真図版31)

<位置> 南区O I 02グリッド <検出状況> 表土除去後 地山と思われる面で検出。西側は斜面となり、地山もろとも削平を受けた模様で、この住居の西半分は検出できなかった。 <平面形・規模> 残存する東側の壁のまわり方から推定すると、径4.5m前後の円形を呈すると思われる。 <重複関係> 床中央が3基の柱穴(P 14, 15, 19) に切られている。 <埋土> 3層からなるが、上位は削平されている模様。

<壁・床面> 壁は直立ぎみに立ち上がり、壁高の最高残存値は東側で26cmである。床面は平坦で、一部が貼り床となる。 <柱穴> 22基検出したが、P 14, 15, 19はこの住居より新しく、P 17, 20はR F 56に伴うものと思われる。

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10	P 11
径cm	31×18	32×26	42×30	20×16	23×22	28×28	24×22	24×24	32×26	24×18	32×26
深さcm	26	51	49	?	65	55	42	44	24	28	38



第47図 RA38竪穴住居跡

	P 12	P 13	P 14	P 15	P 16	P 17	P 18	P 19	P 20	P 21	P 22
径cm	20×18	16×16	70×53	56×53	20×15	36×28	38×23	68×54	29×28	17×14	14×10
深さcm	15	?	44	44	33	53	48	38	53	16	21

＜壁溝＞ 東壁から北壁にかけて途中で分断するが、幅、深さ共10cm前後の壁溝を確認した。壁溝の内側に小柱穴が6基設けられている。＜炉＞ 検出できず。中央部の新しい柱穴に壊されているかも知れない。(遺物) (第188、189図 写真図版163)

408は頸部から口縁部にかけて強く張り出し、いわゆる金魚鉢タイプになる大木7a式の深鉢と思われる。409～411も同時期と思われる。また、ここからは比較的多く石鏃が出土している。

＜時期＞ 縄文時代中期前葉と思われるが確証はない。

#### R A 38 (第47図 写真図版32)

＜位置＞ 北区GⅡ09、10、14、15周辺 ＜検出状況＞ 東北方向から南西方向に向かう尾根筋から、南面する緩斜面上に立地している。トレンチを入れ地山まで下げた時点でプランの一部を検出した。上部は攪乱を受け、南側(斜面下方)は削平されている。＜平面形・規模＞ 残存する壁から推測すると、径6.2m程の円形と思われる。＜埋土＞ 5層に区分されるが、1、2層は後世の攪乱である。＜壁・床面＞ やや外傾し、壁高は28cm程である。床面は堅く締まり、原地形と思われる傾斜に沿っており 南西方向にある炉に向かって若干の傾斜をもつ。＜柱穴＞ 13基検出したが いずれも床面での検出である。

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10	P 11
径cm	30×26	46×44	38×37	50×41	49×42	40×36	38×30	35×32	26×25	18×16	30×28
深さcm	73	59	69	46	39	47	51	48	50	42	30

＜炉＞ 中央、西寄りのところで径45cm程の焼土面を検出し、これを地床炉とした。さらに中央より南側で複式炉を検出したが、石囲部と掘り込みをもつ前庭部からなり、石囲部は焼土が残るものの石そのものはほとんどはざされていた。

P 12	P 13
27×22	26×22
20	30

(遺物) (第189図 写真図版163)

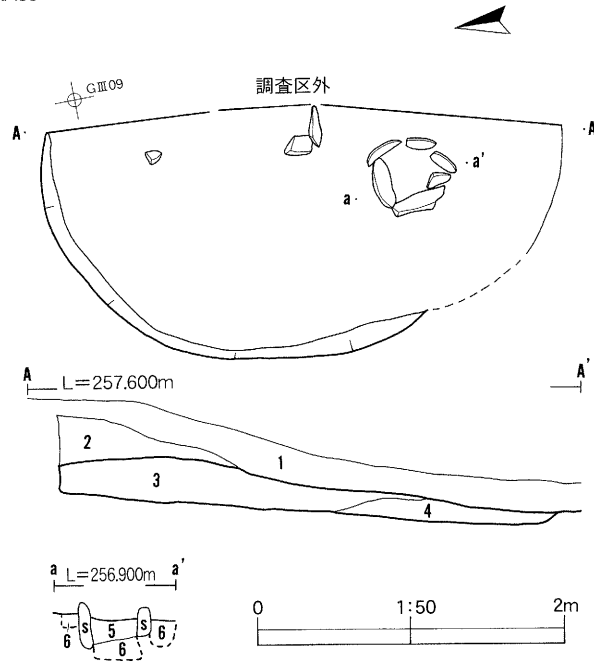
428は粗製深鉢であるがその器形から大木9式と思われる。431、432も大木9式である。

＜時期＞ 炉の形態、及び出土遺物からみて縄文時代中期後葉と思われる。

#### R A 39 (第48図 写真図版33)

＜位置＞ 北区GⅢ09グリッド ＜検出状況＞ 表土(耕作土)除去後 プランの一部を検出した。東半分は調査区外に延びる。現在の地形は斜面となっている。住居の左側いわゆる斜面下方のプランは、耕作によるものであろうか、壁は削平されており床面でその範囲を確認する事しかできなかった。＜平面形・規模＞ 検出したプランの一部より推定すると、3.4mを若干超える径を持ち、やや楕円形を呈すると思われる。＜埋土＞土層断面は4層に分類してあるが、1層は耕作土(表土)、2層は斜面上位から流れ込んだ土、3、4層がこの住居の堅穴部分を覆っている土である。＜壁・床面＞ 北側(斜面上位)で壁が床面から垂直に立ち上がるのを確認した。壁高20cmを測る。南側(斜面下位)では壁は確認できなかった。床は黄褐色土(地山)を掘り込んでつくられており水平である。特に堅く締まるという程ではない。＜柱穴＞ 調査区内では検出されていない。＜炉＞ 住居中央より南寄りの所に堅固な石組みを持つ石囲炉を検出した。1辺が50cm前後の方形基調である。使用頻度が少ないのか炉内及び周囲からも焼土は検出されていない。

RA39



- RA39(A-A'-a-a')
- 1 10YR3/3 暗褐色土(耕作土)
  - 2 10YR4/4 褐色土 木根多し 粘性・縮まりなし
  - 3 10YR3/4 暗褐色土 オレンジの浮石疎らに混入 粘性なし 縮まりややなし
  - 4 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりややあり
  - 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炉埋土か?(焼土は検出できなかった)
  - 6 地山10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり

#### 第48図 RA39竪穴住居跡

になっている東側で壁高40cmを測る。床はほぼ平坦で、堅く締まるV層で、黄褐色土と褐色土が混在する。  
 <柱穴> 北寄りで1基検出。埋土には炭化物が微量に混入、径30×28cm深さ35cmである。炉は検出されなかった。

(遺物) (第190図 写真図版163)

436は折返し口縁の後期初頭の粗製深鉢と思われる。<時期>出土遺物より縄文時代後期初頭と思われる。

#### RA41 (第50図 写真図版35)

<位置> 北区GⅢ01、02 <検出状況・重複> V層で検出。RD164、165、166に切られる。床面でRD181を検出した。 <平面形・規模> 3基の土坑に切られているため正確なプランは把握できないが、隅丸方形に近い円形と思われる。残存するプランでの長径は2.8m程である。 <埋土> 中央を土坑に切られているが、暗褐色土の単層に近いものである。 <壁・床面> ほぼ直立しており、壁高は最大で36cmを測る。床面は締まるが、東側にかけて上がり気味に傾斜している。 <柱穴・炉> 土坑に切られているためか検出されていない。床面の状況から、或いは竪穴状遺構になるものかもしれない。

(遺物) 無し

<時期> 本遺構を切っている土坑の埋土から縄文時代中期末葉の土器が出土しているため、縄文時代中期末葉かそれより古いものと思われる。

(遺物)

砥石の破片が1点出土しているが、類似の物が他に存在するため掲載はしていない。

<時期> 縄文時代の遺構と思われるが、参考となる遺物の出土がなく詳細は不明である。

#### RA40 (第49図 写真図版190)

<位置> 北区FⅢ18~19グリッド

<検出状況> 東から西に横切る尾根状の上位で、表土が薄い部分において表土除去後プランを確認した。 <平面形・規模> 調査区外に一部広がるため不明部分もあるが、北西-南東に長軸をもつ3.8×2.8m程の楕円形と思われる。

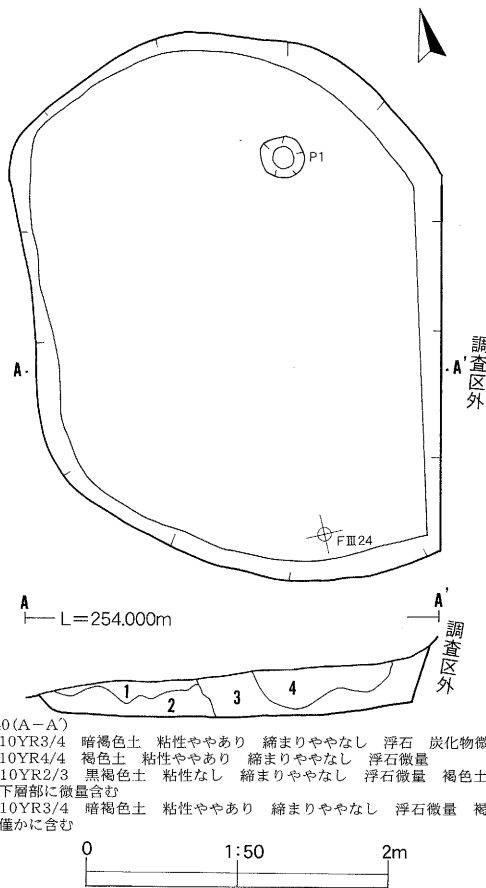
<重複関係> RA46の埋土中に存在。また床面でRD183、186を検出、さらにRD183底面でRD192を検出した。

<埋土> 現況は杉林で、開田時の影響は受けていないようであるが、3、4層は攪乱の可能性はある。

<壁・床面> やや外傾し、斜面の上位



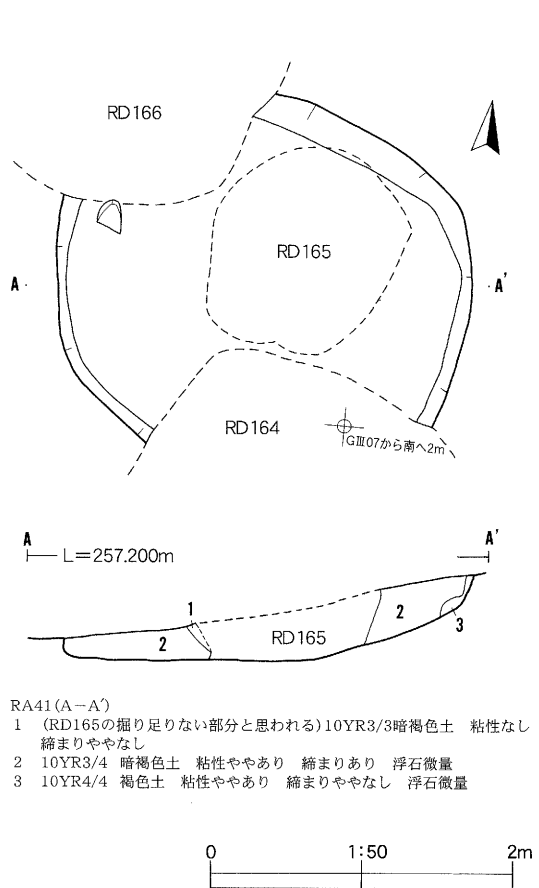
RA40



- RA40(A-A')
- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石 炭化物微量
  - 2 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石微量
  - 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まりややなし 浮石微量 褐色土を東側下層部に微量含む
  - 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石微量 褐色土を僅かに含む

第49図 RA40竪穴住居跡

RA41



- RA41(A-A')
- 1 (RD165の掘り足りない部分と思われる)10YR3/3暗褐色土 粘性なし 締まりややなし
  - 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりあり 浮石微量
  - 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石微量

第50図 RA41竪穴住居跡

R A 42 (第51図 写真図版36)

〈位置〉 南区K II 14, 15 〈検出状況〉 基本土層を観察した場所では確認されていない層位で検出した。VI層の上であり、暗～黒褐色が一面に堆積している場所である。トレンチの断面に炉の一部を検出した。  
 〈平面形・規模〉 埋土が周囲と同じであり、プランは確認できなかった。断面にも立ち上がりを確認できず、よって平面形・規模共不明である。炉の大きさからすると径5mを越えると思われる。〈埋土〉 暗褐色土の単層と思われる。〈壁・床面〉 壁不明。床面は平坦である。埋土と同じ色であり、堅く締まっているわけではない。〈柱穴〉 床面で4基検出したが、P1については本遺構にともなうものかどうか不明。

	P 1	P 2	P 3	P 4
径cm	40×32	40×31	43×36	28×24
深さcm	34	26	44	48

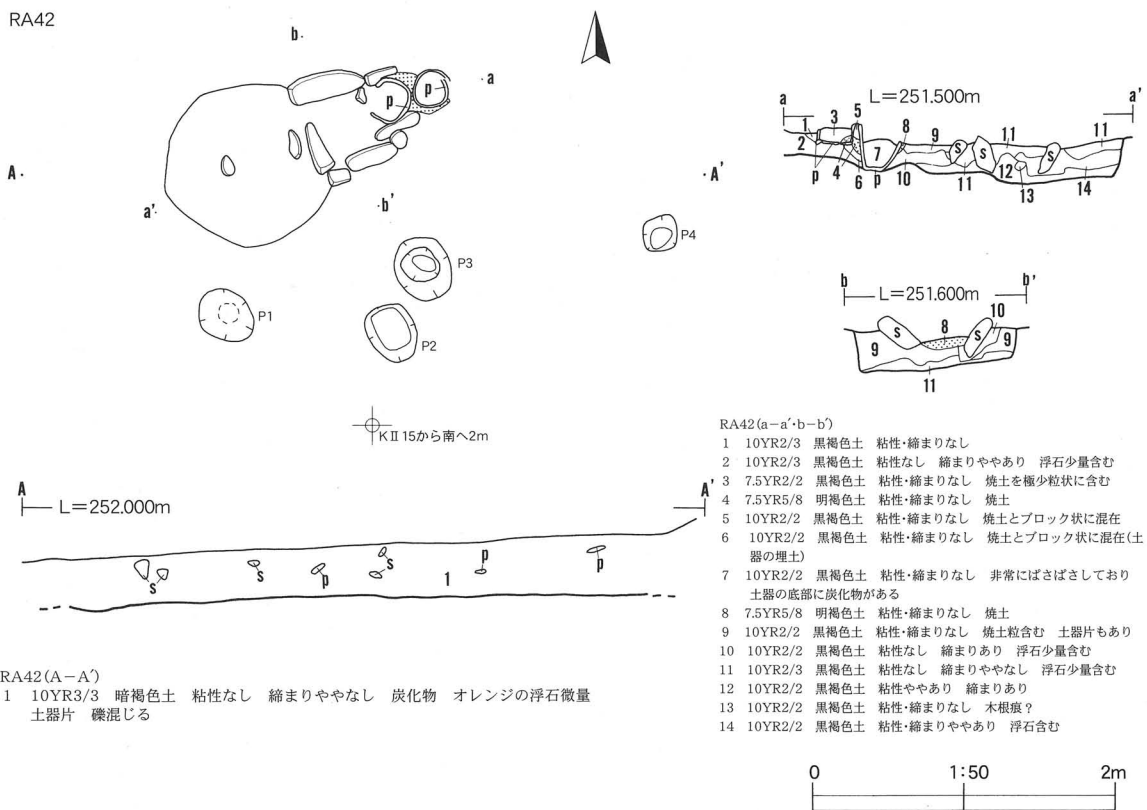
〈炉〉 土器を2個据え、石組みと前庭部を持つ複式炉である。住居中央部寄りの土器は上下を欠き胴部のみであるが、底面に土器片を敷いている。もう一つは底部を有する

ものである。焼土は二つの土器の間と石囲部に形成されており、底部を有する土器の埋土は非常にばさばさして、灰のような感触であった。前庭部は現地形の斜面下方に向けて広がっているようである。

(遺物) (第190・191図 写真図版164)

437、439は炉埋設土器で、大木9式と思われる。438を伴出している。

〈時期〉 炉の形態及び出土遺物より縄文時代中期後葉と思われる。



第51図 RA42竪穴住居跡

RA43 (第52図 写真図版37)

〈位置〉 北区GⅡ20グリッド、RA38の南側 〈検出状況〉 遺物包含層を下げていた途中V層中で検出。  
 〈重複関係〉 下位にRA44、48がある。 〈平面形・規模〉 一部壁を検出できなかったが、残存する部分から推定すると、径4.5m程の円形と思われる。 〈埋土〉 遺構の縁は自然堆積で、中央部付近は人為堆積の痕跡が見られる。 〈壁・床面〉 残存する部分ではやや外傾気味に立ち上がり、床面はかなり堅く、貼り床と思われる。壁を検出できなかった部分は床の堅さの範囲をもってプランとした。 〈柱穴〉 炉の周囲で3基検出した。P1、P2は上端が住居内側に傾斜する穴となった。 〈炉〉 中央から西寄りの所で焼土を伴う径50cm程の石囲炉を検出した。周囲の炉に共通であるが、扁平な石を縦に埋込んで作られている。

	P 1	P 2	P 3
径cm	46×33	33×31	47×36
深さcm	59	48	40

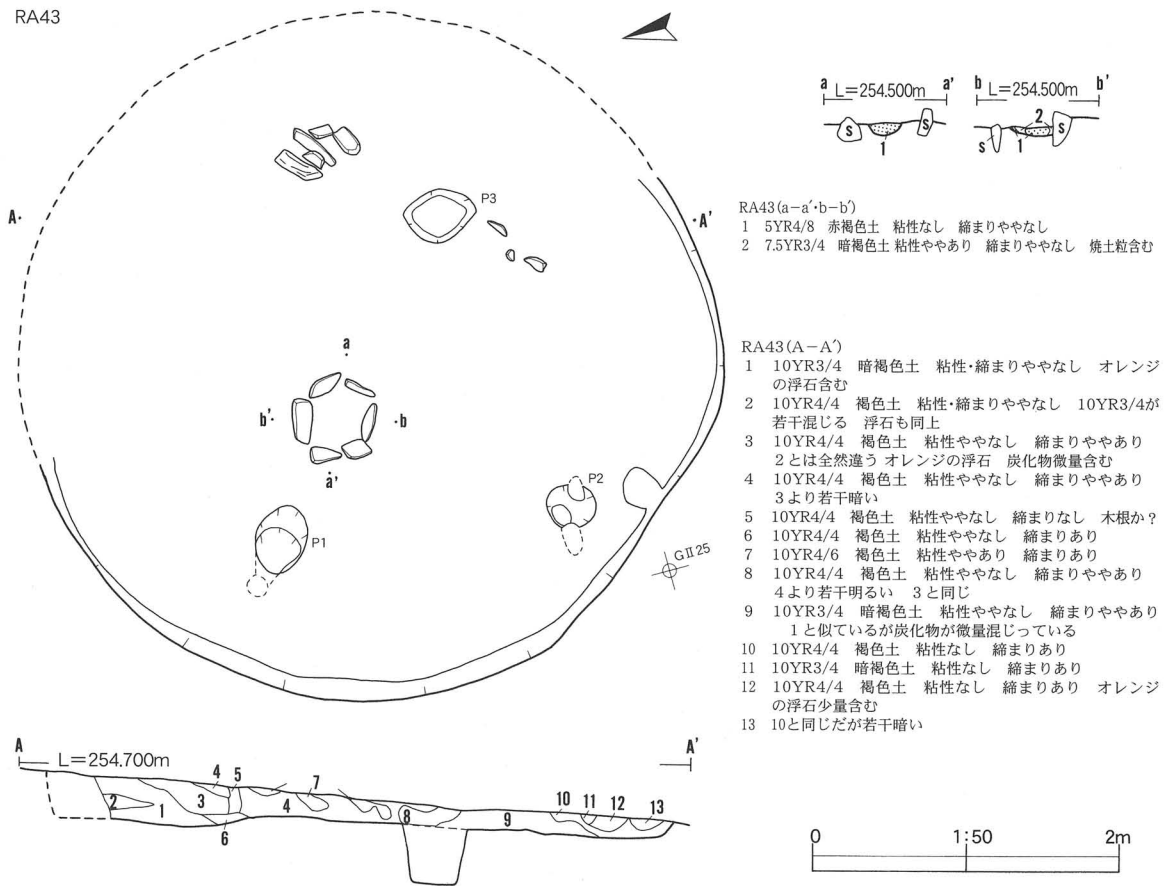
(遺物) (第191図 写真図版164)

446~448は大木9式か。449は石錐の欠損品。〈時期〉 出土遺物より縄文時代中期後葉と思われる。

RA44 (第53図 写真図版38)

〈位置〉 北区GⅡ20グリッド、RA38の南 〈検出状況〉 RA43壁面を精査中に本遺構の壁を検出した。 〈重複関係〉 RA43から南東に1.2mずれた下位に、レベル差40cmで本遺構があり、本遺構の下位にはRA48がある。 〈平面形・規模〉 径4.6mの円形 〈埋土〉 礫、炭化物、土器片が散見されることから、斜面上方(北東側)から廃土が投げ込まれたようである。 〈壁・床面〉 壁高は40cmである。一部、壁を検出できない箇所があったが、残存する部分では、南半分は直立気味であり、北側は外傾して立ち上がる。北東部では二段に立ち上がる部分もある。 〈柱穴〉 5基検出した。一部下位のRA48との共用と思

RA43



RA43(a-a'-b-b')

- 1 5YR4/8 赤褐色土 粘性なし 縮まりややなし
- 2 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 焼土粒含む

RA43(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややなし オレンジの浮石含む
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややなし 10YR3/4が若干混じる 浮石も同上
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややなし 縮まりややあり 2とは全然違う オレンジの浮石 炭化物微量含む
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性ややなし 縮まりややあり 3より若干暗い
- 5 10YR4/4 褐色土 粘性ややなし 縮まりなし 木根か?
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性ややなし 縮まりあり
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり
- 8 10YR4/4 褐色土 粘性ややなし 縮まりややあり 4より若干明るい 3と同じ
- 9 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややなし 縮まりややあり 1と似ているが炭化物が微量混じっている
- 10 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりあり
- 11 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり
- 12 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりあり オレンジの浮石少量含む
- 13 10と同じだが若干暗い

第52図 RA43竪穴住居跡

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5
径cm	37×25	39×28	32×31	40×37	34×32
深さcm	43	46	67	72	63

われるものがある。〈炉〉 床面で焼土の広がりを2カ所検出した。一基は投げ込みと思われるが、もう一基は現地性のものと判断した。

(遺物) (第192~195図 写真図版164、165)

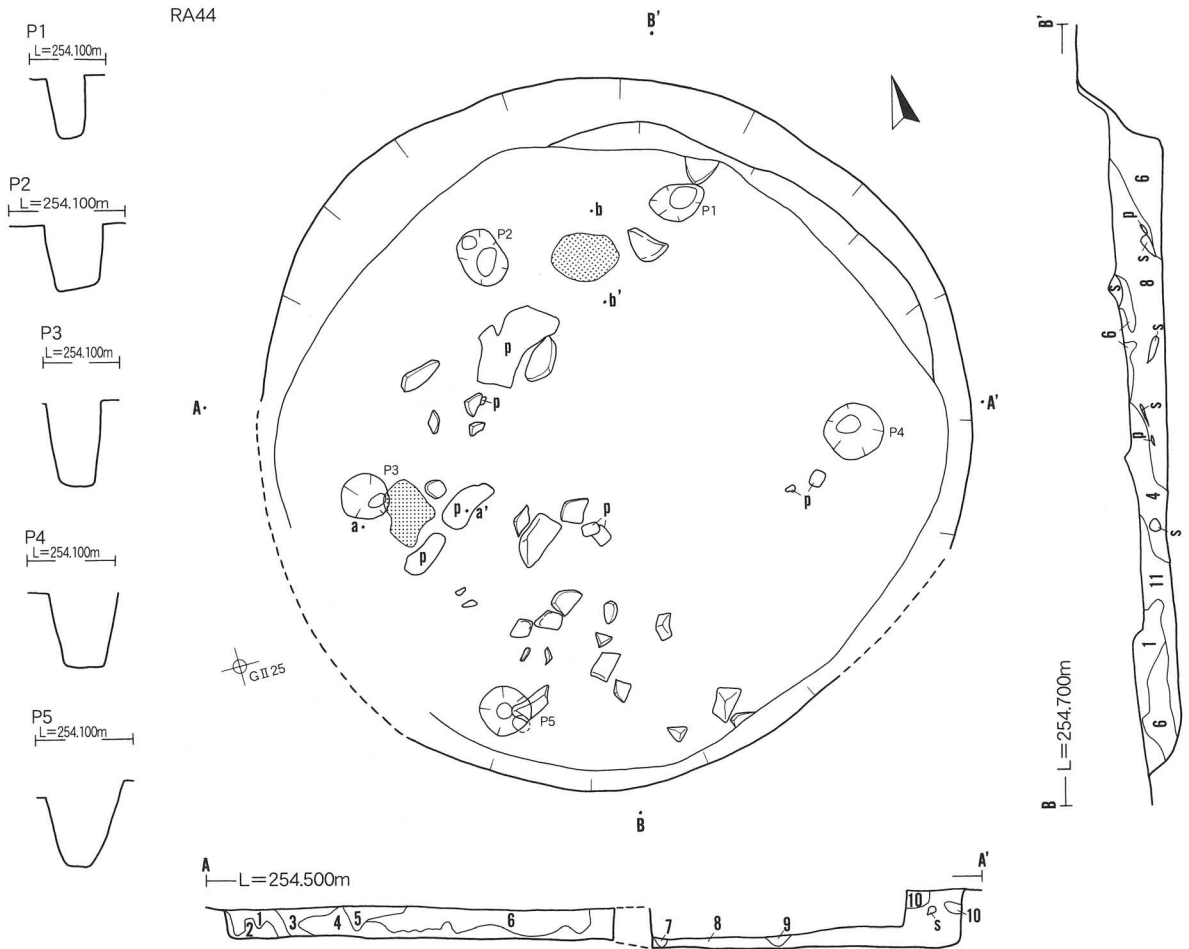
454は完形の小型深鉢であり、他も大木9式と思われる。462、463は粗製深鉢、473は土偶破片、474は円盤状土製品である。487石皿は壁際からほぼ完形で出土している。廃土と一緒に廃棄されたものもあるようである。〈時期〉 唯一床面出土の454により、縄文時代中期後葉と考えたい。

RA45 (第54図 写真図版39)

〈位置〉 北区G II 05、10グリッド 〈検出状況〉 RH02 (集石遺構) 精査後検出、ほぼ表土を除去した直下であり、攪乱を受けている。〈重複関係〉 床面でRD187を検出しているが、新旧は不明である。〈平面形・規模〉 表土が浅く、攪乱を受けていたため、一部しか検出できなかった。残存部から推定して径7m以上の円形かと思われるが確証はない。〈埋土〉 断面を観察した場所では、斜面上位から流れ込み的に堆積している。〈壁・床面〉 やや外傾して立ち上がる。床面はほぼ平らで縮まりがある。

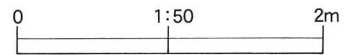
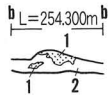
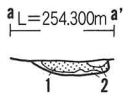
	P 1	P 2	P 3
径cm	20×24	35×34	37×32
深さcm	34	16	28

〈柱穴〉 床面で3基検出した。〈炉〉 P 2の南1.2mの所で焼土を検出したが、精査する前に掘り下げてしまうという人為的ミスにより記録できなかった。地床炉と思われる。



RA44(A-A'・B-B')

- |  |   |
|--|---|
| 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりややなし 褐色土が混じる            | 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし           |
| 2 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり                       | 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり オレンジの浮石少量含む |
| 3 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり                       | 9 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややなし 縮まりなし             |
| 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし オレンジの浮石少量含む      | 10 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし           |
| 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり オレンジの浮石少量含む        | 11 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし          |
| 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり オレンジの浮石少量 炭化物層状に含む |   |



RA44(a-a')

- 1 5YR4/8 赤褐色土 粘性なし 縮まりややあり(焼土)
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし

RA44(b-b')

- 1 2.5YR4/8 赤褐色土 粘性・縮まりなしがブロック状に混入 10YR4/4褐色土 粘性ややあり 縮まりややなしが母体か?
  - 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり
- 1・2共に白色浮石少量混入

第53図 RA44竪穴住居跡

(遺物) (第195図 写真図版165)

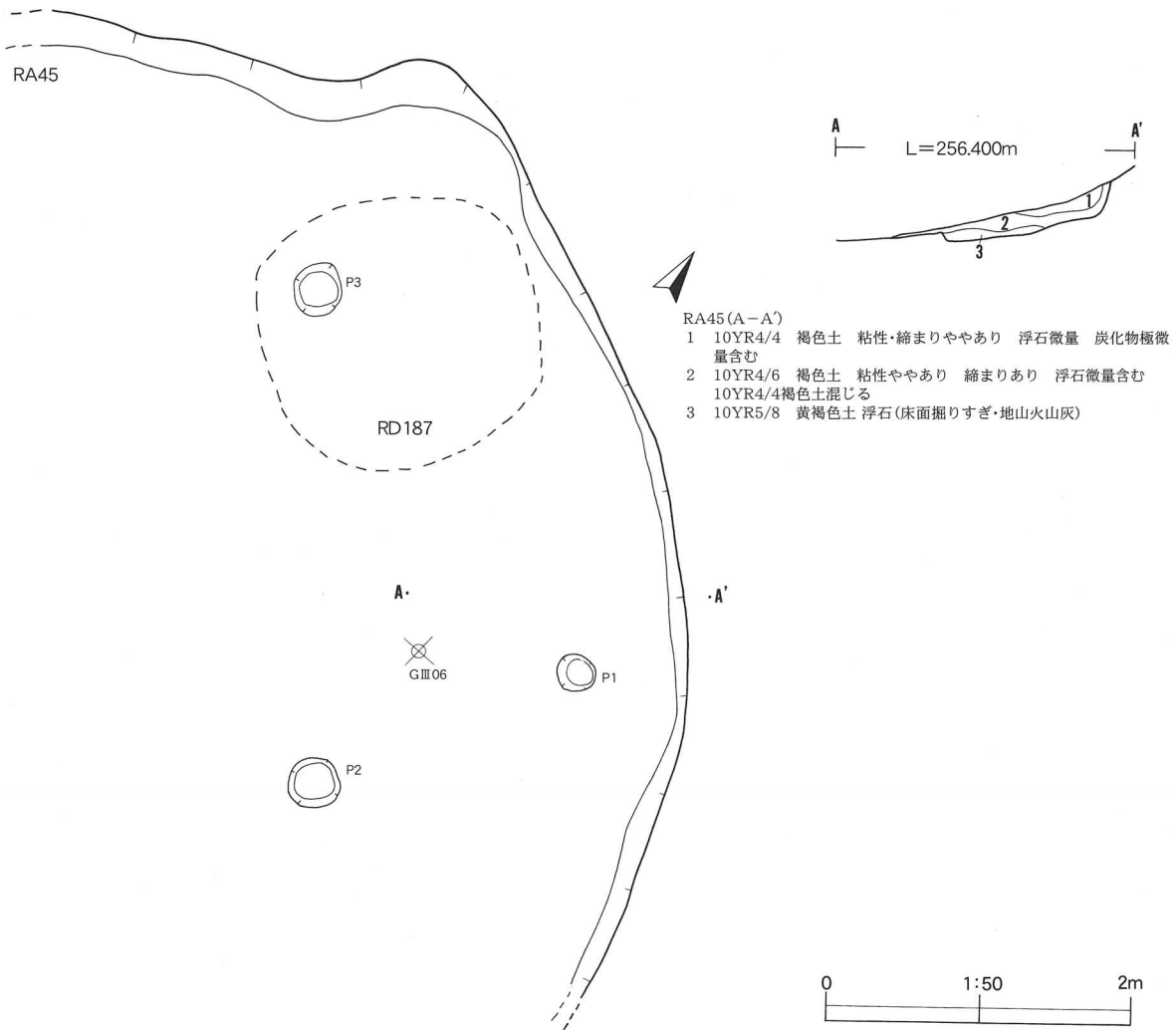
488は大木9式であるが、早蕨状の文様をもち、同形式でも古い方にあたるのではないだろうか。

<時期> 出土遺物より縄文時代中期後葉と思われる。

RA46 (第55図 写真図版40)

<位置> 北区FⅢ18、23グリッド <検出状況> 北区で標高の一番高い所で、東から西に張り出す痩せ尾根上にある。RA40の床面で検出したRD174の底面でRD191を検出し、その底面で本遺構の炉石を検出した。

<重複関係> 直接本遺構を切るのは、RD171、183、186、191、であり、これらの上にRD174、RA40がある。



- RA45(A-A')
- 1 10YR4/4 褐色土 粘性・締まりややあり 浮石微量 炭化物極微量含む
  - 2 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 締まりあり 浮石微量含む  
10YR4/4褐色土混じる
  - 3 10YR5/8 黄褐色土 浮石(床面掘りすぎ・地山火山灰)

第54図 RA45竪穴住居跡

<平面形・規模> 東側が一部調査区外に広がるが、6.6×5.4m程の円形に近い楕円形を呈すると思われる。<埋土> ほとんどの層位に、この尾根筋近辺にのみ堆積している白色の火山灰を斑に混在させていることから、何れも廃土と思われる。<壁・床面> かろうじて残存する部分ではほぼ直立している。一部北隅は緩傾斜になっている。床面はやや締まり、平坦である。<柱穴> 7基検出したが、P5、7は本遺構に伴うものではない。

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7
径cm	56×55	51×38	65×60	51×?	36×33	34×32	33×30
深さcm	58	66	33	23	24	44	22

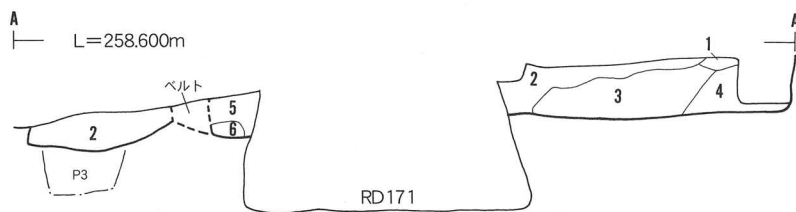
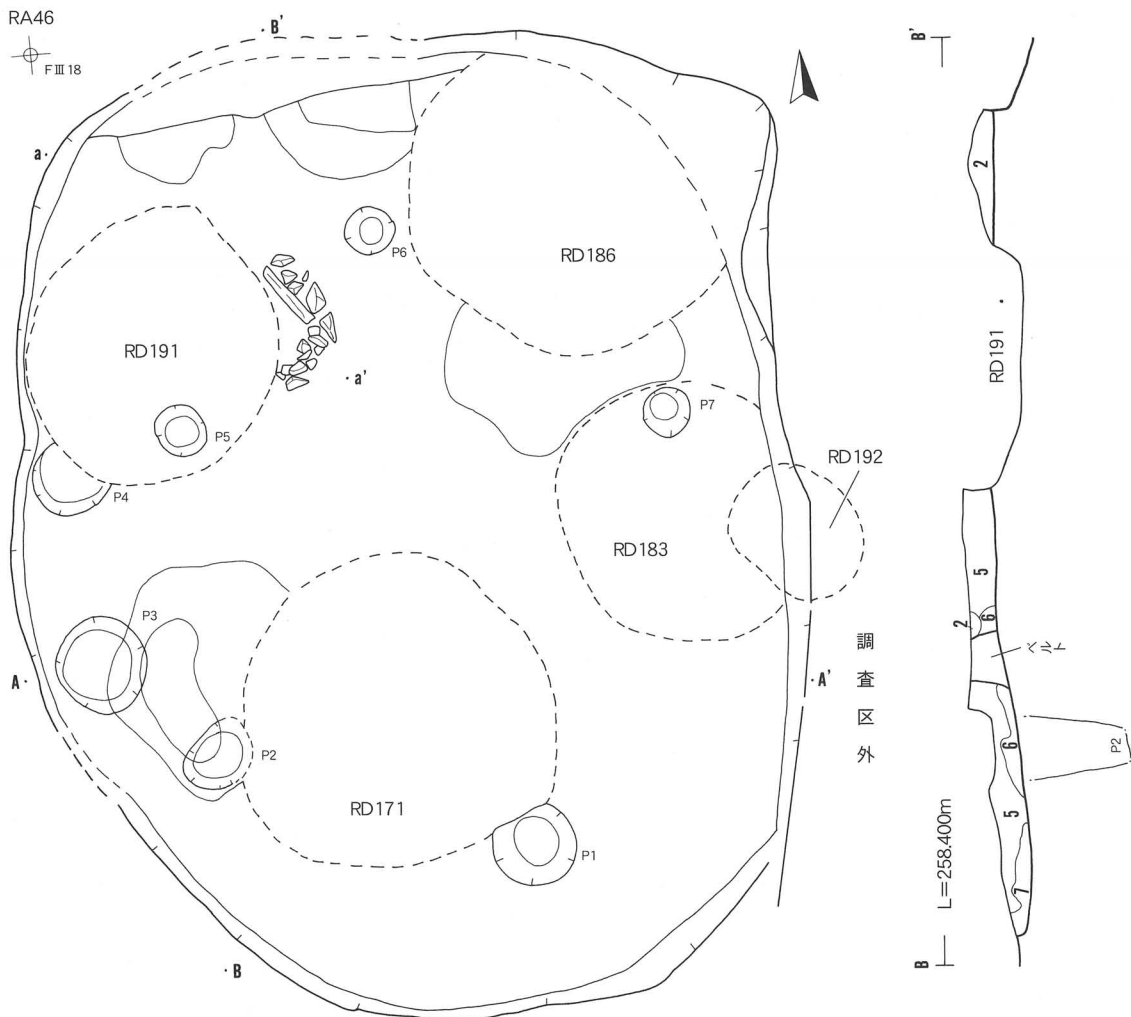
<炉> 中央から北西に寄った所に石囲炉を検出した。

RD191に切られ、全景は把握できないが位置的に複式炉の可能性はある。大小の礫を2列に組んで囲っているようで、焼土もあるが残存部では僅かである。

(遺物) (第195・196図 写真図版165、166)

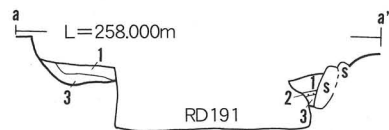
何れも大木9式の土器が出土している。円盤状土製品も1点出土している。

<時期> 出土した遺物より縄文時代中期後葉と思われる。



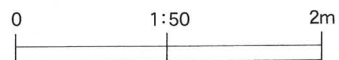
RA46(A-A'-B-B')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石微量含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 白色浮石 炭化物微量含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 白色浮石 炭化物微量含む
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 白色浮石 炭化物 焼土粒微量含む 10YR4/4褐色土含む
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 白色浮石 炭化物 焼土粒含む(5より多い)
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石微量含む

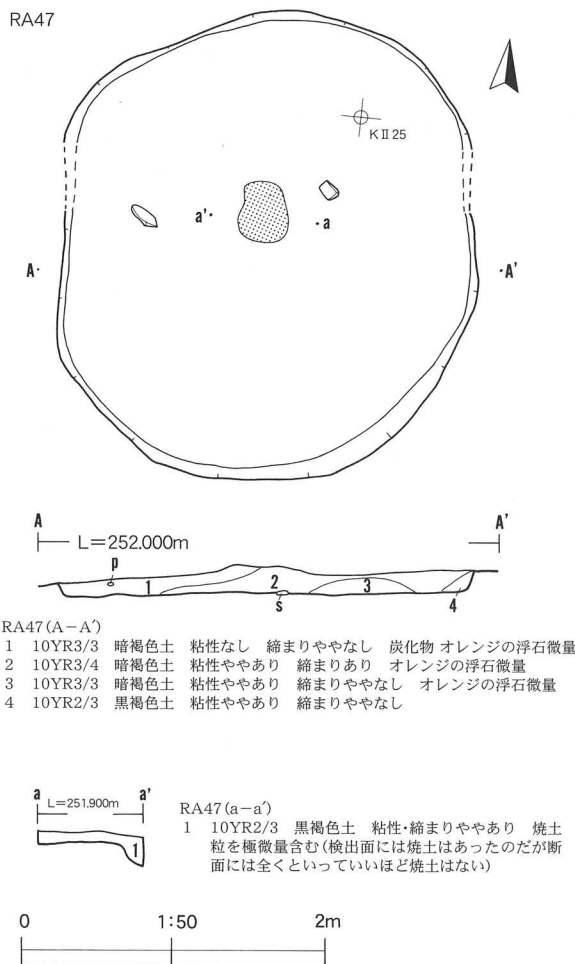


RA46(a-a')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 2 5YR4/6 赤褐色土 粘性なし 縮まりあり(焼土)
- 3 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性なし 縮まりかなりあり(地山)



第55図 RA46竪穴住居跡



第56図 RA47竪穴住居跡

〈時期〉 出土遺物からの判断はむずかしいが、下位に複式炉をもつRA57があることを考えると、縄文時代中期後葉から後期初頭までの間と思われる。

RA48 (第57図 写真図版42)

〈位置〉 北区G II 20、25グリッド 〈検出状況〉 RA44柱穴精査時に柱穴の中に別の柱穴を検出したことにより、下位に別遺構の存在を考え、RA44精査終了後、ベルトを設定し本遺構を検出した。本遺構精査中にベルト南側に石囲炉1基検出したがすでに本遺構の床は炉より低位で検出されており、またベルトの中にもこの炉に伴う立ち上がりを確認できずにRF53として焼土登録した。ゆえに、本遺構とRA44の間にもう1棟の住居跡が存在した可能性がある。〈重複関係〉 (新) RA43→RA44→RF53→RA48 (旧) と1m前後のずれはあるがほとんど上下に重複している。〈平面形・規模〉 径4.9m程の円形を呈する。〈埋土〉 上位のRA44との床面レベル差は15cm前後である。ベルトは住居南側の一部にしか設定できず、全体的な堆積状況は把握できなかった。〈壁・床面〉 壁高は残存値で15cm程。床はほぼ平坦で堅く締まっている。〈柱穴〉 4基検出した。P1、4はRA44と柱穴を共用しているようであり、特にP4は底が2カ所に分かれている。〈炉〉 中央より南寄りに台形状の石囲い炉を検出したが、さらにここから南

	P 1	P 2	P 3	P 4
径cm	38×32	55×49	50×42	52×50
深さcm	54	52	61	59

に、八字状に広がる褐色土があり、これが黒色土を床とする落ち込みとなった。近辺にある複式炉は前庭部を斜面下方にもつことを考えあわせると、これを前庭部とした複式炉と見な

RA47 (第56図 写真図版41)

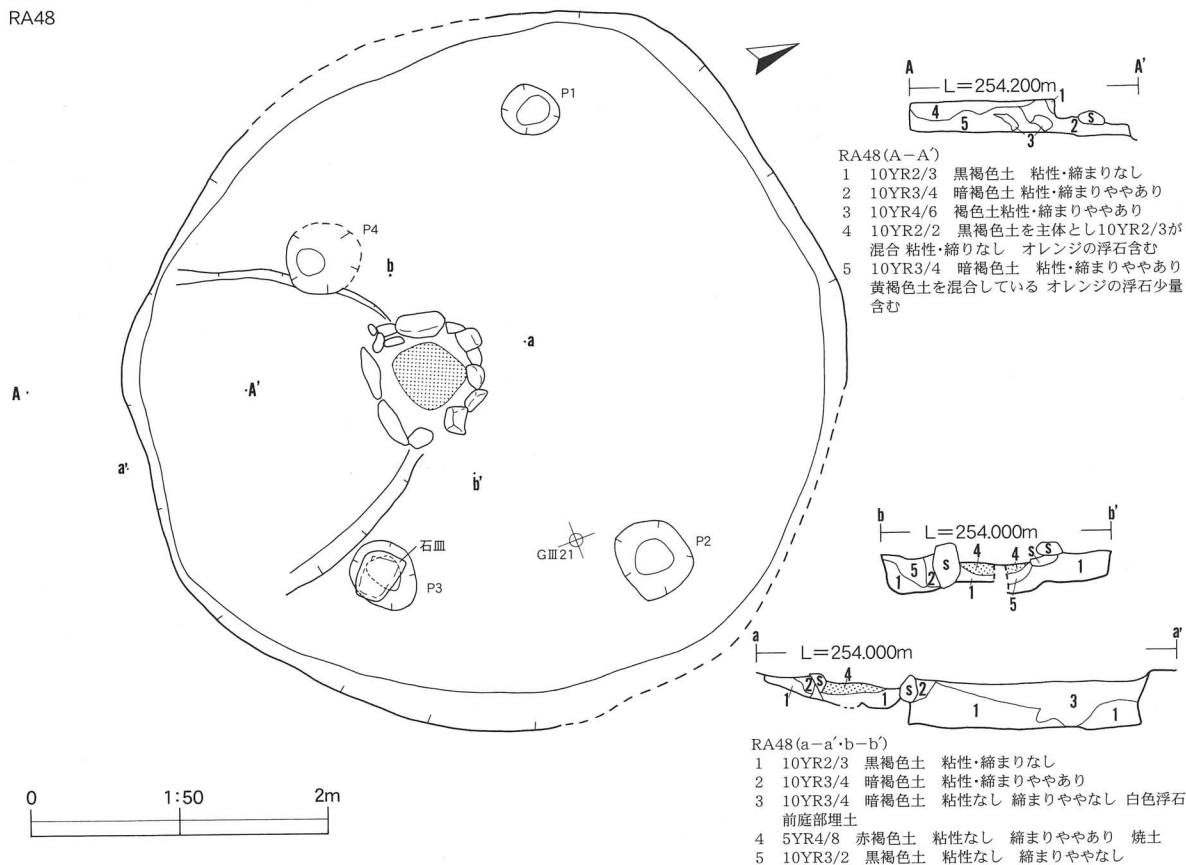
〈位置〉 南区K II 24、25グリッド 〈検出状況〉 表土除去後IV層のトレンチでプランの一部を検出した。〈重複関係〉 東側にあるRD194を切る。また下位にRA57がある。〈平面形・規模〉 やや南北に長軸をもつ楕円形で3.1×2.7m程である。〈埋土〉 4層に区分。周囲の遺構を掘上げた廃土が入っている模様。〈壁・床面〉 やや外傾して立ち上がり、直立に近い箇所もある。壁高は20cm前後、上面を後世に削平されているようである。床面は平坦でやや締まる。長さ20cm程の自然礫が2点、床面より出土している。〈柱穴〉 検出されていない。〈炉〉 中央北寄りで40×30cmの焼土の広がりを検出したが、断面では殆ど観察できないほど薄いものである。

(遺物) (第197図 写真図版166)

埋土から円筒下層d式と思われる土器が出土しているが、後期初頭の土器も伴出しており、周囲からの流れ込みと思われる。円盤状土製品が3点、508は手捏ねのミニチュア土器である。509は貫通孔をもち表面中央部が凹む土製品である。



RA48



第57図 RA48竪穴住居跡

すことができるとされる。石囲部は径80cmで、焼土の発達は良い。なお焼土表面に石器の細かい剥片が散乱しているのが観察された。

(遺物) (第197・198図 写真図版166)

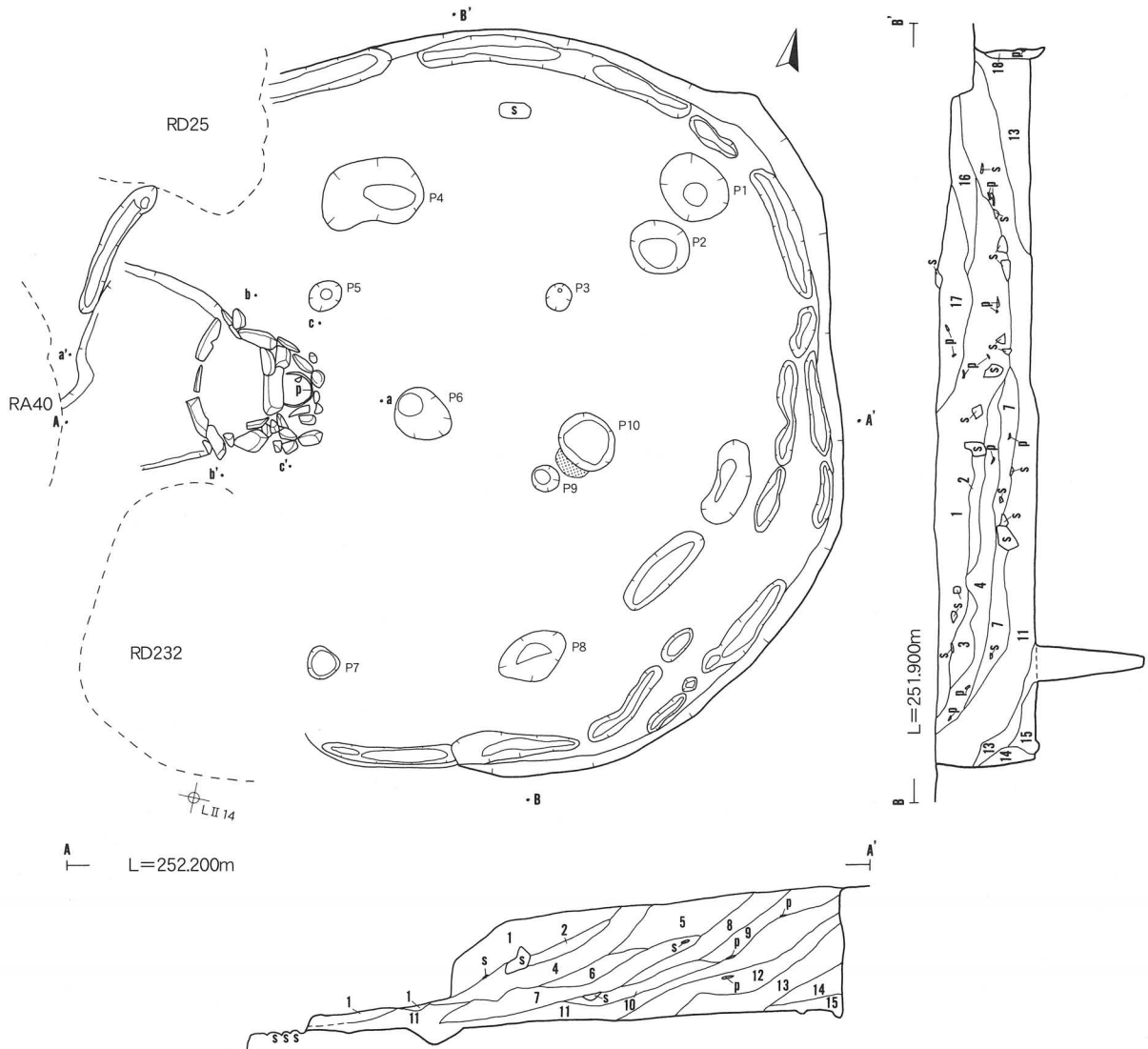
上位の住居には見られなかった518, 519等の大木8 b式の土器が見られるが同9式のものも混入している。  
 <時期> 上位の住居からは何れも大木9式の土器が出土しているが、上位の住居と同時期かそれほど遡らない時期と思われる。縄文時代中期中葉から後葉の間と思われる。

RA49 (第58図 写真図版43)

<位置> 南区L II 09 周辺 <検出状況> V層で検出 <重複関係> 北側にあるRA03を切る。他に床面で検出したRD235, 238, 252がある。RD25, 40, 232, に切られる。 <平面形・規模> 径6mの円形  
 <埋土> 本遺構東側の斜面上位から流れ込んだ、自然堆積に近い状態の埋土が観察された。 <壁・床面> ほぼ直立した壁をもち、壁高最大値は72cmである。床面は平坦で堅く縮まりV層と同じ土で貼り床がなされ

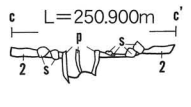
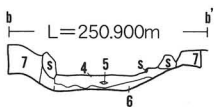
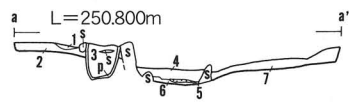
	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10
径cm	61×51	51×44	23×20	84×50	30×24	50×40	28×26	59×40	23×22	50×43
深さcm	65	78	57	81	39	20	29	89	51	10

ている。 <柱穴> 10基検出した。 <壁溝> 壁を検出した箇所です断続的に壁溝を検出した。南東寄りの所では、三重になっている部分もあり、住居拡張の可能性がある。そう考えると上記の柱穴の不規則な並びも理由付けがなされるかもしれない。 <炉> 石組みをもつ土器埋設炉+石囲部+前庭部からなる複式炉で



RA49(A-A'-B-B')

- |   |  |
|---|--|
| 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化物 礫含む            | 9 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物微量(8よりやや明るい)                    |
| 2 10YR4/4と4/6の混合土 粘性・縮まりややあり 浮石微量 炭化物極微量          | 10 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 10YR5/6黄褐色土 3/4暗褐色土ブロック状に混じる(7とよく似る) |
| 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化物微量               | 11 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量 土器片含む                        |
| 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量 土器片や多く含む       | 12 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量                              |
| 5 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む             | 13 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物微量                            |
| 6 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 10YR3/4暗褐色土含む 浮石 炭化物微量 | 14 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり 地山の崩落土                                  |
| 7 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む             | 15 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量含む                              |
| 8 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量 炭化物極微量              | 16 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む                          |
|   | 17 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり 浮石 炭化物極微量含む                           |
|   | 18 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む                                |

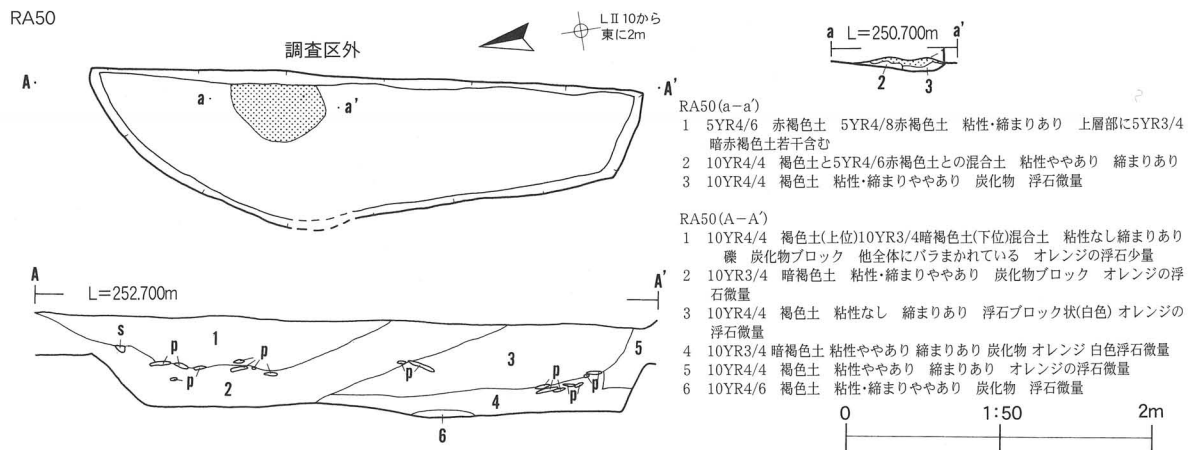


RA49(a-a'-b-b'-c-c')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石微量
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石少量
- 3 10YR2/3 黒褐色土 10YR3/3暗褐色土との混合土 粘性ややあり 縮まりややなし
- 4 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりややあり オレンジの浮石少量
- 5 5YR4/6 赤褐色土 粘性ややあり 縮まりあり(焼土)
- 6 10YR4/4 褐色土 10YR3/4暗褐色土の混合土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量(5からの焼土若干含む)
- 7 10YR5/6 黄褐色土 粘性なし 縮まりあり 浮石少量(10YR4/4褐色土 10YR3/4暗褐色土を部分的に含む)



第58図 RA49竪穴住居跡



第59図 RA50竪穴住居跡

ある。石囲部は黒褐色土が5～6cm堆積し、その下に焼土層が1cm弱の厚さで形成されていた。埋設土器の埋土は炭化したような黒色土で、焼土は一切なく、むしろ土器の周辺に焼土が形成されていた。

(遺物) (第198～203図 写真図版167、168)

541は炉埋設土器である。粗製深鉢で口縁部と底部を欠く。この他には、大木9式の新しいものから同10式にかけての遺物が多い。さらに円筒下層d式、大木7式期のもも出土している。本遺跡では掘り込みが深く、埋土量の多い遺構では、時期差のある遺物が同一遺構から出土するという特徴の典型的な例である。〈時期〉 炉の形態及び出土土器から縄文時代中期後葉から末葉にかけてのものと思われる。

RA50 (第59図 写真図版44)

〈位置〉 南区L II 05 〈検出状況〉 V層で検出 〈平面形・規模〉 東側で調査区外に一部延びるため、全体は把握できない。残存値で推定すると、径3.5m以上の円形と思われる。〈埋土〉 検出面を越えて堆積している層もあり、人為的に土が盛られたことも考えられる。〈壁・床〉 外傾して立ち上がり、壁高は30cm程。床面は南側にかけて一部落ち込みがあるがほぼ平坦である。〈柱穴〉 範囲内では検出されず。〈炉〉 調査区境で径60cm程の不整円形の焼土範囲を検出した。厚さは8cm程である。

(遺物) (第204図 写真図版169)

609は無文で煤が付着している。610～615は大木7a式と思われる。〈時期〉 遺構の重複や床面からの出土遺物がないため、限定は出来ないが、他の遺構の埋土と比較し、縄文時代中期である可能性が高い。

RA51 (第60図 写真図版45、46)

〈位置〉 南区O I 13、14、18、19、23、24 〈検出状況〉 表土除去後のトレンチに、床と思われる面で土器埋設の小規模な炉を検出したが、トレンチの断面に立ち上がりを確認できなかった。範囲を確認のため掘り広げたところ、土器埋設炉から北に7m程離れた所に住居の北端と思われる部分を確認し、ベルトを設定して、壁、床の検出を行った。以後北端での壁を把握し、この壁を追いかけるかたちで東そして南方向に掘り進め、順調に壁を追いかけることが出来たが、8m程進んだ所で調査区外に入ってしまった。一方、北端から西、南にかけては、立地が斜面の下位になっていることもあり、削平のためか、壁の痕跡が希薄で、途中で消滅していた。つまりベルトで確認できたのは、東側壁と北側壁のみである。ベルト除去後、ベル

ト下に土器埋設の石囲い炉を検出した。さらに、南側にかけて床面を追いかけるかたちで壁の検出を行ったが、調査区南端まで行っても確認することは出来なかった。この作業の途中で、ベルト下にあった北側土器埋設炉と、最初に検出した中央の土器埋設炉とほぼ同軸線上、等間隔の南側でもう1基の石囲い炉を検出した。この時点で同軸線上に炉を複数もつ大型の住居跡であると仮定し、精査を行ったが、南側炉を挟んで東西にそれぞれ1基ずつの別の石囲い炉の痕跡を検出し、計5基の炉をもつ大型住居跡と思われた。仮に大型住居だとした場合、伴う柱穴配置が不定なこと、東側のみに検出された壁溝が一定でないこと、床面が南側に若干傾斜していること、また、同軸線上に並ぶ炉と対角に炉を設置する類例がないこと等を考えあわせると、RA51は1つの住居ではなかった可能性が高い。〈重複関係〉 南側のRA53（平安時代）に切られ、北端部のRA64を切る。〈平面形・規模〉 残存するところでは楕円形を呈すると思われる。検出した段階では東西に6mの径を測るが、南北は不明である。〈埋土〉 遺構の南側は、RA53精査時に掘り下げられており、満足なベルトは北側にしか設定できなかった。東西に設定したベルトの東側には壁の崩落土と思われる土層が観察されており、総じて東側から西側にかけて土が流れ込む自然堆積の様相を呈している。〈壁・床面〉 壁高は最大値で60cm、床面はVI層（地山）を掘り込んでいる。北側はほぼ平坦であるが、南側は床面に緩い凹凸が見られる。中央部には粘土塊が置かれていた箇所が5カ所、他に炭化材も部分的にはあるがみられる。〈柱穴〉 51基検出。このなかにはP32～47の様に、壁柱穴と思われるものもあり、また、この住居跡の上位で焼土・炉跡が5基検出されているので、浅い柱穴には、これらに伴うものもあると

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10	P 11
径cm	60×54	44×34	57×97	42×35	28×26	88×67	32×20	44×36	34×30	28×28	26×22
深さcm	62	39	47	18	47	29	11	44	38	14	11

P 12	P 13	P 14	P 15	P 16	P 17	P 18	P 19	P 20	P 21	P 22	P 23
32×28	24×22	56×32	66×58	67×?	34×25	66×60	54×48	28×26	34×29	32×30	16×16
66	21	26	16	19	27	31	33	15	25	9	11

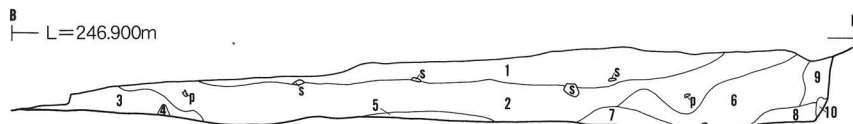
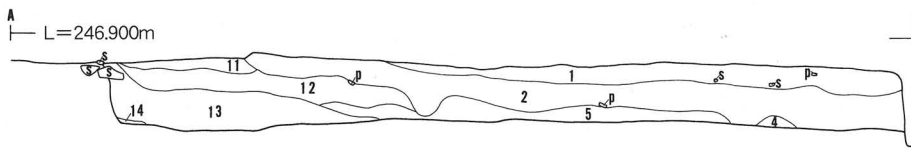
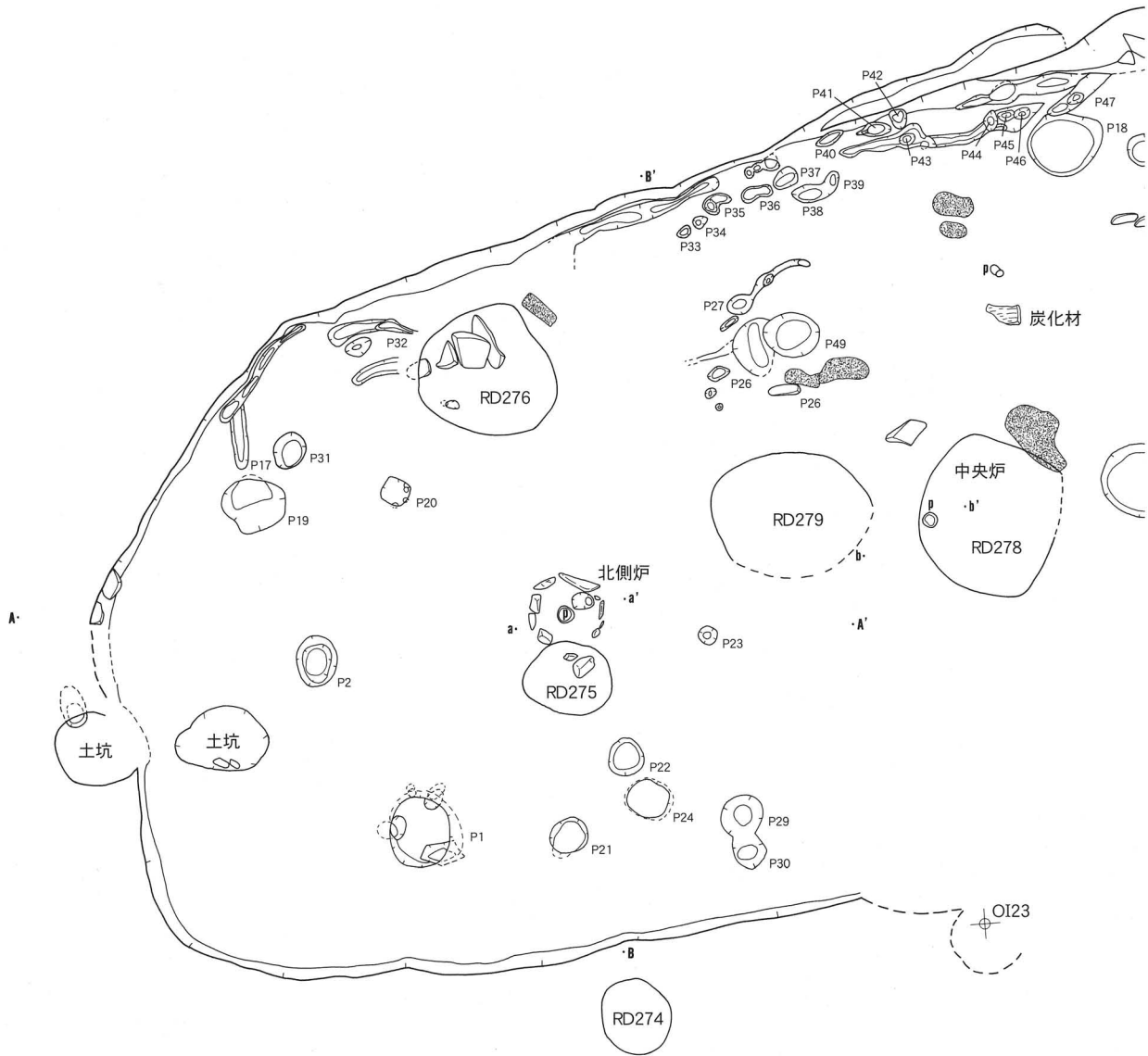
P 24	P 25	P 26	P 27	P 28	P 29	P 30	P 31	P 32	P 33	P 34	P 35
38×33	22×19	50×46	20×12	70×64	38×36	28×26	32×26	24×14	14×9	14×10	26×12
57	8	22	8	40	24	21	17	6	10	14	18

P 36	P 37	P 38	P 39	P 40	P 41	P 42	P 43	P 44	P 45	P 46	P 47
27×10	22×16	32×16	20×12	27×10	30×12	18×15	14×10	18×12	16×9	14×10	16×9
6	12	17	11	16	31	12	14	18	12	24	27

P 48	P 49	P 50	P 51
34×28	48×38	76×72	24×22
18	66	25	23

と思われる。〈壁溝〉 東壁際で検出した。断続的であり連続するものはないが数条となる。〈炉〉 5基検出した。北側炉は、土器埋設の石囲い炉で土器の周囲に焼土が厚く形成されている。中央炉は土器埋設炉であるが、焼土は土器の周囲表面にわずかに広がるだけである。南側炉は石囲い炉で、厚く焼土が形成されている。東側、西側炉は、炉石の一部を検出したのみで、周囲にも、断面にも焼土の痕跡はなく、石そのものも火熱を強く受けた形跡は見られなかった。

〈その他〉 本遺構は複数の住居跡かもしれず、炉の数だけ住居があったことになるのかもしれない。但し調査時点では、平面、断面ともこのことが確認できず、東側壁が連続して検出できたこと、中央に炉が並んで3基検出されたこと等から、一棟の住居として精査してしまった。よって遺物の登録も同様になっている。

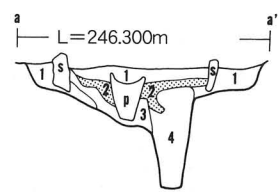
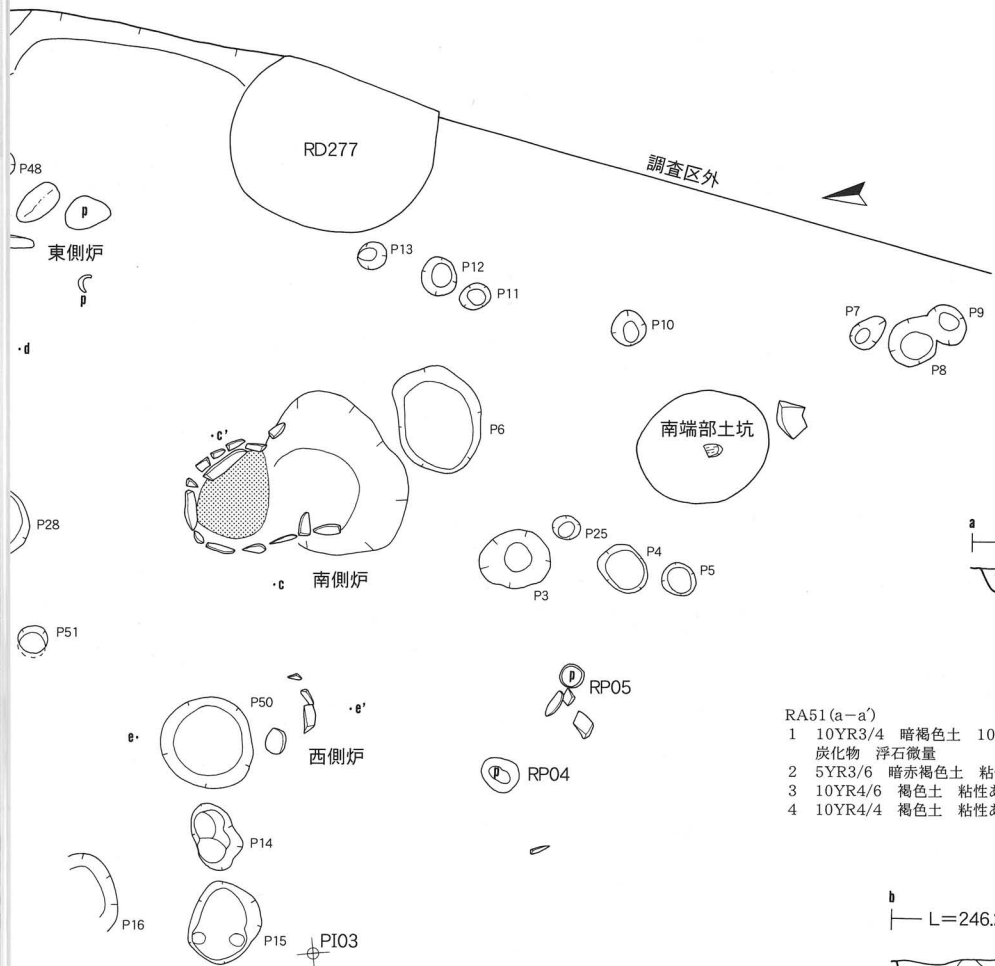


RA51 (A-A'・B-B')

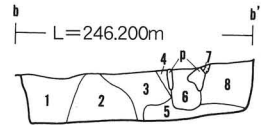
- 1 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりややなし 小角礫 炭化物あり 黄褐色土ブロック状に含む
- 2 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり 一部に角礫集中して含む 炭化物 土器片あり
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 礫 炭化物含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり
- 5 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物含む
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物 土器片含む
- 7 10YR3/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物多量 焼土ブロック含む
- 8 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 炭化物多量 焼土ブロック含む
- 9 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし
- 10 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり 堅い
- 11 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり
- 12 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 礫 炭化物 土器含む
- 13 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 14 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり(床土?)



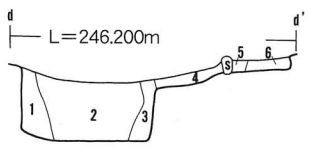
第60図 RA51竪穴住居跡



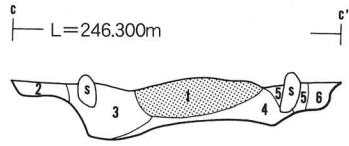
- RA51(a-a')
- 10YR3/4 暗褐色土 10YR2/3黒褐色土との混合物 粘性・縮まりややあり 炭化物 浮石微量
  - 5YR3/6 暗赤褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物 浮石極微量
  - 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりかなりあり
  - 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり



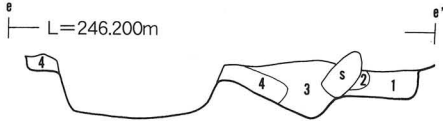
- RA51(b-b')
- 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物微量
  - 10YR5/8 黄褐色土 粘性・縮まりあり
  - 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり
  - 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 縮まりややあり
  - 10YR5/8 黄褐色土 粘性・縮まりあり
  - 10YR5/8 黄褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 焼土粒微量(中央部) 10YR2/3黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし(周辺部)
  - 5YR4/6 赤褐色土 粘性なし 縮まりややあり
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり



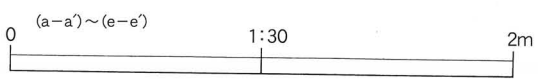
- RA51(d-d')
- 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし(10YR2/3黒褐色土が混じる)炭化物少量
  - 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりなし 砂質
  - 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりかなりあり
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり
  - 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりかなりあり

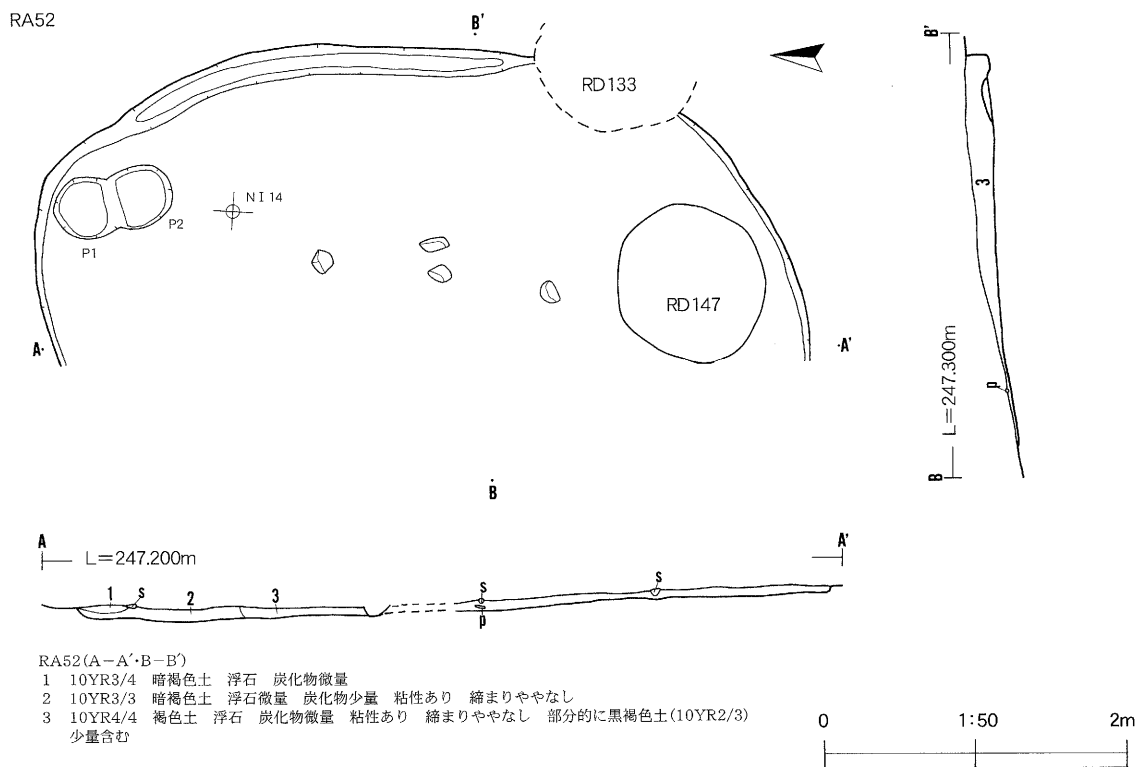


- RA51(c-c')
- 2.5YR4/8 赤褐色土 粘性なし 縮まりかなりあり 均質
  - 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりかなりあり
  - 10YR4/4~4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 焼土粒 炭化物微量
  - 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり
  - 10YR4/4~4/6 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 10YR2/2黒褐色土含む
  - 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり



- RA51(e-e')
- 10YR4/6 褐色土と10YR3/4暗褐色土との混合物 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物 浮石微量
  - 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりあり
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 炭化物微量 浮石少量
  - 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石極微量





第61図 RA52竪穴住居跡

(遺物) (第205～218図 写真図版169～174)

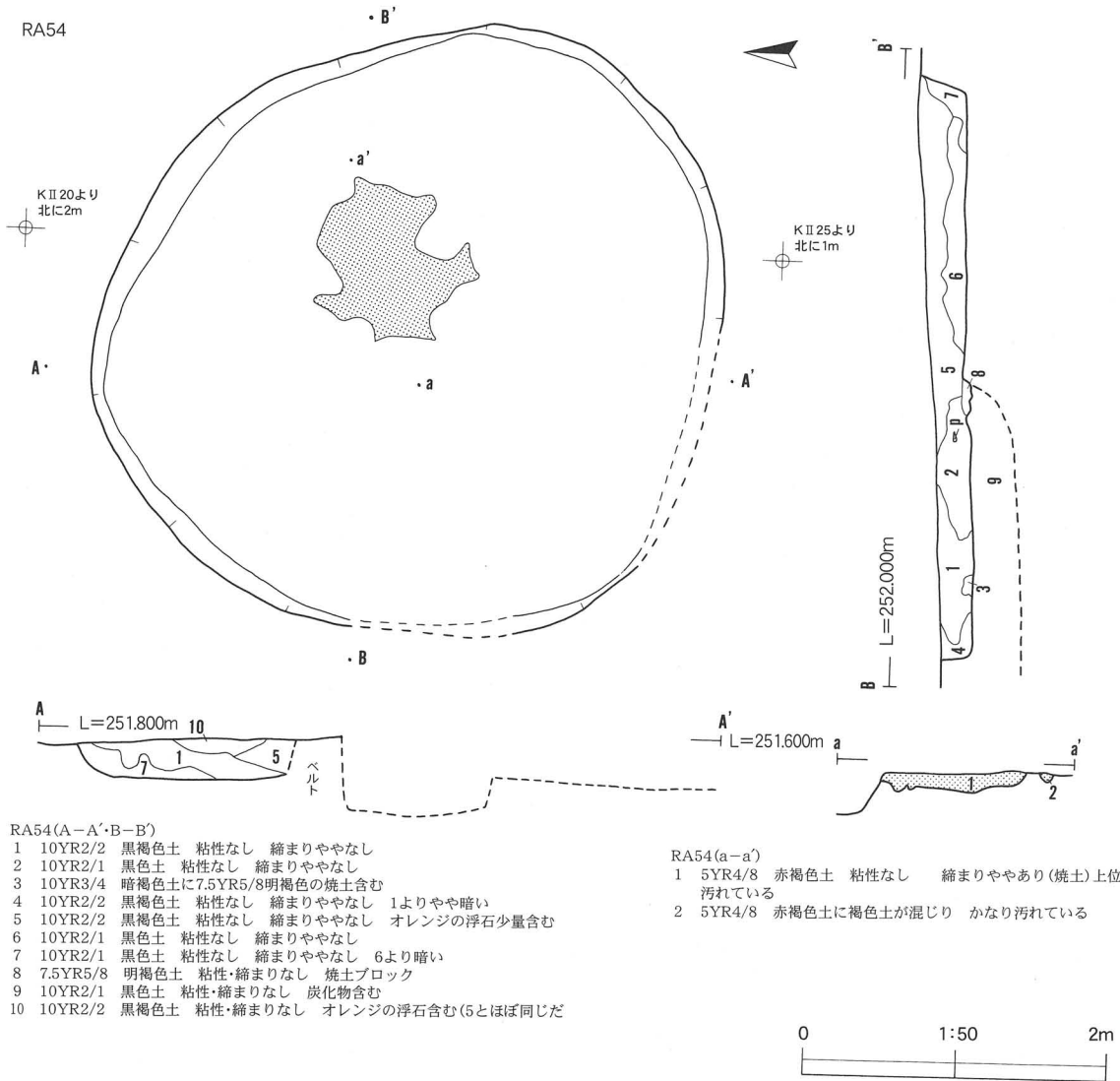
619は北側炉の埋設土器であり、底部と口縁部を欠いている。縦位の綾絡文があり、本遺跡ではこの文様は円筒上層aか大木6～7式に限られるようである。651は中央部の炉埋設土器である。粗製深鉢で胴部を残すのみである。他に床上出土土器は618で、口縁部に原体圧痕をもち隆帯を張り付けている。640は口縁部が平らで内湾している。文様は撚糸文を縦位に施文している。650は折返し口縁をもち単節斜縄文のみの施文である。659は深鉢の下半で単節斜縄文である。埋土からの出土遺物を見ると、大木7b期と思われる浅鉢5点が埋土下位より出土している。また、本遺跡では出土量の少ない大木8b期の土器も比較的まとまって出土している。逆に、本遺跡で出土量の多い大木9式土器の出土が極端に少ない。他に破片であるが円筒下層d式と円筒上層a式が数点ある。石器は79点出土しているが46点のみ掲載した。

〈時期〉 複数の住居の可能性が高く、時期の限定が難しいが、出土遺物から見て、縄文時代中期前葉から同後期初頭までの間に含まれるものと思われる。

RA52 (第61図 写真図版47)

〈位置〉 南区 NI 14グリッド 〈検出状況〉 この地点は斜面の下位であり、表土も薄くなっているようである。表土除去後V層で検出した。〈重複関係〉 RD133、206が本遺構を切る。また、下位にはRA55、RD220～222・231がある。〈平面形・規模〉 円形を呈すると思われる。斜面下方が削平されており、遺構の約半分しか検出できず、残存値で径6m程である。〈埋土〉 検出面から床面まで浅く、満足なベルト設定が出来なかったが、埋土のほとんどは褐色土の単層に近い。〈壁・床面〉 壁高は最大でも10cm弱。床面は褐色土で貼り床が行われており、堅く締まる。〈柱穴〉 北東壁際に2基並ぶ。P1(径46×43、





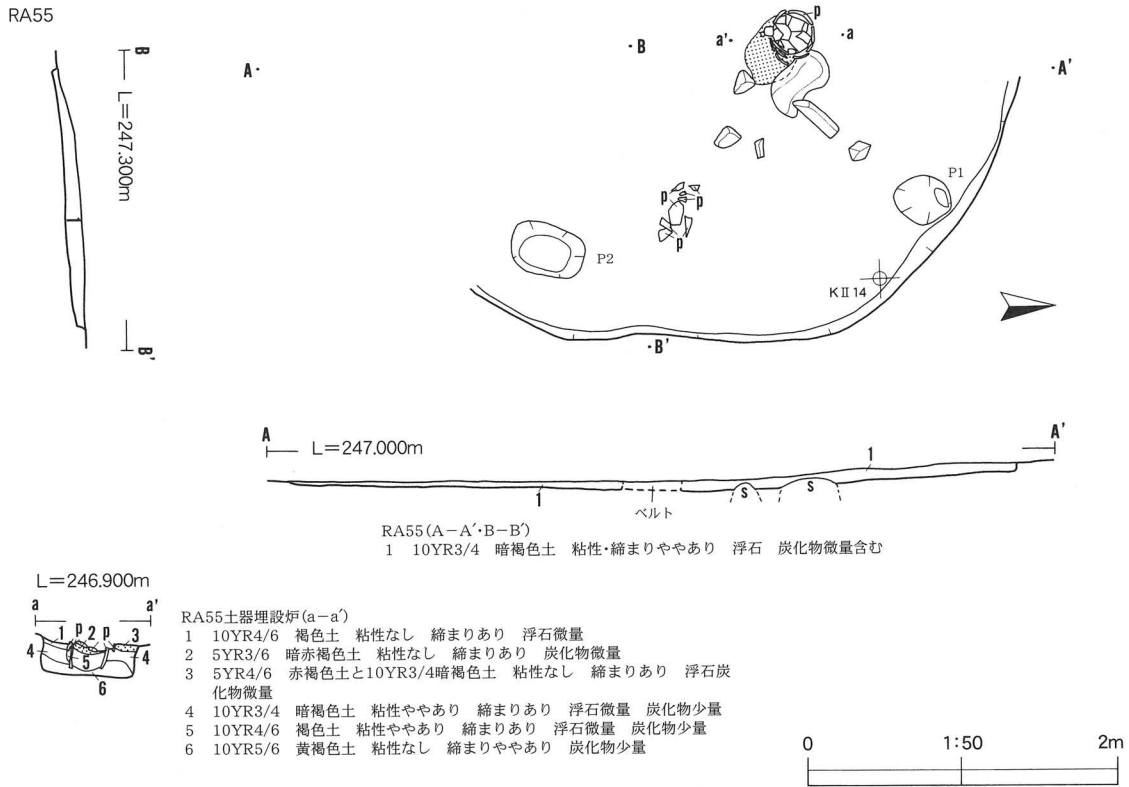
第62図 RA54竪穴住居跡

深さ41cm)、P 2 (径 48×40、深さ20cm) 何れも同じ面で検出した。〈壁溝〉検出した部分では東側壁(斜面の上位)でのみ確認した。深さ15cm前後で連続する。〈炉〉残存する部分からの検出はなかった。(遺物) (第219図 写真図版174)

埋土が薄く、遺物の出土は少ない。758~760まで3点を掲載した。〈時期〉下位にあるRA55は縄文時代中期前葉と思われる。またRA55とのレベル差は10cm弱ということ考えると、縄文時代中期前葉を遡らなく、またそれほど下らない時期、若しくは同時期とみていいのではないかとと思われる。

**RA54 (第62図 写真図版48)**

〈位置〉 南区 K II 19, 20グリッド 〈検出状況〉 RA42と同じVI層の上の暗褐色土の層位である。トレンチで焼土の広がりを検出し、これを手掛かりにトレンチ断面で立ち上がりを確認した。〈重複関係〉 RA58が下位にある。〈平面形・規模〉 ほぼ円形で径4m程である。〈埋土〉 検出面と同じ黒~黒褐色土の埋土である。一部掘りすぎた箇所の下位のRA58の埋土が観察された。床面近くには黄褐色土がブロック状に入り込んでいるため人為的な堆積の可能性がある。〈壁・床面〉 やや外傾しながら立ち上がり、



第63図 RA55竪穴住居跡

壁高は最大で30cmを測る。床は平坦でやや締まる。〈柱穴〉 検出されていない。〈炉〉 焼土面を検出した。最大径1m程の不整形である。焼土は厚さ10cm強で発達はよく、地床炉であったと思われる。

(遺物) (第219、220図 写真図版174)

大木9式と後期初頭の遺物が多く出土している。780は扁平で両面に磨面をもつが欠損品である。全体はかなり大きなものと思われる。〈時期〉 重複関係と出土遺物からみて、縄文時代後期初頭のものと思われる。

RA55 (第63図 写真図版49)

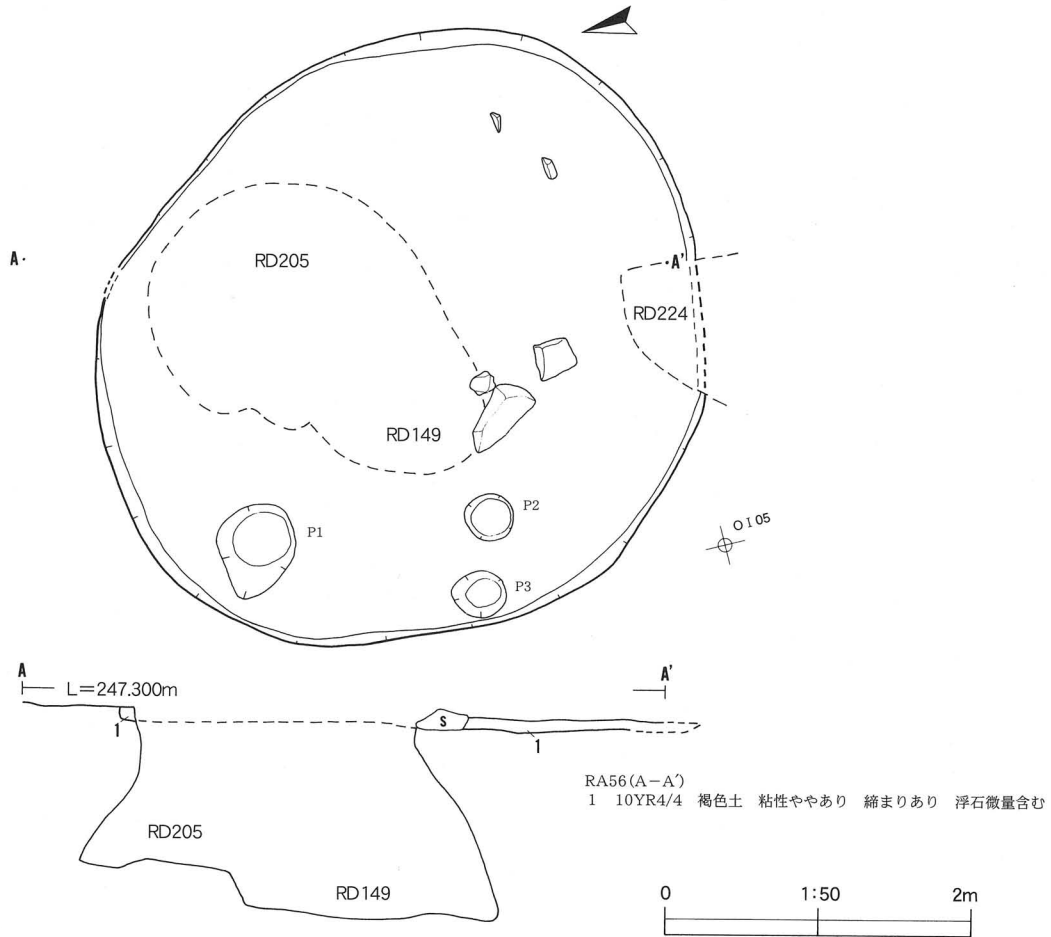
〈位置〉 南区 NI 13、14グリッド 〈検出状況〉 RA52の貼り床を除去して、プランの一部を確認した。RA52の内側に収まる形で、さらに西側の斜面下方は削平をうけており、床も壁も一部しか残っていない。

〈重複関係〉 RA52が上位にある。またRA52を切るRD206が本遺構も切っている。他にRD220~223・231を床面で検出した。〈平面形・規模〉 残存する壁の回り具合から推定して、径4m程の円形と思われるが詳細は不明。〈埋土〉 RA52直下のため埋土は浅く、暗褐色土の単層である。〈壁・床面〉 壁高は10cm前後で一部しか検出できず。床はほぼ平坦で、地山を床としている。〈柱穴〉 壁際に2基検出。P1(径38×32 深さ70cm) P2(径50×34 深さ30cm) 〈炉〉 土器埋設炉である。周囲に礫が散乱し、もとは石囲い炉であった可能性がある。焼土は埋設土器の埋土上位に形成され、一部南側にも広がっている。

(遺物) (第221図 写真図版175)

781は炉埋設土器で、頸部に原体圧痕のある幅広の隆帯をもつ。胴部には縦位の綾絡が施文され、本遺跡では円筒上層aか大木7式に見られる文様である。〈時期〉 出土遺物より、縄文時代中期前葉と思われる。

RA56



第64図 RA56竪穴住居跡

RA56 (第64図 写真図版50)

<位置> 南区N I 25グリッド <検出状況> 表土除去後V層で検出した。表土の薄い場所である。

<重複関係> RD149, 205, 224が本遺構を切る。 <平面形・規模> 径4m前後の円形である。

<埋土> 埋土は薄く、V層の単層である。 <壁・床面> 上面は削平されたらしく、壁高は8cm前後しか

	P 1	P 2	P 3
径cm	66×50	32×30	36×30
深さcm	73	38	32

確認できなかった。床面は平坦で締まりがある。 <柱穴> 床面で

3基検出したが土坑に切られたものもあると思われる。 <炉> 検

出できなかったが、住居中央部の土坑RD149の端に礫が散乱してい

ることから、この土坑に壊された可能性がある。

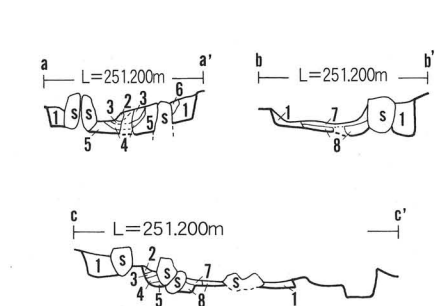
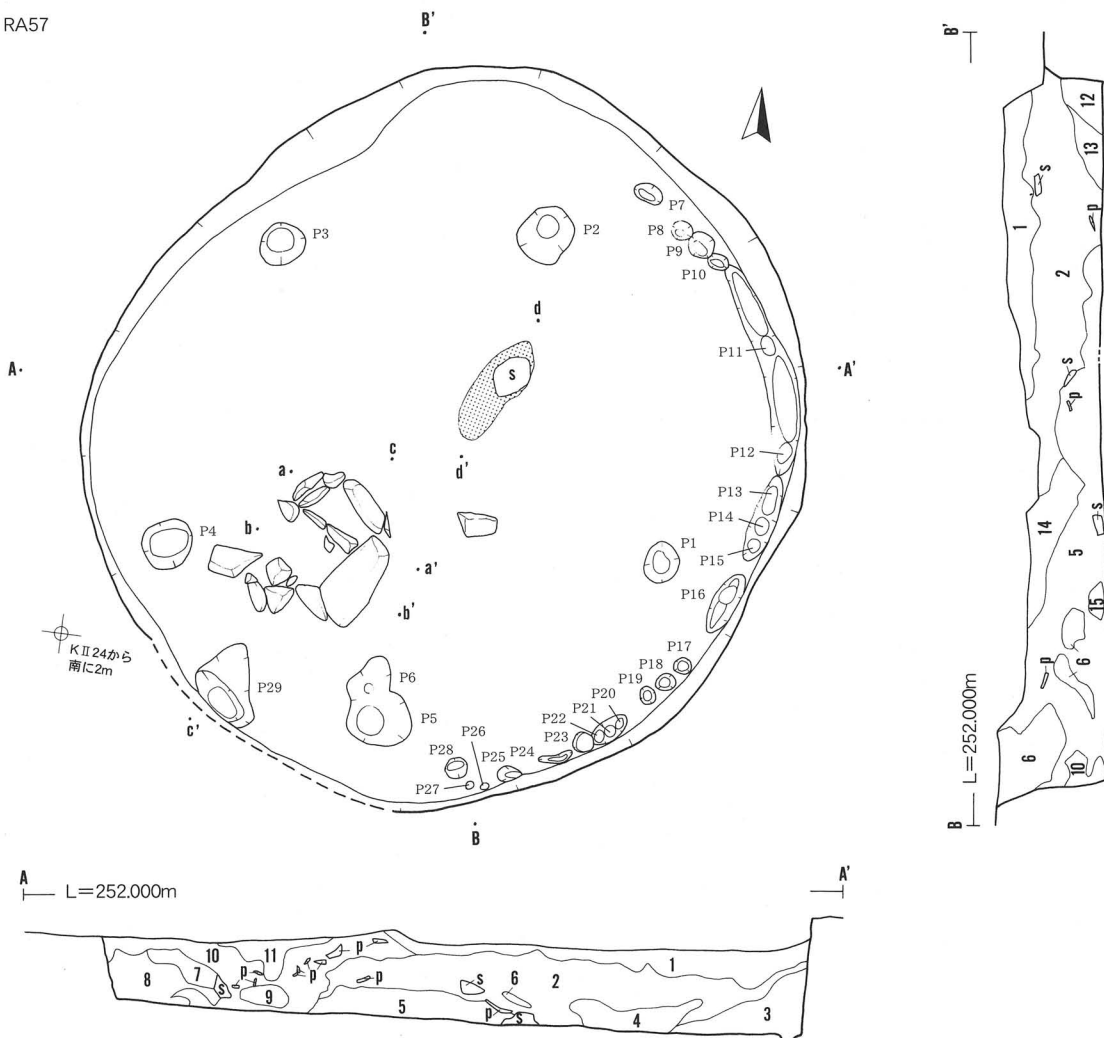
(遺物) (第221図 写真図版175)

784はLR横に沈線と半截竹管による連続刺突をもつものである。786は口縁部に二条の原体圧痕をもち、内湾する破片である。 <時期> 本遺構を切っているRD149から縄文時代中期初頭の遺物が出土しているので、同時期か若しくはそれを大きく遡らない時期と思われる。

RA57 (第65図 写真図版51図)

<位置> 南区 K II 19, 20グリッド周辺 <検出状況> 南隣にあるRA03の壁精査中に本遺構の壁の一部を確認した。 <重複関係> 上位にRA47がある。また南側のRA03を切ると思われる。北にRA54, 58

RA57

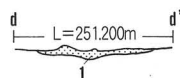


RA57 (A-A'-B-B')

- |    |          |      |            |           |                 |
|----|----------|------|------------|-----------|-----------------|
| 1  | 10YR2/2  | 黒褐色土 | 粘性なし       | 縮まりややあり   | オレンジの浮石少量含む     |
| 2  | 10YR2/2  | 黒褐色土 | 粘性なし       | 縮まりややあり   | 1よりやや黒い 土器片含む   |
| 3  | 10YR2/2  | 黒褐色土 | 粘性なし       | 縮まりややなし   | オレンジの浮石少量 炭化物あり |
| 4  | 10YR2/2  | 黒褐色土 | 粘性なし       | 縮まりややなし   | オレンジの浮石多量 炭化物あり |
| 5  | 10YR2/3  | 黒褐色土 | 粘性なし       | 縮まりややなし   | 黄褐色土 炭化物多量含む    |
| 6  | 10YR4/4  | 褐色土  | 粘性ややあり     | 縮まりなし     |                 |
| 7  | 10YR2/2  | 黒褐色土 | 粘性なし       | 縮まりややなし   | 土器片含む           |
| 8  | 10YR2/2  | 黒褐色土 | 粘性なし       | 縮まりややなし   | 7よりやや黒い         |
| 9  | 7.5YR4/4 | 褐色土  | 粘性なし       | 縮まりややなし   | 焼土の塊            |
| 10 | 10YR3/3  | 暗褐色土 | 粘性・縮まりややあり | オレンジの浮石微量 | 土器片多量含む         |
| 11 | 10YR2/2  | 黒褐色土 | 粘性なし       | 縮まりややなし   | オレンジの浮石多量含む     |
| 12 | 10YR2/1  | 黒色土  | 粘性なし       | 縮まりややあり   | 混合物なし           |
| 13 | 10YR2/1  | 黒色土  | 粘性なし       | 縮まりややあり   | 12よりやや明るい       |
| 14 | 10YR2/3  | 黒褐色土 | 粘性なし       | 縮まりややなし   | オレンジの浮石あり 炭化物含む |
| 15 | 10YR3/3  | 暗褐色土 | 粘性・縮まりなし   |           | 炭化物ブロック含む       |

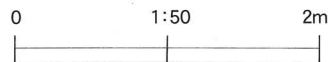
RA57 (a-a'-b-b'-c-c')

- |   |          |      |                    |
|---|----------|------|--------------------|
| 1 | 10YR4/4  | 褐色土  | 粘性・縮まりややあり         |
| 2 | 7.5YR5/6 | 明褐色土 | 粘性・縮まりなし 灰(?)      |
| 3 | 7.5YR2/1 | 黒色土  | 粘性・縮まりなし 炭化物層      |
| 4 | 7.5YR4/6 | 褐色土  | 粘性なし 縮まりややなし       |
| 5 | 1        |      | 1に似ているがやや暗く 縮まりがない |
| 6 | 10YR4/4  | 褐色土  | 粘性なし 縮まりややなし       |
| 7 | 7.5YR3/4 | 暗褐色土 | 粘性・縮まりなし 焼土が混じる    |
| 8 | 7.5YR4/4 | 褐色土  | 粘性なし 縮まりあり 焼土若干含む  |



RA57 (d-d')

- |   |          |      |              |
|---|----------|------|--------------|
| 1 | 2.5YR4/8 | 赤褐色土 | 粘性なし 縮まりややなし |
|---|----------|------|--------------|



第65図 RA57竪穴住居跡

と境を接するが新旧は不明。〈平面形・規模〉 径4.8mの円形 〈埋土〉 東側斜面上位から流れ込んだと思われる黒褐色土が主体である。〈柱穴〉 29基検出したが、P 1～P 6までが支柱穴で、他は壁柱穴、若しくは壁溝に伴うものであろう。〈壁溝〉 壁柱穴と壁溝が混在するが、住居の東半分(斜面上位側)だけ

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10	P 11
径cm	28×22	38×32	31×28	36×32	42×38	40×26	20×12	14×13	18×17	14×10	?×18
深さcm	58	68	45	45	34	44	6	8	29	4	18

P 12	P 13	P 14	P 15	P 16	P 17	P 18	P 19	P 20	P 21	P 22	P 23
?×16	?×13	?×16	?×14	44×16	12×11	14×12	12×10	?×12	?×14	?×11	14×14
10	19	11	15	16	8	?	4	2	4	2	17

P 24	P 25	P 26	P 27	P 28	P 29
22×6	16×10	6×4	6×5	16×14	42×18
17	18	?	5	19	15

である。このことは、他の遺構にも見られる傾向である。〈炉〉 石囲部を二つもつ複式炉である。住居中央寄りの石囲部には、明褐色土の堆積が

あり、一見して灰と思われる。その外側の石囲部には焼土は発達しておらず、焼土粒が混じる程度であるが、この一番大きな炉石はかなりの火熱をうけ橙色に変色し、崩れかかっている。また炉の縦軸線上の、住居ほぼ中央付近に焼土が80×32cm程形成されており、この上に836の石皿が覆うように置かれていた。

(遺物) (第222～226図 写真図版175、176)

埋土量が多いため、縄文時代前期末から後期初頭までの遺物が出土している。799は無文に沈線で胴部上半に文様を描いたもので埋土の床上10cmで出土している。この層は黄褐色土ブロックを含んでおり、投げ込まれた層であると思われる。〈時期〉 炉の形態及び出土遺物より縄文時代中期末葉かと思われる。

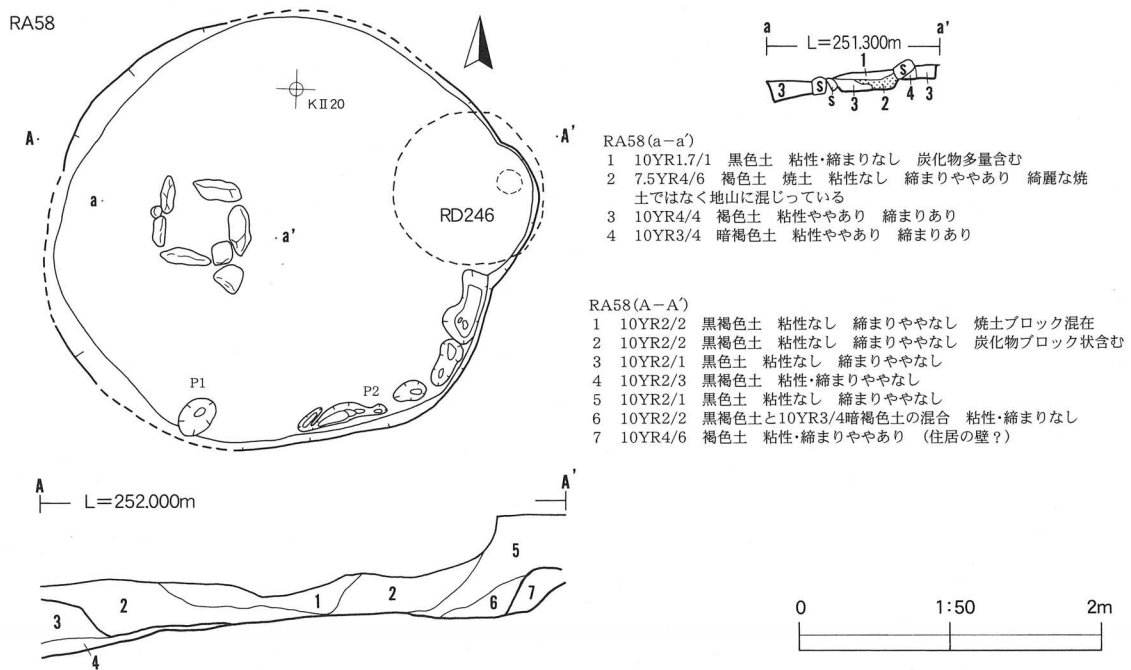
#### R A 58 (第66図 写真図版52)

〈位置〉 南区 K II 20グリッド 〈検出状況〉 RA54精査終了後に、床面を下げて検出した。  
 〈重複関係〉 上位にRA54がある。南隣のRA57とは床面レベルがほぼ同じで、接する部分の壁はお互いに壊されているように見受けられた。この新旧は不明である。またRD193が上位にあり、RD246は本遺構の床面精査中に検出され、本遺構を切ると思われる。〈平面形・規模〉 径3m程の円形。〈埋土〉 1、2層が埋土と思われ、ほとんど単層と言っていいほど似ている。5、6層はRD246の埋土と思われる。  
 〈壁・床面〉 残存する壁高は30cm前後である。床面は地山と思われるが凹凸があり、東から西側にかけてやや傾斜する。〈柱穴〉 2基検出した。P 1は支柱穴、P 2は壁溝に伴うものかもしれない。P 1 (径30×20 深さ24cm)、P 2 (径40×12 深さ35cm) 〈壁溝〉 深さ7cm程で廻る。本遺構も東側壁部分にのみ設けられていた可能性がある。同じ様な壁溝の廻り方は他の住居跡にも散見される。これは斜面上位からの流れ込み対策であろうか、或いは斜面上位の方が必然的に深く掘り込まれて、壁高が高くなることに由来するものであろうか。〈炉〉 住居中央の西寄りで検出された。一辺が60cm程の正方形を呈する石囲い炉である。焼土は炉内に形成されているが、汚れている。炉の西側から住居際までの部分が異常に堅く締まっている。

(遺物) (第227図 写真図版176)

839は縦位の綾絡文をもつ深鉢で底部に網代痕が見られる。石器は出土していない。

〈時期〉 本遺構を切っているRD246から縄文時代後期初頭の土器が出土しており、上位のRA54も同時期に比定される。また壁を切り合って、床面を同レベルとするRA57は縄文時代中期末葉と思われることか



第66図 RA58竪穴住居跡

ら、本遺構は縄文時代中期末葉から同後期初頭までの間に位置すると思われる。

R A 59 (第67図 写真図版53)

〈位置〉 南区N I 18グリッド 土坑が密集する地域である。〈検出状況〉 周辺土坑精査中に石囲い炉の断片を検出したがすでに周囲は、密集する土坑の精査をしており、ベルト設定の間隙は残っていなかった。

〈重複関係〉 北側にRA52、55、上位にRF48、下位にRF59(土器埋設炉)があり、RD147、216、239、249、251等周囲の土坑はすべて本遺構を切る。〈平面形・規模〉 不明である。〈埋土〉 ほとんどがV層になると思われるが、前述のとおりベルトが設定できず詳細は不明である。〈壁・床面〉 北側にかろうじて壁らしい部分を2カ所検出した。壁高の残存値は最大で20cm程である。〈柱穴〉 炉を囲む形で5基検出したが、この住居に伴うものはP 3～5と思われる。〈炉〉 四分の一ほど石がなくなっているが、90×70cm程

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5
径cm	56×40	54×50	56×48	44×38	42×38
深さcm	55	78	37	38	45

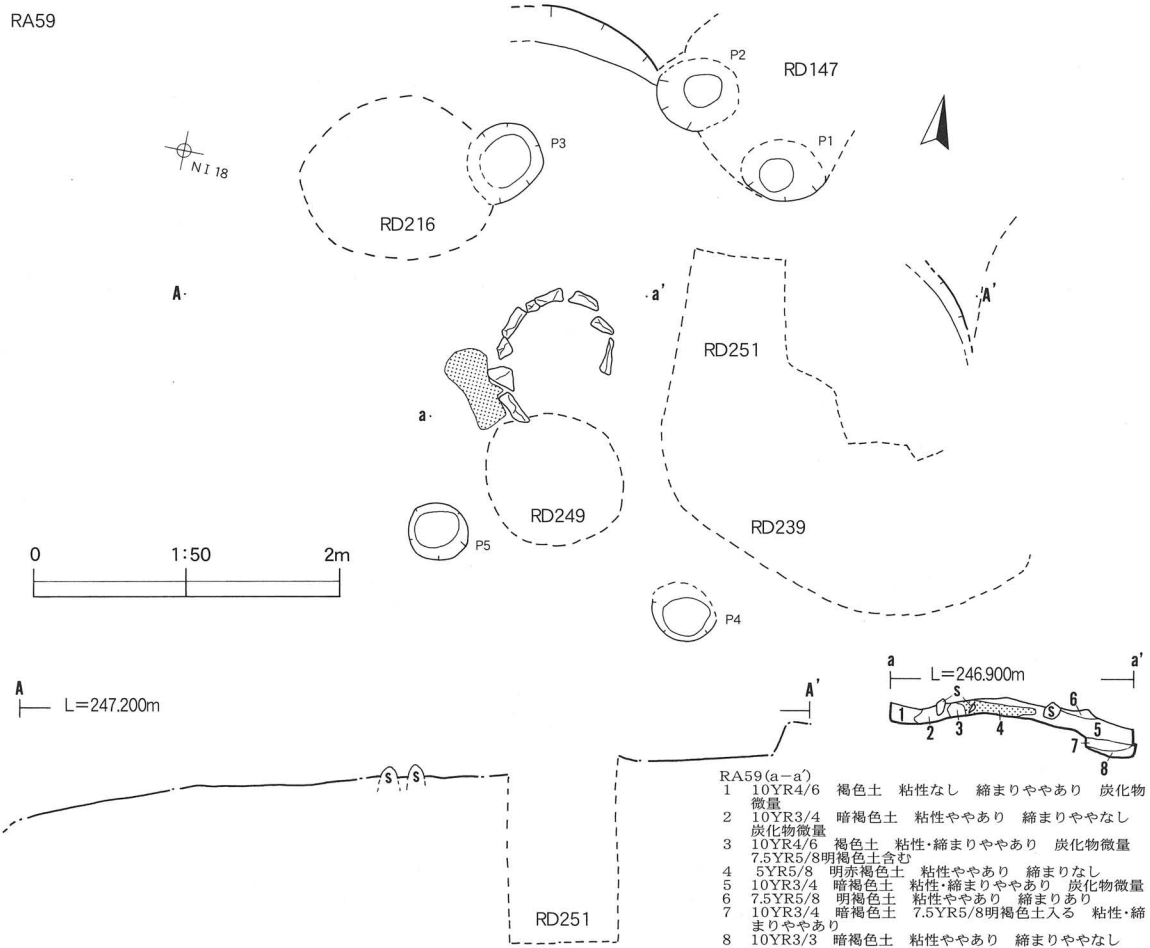
の南北に長軸をもつ楕円形の石囲い炉である。焼土は厚さ8cm程形成されており、炉の外側にも広がる。焼土の下に非常に強く締まった面が観察された。

(遺物) (第227図 写真図版176・177)

848は無文の浅鉢口縁部であろう。総じて縄文時代中期前葉の遺物が多いようであるが、切り合いが多く、本遺構の時期を特定する資料とはなりえないと思われる。〈時期〉 下位にあるRF59土器埋設炉は縄文時代前期末若しくは中期初頭のものである。また本遺構を切っている複数の土坑から縄文時代中期初頭の土器が出土しているため、縄文時代前期末か同中期初頭の可能性が大きい。

R A 60 (第68図 写真図版54)

〈位置〉 南区 O I 08グリッド RA51の北隣 〈検出状況〉 表土除去後に楕円形のプランを検出した。



第67図 RA59竪穴住居跡

＜重複関係＞ 上位にRF45がありこれは石囲炉の壊れたものようである。下位にはRA64、RD281がある。＜平面形・規模＞ 3.6×3.2mの不整な円形である。＜埋土＞ 1、2層中にブロック状に黄褐色土が混在しているため、人為堆積と思われる。＜壁・床面＞ 壁高は東側でおよそ40cmあり、ほぼ直立するが、西側は浅くなっている。床面は縮まりがあるが、西側に向かって傾斜が見られる。＜その他＞ 住居床の北側に壁溝と思われるくぼみを検出した。また、床面に20～30cm大の自然礫が3点出土している。本遺構にはもともと柱穴・炉は存在しないようであるので、住居跡と言うよりは、竪穴状遺構となるのかもしれない。

(遺物) (第228図 写真図版177)

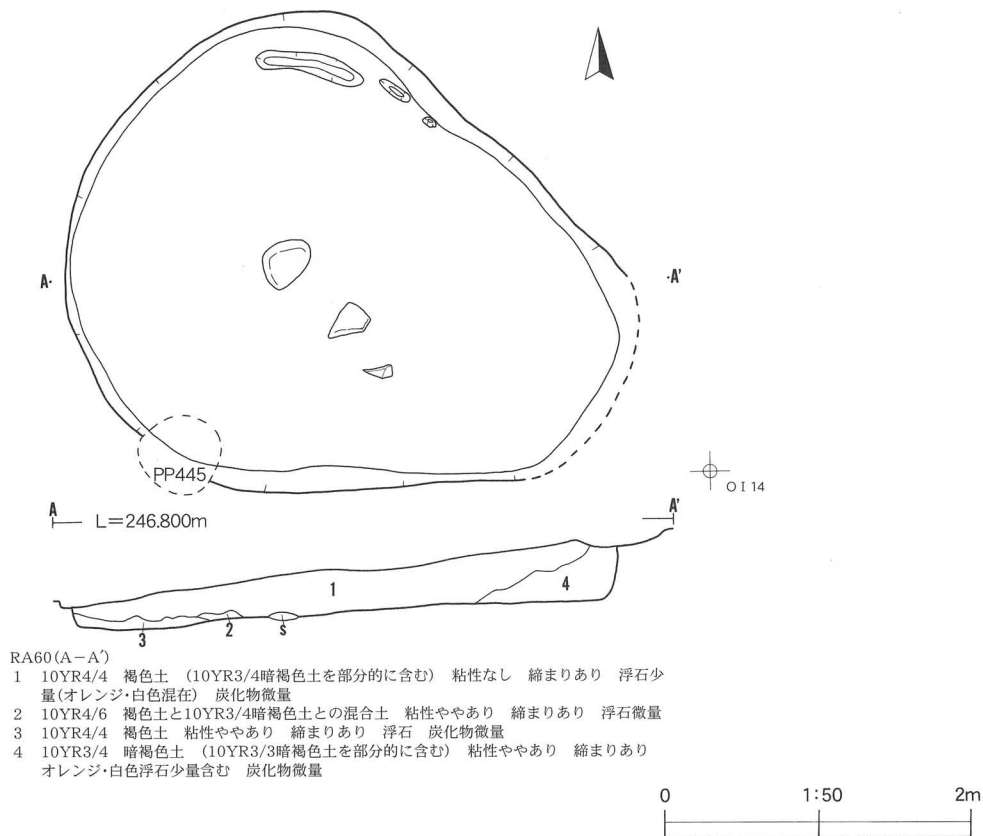
縄文時代前期末から同中期初頭の土器が出土している。＜時期＞ 下位にあるRA64は縄文時代中期前葉頃と思われるので、それを遡らない時期であろう。

RA61 (第69図 写真図版55)

＜位置＞ 南区 O I 15グリッド 北側にRA36、37があり、西側にRA51がある。＜検出状況＞ 表土から3～40cm下がったところで石囲い炉を検出して、住居跡であることが判明したがプランは把握できなかった。＜重複関係＞ 柱穴群に切られている様である。＜平面形・規模＞ 不明である。＜埋土＞ 調査



RA60



RA60(A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 (10YR3/4暗褐色土を部分的に含む) 粘性なし 縮まりあり 浮石少量(オレンジ・白色混在) 炭化物微量
- 2 10YR4/6 褐色土と10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化物微量
- 4 10YR3/4 暗褐色土 (10YR3/3暗褐色土を部分的に含む) 粘性ややあり 縮まりあり オレンジ・白色浮石少量含む 炭化物微量

第68図 RA60竪穴住居跡

区界を断面として観察したが、立ち上がりを確認出来なかった。よって上部は、削平、攪乱をうけているものと思われる。〈壁・床面〉 壁は検出できず。床面は炉の周辺で部分的に堅く締まる箇所がある。

〈柱穴〉 本遺構に伴うものは3基と思われる。〈炉〉 40cm四方の石囲炉である。焼土の発達は極僅かで、長期に渡って使用されたものとは思われない。

	P 1	P 2	P 3
径cm	36×28	42×30	56×42
深さcm	22	46	41

(遺物)

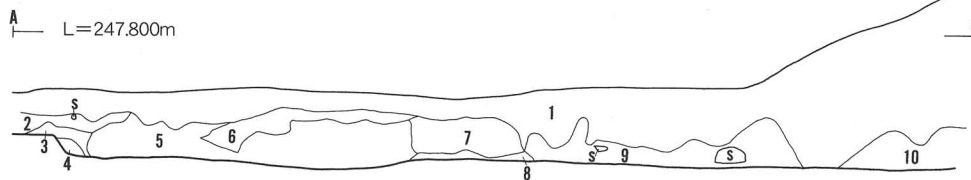
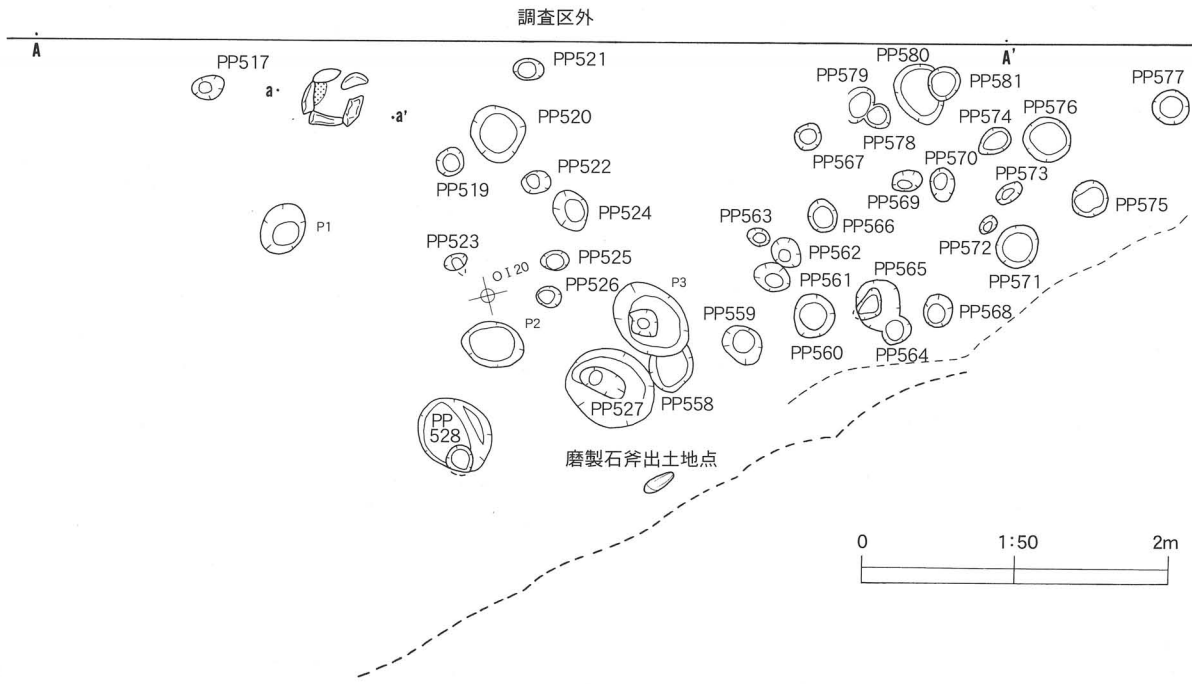
埋土不確定のため遺構内出土遺物はない。〈時期〉 炉の形態からみて縄文時代のものであろう。

〈その他〉 本遺構精査中に、RA51寄りの所で磨製石斧4点(遺構外出土遺物図版348図2232~2235)が未使用の状態で1カ所からまとめて出土している。埋納遺構の可能性があったが、調査員の初歩的ミスにより、精査する前に遺物がとり上げられてしまい記録を残せなかった。周囲には上の面からの柱穴が多数あり、出土層位はVI層(地山)である。

RA62 (第70図 写真図版56)

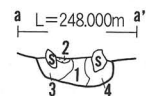
〈位置〉 南区 O I 05グリッド 〈検出状況〉 表土除去後に検出。東側は一部調査区外へ延びる。土坑と思われる遺構の精査途中で柱穴及び炉石、焼土を検出した。なお、土坑そのものは立ち上がりははっきり捉えられず土坑にはなりえなかった。〈重複関係〉 RD150、154、224、270が床面で本遺構を切る。

〈平面形・規模〉 長径推定5.2×短径4mの楕円形を呈するようである。〈埋土〉 埋土全体がV層であ



RA61(A-A')

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石全体に含む
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量
- 3 10YR2/3 黒褐色土と10YR3/3暗褐色土との混合土 粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物極微量
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 部分的褐色土含む 浮石微量 炭化物極微量
- 6 10YR3/2 黒褐色土 (10YR2/2黒褐色土含む) 粘性・縮まりあり 浮石微量
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量 炭化物極微量
- 8 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量
- 9 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量 礫少量含む
- 10 10YR4/6 褐色土と10YR3/4暗褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合土 粘性あり 縮まりややあり (下層部に行く程縮まりがなくなる) 浮石微量



RA61(a-a')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化物微量
- 2 5YR5/8 明赤褐色土 粘性なし 縮まりややあり
- 3 10YR3/4 暗褐色土と10YR5/8黄褐色土の混合 粘性・縮まりあり
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり (10YR4/6褐色土が混在)

第69図 RA61竈穴住居跡

り、遺構構築時の廃土が捨てられているようである。〈壁・床面〉 壁はほぼ直立しており、壁高は最大値で45cm程である。床は平坦で堅く締まっている。

〈柱穴〉 4基検出したがP 1、2が主柱穴と思われる。

〈壁溝〉 南西側で部分的に検出した。〈炉〉 ほぼ中央で、石囲い炉を検出したが攪乱を受け、残存率は50%程である。

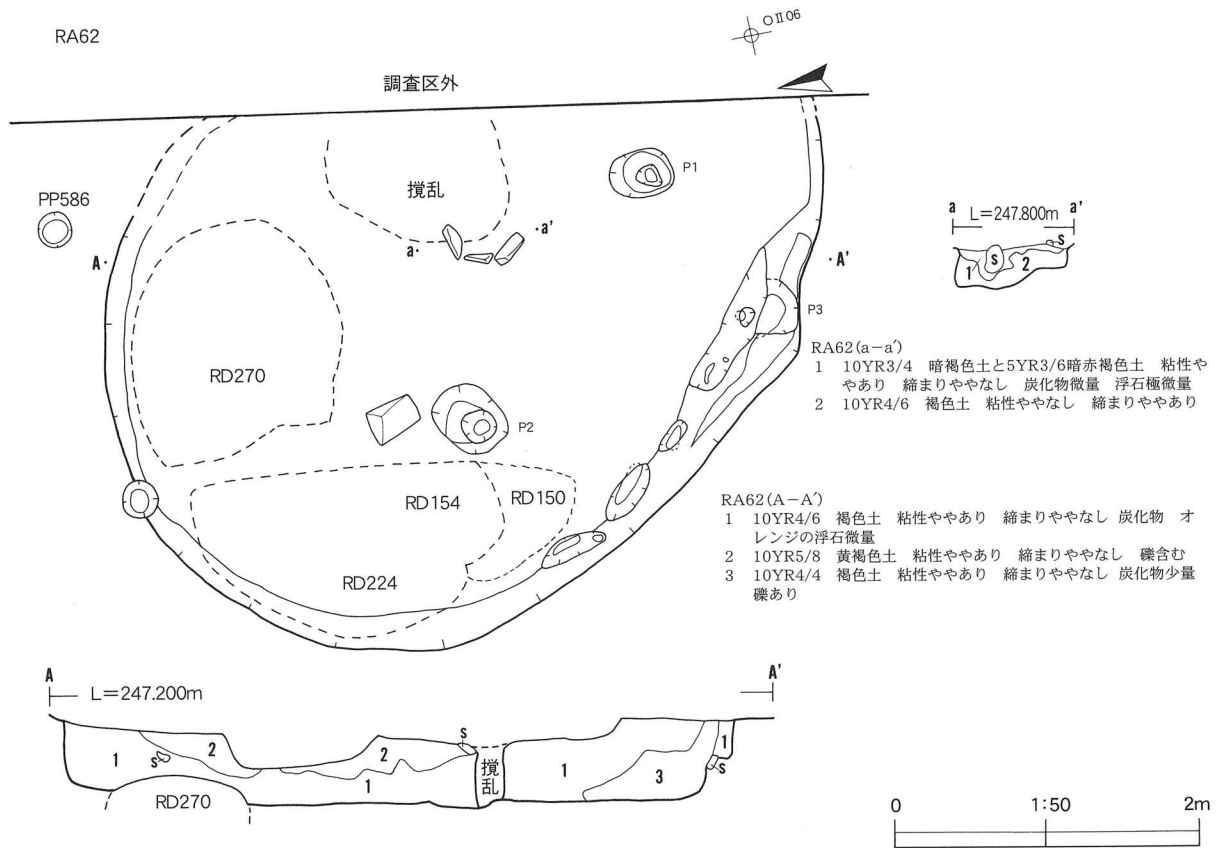
焼土の発達は薄く長期間使用されていたとは考えにくい。

(遺物) (第228・229図 写真図版177)

縄文時代中期前葉から中葉と思われる土器が出土している。

〈時期〉 出土遺物より縄文時代中期前葉若しくは中葉と思われる。

	P 1	P 2	P 3	P 4
径cm	42×32	49×39	40×38	26×24
深さcm	83	68	13	19



第70図 RA62竪穴住居跡

R A 63 (第71図 写真図版57図)

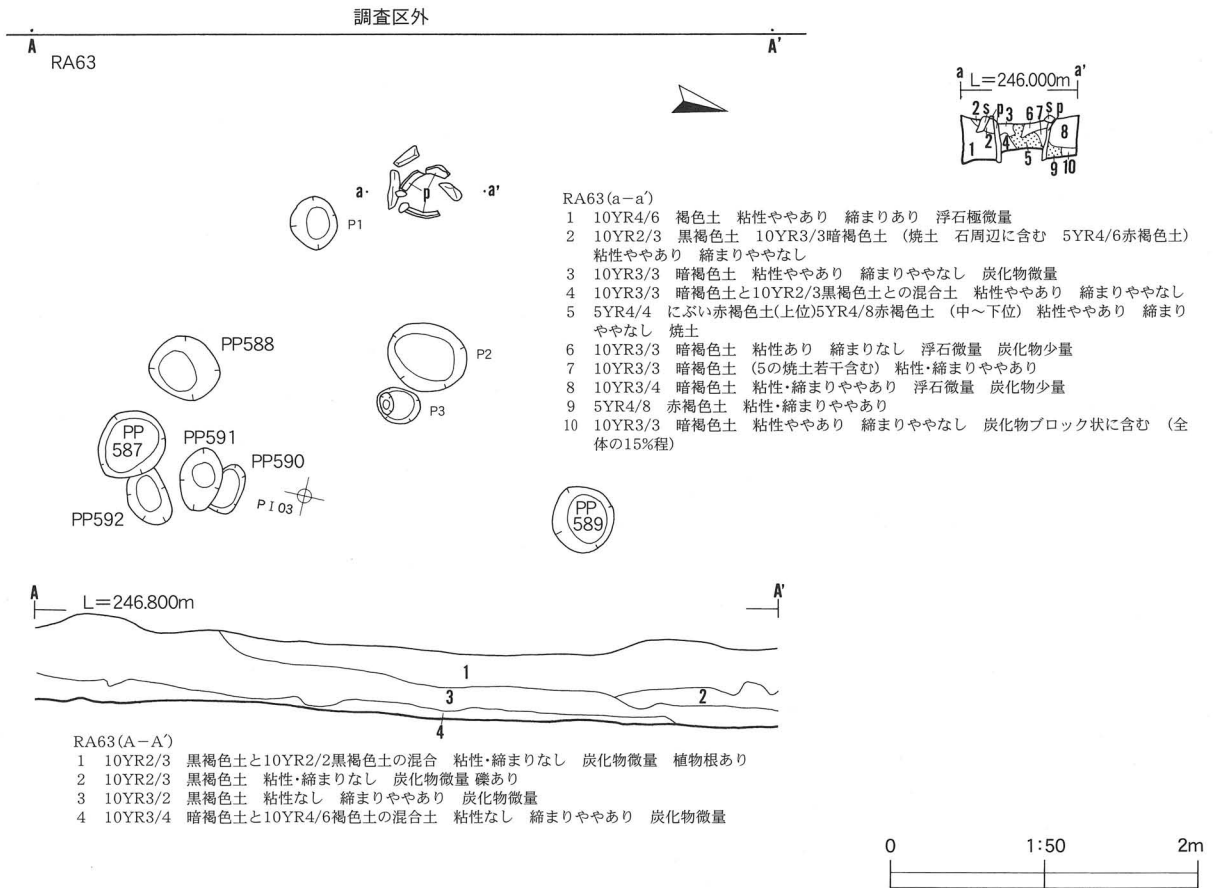
〈位置〉 南区 P I 02グリッド 〈検出状況〉 調査区南端の調査区境。西側が現用道路となっている箇所。表土下50cmのV層で炉石と柱穴を検出し、住居跡であることを確認した。上部は削平をうけており、調査区境に設定した断面では住居の立ち上がりは確認出来なかった。〈平面形・規模〉 不明 〈埋土〉 開田時及び道路建設時に整地された土と思われる。〈壁・床面〉 V層を床面としており、特に強く締まるというほどではない。北側に向けてやや傾斜している。〈柱穴〉 3基検出したがP1、P2が主柱穴と思われる。〈炉〉 土器埋設炉であるが、周囲に石が埋められた部分があり、もともとは土器埋設の石囲い炉であったと思われる。埋設土器は、口縁部と胴下部を欠いて埋められていたが、底に礫が2個敷かれていた。焼土の発達は良好で、土器の外周と西側にかけて広がっている。

(遺物) (第229図 写真図版177)

880は炉埋設土器で、円筒上層a式土器と思われる。〈時期〉 出土遺物から、縄文時代中期前葉である。

R A 64 (第72図 写真図版58)

〈位置〉 南区 O I 08、13 〈検出状況〉 RA51床北側にわずかな痕跡が認められたため、トレンチを入れ炉石を検出した。〈重複関係〉 上位にRA51の北端とRA60がある。床面にはRD281がある。〈平面形・規模〉 6.0×4.0mの南北に長軸をもつ小判型を呈する。〈埋土〉 大半を、炭化物や焼土プロッ



第71図 RA63竪穴住居跡

クを含む層が占めているため、人為堆積と思われる。〈壁・床面〉ほぼ直立するが、北側は立ち上がり不明な部分もある。壁高は最大で25cmある。床面はほぼ平坦で、部分的に白色を呈している箇所が強く締まっているのが観察された。〈柱穴〉床面で19基検出された。〈炉〉住居中央のやや南寄りに、円形で径55cm

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10	P 11
径cm	27×20	39×32	32×27	47×33	42×27	26×23	34×34	46×43	34×30	30×26	40×36
深さcm	42	32	23	7	19	21	91	91	10	16	30

P 12	P 13	P 14	P 15	P 16	P 17	P 18	P 19
40×34	40×33	64×54	43×38	33×19	36×26	38×32	46×33
18	58	8	29	44	5	38	16

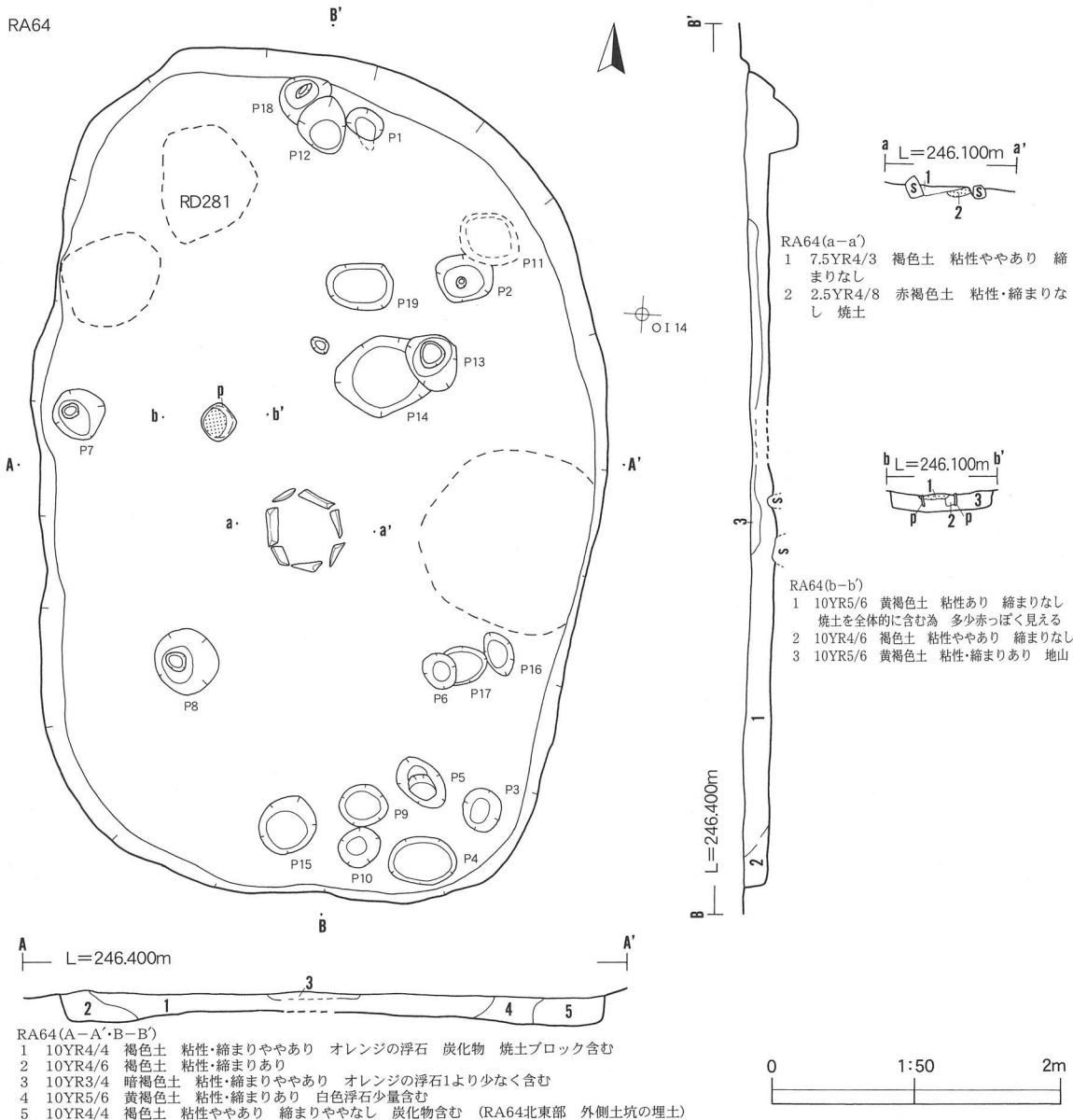
程の石囲い炉を検出した。焼土は周囲の住居跡のものとは違い非常に赤みの強いものである。さらに

50cm程北西の床面で、土器胴部を埋設した炉を検出したが、石囲い炉に比べ焼土の発達には良くない。

(遺物) (第230・231図 写真図版178)

縄文時代前期末葉から中期中葉までの土器が出土している。892は本遺跡では出土例の少ない土偶の上半である。

〈時期〉 上位にあるRA51が縄文時代中期中葉を遡らないと思われること、また本遺構の出土遺物より縄文時代中期前葉頃と思われる。



第72図 RA64竪穴住居跡

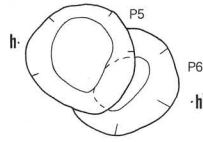
RA01 (第73図 写真図版59)

〈位置〉 北区DⅢ17、22グリッド 〈検出状況〉 IV層上位でカマドの構成礫を検出、さらに下部に焼土、土師器も出土したことからカマド跡と判断し壁、床を検出した。〈平面形・規模〉 東壁の一部と南壁は下げ過ぎたため残っていない。また大部分が調査区域外にかかると思われるため、平面形は方形と推定されるが規模は不明である。〈埋土〉 8、9層は确实であるが、攪乱が激しいため、6、7層が住居跡に伴う埋土であるかは不明である。〈壁・床面〉 壁は直立ぎみに立ち上がり、壁高は北壁で約15cmである。床面は平坦であるがあまり締まっていない。〈柱穴〉 6基検出されたがその内P1は柱穴ではなく

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6
径cm	64×58	56×48	68×58	76×69	74×70	74×66
深さcm	43	36	36	44	47	36

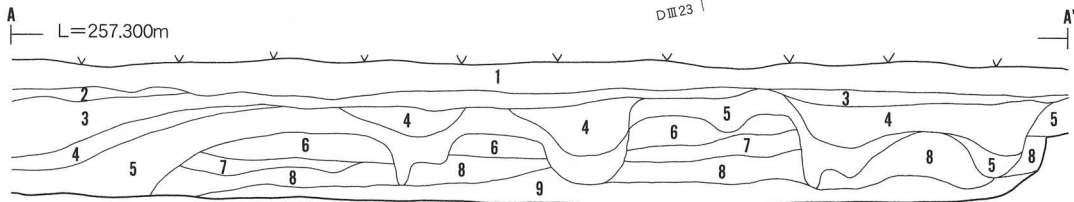
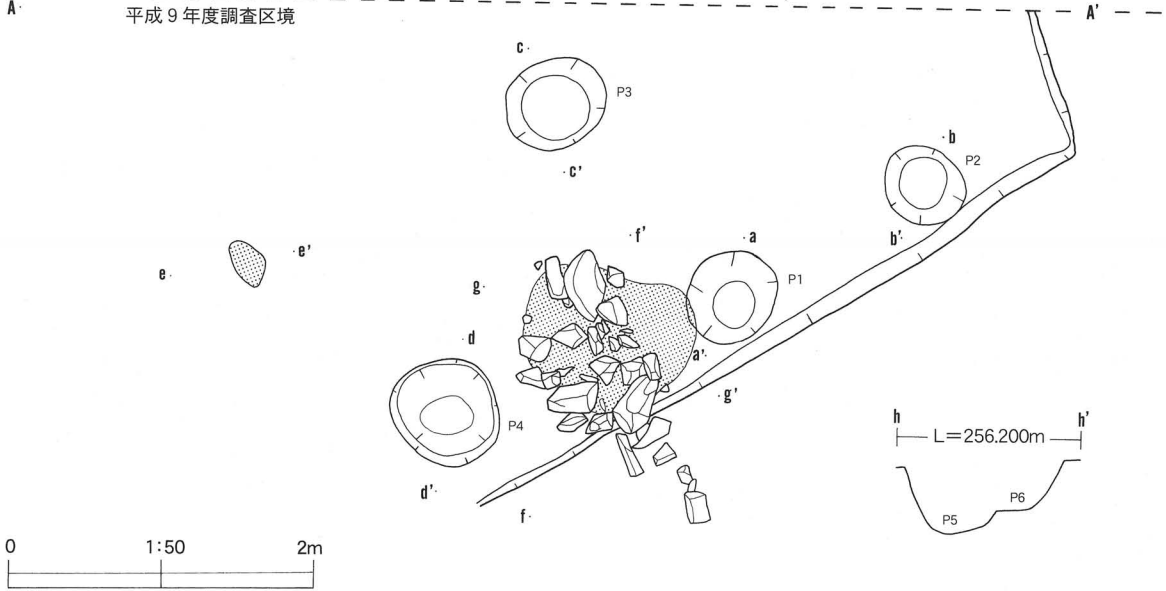
住居内土坑の可能性がある。〈カマド〉 東壁に位置する。破壊されていたらしく、カマド袖の芯材と思われる礫が焼土混じ

RA01



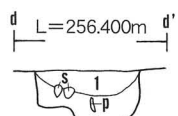
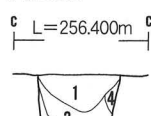
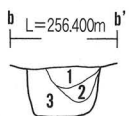
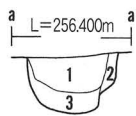
平成10年度調査区

平成9年度調査区境



RA01(A-A')

- |  |  |
|--|--|
| 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりあり (水田耕作土) 2.5Y3/3暗赤-ブ 褐色土が30%以上混在, 10YR5/6黄褐色土と10YR4/4褐色土がブロック状に混在 | 6 7.5YR3/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし                             |
| 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりあり 10YR2/2黒褐色土が層状に混じる   | 7 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし                              |
| 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 10YR4/4褐色土がブロック状に混じる   | 8 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし To-aと10YR7/2にふい黄橙色土を微量含む |
| 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 10YR2/2黒褐色土を層状に含む  | 9 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR2/3黒褐色土をブロック状に含む       |
| 5 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし  |  |



RA01P1(a-a')

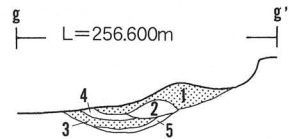
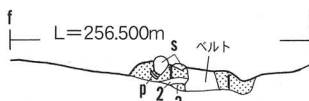
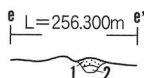
- 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし To-a含む
- 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 掘りすぎか?
- 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR3/4暗褐色土20%程度混じる

RA01P2(b-b')P3(c-c')

- 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし To-a?1%程度含む
- 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりややあり To-a?1%未満含む
- 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR3/4暗褐色土を15%程度含む
- 3よりやや明るい

RA01P4(d-d')

- 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし To-a・炭化物を少量含む
- 10YR2/1~2/2 黒~黒褐色土 粘性ややあり (1よりあり) 縮まりなし To-a・炭化物を少量含む



RA01焼土(e-e')

- 5YR3/6 暗赤褐色土 粘性・縮まりなし 7.5YR3/3暗褐色土がブロック状に5%混じる
- 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし

RA01カマド(f-f'・g-g')

- 5YR3/6 暗赤褐色土 焼土 粘性・縮まりなしを主体に10YR3/3暗褐色土が20%混じる
- 7.5YR4/6 褐色土 粘性・縮まりなし 10YR2/2黒褐色土が10%混じる
- 5YR4/8 赤褐色土 焼土 粘性・縮まりなし
- 7.5YR6/4 にぶい褐色土 粘性・縮まりなし やや砂質
- 5YR3/4 暗赤褐色土 粘性ややあり 縮まりなし

第73図 RA01竪穴住居跡

りで散乱していた。燃焼部の焼土はよく発達しており厚さは約12cmである。煙道および煙出し部は確認することができなかった。〈その他〉 カマドから離れた床面で焼土を検出した。範囲は32×20cmで厚さは6cmである。カマド燃焼部の残骸ということも推測できるが詳細は不明である。

(遺物) (第232図 写真図版178)

土師器が10数点が出土した。911は回転糸切りの坏底部である。〈時期〉 出土遺物より平安時代である。

#### R A 12 (第74図 写真図版60)

〈位置〉 南区 L II 23・M II 03グリッド 〈検出状況〉 IV層で検出できた模様。明確なプランではないため、床面を出してから広げていき 壁を検出した。〈重複関係〉 直下の土坑群を切っているが RD28には切られている。〈平面形・規模〉 検出できた部分の壁は直線状であり、南側でやや東側にカーブする。北側は揚水パイプ埋設の畦畔により調査不能であるがパイプの北側には床・壁とも検出されていない。このためパイプ埋設部分で何らかの変化を持つはずである。規模は不明だが1辺7m程度になるのは確実である。〈埋土〉 4層に区分した。埋土の下位ほど焼土、炭化物を多く含んでいる。焼失家屋の可能性が高い。〈壁・床面〉 壁はやや外傾して立ち上がり、壁高は12～22cmである。床面はV層中でやや締まっており平坦である。〈柱穴〉 検出されなかった。〈炉・カマド〉 住居内の西側で焼土を検出した。焼土の発達は良く、厚さは最大13cmである。〈その他〉 住居床面上で集石を検出した。集石は平均10～30cmの角礫を利用し、その下には焼土が形成されている。また 集石中から土師器、須恵器が出土している。この集石の性格は不明である。

(遺物) (第232・233図 写真図版178)

916は住居床面の集石中から出土した回転糸切りの坏、917は須恵器片である。石鏃も埋土中より出土しているが、流れ込みと思われる。〈時期〉 出土遺物から平安時代と推定される。

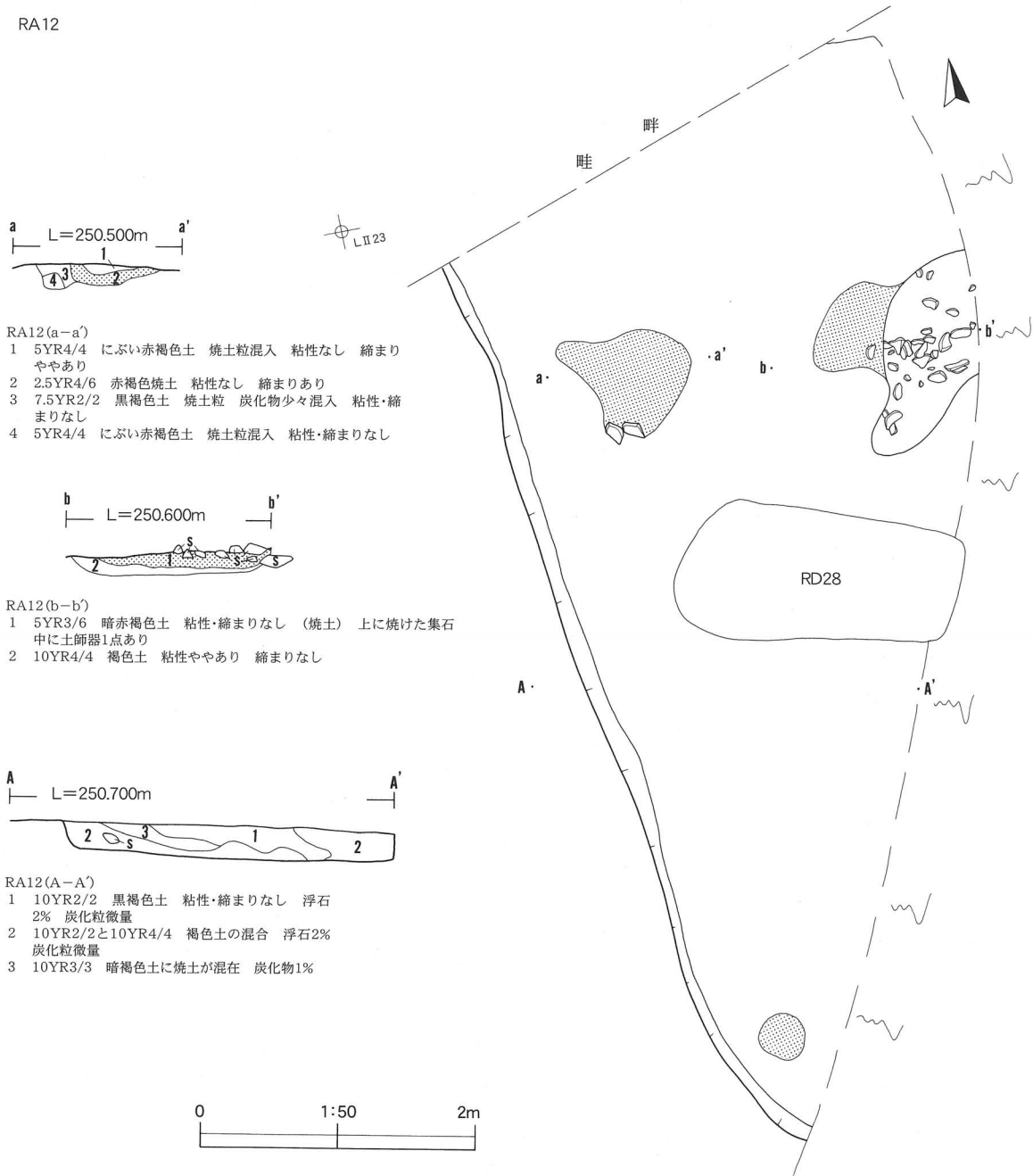
#### R A 26 (第75図 写真図版61)

〈位置〉 南区 H II 01 〈検出状況〉 IV層で検出。表土除去の時点で北および東側にプランの一部を確認し、ベルトを設定して検出を行った。同じ層位でプランの東側に煙出しと思われる小円形のプランも検出した。西、南側は畑の耕作か造成時にかなり深く削平されたようである。〈平面形・規模〉 東辺3.2m 西辺3.2m 南辺4.0m 北辺4.2mの台形を呈する。主軸方向はE-35°-S〈埋土〉 大別して3層に区分。一部後世の攪乱を受けているが ほぼレンズ状の自然堆積と思われる。〈壁・床面〉 東、北の壁高は最高で48cmあるが 西、南の壁は削平を受けている所もあり、床面から確認せざるを得ない部分もあった。床面には南壁の東寄りにわずかな段差が見られる場所があるが、何のためなのか不明である。北隅で炭化材を床面の精査中に検出した。径1m程の範囲に散乱する状態で、樹種は萱と栗であるとの鑑定結果である。

〈柱穴〉 1基は東壁際(径22×18 深さ29cm) もう1基は(径42×34 深さ29cm) 西壁を壊す形で検出した。この遺構に伴うものかどうかは不明である。〈カマド〉 東壁中央に位置する。燃焼部直上に70×40cm、厚さ12cm前後の偏平な角礫がおおいかぶさるようにある。最初からこの位置にあったものではない。この角礫の下に石の支柱に土器をかぶせ、土器の底部を上面にした支脚があり、さらにその横に土器がつぶれた形で出土している。袖部の芯材は垂角礫で 一部床面に埋め込み、周囲を粘土で固めて作られている。煙道部は割り貫き式で約15°の傾斜で落ち込み煙出し部底に通じている。煙道部の底部に20×15cm程の垂円礫が6個程敷かれたようであったが、この垂円礫の下に焼土や炭化物混じりの土があり、この石は敷かれ



RA12



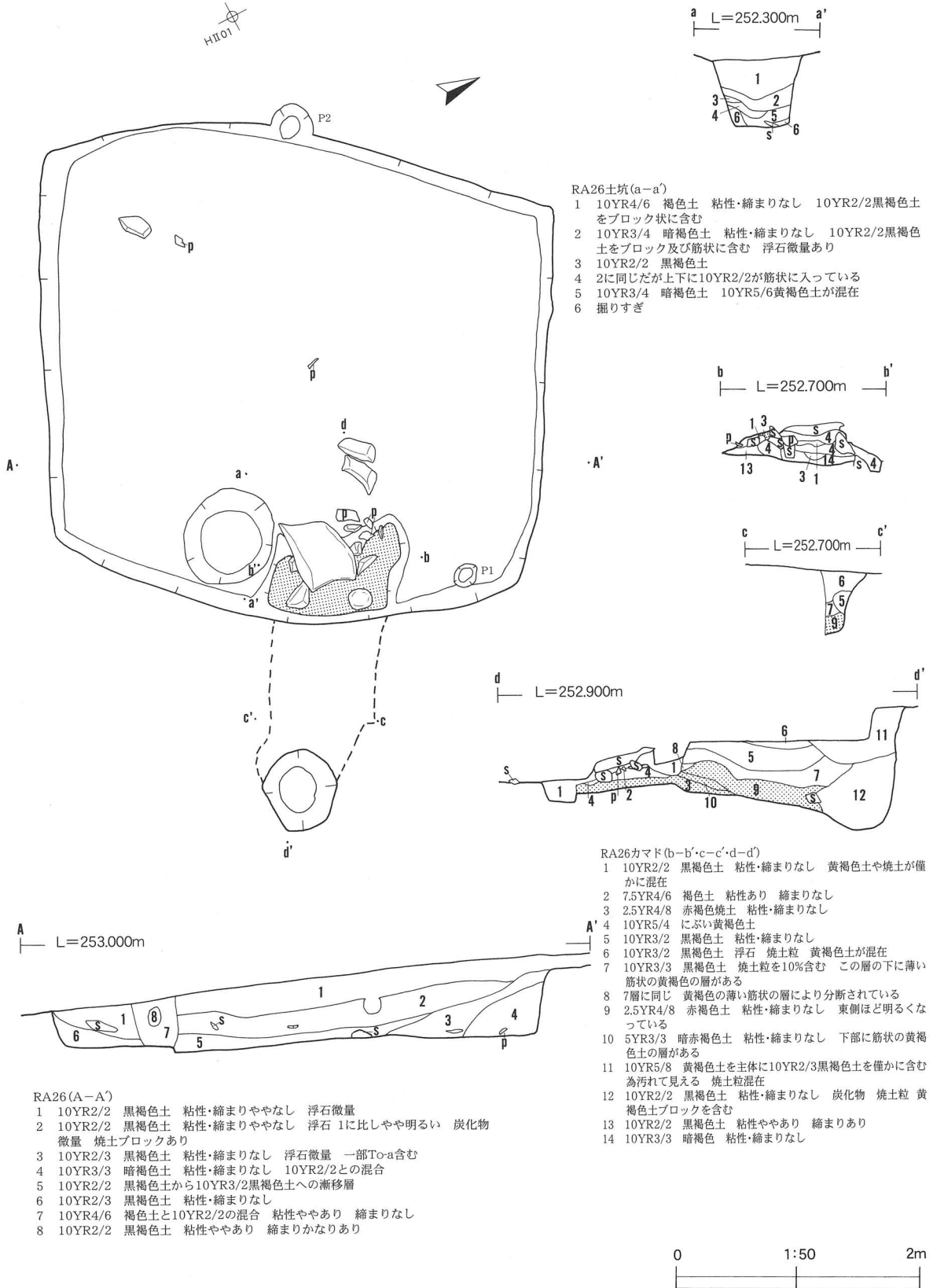
第74図 RA12竪穴住居跡

ていたものではないようである。煙出し底部は深く地山まで掘り込まれており、径約40cmの円形で、急角度で立ち上がる。この中から最大径1.5cmの棒状の炭化材がまとまって出土しており、樹種は「紫式部」である。  
 <土坑> カマドの右袖部の外側に隣接する所に1基検出した。底部から焼土が検出されたため、この遺構の下位に別の遺構の存在を推測した（この結果、RA30, 31が検出された）が下位のRA31（縄文時代中期の住居跡）を精査中に、この土坑から焼土とともに土師器の底部が出土したため、この土坑はRA12に属するもので、カマドから出たであろう焼土を投げ込んだものであることが判明した。

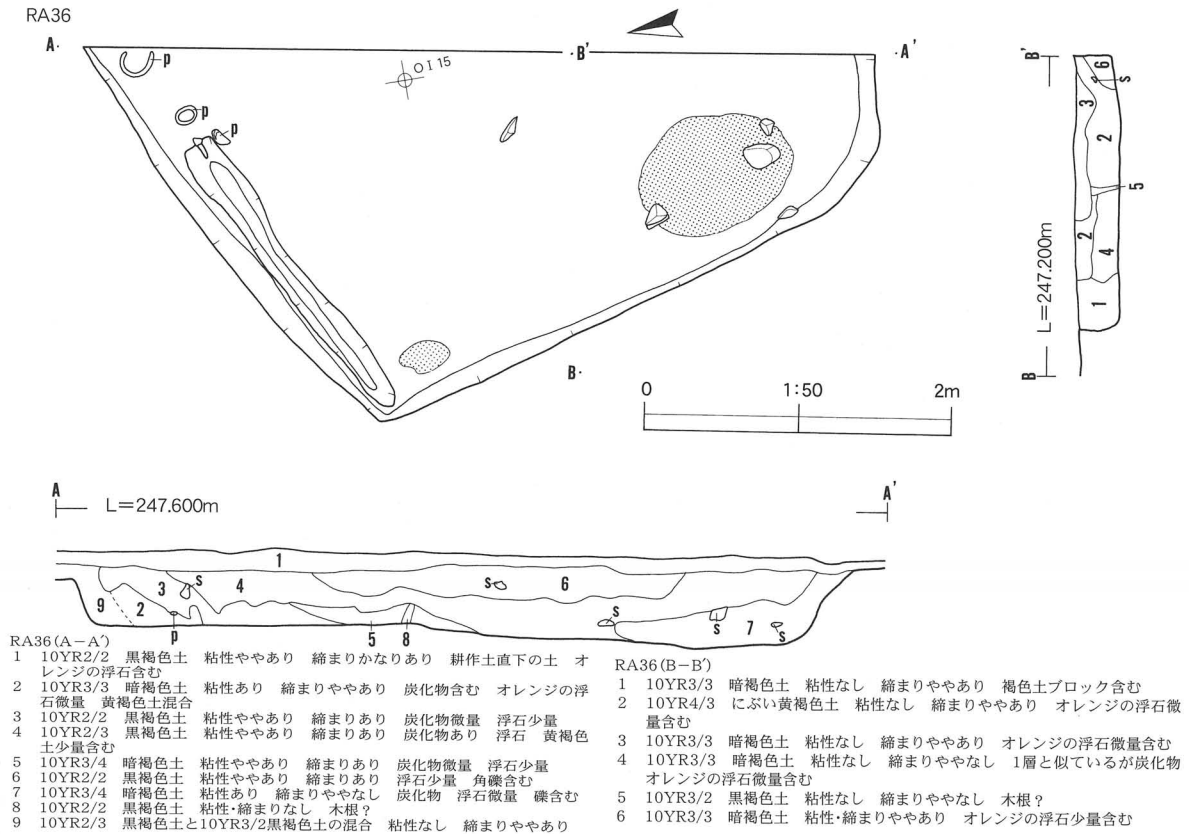
（遺物）（第233・234図 写真図版179）

カマド内及びその周辺からの出土である。回転糸切りの底部を持つ坏2点、他に完形にはならないが甕3

RA26



第75図 RA26竪穴住居跡



第76図 RA36竪穴住居跡

点程である。うち1点はカマド内の支脚(石を支柱とする)に利用されていたものである。他に埋土中から、周囲からの流れ込みと思われる削搔器(927)1点と、磨り面の跡が顕著な礫石器が(928)1点出土している。  
 <時期> 出土した遺物の特徴から平安時代の住居跡と考えられる。

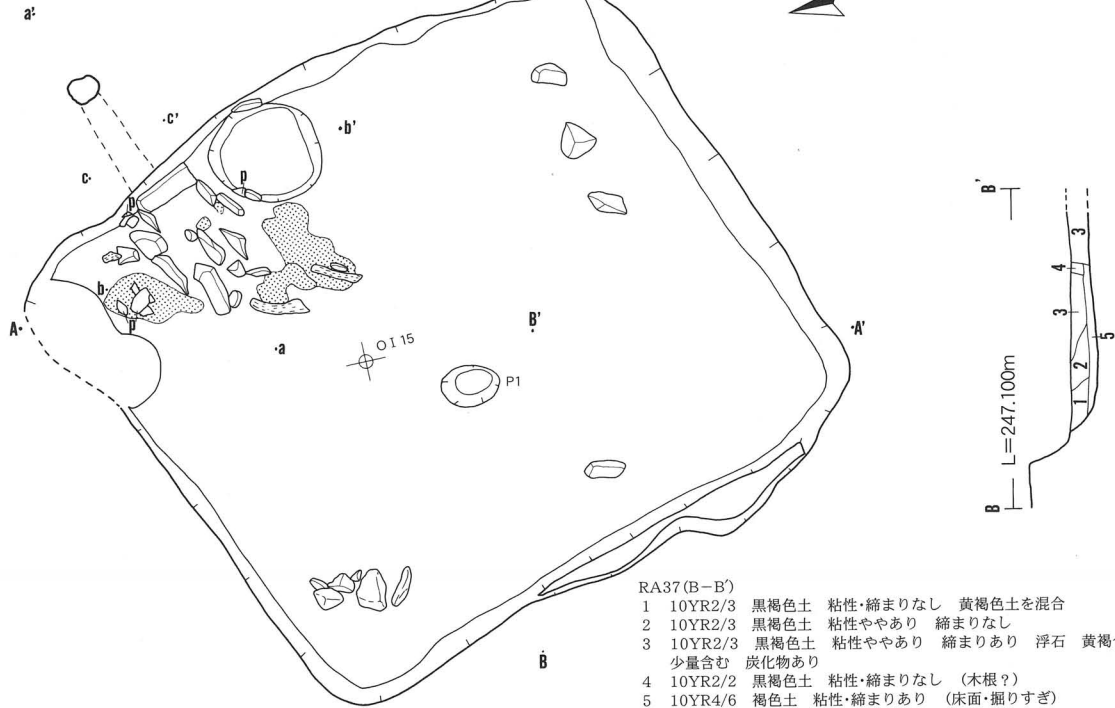
R A 36 (第76図 写真図版62)

<位置> 南区 O I 15グリッド <検出状況> 表土(田圃の耕作土)除去後に検出。 <重複関係> RA37に切られる。北端には縄文時代の土坑が重なっている。 <平面形・規模> 一辺が北-南3.6mで隅丸方形を呈する。 <埋土> 本遺構を切るRA37の埋土がほとんどであるが 僅かに北側に黒褐色土を主体とする縮まった土が残存する。 <壁・床面> 床からやや外傾しながら立ち上がり、残存する箇所では壁高は30cmを測る。床面はそのほとんどをRA37に切られているが、黄褐色土層を床面としていたと思われる。 <柱穴> 検出されなかった。 <カマド> 東側調査区外に焼土と礫を検出しているが カマドに付属するものかどうかは不明である。 <その他> 調査区の拡幅があり RA36のプラン未検出の部分を調査したがこの時点ですでにRA36を切るとされるRA37が検出されており、拡幅部でのRA36のプランを明確にする事は出来なかった。但し前述の通りRA37の東壁の南寄りに焼土と礫を検出しており、この部分がRA36のカマドが崩壊した跡であるかもしれないが ここはすでに拡幅された調査区の東端でこれ以上は調査出来なかった。この住居の建て替えがRA37となるようである。

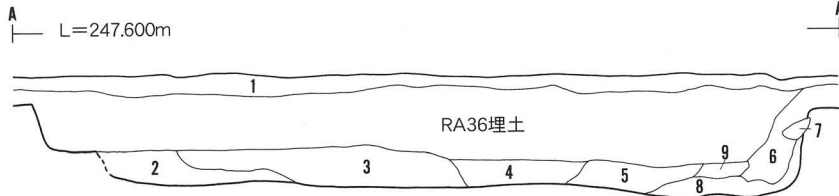
遺物は土師器、鉄鏃が出土しているがRA37埋土と思われる為 当遺構からの出土はない。

<時期> RA37との関係から平安時代と推定される。

RA37

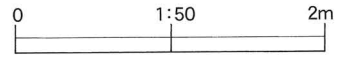


- RA37(B-B')
- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 黄褐色土を混合
  - 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし
  - 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 黄褐色土少量含む 炭化物あり
  - 4 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし (木根?)
  - 5 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり (床面・掘りすぎ)



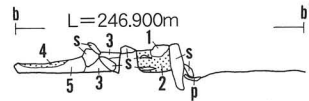
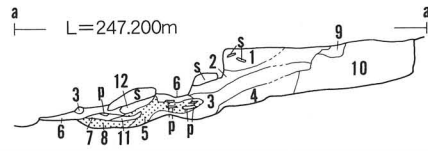
RA37(A-A')

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりかなりあり 耕作土直下の土 オレンジの浮石含む
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 炭化物含む オレンジの浮石微量 黄褐色土混合
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物微量 浮石少量
- 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物あり 浮石 黄褐色土少量含む
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややなし 炭化物 焼土集中して含む 土器含む
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 5と似ている
- 7 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 8 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり
- 9 10YR2/1 黒色土 粘性・縮まりなし



RA37カマド(a-a')

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりややなし 浮石 炭化物微量
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物微量 下部に7.5YR5/4にぶい黄褐色土を層状に含む 10YR2/2黒褐色土混入 煙出し付近にはぶい黄褐色土が疎らにある
- 3 上部には7.5YR3/2 黒褐色土 下部には5YR4/6赤褐色土が層状にあり 10YR2/2黒褐色土と10YR4/6褐色土がブロック状に混じる 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物多量
- 4 10YR5/8 黄褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 5 5YR4/8 赤褐色土と5YR3/6暗赤褐色土が混じる 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物微量
- 6 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 10YR4/4褐色土混入 炭化物下部 層状に多量含む
- 7 上部5YR3/6 暗赤褐色土 下部7.5YR4/6褐色土に7.5YR5/6明褐色土粒混入 粘性あり 縮まりなし 炭化物微量
- 8 5YR4/6 赤褐色土 粘性・縮まりややあり 均質
- 9 10YR2/2 黒褐色土と10YR2/3黒褐色土 7.5YR4/6褐色土の混合土 粘性なし 縮まりややなし 炭化物微量
- 10 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり
- 11 7.5YR5/6 明褐色土 粘性ややあり 縮まりなし
- 12 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし



RA37カマド(b-b')

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 5YR4/6赤褐色土の焼土粒混入 炭化物微量
- 2 5YR4/8 赤褐色土と5YR3/6暗赤褐色土が混じる 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物微量
- 3 7.5YR3/4 暗褐色土に焼土粒が混入 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物微量
- 4 5YR4/8 赤褐色土と10YR4/4褐色土が混じる 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物少量
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりあり 10YR4/6褐色土ブロックと5YR4/8赤褐色土の焼土粒含む 炭化物微

RA37カマド(c-c')

- 1,2は(a-a')の1,2に同じ
- 3 10YR2/2 黒褐色土に7.5YR5/4にぶい黄褐色土ブロックと10YR4/6褐色土粒が混じる 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物微量
- 4 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/4褐色土混入 粘性・縮まりなし 炭化物微量
- 5 7.5YR5/4 にぶい黄褐色土含む
- 6 7.5YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり
- 7 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし 10YR4/6褐色土含む
- 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 炭化物微量 焼土 (7.5YR4/8赤褐色土) を上部含む
- 9 10YR5/8 黄褐色土 粘性・縮まりあり

第77図 RA37竪穴住居跡

R A 37 (第77図 写真図版63)

<位置> 南区 O I 15グリッド周辺 <検出状況> 前述のRA36精査中に 当遺構の床面を検出し、ここから広げて立ち上がりを確認した。 <重複関係> RA36を切っており、ほとんど重なっているといっても過言ではない。他に北隅に縄文時代の土坑がある。 <平面形・規模> 軸線はE-23°-Nで北北西-南南東4m×東北東-西南西3.8mの隅丸方形を呈する。 <埋土> 13層に区分した。黄褐色土が混在しており、周囲の遺構を掘り上げた土が入った可能性がある。また人頭大の角礫数点、焼土 炭化物が多く、周囲から投げ込まれたものと思われる。 <壁・床面> 壁は床からやや外傾して立ち上がり、壁高は残存値40cm前後で回る。床は平坦であるが堅く締まっているとは言い難く、黄褐色土と黒褐色土が混じった汚れた色をしている。なお、東側壁のカマドから南寄りの所に焼土を検出しており、これがRA36のカマドの痕跡となるのかもしれない。他に東側と西側隅に人頭大の垂角礫が合計10個散乱している。 <柱穴> 住居中央からやや西寄りの床面で1基検出した。38×26cm 深さ63cm 埋土は黒褐色土である。 <土坑> カマドの南側に隣接して、1基検出した。平面形は円形で74×70cm 深さ20cm程の浅い皿状となっている。

<カマド> 東側壁の北寄りの所に設置されており、袖部と燃焼部が残存している。袖部は芯材に角礫を用いており、壁側にも石が組まれ コの字形のしっかりした造りになっている。破片土器も少量ではあるが、芯材に利用されている様である。検出した時点で袖部構成礫が露出し、一部は燃焼部にも崩れ落ちていた。燃焼部は層厚8cmの赤褐色焼土が形成されているが上部構造は不明である。煙道部は長さ90cmを測り本体部から上がり勾配で煙出し部へ続いているが、割り貫き式か掘り込み式かは不明である。断面形も不明であるが20cm以上の径をもっていたと思われる。煙出しの開口部は径20×18cmの円形となっている。

<その他> カマド周囲の住居床面で、不整形に広がる焼土範囲を2カ所と、まとまった炭化材を検出したが、ごく限られた部分的なものであるため、これをもって即焼失住居とは認めがたい。さらに、カマドの南寄り(住居の東壁)で焼土を検出している。これは旧住居(RA36)のものと推測される。

(遺物)(第234、235図 写真図版179)

カマドの北隣で住居の北東隅にあたる所からまとめて出土している。土師器の甕7点とロクロ使用の杯の底部1点が床上、鉄鏃1点は埋土からの出土である。 <時期> 出土遺物から平安時代と比定される。

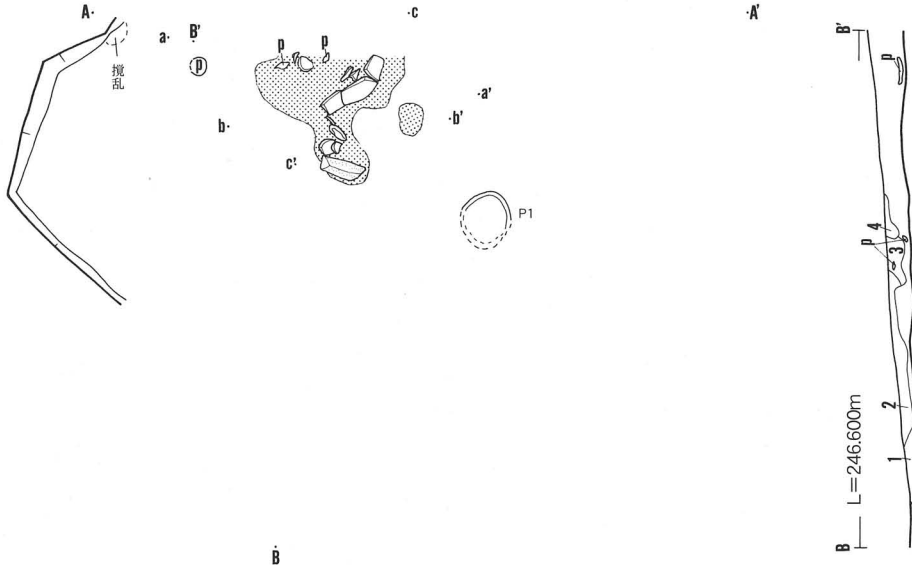
R A 53 (第78図 写真図版64)

<位置> 南区 O I 23 <検出状況> 調査区南東端の調査区境になっている断面に、焼土と炉石を検出した。当初石囲炉の一部と推測していたが、精査を進めるに従い、焼土の広がりぐあい、炉石の配置状況から、崩壊したカマド跡であることが判明した。 <重複関係> RA51の埋土中にある。 <平面形・規模> 不明である。攪乱が激しく全体像をつかむことは出来なかった。 <壁・床面> 壁の一部と思われる非常に浅い立ち上がりを検出したが、この住居に伴うものかどうかは確認できなかった。床は堅く締まっているとは言い難く、むしろ焼土が検出されなければ下げすぎていたかもしれない。焼土と坯の出土面を床面と認定した。 <柱穴> 検出していない。 <カマド> カマド南側の袖部と燃焼部の一部を検出した。南東に向く構造らしい。袖部は芯材に礫を用い黄褐色土で堅く覆っていたらしい。煙道、煙出し部ともに確認できなかった。

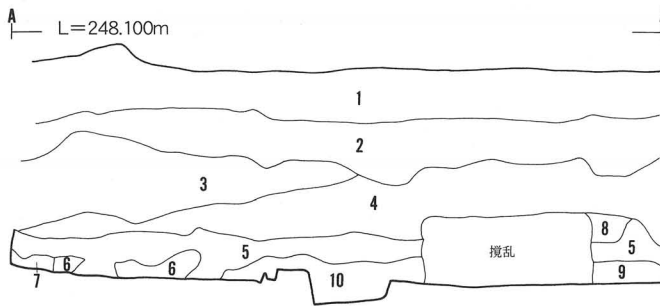
(遺物)(第236図 写真図版180)

942は底部に木葉痕をもつ土師器の甕、943は内黒の坏破片、945は底部に回転糸切り痕をもつ坏破片である。946の石鏃と947の凹石は流れ込みであろう。948は紡錘車の一部、949はカマド袖部出土の刀子である。 <時期> 出土遺物から平安時代と思われる。

RA53

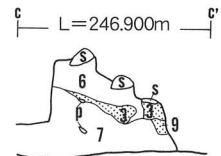
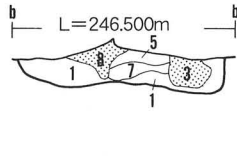
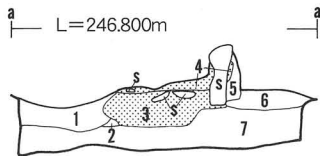


- RA53(B-B')
- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややなし 縮まりややあり
  - 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややなし 縮まりややあり
  - 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややなし 縮まりなし
  - 4 2)と同じ やや黄褐色土の混じりが少ない



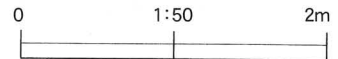
RA53(A-A')

- 1 10YR3/2 黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合 粘性ややあり 縮まりあり 上位は前者 下位は後者が大半を占める 下位に小角礫多数含む
- 2 10YR2/3 黒褐色土に黄褐色土がブロック状に混じる 粘性なし 縮まりややなし オレンジの浮石 小角礫炭化材等が混在
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややなし 縮まりあり 小角礫混在 4よりやや明るい
- 4 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややなし 縮まりあり 小角礫混在 10YR2/1黒色土をブロック状に含む
- 5 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石含む
- 6 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりややなし
- 7 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 黄褐色土を混在
- 8 10YR2/1 黒色土 粘性なし 縮まりややなし
- 9 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややなし 縮まりややあり
- 10 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 焼土粒が混在する為赤く見える 炭化物あり



RA53カマド(a-a'-b-b'-c-c')

- 1 10YR3/3 暗褐色土と10YR2/3黒褐色土との混合土 粘性あり 縮まりややあり オレンジの浮石 炭化物微量
- 2 10YR2/1 黒色土 粘性・縮まりややなし オレンジの浮石微量
- 3 5YR4/6 赤褐色土 5YR5/6明赤褐色土 5YR4/8赤褐色土の混合 粘性なし 縮まりややあり 炭化物若干含む
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 2.5YR4/6赤褐色土(焼土)粘性あり 縮まりややあり
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量
- 7 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量 炭化物少量
- 8 5YR3/6 暗赤褐色土と10YR3/3暗褐色土 粘性あり 縮まりなし
- 9 5YR3/6 暗赤褐色土 粘性・縮まりなし



第78図 RA53竪穴住居跡

## 2 土坑

土坑はRDの略号で登録した。次項以降の表ではRD001からRD282まで記載してあるが、調査中に登録はしたものの、その後の調査で土坑として成立しなかったものや、重複していたもの等が判明したため、登録を抹消し欠番となったものの番号も含まれている。遺物その他もこの登録番号で処理してきたため、調査終了後に番号の付け替えを行うことは、非常な混乱を招くことと、合理性を考え、調査時のままの登録番号で表記することとした。

今回の調査で検出された土坑は277基である。内訳は、縄文時代のもの239基、平安時代に属すると思われるもの2基、近世と思われるもの20基（うち4基は墓坑）、時期不明16基である。

形態はフラスコ状、ピーカー状、逆台形状、皿状、碗状、不整形のものと同様多様である。縄文時代のものうち153基がフラスコ状の土坑である。但しこの中には遺構の重複によってその一部しか伺い知れないものもある。逆に皿状の土坑は削平によりフラスコ状の底部のみ残存しているものかも知れないが、確証がないものはフラスコ状土坑とはしていない。今その分布状況をまとめると下記ようになる。

	北区	南区北側	南区南側	合計
フラスコ状土坑	22基	71基	60基	153基
その他の形状	9基	41基	36基	86基
土坑数 計	31基	112基	96基	239基

調査区内では、偏り無くそれぞれの地区で検出されている。全土坑にしめるフラスコ状土坑の割合は、北区で約71%、南区北側で63%、南区南側でも63%、全体では64%ほどがフラスコ状土坑となっている。

RD125、236は平安時代のものである。RD125土坑は、南区北側で検出したが、周囲に同時代の遺構は残存せず、20m程北に須恵器を伴う火熱を受けた集石があるのみである。この土坑内から土師器が出土しているため平安時代の遺構と判断した。また多量の焼土、炭化物が出土していることから、もしかすると住居内の土坑であったのが、田圃造成時に削平されたことも考えられる。一方RD236は南区南側の南端部で、RA53の床と思われる面で検出したものである。埋土中からは縄文土器片も多数出土しているが、土師器片も出土している。周囲の状況と出土遺物から、平安時代の土坑と判断したが、平面形及び壁が不整形であるため、風倒木痕の可能性もある。近世と判断した土坑は20基あるが、うちRD24、28、30、119は墓坑である。RD24、30、119は古銭を伴い一部人骨も残存していたが、RD28からは副葬品は一切無く埋葬骨は馬のものであった。これについての時代は特定できないが、周囲の墓坑の状況及び骨の残存状況から近世のものとして判断した。他にも釘や古銭の出土している土坑も墓坑の可能性はあるが確認できなかった。これ以外の土坑については、出土遺物にも乏しく、その用途を特定できなかった。

以上の土坑については、検出状況や切り合い関係及び出土遺物から時期の特定を行ったが、時期不明の土坑が16基ある。出土遺物が無く、切り合いや掘り込み面の確認もできなかったものである。これらのものは、いずれかの時期には該当するであろうが、周囲の状況に照らし合わせてそれらの時期を推定するにはあまりにもデータ不足であるためあえて時期不明とした。

なお、これら土坑の規模については、検出された状態の規模であって、前述のとおり田圃造成時の削平状況を考慮しなければならない。このことは他の遺構についても同じことである。

次頁以降、表中の規模の数値はcmであり、( )は残存値から推定したものである。



遺構名		RD001土坑				遺構名		RD002土坑				遺構名		RD003土坑			
図版	遺構	79	遺物	—		図版	遺構	79	遺物	369		図版	遺構	79	遺物	—	
写真図版	遺構	65	遺物	—		写真図版	遺構	65	遺物	237		写真図版	遺構	65	遺物	—	
位置	北区HI 15グリット					位置	北区HI 15グリット					位置	北区HII 16グリット				
検出状況・重複関係	IV層で検出					検出状況・重複関係	IV層で検出					検出状況・重複関係	IV層で検出				
形状	平面形	円形				形状	平面形	不整形				形状	平面形	楕円形			
	断面形	浅いピーカー状					断面形	逆台形状					断面形	ピーカー状			
規模	開口部径	86×76				規模	開口部径	80×68				規模	開口部径	76×54			
	底部径	66×62					底部径	50×42					底部径	62×40			
	深さ	26					深さ	36					深さ	34			
埋土	黒褐色土の単層					埋土	黒褐色土で4層に区分 焼土粒混じる					埋土	黒褐色土 2層は掘り過ぎ				
底面	傾斜があるがほぼ平坦					底面	ほぼ平坦					底面	北側に上がる傾斜				
壁	緩やかに外傾					壁	緩やかに外傾					壁	ほぼ直立				
副穴	なし					副穴	なし					副穴	なし				
出土遺物	なし					出土遺物	2399皇宋通宝1点 播鉢破片(不掲載)					出土遺物	なし				
時期	近世以降					時期	近世初頭?					時期	近世初頭				

[表中の規模の数値はcmであり、( )は残存値から推定したものである]

遺構名		RD004土坑				遺構名		RD005土坑				遺構名		RD006土坑			
図版	遺構	79	遺物	—		図版	遺構	79	遺物	—		図版	遺構	79	遺物	369	
写真図版	遺構	65	遺物	—		写真図版	遺構	65	遺物	—		写真図版	遺構	66	遺物	237	
位置	北区HII 16グリット					位置	北区HII 16グリット					位置	北区HII 11グリット				
検出状況・重複関係	IV層で検出 RD05に切られる					検出状況・重複関係	IV層で検出 RD04を切る					検出状況・重複関係	IV層で検出 PP92に隣接				
形状	平面形	不整形				形状	平面形	楕円形				形状	平面形	不整形			
	断面形	逆台形状?					断面形	ピーカー状					断面形	ピーカー状			
規模	開口部径	86×(76)				規模	開口部径	84×71				規模	開口部径	76×62			
	底部径	68×(64)					底部径	68×58					底部径	63×53			
	深さ	42					深さ	40					深さ	36			
埋土	黒褐色土の単層					埋土	黒褐色土の単層					埋土	3層に区分				
底面	ほぼ平坦					底面	中央部にかけてくぼむ					底面	ほぼ平坦、礫を置く				
壁	外傾気味に立ち上がる					壁	ほぼ直立					壁	ほぼ直立				
副穴	なし					副穴	なし					副穴	なし				
出土遺物	なし					出土遺物	なし					出土遺物	2400				
時期	近世以降					時期	近世以降					時期	近世以降				

遺構名				RD007土坑				遺構名				RD008土坑				遺構名				RD009土坑			
図版	遺構	79	遺物	—	図版	遺構	79	遺物	—	図版	遺構	79	遺物	—	図版	遺構	79	遺物	—				
写真図版	遺構	66	遺物	—	写真図版	遺構	66	遺物	—	写真図版	遺構	66	遺物	—	写真図版	遺構	66	遺物	—				
位置	北区HII 06グリット				位置	北区HII 12グリット				位置	北区HII 12グリット												
検出状況・重複関係	IV層で検出				検出状況・重複関係	IV層で検出				検出状況・重複関係	IV層で検出												
形状	平面形	円形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	楕円形											
	断面形	ピーカー状				断面形	逆台形状に類似				断面形	ピーカー状											
規模	開口部径	68×64			規模	開口部径	86×72			規模	開口部径	56×46											
	底部径	56×56				底部径	74×57				底部径	42×24											
	深さ	25				深さ	32				深さ	30											
埋土	黒褐色土と褐色土の混在				埋土	黒褐色土だが褐色土の混入により2層に区分				埋土	黒褐色土と褐色土の混在												
底面	ほぼ平坦				底面	柱穴2基に切られている				底面	鍋底状に丸味をもつ												
壁	ほぼ直立				壁	外形するが不揃い				壁	外傾気味												
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし												
出土遺物	なし				出土遺物	なし				出土遺物	なし												
時期	近世以降				時期	近世以降				時期	近世以降												

遺構名				RD010土坑				遺構名				RD011土坑				遺構名				RD012土坑			
図版	遺構	79	遺物	369	図版	遺構	80	遺物	—	図版	遺構	80	遺物	—	図版	遺構	80	遺物	—				
写真図版	遺構	67	遺物	237	写真図版	遺構	67	遺物	—	写真図版	遺構	67	遺物	—	写真図版	遺構	67	遺物	—				
位置	北区HI 15グリット				位置	北区HII 16グリット				位置	北区HI 15グリット												
検出状況・重複関係	IV層で検出 RD35を切る				検出状況・重複関係	IV層で検出				検出状況・重複関係	IV層で検出												
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	楕円形			形状	平面形	楕円形											
	断面形	逆台形状				断面形	ピーカー状				断面形	皿状											
規模	開口部径	71×69			規模	開口部径	70×64			規模	開口部径	62×52											
	底部径	61×48				底部径	58×53				底部径	55×43											
	深さ	37				深さ	34				深さ	17											
埋土	黒褐色土を主体とし、黄褐色土、炭化物を含む				埋土	黒褐色土				埋土	黒褐色土に黄褐色土が混在する単層である												
底面	やや丸味をもつ				底面	ほぼ平坦				底面	ほぼ平坦												
壁	やや外傾する				壁	ほぼ直立				壁	外傾する												
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし												
出土遺物	2401				出土遺物	なし				出土遺物	なし												
時期	近世以降				時期	近世以降				時期	近世以降												

遺構名		RD013土坑				遺構名		RD014土坑				遺構名		RD015土坑			
図版	遺構	80	遺物	237	図版	遺構	80	遺物	237 238	図版	遺構	80	遺物	—			
写真図版	遺構	67	遺物	180	写真図版	遺構	68	遺物	180	写真図版	遺構	68	遺物	—			
位置	南区LⅡ17グリット				位置	南区LⅡ14グリット				位置	南区LⅡ14グリット						
検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出 RA15に切られる				検出状況・重複関係	V層で検出						
形状	平面形	楕円形				形状	平面形	円形				形状	平面形	円形			
	断面形	皿状					断面形	フラスコ状					断面形	浅い皿状			
規模	開口部径	88×69				規模	開口部径	90×88				規模	開口部径	96×96			
	底部径	68×54					底部径	186×176					底部径	84×82			
	深さ	18					深さ	126					深さ	14			
埋土	黒褐色土を主体				埋土	褐色土を主体とするが上位に黄褐色土混在、炭化物あり				埋土	褐色土に黄褐色土が混じる単層						
底面	西側に傾斜する				底面	ほぼ平坦				底面	丸味をおびる						
壁	緩く外傾				壁	内湾して直立				壁	外傾する						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	950・951				出土遺物	952～960				出土遺物	なし						
時期	縄文時代後期初頭?				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代						

遺構名		RD016土坑				遺構名		RD017土坑				遺構名		RD018土坑			
図版	遺構	80	遺物	238	図版	遺構	81	遺物	238	図版	遺構	81	遺物	—			
写真図版	遺構	68	遺物	180	写真図版	遺構	68	遺物	180	写真図版	遺構	69	遺物	—			
位置	南区LⅡ18グリット				位置	南区LⅡ18グリット				位置	南区LⅡ13グリット						
検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出						
形状	平面形	楕円形				形状	平面形	円形				形状	平面形	楕円形			
	断面形	フラスコ状					断面形	フラスコ状					断面形	浅いピーカー状			
規模	開口部径	128×110				規模	開口部径	108×102				規模	開口部径	118×78			
	底部径	196×190					底部径	184×164					底部径	104×57			
	深さ	104					深さ	164					深さ	40			
埋土	黄褐色土が多く、崩落土及び人為堆積か?				埋土	自然堆積と崩落土による				埋土	黒褐色土を主体とするフラスコ状であった可能性						
底面	ほぼ平坦				底面	ほぼ平坦				底面	ほぼ平坦						
壁	内湾する				壁	内湾して直立				壁	ほぼ直立						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	中央南よりに1基						
出土遺物	961・962				出土遺物	963～965				出土遺物	なし						
時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代						

遺構名		RD019土坑				遺構名		RD020土坑				遺構名		RD021土坑			
図版	遺構	81	遺物	238		図版	遺構	81	遺物	—		図版	遺構	81	遺物	—	
写真図版	遺構	69	遺物	180		写真図版	遺構	69	遺物	—		写真図版	遺構	69	遺物	—	
位置		南区LⅡ17グリット				位置		南区LⅡ21グリット				位置		南区LⅡ21グリット			
検出状況・重複関係		V層で検出				検出状況・重複関係		V層で検出				検出状況・重複関係		V層で検出			
形状	平面形	楕円形				形状	平面形	楕円形				形状	平面形	楕円形			
	断面形	フラスコ状に近い					断面形	浅い皿状					断面形	極浅い皿状			
規模	開口部径	144×116				規模	開口部径	88×78				規模	開口部径	90×72			
	底部径	204×170					底部径	74×65					底部径	72×62			
	深さ	85					深さ	12					深さ	7			
埋土	暗褐色土と褐色土を交互に重ね、炭化物も含む					埋土	暗褐色土と黒褐色土が混在					埋土	暗褐色土と黒褐色土が混在				
底面	平坦だったと思われる					底面	ほぼ平坦					底面	ほぼ平坦				
壁	きつく内傾					壁	やや外形					壁	緩く立ち上がる				
副穴	なし					副穴	なし					副穴	なし				
出土遺物	966～968					出土遺物	なし					出土遺物	なし				
時期	縄文時代中期後葉					時期	縄文時代					時期	縄文時代				

遺構名		RD022土坑				遺構名		RD023土坑				遺構名		RD024土坑			
図版	遺構	81	遺物	—		図版	遺構	81	遺物	238		図版	遺構	82	遺物	369	
写真図版	遺構	70	遺物	—		写真図版	遺構	70	遺物	180		写真図版	遺構	70	遺物	237	
位置		南区LⅠ15グリット				位置		南区LⅠ10グリット				位置		南区KⅡ22グリット			
検出状況・重複関係		V層で検出				検出状況・重複関係		V層で検出				検出状況・重複関係		IV層で検出			
形状	平面形	円形				形状	平面形	楕円形				形状	平面形	円形			
	断面形	皿状に近い					断面形	逆台形状					断面形	逆台形状			
規模	開口部径	90×90				規模	開口部径	124×103				規模	開口部径	162×152			
	底部径	68×62					底部径	92×85					底部径	118×105			
	深さ	33					深さ	24					深さ	88			
埋土	黒褐色土を主体					埋土	黒褐色土と黄褐色土の2層に区分					埋土	黒褐色土の単層に黄褐色土が混在				
底面	凹凸がある					底面	ほぼ平坦					底面	ほぼ平坦				
壁	外傾					壁	外傾					壁	直立気味に外傾				
副穴	なし					副穴	なし					副穴	なし				
出土遺物	なし					出土遺物	969～972					出土遺物	2402～2409				
時期	縄文時代?					時期	縄文時代後期初頭					時期	近世				

遺構名		RD025土坑				遺構名		RD026土坑				遺構名		RD027土坑			
図版	遺構	82	遺物	239		図版	遺構	82	遺物	—		図版	遺構	82	遺物	—	
写真図版	遺構	70	遺物	181		写真図版	遺構	71	遺物	—		写真図版	遺構	71	遺物	—	
位置	南区LⅡ03グリット					位置	南区LⅡ07グリット					位置	南区LⅡ07グリット				
検出状況・重複関係	V層で検出 PP111に切られる					検出状況・重複関係	V層で検出					検出状況・重複関係	V層で検出				
形状	平面形	円形				形状	平面形	楕円形				形状	平面形	不整形			
	断面形	フラスコ状					断面形	ピーカー状					断面形	浅いピーカー状			
規模	開口部径	212×186				規模	開口部径	80×63				規模	開口部径	90×80			
	底部径	236×230					底部径	60×50					底部径	78×69			
	深さ	164					深さ	72					深さ	22			
埋土	レンズ状に層位がなり 自然堆積と思われる					埋土	暗褐色土を主体とする自然 堆積 1層は攪乱					埋土	人為堆積と思われる 炭化物混入				
底面	ほぼ平坦					底面	やや丸味を帯びる					底面	ほぼ平坦				
壁	内傾					壁	直立気味に立ち上がる					壁	一部外傾、他は直立				
副穴	なし					副穴	なし					副穴	なし				
出土遺物	973・974					出土遺物	なし					出土遺物	なし				
時期	縄文時代中期					時期	縄文時代					時期	縄文時代？				

遺構名		RD028土坑				遺構名		RD029土坑				遺構名		RD030土坑			
図版	遺構	82	遺物	—		図版	遺構	83	遺物	—		図版	遺構	83	遺物	—	
写真図版	遺構	71	遺物	—		写真図版	遺構	71	遺物	—		写真図版	遺構	—	遺物	—	
位置	南区LⅡ23グリット					位置	南区MⅡ03グリット					位置	南区KⅡ09グリット				
検出状況・重複関係	IV層で検出 RA12を切る					検出状況・重複関係	IV層下位で検出 底面にRF39					検出状況・重複関係	IV層で検出				
形状	平面形	不整形				形状	平面形	楕円形				形状	平面形	不明			
	断面形	逆台形状					断面形	皿状					断面形	不明			
規模	開口部径	208×94				規模	開口部径	102×52				規模	開口部径	×不明			
	底部径	160×52					底部径	94×39					底部径	×不明			
	深さ	46					深さ	15					深さ	不明			
埋土	褐色土主体の人為堆積 である					埋土	黒褐色土、底に焼土粒散乱					埋土	黒色土を主体とするようだ				
底面	ほぼ平坦					底面	平坦だが一部くぼむ					底面	平坦				
壁	一部外傾、一部直立					壁	ゆるく外傾					壁	不明				
副穴	なし					副穴	なし					副穴	なし				
出土遺物	馬骨(埋葬)					出土遺物	なし					出土遺物	火葬人骨と思われる 周囲から古銭				
時期	近世？					時期	不明					時期	近世				

遺構名		RD031土坑				遺構名		RD032土坑				遺構名		RD033土坑			
図版	遺構	83	遺物	239	図版	遺構	83	遺物	239	図版	遺構	83	遺物	—			
写真図版	遺構	72	遺物	181	写真図版	遺構	72	遺物	181	写真図版	遺構	72	遺物	—			
位置	南区KⅡ21グリット				位置	南区KⅡ11グリット				位置	南区LⅡ11グリット						
検出状況・重複関係	V層で検出 RA05埋土中				検出状況・重複関係	V層で検出 RA11埋土中				検出状況・重複関係	V層で検出						
形状	平面形	不整形			形状	平面形	円形			形状	平面形	楕円形					
	断面形	皿状				断面形	浅いビーカー状				断面形	鍋底状					
規模	開口部径	120×105			規模	開口部径	167×152			規模	開口部径	66×48					
	底部径	100×72				底部径	148×133				底部径	50×27					
	深さ	20				深さ	28				深さ	21					
埋土	サンドイッチ状に堆積				埋土	黒褐色土を埋土とし 4層に区分				埋土	2層に区分						
底面	やや平坦				底面	やや平坦				底面	丸味を帯びる						
壁	外傾				壁	やや外傾気味				壁	やや外傾						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	975～978				出土遺物	979～981				出土遺物	なし						
時期	縄文時代後期				時期	縄文時代中期後葉				時期	不明						

遺構名		RD034土坑				遺構名		RD035土坑				遺構名		RD036土坑			
図版	遺構	83	遺物	239	図版	遺構	79	遺物	—	図版	遺構	83	遺物	—			
写真図版	遺構	72	遺物	181	写真図版	遺構	73	遺物	—	写真図版	遺構	73	遺物	—			
位置	南区KⅡ22グリット				位置	北区HⅠ15グリット				位置	北区HⅡ22グリット						
検出状況・重複関係	IV層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出 RD10・ PP125に切られる				検出状況・重複関係	V層上位で検出 RD37を切る						
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	楕円形					
	断面形	ビーカー状				断面形	皿状				断面形	逆台形状					
規模	開口部径	86×66			規模	開口部径	109×(90)			規模	開口部径	188×86					
	底部径	70×56				底部径	(100)×(78)				底部径	156×50					
	深さ	32				深さ	38				深さ	62					
埋土	3層に区分				埋土	黒褐色土を主体 2層に区分				埋土	黄褐色土と黒色土が 層状に堆積						
底面	ほぼ平坦				底面	ほぼ平坦				底面	ほぼ平坦						
壁	直立				壁	やや外傾				壁	外反しながら立ち上がる						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	982				出土遺物	なし				出土遺物	なし						
時期	縄文時代中期以降				時期	近世以降				時期	不明						

遺構名		RD037土坑				遺構名		RD038土坑				遺構名		RD039土坑			
図版	遺構	83	遺物	239	図版	遺構	83	遺物	240	図版	遺構	84	遺物	240			
写真図版	遺構	73	遺物	181	写真図版	遺構	73	遺物	181	写真図版	遺構	74	遺物	181			
位置	北区HⅡ22グリット				位置	南区LⅡ14グリット				位置	南区LⅡ11グリット						
検出状況・重複関係	V層上位で検出 RD36に切られる				検出状況・重複関係	RA02床で検出				検出状況・重複関係	RA07、08床面で検出						
形状	平面形	円形			形状	平面形	円形			形状	平面形	円形					
	断面形	皿状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	98×(78)			規模	開口部径	142×130			規模	開口部径	90×90					
	底部径	78×(58)				底部径	166×160				底部径	194×184					
	深さ	10				深さ	84				深さ	102					
埋土	黒色土の単層				埋土	黄褐色土がブロック状に混入している				埋土	炭化物が混入しており人為堆積と思われる						
底面	平坦				底面	平坦				底面	平坦						
壁	緩く外傾しながら立ち上がる				壁	内湾し外反する				壁	内湾し外反する						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	983・984				出土遺物	985～987				出土遺物	988・989						
時期	縄文時代前期末?				時期	縄文時代前期末葉				時期	縄文時代中期後葉以前						

遺構名		RD040土坑				遺構名		RD041土坑				遺構名		RD042土坑			
図版	遺構	84	遺物	240	図版	遺構	84	遺物	241 242	図版	遺構	84	遺物	—			
写真図版	遺構	74	遺物	181	写真図版	遺構	74	遺物	181 182	写真図版	遺構	74	遺物	—			
位置	南区LⅡ08グリット				位置	南区MⅡ06グリット				位置	南区LⅡ18グリット						
検出状況・重複関係	RA28床面で検出				検出状況・重複関係	RA18床面で検出 RD87を切る				検出状況・重複関係	V層で検出 RA15を切る						
形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形					
	断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	214×190			規模	開口部径	(130)×114			規模	開口部径	88×(64)					
	底部径	270×238				底部径	209×176				底部径	93×(76)					
	深さ	127				深さ	168				深さ	42					
埋土	炭化物が混入しており人為堆積と思われる				埋土	中位に大きな礫を含んでいる土器も出土				埋土	炭化物と土器片を含んでいる						
底面	平坦				底面	ほぼ平坦				底面	ほぼ平坦						
壁	内湾し外反				壁	内湾し外反				壁	内湾						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	990～997				出土遺物	998～1005				出土遺物	なし						
時期	縄文時代中期後葉				時期	縄文時代中期中葉				時期	縄文時代中期後葉以降						



遺構名	RD043土坑				遺構名	RD044土坑				遺構名	RD045土坑			
図版	遺構	85	遺物	242 243	図版	遺構	85	遺物	243	図版	遺構	85	遺物	244
写真図版	遺構	75	遺物	182	写真図版	遺構	75	遺物	182	写真図版	遺構	75	遺物	182
位置	南区MII06グリット				位置	南区MII07グリット				位置	南区MII06グリット			
検出状況・重複関係	V層で検出 RD73・99に切られる				検出状況・重複関係	RA16・17の床面 貼床下で検出				検出状況・重複関係	V層で検出			
形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	楕円形		
	断面形	フラスコ状?				断面形	フラスコ状				断面形	逆台形状		
規模	開口部径	146×141			規模	開口部径	122×95			規模	開口部径	166×131		
	底部径	117×107				底部径	192×167				底部径	98×80		
	深さ	134				深さ	106				深さ	76		
埋土	埋土に炭化物が入っている 底面に土器片				埋土	短期間に埋まったと思われる(人為堆積?)				埋土	黒褐色、褐色、黄褐色土が 混じる人為堆積			
底面	ほぼ平坦				底面	平坦				底面	ほぼ平坦			
壁	両側を2つの土坑に切られる				壁	内傾し外反				壁	一部直立、一部外傾			
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし			
出土遺物	1006~1012				出土遺物	1013~1016				出土遺物	1017~1019			
時期	縄文時代後期初頭				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代後期初頭?			

遺構名	RD046土坑				遺構名	RD047土坑				遺構名	RD048土坑			
図版	遺構	85	遺物	244	図版	遺構	86	遺物	244	図版	遺構	86	遺物	244
写真図版	遺構	75	遺物	182	写真図版	遺構	76	遺物	182	写真図版	遺構	76	遺物	182
位置	南区MI05グリット				位置	南区MII16グリット				位置	南区MII16グリット			
検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出 RD74を切る			
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	楕円形		
	断面形	フラスコ状?				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状		
規模	開口部径	100×88			規模	開口部径	124×113			規模	開口部径	132×114		
	底部径	110×76				底部径	181×176				底部径	146×128		
	深さ	20				深さ	122				深さ	88		
埋土	フラスコ状土坑の底部付近 と思われ埋土は1層のみ				埋土	一部人為堆積があるのかも しれない				埋土	3層に区分でき、それぞれ に炭化物が入る			
底面	平坦				底面	平坦				底面	一部に落ち込み			
壁	検出した部分は直立気味				壁	内湾し外傾				壁	内湾し外傾			
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし			
出土遺物	1020~1022				出土遺物	1023・1024				出土遺物	1025~1027			
時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期以降				時期	縄文時代中期前葉			

遺構名	RD049土坑				遺構名	RD050土坑				遺構名	RD051土坑			
図版	遺構	86	遺物	245	図版	遺構	85	遺物	245	図版	遺構	86	遺物	245
写真図版	遺構	76	遺物	182	写真図版	遺構	76	遺物	182	写真図版	遺構	77	遺物	183
位置	南区MI 20グリット				位置	南区MII 16グリット				位置	南区MII 06グリット			
検出状況・重複関係	V層で検出 PP192・195を切る				検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出 RD52を切る			
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	円形			形状	平面形	不整形		
	断面形	逆台形状?				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状		
規模	開口部径	123×110			規模	開口部径	134×116			規模	開口部径	(124)×(106)		
	底部径	96×82				底部径	140×132				底部径	212×184		
	深さ	47				深さ	78				深さ	172		
埋土	人為堆積と思われる				埋土	上部が削られており3層しか確認できない				埋土	当初点線内の検出であったが後に広がった			
底面	ほぼ平坦				底面	平坦				底面	平坦			
壁	一部外傾、一部不整形				壁	内傾				壁	内湾			
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし			
出土遺物	1028				出土遺物	1029~1031				出土遺物	1032~1037			
時期	縄文時代中期				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期前葉			

遺構名	RD052土坑				遺構名	RD053土坑				遺構名	RD054土坑			
図版	遺構	86	遺物	246	図版	遺構	85	遺物	246	図版	遺構	87	遺物	246 247
写真図版	遺構	77	遺物	182	写真図版	遺構	77	遺物	183	写真図版	遺構	77	遺物	183
位置	南区MI 10グリット				位置	南区MI 15グリット				位置	南区MI 20グリット			
検出状況・重複関係	V層で検出 RD51に切られる				検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出			
形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	円形		
	断面形	フラスコ状				断面形	逆台形状				断面形	フラスコ状		
規模	開口部径	112×(90)			規模	開口部径	100×85			規模	開口部径	86×80		
	底部径	(144)×124				底部径	54×44				底部径	160×147		
	深さ	112				深さ	78				深さ	154		
埋土	暗褐色土主体で炭化材が混じる				埋土	暗褐色土の単層				埋土	断面実測なし			
底面	中央部にかけて高くなる				底面	平坦				底面	平坦			
壁	内湾し外傾				壁	外傾気味				壁	内湾し直立			
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし			
出土遺物	1038・1039				出土遺物	1040・1041				出土遺物	1042~1050			
時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代後期初頭				時期	縄文時代中期前葉			

遺構名		RD055土坑				遺構名		RD056土坑				遺構名		RD057土坑			
図版	遺構	87	遺物	247		図版	遺構	87	遺物	248		図版	遺構	87	遺物	248	
写真図版	遺構	78	遺物	183		写真図版	遺構	78	遺物	183		写真図版	遺構	78	遺物	183	
位置	南区LⅡ18グリット					位置	南区LⅡ23グリット					位置	南区LⅡ13グリット				
検出状況・重複関係	RA15床で検出 RA15より古い					検出状況・重複関係	RA12床で検出 RD65に切られる					検出状況・重複関係	RA15に一部切られる				
形状	平面形	円形				形状	平面形	不整形				形状	平面形	楕円形			
	断面形	フラスコ状					断面形	フラスコ状					断面形	フラスコ状			
規模	開口部径	166×150				規模	開口部径	156×116				規模	開口部径	154×114			
	底部径	176×164					底部径	180×152					底部径	224×206			
	深さ	38					深さ	80					深さ	128			
埋土	上部は失われている					埋土	上部は失われている 黄褐色土をブロック状に含む					埋土	崩落土を多量に含む				
底面	平坦					底面	平坦					底面	平坦				
壁	内傾					壁	内傾					壁	内湾し外傾				
副穴	なし					副穴	中央西よりに深さ10cm程					副穴	なし				
出土遺物	1051					出土遺物	1052~1055					出土遺物	1056~1058				
時期	縄文時代中期後葉以前					時期	縄文時代前期末葉					時期	縄文時代中期後葉以前				

遺構名		RD058土坑				遺構名		RD059土坑				遺構名		RD060土坑			
図版	遺構	87	遺物	248 249		図版	遺構	88	遺物	249		図版	遺構	88	遺物	249	
写真図版	遺構	78	遺物	183		写真図版	遺構	79	遺物	184		写真図版	遺構	79	遺物	184	
位置	南区MⅡ21グリット					位置	南区MⅡ03グリット					位置	南区MⅡ03グリット				
検出状況・重複関係	V層で検出					検出状況・重複関係	V層で検出 PP146に切られる					検出状況・重複関係	V層で検出 RD61に切られる				
形状	平面形	不整形				形状	平面形	円形				形状	平面形	不整形			
	断面形	逆台形状					断面形	ピーカー状?					断面形	フラスコ状			
規模	開口部径	244×198				規模	開口部径	130×116				規模	開口部径	(170)×127			
	底部径	140×120					底部径	118×104					底部径	154×144			
	深さ	110					深さ	66					深さ	168			
埋土	黒~暗褐色土を主体とし 近辺にはない礫を多く含む					埋土	褐色土を主体とする、人為 堆積のようである					埋土	精査中に埋土が広がること が判明し断面を2回測った				
底面	やや丸みを滞びる					底面	東側にかけて高くなる					底面	東側にかけて高くなる				
壁	外傾					壁	膨らみをもちながら直立					壁	内湾し直立				
副穴	なし					副穴	なし					副穴	なし				
出土遺物	1059~1063					出土遺物	1064					出土遺物	1065~1068				
時期	縄文時代後期初頭					時期	縄文時代中期					時期	縄文時代中期後葉				

遺構名		RD061土坑				遺構名		RD062土坑				遺構名		RD063土坑			
図版	遺構	88	遺物	249	図版	遺構	89	遺物	249	図版	遺構	88	遺物	249	251		
写真図版	遺構	79	遺物	184	写真図版	遺構	79	遺物	184	写真図版	遺構	80	遺物	184			
位置	南区MII03グリット				位置	南区MII07グリット				位置	南区MII16グリット						
検出状況・重複関係	V層で検出 RD60を切る				検出状況・重複関係	V層で検出 RD69と重複新旧は不明				検出状況・重複関係	V層で検出						
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形					
	断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	(158)×133			規模	開口部径	136×(128)			規模	開口部径	134×120					
	底部径	222×198				底部径	242×(220)				底部径	160×148					
	深さ	170				深さ	130				深さ	138					
埋土	褐色土主体だが、下に黄褐色土の層がある				埋土	断面実測なし				埋土	暗褐色土主体で一部黄褐色土(崩落?)を含む						
底面	平坦				底面	平坦				底面	平坦						
壁	内傾し外反する				壁	内傾し直立				壁	内湾し外反						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1069				出土遺物	1070・1071				出土遺物	1072~1077						
時期	縄文時代中期後葉				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代前期末~中期初						

遺構名		RD064土坑				遺構名		RD065土坑				遺構名		RD066土坑			
図版	遺構	89	遺物	251	図版	遺構	89	遺物	251	図版	遺構	90	遺物	252	254		
写真図版	遺構	80	遺物	184	写真図版	遺構	80	遺物	184	写真図版	遺構	80	遺物	184	185		
位置	南区MII12グリット				位置	南区MII03グリット				位置	南区LII17グリット						
検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	RA12床で検出 RD56を切る				検出状況・重複関係	V層で検出						
形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形					
	断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	113×101			規模	開口部径	96×(88)			規模	開口部径	156×144					
	底部径	197×162				底部径	142×(132)				底部径	210×202					
	深さ	72				深さ	93				深さ	128					
埋土	暗褐色土主体 上部を削平されている				埋土	径20cm前後の自然礫 を下位に含んでいる				埋土	一部崩落土も見られる 下位に多量の土器を含む						
底面	平坦				底面	ほぼ平坦				底面	平坦						
壁	内湾				壁	内湾				壁	内湾し外傾						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1078・1079				出土遺物	1080				出土遺物	1081~1095						
時期	縄文時代前期末葉				時期	縄文時代中期後葉				時期	縄文時代中期中葉						

遺構名		RD067土坑				遺構名		RD068土坑				遺構名		RD069土坑			
図版	遺構	90	遺物	—	図版	遺構	90	遺物	255	図版	遺構	89	遺物	—			
写真図版	遺構	81	遺物	—	写真図版	遺構	81	遺物	185	写真図版	遺構	79	遺物	—			
位置	北区HII06グリット				位置	北区HII06グリット				位置	南区MII07グリット						
検出状況・重複関係	Ⅲ層下位で検出				検出状況・重複関係	Ⅲ層下位で検出				検出状況・重複関係	Ⅴ層で検出 RD62と重複、新旧は不明						
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形					
	断面形	ビーカー状				断面形	逆台形状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	130×88			規模	開口部径	100×78			規模	開口部径	88×(84)					
	底部径	110×74				底部径	62×52				底部径	×					
	深さ	96				深さ	60				深さ						
埋土	黄褐色土をブロック状に含む 黒褐色土の単層である				埋土	黒褐色土				埋土	断面実測なし						
底面	平坦				底面	柱穴の底2基				底面	平坦						
壁	直立				壁	外傾				壁							
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	なし 墓坑の可能性あり				出土遺物	1096				出土遺物	なし						
時期	近世以降と思われる				時期	縄文時代中期中葉				時期	縄文時代中期						

遺構名		RD070土坑				遺構名		RD071土坑				遺構名		RD072土坑			
図版	遺構	90	遺物	255	図版	遺構	91	遺物	—	図版	遺構	91	遺物	—			
写真図版	遺構	81	遺物	185	写真図版	遺構	81	遺物	—	写真図版	遺構	82	遺物	—			
位置	南区MII01グリット				位置	南区LII21グリット				位置	南区MII21グリット						
検出状況・重複関係	Ⅴ層で検出 RF27より古い				検出状況・重複関係	Ⅴ層で検出 一部調査区外に広がる				検出状況・重複関係	Ⅴ層で検出 下位にRD120						
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形					
	断面形	ビーカー状				断面形	フラスコ状				断面形	浅い皿状					
規模	開口部径	158×130			規模	開口部径	186×(180)			規模	開口部径	168×142					
	底部径	128×110				底部径	254×(114)				底部径	139×132					
	深さ	34				深さ	214				深さ	34					
埋土	底部に風化した礫が混じる				埋土	上部を耕作等により削平されている模様である				埋土	2層に区分						
底面	平坦				底面	ほぼ平坦				底面	ほぼ平坦						
壁	直立				壁	内湾				壁	一部直立、一部外傾						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1097				出土遺物	なし				出土遺物	なし						
時期	縄文時代中期				時期	縄文時代				時期	不明						

遺構名		RD073土坑				遺構名		RD074土坑				遺構名		RD075土坑					
図版	遺構	91	遺物	—	図版	遺構	86	遺物	255	図版	遺構	92	遺物	—					
写真図版	遺構	82	遺物	—	写真図版	遺構	82	遺物	185	写真図版	遺構	82	遺物	—					
位置	南区MII06グリット				位置	南区MI15グリット				位置	南区MII08グリット								
検出状況・重複関係	V層で検出 RD43に切られる				検出状況・重複関係	V層で検出 RD48に切られる				検出状況・重複関係	V層で検出 PP131に切られる								
形状	平面形	円				形状	平面形	楕円形				形状	平面形	不整形					
	断面形	フラスコ状?					形状	断面形	浅い皿状				形状	断面形	フラスコ状				
規模	開口部径	46× ?				規模		開口部径	188×(142)					規模	開口部径	(124)×(68)			
	底部径	172×156					規模	底部径	160×(106)				規模		底部径	160×(88)			
	深さ	84						規模	深さ	30					規模	深さ	132		
埋土	一部RD43に切られている				埋土	3層に区分				埋土	埋土中に炭化粒が散見される 一部調査区外								
底面	不明				底面	やや丸味を帯びる				底面	ほぼ平坦								
壁	内化直し直立				壁	外傾				壁	内湾し直立								
副穴	不明				副穴	なし				副穴	なし								
出土遺物	なし				出土遺物	1098				出土遺物	なし								
時期	縄文時代後期初頭以前				時期	縄文時代中期前葉以前				時期	縄文時代								

遺構名		RD076土坑				遺構名		RD077土坑				遺構名		RD078土坑					
図版	遺構	94	遺物	—	図版	遺構	92	遺物	—	図版	遺構	92	遺物	255					
写真図版	遺構	83	遺物	—	写真図版	遺構	83	遺物	—	写真図版	遺構	83	遺物	185					
位置	南区MII07グリット				位置	南区LII23グリット				位置	南区LII23グリット								
検出状況・重複関係	V層で検出 RD84を切る				検出状況・重複関係	RD28下で検出 RD56に切られる				検出状況・重複関係	RA12床で検出 RD79と重複								
形状	平面形	楕円形				形状	平面形	楕円形				形状	平面形	不整形					
	断面形	浅いビーカー状					形状	断面形	フラスコ状				形状	断面形	フラスコ状				
規模	開口部径	160×104				規模		開口部径	80×(56)					規模	開口部径	166×(160)			
	底部径	152×88					規模	底部径	120×84				規模		底部径	230×(220)			
	深さ	28						規模	深さ	64					規模	深さ	90		
埋土	黒褐色土と暗褐色土が推積				埋土	壁の崩落土が大量に入る				埋土	黄褐色土がブロック状に 入り込んでいる								
底面	ほぼ平坦				底面	ほぼ平坦				底面	平坦								
壁	直立				壁	内傾				壁	内湾								
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし								
出土遺物	なし				出土遺物	なし				出土遺物	1099								
時期	縄文時代中期前葉以降				時期	縄文時代前期末葉				時期	縄文時代前期末葉								

遺構名		RD079土坑				遺構名		RD080土坑				遺構名		RD081土坑			
図版	遺構	—	遺物	—	図版	遺構	93	遺物	—	図版	遺構	92	遺物	—			
写真図版	遺構	—	遺物	—	写真図版	遺構	83	遺物	—	写真図版	遺構	84	遺物	—			
位置	南区LⅡ23グリット				位置	南区LⅡ18グリット				位置	北区HⅢ21グリット						
検出状況・重複関係	RA12床で検出 RD78と重複				検出状況・重複関係	RA15床で検出 RD55に切られる				検出状況・重複関係	Ⅲ層下位で検出						
形状	平面形	不明				形状	平面形	楕円形				形状	平面形	隅丸長方形			
	断面形	フラスコ状					断面形	皿状					断面形	逆台形状			
規模	開口部径	推定50× ?				規模	開口部径	234×(160)				規模	開口部径	(214)×92			
	底部径	推定70× ?					底部径	138×94					底部径	(164)×56			
	深さ	約50					深さ	56					深さ	54			
埋土	重複により精査中に崩落し、以後の精査不可能				埋土	褐色土の単層				埋土	黒色土主体である 一部黄褐色土との互層も見られる						
底面	不明				底面	ほぼ平坦				底面	不整形						
壁	不明				壁	外傾				壁	外傾気味						
副穴	不明				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	なし				出土遺物	なし				出土遺物	なし						
時期	縄文時代				時期	縄文時代中期後葉以前				時期	不明						

遺構名		RD082土坑				遺構名		RD083土坑				遺構名		RD084土坑			
図版	遺構	93	遺物	255	図版	遺構	93	遺物	—	図版	遺構	94	遺物	256			
写真図版	遺構	84	遺物	185	写真図版	遺構	84	遺物	—	写真図版	遺構	84	遺物	185			
位置	南区MⅡ03グリット				位置	南区LⅡ18グリット				位置	南区MⅡ12グリット						
検出状況・重複関係	V層下位で検出				検出状況・重複関係	RA12床で検出				検出状況・重複関係	V層で検出、RD99を切りRD76に切られる						
形状	平面形	円形				形状	平面形	不整形				形状	平面形	不整形			
	断面形	フラスコ状					断面形	フラスコ状底部?					断面形	フラスコ状			
規模	開口部径	100× ?				規模	開口部径	(120)×116				規模	開口部径	180×(174)			
	底部径	165× ?					底部径	106×(104)					底部径	(186)×182			
	深さ	124					深さ	42					深さ	102			
埋土	底部に自然礫、到立土器				埋土	1層はRA12の床である				埋土	3基の土坑が古い順に西側から並んでいる						
底面	不整形				底面	ほぼ平坦				底面	平坦						
壁	内湾し直立				壁	一部内湾、一部直立				壁	内湾						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1100				出土遺物	なし				出土遺物	1101~1103						
時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期以前?				時期	縄文時代中期前葉						

遺構名		RD085土坑			遺構名		RD086土坑			遺構名		RD087土坑		
図版	遺構	93	遺物	—	図版	遺構	94	遺物	256	図版	遺構	94	遺物	257
写真図版	遺構	85	遺物	—	写真図版	遺構	85	遺物	185	写真図版	遺構	85	遺物	185
位置	南区LⅢ13グリット				位置	南区MⅡ11グリット				位置	南区MⅡ07グリット			
検出状況・重複関係	RD80底で検出				検出状況・重複関係	RA25炉の下位				検出状況・重複関係	RA18炉の下位 RD41に切られる			
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形		
	断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状		
規模	開口部径	130×112			規模	開口部径	128×111			規模	開口部径	122×80		
	底部径	168×164				底部径	176×154				底部径	170×148		
	深さ	52				深さ	100				深さ	110		
埋土	上部をRD80に切られる				埋土	上位の層は投げ込みと思われる				埋土	精査中にRD41につながり記録残せず 暗褐色土主体			
底面	平坦				底面	平坦				底面	やや平坦			
壁	内湾				壁	内湾し外反				壁	内湾し外傾			
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし			
出土遺物	なし				出土遺物	1104~1108				出土遺物	1109~1111			
時期	縄文時代中期後葉以前				時期	縄文時代前期末葉				時期	縄文時代中期前葉			

遺構名		RD088土坑			遺構名		RD089土坑			遺構名		RD090土坑		
図版	遺構	95	遺物	257	図版	遺構	94	遺物	257	図版	遺構	95	遺物	257
写真図版	遺構	85	遺物	186	写真図版	遺構	86	遺物	186	写真図版	遺構	86	遺物	186
位置	南区LⅡ22グリット				位置	南区KⅡ06グリット				位置	南区LⅡ22グリット			
検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	RA42検出面と同じ 黒色土中				検出状況・重複関係	RA27床で検出 RA27に切られる			
形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	円		
	断面形	フラスコ状?				断面形	ピーカー状?				断面形	フラスコ状		
規模	開口部径	108×(105)			規模	開口部径	144×128			規模	開口部径	142×132		
	底部径	(92)×84				底部径	114×80				底部径	188×180		
	深さ	102				深さ	102				深さ	48		
埋土	1~4層は後世のもので、本遺構の埋土は5層以降である				埋土	黒褐色土の単層である				埋土	4層に区分した 近辺には見られない砂状の層がある			
底面	平坦				底面	平坦				底面	平坦			
壁	一部内湾がみられる				壁	直立				壁	内傾			
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし			
出土遺物	1112・1113				出土遺物	1114・1115				出土遺物	1116~1119			
時期	縄文時代前期末葉				時期	縄文時代中期後葉				時期	縄文時代中期前葉			



遺構名		RD091土坑				遺構名		RD092土坑				遺構名		RD093土坑			
図版	遺構	95	遺物	258	図版	遺構	95	遺物	258	図版	遺構	96	遺物	—			
写真図版	遺構	86	遺物	186	写真図版	遺構	86	遺物	186	写真図版	遺構	87	遺物	—			
位置	南区MII11グリット				位置	南区MII21グリット				位置	南区MII22グリット						
検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層下位で検出				検出状況・重複関係	V層で検出						
形状	平面形	不整形			形状	平面形	円形			形状	平面形	不整形					
	断面形	フラスコ状				断面形	ややフラスコ状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	104×96			規模	開口部径	102×96			規模	開口部径	100×(126)					
	底部径	136×128				底部径	100×86				底部径	(172)×138					
	深さ	52				深さ	45				深さ	166					
埋土	褐色土、暗褐色土混在に炭化材を含んでいる単層				埋土	下位に土器を含む				埋土	6層に区分したが近辺にはない自然礫が埋土に散見される						
底面	平坦				底面	平坦				底面	平坦						
壁	内湾				壁	一部直立、一部内湾				壁	内湾し直立						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1120～1124				出土遺物	1125～1127				出土遺物	なし						
時期	縄文時代中期				時期	縄文時代前期末葉				時期	縄文時代中期						

遺構名		RD094土坑				遺構名		RD095土坑				遺構名		RD096土坑			
図版	遺構	96	遺物	—	図版	遺構	96	遺物	259	図版	遺構	96	遺物	259			
写真図版	遺構	87	遺物	—	写真図版	遺構	87	遺物	186	写真図版	遺構	87	遺物	186			
位置	南区MI20グリット				位置	南区LII23グリット				位置	南区MII01グリット						
検出状況・重複関係	V層下位で検出				検出状況・重複関係	V層で検出 RD56、77と重複				検出状況・重複関係	V層で検出、 RD41と底部で重複						
形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	円形					
	断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	110×90			規模	開口部径	(84)×60			規模	開口部径	106×98					
	底部径	154×162				底部径	136×(134)				底部径	162×146					
	深さ	70				深さ	83				深さ	56					
埋土	褐色土と暗褐色土が混在した単層				埋土	全層位に炭化物を含んでいる				埋土	底部に暗褐色土が自然堆積状にある						
底面	平坦				底面	平坦				底面	平坦						
壁	内傾				壁	内湾				壁	内湾						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	なし				出土遺物	1128～1133				出土遺物	1134						
時期	縄文時代中期?				時期	縄文時代中期				時期	縄文時代中期						

遺構名		RD097土坑			遺構名		RD098土坑			遺構名		RD099土坑		
図版	遺構	96	遺物	259	図版	遺構	96	遺物	260	図版	遺構	94	遺物	260
写真図版	遺構	88	遺物	186	写真図版	遺構	88	遺物	186	写真図版	遺構	88	遺物	186
位置	南区LⅡ22グリット			位置	南区LⅡ23グリット			位置	南区MⅡ06グリット					
検出状況・重複関係	RA27床で検出 PP129に切られる			検出状況・重複関係	V層で検出			検出状況・重複関係	V層で検出 RD43.84に切られる					
形状	平面形	円形			形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不明		
	断面形	フラスコ状				断面形	不整形な皿状				断面形	フラスコ状?		
規模	開口部径	166×144			規模	開口部径	110×96			規模	開口部径	不明		
	底部径	188×174				底部径	88×72				底部径	不明		
	深さ	68				深さ	34				深さ	76		
埋土	黒～暗褐色土主体に自然堆積 状に堆積			埋土	単層である			埋土	重複が多く断面の一部しか観察 できない					
底面	平坦			底面	不整形			底面	平坦?					
壁	内湾			壁	外傾気味に立ち上がる			壁	内湾					
副穴	なし			副穴	なし			副穴	不明					
出土遺物	1135・1136			出土遺物	1137			出土遺物	1138					
時期	縄文時代中期後葉以前			時期	縄文時代後期初頭			時期	縄文時代中期前葉以前					

遺構名		RD100土坑			遺構名		RD101土坑			遺構名		RD102土坑		
図版	遺構	97	遺物	—	図版	遺構	97	遺物	—	図版	遺構	97	遺物	—
写真図版	遺構	88	遺物	—	写真図版	遺構	89	遺物	—	写真図版	遺構	89	遺物	—
位置	南区MⅡ02グリット			位置	南区MⅡ01グリット			位置	南区MⅠ20グリット					
検出状況・重複関係	RA25床で検出 PP141を切る			検出状況・重複関係	V層で検出 RD70を包含			検出状況・重複関係	V層で検出					
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	楕円形			形状	平面形	楕円形		
	断面形	浅い皿状				断面形	浅い皿状				断面形	皿状		
規模	開口部径	128×93			規模	開口部径	220×202			規模	開口部径	93×76		
	底部径	92×78				底部径	207×168				底部径	118×100		
	深さ	82				深さ	26				深さ	27		
埋土	褐色土主体であるが底部に 黄褐色土ブロックがある			埋土	褐色土と暗褐色土の2層に 区分			埋土	褐色土と暗褐色土による 自然堆積状					
底面	平坦			底面	平坦			底面	丸味を帯びる					
壁	外傾			壁	外傾			壁	外傾					
副穴	なし			副穴	なし			副穴	なし					
出土遺物	なし			出土遺物	なし			出土遺物	なし					
時期	縄文時代後期初頭以前			時期	縄文時代中期			時期	縄文時代					

遺構名		RD103土坑				遺構名		RD104土坑				遺構名		RD105土坑			
図版	遺構	97	遺物	260	図版	遺構	97	遺物	—	図版	遺構	98	遺物	260			
写真図版	遺構	89	遺物	186	写真図版	遺構	89	遺物	—	写真図版	遺構	90	遺物	186			
位置	南区LⅡ22グリット				位置	南区LⅡ22グリット				位置	南区MⅡ11グリット						
検出状況・重複関係	V層で検出 RD104に切られる				検出状況・重複関係	V層で検出 RD103を切る				検出状況・重複関係	V層で検出 RD84.99に切られる						
形状	平面形	不明			形状	平面形	不整形			形状	平面形	不明					
	断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	不明			規模	開口部径	147×(112)			規模	開口部径	不明					
	底部径	不明				底部径	216×(186)				底部径	? ×(128)					
	深さ	84				深さ	70				深さ	61					
埋土	PP144に切られるがほぼ単層に近い				埋土	黄褐色土がブロック状に埋土中位に入る				埋土	暗褐色土主体である						
底面	不明				底面	平坦				底面	平坦						
壁	内傾				壁	内傾				壁	内湾し外反						
副穴	不明				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1139・1140				出土遺物	なし				出土遺物	1141・1142						
時期	縄文時代中期前葉以前?				時期	縄文時代中期前葉?				時期	縄文時代前期末葉						

遺構名		RD106土坑				遺構名		RD107土坑				遺構名		RD108土坑			
図版	遺構	98	遺物	260	図版	遺構	98	遺物	—	図版	遺構	98	遺物	—			
写真図版	遺構	90	遺物	186	写真図版	遺構	90	遺物	—	写真図版	遺構	90	遺物	—			
位置	南区MⅡ02グリット				位置	南区MⅠ10グリット				位置	南区LⅡ22グリット						
検出状況・重複関係	RA25床で検出 RD100に切られる				検出状況・重複関係	IV層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出						
形状	平面形	円形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形					
	断面形	フラスコ状				断面形	ビーカー状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	96×(48)			規模	開口部径	98×84			規模	開口部径	68×(34)					
	底部径	236×212				底部径	76×74				底部径	112×(38)					
	深さ	112				深さ	48				深さ	164					
埋土	埋土は7層に区分全体に炭化物を含んでいる				埋土	2層に区分したが、或は土坑2基の重複の可能性もある				埋土	4層に区分したが上位は後世の攪乱で削平されている						
底面	平坦				底面	平坦				底面	やや丸味を帯びる						
壁	内湾して直立				壁	直立				壁	内湾し、直立						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1143～1146				出土遺物	なし				出土遺物	なし						
時期	縄文時代中期				時期	縄文時代				時期	縄文時代						

遺構名		RD109土坑				遺構名		RD110土坑				遺構名		RD111土坑			
図版	遺構	99	遺物	—	図版	遺構	98	遺物	—	図版	遺構	99	遺物	260			
写真図版	遺構	91	遺物	—	写真図版	遺構	91	遺物	—	写真図版	遺構	91	遺物	187			
位置	南区LII21グリット				位置	南区MI15グリット				位置	南区LII16グリット						
検出状況・重複関係	RA25床で検出				検出状況・重複関係	V層下位で検出				検出状況・重複関係	RA15床で検出						
形状	平面形	不整形				形状	平面形	不整形				形状	平面形	円形			
	断面形	浅い皿状					断面形	フラスコ状					断面形	フラスコ状			
規模	開口部径	266×128				規模	開口部径	106×81				規模	開口部径	137×135			
	底部径	244×98					底部径	193×155					底部径	217×196			
	深さ	18					深さ	78					深さ	93			
埋土	暗褐色土主体で一部焼土ブロックを含む				埋土	褐色土主体で5層に区分される				埋土	暗褐色土主体、自然堆積と思われる						
底面	平坦				底面	ほぼ平坦				底面	平坦						
壁	緩く外傾				壁	内湾し外反?				壁	内湾						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	なし				出土遺物	なし				出土遺物	1147・1148						
時期	縄文時代後期初頭以前				時期	縄文時代				時期	縄文時代中期後葉以前						

遺構名		RD112土坑				遺構名		RD113土坑				遺構名		RD114土坑			
図版	遺構	99	遺物	261	図版	遺構	99	遺物	—	図版	遺構	100	遺物	—			
写真図版	遺構	91	遺物	187	写真図版	遺構	92	遺物	—	写真図版	遺構	92	遺物	—			
位置	南区LII12グリット				位置	南区MII07グリット				位置	南区LII11グリット						
検出状況・重複関係	RA28床で検出 RA15、28に切られる				検出状況・重複関係	V層で検出 RD62、PP143に切られる				検出状況・重複関係	RA15床で検出 RD111、115を切る						
形状	平面形	不整形				形状	平面形	円形?				形状	平面形	不整形			
	断面形	フラスコ状					断面形	不明					断面形	浅い皿状?			
規模	開口部径	187×170				規模	開口部径	82×(74)				規模	開口部径	154×(130)			
	底部径	258×230					底部径	不明					底部径	140×(113)			
	深さ	133					深さ	40					深さ	14			
埋土	部分的に黄褐色土がブロック状に入っている				埋土	RD62に下位を切られ精査途中に崩落してしまった				埋土	炭化物を含む単層に近い						
底面	平坦				底面	不明				底面	平坦						
壁	内湾				壁	不明				壁	平坦						
副穴	なし				副穴	不明				副穴	不明						
出土遺物	1149~1151				出土遺物	なし				出土遺物	なし						
時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期前葉以前				時期	縄文時代中期後葉以前						

遺構名				RD115土坑				遺構名				RD116土坑				遺構名				RD117土坑			
図版		遺構	100	遺物	261		図版		遺構	100	遺物	—		図版		遺構	100	遺物	—				
写真図版		遺構	92	遺物	187		写真図版		遺構	92	遺物	—		写真図版		遺構	93	遺物	—				
位置		南区LⅡ12グリット						位置		北区HⅡ02グリット						位置		南区LⅡ16グリット					
検出状況・重複関係		RA15床で検出 RD114に切られる						検出状況・重複関係		V層で検出 RD31に切られる						検出状況・重複関係		RA09床で検出					
形状	平面形	不整形						形状	平面形	不整形						形状	平面形	不整形					
	断面形	皿状							断面形	皿状							断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	252×148						規模	開口部径	276×(112)						規模	開口部径	110×94					
	底部径	242×136							底部径	106×(100)							底部径	194×184					
	深さ	24							深さ	60							深さ	144					
埋土	黒褐色土を主体に一部黄褐色土も混合する						埋土	黒褐色土主体に一部黄褐色土が混在する						埋土	上位半分をRA09に切られているが上位1層は人為堆積								
底面	平坦						底面	不整形に湾曲						底面	ほぼ平坦								
壁	外傾						壁	だらだらと立ち上がる						壁	内湾し外反								
副穴	なし						副穴	なし						副穴	なし								
出土遺物	1152						出土遺物	なし						出土遺物	なし								
時期	縄文時代中期後葉以前						時期	縄文時代中期後葉以前						時期	縄文時代中期以前								

遺構名				RD118土坑				遺構名				RD119土坑				遺構名				RD120土坑			
図版		遺構	101	遺物	261 262		図版		遺構	101	遺物	369		図版		遺構	101	遺物	262 263				
写真図版		遺構	93	遺物	187		写真図版		遺構	—	遺物	237		写真図版		遺構	93	遺物	187				
位置		南区LⅡ12グリット						位置		南区MⅠ24グリット						位置		南区MⅡ21グリット					
検出状況・重複関係		RA15床で検出 RD115にも切られる						検出状況・重複関係		表土除去後検出 斜面の上位である						検出状況・重複関係		V層下位で検出 PP231に切られる					
形状	平面形	円形						形状	平面形	不整形						形状	平面形	円形					
	断面形	フラスコ状							断面形	不明							断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	154×134						規模	開口部径	124×(110)						規模	開口部径	100×92					
	底部径	210×202							底部径	不明							底部径	178×166					
	深さ	127							深さ	不明							深さ	171					
埋土	中位に黄褐色土が厚く堆積している						埋土	墓坑と気付かず人骨が出土する面まで掘り下げてしまった						埋土	当初柱穴と思われたため途中でしか記録していない								
底面	平坦						底面	平坦?						底面	平坦								
壁	内湾						壁	不明						壁	内湾								
副穴	なし						副穴	なし						副穴	なし								
出土遺物	1153~1158						出土遺物	2410						出土遺物	1159~1163								
時期	縄文時代中期中葉						時期	近世						時期	縄文時代中期前葉								

遺構名					RD121土坑					遺構名					RD122土坑					遺構名					RD123土坑				
図版		遺構	101	遺物	—	図版		遺構	102	遺物	263 264	図版		遺構	101	遺物	—												
写真図版		遺構	93	遺物	—	写真図版		遺構	94	遺物	187	写真図版		遺構	94	遺物	—												
位置		南区LⅡ17グリット					位置		南区KⅠ25グリット					位置		南区LⅡ16グリット													
検出状況・重複関係		RA09床で検出 RA09に切られる					検出状況・重複関係		RA34床で検出					検出状況・重複関係		RA09床で検出 RA09に切られる													
形状	平面形	楕円形					形状	平面形	円形					形状	平面形	楕円形													
	断面形	浅い皿状						形状	断面形	フラスコ状					形状	断面形	浅い皿状												
規模	開口部径	138×108					規模		開口部径	144×140						規模	開口部径	156×100											
	底部径	122×96						規模	底部径	224×194					規模		底部径	130×72											
	深さ	20							規模	深さ	162						規模	深さ	12										
埋土	浅いが、もともとはフラスコ状土坑の底が残った可能性もある					埋土	6層に区分される 自然堆積と思われる					埋土	単層である																
底面	ほぼ平坦					底面	中央部に向け緩やかに湾曲					底面	やや傾斜をもつ																
壁	一部直立、一部外反					壁	内湾し外反					壁	緩く外傾																
副穴	なし					副穴	なし					副穴	なし																
出土遺物	なし					出土遺物	1164～1168					出土遺物	なし																
時期	縄文時代中期以前					時期	縄文時代中期前葉					時期	縄文時代中期以前																

遺構名					RD124土坑					遺構名					RD125土坑					遺構名					RD126土坑				
図版		遺構	101	遺物	—	図版		遺構	102	遺物	264	図版		遺構	102	遺物	264												
写真図版		遺構	94	遺物	—	写真図版		遺構	94	遺物	188	写真図版		遺構	94	遺物	188												
位置		南区LⅡ16グリット					位置		南区LⅡ07グリット					位置		南区LⅡ18グリット													
検出状況・重複関係		RA09床で検出 RA09、RD123に切られる					検出状況・重複関係		V層で検出					検出状況・重複関係		V層で検出													
形状	平面形	楕円形					形状	平面形	円形					形状	平面形	円形													
	断面形	ビーカー状						形状	断面形	ビーカー状					形状	断面形	ビーカー状												
規模	開口部径	162×118					規模		開口部径	75×66						規模	開口部径	84×80											
	底部径	138×72						規模	底部径	60×52					規模		底部径	72×68											
	深さ	50							規模	深さ	38						規模	深さ	40										
埋土	RA09に上位を切られていると思われる					埋土	2層には多量の焼土、炭化物があり、土師器も混入					埋土	中位に土器片（接合可）を含む																
底面	傾斜があり丸味を帯びる					底面	平坦					底面	平坦																
壁	直立					壁	直立					壁	直立																
副穴	なし					副穴	なし					副穴	なし																
出土遺物	なし					出土遺物	1169					出土遺物	1170																
時期	縄文時代中期以前					時期	平安時代					時期	縄文時代後期初頭																

遺構名					RD127土坑				遺構名					RD128土坑				遺構名					RD129土坑			
図版		遺構	102	遺物	—	図版		遺構	102	遺物	264 265	図版		遺構	103	遺物	—									
写真図版		遺構	95	遺物	—	写真図版		遺構	95	遺物	188	写真図版		遺構	95	遺物	—									
位置		南区L I 05グリット				位置		南区N I 20グリット				位置		南区N I 20グリット												
検出状況・重複関係		RA32床で検出				検出状況・重複関係		VI層で検出 RD129と重複				検出状況・重複関係		VI層で検出 RD128と重複												
形状	平面形	楕円形				形状	平面形	楕円形				形状	平面形	楕円形												
	断面形	ピーカー状					形状	断面形	フラスコ状				形状	断面形	フラスコ状											
規模	開口部径	50×44				規模		開口部径	144×132					規模	開口部径	86×68										
	底部径	70×58					規模	底部径	190×175				規模		底部径	92×70										
	深さ	44						規模	深さ	104					規模	深さ	71									
埋土	暗～黒褐色土を主体とする				埋土	暗褐色土主体である 下に焼土ブロックがあり投げ込みか				埋土	黒褐色土を主体とする															
底面	鍋底状に湾曲				底面	やや中央部に向け湾曲				底面	中央部に向け湾曲															
壁	直立				壁	内湾				壁	緩く内湾															
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし															
出土遺物	なし				出土遺物	1171～1180				出土遺物	なし															
時期	縄文時代中期				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期前葉？															

遺構名					RD130土坑				遺構名					RD131土坑				遺構名					RD132土坑			
図版		遺構	103	遺物	266	図版		遺構	103	遺物	267	図版		遺構	103	遺物	—									
写真図版		遺構	95	遺物	188	写真図版		遺構	96	遺物	188	写真図版		遺構	96	遺物	—									
位置		南区N I 15グリット				位置		南区N I 15グリット				位置		南区N I 09グリット												
検出状況・重複関係		VI層で検出底部で RD202に切られる				検出状況・重複関係		V層で検出 RD155を切る				検出状況・重複関係		水田の耕作土除去後 VI層で検出												
形状	平面形	楕円形				形状	平面形	不整形				形状	平面形	不整形												
	断面形	フラスコ状					形状	断面形	ピーカー状				形状	断面形	フラスコ状											
規模	開口部径	122×107				規模		開口部径	172×151					規模	開口部径	154×142										
	底部径	198×170					規模	底部径	168×146				規模		底部径	153×146										
	深さ	102						規模	深さ	86					規模	深さ	51									
埋土	埋土上位に炭化物を含む層がある 暗褐色土主体				埋土	全体に炭化物を含み褐色土をブロック状に含む 人為堆積か				埋土	上位の大半を削平されている 黒～暗褐色土主体															
底面	平坦				底面	ほぼ平坦				底面	平坦															
壁	内湾				壁	直立				壁	内湾？															
副穴	ほぼ中央、径40cm深さ20cm				副穴	なし				副穴	ほぼ中央、径40cm深さ16cm															
出土遺物	1181～1187				出土遺物	1188～1195				出土遺物	なし															
時期	縄文時代前期末				時期	縄文時代後期初頭				時期	縄文時代															

遺構名		RD133土坑				遺構名		RD134土坑				遺構名		RD135土坑			
図版	遺構	104	遺物	267	図版	遺構	104	遺物	267 268	図版	遺構	104	遺物	268			
写真図版	遺構	96	遺物	188	写真図版	遺構	96	遺物	189	写真図版	遺構	97	遺物	189			
位置	南区NI14グリット				位置	南区NI14グリット				位置	南区NI19グリット						
検出状況・重複関係	V層で検出 RA52とRD223を切る				検出状況・重複関係	VI層で検出 RD207と重複				検出状況・重複関係	VI層で検出RA59とRD211他の土坑を切る						
形状	平面形	円形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	楕円形					
	断面形	ピーカー状				断面形	フラスコ状?				断面形	皿状					
規模	開口部径	132×126			規模	開口部径	107×96			規模	開口部径	116×102					
	底部径	120×120				底部径	95×92				底部径	92×78					
	深さ	91				深さ	118				深さ	28					
埋土	下位は自然堆積と思われる炭化物を含む層が下位にある				埋土	上位が一部削平されていると思われる				埋土	暗褐色土の単層である						
底面	不定に湾曲する				底面	平坦				底面	中央部に向け湾曲						
壁	直立				壁	緩く内湾				壁	緩く外傾する						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1196・1197				出土遺物	1198~1207				出土遺物	1208						
時期	縄文時代後期初頭				時期	縄文時代後期初頭				時期	縄文時代						

遺構名		RD136土坑				遺構名		RD137土坑				遺構名		RD138土坑			
図版	遺構	104	遺物	—	図版	遺構	104	遺物	268	図版	遺構	104	遺物	—			
写真図版	遺構	97	遺物	—	写真図版	遺構	97	遺物	189	写真図版	遺構	97	遺物	—			
位置	南区OI19グリット				位置	南区NI12グリット				位置	南区OI12グリット						
検出状況・重複関係	V層上位で検出				検出状況・重複関係	VI層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出						
形状	平面形	不整形			形状	平面形	楕円形			形状	平面形	円形					
	断面形	浅いピーカー状				断面形	ピーカー状				断面形	ピーカー状					
規模	開口部径	168×141			規模	開口部径	138×126			規模	開口部径	92×86					
	底部径	140×120				底部径	119×105				底部径	80×76					
	深さ	17				深さ	40				深さ	35					
埋土	黒褐色土主体				埋土	黒色土主体であるが褐色土をブロック状に含む				埋土	暗褐色土主体						
底面	西下がりに傾斜する				底面	やや湾曲				底面	平坦						
壁	やや外傾し立ち上がる				壁	外傾 一部直立気味				壁	直立						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	なし				出土遺物	1209~1215				出土遺物	縄文土器片少量						
時期	不明				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代						



遺構名				RD139土坑				遺構名				RD140土坑				遺構名				RD141土坑																		
図版		遺構	105	遺物	269		図版		遺構	105	遺物	269		図版		遺構	105	遺物	270																			
写真図版		遺構	98	遺物	189		写真図版		遺構	98	遺物	189		写真図版		遺構	98	遺物	189																			
位置		南区N I 09グリット						位置		南区N I 09グリット						位置		南区O I 09グリット																				
検出状況・重複関係		VI層で検出 RD148、195を切る						検出状況・重複関係		V層下位で検出 RD148を切る						検出状況・重複関係		V層上位で検出 RA36、37に切られる																				
形状	平面形	不整形						形状	平面形	不整形						形状	平面形	不整形																				
	断面形	フラスコ状							形状	断面形	ピーカー状						形状	断面形	ピーカー状																			
規模	開口部径	124×120						規模		開口部径	104×94							規模	開口部径	164×(154)																		
	底部径	177×156							規模	底部径	94×90						規模		底部径	(162)×126																		
	深さ	114								規模	深さ	34							規模	深さ	50																	
埋土	暗褐色土主体、全体に炭化物を含む												埋土	暗褐色土であり、炭化物をブロック状に含む												埋土	黒～暗褐色土主体に褐色土が混在する											
底面	不整												底面	ほぼ平坦												底面	平坦											
壁	内湾												壁	直立気味												壁	直立											
副穴	なし												副穴	なし												副穴	なし											
出土遺物	1216～1222												出土遺物	1223～1226												出土遺物	1227～1229											
時期	縄文時代中期前葉												時期	縄文時代中期後葉												時期	縄文時代中期											

遺構名				RD142土坑				遺構名				RD143土坑				遺構名				RD144土坑																		
図版		遺構	105	遺物	—		図版		遺構	105	遺物	270		図版		遺構	106	遺物	270																			
写真図版		遺構	98	遺物	—		写真図版		遺構	99	遺物	189		写真図版		遺構	99	遺物	189																			
位置		南区O I 05グリット						位置		南区O I 03グリット						位置		南区O I 02グリット																				
検出状況・重複関係		V層で検出						検出状況・重複関係		V層で検出 RA35に切られる						検出状況・重複関係		V層で検出 RA35に切られる																				
形状	平面形	楕円形						形状	平面形	不整形						形状	平面形	不整形																				
	断面形	不整形							形状	断面形	フラスコ状						形状	断面形	フラスコ状																			
規模	開口部径	87×56						規模		開口部径	158×139							規模	開口部径	107×86																		
	底部径	66×42							規模	底部径	166×164						規模		底部径	152×126																		
	深さ	20								規模	深さ	72							規模	深さ	162																	
埋土	黒褐色土主体												埋土	レンズ状に堆積している												埋土	暗褐色土主体											
底面	湾曲												底面	平坦												底面	中央部は平坦											
壁	一部外傾、一部直立												壁	内湾												壁	内湾し外友											
副穴	なし												副穴	なし												副穴	なし											
出土遺物	なし												出土遺物	1230～1233												出土遺物	1234											
時期	不明												時期	縄文時代中期前葉												時期	縄文時代中期前葉											

遺構名		RD145土坑				遺構名		RD146土坑				遺構名		RD147土坑			
図版	遺構	106	遺物	—	図版	遺構	106	遺物	—	図版	遺構	106	遺物	—			
写真図版	遺構	99	遺物	—	写真図版	遺構	99	遺物	—	写真図版	遺構	100	遺物	—			
位置	南区NI09グリット				位置	南区NI10グリット				位置	南区NI13グリット						
検出状況・重複関係	V層で検出 RD195を切る				検出状況・重複関係	VI層で検出 上部を削平				検出状況・重複関係	V層で検出 (RD206と同一)						
形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	円形					
	断面形	フラスコ状				断面形	逆台形状				断面形	浅い皿状					
規模	開口部径	96×86			規模	開口部径	154×148			規模	開口部径	100×94					
	底部径	102×77				底部径	136×134				底部径	92×84					
	深さ	24				深さ	45				深さ	10					
埋土	上部を削平されたと思われる暗褐色土の単層である				埋土	暗褐色土に褐色土を層状に含んでいる				埋土	暗褐色土の単層						
底面	平坦				底面	ほぼ平坦				底面	西に下がる傾斜						
壁	内湾				壁	外傾気味				壁	外傾						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	なし				出土遺物	縄文土器片少量				出土遺物	なし						
時期	縄文時代				時期	縄文時代				時期	不明						

遺構名		RD148土坑				遺構名		RD149土坑				遺構名		RD150土坑			
図版	遺構	106	遺物	—	図版	遺構	107	遺物	270 271	図版	遺構	107	遺物	271			
写真図版	遺構	100	遺物	—	写真図版	遺構	100	遺物	189 190	写真図版	遺構	100	遺物	190			
位置	南区NI20グリット				位置	南区NI25グリット				位置	南区OI05グリット						
検出状況・重複関係	VI層で検出 RD139、140に切られる				検出状況・重複関係	VI層で検出、RA56、 RD205を切る				検出状況・重複関係	V層で検出 RD154と重複						
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形					
	断面形	ビーカー状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状?					
規模	開口部径	181×(140)			規模	開口部径	118×116			規模	開口部径	不明×80					
	底部径	172×(156)				底部径	140×118				底部径	不明×(72)					
	深さ	48				深さ	134				深さ	78					
埋土	床、壁とも礫層を掘り込む暗褐色土主体である				埋土	暗褐色土主体に炭化物を含む				埋土	暗褐色土主体						
底面	ほぼ平坦				底面	平坦				底面	平坦						
壁	直立				壁	内湾				壁	一部内湾						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	なし				出土遺物	1235~1245				出土遺物	1246~1248						
時期	縄文時代中期前葉以前				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代後期初頭						

遺構名		RD151土坑			遺構名		RD152土坑			遺構名		RD153土坑		
図版	遺構	107	遺物	271	図版	遺構	108	遺物	272 273	図版	遺構	108	遺物	—
写真図版	遺構	101	遺物	190	写真図版	遺構	101	遺物	190	写真図版	遺構	101	遺物	—
位置	南区NI 24グリット				位置	南区NI 14グリット				位置	南区NI 19グリット			
検出状況・重複関係	VI層で検出				検出状況・重複関係	VI層で検出 底でRD204検出				検出状況・重複関係	V層で検出			
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	楕円形		
	断面形	不整				断面形	一部フラスコ状				断面形	フラスコ状		
規模	開口部径	95×80			規模	開口部径	182×161			規模	開口部径	76×70		
	底部径	84×74				底部径	164×142				底部径	122×98		
	深さ	47				深さ	108				深さ	48		
埋土	暗褐色土主体、10～25cmの自然礫、約20個集中				埋土	褐色土と暗褐色土の互層				埋土	褐色土主体で、全体に炭化物を含む			
底面	一部凹あり				底面	中央に向けやや湾曲				底面	自然礫4個を置く			
壁	直立				壁	一部外傾、一部内湾				壁	内湾			
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし			
出土遺物	1249・1250				出土遺物	1251～1264				出土遺物	なし			
時期	縄文時代				時期	縄文時代後期初頭				時期	縄文時代			

遺構名		RD154土坑			遺構名		RD155土坑			遺構名		RD156土坑		
図版	遺構	107	遺物	274	図版	遺構	108	遺物	—	図版	遺構	108	遺物	274
写真図版	遺構	100	遺物	190	写真図版	遺構	101	遺物	—	写真図版	遺構	102	遺物	190 191
位置	南区OI 05グリット				位置	南区NI 14グリット				位置	南区OI 07グリット			
検出状況・重複関係	V層で検出 RD150、224と重複				検出状況・重複関係	V層で検出 RD131に切られる				検出状況・重複関係	RA35精査時検出 RA35に切られる			
形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	円形		
	断面形	不明				断面形	一部内湾 一部外傾				断面形	フラスコ状		
規模	開口部径	不明			規模	開口部径	128×(80)			規模	開口部径	116×100		
	底部径	?×36				底部径	108×(84)				底部径	160×150		
	深さ	100				深さ	40				深さ	71		
埋土	暗褐色土主体				埋土	暗褐色土を主体とし全体に礫、炭化物を含む				埋土	人為堆積と思われる			
底面	平坦				底面	平坦				底面	ほぼ平坦			
壁	不明				壁	一部内湾 一部外傾				壁	内湾し一部外反			
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし			
出土遺物	1265～1267				出土遺物	なし				出土遺物	1268～1274			
時期	縄文時代中期				時期	縄文時代後期初頭以前				時期	縄文時代中期～後期初頭			

遺構名		RD157土坑				遺構名		RD158土坑(欠番)				遺構名		RD159土坑			
図版	遺構	108	遺物	—	図版	遺構	—	遺物	—	図版	遺構	109	遺物	—			
写真図版	遺構	102	遺物	—	写真図版	遺構	—	遺物	—	写真図版	遺構	102	遺物	—			
位置	南区NI20グリット				位置	区グリット				位置	北区GⅢ06グリット						
検出状況・重複関係	VI層で検出 RD265に切られる				検出状況・重複関係					検出状況・重複関係	VI層で検出						
形状	平面形	不整形				形状	平面形					形状	平面形	楕円形			
	断面形	逆台形状					断面形						断面形	フラスコ状			
規模	開口部径	(84)×74				規模	開口部径	×				規模	開口部径	150×134			
	底部径	73×(40)					底部径	×					底部径	226×200			
	深さ	55					深さ						深さ	114			
埋土	褐色土主体				埋土					埋土	暗褐色土と褐色土が互層をなしている						
底面	平坦				底面					底面	平坦						
壁	一部直立 一部外傾				壁					壁	内湾し直立						
副穴	なし				副穴					副穴	なし						
出土遺物	なし				出土遺物					出土遺物	なし						
時期	縄文時代				時期					時期	縄文時代中期?						

遺構名		RD160土坑				遺構名		RD161土坑				遺構名		RD162土坑			
図版	遺構	109	遺物	—	図版	遺構	109	遺物	—	図版	遺構	110	遺物	275			
写真図版	遺構	103	遺物	—	写真図版	遺構	103	遺物	—	写真図版	遺構	103	遺物	191			
位置	北区GⅡ08グリット				位置	北区GⅡ13グリット				位置	北区GⅢ11グリット						
検出状況・重複関係	VI層で検出				検出状況・重複関係	VI層で検出				検出状況・重複関係	VI層で検出						
形状	平面形	不整形				形状	平面形	円形				形状	平面形	円形			
	断面形	フラスコ状					断面形	フラスコ状					断面形	フラスコ状			
規模	開口部径	218×200				規模	開口部径	127×120				規模	開口部径	210×184			
	底部径	258×183					底部径	210×176					底部径	224×190			
	深さ	116					深さ	88					深さ	167			
埋土	黒、暗、黄褐色の他に明黄褐色の火山灰らしいものを含む				埋土	上位と下位に黒褐色土中位に褐色土				埋土	黒、暗褐色土がレンズ状に堆積						
底面	平坦 白色の粘土層				底面	平坦				底面	平坦						
壁	内湾				壁	内湾				壁	内湾し外反						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	なし				出土遺物	なし				出土遺物	1275						
時期	縄文時代中期?				時期	縄文時代中期?				時期	縄文時代中期中葉						

遺構名		RD163土坑				遺構名		RD164土坑				遺構名		RD165土坑			
図版	遺構	110	遺物	275	図版	遺構	110	遺物	—	図版	遺構	110	遺物	275			
写真図版	遺構	103	遺物	191	写真図版	遺構	104	遺物	—	写真図版	遺構	104	遺物	191			
位置	北区GⅢ11グリット				位置	北区GⅢ02グリット				位置	北区GⅢ02グリット						
検出状況・重複関係	Ⅵ層で検出				検出状況・重複関係	RA41床で検出 RA41を切る				検出状況・重複関係	RA41床で検出 RA41を切る						
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形					
	断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状				断面形	ピーカー状					
規模	開口部径	104×90			規模	開口部径	175×158			規模	開口部径	145×126					
	底部径	224×210				底部径	178×172				底部径	132×103					
	深さ	127				深さ	54				深さ	48					
埋土	黒、暗褐色土主体、褐色土層は崩落土であろうか				埋土	上部を削平されている模様 黒、暗褐色土主体				埋土	褐色土主体						
底面	平坦				底面	中央に向け湾曲				底面	平坦						
壁	内湾し直立				壁	内湾				壁	直立						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1276				出土遺物	なし				出土遺物	1277						
時期	縄文時代中期中葉				時期	縄文時代中期？				時期	縄文時代中期後葉						

遺構名		RD166土坑				遺構名		RD167土坑				遺構名		RD168土坑			
図版	遺構	111	遺物	275	図版	遺構	111	遺物	275	図版	遺構	111	遺物	—			
写真図版	遺構	104	遺物	191	写真図版	遺構	104	遺物	191	写真図版	遺構	105	遺物	—			
位置	北区GⅢ01グリット				位置	北区GⅢ02グリット				位置	北区GⅡ14グリット						
検出状況・重複関係	RA41床で検出 RA41を切る				検出状況・重複関係	Ⅴ層で検出 RD177を切る				検出状況・重複関係	RA38床で検出 RD182を切る						
形状	平面形	不整形			形状	平面形	円形			形状	平面形	楕円形					
	断面形	逆台形状？				断面形	一部フラスコ状				断面形	不整					
規模	開口部径	229×198			規模	開口部径	182×166			規模	開口部径	132×120					
	底部径	170×167				底部径	174×166				底部径	110×96					
	深さ	86				深さ	107				深さ	61					
埋土	両サイドに黒、暗褐色土中央部に褐色土となっている				埋土	汚れた様に見える 白色の浮石が全体的に入る				埋土	黒、暗褐色土主体						
底面	段をなす				底面	中央部に凸あり				底面	湾曲						
壁	外傾				壁	ほぼ直立、一部内湾				壁	一部直立、一部外傾						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1278				出土遺物	1279				出土遺物	なし						
時期	縄文時代中期後葉				時期	縄文時代中期？				時期	縄文時代中期後葉以前						

遺構名		RD169土坑				遺構名		RD170土坑				遺構名		RD171土坑			
図版	遺構	111	遺物	—	図版	遺構	112	遺物	—	図版	遺構	112	遺物	275			
写真図版	遺構	105	遺物	—	写真図版	遺構	105	遺物	—	写真図版	遺構	105	遺物	191			
位置	北区GⅡ14グリット				位置	北区GⅢ08グリット				位置	北区FⅢ18グリット						
検出状況・重複関係	RA38床で検出				検出状況・重複関係	V層で検出 RA39に切られる				検出状況・重複関係	RA46埋土で検出 RA46を切る						
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形					
	断面形	不整な皿状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	144×126			規模	開口部径	182×142			規模	開口部径	193×166					
	底部径	125×112				底部径	246×184				底部径	218×203					
	深さ	38				深さ	104				深さ	96					
埋土	黒、暗褐色土主体				埋土	レンズ状に堆積する				埋土	全体に浮石を混在している						
底面	平坦				底面	平坦 縁にハの字状溝				底面	平坦						
壁	外傾				壁	内湾				壁	内傾						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	なし				出土遺物	なし				出土遺物	1280・1281						
時期	縄文時代中期後葉以前				時期	縄文時代中期?				時期	縄文時代中期後葉						

遺構名		RD172土坑				遺構名		RD173土坑				遺構名		RD174土坑			
図版	遺構	112	遺物	—	図版	遺構	113	遺物	275	図版	遺構	113	遺物	275			
写真図版	遺構	106	遺物	—	写真図版	遺構	106	遺物	191	写真図版	遺構	106	遺物	191			
位置	北区FⅢ22グリット				位置	北区GⅢ07グリット				位置	北区FⅡ17グリット						
検出状況・重複関係	尾根上で表土除去後検出				検出状況・重複関係	VI層で検出 RD180、185を切る				検出状況・重複関係	V層で検出 RD191を切る						
形状	平面形	不整形			形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形					
	断面形	フラスコ状				断面形	ピーカー状				断面形	皿状					
規模	開口部径	210×179			規模	開口部径	158×138			規模	開口部径	192×164					
	底部径	218×188				底部径	154×117				底部径	170×142					
	深さ	213				深さ	75				深さ	35					
埋土	二次堆積と思われる火山灰が層状に多量に入る				埋土	埋土上位に、径30~40cmの自然礫を多く含む				埋土	黒、暗褐色土主体						
底面	平坦				底面	平坦				底面	緩く湾曲、自然礫が入る						
壁	内湾し外反				壁	直立				壁	外傾						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	なし				出土遺物	1282・1283				出土遺物	1284・1285						
時期	縄文時代中期?				時期	縄文時代中期後葉				時期	縄文時代中期?						

遺構名	RD175土坑(欠番)				遺構名	RD176土坑				遺構名	RD177土坑			
図版	遺構	—	遺物	—	図版	遺構	113	遺物	—	図版	遺構	113	遺物	—
写真図版	遺構	—	遺物	—	写真図版	遺構	106	遺物	—	写真図版	遺構	107	遺物	—
位置	区グリット				位置	北区GⅢ03グリット				位置	北区GⅢ02グリット			
検出状況・重複関係					検出状況・重複関係	Ⅵ層で検出				検出状況・重複関係	RD167床で検出			
形状	平面形				形状	平面形	不整形			形状	平面形	円形		
	断面形					断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状		
規模	開口部径	×			規模	開口部径	138×124			規模	開口部径	156×148		
	底部径	×				底部径	216×190				底部径	210×200		
	深さ					深さ	110				深さ	68		
埋土					埋土	黒、暗褐色土主体				埋土	褐色土を主体にレンズ状に堆積			
底面					底面	平坦				底面	ほぼ平坦			
壁					壁	内湾し直立				壁	内傾			
副穴					副穴	なし				副穴	なし			
出土遺物					出土遺物	なし				出土遺物	なし			
時期					時期	縄文時代中期?				時期	縄文時代中期?			

遺構名	RD178土坑				遺構名	RD179土坑				遺構名	RD180土坑			
図版	遺構	114	遺物	—	図版	遺構	113	遺物	275	図版	遺構	114	遺物	—
写真図版	遺構	107	遺物	—	写真図版	遺構	107	遺物	191	写真図版	遺構	107	遺物	—
位置	北区GⅢ07グリット				位置	北区FⅢ17グリット				位置	北区GⅢ07グリット			
検出状況・重複関係	Ⅵ層で検出 RD180に切られる				検出状況・重複関係	Ⅵ層で検出				検出状況・重複関係	Ⅵ層で検出RD173に 切られRD178を切る			
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	円形			形状	平面形	円形		
	断面形	フラスコ状				断面形	不整				断面形	一部フラスコ状		
規模	開口部径	198×(150)			規模	開口部径	152×132			規模	開口部径	224×212		
	底部径	234×(205)				底部径	130×116				底部径	220×214		
	深さ	92				深さ	44				深さ	68		
埋土	黒、暗褐色土主体				埋土	暗褐色土と褐色土が互層				埋土	レンズ状に堆積			
底面	平坦				底面	凹凸をもつ				底面	平坦			
壁	内湾				壁	一部直立気味 一部外傾				壁	一部内湾 一部外傾			
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし			
出土遺物	なし				出土遺物	1287~1289、砂沢式と思われる土器片が一点出土するも周囲の状況から時期特定の決め手にならない				出土遺物	なし			
時期	縄文時代中期後葉以前				時期	不明				時期	縄文時代中期後葉以前			

遺構名		RD181土坑			遺構名		RD182土坑			遺構名		RD183土坑		
図版	遺構	114	遺物	—	図版	遺構	114	遺物	—	図版	遺構	115	遺物	—
写真図版	遺構	108	遺物	—	写真図版	遺構	108	遺物	—	写真図版	遺構	108	遺物	—
位置	北区GⅢ01グリット				位置	北区GⅢ14グリット				位置	北区FⅢ18グリット			
検出状況・重複関係	RA41の床で検出				検出状況・重複関係	RA38の床で検出 RD168に切られる				検出状況・重複関係	RA40の床で検出 RA46を切る			
形状	平面形	不整形			形状	平面形	円形			形状	平面形	円形		
	断面形	一部フラスコ状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状		
規模	開口部径	76×70			規模	開口部径	164×156			規模	開口部径	148×144		
	底部径	100×70				底部径	238×210				底部径	174×158		
	深さ	88				深さ	131				深さ	48		
埋土	褐色土が主体、一部黄褐色土を含む				埋土	褐色土主体であり暗褐色土は見られない				埋土	上位をRA40に切られ、埋土下位のみ残っている			
底面	湾曲				底面	平坦				底面	平坦			
壁	一部直立 一部内湾				壁	内湾				壁	内湾			
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし			
出土遺物	なし				出土遺物	なし				出土遺物	なし			
時期	縄文時代中期後葉以前				時期	縄文時代中期後葉以前				時期	縄文時代後期初頭以前			

遺構名		RD184土坑			遺構名		RD185土坑			遺構名		RD186土坑		
図版	遺構	115	遺物	—	図版	遺構	115	遺物	—	図版	遺構	116	遺物	276
写真図版	遺構	108	遺物	—	写真図版	遺構	109	遺物	—	写真図版	遺構	109	遺物	191
位置	北区GⅡ14グリット				位置	北区GⅢ12グリット				位置	北区FⅢ18グリット			
検出状況・重複関係	RA38の床で検出 RD169に切られる				検出状況・重複関係	VI層で検出 RD180を切る				検出状況・重複関係	RA40の床で検出 RA46を切る			
形状	平面形	円形			形状	平面形	楕円形			形状	平面形	円形		
	断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状		
規模	開口部径	246×234			規模	開口部径	186×152			規模	開口部径	130×118		
	底部径	280×276				底部径	230×200				底部径	220×186		
	深さ	94				深さ	118				深さ	90		
埋土	褐色土主体				埋土	両サイドの褐色土は崩落土と思われる				埋土	暗褐色土を主体			
底面	平坦				底面	平坦				底面	一部に段をもつ			
壁	内傾				壁	内湾し直立				壁	内傾			
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし			
出土遺物	なし				出土遺物	なし				出土遺物	1290~1292			
時期	縄文時代中期後葉以前				時期	縄文時代中期後葉以前				時期	縄文時代後期初頭以前			



遺構名		RD187土坑			遺構名		RD188土坑			遺構名		RD189土坑		
図版	遺構	115	遺物	—	図版	遺構	116	遺物	369	図版	遺構	116	遺物	276
写真図版	遺構	109	遺物	—	写真図版	遺構	109	遺物	237	写真図版	遺構	110	遺物	191
位置	北区GⅡ05グリット				位置	南区KⅡ18グリット				位置	南区KⅡ14グリット			
検出状況・重複関係	RA45の床で検出 新旧は不明				検出状況・重複関係	Ⅵ層で検出				検出状況・重複関係	Ⅵ層で検出			
形状	平面形	円形			形状	平面形	円形			形状	平面形	円形		
	断面形	浅い皿状				断面形	浅い皿状				断面形	浅いピーカー状		
規模	開口部径	194×(180)			規模	開口部径	96×92			規模	開口部径	68×66		
	底部径	170×(160)				底部径	84×82				底部径	56×46		
	深さ	13				深さ	8				深さ	20		
埋土	褐色土の単層				埋土	黒褐色土の炭化物を多量に含む単層である				埋土	黒褐色土主体			
底面	平坦				底面	緩やかに湾曲				底面	多少凸凹がみられる			
壁	緩く外傾				壁	外傾				壁	直立気味			
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし			
出土遺物	なし				出土遺物	2417・2418				出土遺物	1293～1296			
時期	不明				時期	近世				時期	周囲の状況から近世と思われる			

遺構名		RD190土坑			遺構名		RD191土坑			遺構名		RD192土坑		
図版	遺構	116	遺物	—	図版	遺構	116	遺物	—	図版	遺構	116	遺物	—
写真図版	遺構	110	遺物	—	写真図版	遺構	110	遺物	—	写真図版	遺構	110	遺物	—
位置	北区GⅡ19グリット				位置	北区FⅢ18グリット				位置	北区FⅢ19グリット			
検出状況・重複関係	Ⅵ層で検出				検出状況・重複関係	RD174の床で検出 RA46の炉を切る				検出状況・重複関係	RD183の床で検出			
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	円形		
	断面形	逆台形状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状		
規模	開口部径	136×108			規模	開口部径	192×162			規模	開口部径	73×57		
	底部径	120×84				底部径	190×168				底部径	94×77		
	深さ	27				深さ	47				深さ	136		
埋土	黒褐色土主体				埋土	RD174に上部を切られており下位のみ存在する 自然堆積				埋土	褐色土で、しまりなく、白色のパミスを多く含む			
底面	平坦、北側に溝状				底面	平坦				底面	やや湾曲			
壁	外傾				壁	内湾				壁	内湾し外反			
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし			
出土遺物	なし				出土遺物	なし				出土遺物	なし			
時期	縄文時代				時期	縄文時代中期後葉				時期	縄文時代中期後葉以前			

遺構名		RD193土坑				遺構名		RD194土坑				遺構名		RD195土坑			
図版	遺構	117	遺物	276	図版	遺構	117	遺物	—	図版	遺構	117	遺物	—			
写真図版	遺構	111	遺物	191	写真図版	遺構	111	遺物	—	写真図版	遺構	111	遺物	—			
位置	南区KⅡ20グリット				位置	南区KⅡ25グリット				位置	南区NⅠ09グリット						
検出状況・重複関係	南区北端黒色土層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出 RA47に切られる				検出状況・重複関係	VI層で検出、RD139、145に切られる						
形状	平面形	円形				形状	平面形	円形				形状	平面形	円形？			
	断面形	浅いピーカー状					断面形	ピーカー状					断面形	不明(フラスコ?)			
規模	開口部径	160×146				規模	開口部径	106×104				規模	開口部径	不明×76			
	底部径	144×130					底部径	102×89					底部径	不明			
	深さ	15					深さ	59					深さ	32			
埋土	黒褐色土				埋土	暗褐色土主体				埋土	残存部が少しのため全体像がつかめない 褐色土が主						
底面	凸凹をもつ				底面	平坦				底面	不明						
壁	直立				壁	直立				壁	残存部は直立						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	不明						
出土遺物	1297~1301				出土遺物	なし				出土遺物	なし						
時期	縄文時代中期後葉				時期	縄文時代中期後葉以降				時期	縄文時代中期前葉以前						

遺構名		RD196土坑				遺構名		RD197土坑				遺構名		RD198土坑			
図版	遺構	117	遺物	276	図版	遺構	117	遺物	—	図版	遺構	117	遺物	277			
写真図版	遺構	111	遺物	191	写真図版	遺構	112	遺物	—	写真図版	遺構	112	遺物	191			
位置	南区NⅠ09グリット				位置	南区OⅠ23グリット				位置	南区NⅠ20グリット						
検出状況・重複関係	VI層で検出 RD200を切る				検出状況・重複関係	IV層で検出 RA53と重複？				検出状況・重複関係	V層で検出 RD199を切る						
形状	平面形	不整形				形状	平面形	楕円形				形状	平面形	楕円形			
	断面形	フラスコ状					断面形	皿状					断面形	皿状			
規模	開口部径	148×136				規模	開口部径	228×158				規模	開口部径	90×76			
	底部径	137×124					底部径	204×141					底部径	78×64			
	深さ	83					深さ	30					深さ	18			
埋土	暗褐色土主体であるが上位に焼土粒を含む層がある				埋土	黒褐色土主体、下位に黄褐色土ブロックを含む 炭化物含む				埋土	褐色土の単層 径20~30cmの自然礫多量						
底面	平坦				底面	平坦				底面	湾曲						
壁	内湾				壁	外傾				壁	緩く外傾						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1302~1305 1302はRD200の可能性もある				出土遺物	なし				出土遺物	1306・1307						
時期	縄文時代後期初頭？				時期	不明				時期	縄文時代						

遺構名				RD199土坑				遺構名				RD200土坑				遺構名				RD201土坑			
図版		遺構	117	遺物	277		図版		遺構	117	遺物	—		図版		遺構	118	遺物	—				
写真図版		遺構	112	遺物	191		写真図版		遺構	111	遺物	—		写真図版		遺構	112	遺物	—				
位置		南区NI 20グリット						位置		南区NI 15グリット						位置		南区OI 12グリット					
検出状況・重複関係		V層で検出 RD198に切られる						検出状況・重複関係		VI層で検出 RD196に切られる						検出状況・重複関係		V層下位で検出					
形状	平面形	楕円形						形状	平面形	不整形						形状	平面形	不整形					
	断面形	ビーカー状							断面形	フラスコ状							断面形	皿状					
規模	開口部径	80×62						規模	開口部径	110×(95)						規模	開口部径	162×90					
	底部径	70×48							底部径	136×(124)							底部径	140×74					
	深さ	32							深さ	80							深さ	14					
埋土		暗褐色土の単層炭化物を含む						埋土		半分以上RD196に切られているが 残存部から自然堆積と思われる						埋土		暗褐色土の単層					
底面		平坦						底面		やや平坦						底面		凸凹あり					
壁		直立						壁		内湾						壁		外傾					
副穴		なし						副穴		なし						副穴		なし					
出土遺物		1308						出土遺物		1302はRD196で取り上げたが本遺構に伴う可能性がある						出土遺物		なし					
時期		縄文時代						時期		縄文時代中期前葉						時期		不明					

遺構名				RD202土坑				遺構名				RD203土坑				遺構名				RD204土坑			
図版		遺構	118	遺物	277 278		図版		遺構	118	遺物	—		図版		遺構	118	遺物	279				
写真図版		遺構	112	遺物	191 192		写真図版		遺構	113	遺物	—		写真図版		遺構	113	遺物	192				
位置		南区NI 15グリット						位置		南区OI 16グリット						位置		南区NI 14グリット					
検出状況・重複関係		VI層で検出 底部で RD130を切る						検出状況・重複関係		RD141底で検出						検出状況・重複関係		VI層で検出RD131、 152、155に切られる					
形状	平面形	楕円形						形状	平面形	楕円形						形状	平面形	円形					
	断面形	フラスコ状							断面形	フラスコ状							断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	100×92						規模	開口部径	106×104						規模	開口部径	104×(80)					
	底部径	192×158							底部径	150×140							底部径	176×140					
	深さ	106							深さ	41							深さ	122					
埋土		黄褐色土もあり、近くの遺構の廃土が投げこまれていると思われる						埋土		上部は削平されているが 残存部はレンズ状に堆積						埋土		自然堆積と崩壊土からなる					
底面		平坦						底面		平坦						底面		平坦					
壁		内湾						壁		きつく内湾						壁		内湾					
副穴		なし						副穴		なし						副穴		なし					
出土遺物		1309～1320						出土遺物		なし						出土遺物		1321～1323					
時期		縄文時代中期中葉						時期		縄文時代中期以前						時期		縄文時代中期前葉					

遺構名				RD205土坑				遺構名				RD206土坑(欠番)				遺構名				RD207土坑			
図版	遺構	107	遺物	279	図版	遺構	—	遺物	—	図版	遺構	118	遺物	—									
写真図版	遺構	113	遺物	192	写真図版	遺構	—	遺物	—	写真図版	遺構	113	遺物	—									
位置	南区NI 25グリット				位置					位置	南区NI 15グリット												
検出状況・重複関係	VI層で検出、RA56を切り、RD149に切られる				検出状況・重複関係					検出状況・重複関係	VI層で検出、RD131、134、202に切られる												
形状	平面形	不整形			形状	平面形				形状	平面形	不整形											
	断面形	フラスコ状				断面形					断面形	ビーカー状?											
規模	開口部径	132×112			規模	開口部径				規模	開口部径	140×不明											
	底部径	200×198				底部径					底部径	(123)×(78)											
	深さ	107				深さ					深さ	64											
埋土	レンズ状に堆積				埋土					埋土	褐色土で炭化物を含む												
底面	中央部に凹あり				底面					底面	平坦												
壁	内湾				壁					壁	直立												
副穴	?				副穴					副穴	残存部にはなし												
出土遺物	1324~1328				出土遺物					出土遺物	なし												
時期	縄文時代中期前葉				時期					時期	縄文時代中期前葉以前												

遺構名				RD208土坑				遺構名				RD209土坑				遺構名				RD210土坑			
図版	遺構	119	遺物	—	図版	遺構	119	遺物	279	図版	遺構	119	遺物	280									
写真図版	遺構	114	遺物	—	写真図版	遺構	114	遺物	192	写真図版	遺構	114	遺物	192									
位置	南区NI 03グリット				位置	南区NI 14グリット				位置	南区NI 104グリット												
検出状況・重複関係	VI層で検出				検出状況・重複関係	VI層で検出 RD152切られる				検出状況・重複関係	V層下位で検出												
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	楕円形											
	断面形	皿状				断面形	皿状				断面形	フラスコ状											
規模	開口部径	194×186			規模	開口部径	148×(113)			規模	開口部径	163×136											
	底部径	173×164				底部径	118×(110)				底部径	208×178											
	深さ	29				深さ	20				深さ	80											
埋土	上部を削平されている				埋土	浅いが上部を削平されたものではないようである				埋土	暗褐色土と褐色土の互層となり全体に炭化物を含む												
底面	中央部にマウンド状				底面	平坦				底面	やや凹凸あり												
壁	外傾				壁	外傾				壁	内湾												
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし												
出土遺物	なし				出土遺物	1329、1330				出土遺物	1331~1335												
時期	縄文時代				時期	縄文時代後期初頭				時期	縄文時代中期前葉												

遺構名		RD211土坑				遺構名		RD212土坑				遺構名		RD213土坑			
図版	遺構	119	遺物	280	図版	遺構	119	遺物	281	図版	遺構	120	遺物	281			
写真図版	遺構	114	遺物	192	写真図版	遺構	115	遺物	193	写真図版	遺構	115	遺物	193			
位置	南区NI19グリット				位置	南区NI20グリット				位置	南区NI19グリット						
検出状況・重複関係	VI層で検出、RA135、219に切られる				検出状況・重複関係	VI層で検出、上位にRD198、199が重複				検出状況・重複関係	VI層で検出、RD211、219に切られ、217を切る						
形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形					
	断面形	フラスコ状				形状	断面形	フラスコ状			形状	断面形	ピーカー状				
規模	開口部径	128×128			規模		開口部径	130×113				規模	開口部径	125×(93)			
	底部径	136×124				規模	底部径	184×171			規模		底部径	(107)×(84)			
	深さ	100					規模	深さ	159				規模	深さ	35		
埋土	全体に炭化物を含む				埋土	暗褐色土と褐色土が互層的に堆積				埋土	自然堆積と思われる						
底面	平坦				底面	ほぼ平坦				底面	平坦						
壁	一部直立、一部内湾				壁	内湾し外反				壁	直立						
副穴	径35cm、深さ10cm				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1336~1340				出土遺物	1341~1349				出土遺物	1350						
時期	縄文時代後期初頭				時期	縄文時代後期初頭				時期	縄文時代中期						

遺構名		RD214土坑				遺構名		RD215土坑				遺構名		RD216土坑			
図版	遺構	120	遺物	281 282	図版	遺構	120	遺物	282	図版	遺構	120	遺物	282			
写真図版	遺構	115	遺物	193	写真図版	遺構	115	遺物	193	写真図版	遺構	116	遺物	193			
位置	南区NI13グリット				位置	南区NI13グリット				位置	南区NI13グリット						
検出状況・重複関係	VI層で検出、RD209、211、213、217と重複				検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出						
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	円形			形状	平面形	不整形					
	断面形	フラスコ状				形状	断面形	フラスコ状			形状	断面形	フラスコ状				
規模	開口部径	106×75			規模		開口部径	66×64				規模	開口部径	122×100			
	底部径	181×120				規模	底部径	166×160			規模		底部径	128×128			
	深さ	90					規模	深さ	149				規模	深さ	44		
埋土	重複が激しく、埋土の一部のみの記録である				埋土	下位が褐色土、上位が暗褐色土である				埋土	暗褐色土が大半を占め、焼土粒・炭化物を含む						
底面	傾斜する				底面	平坦				底面	平坦						
壁	一部内湾、一部外傾				壁	内湾し外反				壁	内湾						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	中央部、径40cm 深さ20cm						
出土遺物	1351~1357				出土遺物	1358~1365				出土遺物	1366						
時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代				時期	縄文時代						

遺構名				RD217土坑				遺構名				RD218土坑				遺構名				RD219土坑			
図版		遺構	120	遺物	—	図版		遺構	120	遺物	282	図版		遺構	121	遺物	283						
写真図版		遺構	116	遺物	—	写真図版		遺構	116	遺物	193	写真図版		遺構	116	遺物	193						
位置				南区NI19グリット				位置				南区NI24グリット				位置				南区NI13グリット			
検出状況・重複関係				VI層で検出、RD211、213に切られる				検出状況・重複関係				VI層で検出、底部をRD212に切られる				検出状況・重複関係				VI層で検出、RD135、213、217に切られる			
形状	平面形	不整形				形状	平面形	楕円形				形状	平面形	円形									
	断面形	逆台形状?					形状	断面形	フラスコ状				形状	断面形	フラスコ状								
規模	開口部径	(100)×(80)				規模		開口部径	84×78					規模	開口部径	90×78							
	底部径	(46)×(32)					規模	底部径	174×156				規模		底部径	157×(186)							
	深さ	43						規模	深さ	128					規模	深さ	110						
埋土	暗褐色、褐色、黄褐色土の混合であり、炭化物が全体に入る				埋土	暗褐色土主体、短期間に埋まった可能性がある				埋土	暗褐色土主体で、全体に炭化物を含む												
底面	南側に向け傾斜				底面	平坦				底面	平坦												
壁	一部直立、一部外傾				壁	内湾しやや外反				壁	内湾し直立												
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし												
出土遺物	なし				出土遺物	1367~1369				出土遺物	1370												
時期	縄文時代中期以前				時期	縄文時代後期初頭				時期	縄文時代中期以前												

遺構名				RD220土坑				遺構名				RD221土坑				遺構名				RD222土坑			
図版		遺構	121	遺物	—	図版		遺構	121	遺物	283	図版		遺構	121	遺物	283						
写真図版		遺構	117	遺物	—	写真図版		遺構	117	遺物	193	写真図版		遺構	117	遺物	193						
位置				南区NI13グリット				位置				南区NI14グリット				位置				南区NI14グリット			
検出状況・重複関係				RA55床面で検出				検出状況・重複関係				RA55床面で検出				検出状況・重複関係				RA55床面で検出 底部でRA223に切られる			
形状	平面形	楕円形				形状	平面形	不整形				形状	平面形	円形									
	断面形	フラスコ状					形状	断面形	フラスコ状				形状	断面形	フラスコ状								
規模	開口部径	142×115				規模		開口部径	151×110					規模	開口部径	84×76							
	底部径	151×128					規模	底部径	181×164				規模		底部径	116×56							
	深さ	120						規模	深さ	179					規模	深さ	52						
埋土	暗褐色土と褐色土が互層的に堆積				埋土	上位は暗黒褐色土、中～下位は褐色土、全体に炭化物はいる				埋土	褐色土主体で、炭化物が上位に入る												
底面	平坦				底面	平坦				底面	凹凸あり												
壁	内湾し外反				壁	内湾				壁	一部直立、一部内湾												
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし												
出土遺物	なし				出土遺物	1371~1376				出土遺物	1377												
時期	縄文時代中期前葉以前				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期前葉以前												

遺構名				RD223土坑				遺構名				RD224土坑				遺構名				RD225土坑(欠番)					
図版		遺構	121	遺物	282		図版		遺構	107	遺物	283		図版		遺構	—	遺物	—						
写真図版		遺構	117	遺物	193		写真図版		遺構	100	遺物	193		写真図版		遺構	—	遺物	—						
位置				南区NI14グリット				位置				南区NI25グリット				位置									
検出状況・重複関係				RD222を底部で切る				検出状況・重複関係				V層で検出、RA56、RD154と重複				検出状況・重複関係									
形状	平面形	不整形						形状	平面形	不整形						形状	平面形								
	断面形	フラスコ状							形状	断面形	逆台形状?						形状	断面形							
規模	開口部径	(124)×120						規模		開口部径	186×(90)							規模	開口部径						
	底部径	168×(124)							規模	底部径	118×(68)						規模		底部径						
	深さ	98								規模	深さ	120							規模	深さ					
埋土	上位に黄褐色土ブロックが混在する 投げ込みか?							埋土	暗褐色土主体							埋土									
底面	やや平坦							底面	平坦							底面									
壁	一部内傾							壁	外傾							壁									
副穴	なし							副穴	なし							副穴									
出土遺物	1378							出土遺物	1379・1380							出土遺物									
時期	縄文時代中期							時期	縄文時代中期中葉							時期									

遺構名				RD226土坑				遺構名				RD227土坑				遺構名				RD228土坑					
図版		遺構	122	遺物	284		図版		遺構	122	遺物	284		図版		遺構	122	遺物	—						
写真図版		遺構	118	遺物	194		写真図版		遺構	118	遺物	194		写真図版		遺構	118	遺物	—						
位置				南区OI09グリット				位置				南区OI09グリット				位置				南区OI18グリット					
検出状況・重複関係				V層で検出 RD227を切る				検出状況・重複関係				V層で検出 RD226に切られる				検出状況・重複関係				V層で検出 RD229を切る					
形状	平面形	不整形						形状	平面形	不整形						形状	平面形	楕円形							
	断面形	フラスコ状							形状	断面形	フラスコ状						形状	断面形	ピーカー状						
規模	開口部径	140×不明						規模		開口部径	100×92							規模	開口部径	208×158					
	底部径	150×116							規模	底部径	198×167						規模		底部径	194×152					
	深さ	94								規模	深さ	151							規模	深さ	87				
埋土	暗褐色土主体、RD227と共通部分もあると思われる							埋土	自然礫が上半に集中しており人為的なものと思われる							埋土	断面図に一部掘り足りない部分がある 黒褐色土主体								
底面	平坦							底面	平坦							底面	平坦								
壁	内湾し外反							壁	内湾							壁	直立								
副穴	なし							副穴	なし							副穴	なし								
出土遺物	1381							出土遺物	1382~1384							出土遺物	なし								
時期	縄文時代中期							時期	縄文時代中期							時期	縄文時代								

遺構名				RD229土坑				遺構名				RD230土坑				遺構名				RD231土坑			
図版	遺構	122	遺物	—	図版	遺構	122	遺物	284	図版	遺構	123	遺物	284									
写真図版	遺構	118	遺物	—	写真図版	遺構	119	遺物	194	写真図版	遺構	119	遺物	194									
位置	南区OI 18グリット			位置	南区OI 22グリット			位置	南区NI 14グリット														
検出状況・重複関係	V層で検出 RD228に切られる			検出状況・重複関係	RA53の床面で検出			検出状況・重複関係	RA55の床面で検出 RD220に切られる														
形状	平面形	不整形		形状	平面形	不整形		形状	平面形	円形													
	断面形	ビーカー状?			断面形	椀状を基調とする			断面形	フラスコ状													
規模	開口部径	70×(70)		規模	開口部径	278×183		規模	開口部径	90×83													
	底部径	44×(46)			底部径	240×86			底部径	200×154													
	深さ	44			深さ	66			深さ	121													
埋土	暗・黒褐色土主体			埋土	上位黒褐色土、下位褐色土である			埋土	褐色土、黄褐色土がブロック状に入り炭化物も混在する														
底面	不明			底面	湾曲			底面	平坦														
壁	曲線的に立ち上がる			壁	不整			壁	内湾														
副穴	不明			副穴	なし			副穴	なし														
出土遺物	なし			出土遺物	1385~1391			出土遺物	1392~1395														
時期	縄文時代			時期	平安時代?			時期	縄文時代中期前葉以前														

遺構名				RD232土坑				遺構名				RD233土坑				遺構名				RD234土坑			
図版	遺構	123	遺物	—	図版	遺構	123	遺物	284	図版	遺構	124	遺物	284 285									
写真図版	遺構	119	遺物	—	写真図版	遺構	119	遺物	194	写真図版	遺構	120	遺物	194									
位置	南区LII 09グリット			位置	南区LII 14グリット			位置	南区NI 17グリット														
検出状況・重複関係	VI層で検出、RD238、242を切る			検出状況・重複関係	V層で検出、RD238に切られる			検出状況・重複関係	V層で検出														
形状	平面形	楕円形		形状	平面形	不整形		形状	平面形	楕円形													
	断面形	フラスコ状の可能性			断面形	フラスコ状			断面形	逆台形状に近い													
規模	開口部径	238×218		規模	開口部径	×不明		規模	開口部径	117×92													
	底部径	222×184			底部径	246×228			底部径	104×84													
	深さ	68			深さ	184			深さ	46													
埋土	削平により底部しか残存せず			埋土	暗褐色土と褐色土が互層的に堆積する			埋土	種々の土がブロック状に入り人為堆積と思われる														
底面	中央部にかげ湾曲			底面	ほぼ平坦、固く締まる			底面	ほぼ平坦														
壁	残存部は直立			壁	内湾し外反			壁	外傾														
副穴	径12cm、深さ40cm			副穴	埋土12層の下部がわずかに凹			副穴	なし														
出土遺物	なし			出土遺物	1396			出土遺物	1397~1400														
時期	縄文時代中期後葉以降			時期	縄文時代中期前葉以前			時期	縄文時代中期?														



遺構名				RD235土坑				遺構名				RD236土坑				遺構名				RD237土坑			
図版	遺構	124	遺物	285	図版	遺構	124	遺物	285	図版	遺構	124	遺物	286									
写真図版	遺構	120	遺物	194	写真図版	遺構	120	遺物	194	写真図版	遺構	120	遺物	194									
位置	南区LII10グリット				位置	南区NI12グリット				位置	南区LII04グリット												
検出状況・重複関係	RA49床下で検出				検出状況・重複関係	V層下位で検出 西側は捨て場				検出状況・重複関係	RA03床下で検出												
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	楕円形			形状	平面形	楕円形											
	断面形	フラスコ状				断面形	残存部は皿状				断面形	フラスコ状											
規模	開口部径	146×110			規模	開口部径	113×104			規模	開口部径	90×72											
	底部径	236×207				底部径	130×116				底部径	192×161											
	深さ	122				深さ	36				深さ	174											
埋土	レンズ状に堆積する				埋土	暗褐色土主体にブロック状堆積				埋土	黒褐色土主体、水を含むとスポンジ状になる												
底面	平坦				底面	湾曲				底面	平坦												
壁	内湾し外反				壁	緩く湾曲し外反				壁	内湾												
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし												
出土遺物	1401・1402				出土遺物	1403～1406				出土遺物	1407～1419												
時期	縄文時代中期後葉以前				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期後葉以前												

遺構名				RD238土坑				遺構名				RD239土坑				遺構名				RD240土坑			
図版	遺構	124	遺物	287	図版	遺構	125	遺物	287 288	図版	遺構	125	遺物	288									
写真図版	遺構	121	遺物	195	写真図版	遺構	121	遺物	195	写真図版	遺構	121	遺物	195									
位置	南区LII09グリット				位置	南区NII18グリット				位置	南区NI24グリット												
検出状況・重複関係	RA49床面で検出 RD233を切る				検出状況・重複関係	V層で検出、RD251 と重複				検出状況・重複関係	V層で検出、RD218 に切られる												
形状	平面形	不整形			形状	平面形	楕円形			形状	平面形	楕円形											
	断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状											
規模	開口部径	112×75			規模	開口部径	114×90			規模	開口部径	78×62											
	底部径	190×154				底部径	不明				底部径	180×90											
	深さ	100				深さ	112				深さ	88											
埋土	暗褐色土と褐色土の互層				埋土	褐色土の上位に暗褐色土が載る				埋土	暗褐色土主体												
底面	平坦				底面	傾斜をもつが平坦				底面	平坦部と傾斜部あり												
壁	内湾し直立				壁	内湾気味				壁	東側は内湾がきつい												
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし												
出土遺物	1420～1422				出土遺物	1423～1433				出土遺物	1434・1435												
時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期前葉												

遺構名		RD241土坑				遺構名		RD242土坑				遺構名		RD243土坑			
図版	遺構	125	遺物	—	図版	遺構	125	遺物	—	図版	遺構	125	遺物	288			
写真図版	遺構	121	遺物	—	写真図版	遺構	122	遺物	—	写真図版	遺構	122	遺物	195			
位置	南区NI 24グリット				位置	南区L II 09グリット				位置	南区NI 23グリット						
検出状況・重複関係	V層で検出 RD263を切る				検出状況・重複関係	RA232底部で検出 RD238を切る				検出状況・重複関係	V層で検出、RD266 に切られる						
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	円形					
	断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	98×82			規模	開口部径	152×112			規模	開口部径	86×78					
	底部径	160×160				底部径	210×200				底部径	142×127					
	深さ	126				深さ	84				深さ	110					
埋土	上位は暗褐色土であるが、それ以外は褐色土を主体とする				埋土	横に平行な層状に堆積				埋土	暗褐色土が主体である						
底面	平坦であったと思われる				底面	平坦				底面	平坦						
壁	内湾				壁	きつく内湾しやや外傾				壁	内湾し直立						
副穴	不明				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	なし				出土遺物	なし				出土遺物	1436・1437						
時期	縄文時代				時期	縄文時代中期後葉以前				時期	縄文時代前期後葉以前						

遺構名		RD244土坑				遺構名		RD245土坑				遺構名		RD246土坑			
図版	遺構	125	遺物	—	図版	遺構	126	遺物	289	図版	遺構	126	遺物	289			
写真図版	遺構	122	遺物	—	写真図版	遺構	122	遺物	195	写真図版	遺構	123	遺物	195			
位置	南区K II 19グリット				位置	南区O I 17グリット				位置	南区K II 20グリット						
検出状況・重複関係	RA57床面で検出 RA57内施設か？				検出状況・重複関係	V層で検出、RD258 を切る				検出状況・重複関係	RA58床面で検出 RA58を切る						
形状	平面形	不整形			形状	平面形	円形			形状	平面形	円形					
	断面形	浅いビーカー状				断面形	不整形				断面形	ビーカー状					
規模	開口部径	118×94			規模	開口部径	74×70			規模	開口部径	104×100					
	底部径	不明				底部径	不明				底部径	98×90					
	深さ	32				深さ	88				深さ	28					
埋土	暗・黒褐色土				埋土	暗褐色土に褐色土をブロック状 に含む				埋土	単層、上位はRA58埋土として 削平か？						
底面	平坦で2基柱穴をもつ				底面	不明				底面	やや平坦						
壁	直立				壁	直立				壁	直立						
副穴	2基				副穴	不明				副穴	なし						
出土遺物	なし				出土遺物	1438・1439				出土遺物	1440・1441						
時期	縄文時代中期後葉				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代後期初頭						

遺構名		RD247土坑				遺構名		RD248土坑				遺構名		RD249土坑			
図版	遺構	126	遺物	289	図版	遺構	126	遺物	289	図版	遺構	126	遺物	289			
写真図版	遺構	123	遺物	195	写真図版	遺構	123	遺物	195	写真図版	遺構	123	遺物	195			
位置	南区LⅡ15グリット				位置	南区OⅠ09グリット				位置	南区NⅠ18グリット						
検出状況・重複関係	RA02の底部で検出 RA02に切られる				検出状況・重複関係	RD226の床面で検出				検出状況・重複関係	V層で検出、RD273を切る						
形状	平面形	不整形				形状	平面形	不整形				形状	平面形	楕円形			
	断面形	フラスコ状?					断面形	フラスコ状					断面形	フラスコ状			
規模	開口部径	128×120				規模	開口部径	74×62				規模	開口部径	92×84			
	底部径	130×124					底部径	150×114					底部径	114×124			
	深さ	30					深さ	94					深さ	150			
埋土	上位は削平され、下位しか残存せず				埋土	断面実測できず不明				埋土	暗褐色土主体、炭化物上～下位に入る						
底面	平坦				底面	平坦				底面	平坦						
壁	内湾				壁	内湾				壁	内湾し直立						
副穴	径40cm、深さ20cm				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1442～1446				出土遺物	1447				出土遺物	1448～1450						
時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期				時期	縄文時代中期前葉						

遺構名		RD250土坑				遺構名		RD251土坑				遺構名		RD252土坑			
図版	遺構	126	遺物	290	図版	遺構	127	遺物	290	図版	遺構	127	遺物	290			
写真図版	遺構	124	遺物	195	写真図版	遺構	124	遺物	196	写真図版	遺構	124	遺物	196			
位置	南区NⅠ19グリット				位置	南区NⅠ19グリット				位置	南区LⅡ09グリット						
検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出、RD239と重複				検出状況・重複関係	RA49の床下で検出						
形状	平面形	隅丸方形基調				形状	平面形	不整形				形状	平面形	円形			
	断面形	フラスコ状					断面形	フラスコ状					断面形	フラスコ状			
規模	開口部径	174×112				規模	開口部径	94×76				規模	開口部径	83×80			
	底部径	184×123					底部径	110×74					底部径	206×190			
	深さ	134					深さ	126					深さ	126			
埋土	下位に黒褐色土が堆積、他は暗褐色土主体				埋土	褐色土と暗褐色土が交互に入る				埋土	下位になるにしたがい黒色土に近くなっていく						
底面	ほぼ平坦				底面	平坦				底面	平坦						
壁	内湾し直立				壁	内湾し直立				壁	内湾し直立						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1451～1456				出土遺物	1457～1459				出土遺物	1460～1463						
時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期前葉						

遺構名		RD253土坑				遺構名		RD254土坑				遺構名		RD255土坑			
図版	遺構	127	遺物	291	図版	遺構	127	遺物	291	図版	遺構	127	遺物	—			
写真図版	遺構	124	遺物	196	写真図版	遺構	125	遺物	196	写真図版	遺構	125	遺物	—			
位置	南区NI23グリット				位置	南区KII19グリット				位置	南区OI10グリット						
検出状況・重複関係	V層で検出、RD259が下位に存在				検出状況・重複関係	VI層上位で検出、掘り込みはもう一面上か？				検出状況・重複関係	V層で検出、RD248に切られる						
形状	平面形	不整形				形状	平面形	不整形				形状	平面形	不整形			
	断面形	椀状					断面形	ピーカー状(?)					断面形	ピーカー状			
規模	開口部径	164×160				規模	開口部径	162×107				規模	開口部径	138×131			
	底部径	150×133					底部径	148×89					底部径	120×104			
	深さ	73					深さ	20					深さ	34			
埋土	暗褐色土主体、焼土炭化物が全体に混入、人為堆積か				埋土	黒、黒褐色土、二基の土抗であつた可能性あり				埋土	上位を削平か。埋土は薄くブロック状混在あり						
底面	傾斜する				底面	ほぼ平坦				底面	平坦						
壁	ゆるく外傾				壁	直立				壁	直立						
副穴					副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1464~1469				出土遺物	1470				出土遺物	なし						
時期	縄文時代後期初頭				時期	不明				時期	縄文時代中期						

遺構名		RD256土坑				遺構名		RD257土坑				遺構名		RD258土坑			
図版	遺構	128	遺物	—	図版	遺構	127	遺物	291	図版	遺構	128	遺物	291			
写真図版	遺構	125	遺物	—	写真図版	遺構	125	遺物	196	写真図版	遺構	126	遺物	196			
位置	南区OI05グリット				位置	南区OI16グリット				位置	南区OI17グリット						
検出状況・重複関係	V層下位~VI層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出、RD257と隣接、245に切られる						
形状	平面形	楕円形				形状	平面形	不整形				形状	平面形	円形			
	断面形	フラスコ状					断面形	不整な椀状					断面形	フラスコ状			
規模	開口部径	105×84				規模	開口部径	104×(66)				規模	開口部径	108×104			
	底部径	195×175					底部径	70×(40)					底部径	180×169			
	深さ	110					深さ	32					深さ	134			
埋土	褐色土を主体とする				埋土	暗褐色土と黄褐色土が混在する				埋土	褐色土主体、最下層はしまりなし、水分を多く含んでいる						
底面	平坦				底面	湾曲				底面	平坦						
壁	内湾し外反				壁	外傾				壁	内湾し直立						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	なし				出土遺物	1471~1474				出土遺物	1475~1484						
時期	縄文時代中期以前？				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期前葉						

遺構名		RD259土坑				遺構名		RD260土坑				遺構名		RD261土坑			
図版	遺構	128	遺物	292	図版	遺構	128	遺物	292	図版	遺構	129	遺物	292			
写真図版	遺構	126	遺物	196	写真図版	遺構	126	遺物	196	写真図版	遺構	126	遺物	196			
位置	南区NI18グリット				位置	南区OI03グリット				位置	南区OI10グリット						
検出状況・重複関係	RD253の床で検出、下位で272にきられる				検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出、上位にRD142、252がある						
形状	平面形	円形			形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形					
	断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	144×150			規模	開口部径	106×68			規模	開口部径	106×90					
	底部径	230×204				底部径	196×170				底部径	140×134					
	深さ	126				深さ	96				深さ	143					
埋土	暗褐色土主体、一部焼土の投げ込みあり 下位に礫多い				埋土	暗褐色土主体で、炭化物を上～下位まで含む				埋土	下位に投げ込み焼土多量、短期間に埋められたものか？						
底面	凹凸をもち不整				底面	ほぼ平坦				底面	平坦						
壁	内湾				壁	きつく内湾し直立				壁	内湾し外反						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1485～1488				出土遺物	1489・1490				出土遺物	1491～1493						
時期	縄文時代中期前葉以前				時期	縄文時代				時期	縄文時代中期						

遺構名		RD262土坑				遺構名		RD263土坑				遺構名		RD264土坑			
図版	遺構	129	遺物	293	図版	遺構	129	遺物	—	図版	遺構	129	遺物	293			
写真図版	遺構	127	遺物	197	写真図版	遺構	127	遺物	—	写真図版	遺構	127	遺物	197			
位置	南区NI22グリット				位置	南区NI24グリット				位置	南区NI20グリット						
検出状況・重複関係	V層で検出、RD253に切られる				検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出、RD265を切る。						
形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形					
	断面形	不整				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	176×118			規模	開口部径	194×172			規模	開口部径	86×不明					
	底部径	94×70				底部径	214×152				底部径	156×不明					
	深さ	66				深さ	90				深さ	97					
埋土	暗褐色土と褐色土が入り混じる				埋土	自然礫がまとまって入り込んでいゝる 短期間に埋められたものか？				埋土	下位ほど礫が多く拳大のものもある						
底面	不整				底面	平坦				底面	平坦？						
壁	外傾				壁	内湾し外傾				壁	内湾し直立						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	1494・1495				出土遺物	なし				出土遺物	1496～1500						
時期	縄文時代後期初頭				時期	縄文時代				時期	縄文時代						

遺構名		RD265土坑				遺構名		RD266土坑				遺構名		RD267土坑(欠番)			
図版	遺構	129	遺物	—	図版	遺構	130	遺物	293 294	図版	遺構	—	遺物	—			
写真図版	遺構	127	遺物	—	写真図版	遺構	127	遺物	197	写真図版	遺構	—	遺物	—			
位置	南区NI 20グリット				位置	南区NI 23グリット				位置	区グリット						
検出状況・重複関係	V層で検出 RD264に切られる				検出状況・重複関係	V層で検出 RD243を切る				検出状況・重複関係							
形状	平面形	不整形			形状	平面形	楕円形			形状	平面形						
	断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状				断面形						
規模	開口部径	101×?			規模	開口部径	167×130			規模	開口部径	×					
	底部径	180×?				底部径	200×177				底部径	×					
	深さ	99				深さ	134				深さ						
埋土	下位ほど礫が多く底は砂質となる				埋土	もう1基の土坑の存在が考えられる				埋土							
底面	平坦?				底面	中央部が盛り上がる?				底面							
壁	内湾し直立				壁	内湾し直立				壁							
副穴	なし				副穴	なし				副穴							
出土遺物	なし				出土遺物	1501~1508				出土遺物							
時期	縄文時代				時期	縄文時代前期後葉				時期							

遺構名		RD268土坑				遺構名		RD269土坑				遺構名		RD270土坑			
図版	遺構	130	遺物	—	図版	遺構	130	遺物	—	図版	遺構	130	遺物	294			
写真図版	遺構	128	遺物	—	写真図版	遺構	128	遺物	—	写真図版	遺構	128	遺物	197			
位置	南区OI 10グリット				位置	南区PI 03グリット				位置	南区OI 05グリット						
検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出						
形状	平面形	円形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形					
	断面形	逆台形状				断面形	皿状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	80×80			規模	開口部径	143×142			規模	開口部径	110×86					
	底部径	64×56				底部径	132×113				底部径	185×144					
	深さ	40				深さ	14				深さ	100					
埋土	黒・暗褐色土主体				埋土	黒・暗褐色土主体、上位を削平されたフラスコ状土坑の可能性あり				埋土	褐色土主体で焼土多く含む底は礫多く、巨礫もある						
底面	湾曲気味				底面	平坦				底面	不整						
壁	外傾				壁	外傾				壁	内湾し外反						
副穴	底部柱穴(2基)は別ものである				副穴	2基				副穴	なし						
出土遺物	なし				出土遺物	なし				出土遺物	1509~1512						
時期	不明				時期	縄文時代				時期	縄文時代後期初頭						

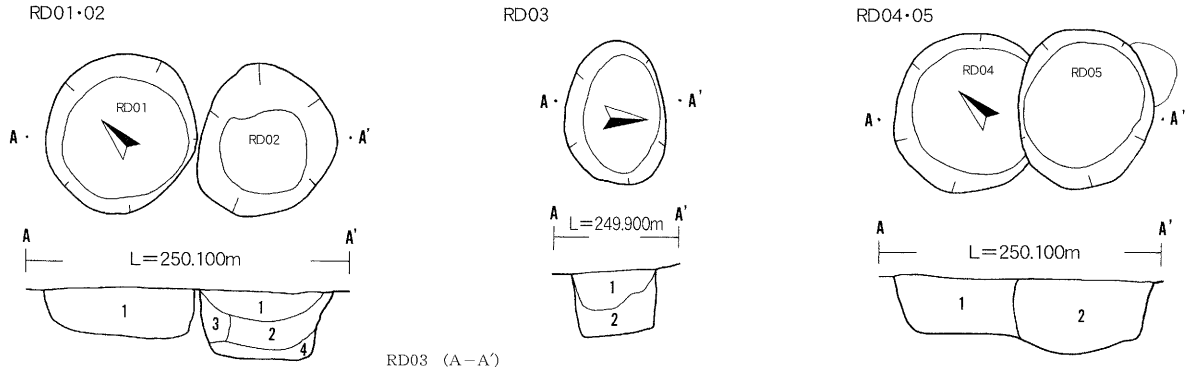
遺構名				RD271土坑				遺構名				RD272土坑				遺構名				RD273土坑			
図版	遺構	130	遺物	294	図版	遺構	131	遺物	295	図版	遺構	131	遺物	295	296								
写真図版	遺構	128	遺物	197	写真図版	遺構	129	遺物	197	写真図版	遺構	129	遺物	197	198								
位置	南区NI13グリット				位置	南区NI18グリット				位置	南区NI18グリット												
検出状況・重複関係	V層で検出 RA59を切る				検出状況・重複関係	V層で検出				検出状況・重複関係	V層で検出 RD249に切られる												
形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	不整形											
	断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状											
規模	開口部径	74×66			規模	開口部径	234×150			規模	開口部径	不明											
	底部径	138×136				底部径	?×(196)				底部径	190×(72)											
	深さ	116				深さ	136				深さ	134											
埋土	人為的ミスにより断面を実測しないまま完掘してしまった				埋土	暗褐色土主体で炭化物が上～下位まで混在				埋土	暗褐色土主体												
底面	平坦				底面	礫層となる				底面	礫層となる												
壁	内湾				壁	内湾				壁	内湾し外反												
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし												
出土遺物	1513～1518				出土遺物	1519～1525				出土遺物	1526～1542												
時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期前葉												

遺構名				RD274土坑				遺構名				RD275土坑				遺構名				RD276土坑			
図版	遺構	131	遺物	—	図版	遺構	131	遺物	—	図版	遺構	131	遺物	297									
写真図版	遺構	129	遺物	—	写真図版	遺構	129	遺物	—	写真図版	遺構	130	遺物	198									
位置	南区OI17グリット				位置	南区OI18グリット				位置	南区OI14グリット												
検出状況・重複関係	V層下位で検出				検出状況・重複関係	RA51北側炉を切る形で検出				検出状況・重複関係	RA51の床面で検出												
形状	平面形	不整形			形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形											
	断面形	ピーカー状				断面形	逆台形状				断面形	フラスコ状											
規模	開口部径	76×64			規模	開口部径	76×62			規模	開口部径	116×108											
	底部径	68×58				底部径	56×44				底部径	134×118											
	深さ	66				深さ	48				深さ	36											
埋土	炭化物と焼土ブロックが入っている				埋土	暗褐色土主体				埋土	フラスコ状土坑の底部の可能性 がある 単層に近い												
底面	平坦				底面	平坦				底面	平坦												
壁	直立				壁	一部直立、一部外傾				壁	内湾												
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし												
出土遺物	なし				出土遺物	なし				出土遺物	1543～1547 扁平な礫を底部に集める												
時期	縄文時代				時期	不明				時期	縄文時代中期												

遺構名		RD277土坑				遺構名		RD278土坑				遺構名		RD279土坑			
図版	遺構	132	遺物	—	図版	遺構	132	遺物	297	図版	遺構	132	遺物	—			
写真図版	遺構	130	遺物	—	写真図版	遺構	130	遺物	198	写真図版	遺構	130	遺物	—			
位置	南区PI04グリット				位置	南区OI18グリット				位置	南区OI18グリット						
検出状況・重複関係	RA51の床面で検出				検出状況・重複関係	RA51の床面で検出				検出状況・重複関係	RA51の床面で検出						
形状	平面形	不整形			形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形					
	断面形	浅い皿状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	160×122			規模	開口部径	130×100			規模	開口部径	96×80					
	底部径	152×102				底部径	194×147				底部径	144×114					
	深さ	29				深さ	102				深さ	82					
埋土	周囲の土坑の埋土と違い黒褐色土主体である				埋土	暗褐色土主体、上位に細礫を含む				埋土	中位まで炭化物が多く、下位には焼土粒も含む						
底面	平坦				底面	平坦、砂質である				底面	粘土質で固い						
壁	外傾				壁	内湾				壁	内湾						
副穴	なし				副穴	なし				副穴	なし						
出土遺物	なし				出土遺物	1548～1556				出土遺物	なし						
時期	不明				時期	縄文時代中期前葉				時期	縄文時代中期前葉？						

遺構名		RD280土坑				遺構名		RD281土坑				遺構名		RD282土坑			
図版	遺構	132	遺物	298	図版	遺構	132	遺物	298	図版	遺構	—	遺物	298			
写真図版	遺構	131	遺物	198	写真図版	遺構	131	遺物	198	写真図版	遺構	—	遺物	198			
位置	南区OI09グリット				位置	南区OI08グリット				位置	南区OI グリット						
検出状況・重複関係	V層下位で検出				検出状況・重複関係	RA64の床面で検出				検出状況・重複関係	V層下位で検出						
形状	平面形	楕円形			形状	平面形	不整形			形状	平面形	円形					
	断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状				断面形	フラスコ状					
規模	開口部径	108×92			規模	開口部径	86×64			規模	開口部径	調査終了後に検出したため記録を残せず遺物のみの取り上げとなった					
	底部径	232×224				底部径	128×110				底部径						
	深さ	168				深さ	116				深さ						
埋土	断面実例なし				埋土	中位に黄褐色土をブロック状に含む				埋土	下層から炭化物骨片が出土している						
底面	柔らかいが粘土質				底面	平坦、礫が多い				底面							
壁	内湾し外傾				壁	内湾し直立				壁							
副穴	なし				副穴	なし				副穴							
出土遺物	1557・1558				出土遺物	1559・1560				出土遺物	1561～1565						
時期	縄文時代				時期	縄文時代中期前葉以前				時期	縄文時代						

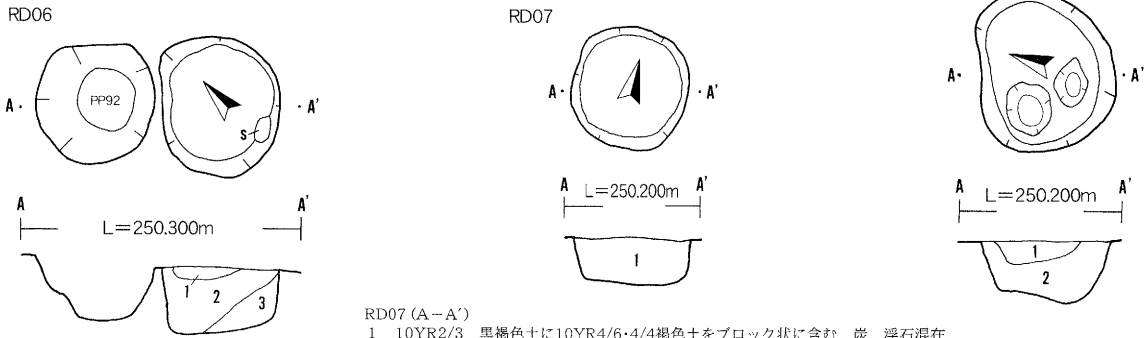




RD03 (A-A')  
 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 10YR4/4褐色土混じる  
 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりあり(掘りすぎか?)

RD01-02(A-A')  
 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 10YR4/4褐色土 炭化物混じる  
 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 10YR2/3黒褐色土 焼土 粒極微量混じる  
 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 焼土粒微量 10YR2/2黒褐色土混じる  
 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 掘りすぎか?

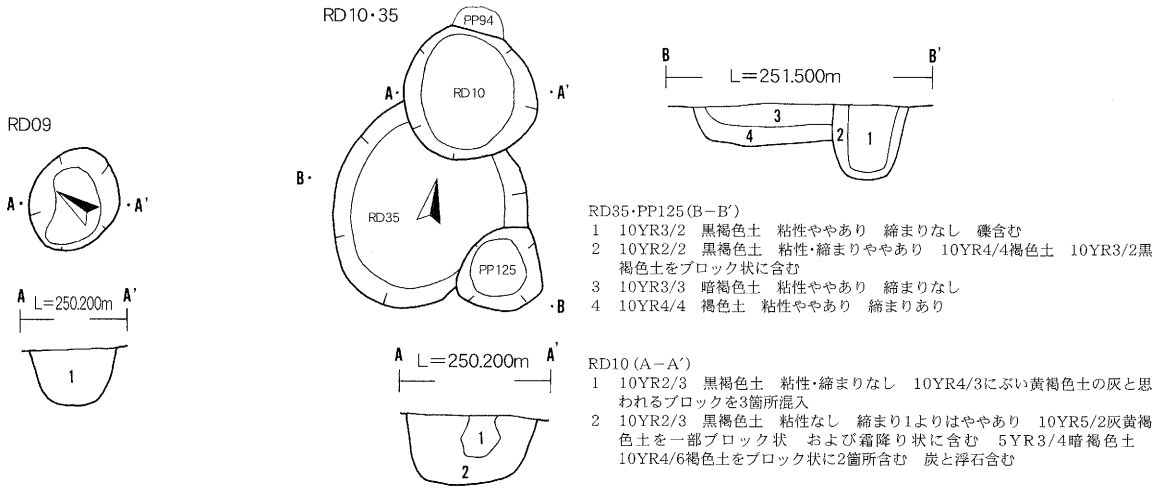
RD04-05(A-A')  
 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 10YR4/4褐色土 炭化物混じる  
 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 10YR4/4褐色土 ブロック状 焼土粒極微量 10YR2/2黒褐色土混じる



RD07 (A-A')  
 1 10YR2/3 黒褐色土に10YR4/6・4/4褐色土をブロック状に含む 炭 浮石混在

RD06 (A-A')  
 1 10YR2/3 黒褐色土に10YR4/4褐色土がブロックで70%入る  
 2 10YR2/3 黒褐色土に10YR3/4暗褐色土が混じる  
 3 10YR3/4 暗褐色土に10YR4/4褐色土が混在

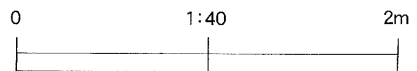
RD08 (A-A')  
 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石若干あり  
 2 10YR2/3 黒褐色土 10YR4/4褐色土が混入



RD35-PP125(B-B')  
 1 10YR3/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 礫含む  
 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR4/4褐色土 10YR3/2黒褐色土をブロック状に含む  
 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし  
 4 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり

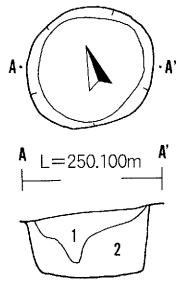
RD10 (A-A')  
 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 10YR4/3にぶい黄褐色土の灰と思われるブロックを3箇所混入  
 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まり1よりはややあり 10YR5/2灰黄褐色土を一部ブロック状 および霜降り状に含む 5YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土をブロック状に2箇所含む 炭と浮石含む

RD09 (A-A')  
 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 10YR4/4褐色土含む



第79図 RD01~10・35土坑

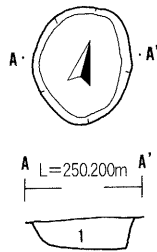
RD11



RD11 (A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 浮石含む
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし 浮石含む

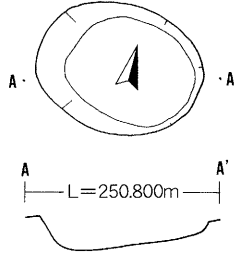
RD12



RD12 (A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり 10YR5/2灰黄褐色土を10% 浮石 炭含む

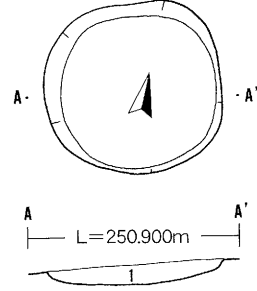
RD13



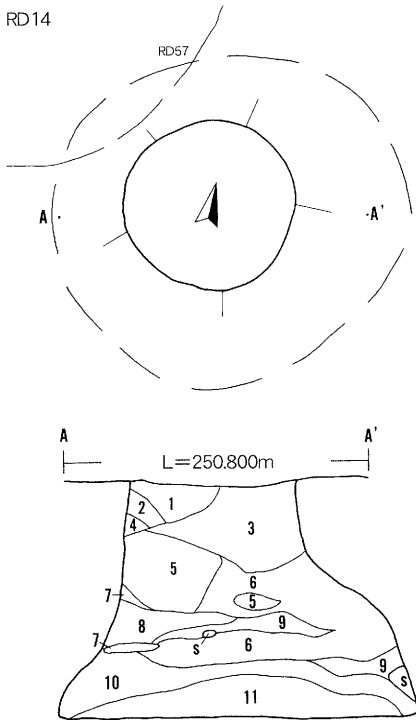
RD13 (A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR4/3にぶい黄褐色土が40% 混在 浮石 炭化物微量

RD15



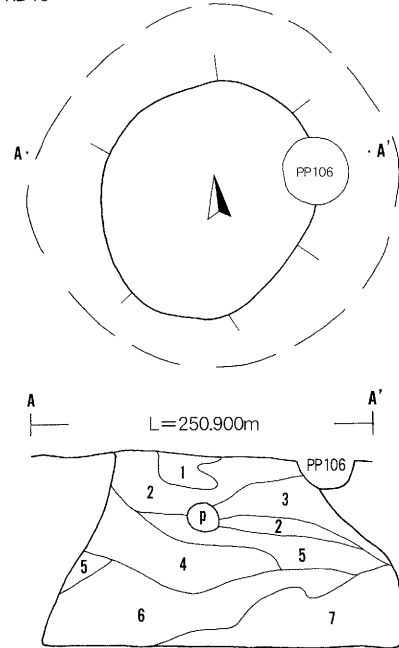
RD14



RD14 (A-A')

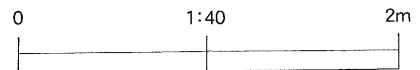
- 1 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR4/3にぶい黄褐色土が40% 混在 浮石 炭化物微量
- 2 1に同じだが10YR4/3が60%
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりなし 浮石 炭化物
- 4 10YR4/4 褐色土の上位に10YR4/6褐色土をブロック状に含む 浮石 炭化物微量
- 5 3に同じだが極端に縮まりがない
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし
- 8 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石少量 7よりやや明るい
- 9 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物
- 10 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石
- 11 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まり下位程あり 浮石

RD16



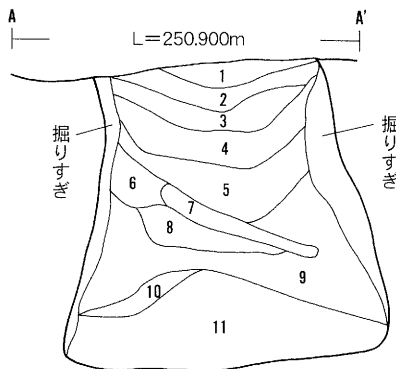
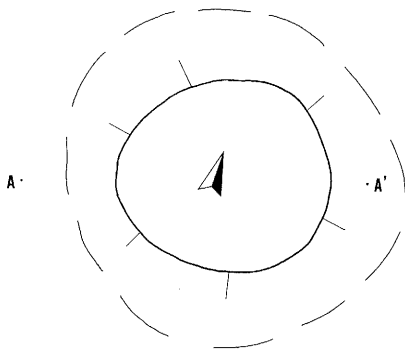
RD16 (A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 礫 浮石 炭化物微量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物
- 3 10YR5/6 黄褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりなし 浮石 炭化材微量 10YR5/6黄褐色土をブロック状に含む
- 5 10YR5/6 黄褐色土を主に10YR4/4をブロック状に含む
- 6 4と同じだが浮石が下にいく程多くなる
- 7 10YR5/6 黄褐色土 粘性ややあり 縮まりあり ブロック状に同色で縮まりのない部分がある

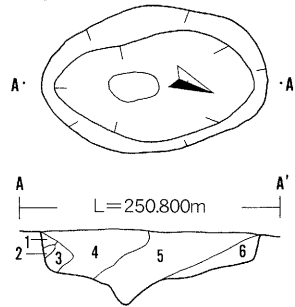


第80図 RD11~16 土坑

RD17



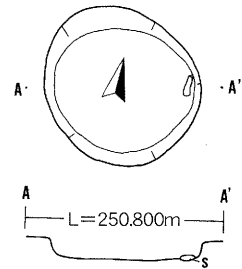
RD18



RD18 (A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 締まりなし
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性・締まりなし
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりなし
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性・締まりややあり 浮石
- 5 10YR3/3 暗褐色土と10YR2/2黒褐色土の混合 浮石含む 10YR4/6褐色土をブロック状に含む
- 6 10YR3/3と10YR2/2の混合 5より10YR2/2の割合が多い

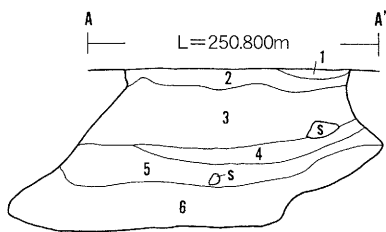
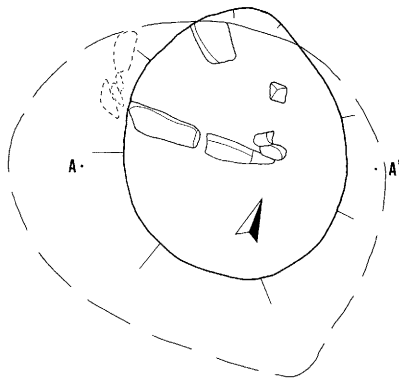
RD20



RD17 (A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりあり 浮石
- 2 10YR5/6 黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり 浮石 礫
- 3 10YR5/6 黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり 浮石 礫を含まず
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりなし 礫あり 浮石 炭化物
- 5 4同じだが炭化物を含まない 土器片含む
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりなし 炭化材 焼土ブロックあり 土器片あり
- 7 10YR4/4 褐色土を主とすると思われるが 10YR2/3黒褐色土に見える 多量の炭化材が混じっている為か 礫 土器片あり
- 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりなし 浮石 炭化物
- 9 10YR5/6 黄褐色土 粘性ややあり 締まりなし 浮石 炭化物
- 10 9と同じだが 11が混じるため9よりやや暗く見える
- 11 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 締まりなし

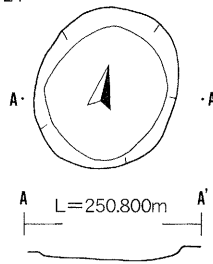
RD19



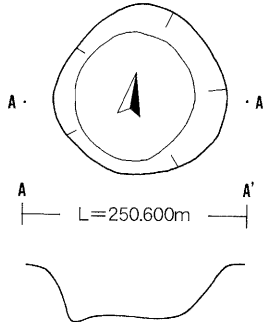
RD19 (A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 締まりややあり 炭化物少量
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性なし 締まりあり 浮石 炭化物少量
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 締まりややあり 浮石 炭化物 風化礫混入
- 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まりややあり 浮石 炭化物微量
- 5 10YR4/4 褐色土 粘性なし 締まりあり 浮石 炭化物 礫疎らに混入
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 締まりあり 炭化物疎らに混入

RD21



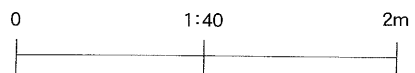
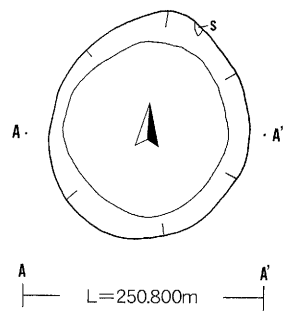
RD22



RD23 (A-A')

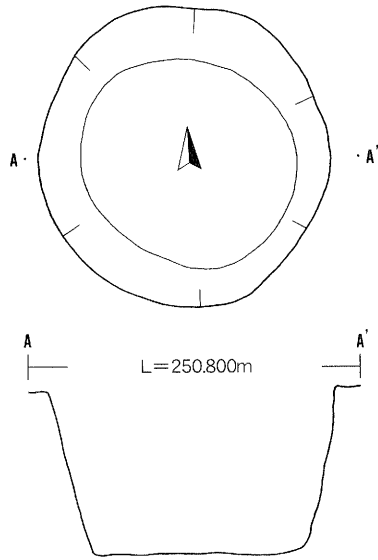
- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性・締まりなし
- 2 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性・締まりなし 礫少量

RD23

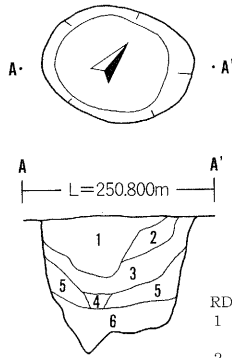


第81図 RD17~23 土坑

RD24



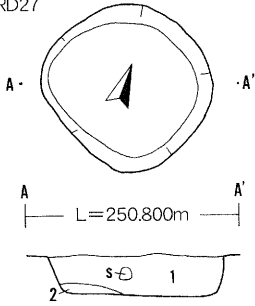
RD26



RD26 (A-A')

- 1 10YR3/2 黒褐色土 10YR3/3・3/4暗褐色土がブロック状に混在 浮石 礫
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 礫
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石を含まない
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石を含まない
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり(掘りすぎ)

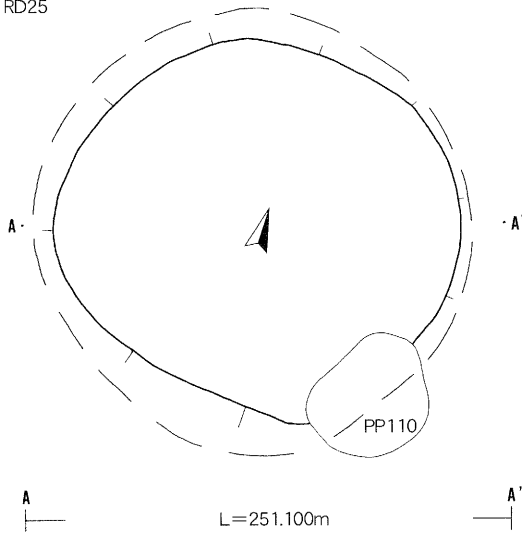
RD27



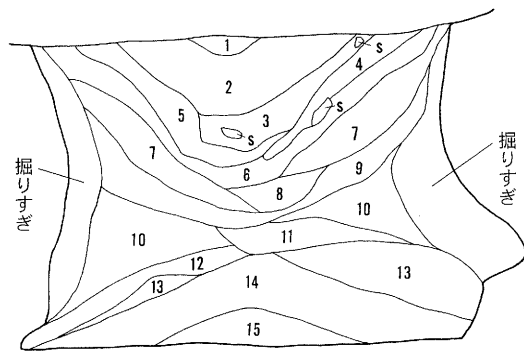
RD27 (A-A')

- 1 10YR4/3 にふい黄褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物混在
- 2 1に10YR4/6 褐色土がブロック状に入る 炭化物も混在

RD25



L=251.100m

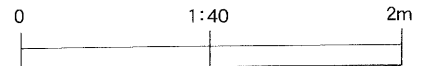


掘りすぎ

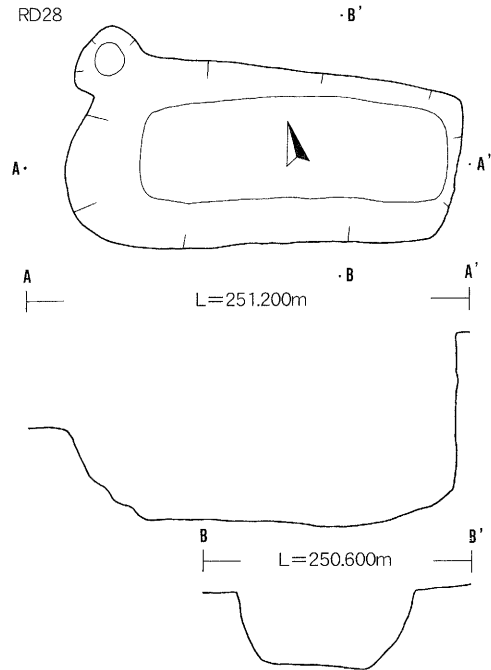
掘りすぎ

RD25 (A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 礫 10YR3/4暗褐色土を層状に含む
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり 縮まりややあり 礫微量 下に炭化材
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりあり 浮石 炭化物
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 10YR4/4を5% 炭化物少量 浮石微量
- 6 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 10YR3/4を5% 炭化物微量
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややありを主に10YR4/4・10YR2/3を含む 炭化物極微量
- 8 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり 縮まりややあり 10YR3/4を10% 炭化物含む
- 9 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR3/3を層状に含む
- 10 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR3/3を層状に含む 9よりやや砂質
- 11 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり
- 12 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり(7に非常に近い)
- 13 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり
- 14 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややありを主体に10YR4/4・10YR5/6が層状に交互に堆積
- 15 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややありを主体に10YR4/4が層状に20%



RD28

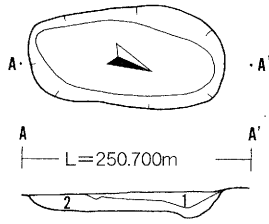


L=251.200m

L=250.600m

第82図 RD24~28 土坑

RD29



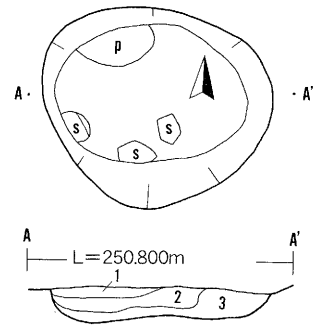
RD29(A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 焼土粒少量

RD30



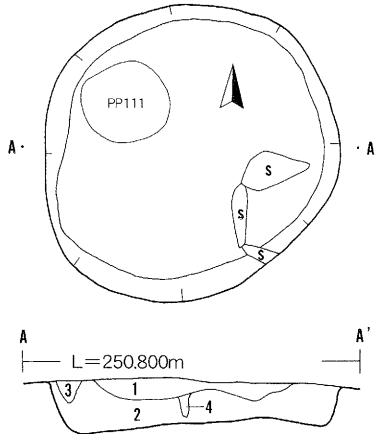
RD31



RD31(A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりなし 浮石 炭化物
- 2 10YR3/3 暗褐色土と10YR3/2黒褐色土の混合 浮石炭化物
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりなし 下部に焼土を含む

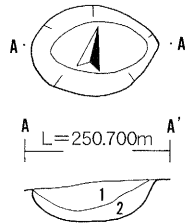
RD32



RD32(A-A')

- 1 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりやなし 10YR4/4 褐色土をブロック状に含む
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石
- 3 10YR3/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし 浮石なし
- 4 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし 浮石なし

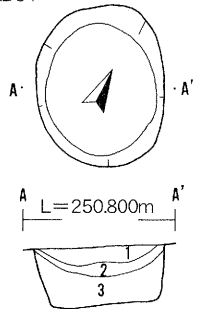
RD33



RD33(A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 浮石 10YR4/3をブロック状に含む
- 2 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性・縮まりややあり

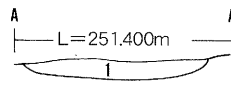
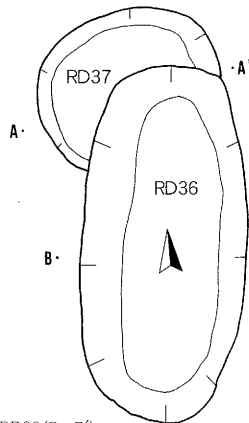
RD34



RD34(A-A')

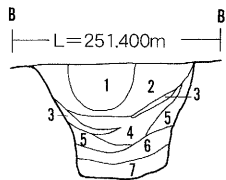
- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物
- 2 10YR3/2 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし 浮石微量

RD36-37



RD37(A-A')

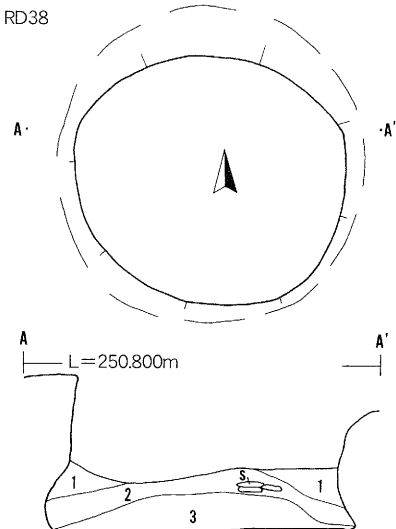
- 1 10YR2/1 黒色土 粘性・縮まりややあり



RD36(B-B')

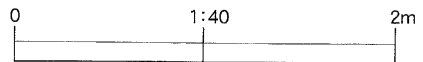
- 1 10YR2/1 黒色土 粘性・縮まりややあり 礫含む
- 2 10YR2/1 黒色土 粘性・縮まりややあり(1よりもあり)礫含む
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりややあり
- 4 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR2/3黒褐色土(3の土)を層状に含む
- 5 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 10YR2/3黒褐色土と10YR2/1黒色土との混合土
- 6 10YR2/1 黒色土 粘性かなりあり 縮まりあり 10YR5/4にぶい黄褐色土 ブロック状に混じる
- 7 10YR2/1 黒色土 粘性かなりあり 縮まりあり 10YR5/4にぶい黄褐色土 ブロック状に混じる

RD38

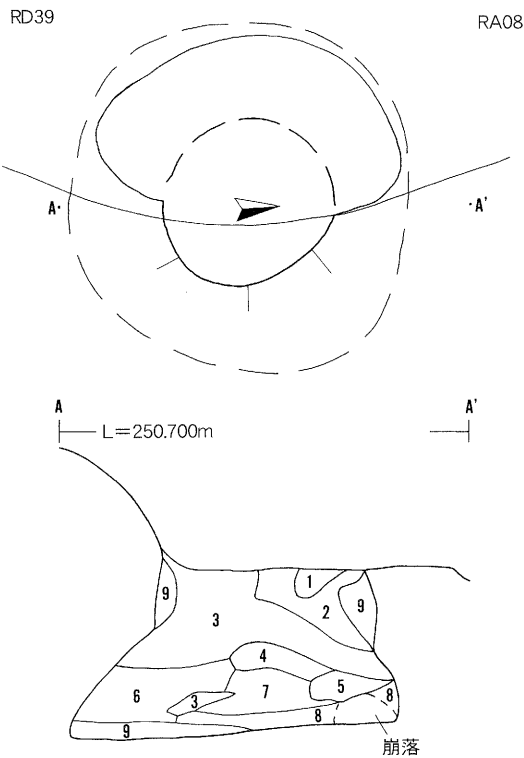


RD38(A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 炭化物 黄褐色土混入
- 2 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりあり 浮石 炭化物少量 礫 土器片混入
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 黄褐色土がブロック状に混入

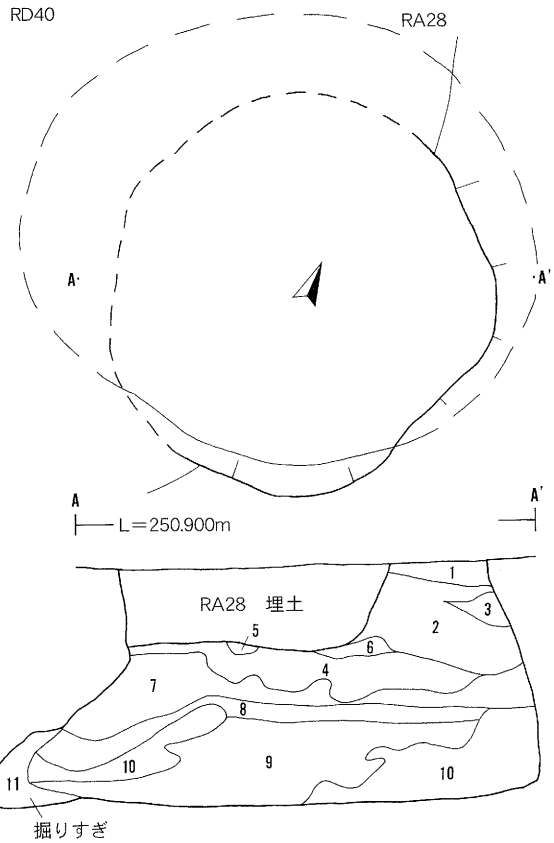


第83図 RD29~34・36~38 土坑



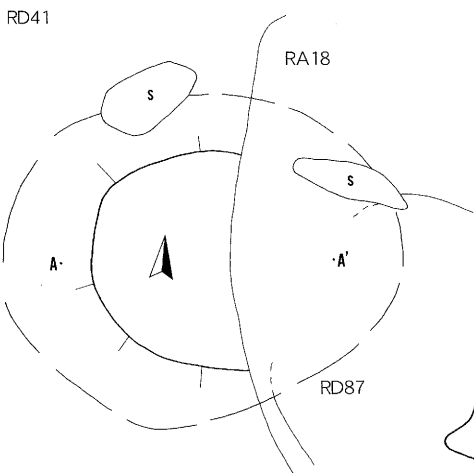
RD39(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物 礫
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物・焼土粒微量
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物・浮石微量
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 10YR3/4暗褐色土をブロック状に含む
- 5 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり 地山に近い 崩落土か
- 6 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/6褐色土の混合土(1:2の比)粘性・縮まりややあり
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石極微量
- 8 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり
- 9 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり 地山(掘りすぎ)



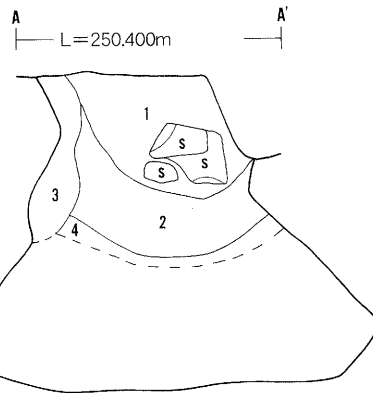
RD40(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 10YR4/6褐色土を層状に含む
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石少量 炭化物含む
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物含む
- 7 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物多量含む
- 8 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 9 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物微量含む
- 10 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物少量含む
- 11 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり 礫少量含む

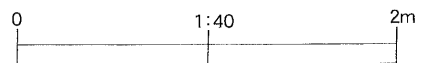


RD41(A-A')

- 1 10YR4/4~3/4 褐色~暗褐色土 炭化粒微量 浮石含む 粘性なし 縮まりあり
- 2 10YR4/4 褐色土 炭化粒微量 浮石 礫含む 粘性・縮まりややあり
- 3 10YR5/6 黄褐色土 やや砂質土 浮石含む 粘性なし 縮まりあり
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし

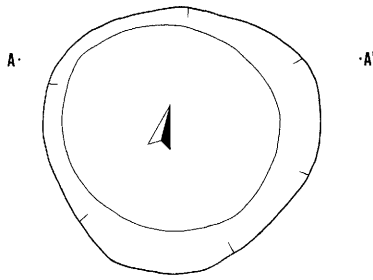


RD42

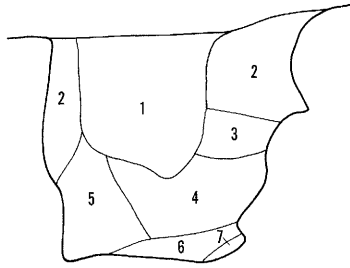


第84図 RD39~42 土坑

RD43



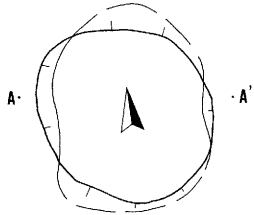
L=250.000m



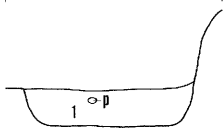
RD43(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 締まりややあり 炭化物 浮石少量含む 自然礫混在
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性なし 締まりややあり やや砂質 浮石 自然礫含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりは1よりややあり 炭化物 浮石少量含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりややあり 炭化物 浮石少量含む
- 5 10YR3/4(～4/4) 暗褐色土 粘性あり 締まりややあり 浮石微量含む 炭なし
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 締まりややあり 炭化物を層状に含む
- 7 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性・締まりややあり 浮石微量含む 炭なし

RD46



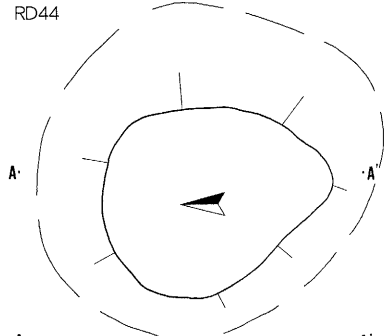
L=249.800m



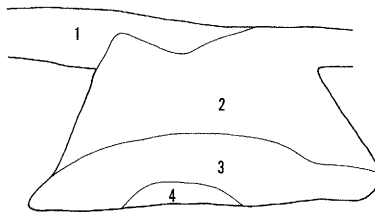
RD46(A-A')

- 1 10YR4/4～4/6 褐色土 炭化粒 浮石微量 土器片含む 粘性ややあり 締まりなし

RD44



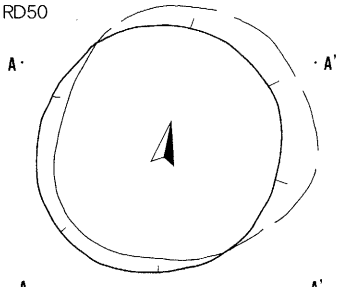
L=250.300m



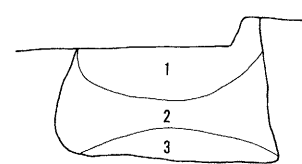
RD44(A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 礫 褐色浮石 炭化粒微量含む 粘性なし 締まりややあり
- 2 10YR4/4～4/6 褐色土 褐色と黄褐色の浮石含む 炭化材少量まとまって入る 粘性なし 締まりややあり(1よりはる)
- 3 10YR5/6 黄褐色土と10YR3/4暗褐色土の混土 礫 浮石含む 炭化材やや多め 粘性・締まりなし
- 4 10YR4/4 褐色土と10YR3/4暗褐色土の混土 炭化材やや多めに含む 粘性ややあり 締まりなし

RD50



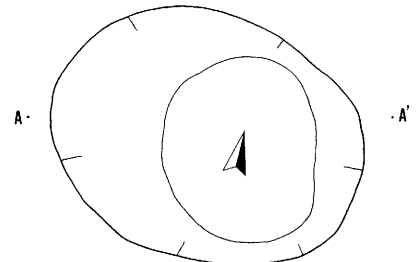
L=249.900m



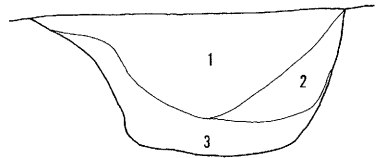
RD50(A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 炭化粒 赤色浮石少量含む 粘性・締まりややあり
- 2 10YR3/4 暗褐色土に10YR5/6黄褐色土がブロック状に入る 炭化粒微量 浮石 礫含む 粘性・締まりややあり
- 3 10YR4/4～3/4 褐色～暗褐色土 浮石少量含む 粘性・締まりややあり

RD45



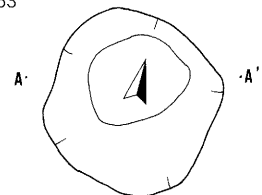
L=250.300m



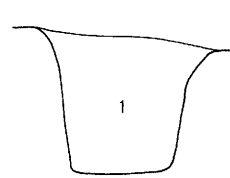
RD45(A-A')

- 1 10YR2/2 黒褐色土 浮石少量 炭化粒微量 土器片含む 粘性なし 締まりややあり
- 2 10YR4/4 褐色土と10YR3/4暗褐色土の混土 浮石含む 粘性なし 締まりあり
- 3 10YR5/6 黄褐色土に10YR2/2黒褐色土が一部入る 浮石含む 粘性・締まりややあり

RD53

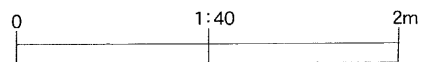


L=249.800m

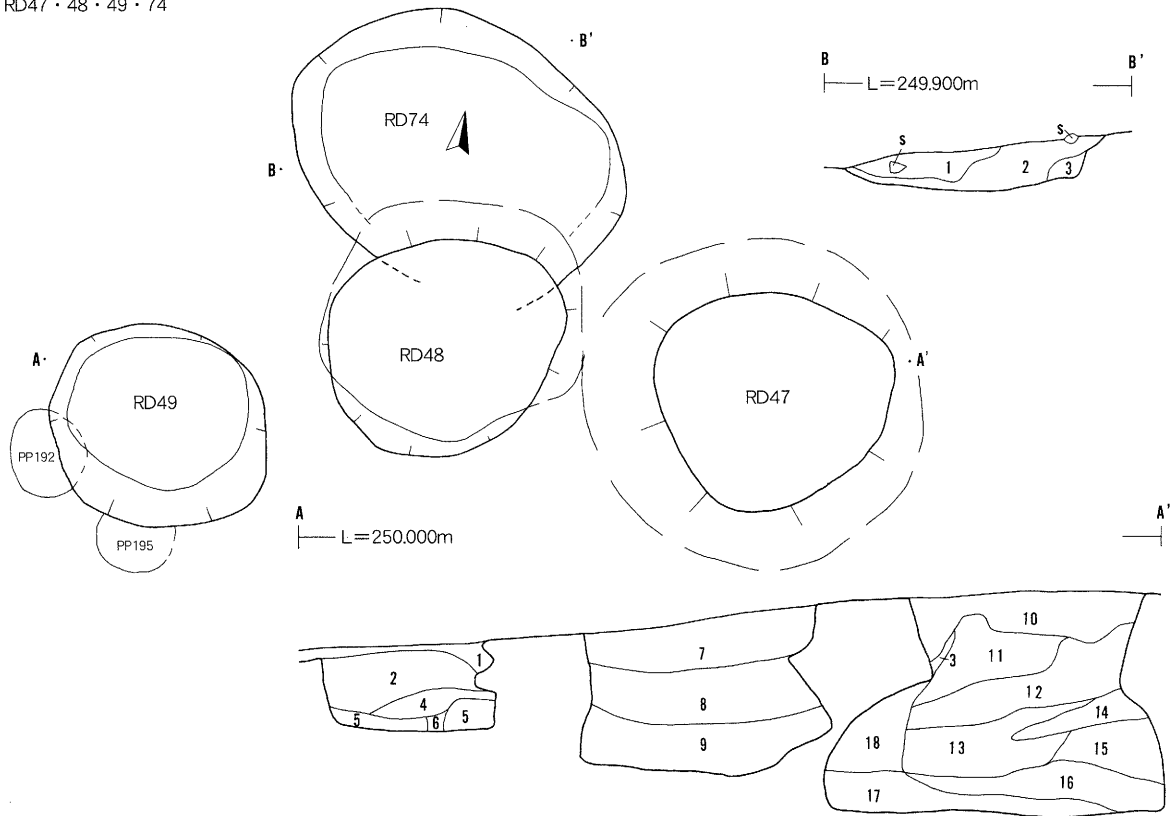


RD53(A-A')

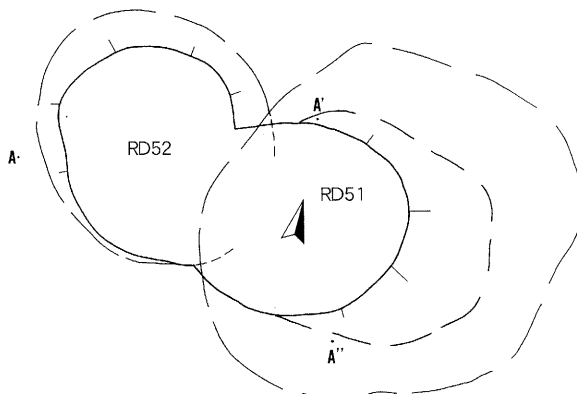
- 1 10YR3/4 暗褐色土 礫 浮石 炭化粒含む 粘性ややあり 締まりなし



第85図 RD43～46・50・53 土坑



RD51・52



RD47・48・49 (A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 炭化材微量 浮石含む 粘性ややあり 縮まりなし
- 2 10YR3/4 暗褐色土主体に10YR4/6褐色土が少量入る混土 炭化材微量 赤色浮石は1より多く含む 粘性なし 縮まりややあり
- 3 10YR5/6 黄褐色土 浮石少量含む 粘性なし 縮まりあり
- 4 10YR3/4 暗褐色土 炭化粒微量 浮石含む 粘性・縮まりややあり
- 5 10YR4/6 褐色土 砂土混入 浮石微量含む 粘性・縮まりややあり
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし
- 7 10YR3/4 暗褐色土に10YR4/4褐色土が少量入る 炭化材 浮石少量含む 粘性なし 縮まりややあり
- 8 10YR4/4~3/4 褐色~暗褐色土 炭化材下位に多めに含む 浮石少量 礫含む 粘性・縮まりなし
- 9 10YR3/3 暗褐色土 10YR4/4褐色土少量入る 炭化材 浮石 礫含む 粘性・縮まりなし
- 10 10YR4/4 褐色土 炭化材 浮石含む 粘性なし 縮まりややあり
- 11 10YR4/4~3/4 褐色~暗褐色土 炭化粒 浮石 礫含む 粘性なし 縮まりややあり
- 12 10YR3/4 暗褐色土主体と10YR5/6黄褐色土の混土 炭化材 浮石 少量 礫含む 粘性ややあり 縮まりなし
- 13 10YR4/4 褐色土 炭化材ブロック状に入る 炭化材含む 粘性ややあり 縮まりなし
- 14 10YR4/6 褐色土 炭化粒 浮石含む 粘性・縮まりややあり
- 15 10YR4/4 10YR4/6 褐色土の混土 炭化材含む 浮石微量 粘性・縮まりややあり
- 16 10YR5/6~4/6 黄褐~褐色土 炭化粒 浮石微量含む 粘性・縮まりややあり
- 17 10YR3/4 暗褐色土 炭化材 浮石微量含む 粘性・縮まりややあり
- 18 10YR3/4 暗褐色土 10YR5/4黄褐色土の粘土ブロックが入る 粘性ややあり 縮まりなし

RD74 (B-B')

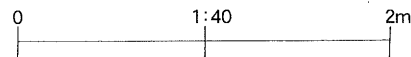
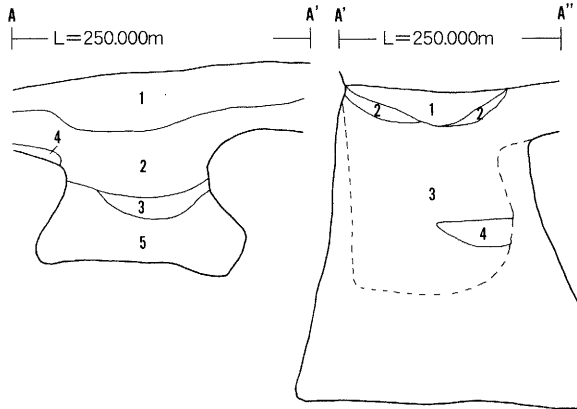
- 1 10YR3/4 暗褐色土 炭化粒微量 礫 赤色浮石含む 粘性・縮まりなし
- 2 10YR4/4~4/6 褐色土 炭化粒微量 赤色浮石含む 粘性ややあり 縮まりなし
- 3 10YR5/8 黄褐色土 赤色浮石含む 粘性・縮まりややあり

RD51 (A'-A'')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 炭化粒 浮石微量含む 粘性・縮まりややあり
- 2 10YR4/6 褐色土 浮石微量含む 粘性・縮まりややあり
- 3 7.5YR4/4 褐色土 炭化材微量 浮石 礫含む 粘性・縮まりなし
- 4 10YR5/8 黄褐色土 砂質土 粘性・縮まりなし

RD52 (A-A')

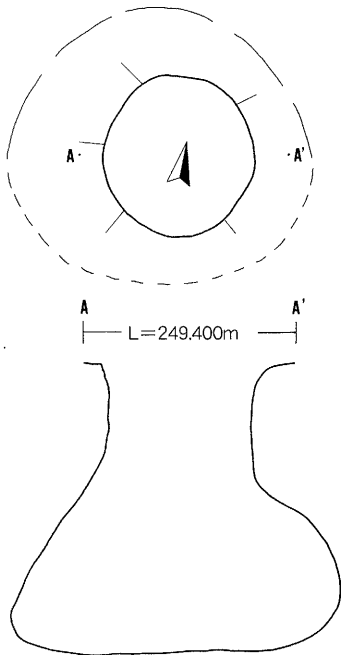
- 1 10YR3/4 暗褐色土 炭化材 浮石微量 礫 土器片含む 粘性なし 縮まりややあり
- 2 10YR4/4~3/4 褐色~暗褐色土 炭化材 浮石 炭土粒微量含む 粘性・縮まりややあり
- 3 10YR4/4 褐色土に10YR5/6黄褐色土が層状に入る 炭化材微量 浮石含む 粘性ややあり 縮まりややなし
- 4 10YR4/4~4/6 褐色土 炭化材微量 浮石含む 粘性・縮まりややあり
- 5 10YR3/4 暗褐色土主体に10YR4/4褐色土が混じる 炭化材 浮石 礫含む 粘性・縮まりなし



第86図 RD47~49・51・52・74 土坑

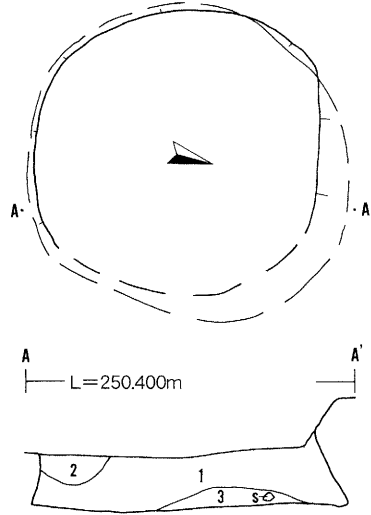


RD54

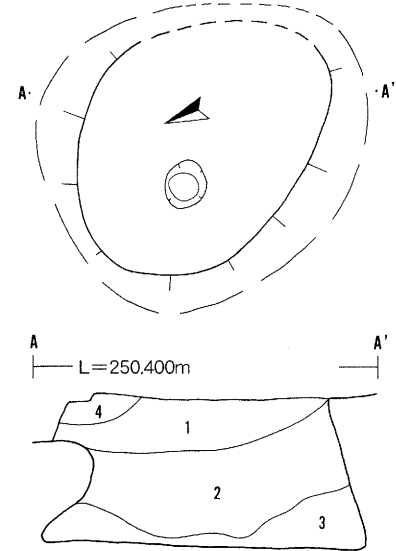


- RD55(A-A')
- 10YR4/4~4/6 褐色土 炭化材 浮石少量入る 粘性ややあり 縮まりなし
  - 10YR4/4褐色土と10YR5/6黄褐色土の混土 炭化材 浮石少量入る 粘性ややあり 縮まりなし
  - 7.5YR4/4 褐色土 浮石と礫含む 粘性ややあり 縮まりなし

RD55

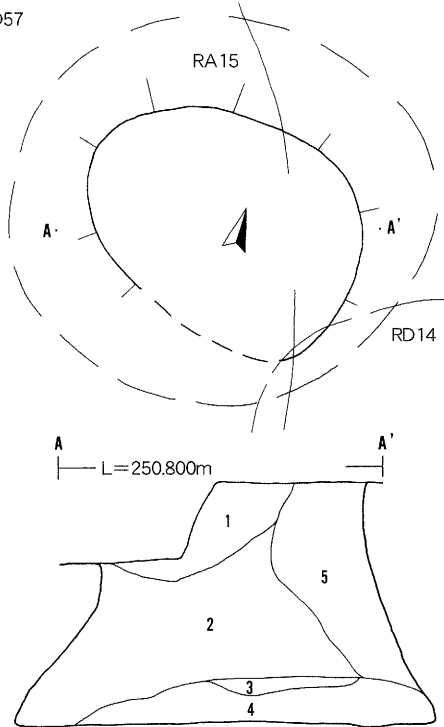


RD56



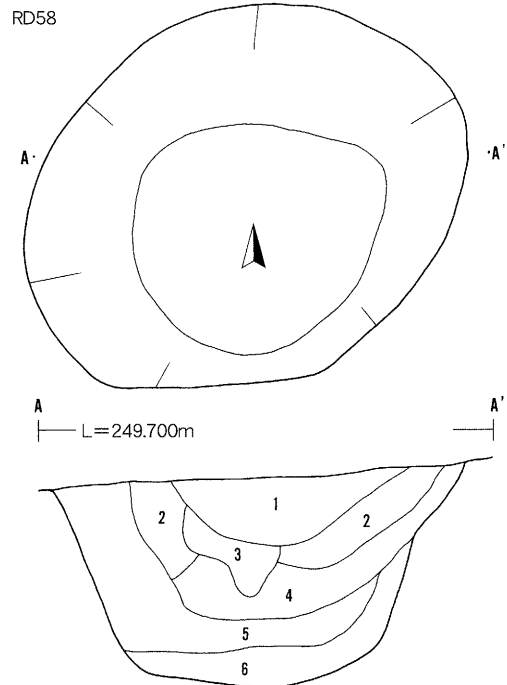
- RD56(A-A')
- 10YR4/4 褐色土 炭化粒微量 浮石 土器片含む 粘性・縮まりややあり
  - 10YR4/4 褐色土主体に10YR5/6黄褐色土がブロック状に入る混土 炭化粒 浮石微量 礫 土器片含む 粘性・縮まりややあり
  - 10YR4/4~3/4 褐色土~暗褐色土 浮石微量入る 粘性・縮まりややあり
  - 10YR4/4~5/6 褐色土~黄褐色土 混泥土

RD57

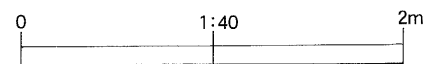


- RD57(A-A')
- 10YR3/4 暗褐色土と10YR5/8黄褐色土の混土 炭化材 浮石含む 粘性・縮まりややあり
  - 10YR5/6 黄褐色土主体に10YR4/4褐色土が層状に入る 砂土混入 炭化粒少量 浮石含む粘性・縮まりややあり
  - 10YR4/4 褐色土と10YR5/8黄褐色土の混土 炭化粒 浮石微量含む 粘性ややあり 縮まりなし
  - 10YR4/4 褐色土 炭化粒微量 浮石 礫含む 粘性ややあり 縮まりなし
  - 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり 壁の崩落土

RD58

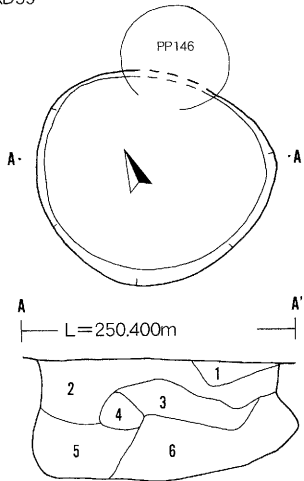


- RD58(A-A')
- 10YR2/3 黒褐色土 礫多量含む 粘性・縮まりなし
  - 10YR3/2~2/2 黒褐色土 礫含む 粘性・縮まりなし
  - 10YR3/3 暗褐色土 礫多量含む 粘性・縮まりなし
  - 10YR3/4 暗褐色土と10YR2/3黒褐色土の混土 礫 土器片含む 粘性ややあり 縮まりなし
  - 10YR3/4 暗褐色土 礫多量 炭化材 焼土粒含む 粘性・縮まりなし
  - 10YR4/6 褐色土 礫多量 砂土含む 粘性・縮まりなし



第87図 RD54~58 土坑

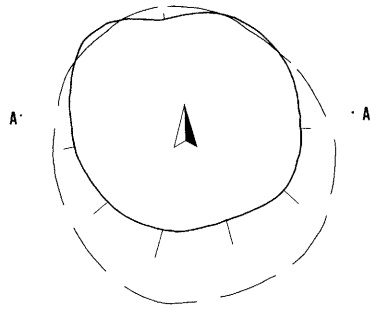
RD59



RD59 (A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり 炭化粒含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化粒 浮石含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりあり 炭化粒含む 5YR4/6赤褐色焼土ブロック状に入り込む 浮石微量
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性ややなし 縮まりややあり 浮石微量含む
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 炭化粒 浮石微量含む
- 6 7.5YR4/3 褐色土 粘性・縮まりあり 炭化材 浮石微量含む

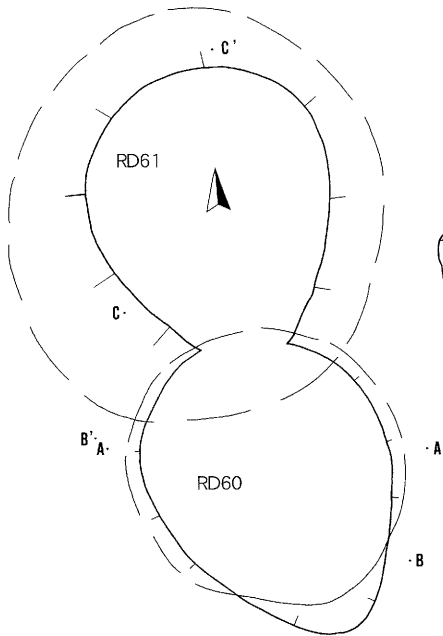
RD63



RD63 (A-A')

- 1 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化粒含む (7.5YR5/8明褐色焼土ブロック状に含む)
- 2 7.5YR4/4 褐色土 粘性・縮まりなしと10YR4/6褐色土 粘性・縮まりなしとの混合土
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりなし (壁の崩落土)
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化粒散在(微量)
- 5 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化粒少量 焼土粒散在 浮石極微量含む (ブロック状にもあり)
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化粒 焼土粒含む 土器あり
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化粒含む
- 8 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化粒微量含む
- 9 10YR5/8 黄褐色土 粘性・縮まりなし

RD60・61



RD60 (B-B')

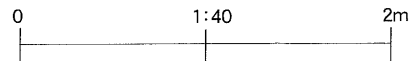
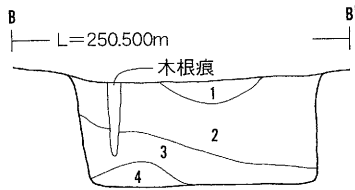
- 1 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややありを主体に10YR3/3暗褐色土ブロック状に含む 粘性・縮まりなし
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 炭化粒 浮石含む
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化粒微量 浮石極微量含む
- 4 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石含む

RD60 (A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石少量含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物少量含む
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物極微量含む
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化物少量含む
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量 炭化物は含まれない

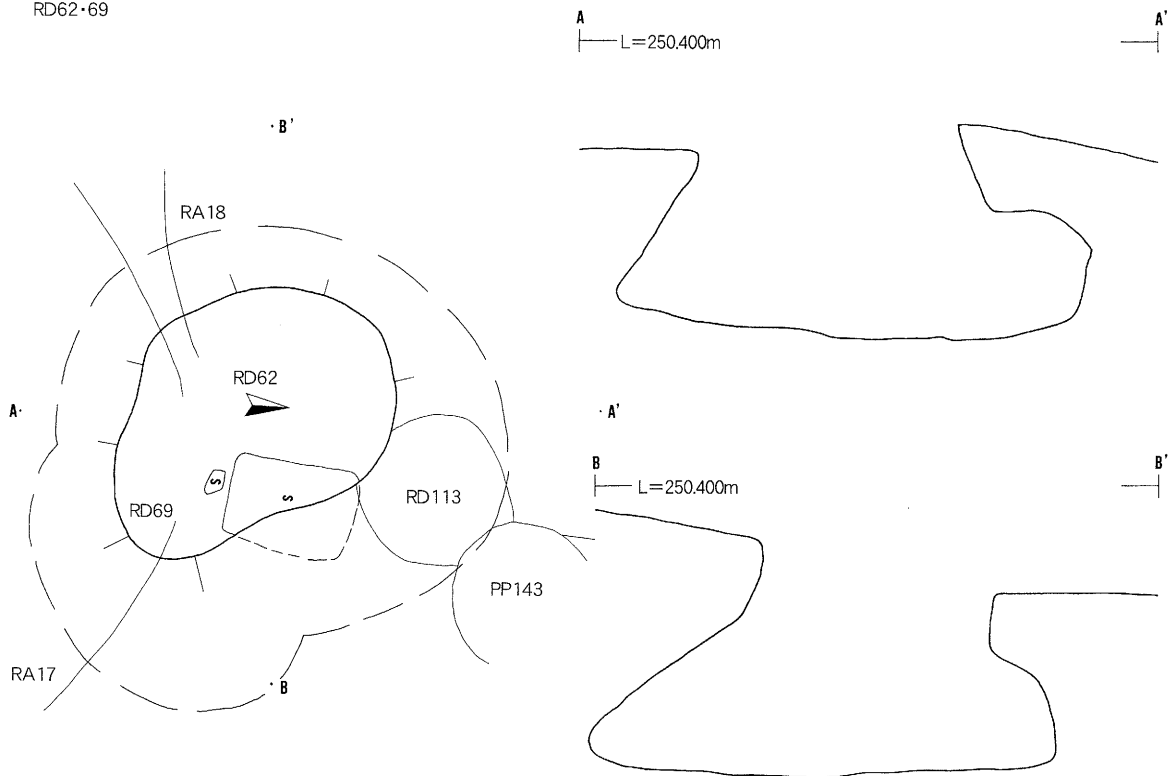
RD61 (C-C')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり 10YR5/8黄褐色土 粘性・縮まりなしの混合土 (ブロック状に入る) 浮石微量 炭化粒含む
- 2 7.5YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化粒含む
- 3 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりなし 炭化粒多少含む
- 4 10YR5/8 黄褐色土 (砂っぽい) 粘性・縮まりなし
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり

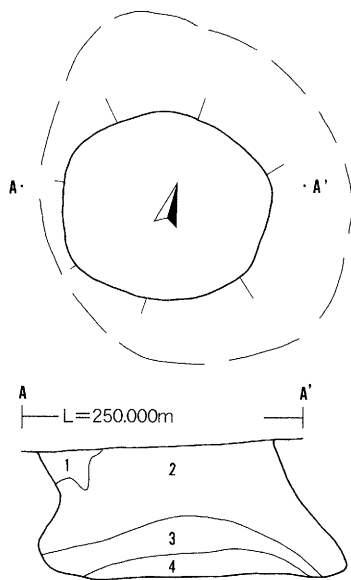


第88図 RD59～61・63 土坑

RD62・69



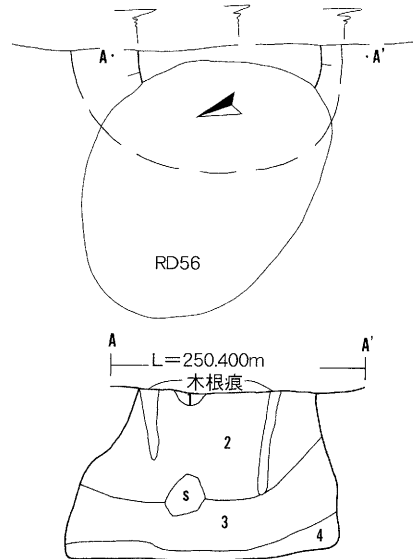
RD64



RD64 (A-A')

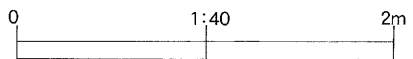
- 1 10YR3/4 暗褐色土 浮石含む 炭化粒微量 粘性なし 縮まりややあり
- 2 10YR4/4 褐色土に10YR5/6黄褐色土が入る混土 赤色浮石少量 炭化粒微量含む 粘性・縮まりややあり
- 3 10YR3/4 暗褐色土と10YR2/3黒褐色土の混土 浮石 炭化粒少量含む 粘性・縮まりややあり
- 4 10YR4/6 褐色土 浮石 炭化粒微量含む 粘性・縮まりややあり

RD65



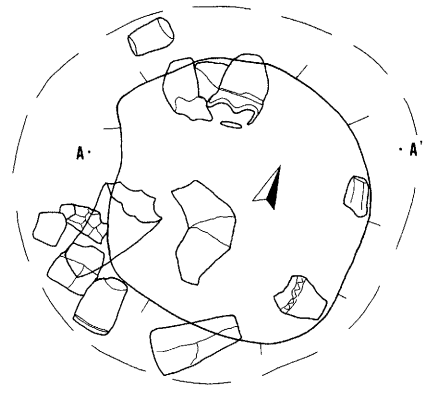
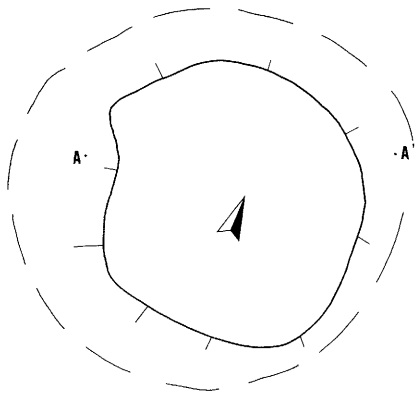
RD65 (A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR4/4褐色土 粘性・縮まりややありとの混土 炭化粒 浮石散在
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややなし 10YR3/4暗褐色土 粘性・縮まりややありをブロック状に含む 炭化粒 浮石微量含む
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物 浮石微量含む

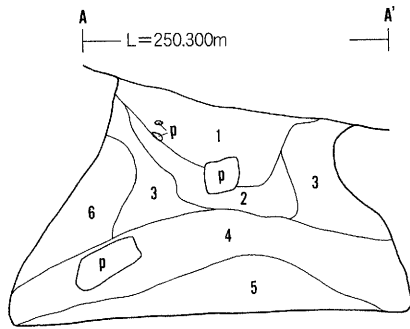


第89図 RD62・64・65・69 土坑

RD66



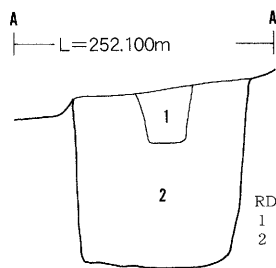
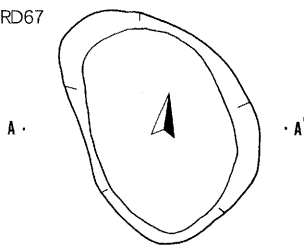
RD66土器出土状況



RD66 (A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりなし 10YR4/4褐色土混じる 炭化物 浮石微量
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性・締まりややあり 10YR4/6褐色土含む 炭化物 浮石微量含む
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりややあり (1,2に比べてやや砂混じり) 炭化物 浮石微量含む
- 4 10YR4/4 褐色土と10YR4/6褐色土の混合土 粘性・締まりややあり 炭化物 浮石微量含む
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややあり (他に比べると締まりがある) 炭化物 浮石微量含む
- 6 10YR5/6 黄褐色土 粘性ややあり 締まりかなりあり (崩落土)

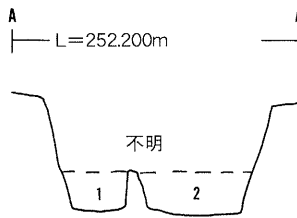
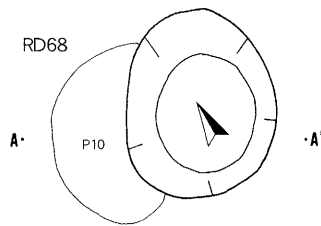
RD67



RD67 (A-A')

- 1 10YR3/2 黒褐色土 粘性ややあり 締まりなし
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし締まりややあり 10YR4/6 褐色土がブロック状に混在

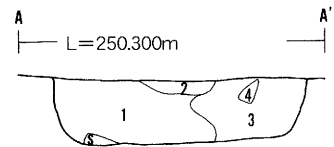
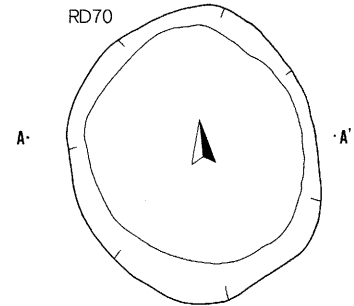
RD68



RD68 (A-A')

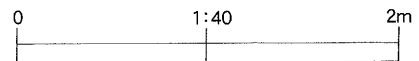
- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 締まりなし
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし締まりややあり 10YR4/6 褐色土がブロック状に混在

RD70



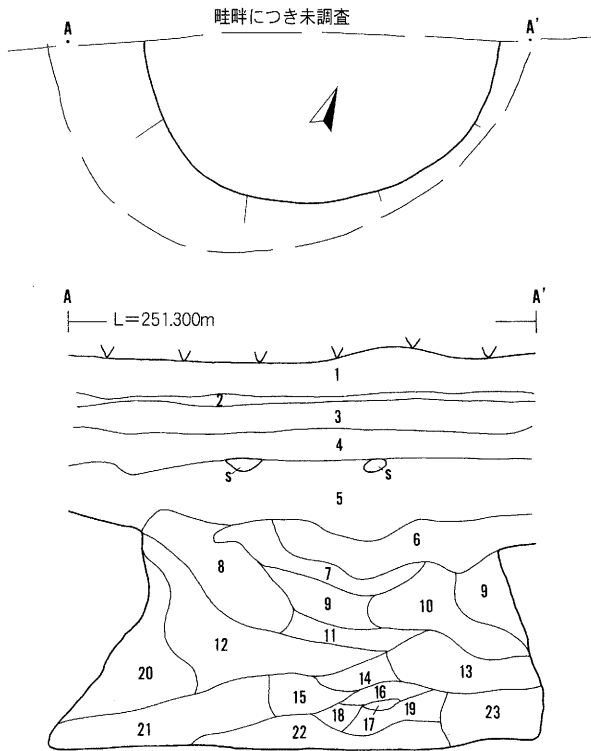
RD70 (A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 締まりなし 浮石 炭化物を微量に含む
- 2 7.5YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりなし 汚れた焼土を含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりなし 汚れた焼土を含む
- 4 10YR5/6 黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり 底部の石はかなり風化しザラザラと崩れる程である



第90図 RD66~68・70 土坑

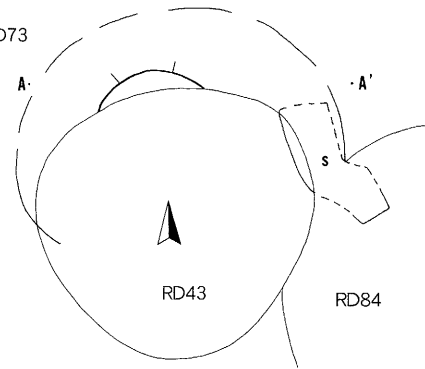
RD71



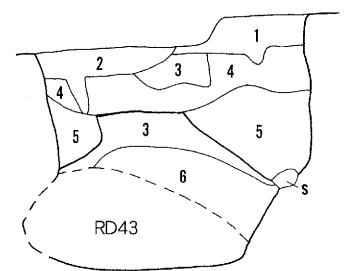
RD71 (A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし (表土) (耕作土)
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなしが主体 7.5YR4/6褐色土混じり 耕作土の床土 水酸化鉄分含む
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 炭化粒 浮石微量含む 10YR3/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし混入
- 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化粒 浮石微量含む 焼土ブロック状に含む所有
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややなし 炭化粒 浮石散在 土器含む
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化粒 浮石散在
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化粒 浮石微量含む
- 8 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややなし 炭化粒微量 浮石含む
- 9 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化粒 浮石微量含む
- 10 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややなし 10YR3/4暗褐色土 粘性・縮まりややありの混合土 炭化粒 浮石微量含む
- 11 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややなし 10YR4/4褐色土 粘性・縮まりややありの混合土 炭化粒微量含む
- 12 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややなし 浮石微量含む
- 13 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり
- 14 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし
- 15 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりなし 10YR5/6黄褐色土 粘性・縮まりなしの混合土
- 16 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり
- 17 10YR5/8 黄褐色土 粘性・縮まりなし
- 18 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり
- 19 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり (18層よりは粘性なし)
- 20 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりなし 10YR5/8黄褐色土 粘性・縮まりなし (地山の崩落土) の混合土
- 21 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりなし
- 22 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり
- 23 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりややなし (地山の崩落土?)

RD73



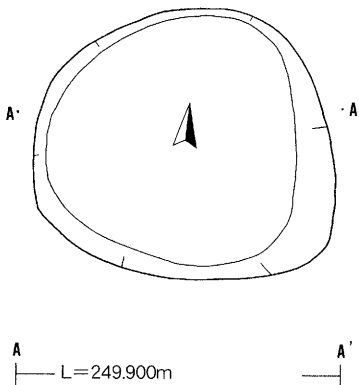
L=250.300m



RD73 (A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 浮石少量含む 粘性なし 縮まりややあり
- 2 10YR5/8 黄褐色土 赤色浮石微量含む 粘性なし 縮まりややあり
- 3 10YR5/6~4/6 黄褐~褐色土 炭化粒 浮石微量含む 粘性・縮まりなし
- 4 10YR5/8 黄褐色土 浮石 礫含む 粘性ややあり 縮まりあり
- 5 10YR5/8 黄褐色土 浮石含む 砂土混入 粘性・縮まりあり
- 6 10YR4/6 褐色土 赤色浮石少量含む 粘性・縮まりややあり

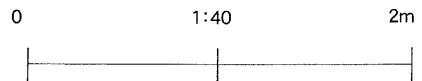
RD72



L=249.900m

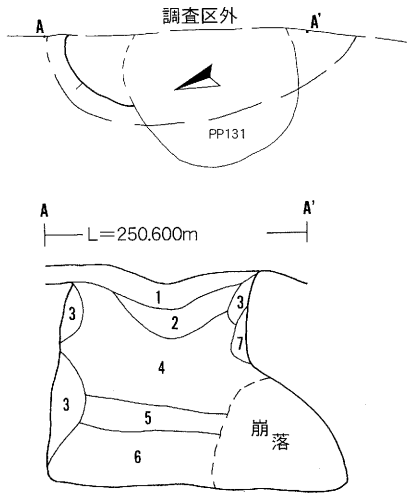
RD72 (A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりなし 10YR3/4暗褐色土 粘性・縮まりなしとの混合土 炭化粒含む 浮石微量散在
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややなし



第91図 RD71~73 土坑

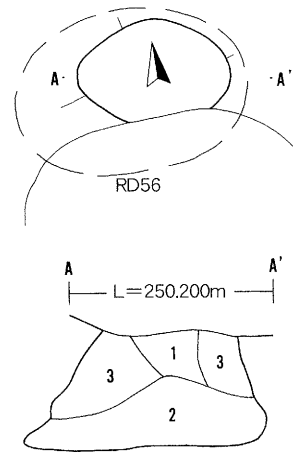
RD75



RD75 (A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 浮石 炭化粒含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石含む
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む 壁との漸移層
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりあり 浮石 炭化材含む
- 5 5YR5/8 明赤褐色焼土主体 7.5YR4/6褐色土との混合土 粘性・縮まりややあり
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化粒微量含む
- 7 不明

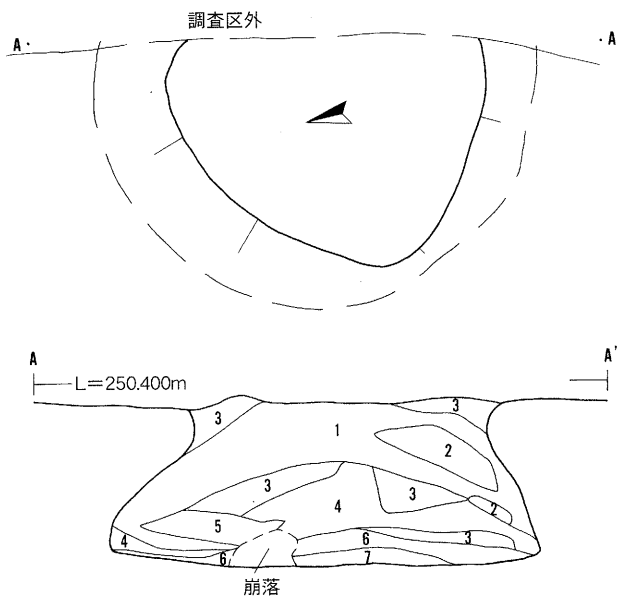
RD77



RD77 (A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化材含む
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化粒微量含む
- 3 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりなし(壁の崩落土)

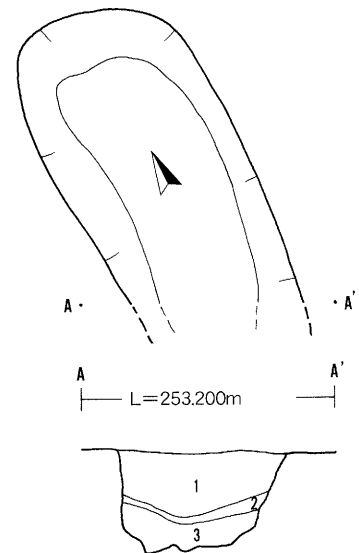
RD78



RD78 (A-A')

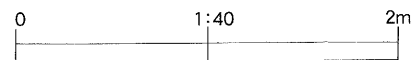
- 1 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化材含む 浮石微量散在
- 2 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 縮まりややあり 植物痕 水酸化鉄分 10YR5/4 に近い黄褐色砂含む
- 3 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりなし(壁の崩落土)
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり(1層より縮まりあり)浮石微量 炭化材含む
- 5 10YR6/6 明黄褐色土 粘性・縮まりあり 浮石微量含む
- 6 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりあり主体 炭化材帯状に含む
- 7 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり

RD81



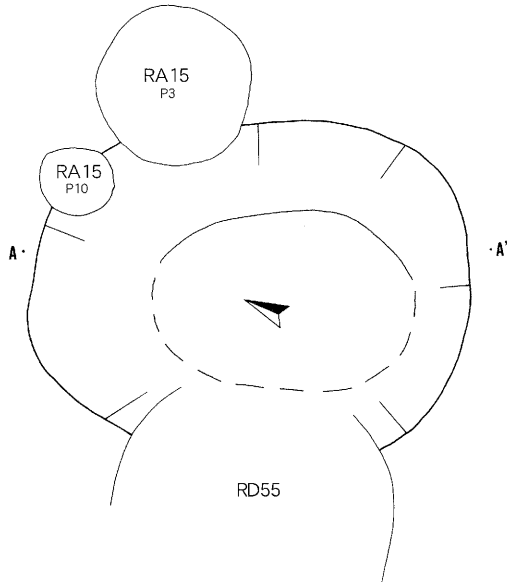
RD81(A-A')

- 1 10YR1.7/1 黒色土 粘性・縮まりなし 10YR5/6黄褐色土をブロック状に含む
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR5/6黄褐色土が粒状に混在
- 3 10YR2/1 黒色土 粘性・縮まりあり 10YR5/6黄褐色土をブロック状に含む

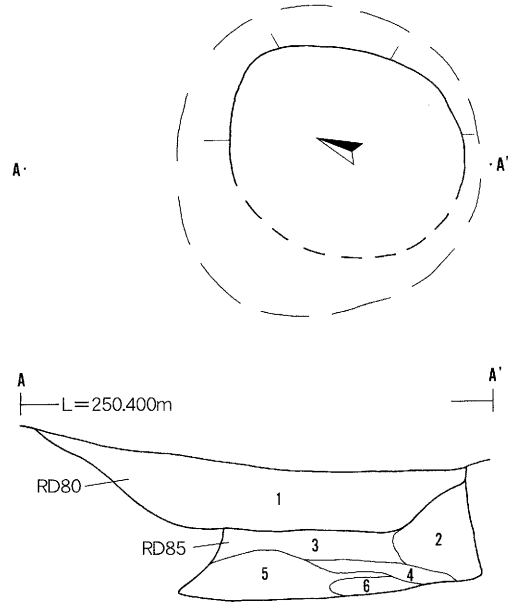


第92図 RD75・77・78・81 土坑

RD80



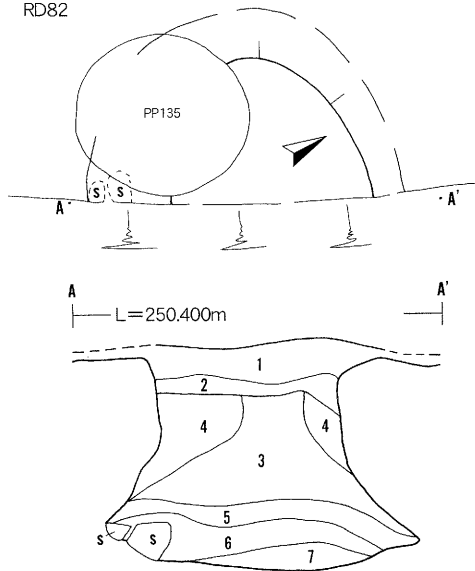
RD85



RD80・85 (A-A')

- RD80 1 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 炭化材 浮石微量含む
- RD85 2 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややなし 浮石微量含む 地山(壁)の崩落土
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 炭化材含む 10YR4/4褐色土 粘性あり 縮まりややありが帯状に堆積
- 4 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりなし
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化粒含む
- 6 10YR5/6 黄褐色土 粘性なし 縮まりあり 地山(壁の崩落土)

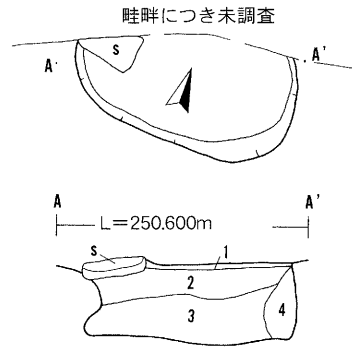
RD82



RD82 (A-A')

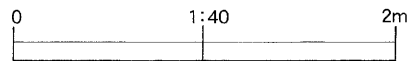
- 1 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 10YR2/3黒褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR3/4暗褐色土 粘性・縮まりややありの混合土(同程度)浮石微量含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりなし 10YR4/4褐色土 粘性・縮まりなしとの混合土 浮石含む
- 3 10YR4/6 褐色土(砂っぽい)粘性・縮まりなし 10YR4/6褐色土 粘性・縮まりありとの混合土が主体10YR5/6黄褐色粘土がブロック状に入り込む 浮石は3層上部に散在
- 4 10YR5/6 黄褐色粘土 粘性・縮まりあり 10YR4/4褐色砂 粘性・縮まりなし 10YR5/8黄褐色土(地山)との混合土(壁の崩落土)
- 5 7.5YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり 5YR4/8赤褐色焼土粒散在する 炭化材含む
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石 炭化粒含む
- 7 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりあり(上層) 10YR5/8黄褐色土 粘性・縮まりややあり(下層)浮石含む(掘りすぎか?)

RD83



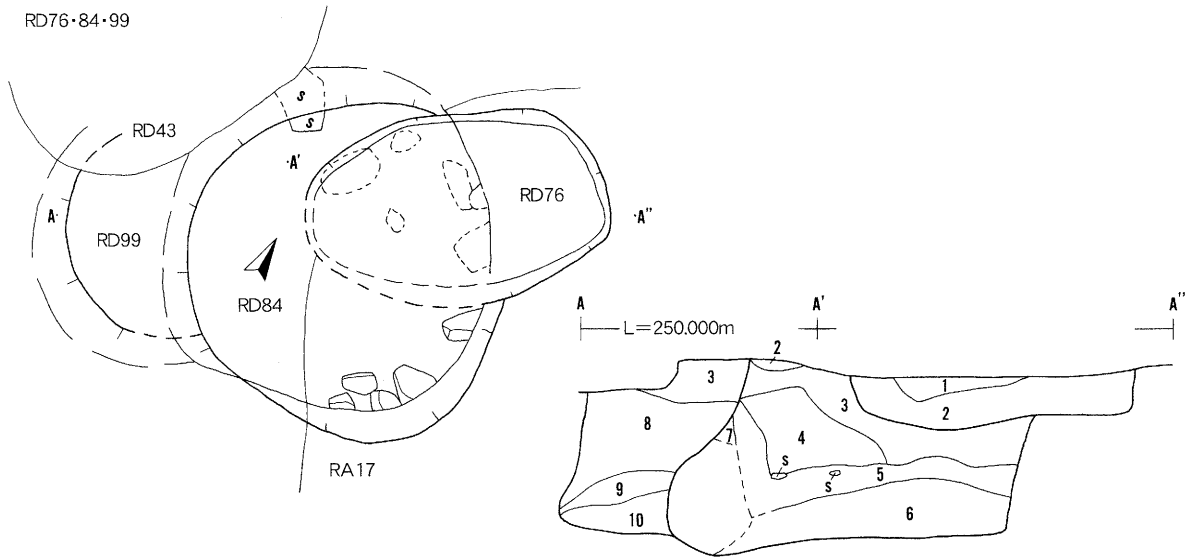
RD83 (A-A')

- 1 2.5YR4/8 赤褐色焼土 7.5YR4/4褐色土混じり 粘性・縮まりなし 炭化材帯状に入り込む
- 2 7.5YR4/6 褐色土 粘性・縮まりなし 7.5YR4/4褐色土 粘性・縮まりややありとの混合土 浮石極少量含む
- 3 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化材含む 浮石含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化材極微量含む (1はRA12の貼り床部分と考えられる)



第93図 RD80・82・83・85 土坑

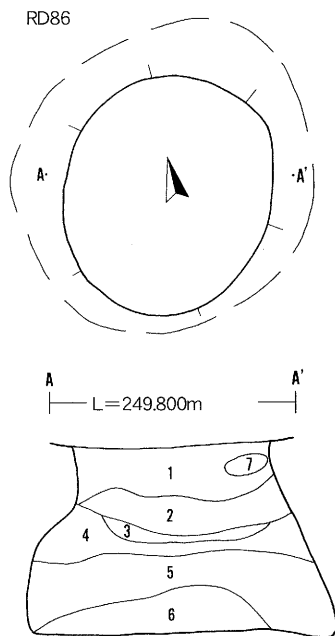
RD76・84・99



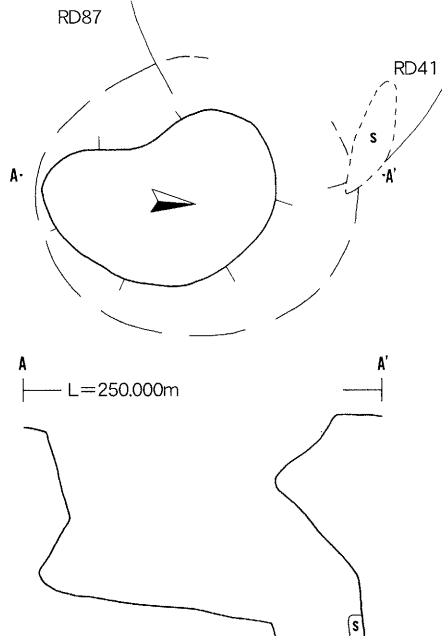
RD76・84・99 (A-A'・A-A''・A'-A''')

- RD76
- 1 10YR2/2 黒褐色土と10YR3/2黒褐色土の混合 浮石含む 粘性なし 縮みややあり
  - 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮みややあり 炭微量 浮石含む
  - 3 10YR5/6 黄褐色土 粘性なし 縮まりあり 浮石含む
  - 4 10YR4/6 褐色土 粘性・縮みややあり 木根に伴うものか黒色土が点在 浮石含む
- RD84
- 5 3と同じだが浮石は1cm前後のものが多くなる
  - 6 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮みややあり 混じるものはない
  - 7 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 地山
- RD99
- 8 10YR4/6 褐色土 浮石微量含む 粘性・縮みややあり
  - 9 10YR4/6 褐色土と10YR5/8黄褐色土の混土 浮石微量含む 粘性・縮みややあり
  - 10 10YR4/6 褐色土 8・9よりもっと少ない浮石含む 粘性ややあり 縮まりなし

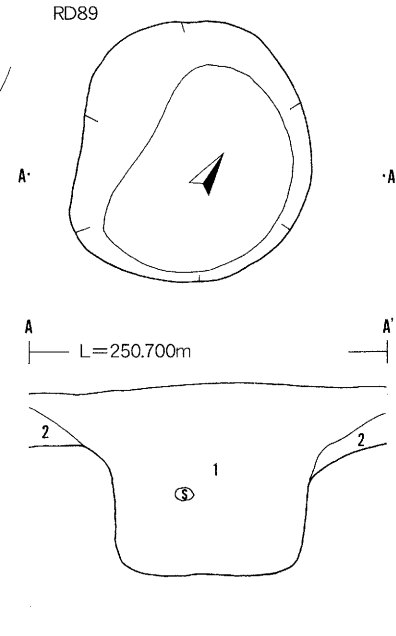
RD86



RD87



RD89

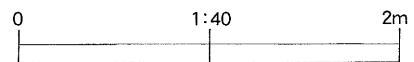


RD89 (A-A')

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮みややあり 浮石散在
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 浮石 炭化物微量含む

RD86 (A-A')

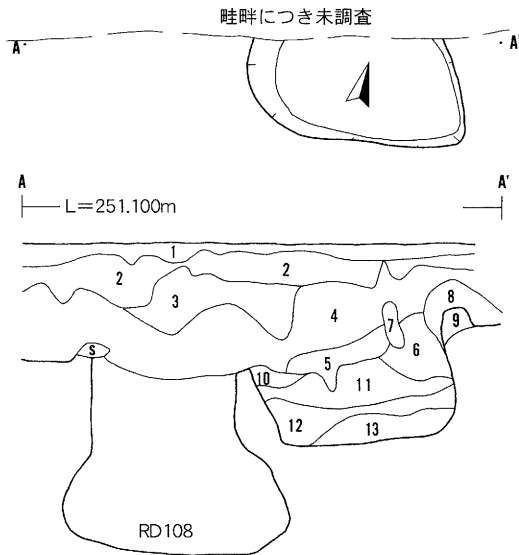
- 1 10YR5/8 黄褐色土 粘性・縮まりなし 10YR4/4褐色土 粘性・縮まりなしの混合土 10YR5/8の土がブロック状に入り込む 浮石粒散在
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石粒散在
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりなし 10YR5/8黄褐色土粒含む
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 10YR5/8黄褐色土粒散在
- 5 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量含む
- 6 7.5YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量含む
- 7 7.5YR5/8 明褐色焼土 粘性・縮まりなし 10YR4/4褐色土との混合土 50:50



第94図 RD76・84・86・87・89・99 土坑



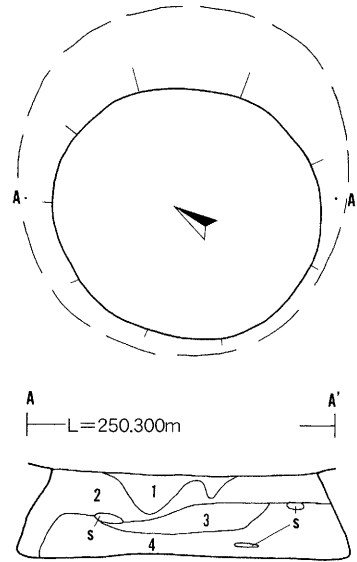
RD88



RD88 (A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 一部焼土ブロック状に入る 浮石微量含む
- 2 10YR2/1 黒色土 粘性・縮まりなし 浮石微量含む
- 3 10YR3/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし(2層と4層の漸移層)浮石微量含む
- 4 7.5YR4/3 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化粒含む
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR4/6褐色土 粘性・縮まりややありの混合土 浮石微量含む
- 7 10YR3/4 暗褐色土主体 粘性・縮まりややあり 10YR3/3暗褐色土混じり(木根痕?)
- 8 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり
- 9 10YR5/8 黄褐色土 粘性・縮まりなし 地山(?)掘りすぎか?
- 10 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりあり主体 10YR4/6褐色焼土散在 粘性・縮まりあり
- 11 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし
- 12 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり
- 13 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりややあり

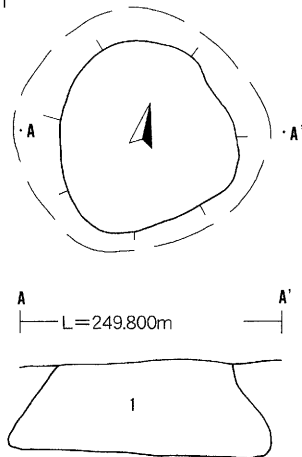
RD90



RD90 (A-A')

- 1 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含むが炭化物は含まない
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR2/3黒褐色土 砂含む 浮石微量含む
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 10YR2/2黒褐色土 層状に含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 砂 浮石少量含む

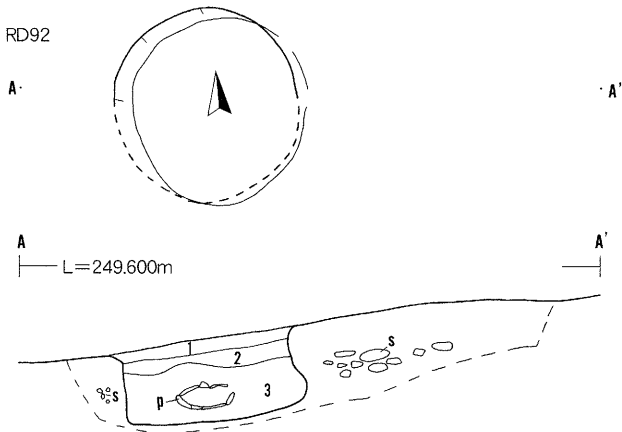
RD91



RD91 (A-A')

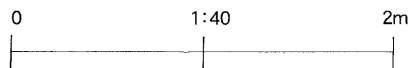
- 1 10YR4/6 褐色土主体 粘性・縮まりややあり 10YR3/4暗褐色土混じり 粘性・縮まりややあり 炭化材含む浮石 埋土全体に散在

RD92

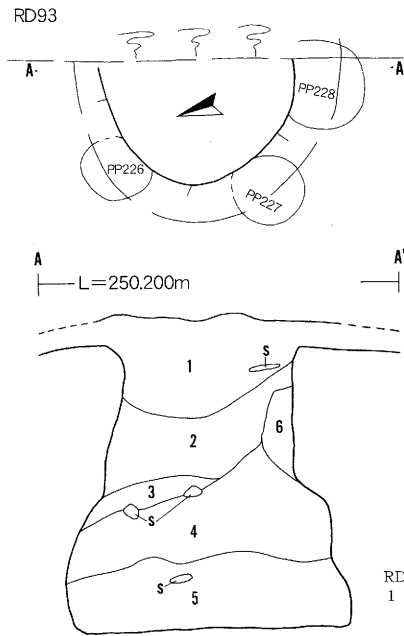


RD92 (A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化粒 浮石微量含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりなし 10YR4/4褐色土 粘性・縮まりややありとの混合土 浮石微量含む
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり (但し2層の10YR4/4の土よりは粘性なし) 炭化粒微量 浮石含む (土器出土)

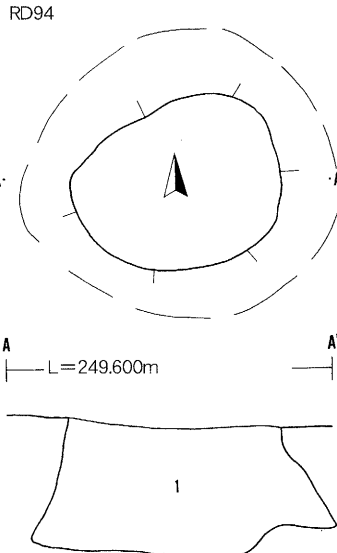


第95図 RD88・90~92 土坑



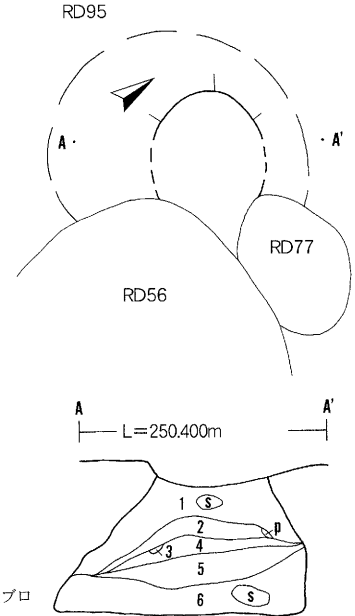
RD93 (A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややなし 浮石 炭化粒含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量 炭化粒極微量含む
- 3 7.5YR5/6 明褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量含む
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 10YR4/6褐色土 粘性・縮まりなしブロック状に含む
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 10YR5/8黄褐色土 粘性・縮まりなしが帯状に堆積 炭化粒含む
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む 壁との漸移層 (崩落土?)



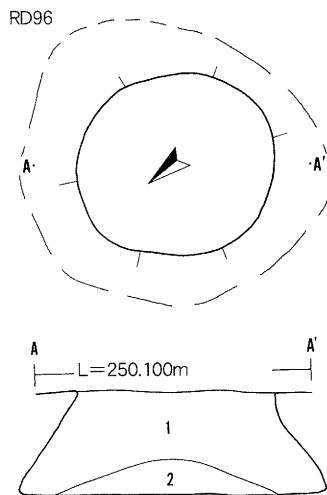
RD94 (A-A')

- 1 10YR4/4~3/4 褐色~暗褐色土に10YR5/6褐色土が少量ブロック状に入る 炭化粒 浮石微量 礫少量含む 粘性・縮まりややあり



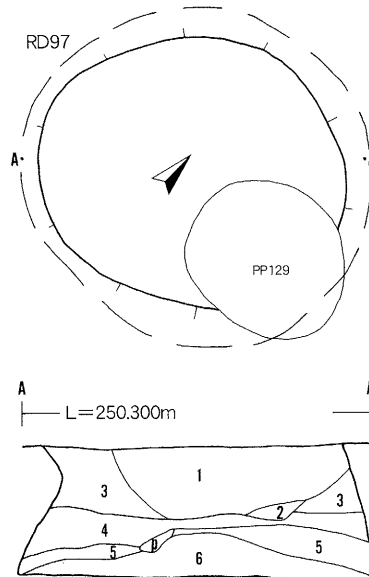
RD95 (A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化材 浮石微量含む
- 2 7.5YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化材含む
- 3 10YR5/8 黄褐色土 粘性・縮まりあり (地山?)
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化材含む
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややなし 炭化材 浮石微量含む
- 6 7.5YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化粒 浮石微量含む



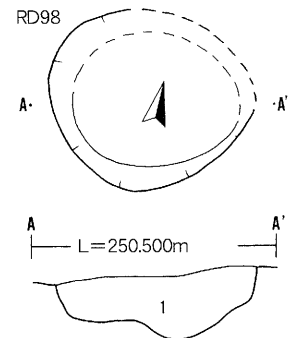
RD96 (A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりなし 浮石極微量散在
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし



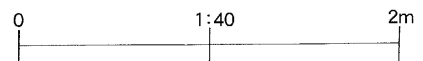
RD97 (A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 浮石 炭化材 焼土微量含む 粘性・縮まりややあり
- 2 10YR3/4 暗褐色土 炭化材微量 焼土含む 粘性ややあり 縮まりなし
- 3 10YR3/3~3/4 暗褐色土 浮石 炭化材 焼土微量含む 粘性ややあり 縮まりなし
- 4 10YR3/2 黒褐色土 浮石 炭化材少量含む 粘性・縮まりややあり
- 5 10YR3/4 暗褐色土主体に10YR4/6褐色土が入る混合土 浮石 炭化粒微量入る 粘性・縮まりややあり
- 6 10YR3/4 暗褐色土 浮石やや多めに含む 炭化粒極微量 粘性あり 縮まりややあり



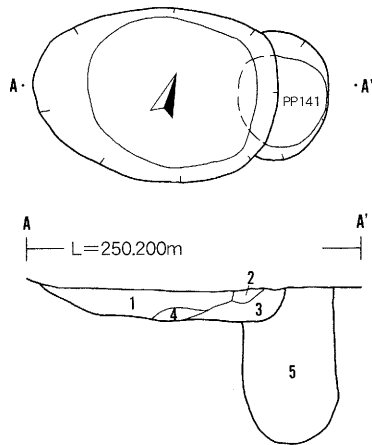
RD98 (A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 浮石 炭化粒 礫微量含む 粘性・縮まりややあり



第96図 RD93~98 土坑

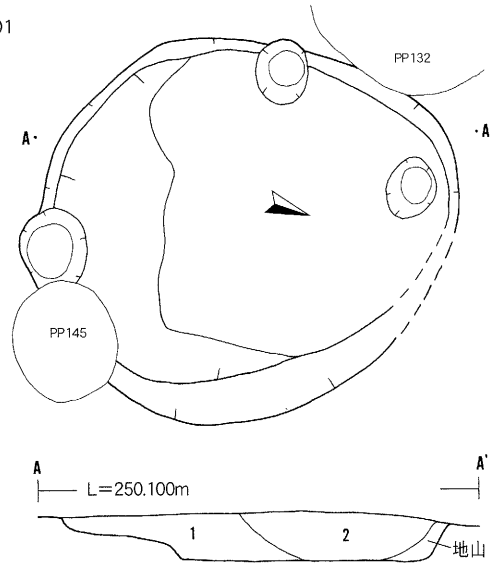
RD100



RD100・PP141 (A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土主体 10YR4/6少量ブロック混入 浮石少量含む
- 2 10YR4/4 褐色土主体 粘性なし 縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 3 10YR4/4~4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む
- 4 10YR5/8 黄褐色土 粘性・縮まりややあり
- PP141 5 7.5YR4/4 褐色土 粘性・縮まりなし 浮石微量含む

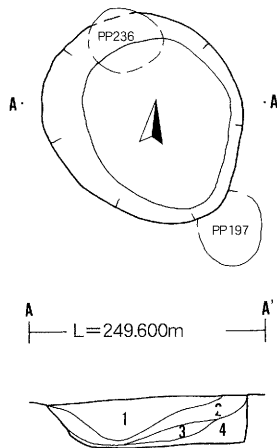
RD101



RD101 (A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 赤色浮石 礫少量含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土に10YR4/6褐色土が少量入る 焼土粒微量含む 粘性・縮まりややあり

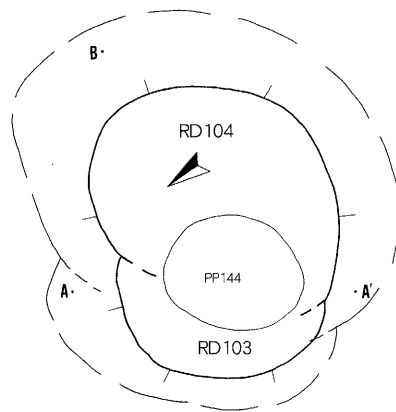
RD102



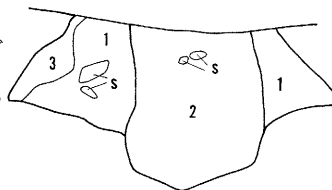
RD102 (A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりなし
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりなし 浮石少量含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり
- 4 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりなし (地山)

RD103・104

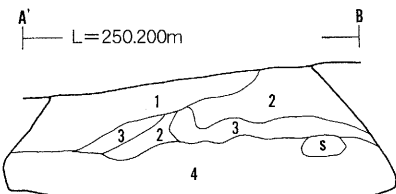


L=250.200m



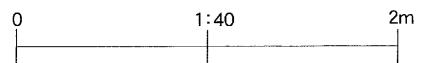
RD103・PP144 (A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- PP144 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり



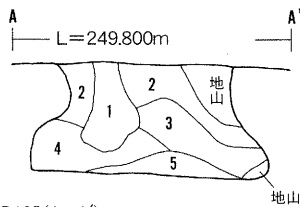
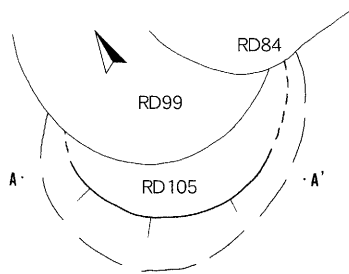
RD104 (A'-B)

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭 礫 含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 礫含む
- 3 10YR5/8 黄褐色土 粘性・縮まりややあり
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり (10YR2/3 黒褐色土少々混入)



第97図 RD100~104 土坑

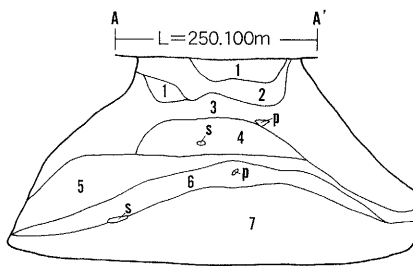
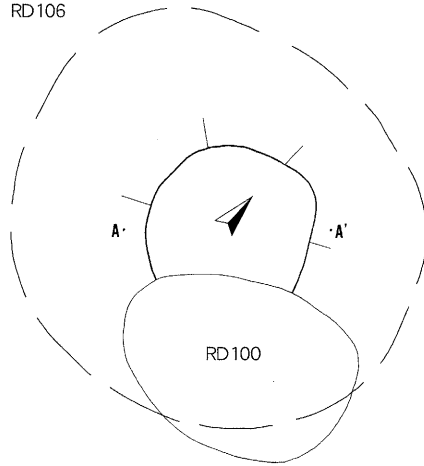
RD105



RD105(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土と2.5YR3/6暗赤褐色焼土との混合土 粘性あり 締まりややあり木炭含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりあり 木炭木根 礫含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 締まりなし 炭化物(炭)含む 7.5YR5/8明褐色土ブロックで含む
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 締まりかなりあり炭化物(炭)含む
- 5 10YR5/8 黄褐色土 粘性・締まりややあり

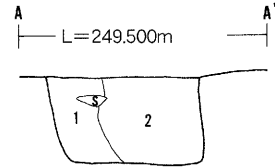
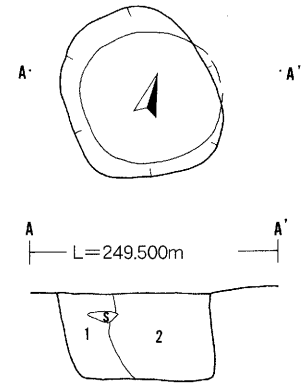
RD106



RD106(A-A')

- 1 10YR5/6 黄褐色土 粘性・締まりなし 10YR4/4褐色土 粘性・締まりなしの混合土 炭化物含む
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性・締まりなし 浮石微量含む 10YR5/8黄褐色土 粘性ややあり 締まりややなしをブロック状に含む
- 3 10YR3/2 黒褐色土 粘性・締まりなし 浮石 炭化粒微量 土器片含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりややあり浮石 炭化粒含む
- 5 10YR2/2 黒褐色土 粘性・締まりなし 10YR4/6褐色土 粘性・締まりややありとの混合土 黒褐色土上に炭化粒微量含む
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりややあり炭化粒微量 土器片含む
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややあり但し6層よりは粘性・締まりなし 浮石炭化粒共に微量含む

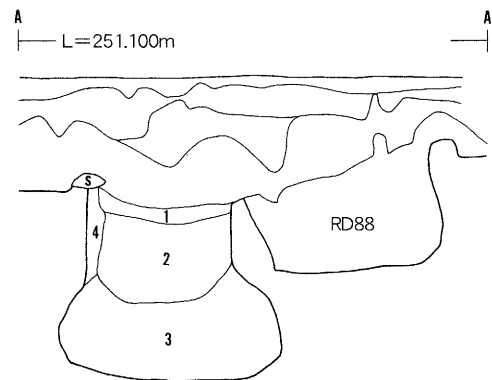
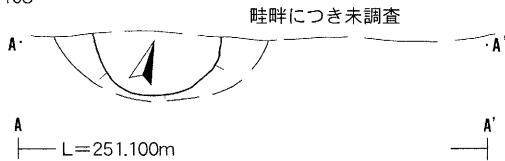
RD107



RD107(A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土と10YR3/4暗褐色土の混合土 浮石微量含む 粘性・締まりややあり
- 2 10YR3/4~4/4 暗褐色~褐色土 浮石 炭化粒微量含む 粘性ややあり 締まりなし

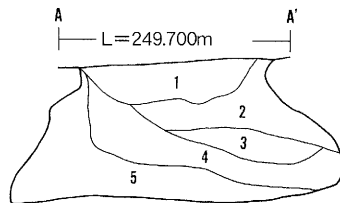
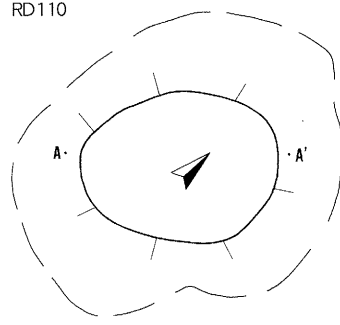
RD108



RD108(A-A')

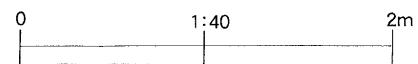
- 1 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/6褐色土との混合土 粘性・締まりなし 浮石微量含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややあり主体 10YR5/6黄褐色土 粘性・締まりなしをブロック状に含む 浮石微量
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりあり 炭化材所々に混じる 浮石微量含む
- 4 10YR5/6 黄褐色土 粘性・締まりあり 壁の崩落土

RD110

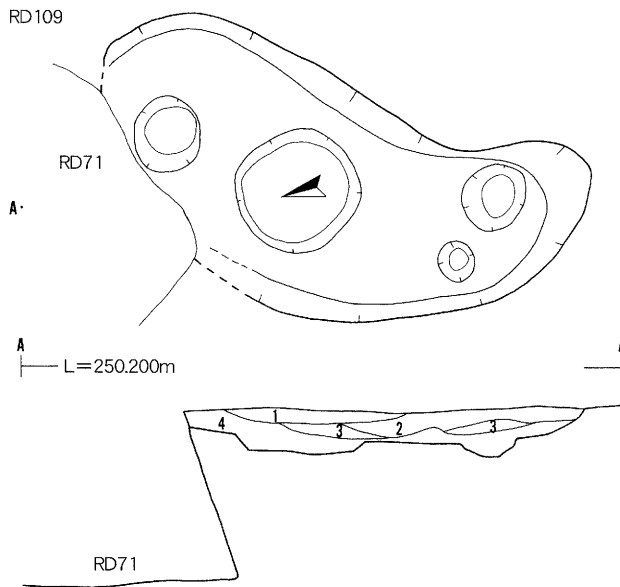


RD110(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 締まりややあり 浮石少量炭化物微量含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 締まりあり 地山崩落土か? 浮石極微量含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややあり 礫多量含む
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性・締まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 5 10YR4/4 褐色土 粘性・締まりややあり 浮石微量含む

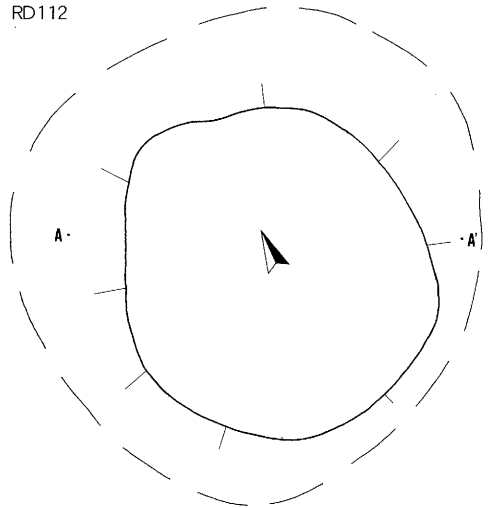


第98図 RD105~108・110 土坑

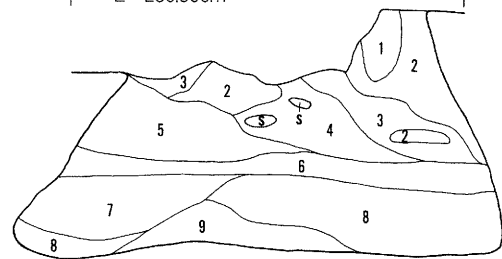


RD109(A-A)

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 浮石微量含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 5YR3/6暗赤褐色焼土がブロック状に混じる
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量含む
- 4 10YR4/6 褐色土 10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性・縮まりなし

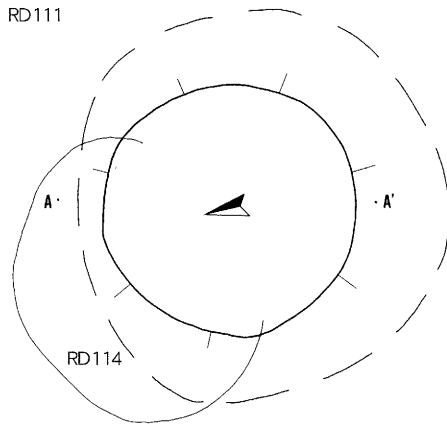


A A' L=250.300m

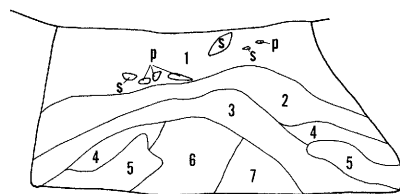


RD112(A-A)

- 1 7.5YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 炭化物 2.5YR3/6暗赤褐色焼土含む
- 2 10YR5/6 黄褐色土 壁の崩落土
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石少々含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりなし 石礫 土器片含む
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 炭化物 10YR7/8黄褐色土含む
- 6 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり
- 7 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石少々含む
- 8 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり ブロックで10YR7/8黄褐色土含む
- 9 10YR4/4 褐色土 10YR2/2黒褐色土と混合土 粘性ややあり 縮まりあり



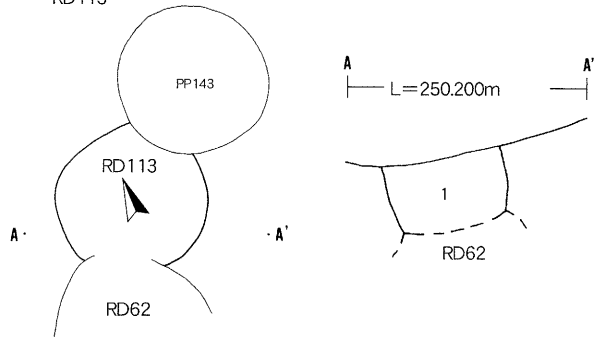
A A' L=250.200m



RD111(A-A)

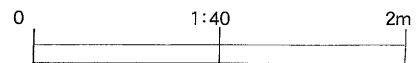
- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量 土器片 礫含む
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR5/6黄褐色土(地山) ブロック状に含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 5 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 縮まりかなりあり 地山ブロック
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR5/6黄褐色土ブロック若干含む
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり やや砂質

RD113



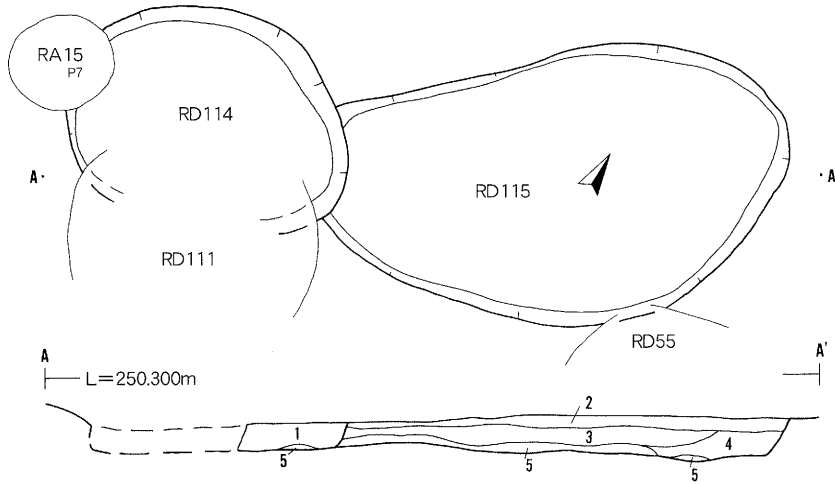
RD113(A-A)

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石含む 所々10YR5/8黄褐色土(地山)ブロック状に混じる



第99図 RD109・111~113 土坑

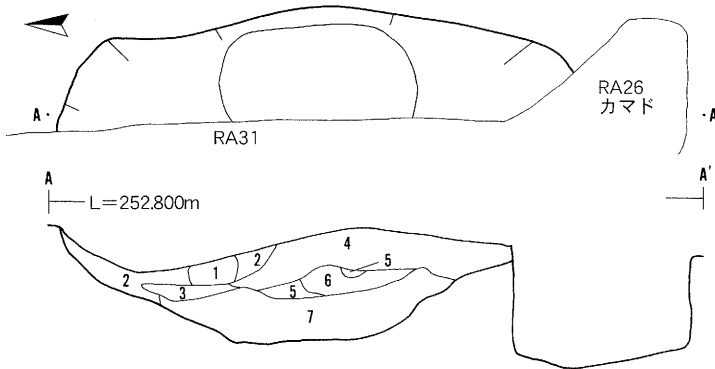
RD114・115



RD114・115(A-A')

- 1 7.5YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりなし 炭化物 浮石粒(黄褐色)
- 2 7.5YR4/4 褐色土 粘性・締まりややあり 炭化物
- 3 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりなし 浮石粒(黄褐色)・若干混じる
- 4 7.5YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりなし 炭化物
- 5 7.5YR4/6 褐色土 地山? 掘りすぎ

RD116



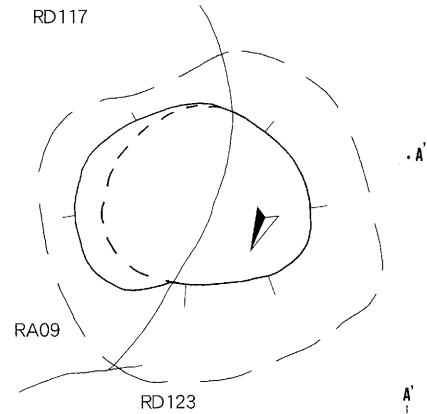
RD116(A-A')

- 1 10YR2/1 黒色土 粘性・締まりなし 浮石微量
- 2 10YR3/2 黒褐色土 粘性・締まりなし 浮石
- 3 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性・締まりややあり 浮石微量
- 4 10YR3/2 黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土がブロック状に混じり合う
- 5 4に黒色土が混じり黒ずんでいる
- 6 10YR4/4 褐色土に10YR2/1黒色土がかなり大きく入り込んでいる 粘性なし 締まりややなし
- 7 10YR4/4 褐色土 粘性あり 締まりややなし

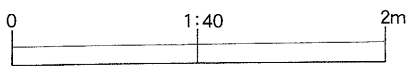
RD117(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 10YR7/8黄橙色土との混合土 粘性ややあり 締まりあり 炭化物 浮石少々含む
- 2 10YR5/6 黄褐色土 粘性・締まりあり(地山の崩落土)
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりややあり 炭化物含む
- 4 10YR5/8 黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり

RD117

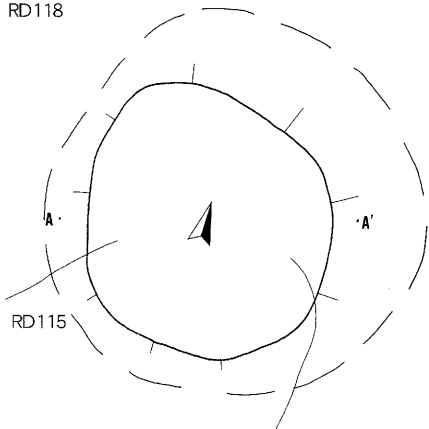


L=250.600m



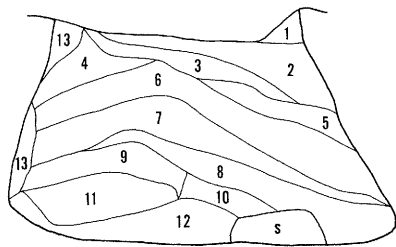
第100図 RD114~117 土坑

RD118



RD115

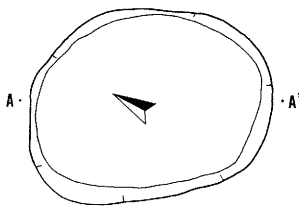
L=250.300m



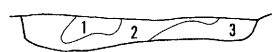
RD118(A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物 焼土 少量含む
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物微量含む
- 6 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり 浮石 小礫少量含む
- 7 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり 浮石 小礫含む
- 8 10YR5/6 黄褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 砂を層状に含む
- 9 10YR5/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR4/6褐色土 層状に混じる
- 10 10YR5/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量含む
- 11 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 縮まりかなりあり 浮石微量含む
- 12 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 13 10YR5/6 黄褐色土(壁崩落土)

RD121



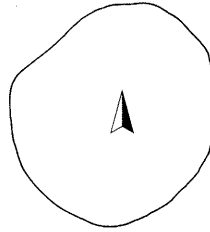
L=250.100m



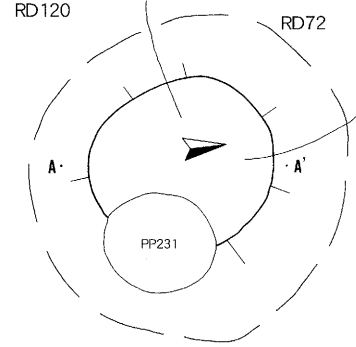
RD121(A-A')

- 1 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりややあり 縮まりややあり
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物少量含む
- 3 10YR5/6 黄褐色土 粘土質 粘性・縮まりかなりあり

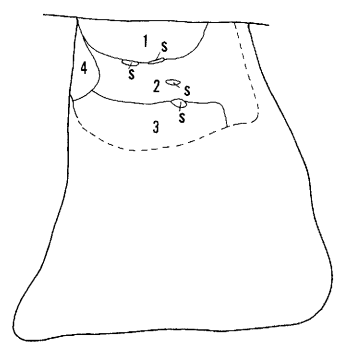
RD119



RD120



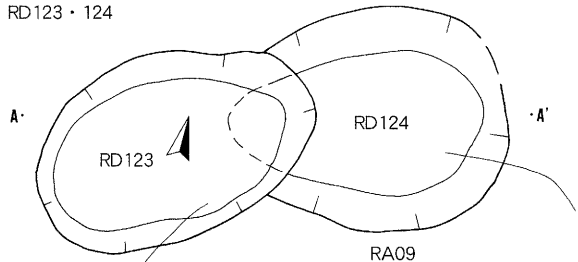
L=249.700m



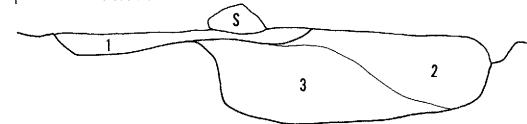
RD120(A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 礫含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 礫 炭化物含む
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 砂混じり 礫含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり(地山)

RD123・124

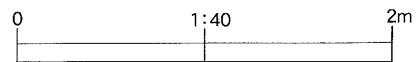


L=250.500m



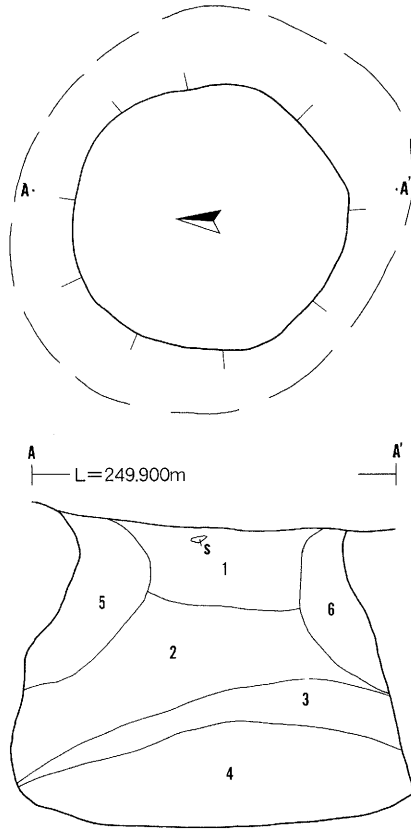
RD123・124(A-A')

- RD123 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 10YR5/6~5/8黄褐色土がブロック状に混じる 浮石 炭化粒微量
- RD124 2 10YR3/3~3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物少量含む
- 3 10YR3/3~2/3 暗褐~黒褐色土と10YR5/6~4/6黄褐~褐色土の混合土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化粒微量



第101図 RD118~121・123・124 土坑

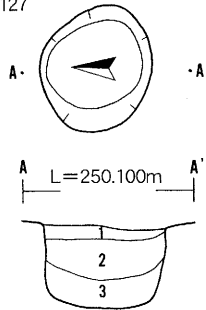
RD122



RD122(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 焼土粒微量炭化物含む
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり(2よりもあり)浮石微量炭化物極微量含む
- 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量含む
- 5 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり
- 6 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 縮まりかなりあり(地山)

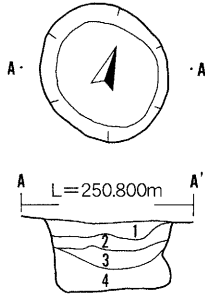
RD127



RD127(A-A')

- 1 10YR3/3~2/3 暗褐色土~黒褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化材微量含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/6褐色土が微量にブロックで入る 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化材微量 土器片含む
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む(1.2より少量)

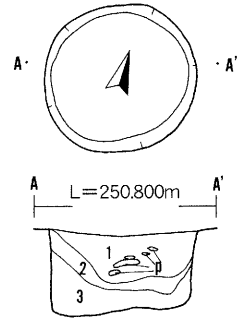
RD125



RD125(A-A')

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし 炭 浮石 礫含む 表面に焼土ブロック
- 2 5YR2/4 極暗赤褐色土 粘性・縮まりなし 炭含む 焼土帯である
- 3 10YR3/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし 炭 浮石含む
- 4 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性・縮まりなし 浮石含む

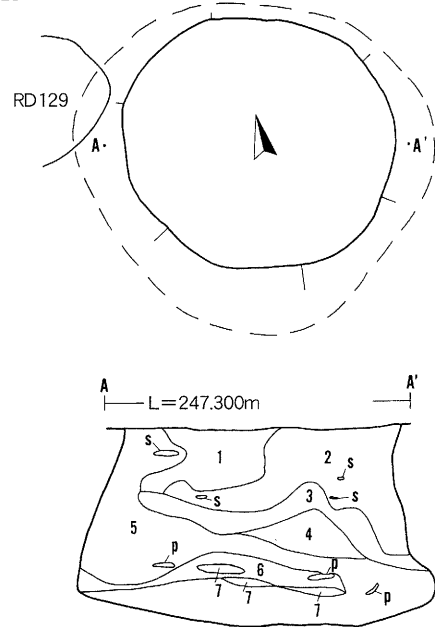
RD126



RD126(A-A')

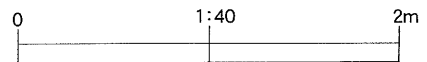
- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 礫 炭化物含む
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり(1よりあり)礫 炭化物含む
- 3 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性・縮まりややあり 礫含む

RD128



RD128(A-A')

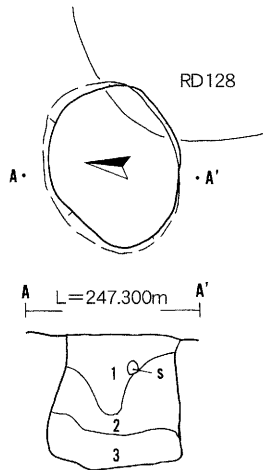
- 1 10YR5/6 黄褐色土 粘性なし 縮まりややあり 礫少量含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量 小礫少量含む
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物 3より少ないが微量含む
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 6 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量 炭化物層状に含む
- 7 5YR3/6 暗赤褐色土 粘性・縮まりややあり 焼土



第102図 RD122・125~128 土坑



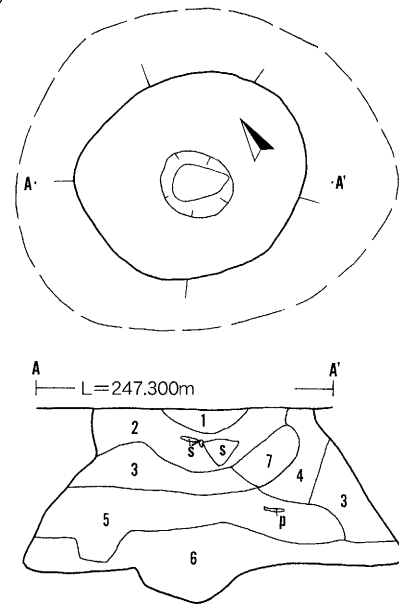
RD129



RD129(A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 10YR3/4暗褐色土 粘性なし 縮まりあり  
黒色土ブロック状含む
- 2 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりあり 黒色土含む
- 3 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりあり

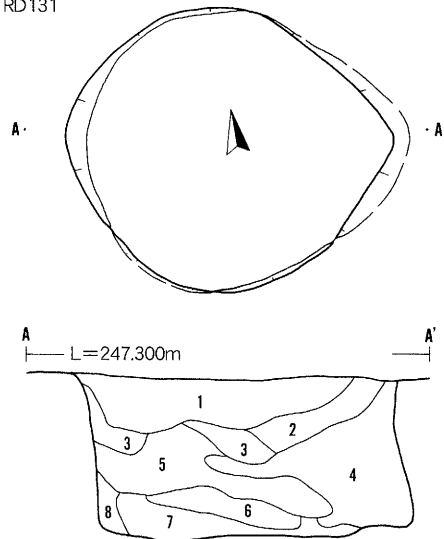
RD130



RD130(A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり オレンジの浮石微量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし オレンジの浮石微量
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりなし オレンジの浮石 炭化物微量
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりなし
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物微量 焼土含む
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり オレンジの浮石微量
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし オレンジの浮石 炭化物微量

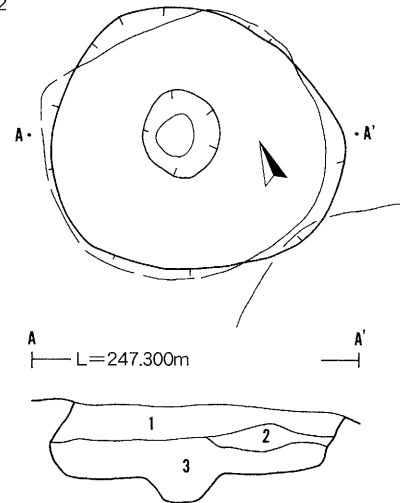
RD131



RD131(A-A')

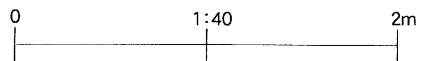
- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり 炭化物 浮石微量少量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物 浮石微量含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 焼土 炭化物
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 炭化物 浮石微量
- 5 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物少量含む
- 6 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物微量 10YR4/4褐色土  
ブロック状を含む
- 7 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり
- 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物微量 浮石 10YR4/4  
褐色土含む

RD132



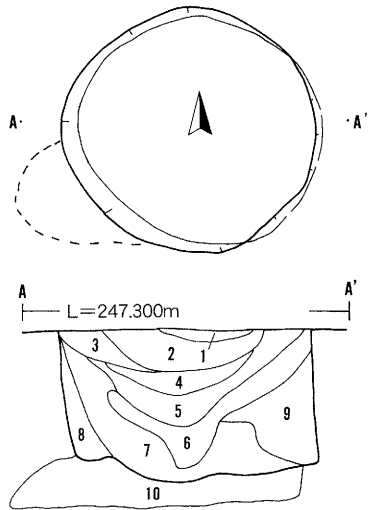
RD132(A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 10YR3/3暗褐色土の混合土 粘性なし 縮まりあり  
オレンジの浮石 炭化物あり
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりあり オレンジの浮石微量
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり オレンジの浮石  
微量 植物根 床 周囲に自然の大きな礫多量含む



第103図 RD129~132 土坑

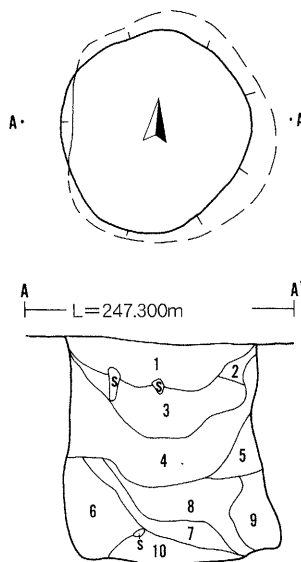
RD133



RD133(A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりあり オレンジの浮石 炭化物微量含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりあり オレンジの浮石微量 黒色土含む
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり 黒色土含む
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし
- 5 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物微量含む
- 6 10YR3/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物層上を含む 礫やや多量 焼土極微量含む
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物微量含む
- 8 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 9 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 10 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりなし

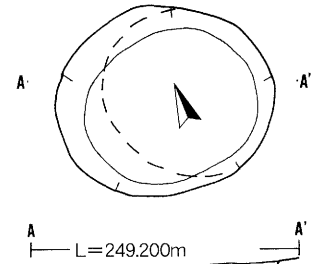
RD134



RD134(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり 炭化物 オレンジの浮石微量
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりあり オレンジの浮石微量
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりあり 黒色土含む 炭化物微量
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化物 オレンジの浮石微量
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化物微量
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりなし オレンジの浮石微量
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし 炭化物微量
- 8 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし オレンジの浮石微量
- 9 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし 黒色土含む
- 10 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりなし オレンジの浮石 炭化物微量

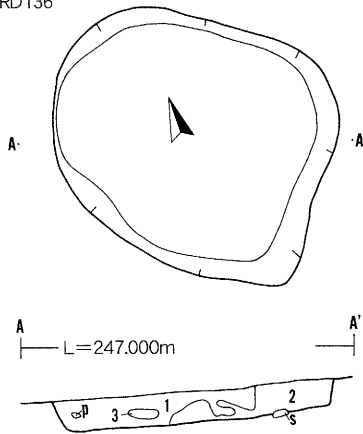
RD135



RD135(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり 礫少量 焼土粒 炭化物微量含む

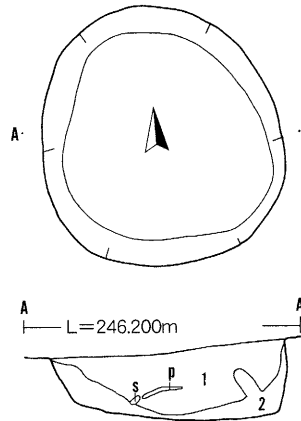
RD136



RD136(A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし オレンジの浮石微量含む
- 2 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりややなし
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり

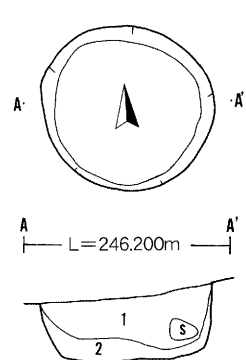
RD137



RD137(A-A')

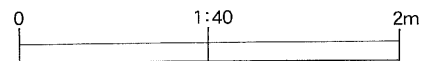
- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりややなし 10YR4/4褐色土壁側に多量含む
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりなし

RD138



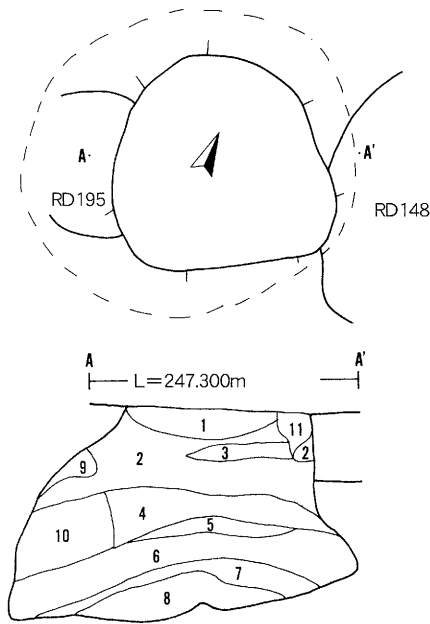
RD138(A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりややなし
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし



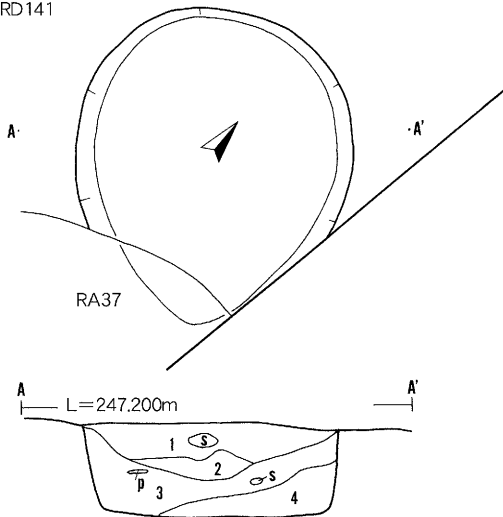
第104図 RD133~138 土坑

RD139



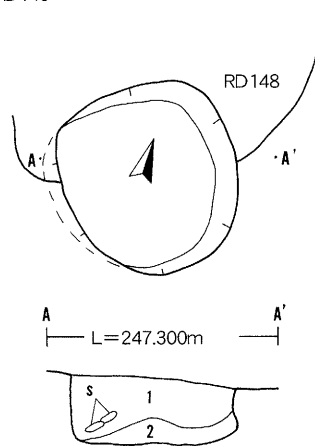
- RD139(A-A')
- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 締まりあり 炭化物 浮石微量 礫少量
  - 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややあり 炭化物 浮石微量含む
  - 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややあり 焼土 炭化物
  - 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 締まりややあり 炭化物 浮石微量
  - 5 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりあり 炭化物少量含む
  - 6 10YR3/3 暗褐色土 粘性・締まりややあり 炭化物微量 10YR4/4褐色土をブロック状に含む
  - 7 10YR4/4 褐色土 粘性・締まりあり
  - 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややあり 炭化物微量 浮石含む 10YR4/4褐色土含む
  - 9 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/4褐色土の混合土 割合同じ 粘性・締まりややあり 浮石微量含む
  - 10 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/4褐色土の混合土 粘性ややあり 締まりあり 浮石 炭化物微量含む
  - 11 10YR4/6 褐色土 粘性なし 締まりややあり

RD141



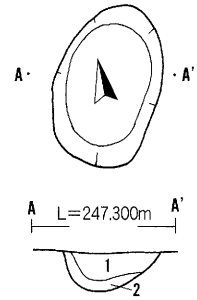
- RD141(A-A')
- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 褐色土(10YR4/6) 礫少量含む
  - 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性あり 締まりややなし 褐色土微量
  - 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 締まりなし 褐色土少量 礫(1層より大きい)微量含む
  - 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 締まりややなし 褐色土少量含む

RD140



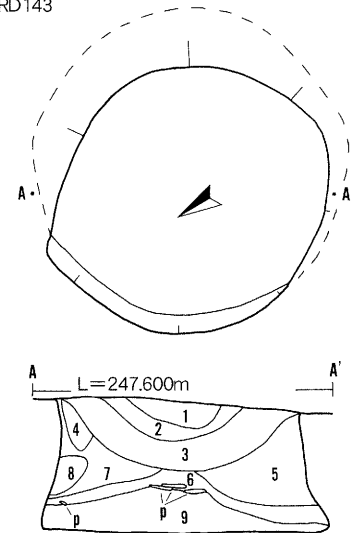
- RD140(A-A')
- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 締まりあり 炭化物ブロック状に含む 浮石 礫少量含む
  - 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 締まりややあり 炭化物 浮石微量含む

RD142

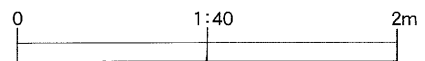


- RD142(A-A')
- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まりややなし
  - 2 10YR4/4 褐色土 粘性なし 締まりややなし

RD143

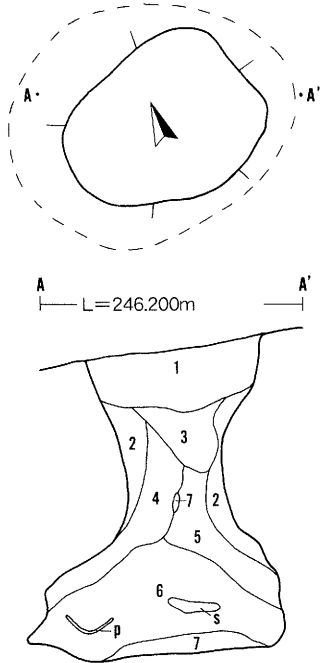


- RD143(A-A')
- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 締まりあり 黒褐色土含む(10YR2/3か?) オレンジの浮石微量
  - 2 10YR4/6 褐色土 粘性なし 締まりあり 黒褐色土少量含む オレンジの浮石 炭化物微量
  - 3 10YR4/4 褐色土 粘性あり 締まりややなし 黒褐色土 オレンジの浮石 炭化物微量
  - 4 10YR4/4 褐色土 粘性あり 締まりなし 黒褐色土 オレンジの浮石微量
  - 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 締まりややなし オレンジの浮石 炭化物微量
  - 6 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり 締まりなし オレンジの浮石 炭化物微量
  - 7 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりややあり 暗褐色土含む
  - 8 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 締まりややなし 炭化物微量
  - 9 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 締まりなし 褐色土含む 炭化物微量



第105図 RD139~143 土坑

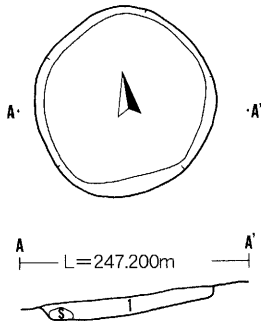
RD144



RD144(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりあり 小角礫 土器片含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりあり オレンジの浮石含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 10YR4/6褐色土 ブロック状に含む 白色浮石あり
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりなし
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりなし 崩れやすい
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややあり 炭化物含む
- 7 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/6褐色土の混合 部分的に締まりあり(褐色土の部分)

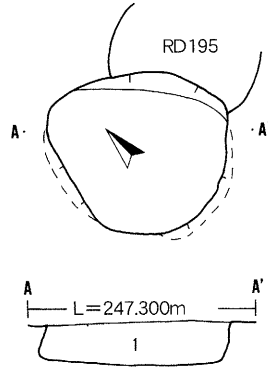
RD147



RD147(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 締まりあり オレンジの浮石 炭化物微量 黒褐色土少量

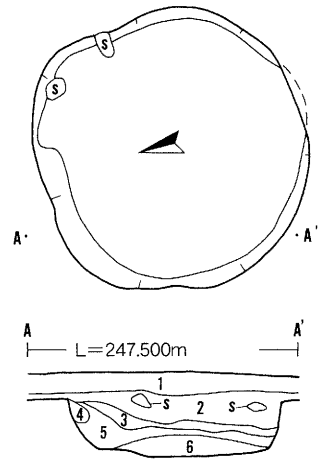
RD145



RD145(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりなし オレンジの浮石微量

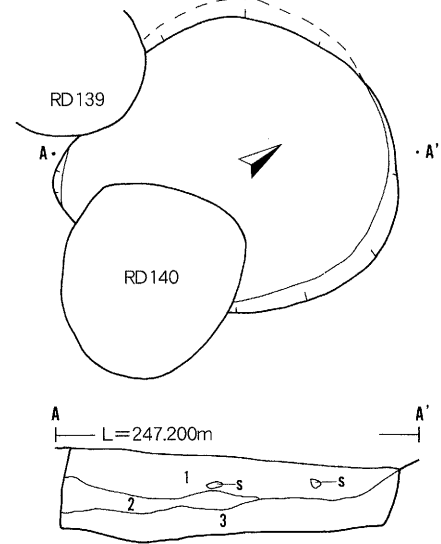
RD146



RD146(A-A')

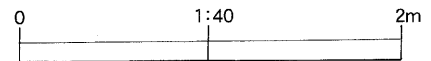
- 1 10YR3/4 暗褐色土 10YR2/3黒褐色土の混合土 粘性なし 締まりややなし オレンジの浮石 礫微量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 性ややあり 締まりあり オレンジの浮石微量 黒色土含む
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性・締まりややなし オレンジの浮石微量 褐色土含む
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりややなし
- 5 10YR4/4 褐色土 粘性・締まりあり 黒色土微量含む
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 締まりなし オレンジの浮石微量 褐色土(10YR4/6か?)少量下部に含む

RD148



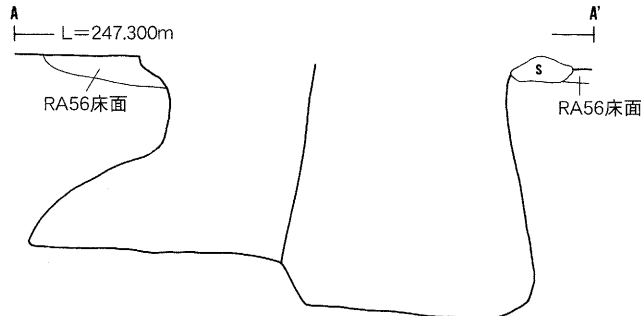
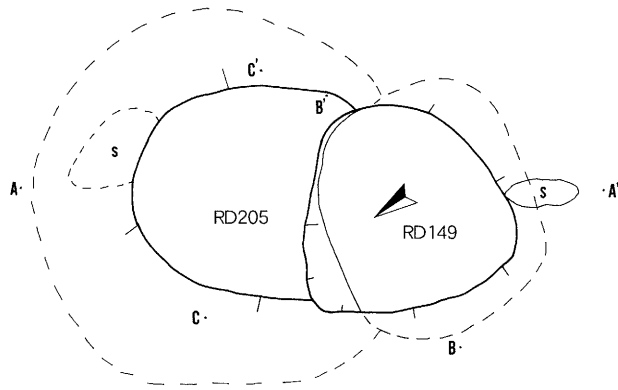
RD148(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりあり オレンジの浮石 炭化物少量 黒褐色土含む 礫あり
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりややあり オレンジの浮石微量 褐色土含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 締まりなし オレンジの浮石微量 炭化物ブロック状に含む 礫あり



第106図 RD144~148 土坑

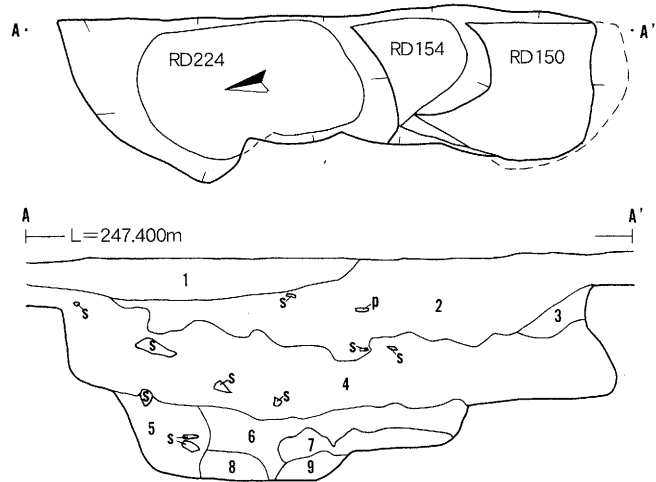
RD149・205



RD149(B-B')

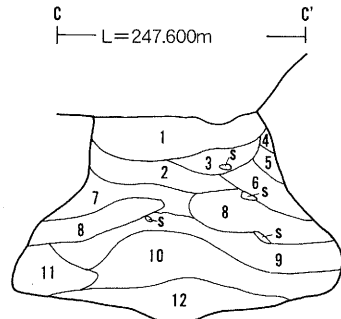
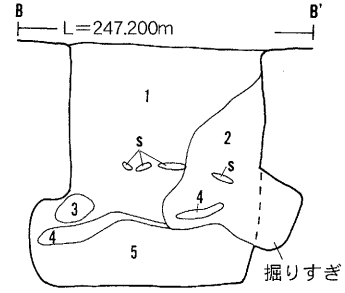
- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし オレンジの浮石 炭化物微量礫あり
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし 炭化物微量
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりなし
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし 黄褐色土含む 炭化物微量
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし オレンジの浮石 炭化物微量 礫あり

RD150・154・224



RD224・154・150(A-A')

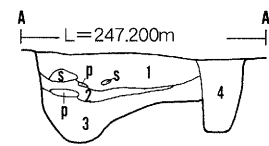
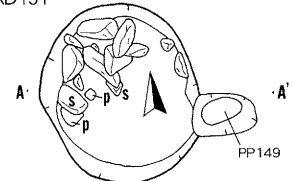
- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりあり(ブロック状に10YR4/6褐色土 粘性・縮まりあり含む) 炭化物含む
- 2 10YR4/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物少量
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりなし 浮石 炭化物微量
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 木炭片の塊含む
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 8 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし
- 9 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりかなりあり 小礫多量含む



RD205(C-C')

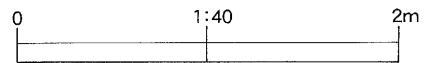
- 1 10YR4/4 褐色土 10YR4/6褐色土(混合土) 粘性あり 縮まりややなし オレンジの浮石 炭化物微量 礫あり
- 2 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/6褐色土(混合土) 粘性ややあり 縮まりややなし オレンジの浮石 炭化物微量
- 3 10YR4/4 褐色土(部分的に10YR2/3黒褐色土を含む) 粘性・縮まりあり 浮石 炭化物微量
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量
- 5 10YR4/6 褐色土(部分的に10YR4/4褐色土あり) 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量
- 6 10YR4/4 褐色土 10YR2/3黒褐色土(混合土) 粘性あり 縮まりなし オレンジの浮石微量
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石 炭化物微量
- 8 10YR4/6 褐色土 10YR4/4褐色土(混合土) 粘性あり 縮まりややなし オレンジの浮石 炭化物微量
- 9 10YR3/3 暗褐色土 10YR2/3黒褐色土(混合土) 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 10 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりあり 浮石微量 炭化物ブロック状
- 11 10YR4/6 褐色土 10YR3/4暗褐色土(混合土) 粘性ややあり 縮まりややなし
- 12 10YR3/2 黒褐色土 粘性あり 縮まりややなし オレンジの浮石 炭化物微量

RD151



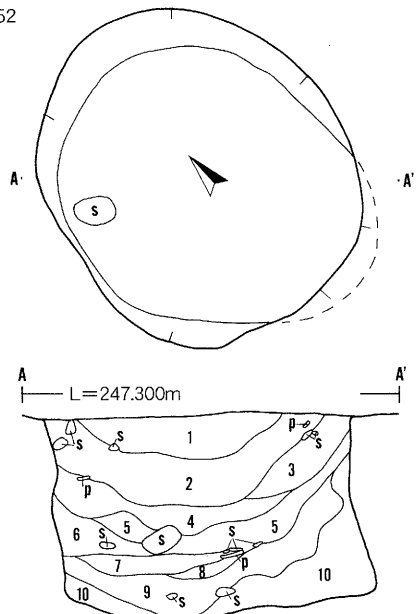
RD151・PP149(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり オレンジの浮石 礫あり
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし オレンジの浮石微量 砂が混じる
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり オレンジの浮石微量 暗褐色土含む
- PP149 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし オレンジの浮石 炭化物微量



第107図 RD149~151・154・205・224 土坑

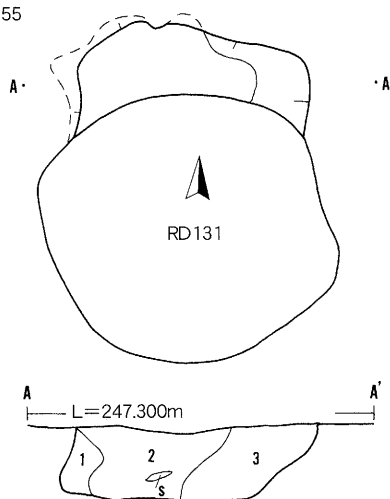
RD152



RD152(A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化物 土器片(後期?) 礫少量含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量 炭化物やや多量 土器片多量 礫やや多量含む
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化物微量 礫少量含む
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり(2よりははずれもない) 浮石 炭化物 礫微量含む
- 5 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/4褐色土の混合土(割合1:1) 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物 礫少量含む
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物 礫少量含む
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量 炭化物 焼土少量含む 土器片多量 粘土(10YR6/4にぶい黄褐色土)30%以上
- 8 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 9 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 10 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石微量含む

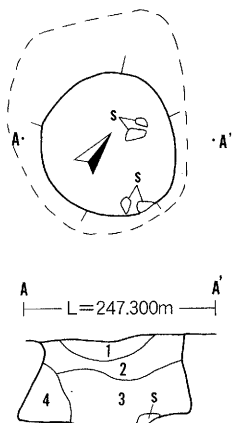
RD155



RD155(A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりあり 炭化物微量 礫あり 暗褐色土含む
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物 オレンジの浮石微量 礫あり 褐色土含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/6褐色土の混合土 炭化物 オレンジの浮石微量 礫あり

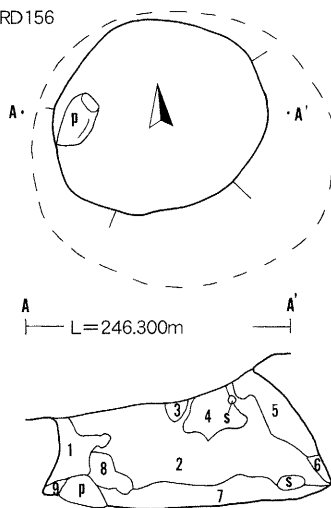
RD153



RD153(A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物微量
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物 オレンジの浮石微量
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりなし 炭化物微量
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりなし 炭化物 オレンジの浮石微量

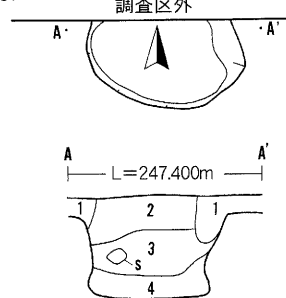
RD156



RD156(A-A')

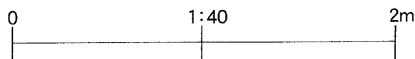
- 1 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石微量
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややなし オレンジの浮石微量 炭化物ブロック状 礫あり
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややなし
- 4 10YR4/6 褐色土と10YR4/4褐色土の混合土 粘性・縮まりあり オレンジの浮石 炭化物微量
- 5 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり オレンジの浮石微量
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり オレンジの浮石微量
- 7 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし オレンジの浮石微量
- 8 10YR4/4 褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合土 粘性あり 縮まりなし オレンジの浮石微量
- 9 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量

RD157



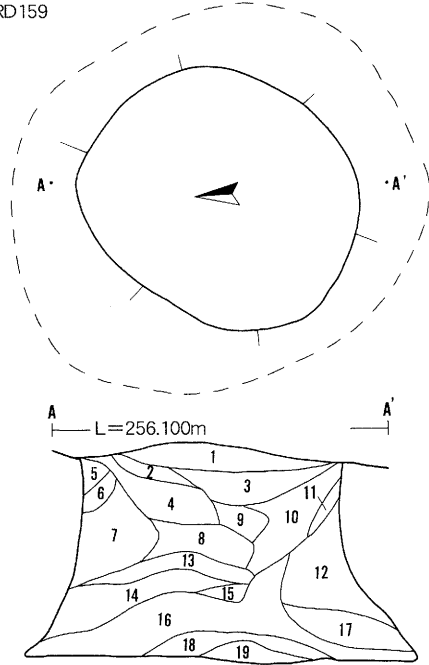
RD157(A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりあり オレンジの浮石微量
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし オレンジの浮石微量 黒褐色土含む 礫あり
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり オレンジの浮石微量 炭化物少量 礫あり
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし



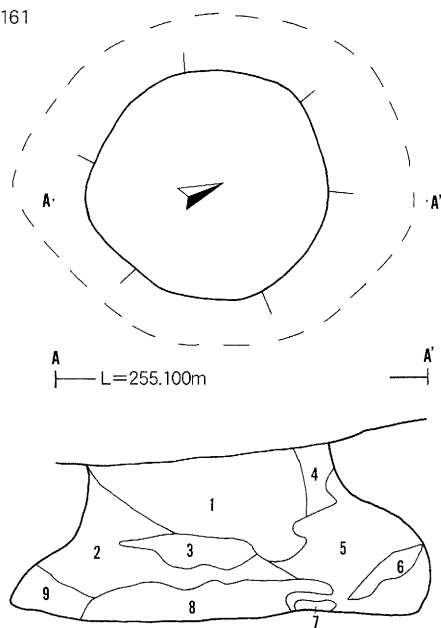
第108図 RD152・153・155~157 土坑

RD159

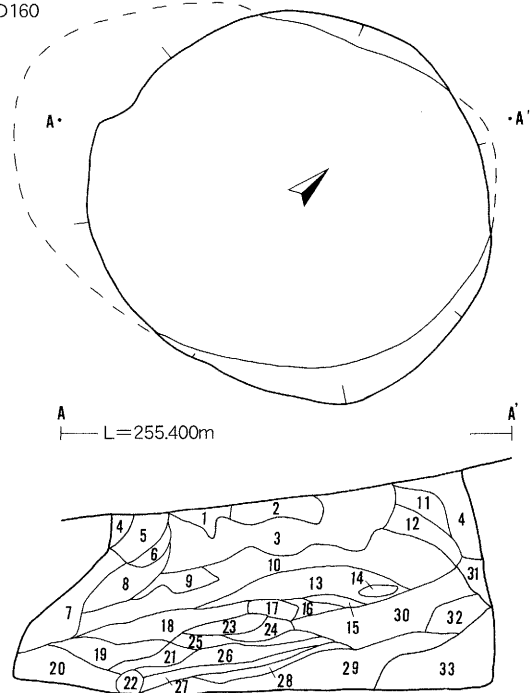


- RD159 (A-A')
- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり 浮石少量 植物根あり炭化物微量
  - 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石少量 炭化物微量
  - 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややなし 浮石含む 植物根あり炭化物微量
  - 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石微量 植物根含む
  - 5 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 植物根あり
  - 6 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりあり 浮石微量
  - 7 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量 植物根あり
  - 8 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石少量
  - 9 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石少量
  - 10 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量
  - 11 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石少量
  - 12 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量
  - 13 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石微量 植物根あり 褐色土含む
  - 14 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりなし オレンジの浮石微量
  - 15 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし
  - 16 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし 浮石微量
  - 17 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりなし
  - 18 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 植物根あり
  - 19 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし

RD161

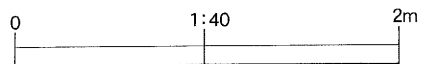


RD160



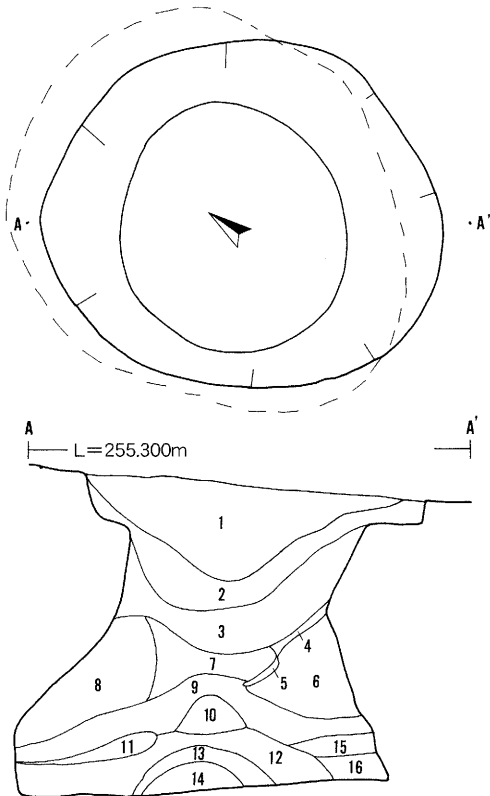
- RD160 (A-A')
- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 植物根多く含む 攪乱か?
  - 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石含む
  - 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり主体 浮石含む 10YR6/6明黄褐色火山灰?30%含む
  - 4 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 縮まりかなりあり 浮石微量含む 掘りすぎ(地山)
  - 5 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 10YR6/6明黄褐色火山灰?5%含む
  - 6 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 明黄褐色火山灰?微量含む
  - 7 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量含む
  - 8 7.5YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量含む
  - 9 7.5YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 明黄褐色火山灰?10%含む
  - 10 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石微量含む 部分的に縮まりかなりあり
  - 11 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量 明黄褐色火山灰?3%含む
  - 12 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石微量 明黄褐色火山灰?20%含む
  - 13 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 明黄褐色火山灰?層状に30%含む 浮石含む
  - 14 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりかなりあり(地山崩落土ブロック)
  - 15 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石微量含む
  - 16 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 明黄褐色火山灰?微量含む
  - 17 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石含む
  - 18 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 明黄褐色火山灰?3%含む
  - 19 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり(ブロック状) 10YR3/4暗褐色土がブロックの隙間に入り込む
  - 20 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり(ブロック状) 10YR4/6褐色土がブロックの隙間に入り込む
  - 21 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりあり 浮石 焼土粒微量含む
  - 22 10YR5/8 黄褐色土 粘性なし 縮まりややあり やや砂質(火山灰?)
  - 23 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
  - 24 10YR6/6 明黄褐色火山灰?主体 粘性なし 縮まりややあり 10YR3/4暗褐色土20%含む 浮石微量含む
  - 25 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石 明黄褐色火山灰?微量含む
  - 26 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石 明黄褐色火山灰?3% 焼土粒含む
  - 27 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりなし 10YR3/4暗褐色土20%含む 浮石微量明黄褐色火山灰?10%含む
  - 28 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりあり 浮石含む
  - 29 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりかなりあり(ブロック状) 10YR2/2黒褐色土 浮石 ブロックの隙間に入り込む
  - 30 7.5YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石含む
  - 31 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりあり 地山 掘りすぎ
  - 32 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりあり 浮石含む
  - 33 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりかなりあり(ブロック状)

- RD161 (A-A')
- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石少量 植物根あり 褐色土含む
  - 2 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりなし 浮石 植物根あり 黒褐色土微量
  - 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし 浮石少量 植物根あり 炭化物微量
  - 4 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 植物根あり 上層部に黒褐色土少量含む(1か?)
  - 5 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりなし 植物根あり
  - 6 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 植物根あり
  - 7 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり
  - 8 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量 植物根あり 褐色土含む(下層部に少量)
  - 9 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石微量 植物根あり 褐色土含む



第109図 RD159~161 土坑

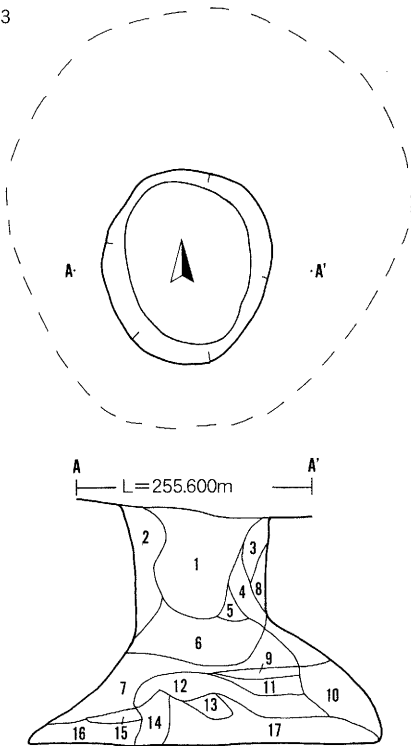
RD162



RD162(A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石微量 植物根あり 褐色土部分的に含む
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量 植物根あり 褐色土南東方面上部に含む
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし 浮石少量 植物根あり
- 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり 縮まりなし
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし オレンジの浮石微量
- 6 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり 縮まりなし 浮石微量
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石 植物根 褐色土含む
- 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし 浮石微量 植物根あり 褐色土含む(混合土)
- 9 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 植物根 褐色土少量含む(混合土)
- 10 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし
- 11 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 12 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 植物根あり 褐色土含む
- 13 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 植物根含む
- 14 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり 縮まりややなし
- 15 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし
- 16 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりなし

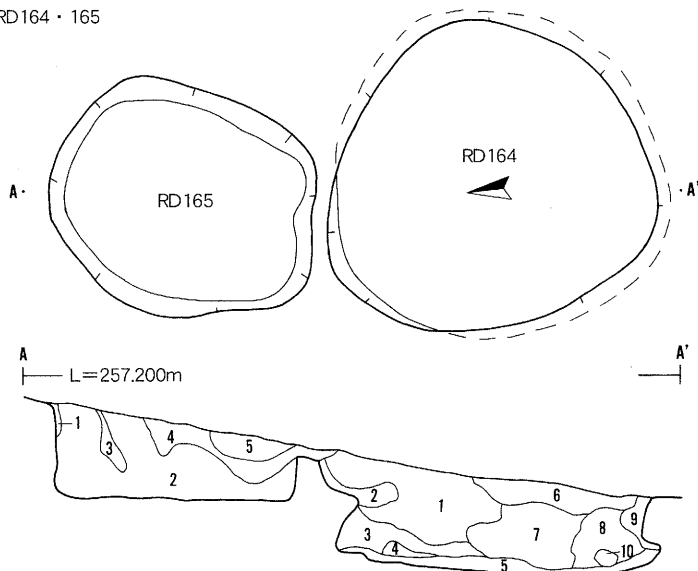
RD163



RD163(A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石少量 植物根あり
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややなし 縮まりややあり 浮石少量 植物根あり
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石微量
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややなし 縮まりややあり 浮石微量
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石少量 礫多量含む
- 7 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややなし
- 8 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり
- 9 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりなし
- 10 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし
- 11 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりなし
- 12 10YR3/2 黒褐色土 粘性あり 縮まりややなし
- 13 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし
- 14 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし
- 15 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし
- 16 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし
- 17 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり 縮まりなし 浮石微量 礫含む

RD164・165

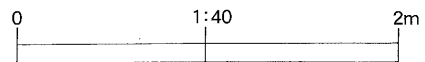


RD164(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややなし 白色浮石含む
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 1と混合 浮石含む
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりややなし オレンジ白色浮石含む
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり オレンジの浮石含む 炭化物微量
- 5 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり 白色浮石 少量含む
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 浮石 スコリア微量含む
- 7 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり オレンジ白色浮石少量含む
- 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石微量
- 9 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし
- 10 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり

RD165(A-A')

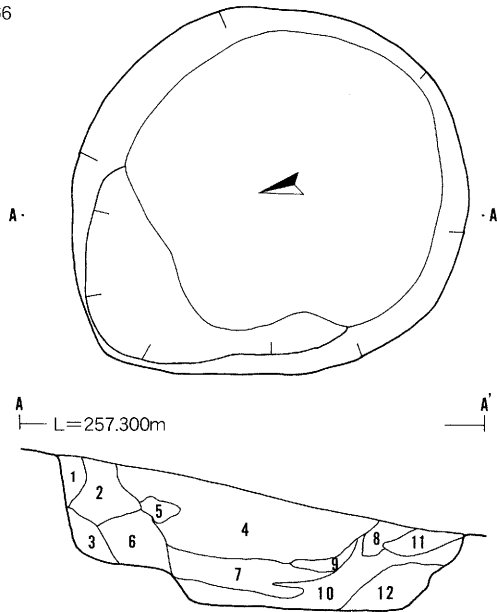
- 1 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石少量
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 木根?
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石微量
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややなし 白色浮石含む



第110図 RD162~165 土坑



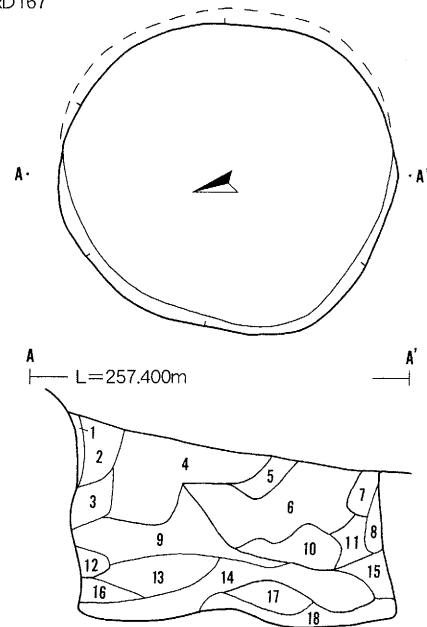
RD166



RD166(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 火山灰をブロック状に含む
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 10YR4/6褐色土をブロック状に含む
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石少量含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石微量含む5より汚れて見える
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量含む
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややなし
- 8 不明
- 9 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし
- 10 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし
- 11 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石微量含む
- 12 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石微量含む

RD167



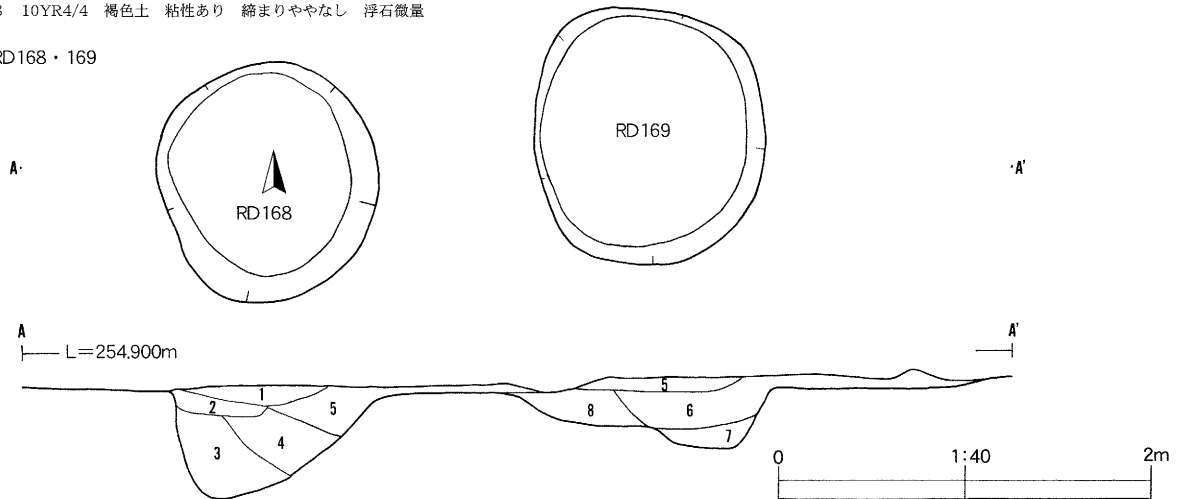
RD167(A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 根あり(植物根)浮石微量
- 3 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 植物根 浮石微量
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりややなし 植物根あり 炭化物微量 浮石少量 褐色土部分的に含む
- 5 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 植物根含む 浮石微量 土層部に暗褐色土含む
- 6 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石微量 黒褐色土含む
- 7 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 植物根あり 浮石微量
- 8 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 植物根 浮石微量
- 9 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 植物根 浮石微量
- 10 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 植物根あり 浮石微量
- 11 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石微量
- 12 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 北側から植物根入り込む 16へつながる
- 13 10YR3/2 黒褐色土 粘性あり 縮まりややなし 植物根 浮石微量
- 14 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石微量
- 15 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 16 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりなし 12より根が入り込む
- 17 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし 浮石微量
- 18 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり

RD168・169(A-A')

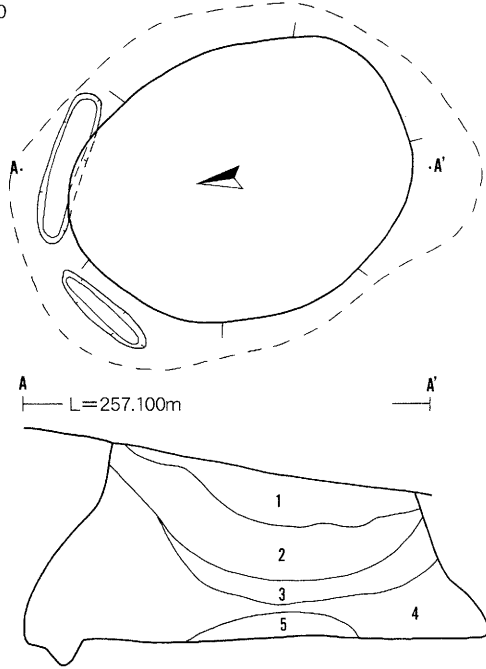
- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石 植物根あり
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりあり 浮石微量
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量 黒褐色土含む
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量
- 6 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石微量 植物根あり
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量 植物根
- 8 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量

RD168・169



第111図 RD166~169 土坑

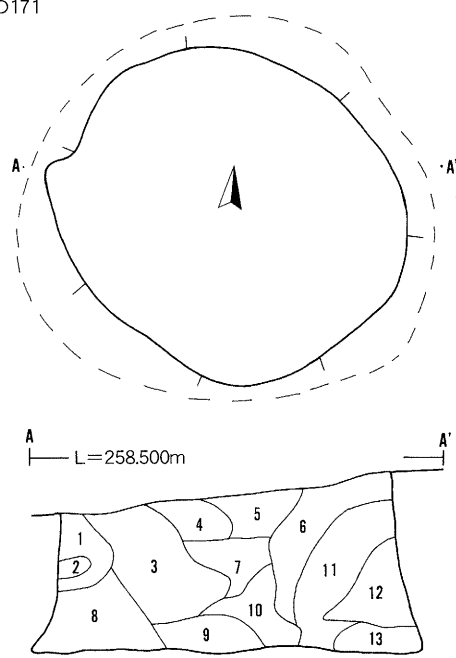
RD170



RD170(A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性ややなし 締まりややあり 浮石少量混入
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややなし 締まりややあり 浮石 褐色土少量混入
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性なし 締まりややあり 浮石 暗褐色土少量混入
- 4 7.5YR4/6 褐色土 粘性・締まりややなし 浮石 黒褐色土少量混入
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややなし 締まりややあり 浮石 炭化物微量混入

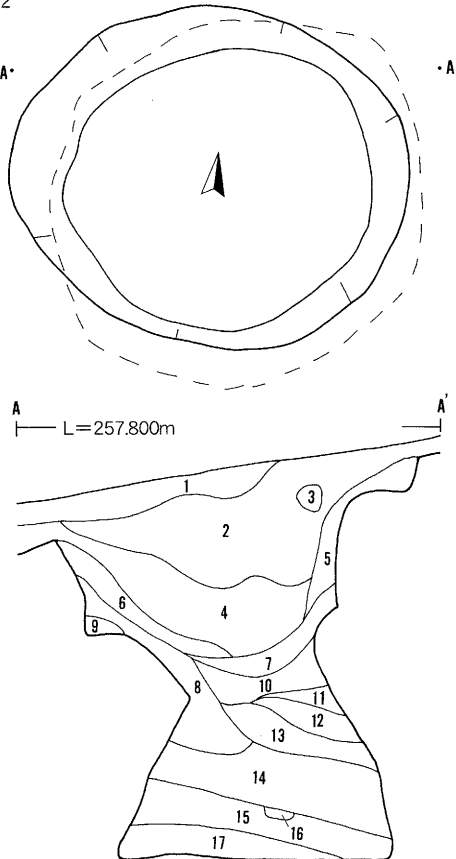
RD171



RD171(A-A')

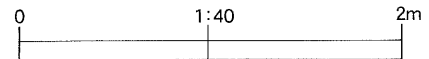
- 1 10YR4/4 褐色土 粘性なし 締まりあり 浮石 炭化物微量 部分的に暗褐色土含む
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 締まりあり 浮石微量 炭化物少量
- 3 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 締まりあり 浮石微量 部分的に暗褐色土少量あり
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性なし 締まりややなし 浮石微量 植物根あり
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石微量
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石微量
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりなし 浮石微量 植物根あり
- 8 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石 炭化物微量
- 9 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石微量
- 10 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりあり 浮石微量
- 11 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 締まりあり 浮石微量
- 12 10YR4/4 褐色土 粘性あり 締まりややなし 浮石少量
- 13 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりややなし 浮石微量

RD172



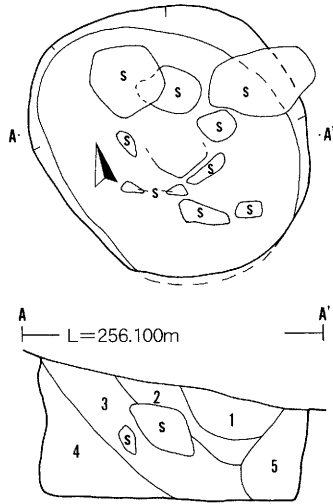
RD172(A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 締まりあり 浮石微量 植物根あり
- 2 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/4褐色土の混合土 浮石微量 植物根あり
- 3 10YR4/6 褐色土 10YR3/4暗褐色土の混合土 植物根あり
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石(10YR7/3)含む
- 5 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり(下部に10YR3/4暗褐色土 浮石10YR7/3あり)
- 6 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/6褐色土の混合土 炭化物微量
- 7 10YR7/3 にぶい黄褐色土 粘性・締まりなし主体に10YR3/4暗褐色土 粘性ややあり 締まりややなしを少量 さらに10YR7/2にぶい黄褐色土 粘性・締まりなしが微量混じる
- 8 10YR7/3 にぶい黄褐色土 粘性・締まりなし(浮石)に10YR7/2にぶい黄褐色土 粘性・締まりなし(浮石微量)と10YR4/6褐色土 粘性ややあり 締まりややなしが混在
- 9 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 締まりありが上部に 下部には10YR4/6褐色土 粘性なし 締まりありが堆積し全体的に浮石が混入
- 10 10YR7/3 にぶい黄褐色土(浮石)主体 10YR3/4暗褐色土 粘性なし 締まりややなしが少量 さらに10YR7/2にぶい黄褐色土混入
- 11 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりなし 上位に浮石あり
- 12 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりなしの下に10YR7/3にぶい黄褐色土 粘性・締まりなし さらに10YR3/4暗褐色土 粘性ややなし 締まりなしが堆積する
- 13 10YR7/3 にぶい黄褐色土 粘性・締まりなし(浮石)に10YR4/6褐色土 粘性ややなし 締まりなしが混じる
- 14 10YR7/2 にぶい黄褐色土 粘性・締まりなし(浮石)10YR3/3暗褐色土 粘性あり 締まりなしと10YR4/6褐色土 粘性あり 締まりなしが混じる
- 15 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりなし 10YR7/2にぶい黄褐色土の浮石と10YR6/1褐灰色の浮石を含む
- 16 10YR4/4 褐色土 粘性あり 締まりなし 炭化物多量含む(褐色土は上部に極僅か、ほとんど炭化物)
- 17 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりなし 10YR3/4暗褐色土 粘性ややあり 締まりなしの混合土 10YR7/4にぶい黄褐色土浮石含む



第112図 RD170~172 土坑

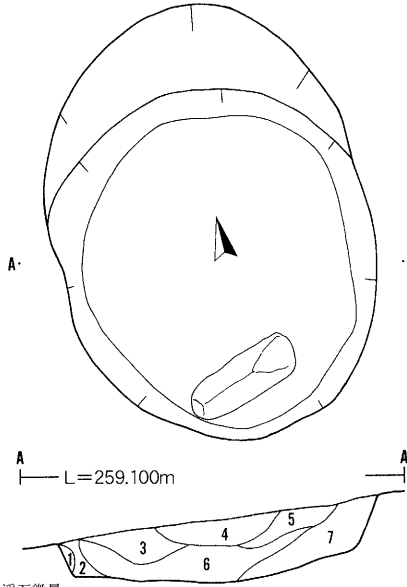
RD173



RD173(A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし 浮石微量 礫あり
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量 Sの上部に褐色土少量含む
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量 黒褐色土を僅かに含む
- 5 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 縮まりなし 浮石微量 下層部に黒色土あり

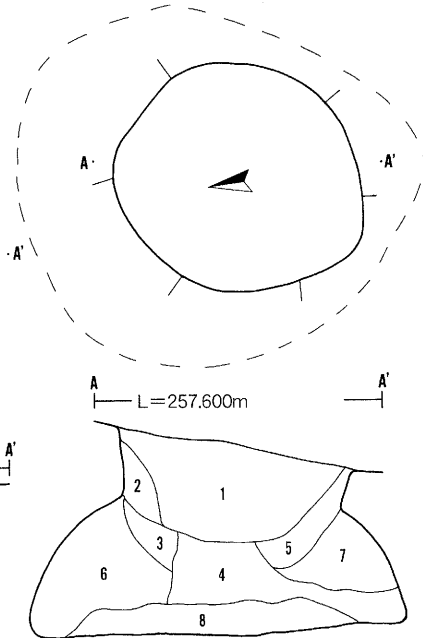
RD174



RD174(A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりあり
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりややなし 浮石微量
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり 浮石微量
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり 浮石微量
- 5 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややなし 浮石微量 部分的に暗褐色土あり
- 6 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりややなし 浮石微量 部分的に黒褐色土あり
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややなし 縮まりややあり 浮石微量

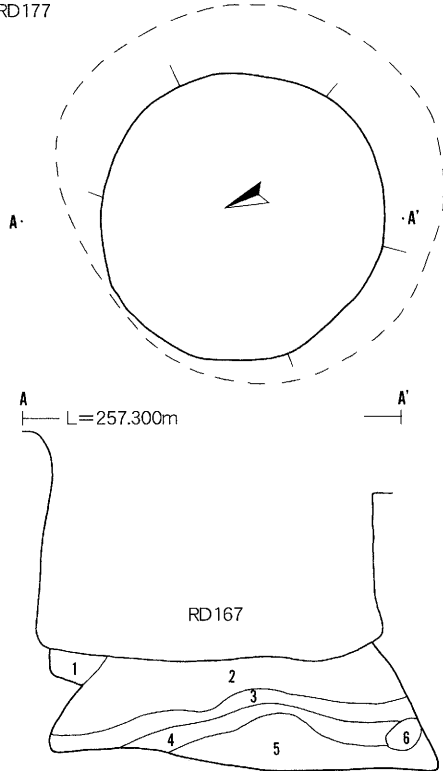
RD176



RD176(A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりややなし 浮石少量 植物根多量含む
- 2 10YR3/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石微量 植物根含む
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量 植物根含む
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量 植物根あり
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量 植物根あり
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石微量 植物根あり
- 7 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量
- 8 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし 浮石微量

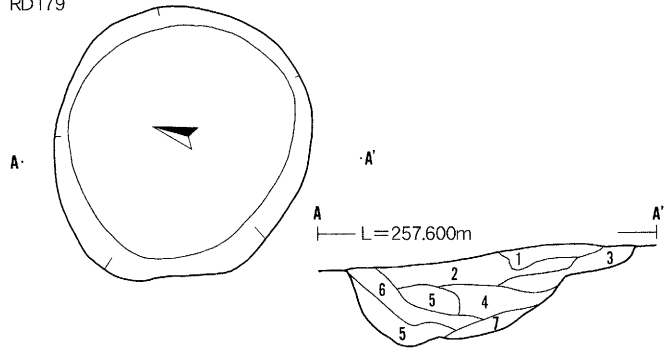
RD177



RD177(A-A')

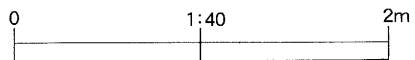
- 1 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややなし(掘りすぎ、地山)
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石 炭化物微量
- 3 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石少量
- 5 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石微量
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石少量

RD179



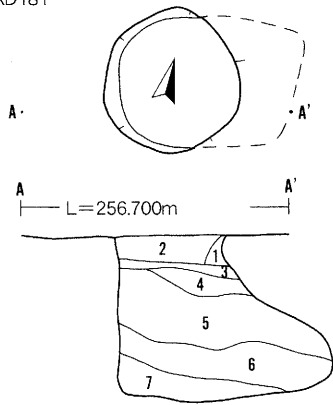
RD179(A-A')

- 1 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石極微量含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 浮石微量含む 10YR4/4褐色土層状に含む
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりあり
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR4/6褐色土ブロック状に含む
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり
- 6 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり ブロック状に入る 浮石微量含む



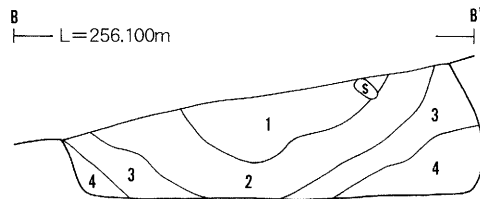
第113図 RD173・174・176・177・179 土坑

RD181

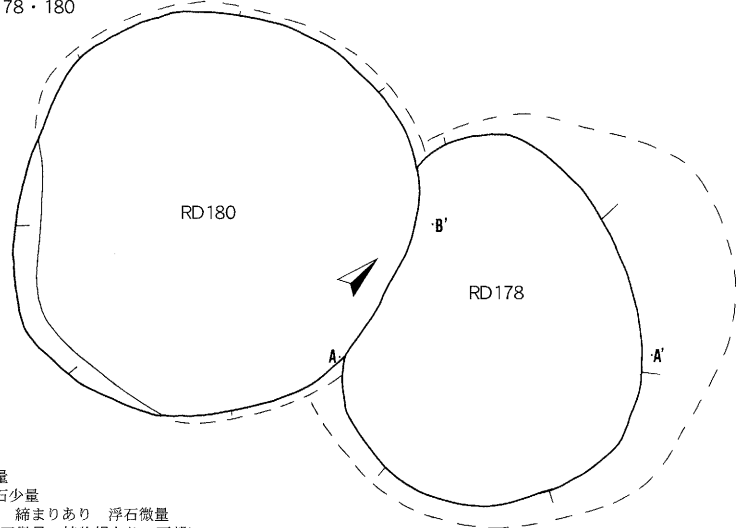


RD181(A-A')

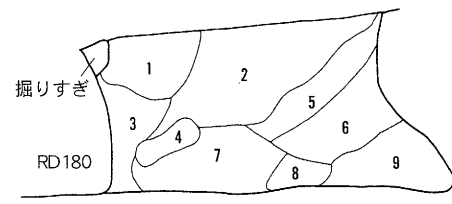
- 1 10YR4/6 褐色土 粘性なし 締まりあり
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 締まりあり 浮石微量
- 3 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり 浮石少量
- 4 10YR4/6 褐色土 10YR5/6黄褐色土の混合 粘性なし 締まりあり 浮石微量
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石微量 植物根あり 下部に10YR5/8黄褐色土混合 部分的に10YR4/4褐色土ブロック含む
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりややなし 植物根あり
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりややなし



RD178・180



A A' L=256.200m



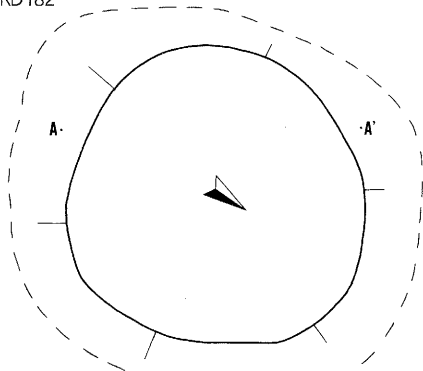
RD178(A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 締まりややなし 浮石微量 植物根あり
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 締まりややあり 浮石 炭化物微量
- 3 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性・締まりややなし 浮石微量
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりややなし
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石微量 褐色土含む
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石 炭化物微量
- 7 10YR3/2 黒褐色土 粘性あり 締まりややなし 浮石微量
- 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 締まりややあり
- 9 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりあり 浮石 炭化物微量

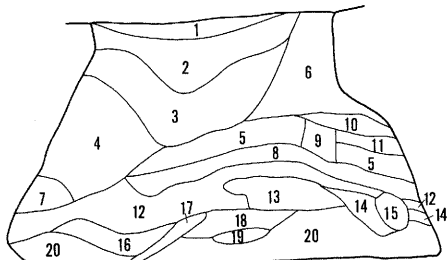
RD180(B-B')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性・締まりややあり 浮石微量 植物根多く含む
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 締まりややあり 浮石微量 焼土粒極微量含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややあり 10YR4/4褐色土との混合土(4/4は10%程度) 浮石微量含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりややあり 浮石微量含む

RD182

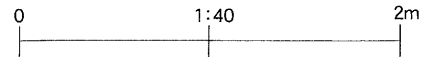


A A' L=254.800m



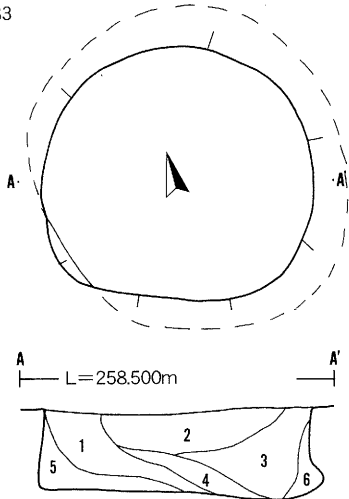
RD182(A-A')

- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり RA38の貼り床? 浮石 炭化物極微量含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややあり 浮石 炭化物微量 10YR4/6褐色土を層状に含む
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりややあり 浮石 炭化物微量 10YR3/4暗褐色土層状に含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりややあり 浮石極微量含む
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりややあり 浮石 10YR3/4暗褐色土極微量含む
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 7 10YR4/4 褐色土 粘性あり 締まりなし
- 8 7.5YR4/4 褐色土 粘性あり 締まりややなし 浮石極微量含む
- 9 7.5YR5/8 明褐色土 粘性なし 締まりややあり(火山灰?)
- 10 7.5YR5/4 にぶい褐色浮石と7.5YR5/8明褐色火山灰?との混合
- 11 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりややあり 浮石含む
- 12 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりややあり 浮石微量 炭化物極微量含む
- 13 10YR5/6 黄褐色土 粘性・締まりありと10YR4/6褐色土 粘性・締まりややありが交互に層状に入る 層厚およそ5cm
- 14 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりややあり
- 15 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりかなりあり(地山崩落土ブロックか?)
- 16 7.5YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 17 10YR3/3 暗褐色土 粘性・締まりあり
- 18 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりややあり 浮石極微量含む
- 19 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりあり
- 20 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりかなりあり(地山崩落土ブロック 径10~20cmの集合体?)



第114図 RD178・180~182 土坑

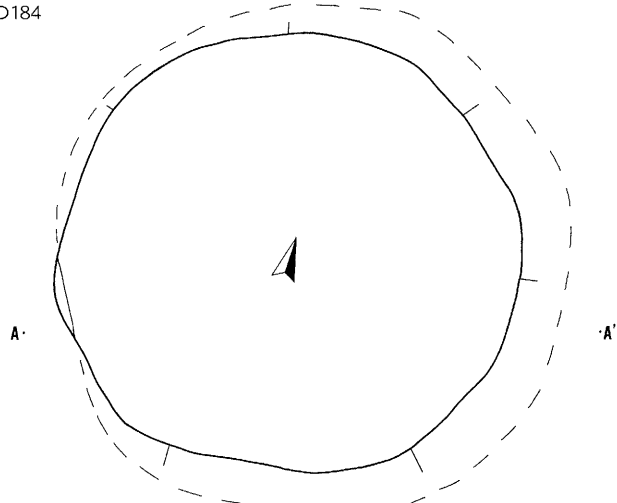
RD183



RD183(A-A')

- 1 10YR2/2 黒褐色土 10YR3/3暗褐色土の混合土 粘性なし 締まりややなし 浮石微量
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石微量
- 3 10YR2/2 黒褐色土 10YR3/3暗褐色土の混合土 浮石微量
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりあり 炭化物微量
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石微量
- 6 10YR3/4 暗褐色土 10YR2/3黒褐色土の混合土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石微量

RD184

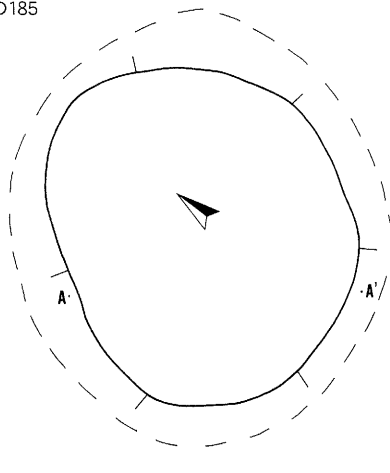


A L=254.900m A'

RD184(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややあり 炭化物 浮石微量含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややありだが 共に1よりはない 炭化物 浮石微量含む
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりややあり 浮石極微量含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりかなりあり(地山崩落土ブロックか?)
- 5 10YR4/4 褐色土 粘性・締まりややあり 浮石微量含む 10YR3/4暗褐色土 層状に含む
- 6 10YR5/6 黄褐色土 粘性ややあり 締まりなし 浮石微量含む
- 7 7.5YR4/6 褐色土 粘性・締まりあり 浮石少量含む
- 8 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりややあり
- 9 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりあり 炭化物 浮石微量含む

RD185

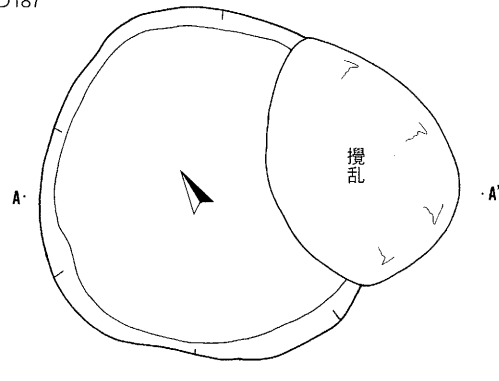


A L=255.600m A'

RD185(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややあり 浮石少量 炭化物微量含む
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性・締まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性あり 締まりややあり 浮石極微量含む(2と違うのは炭化物を含まない点)
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 締まりなし 浮石微量含む
- 5 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/4褐色土の混合土 粘性・締まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりややあり
- 7 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり 締まりややあり 10YR4/4褐色土 層状に含む 浮石 炭化物微量含む
- 8 10YR5/6 黄褐色土 粘性・締まりかなりあり(地山崩落土ブロックか?)
- 9 10YR5/6 黄褐色土 粘性・締まりかなりあり(地山・掘りすぎ?)

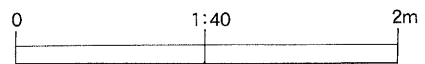
RD187



A L=255.900m A'

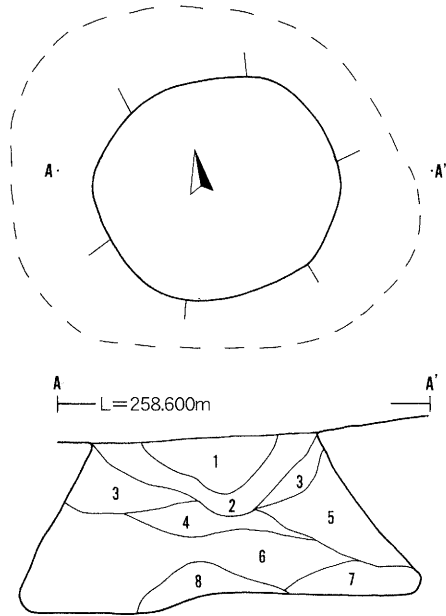
RD187(A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性なし 締まりややあり 植物根多く含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりあり(地山・掘りすぎ?)



第115図 RD183~185・187 土坑

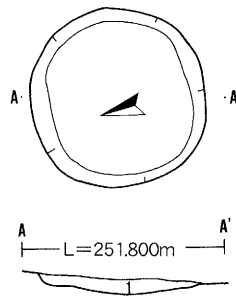
RD186



RD186(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量 10YR3/4暗褐色土ブロック状に含む
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石 炭化物 焼土粒微量 10YR3/4暗褐色土含む
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量 炭化物極微量含む
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物微量含む 但し炭化物は5より多い
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量含む
- 8 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む

RD188



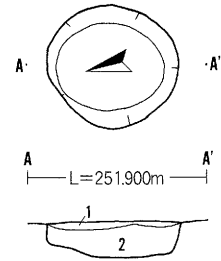
RD188(A-A')

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりあり 炭化物多量 全体の50~60%を占める

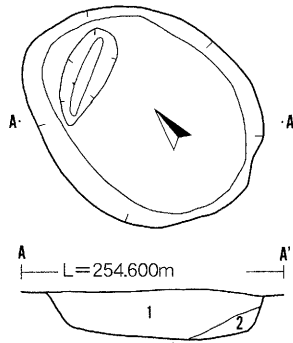
RD189(A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりあり オレンジの浮石微量
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりややなし オレンジの浮石微量

RD189



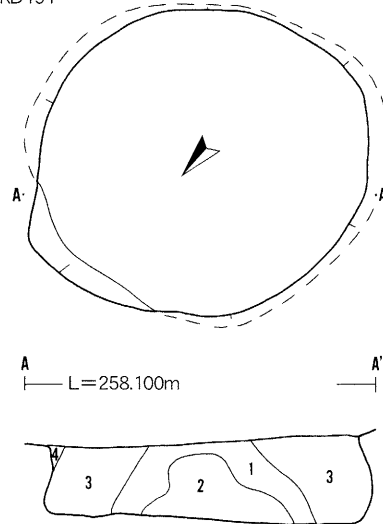
RD190



RD190(A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり オレンジの浮石微量含む

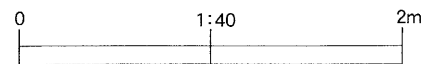
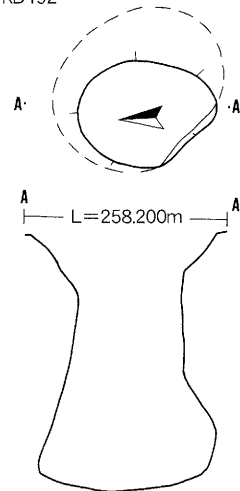
RD191



RD191(A-A')

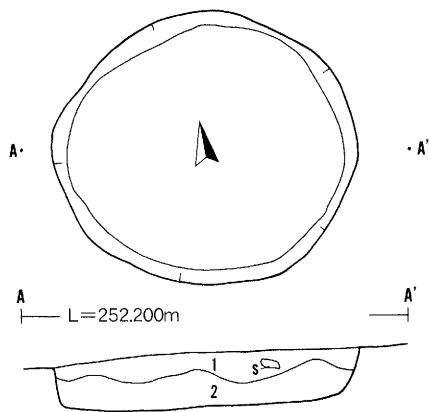
- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物微量含む
- 2 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり(共に2よりあり) 浮石 炭化物微量含む
- 4 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む 掘りすぎ

RD192



第116図 RD186・188~192 土坑

RD193



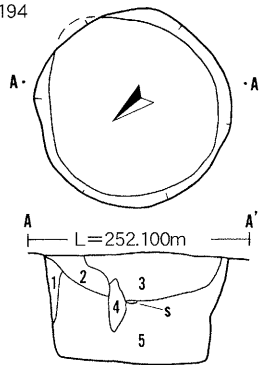
RD193(A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量 小礫少量含む
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりややあり(1よりはな) 浮石極微量含む(掘りすぎ)

RD195(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化物 小礫含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりあり 浮石微量含む
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化物微量含む

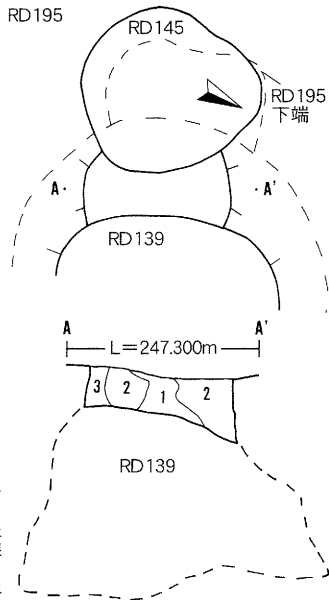
RD194



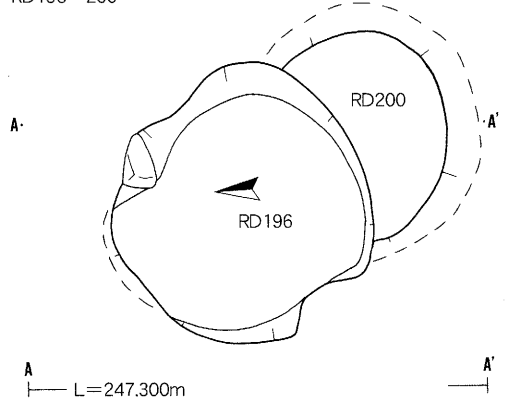
RD194(A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり オレンジの浮石微量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり オレンジの浮石微量
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり オレンジの浮石微量
- 4 10YR3/3 暗褐色土 10YR2/3黒褐色土の混合土 粘性ややあり 縮まりなし オレンジの浮石微量(根跡か?)
- 5 10YR3/3 暗褐色土 10YR2/2黒褐色土の混合土 粘性ややなし 縮まりややあり 浮石微量

RD195



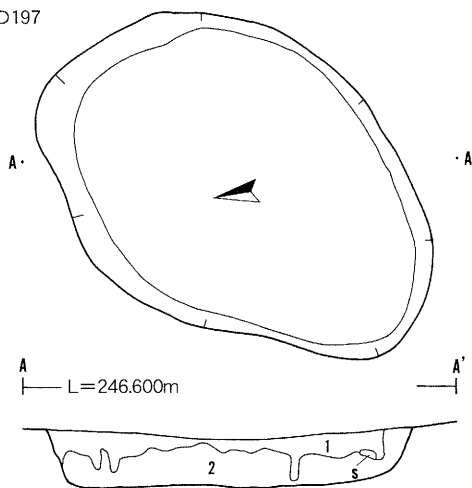
RD196・200



RD196・200(A-A')

- 1 5YR3/4 暗赤褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量 炭化物 焼土粒 小礫少量含む(焼土の割合が多いせいか赤っぽい土である)
- 2 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物 焼土粒微量含む
- 3 7.5YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物 焼土粒 小礫少量含む
- 4 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性 縮まりややあり 浮石 炭化物 焼土粒 小礫少量 10YR4/6褐色土ブロック状含む
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量含む
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物 焼土粒微量含む
- 8 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化物微量含む
- 9 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物極微量含む
- 10 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物 小礫微量含む
- 11 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む

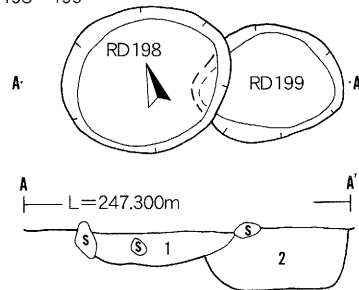
RD197



RD197(A-A')

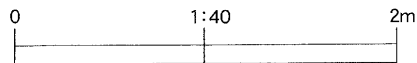
- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりややなし 炭化物微量含む
- 2 10YR2/3 黒褐色土と10YR4/4褐色土との混合 粘性・縮まりややあり 炭化物少量 下位に10YR5/8黄褐色土 粘性・縮まりありをブロック状に含む

RD198・199



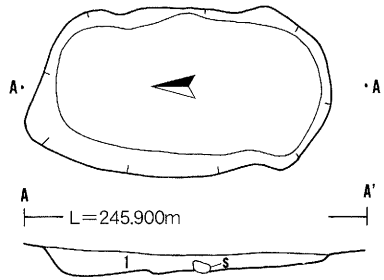
RD198・199(A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む 10YR4/4褐色土ブロック状含む



第117図 RD193~200 土坑

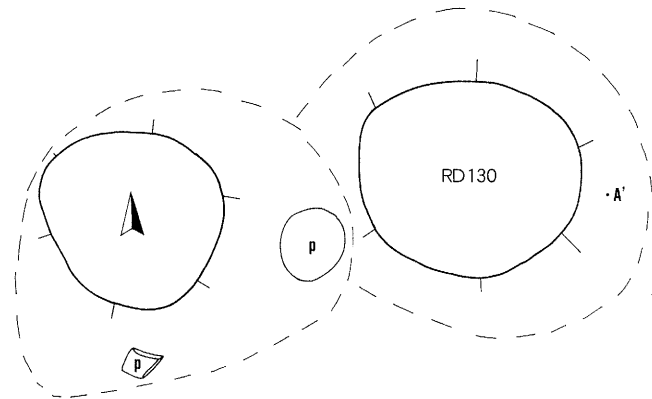
RD201



RD201(A-A)

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 所々木根状に10YR5/6黄褐色土 粘性あり 縮まりややありを含む

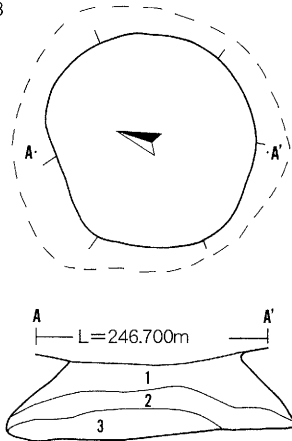
RD202



RD202(A-A)

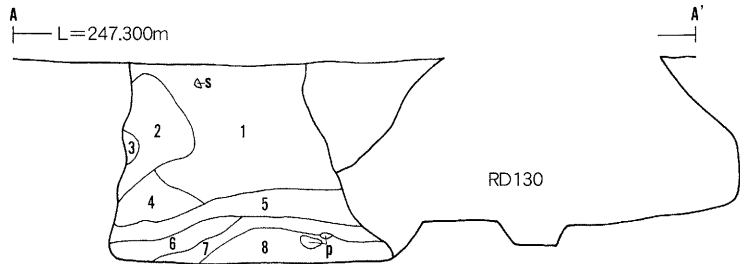
- 1 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物 小礫微量含む
- 2 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりなし 浮石微量 炭化物極微量含む
- 3 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり 地山と思われる
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物微量含む
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石極微量含む
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 8 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物 焼土粒微量 土器片含む

RD203



RD203(A-A)

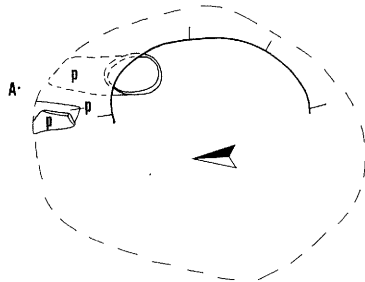
- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む



RD202(A-A)

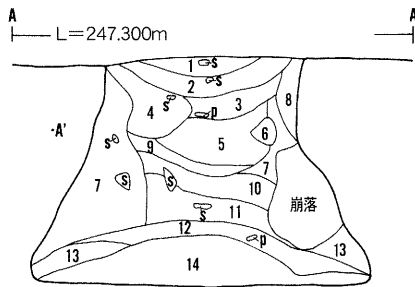
- 1 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物 小礫微量含む
- 2 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりなし 浮石微量 炭化物極微量含む
- 3 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり 地山と思われる
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物微量含む
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石極微量含む
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 8 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物 焼土粒微量 土器片含む

RD204

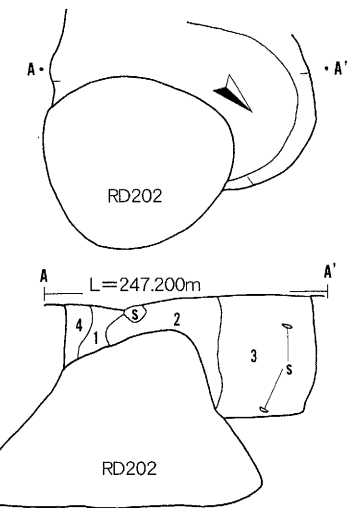


RD204(A-A)

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量 炭化物 礫少量含む
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量 小礫少量含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物 焼土粒微量含む
- 5 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量 小礫少量含む
- 6 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり 浮石微量含む(地山崩落土ブロック?)
- 7 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物極微量含む
- 8 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 地山 掘りすぎ
- 9 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 10 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 11 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物少量 礫微量含む
- 12 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量 炭化物少量含む
- 13 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりあり 砂質
- 14 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む

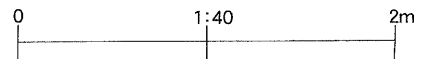


RD207



RD207(A-A)

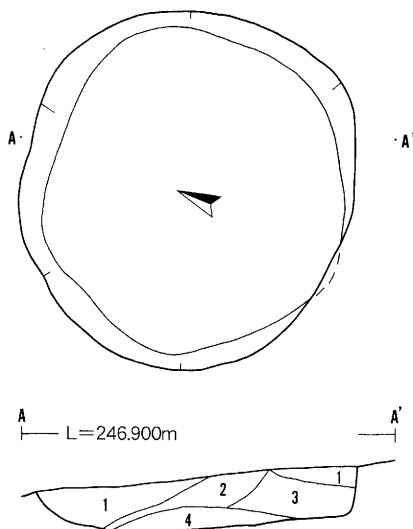
- 1 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量含む
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり(1と同じか?) 浮石 炭化物微量含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり(地山・掘りすぎ)



第118図 RD201~204・207 土坑

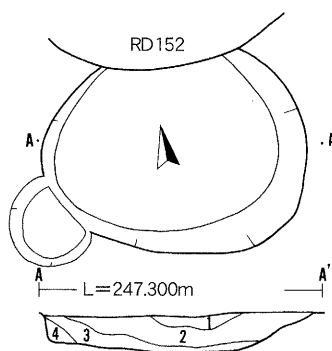


RD208



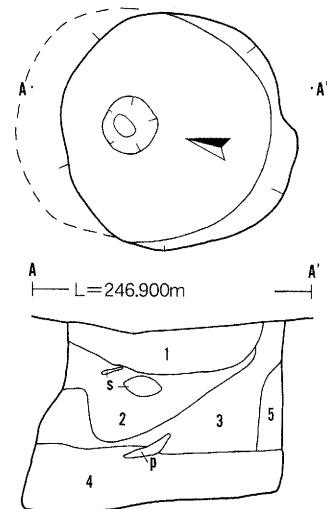
- RD208(A-A')
- 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石炭化物微量含む
  - 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石微量含む  
10YR3/4暗褐色土ブロック状に含む
  - 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり 浮石 小礫微量含む
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石炭化物微量含む

RD209



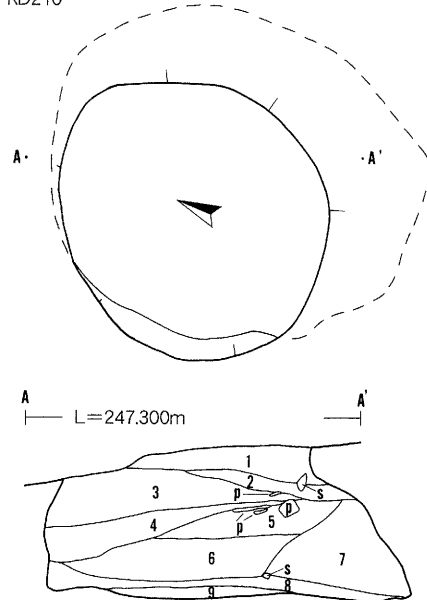
- RD209(A-A')
- 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量含む
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物 小礫微量含む
  - 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量含む
  - 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 地山(掘りすぎ)

RD211



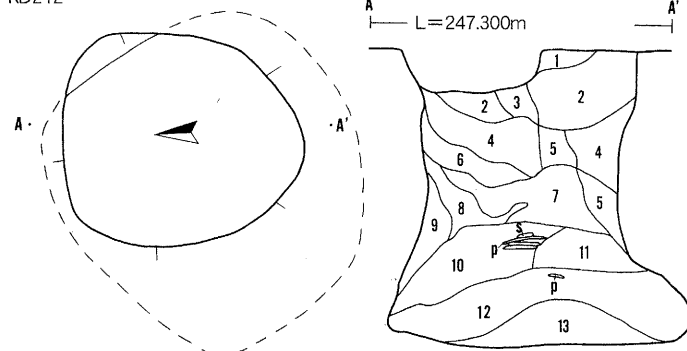
- RD211(A-A')
- 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物微量 小礫やや多量含む
  - 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物 小礫微量含む
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量 10YR4/6褐色土ブロック状含む
  - 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
  - 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量 焼土粒少量含む

RD210

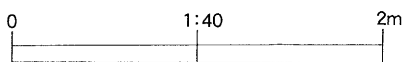


- RD210(A-A')
- 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石炭化物微量含む
  - 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石微量 炭化物10YR3/4暗褐色土含む
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし 浮石 炭化物微量 小礫含む
  - 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石微量 炭化物 10YR3/4暗褐色土含む
  - 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量 炭化物含む
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物微量
  - 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物 焼土粒微量含む
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量 10YR5/6黄褐色土地山ブロック含む
  - 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石 炭化物微量含む

RD212

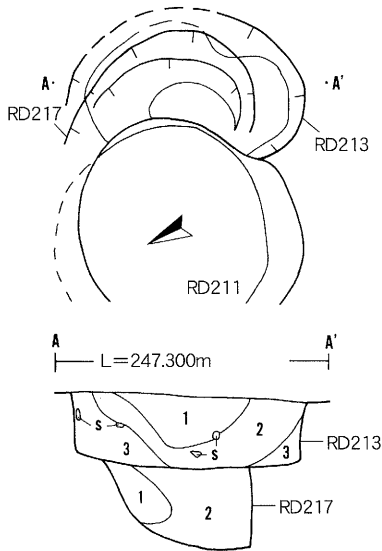


- RD212(A-A')
- 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量含む
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりあり 浮石 炭化物微量含む
  - 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石微量含む
  - 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりかなりあり 地山崩落土ブロック
  - 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石少量含む
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
  - 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量含む
  - 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量含む(8よりやや明るい)
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
  - 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量含む
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし 浮石 炭化物 焼土粒少量含む
  - 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量含む



第119図 RD208~212 土坑

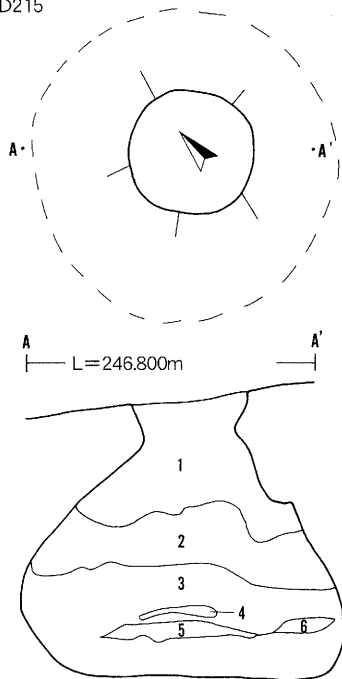
RD213・217



- RD213(A-A')
- 10YR4/4 褐色土 粘性なし 締まりあり 浮石 炭化物微量 小礫やや多量含む
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややあり 浮石 炭化物微量含む
  - 10YR4/4 褐色土 粘性・締まりややあり 浮石 炭化物微量含む

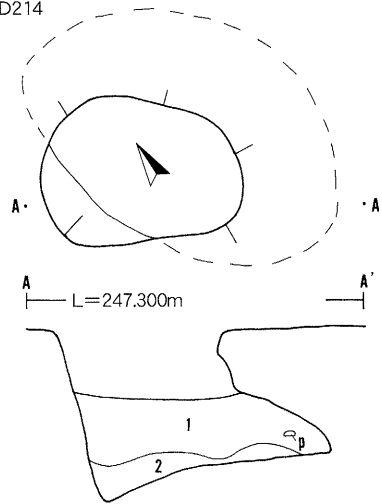
- RD217(A-A')
- 10YR4/6 褐色土と10YR5/6黄褐色土との混合土 粘性・締まりややあり 浮石少量 炭化物微量
  - 10YR3/3 暗褐色土と10YR4/4褐色土との混合土 粘性・締まりややあり 浮石少量 炭化物微量 礫含む

RD215



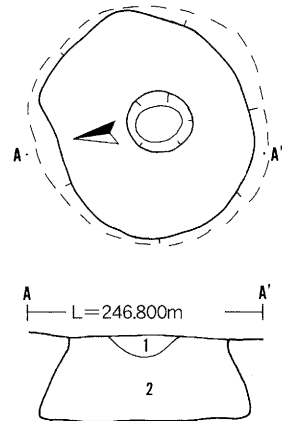
- RD215(A-A')
- 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/6褐色土との混合土 粘性あり 締まりややあり 浮石 炭化物少量
  - 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/6褐色土との混合土 粘性あり 締まりなし 浮石 炭化物微量 礫含む
  - 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石 炭化物微量
  - 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりなし 浮石微量
  - 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/6褐色土との混合土 粘性あり 締まりややなし 浮石炭化物微量
  - 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりなし 炭化物微量

RD214



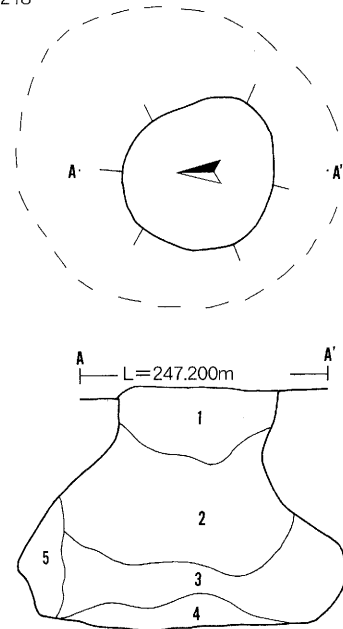
- RD214(A-A')
- 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりあり 浮石 炭化物微量含む
  - 10YR4/4 褐色土 粘性・締まりややあり 浮石 炭化物 焼土粒微量含む

RD216

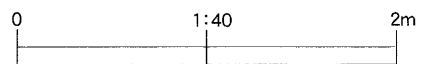


- RD216(A-A')
- 10YR4/6 褐色土 10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性なし 締まりあり 浮石少量
  - 10YR3/3 暗褐色土 10YR4/4褐色土との混合土 粘性ややあり 締まりあり 浮石少量 礫 炭化物微量

RD218

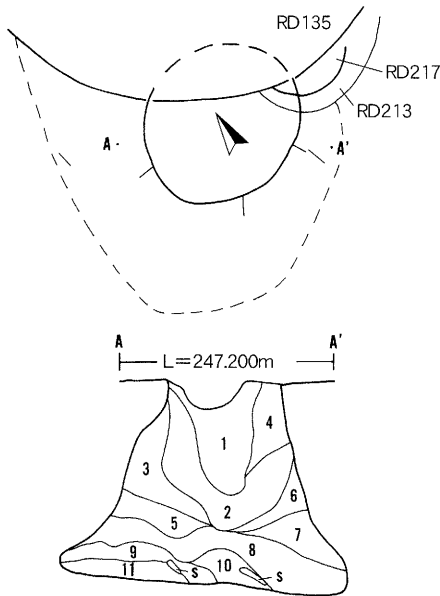


- RD218(A-A')
- 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 締まりややあり 浮石微量
  - 10YR3/3 暗褐色土 粘性・締まりややあり 浮石 炭化物微量
  - 10YR3/3 暗褐色土 粘性・締まりややあり 浮石微量
  - 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりややあり 浮石 炭化物微量
  - 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石少量(RD212埋土?)



第120図 RD213~218 土坑

RD219

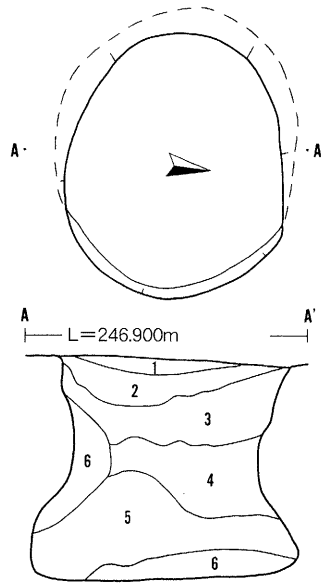


RD219(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/6褐色土との混合土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物少量 礫
- 2 10YR3/2 黒褐色土と10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物少量礫
- 3 10YR4/6 褐色土と10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性・縮まりややあり 浮石少量 炭化物微量 礫
- 4 10YR3/3 暗褐色土と10YR4/4褐色土との混合土 粘性ややなし 縮まりあり 浮石 炭化物微量 礫
- 5 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/6褐色土との混合土 (5YR4/6赤褐色土と5YR4/4にぶい赤褐色の炭土を若干含む) 粘性・縮まりややあり 浮石微量 炭化物ブロック状に入る
- 6 10YR4/4 褐色土と10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石 炭化物少量(ブロック状)
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石少量 炭化物微量(部分的に 10YR2/3黒褐色土含む)
- 8 10YR5/6 黄褐色土 10YR4/4褐色土との混合土 粘性・縮まりややあり 浮石少量 炭化物微量
- 9 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/6褐色土との混合土 粘性あり 縮まりややなし 浮石 炭化物少量
- 10 10YR3/4 暗褐色土と5YR4/8赤褐色土と5YR4/4にぶい赤褐色土との混合土 粘性あり 縮まりややあり 炭化物少量
- 11 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり(東側に行くに従って縮まりがなくなる) 浮石 炭化物微量

L=247.000m

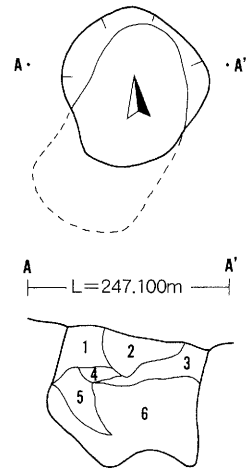
RD220



RD220(A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり 乾燥すると(して)非常に固い
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり 1よりは縮まりはない 炭化物 オレンジの浮石微量含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 灰色浮石微量 黄褐色土のブロックを埋に含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 10YR3/4暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなしをブロック状に含む
- 5 4に同じだが全体に4より縮まりがない
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり

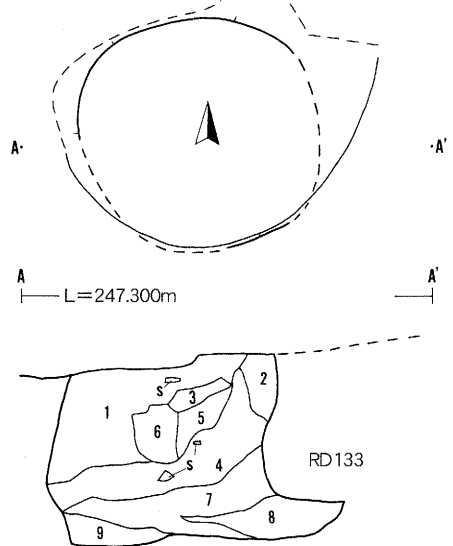
RD222



RD222(A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石少量 炭化物微量
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性ややなし 縮まりあり 浮石 炭化物微量
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石 炭化物微量
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 炭化物微量
- 6 10YR4/6 褐色土と10YR4/4褐色土との混合土 粘性かなりあり 縮まりややあり 浮石微量

RD223

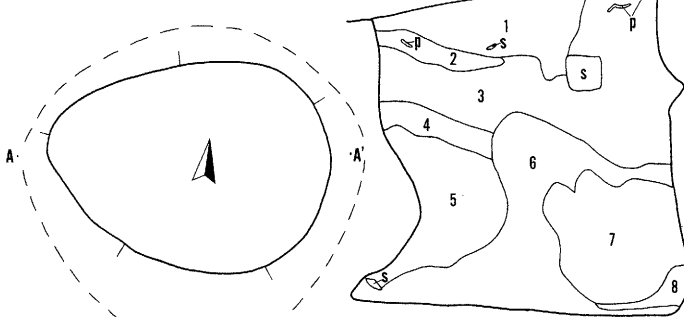


RD223(A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 10YR4/3にぶい黄褐色土との混合土 粘性なし 縮まりあり 浮石微量
- 2 10YR5/6 黄褐色土 粘性ややなし 縮まりあり 浮石微量
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量
- 4 10YR4/4 褐色土と10YR5/6黄褐色土との混合土 粘性・縮まりややあり 炭化物 浮石微量
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 6 10YR4/4 褐色土と10YR5/6黄褐色土との混合土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物微量
- 7 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 炭化物 浮石微量
- 8 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり オレンジの浮石微量
- 9 10YR4/6 褐色土と10YR5/6黄褐色土との混合土 粘性あり 縮まりなし 浮石微量

0 1:40 2m

RD221

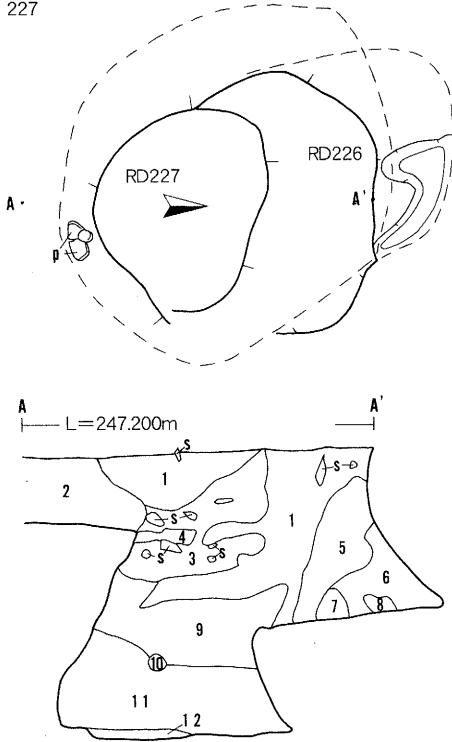


RD221(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化物微量
- 2 10YR2/4 黒褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石 炭化物微量
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石少量 炭化物微量
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量
- 5 10YR4/6 褐色土(4よりやや暗い) 粘性あり 縮まりなし 浮石 炭化物微量
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりなし 浮石 炭化物微量
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性かなりあり 縮まりあり 浮石 炭化物微量
- 8 10YR4/6 褐色土 10YR5/6黄褐色土との混合土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量 礫含む

第121図 RD219~223 土坑

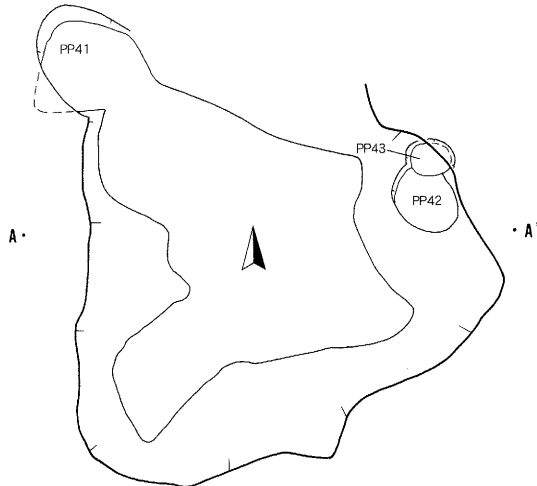
RD226・227



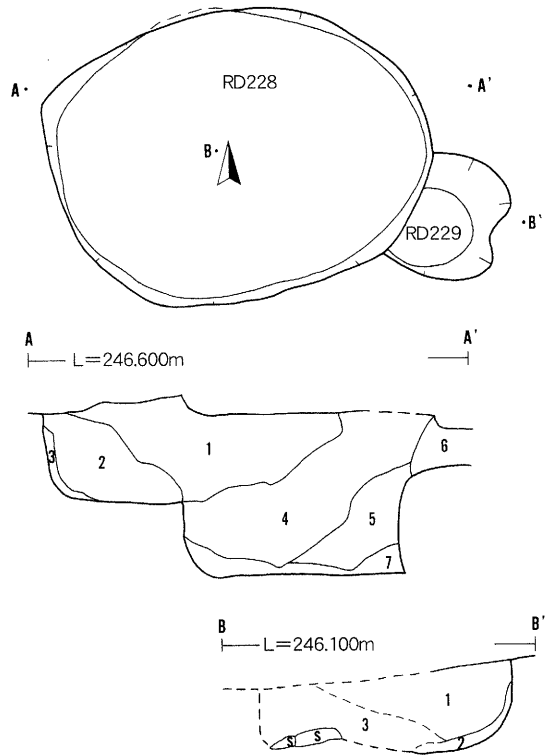
RD226・227 (A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり 浮石少量 但し上層部に多量 礫中～上位層にかけて含む 炭化物微量
- 2 10YR3/3 暗褐色土と10YR4/4褐色土との混合土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物全体に含む 焼土 5YR4/4にぶい赤褐色土若干含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/4褐色土との混合土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化物少量 礫多量含む
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化物微量 礫含む
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 礫あり
- 6 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/4褐色土との混合土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量 礫含む
- 7 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量
- 8 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややなし
- 9 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量
- 10 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 縮まりややなし 炭化物微量
- 11 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/4褐色土と10YR3/2黒褐色土の混合土 粘性あり 縮まりなし 浮石微量 炭化物全体に含む
- 12 10YR4/6 褐色土と10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量

RD230



RD228・229



RD228 (A-A')

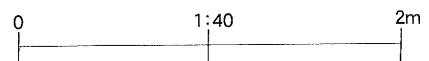
- 1 10YR2/2 黒褐色土 10YR3/4暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石微量
- 2 10YR3/2 黒褐色土 10YR3/4暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石 炭化物微量
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 4 10YR3/2 黒褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 5 10YR3/2 黒褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量 10YR4/4褐色土を部分的に含む
- 6 10YR2/3 黒褐色土 10YR3/3暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 7 10YR3/3 暗褐色土 10YR4/4褐色土との混合土 粘性あり 縮まりなし 浮石微量

RD229 (B-B')

- 1 10YR3/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量 炭化物少量
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量
- 3 10YR2/3 黒褐色土 10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性・縮まりややあり 浮石微量

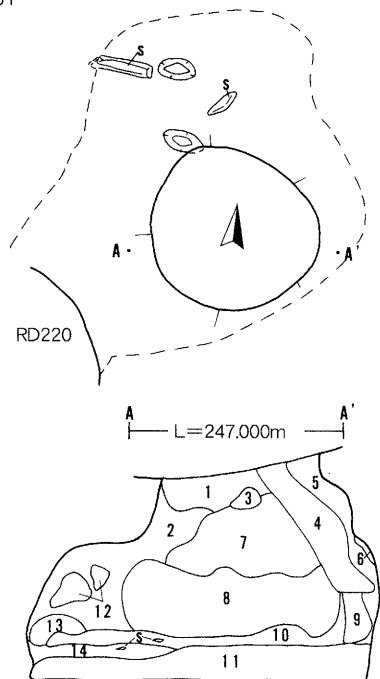
RD230 (A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石少量 礫あり(10YR3/4暗褐色土を含む)
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量
- 3 10YR4/4 褐色土 10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性あり 縮まりなし 浮石 炭化物微量
- 4 10YR4/4 褐色土 10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性あり 縮まりややあり
- 5 10YR4/6 褐色土 10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性ややあり 縮まりあり

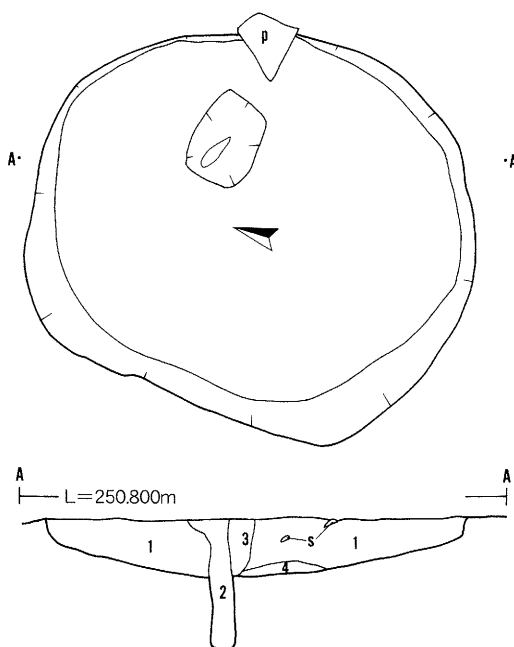


第122図 RD226～230 土坑

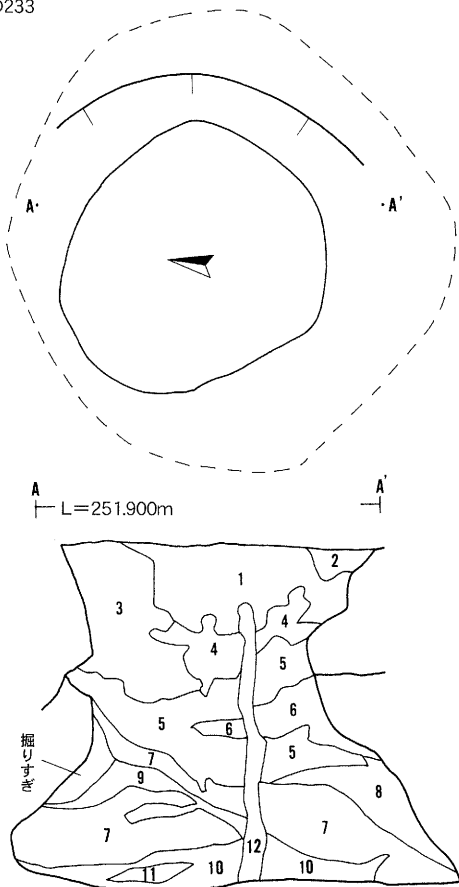
RD231



RD232



RD233



RD231(A-A')

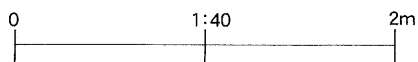
- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石 炭化物微量
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり
- 4 10YR4/6 褐色土(ブロック状に10YR3/4暗褐色土) 粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 5 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/4褐色土との混合土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石微量
- 6 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 7 10YR4/4 褐色土 10YR4/6褐色土の混合土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石 炭化物微量(ブロック状に入る)
- 8 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/6褐色土の混合土 粘性あり 縮まりなし 浮石微量
- 9 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりややあり
- 10 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 炭化物ブロック状
- 11 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量 礫含む
- 12 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 13 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 14 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物微量

RD232(A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性ややなし 縮まりあり オレンジの浮石 炭化物含む 黄褐色土ブロック状に含む
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性ややなし 縮まりなし
- 3 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 縮まりかなりあり
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり オレンジの浮石あり 1との違いは地山である(掘り過ぎ?)

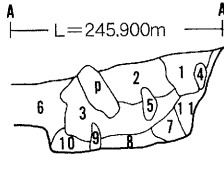
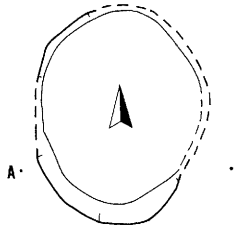
RD233(A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物微量 オレンジの浮石少量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物微量 オレンジの浮石少量
- 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややなし 縮まりなし 炭化物微量 オレンジの浮石少量
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物微量 土器片含む 黄褐色土ブロック状含む
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややなし
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 炭化物極微量 オレンジ 白色浮石少量含む
- 8 10YR4/6 褐色土主に10YR3/4暗褐色土の混合土 粘性ややあり 縮まりややなし 白色浮石含む 汚れて見える
- 9 10YR3/4 暗褐色土主に10YR4/6褐色土が若干混じる 粘性あり 縮まりややなし
- 10 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/6褐色土の混合土 粘性ややあり 縮まりあり(下に行く程) 炭化物微量 礫含む 角礫
- 11 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり
- 12 縮まりなし ポロポロと崩れ落ちる 径6~7cmの円柱状の柱が貫いた後 木根? もしくは副穴上の支柱?

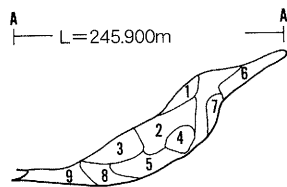
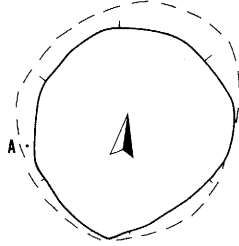


第123図 RD231~233 土坑

RD234



RD236



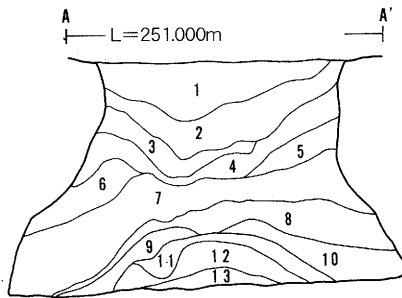
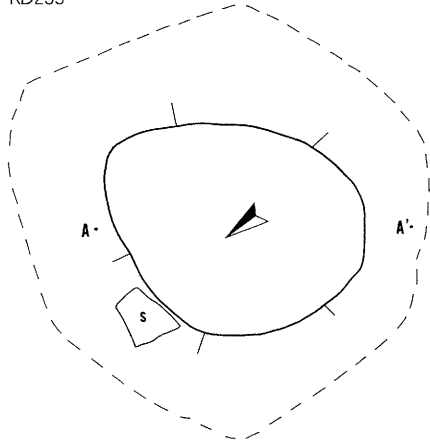
RD234(A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性ややなし 締りかなりあり 浮石微量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややなし 締りややあり 浮石微量 炭化物少量
- 3 10YR2/3 黒褐色土と10YR3/4暗褐色土の混合土 浮石微量 木炭片含む
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締りあり
- 5 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり 締りなし 炭化物微量
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締りかなりあり 浮石多量
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締りややあり 浮石少量
- 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 締りややあり 浮石微量
- 9 10YR2/2 黒褐色土 粘性あり 締りなし
- 10 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 締りややあり 浮石少量
- 11 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締りかなりあり 浮石少量

RD236(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土と10YR5/6黄褐色土との混合土 粘性なし 締りややあり 炭化物 浮石微量
- 2 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/6褐色土との混合土 粘性ややあり 締りややなし 炭化物 浮石微量
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 締りややなし 炭化物 浮石微量
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 締りなし 浮石微量
- 5 10YR2/2 黒褐色土 粘性あり 締りややあり 炭化物微量(7.5YR4/4褐色土 粘性・締りあり含む)
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性なし 締りあり 浮石少量
- 7 7.5YR4/4 褐色土 粘性・締りややあり 浮石少量
- 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 締りなし 炭化物微量
- 9 10YR2/2 黒褐色土 粘性あり 締りややあり

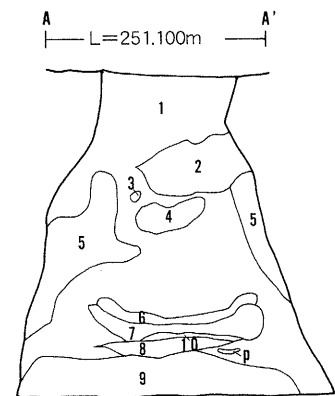
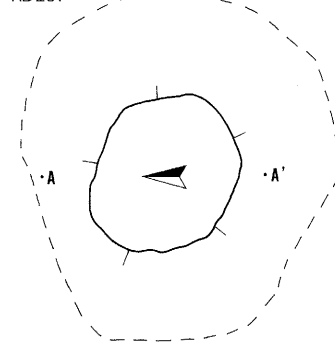
RD235



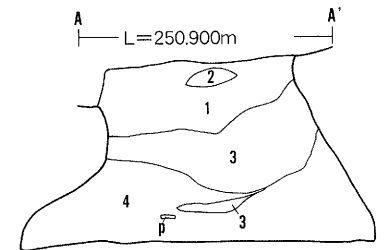
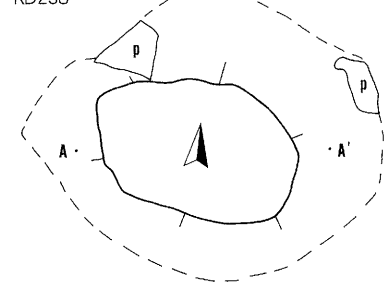
RD235(A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土と10YR4/4褐色土との混合土 粘性・締りややあり 浮石 炭化物微量
- 2 10YR4/6 褐色土と10YR3/4暗褐色土との混合土(10YR2/3黒褐色土 部分的に含む) 粘性・締りややあり 浮石少量 炭化物微量
- 3 10YR4/6 褐色土と10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性ややあり 締りややなし 浮石微量
- 4 10YR4/6 褐色土と10YR3/3暗褐色土との混合土 粘性ややあり 締りややなし 浮石 炭化物微量
- 5 10YR4/6 褐色土と10YR3/3暗褐色土との混合土 粘性・締りややあり 浮石微量
- 6 10YR5/6 黄褐色土 粘性・締りややあり 浮石微量
- 7 10YR3/3 暗褐色土と10YR4/6褐色土との混合土 粘性・締りややあり 浮石少量 炭化物微量
- 8 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/4褐色土との混合土 粘性あり 締りややあり 浮石 炭化物微量
- 9 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締りややあり 浮石微量
- 10 10YR4/6 褐色土と10YR3/3暗褐色土との混合土 粘性あり 締りややあり 浮石微量
- 11 10YR3/3 暗褐色土と10YR4/6褐色土との混合土 粘性あり 締りややなし 浮石微量
- 12 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締りややなし
- 13 10YR2/3 黒褐色土 粘性・締りややあり

RD237



RD238

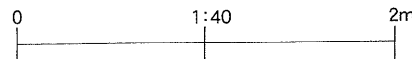


RD238(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締りややなし
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・締りあり
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締りややなし
- 4 1に同じだが1よりやや汚れている 土器片含む

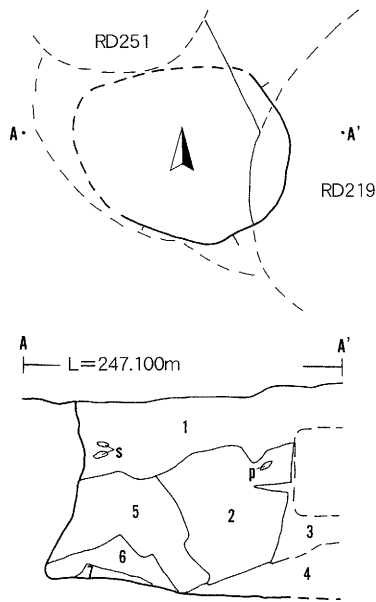
RD237(A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 締りややなし 炭化物 浮石微量
- 2 10YR3/2 黒褐色土 粘性ややあり 締りなし 炭化物少量が点在する
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締りなし
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締りなし 炭化物 浮石微量
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締りややなし 小礫混じる
- 6 10YR2/1 黒色土 粘性あり 締りなし 浮石微量
- 7 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 締りなし(10YR4/6褐色土混じる)
- 8 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締りなし
- 9 10YR2/2 黒褐色土 粘性・締りあり 炭化物微量
- 10 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり 締りなし 炭化物層状に敷きつめる



第124図 RD234~238 土坑

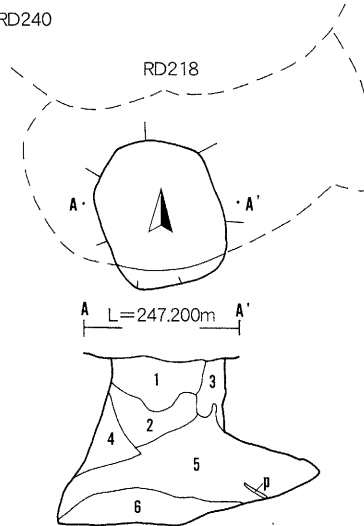
RD239



RD239(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量 炭化物少量 10YR3/3暗褐色土との混合土
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物微量
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石少量(2よりやや暗い)
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量
- 5 10YR4/6 褐色土 10YR4/4褐色土との混合土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり

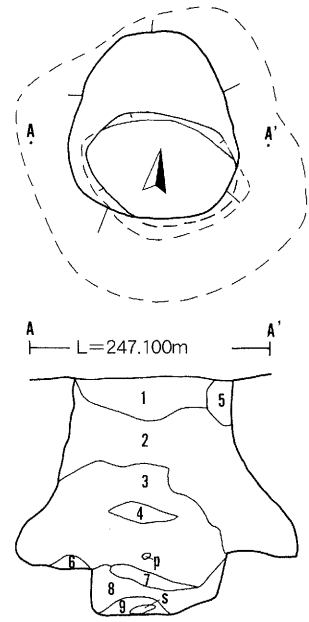
RD240



RD240(A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり(10YR4/4褐色土がブロック状に混じる) 炭化物微量
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物 浮石微量
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物少量
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり

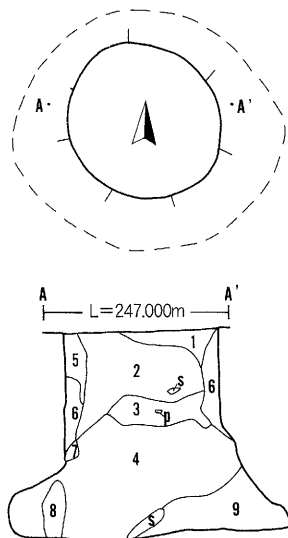
RD241



RD241(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物微量
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物微量
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり 焼土(5YR4/8赤褐色土)含む
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化物微量
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし
- 7 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/6褐色土との混合土 粘性あり 縮まりややあり 焼土含む(5YR4/8)
- 8 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/6褐色土との混合土 粘性あり 縮まりややあり 炭化物微量
- 9 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり

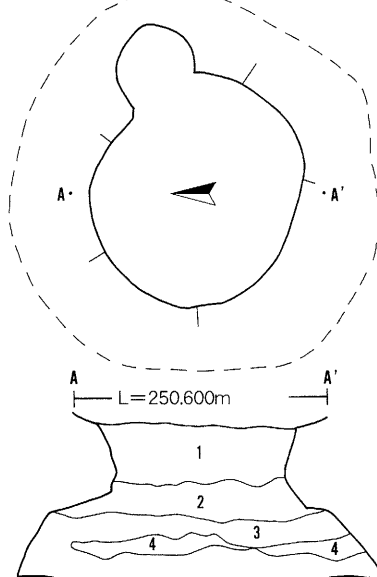
RD242



RD242(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり 浮石微量
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物微量
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石少量 炭化物の塊を含む
- 5 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややあり
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり
- 7 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり
- 8 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり(10YR4/6に近い)
- 9 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物少量

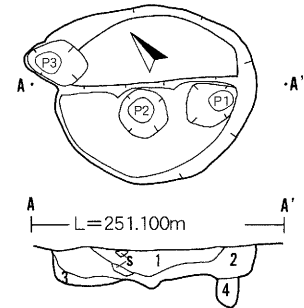
RD243



RD243(A-A')

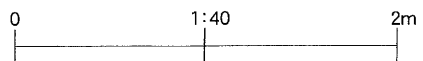
- 1 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 白色浮石微量含む
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 10YR4/6褐色土をブロック状に含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 床面は固く縮まっている

RD244



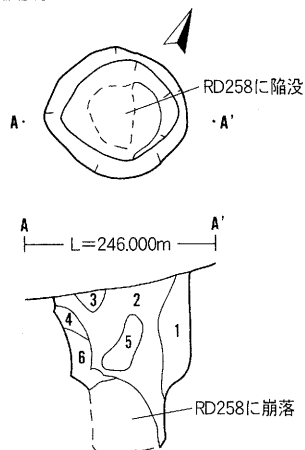
RD244(A-A')

- 1 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化物含む 焼土粒多い
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりややなし 炭化物含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり
- 4 10YR2/1 黒褐色土 粘性なし 縮まりややなし



第125図 RD239~244 土坑

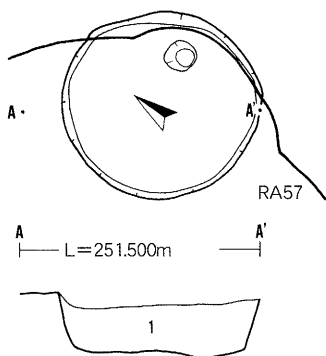
RD245



RD245(A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石 炭化物極微量
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり(下位程縮まりなし)
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石極微量 砂質含む

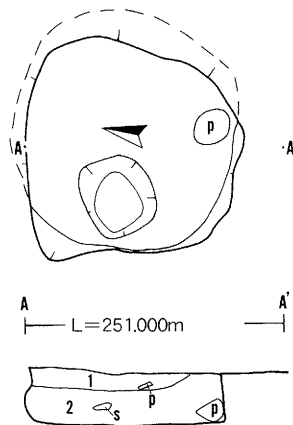
RD246



RD246(A-A')

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし オレンジの浮石含む

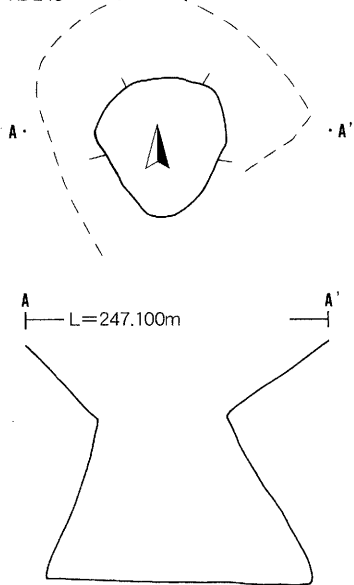
RD247



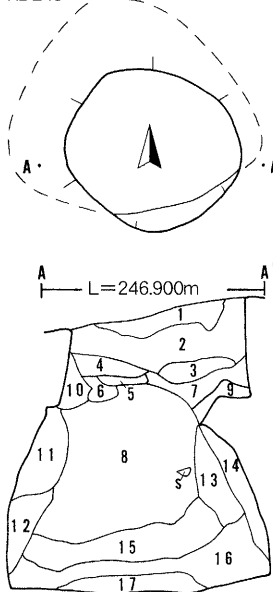
RD247(A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 10YR4/4褐色土混合 炭化物あり
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 10YR4/6褐色土含む 炭化物多量

RD248



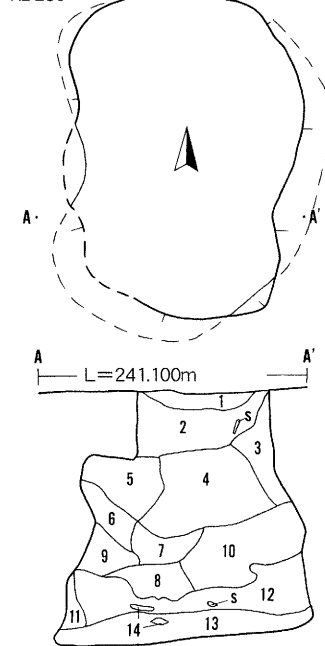
RD249



RD249(A-A')

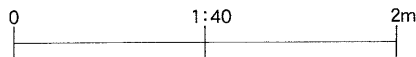
- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり 浮石少量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり 浮石 炭化物微量
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり(10YR4/6褐色土をブロック状に含む) 炭化物微量
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石少量 炭化物微量
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 炭化物微量
- 7 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物微量
- 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 全体的に浮石 炭化物散在
- 9 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり
- 10 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 焼土粒微量
- 11 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややありと10YR4/6褐色土 粘性・縮まりあり
- 12 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 13 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量
- 14 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりありと10YR4/4褐色土 粘性・縮まりややありとの混合土
- 15 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 16 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物微量
- 17 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 16より少し明るい

RD250



RD250(A-A')

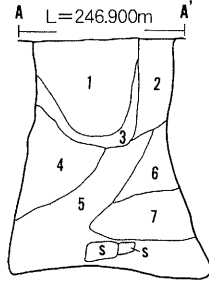
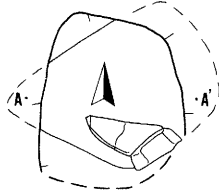
- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり 炭化物 焼土粒微量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり
- 4 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物微量
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 焼土粒微量(10YR4/6褐色の粒が混じる)
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり(10YR4/6褐色の粒が混じる)
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし
- 8 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物微量
- 9 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし(10YR4/6褐色の粒が混じる)
- 10 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物 浮石微量(全体的に5YR4/8赤褐色の焼土粒が混じる)
- 11 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 12 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物微量
- 13 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物微量
- 14 5YR5/8 明赤褐色土 粘性・縮まりなし(焼土)



第126図 RD245~250 土坑



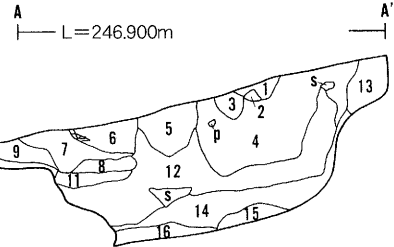
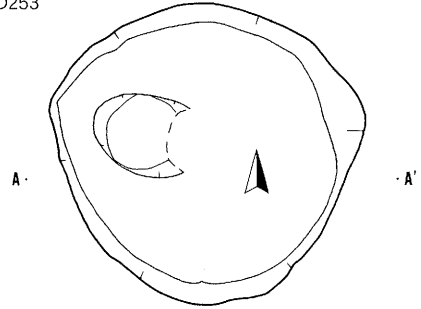
RD251



RD251 (A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物少量 浮石微量
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物微量 浮石少量
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物微量 浮石少量
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物 浮石微量
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物少量
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物多量

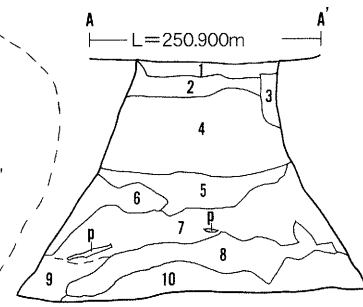
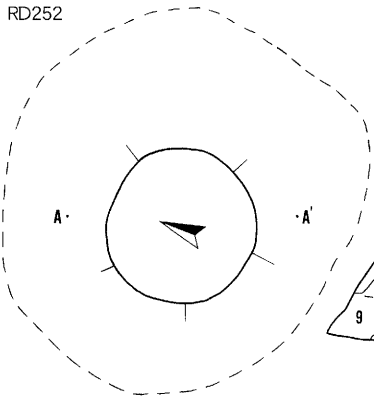
RD253



RD253 (A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり 炭化物微量
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化物微量
- 4 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/4褐色土の混合土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化物微量
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量 炭化物少量
- 6 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物微量
- 8 10YR4/4 褐色土と10YR4/6褐色土が層上に重なり合う 粘性・縮まりあり 炭化物微量
- 9 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりかなりあり 炭化物微量
- 10 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりかなりあり
- 11 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 12 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 13 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりかなりあり 炭化物微量
- 14 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり (均質) 炭化物微量
- 15 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物少量 (塊あり)
- 16 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 炭化物微量

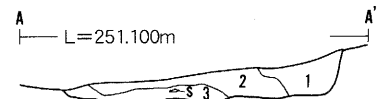
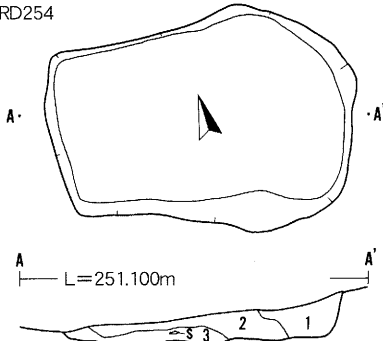
RD252



RD252 (A-A')

- 1 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり
- 2 10YR5/8 黄褐色土 粘性・縮まりあり 1よりなし
- 3 1に同じ 混合物なし
- 4 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 縮まりややあり 炭化物含む 褐色土を境目のはっきりしないブロック状に含む(多く含むが全体的に汚れて見える)
- 5 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり 炭化物含む
- 6 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりややあり オレンジの浮石 炭化物微量
- 7 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 黄褐色土を小ブロック状に含む 底部に炭化物層状に含む 土器片あり
- 8 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/6褐色土の混合土 粘性ややあり 縮まりややなし
- 9 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物含む
- 10 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭素少量

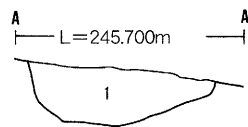
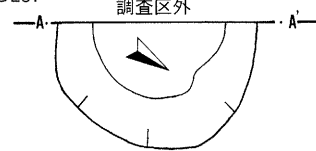
RD254



RD254 (A-A')

- 1 10YR1.7/1 黒色土 粘性・縮まりなし
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややなし 縮まりなし 黄褐色土を小ブロック状に含む
- 3 10YR2/1 黒色土 粘性・縮まりなし 黄褐色土をブロック状に含む

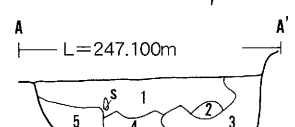
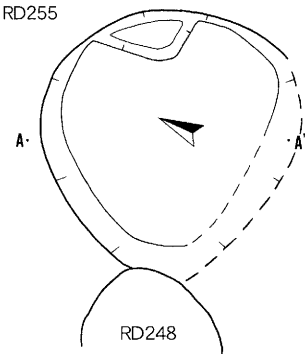
RD257



RD257 (A-A')

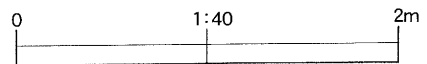
- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややなし 縮まりあり 黄褐色土を一部ブロック状に含む さらに混合状態の部分もある

RD255



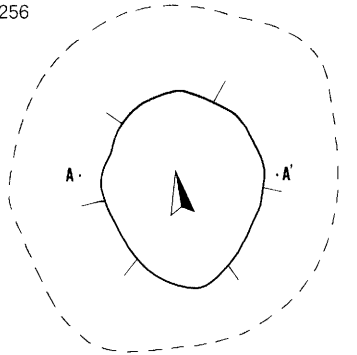
RD255 (A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石 炭化物微量
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり

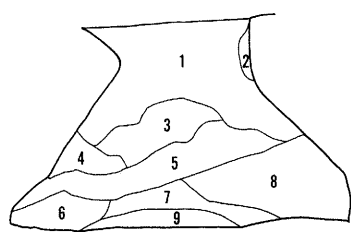


第127図 RD251~255・257 土坑

RD256



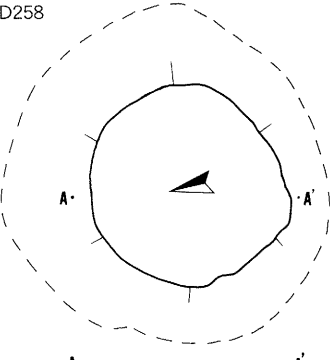
A L=247.100m A'



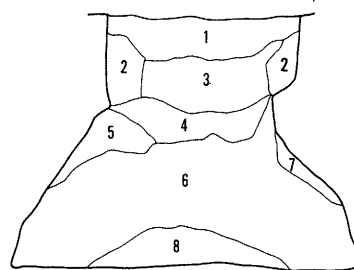
RD256(A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり(下層部に行く程縮まりがなくなる)炭化物少量 浮石微量
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし(部分的に10YR4/6褐色土を含む)
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量
- 5 10YR4/4 褐色土と10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性あり 縮まりややなし 炭化物 浮石微量
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりなし 浮石極微量
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 炭化物微量
- 8 10YR4/6 褐色土と10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性なし 縮まりややなし 炭化物 浮石微量
- 9 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/6褐色土との混合土 粘性あり 縮まりなし

RD258



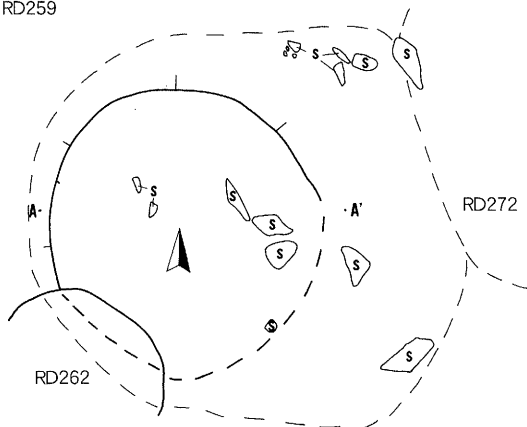
A L=245.800m A'



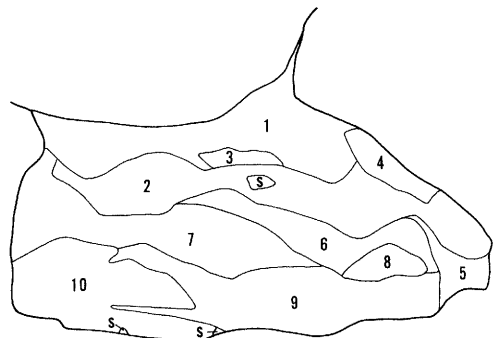
RD258(A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややなし 縮まりなし 炭化物 礫 オレンジの浮石 土器片含む 黄褐色土を小ブロック状に含む
- 2 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 小礫多数 全体的にぼろぼろしている
- 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物多く含む 焼土粒あり
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物あり
- 6 7.5YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし
- 8 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 小礫もしくは砂状含む

RD259



A L=246.600m A'

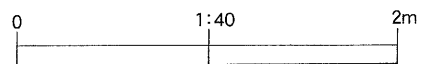


RD259(A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量 炭化物少量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり(黄褐色土を全体に10%程含む) 浮石微量 炭化物少量
- 3 5YR5/8 明赤褐色土(暗褐色土を含む) 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物全体に含む
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりかなりあり 浮石極微量
- 5 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり(下層部に行く程縮まりはなくなる)
- 6 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量 炭化物少量
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石微量 炭化物少量
- 8 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/6褐色土との混合土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 9 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり(西へ行く程 堅くなる) 浮石 炭化物微量
- 10 10YR5/6 黄褐色土と10YR4/6褐色土との混合土 粘性・縮まりかなりあり 浮石微量

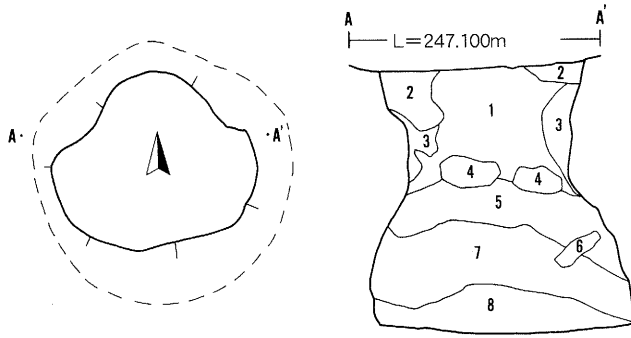
RD260(A-A')

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石少量 炭化物微量 10YR4/6褐色土部分的に含む
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 多少砂質(?)含む
- 5 10YR3/4 暗褐色土 4/6褐色土の混合土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物微量
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物微量
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり かなり礫含む
- 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし 炭化物微量
- 9 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりなし 炭化物微量 礫含む



第128図 RD256・258~260 土坑

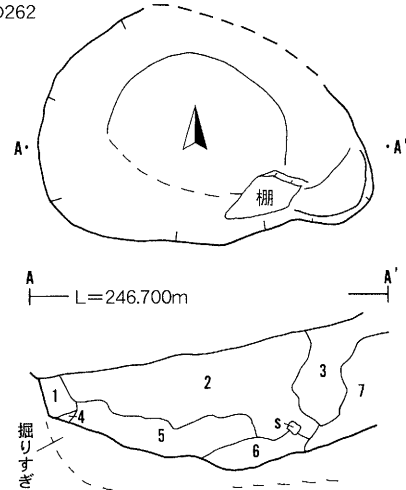
RD261



RD261 (A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 黄褐色土を上位にブロック状に含む
- 2 10YR5/6 黄褐色土 粘性・縮まりあり 1のブロックと同じ
- 3 10YR5/8 黄褐色土 粘性あり 縮まりかなりあり
- 4 10YR5/8 黄褐色土 粘性・縮まりあり 3に似ている・3より汚れている
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややなし 礫少量 炭化物微量
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりなし パサパサしている
- 7 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 中央部に炭化物 焼土多量を含む下位は縮まる
- 8 10YR4/6 褐色土と10YR4/4褐色土がブロック状に混在 粘性・縮まりややあり 炭化物混在

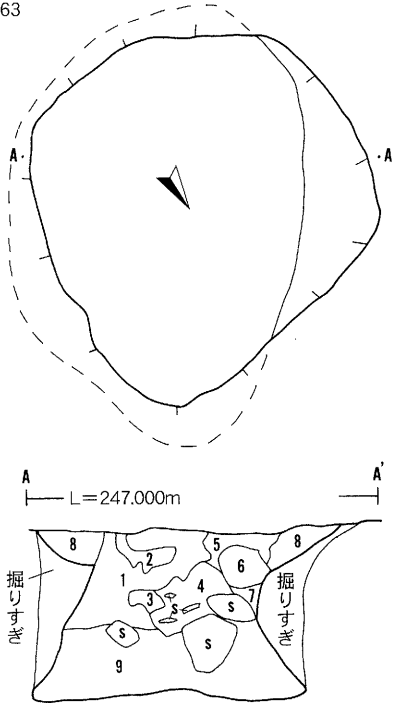
RD262



RD262 (A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量(上部が硬く下部が脆い)
- 2 10YR4/4 褐色土と10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石少量 炭化物微量 礫と土器片含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/6褐色土との混合土 粘性ややあり 縮まりあり 礫含む 浮石 炭化物微量
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石微量
- 5 10YR2/3 黒褐色土(部分的に10YR3/4暗褐色土を含む)粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややなし 浮石微量
- 7 10YR5/6 黄褐色土 粘性ややあり 縮まりあり

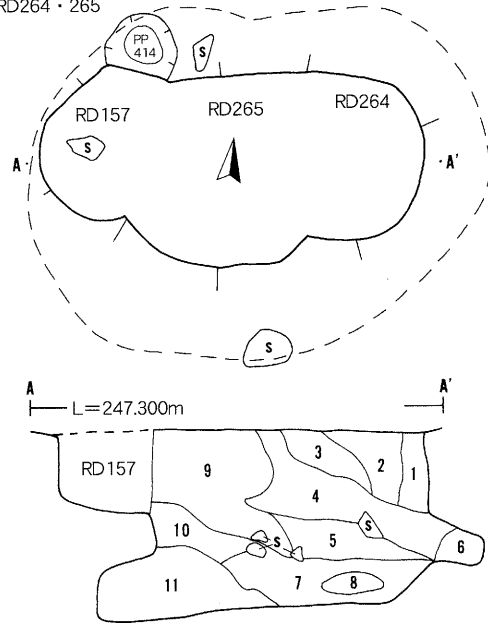
RD263



RD263 (A-A')

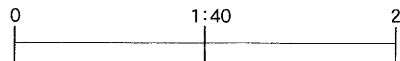
- 1 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/6褐色土の混合土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物少量
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量 炭化物少量
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 砂少々含む
- 4 10YR4/4 褐色土 4/6褐色土の混合土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物微量 礫少量含む
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量
- 6 10YR5/6 黄褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量 砂少々含む
- 7 10YR5/8 黄褐色土 粘性ややあり 縮まりあり
- 8 10YR5/8 黄褐色土 粘性あり 縮まりややなし
- 9 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量

RD264・265



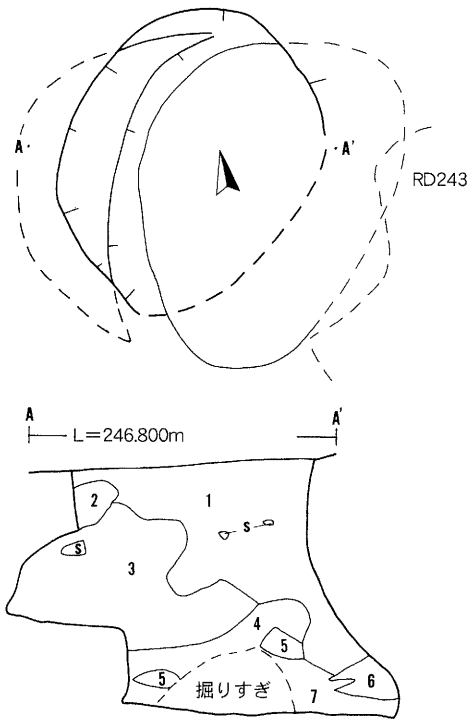
RD264・265 (A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物微量
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石 炭化物微量
- 5 10YR4/4 褐色土と10YR3/4暗褐色土の混合土 粘性・縮まりあり 炭化物微量
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 砂質
- 7 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 砂質
- 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり
- 9 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 大小の礫多量 砂含む
- 10 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 砂含む
- 11 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 炭化物微量 砂あり ブロック状に10YR4/6褐色土含む

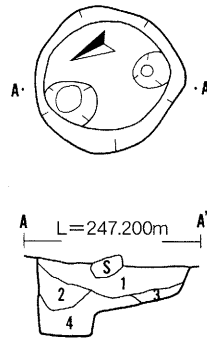


第129図 RD261~265 土坑

RD266



RD268



RD266 (A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物 浮石 焼土微量
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりなし
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物微量 4/6褐色土をブロック状に含む
- 4 10YR4/4 褐色土 4/6褐色土の混泥土 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物微量
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 砂質含む
- 7 10YR2/3 黒褐色土(上位)4/6褐色土(下位) 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物少量

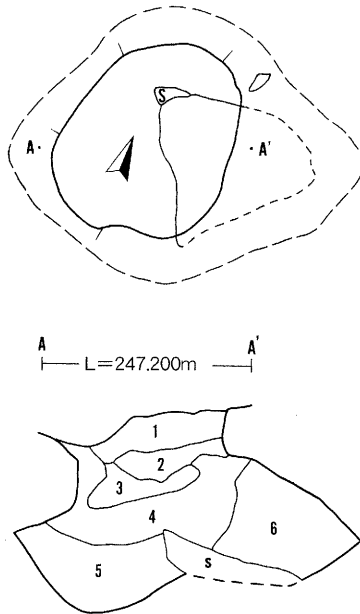
RD268 (A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり(4が混じる)
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり

RD269 (A-A')

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物少量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり
- 4 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物少量

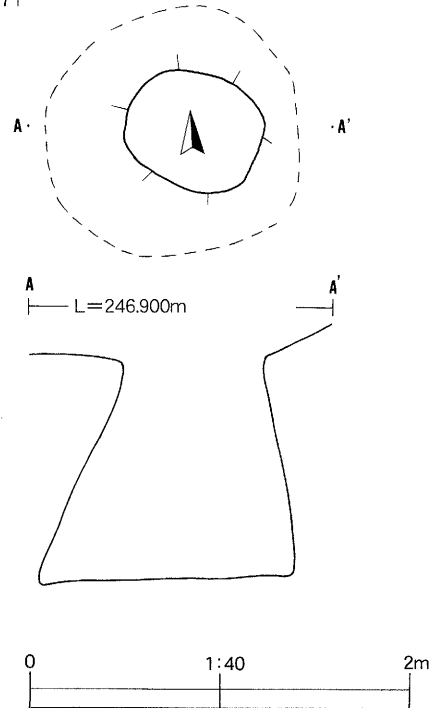
RD270



RD270 (A-A')

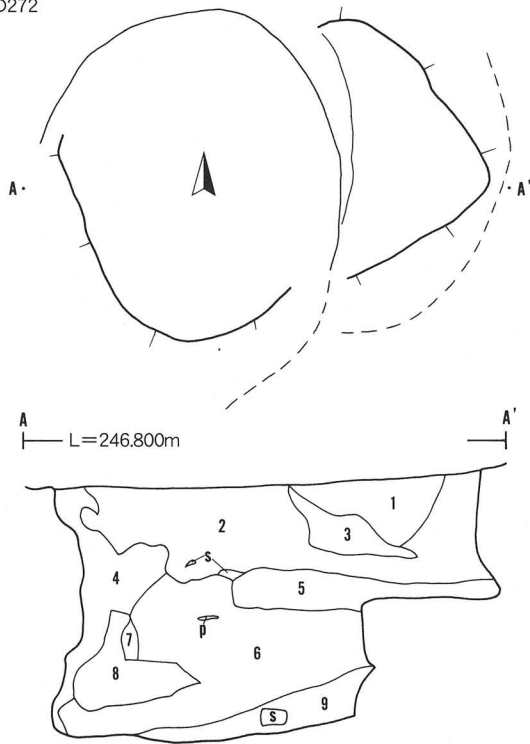
- 1 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 炭化物微量 礫あり
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり 炭化物あり
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 焼土多く含む
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりややなし(1より明るい)
- 5 10YR4/6 3と同じ 但し焼土が少ない
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 4と似ているがやや明るい

RD271



第130図 RD266・268~271 土坑

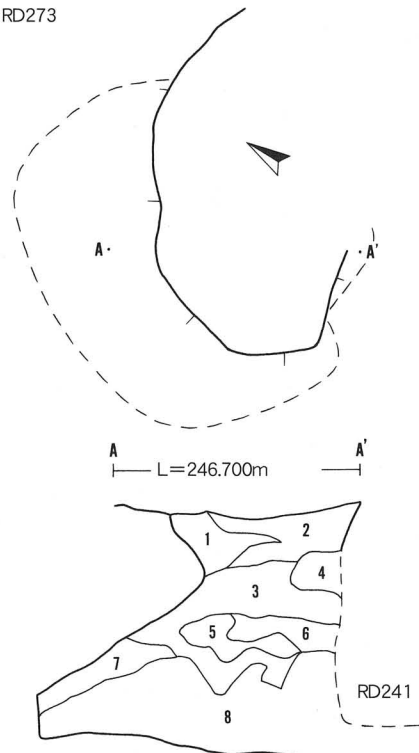
RD272



RD272(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし オレンジの浮石微量 炭化物極微量 部分的黄褐色土ブロック状に含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量 中央部焼土あり(5YR4/4にぶい赤褐色土)
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物極微量
- 4 10YR4/6 褐色土(上位)と10YR5/6黄褐色土(中～下位)との混合土 粘性・縮まりあり 浮石微量 植物根あり
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 縮まりややあり 浮石 炭化物極微量
- 6 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/6褐色土(全体に30%含む) 粘性・縮まりややなし 浮石極微量 炭化物少量含む
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり(粘土?)
- 8 10YR4/6 褐色土 10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性・縮まりあり 浮石 炭化物極微量
- 9 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし(崩れやすい)炭化物微量

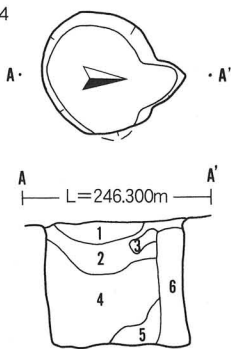
RD273



RD273(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物極微量
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石 炭化物微量 焼土少量含む(投げ込み焼土か?)
- 4 10YR4/4 褐色土と10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性ややあり 縮まりあり 礫若干含む
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 浮石少量 炭化物微量
- 6 10YR4/6 褐色土と10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 7 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/6褐色土との混合土 粘性あり 縮まりなし 浮石 炭化物極微量
- 8 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 白色浮石極微量含む

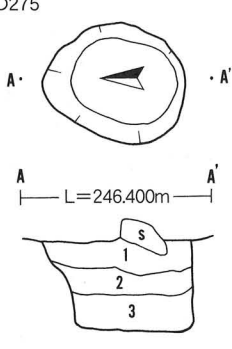
RD274



RD274(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 焼土粒微量
- 2 10YR3/4 暗褐色土に10YR4/4褐色土のブロックが混じる 粘性ややあり 縮まりなし炭化物微量
- 3 10YR3/4 暗褐色土に5YR5/8明赤褐色土のブロックが混じる 粘性・縮まりなし
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化物少量
- 5 10YR3/4 暗褐色土に5YR5/8明赤褐色土のブロックが含む 粘性・縮まりなし
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり

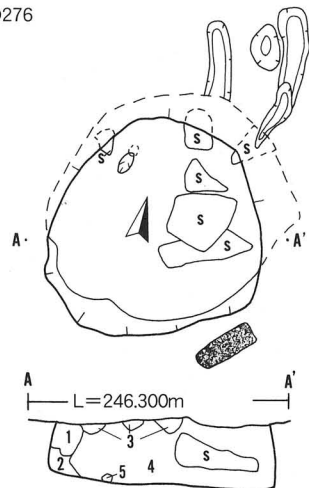
RD275



RD275(A-A')

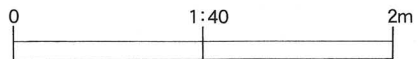
- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化物少量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 炭化物微量
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし(10YR4/4褐色土のブロック含む)

RD276



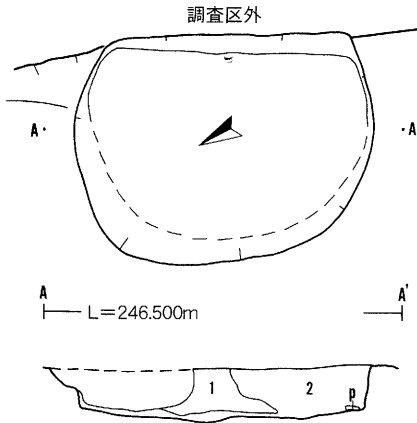
RD276(A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややなし 浮石微量
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石極微量
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややなし 縮まりややあり 浮石 炭化物極微量
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石少量 炭化物微量 部分的に褐色土を含む
- 5 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり



第131図 RD272~276 土坑

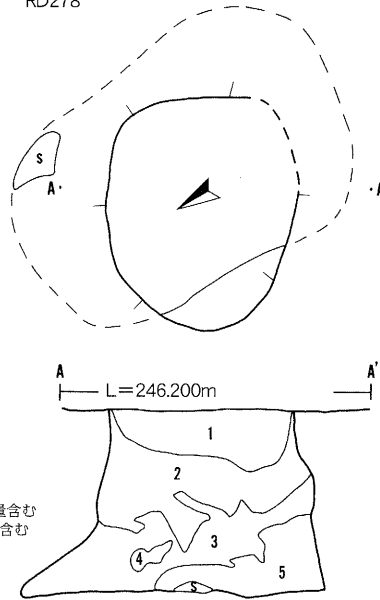
RD277



RD277(A-A')

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 小礫多量含む
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりややなし 礫 土器片含む

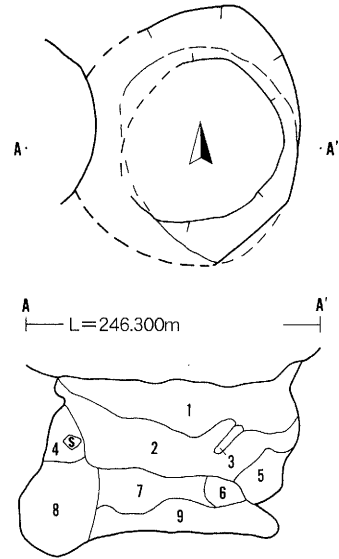
RD278



RD278(A-A')

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量 礫含む
- 2 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/6褐色土の混合土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石 炭化物微量
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石極微量
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややあり
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 浮石微量 褐色土僅かに含む

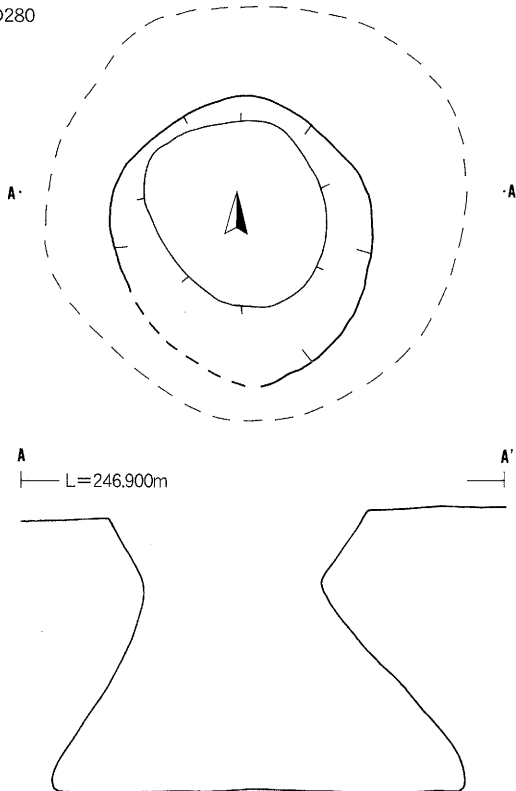
RD279



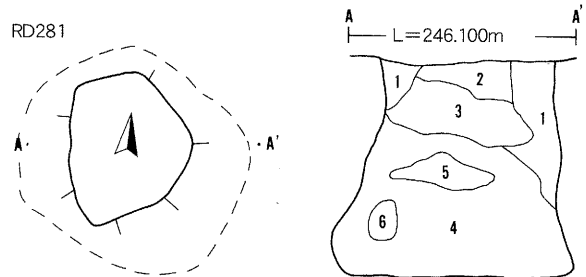
RD279(A-A')

- 1 10YR3/4 暗褐色土と10YR2/2黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合土 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物多量 焼土粒 浮石微量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物少量 焼土粒微量(10YR4/6褐色土 粘性・縮まりあり含む)
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 炭化物微量
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり
- 6 10YR3/4 暗褐色土 10YR2/3黒褐色土の混合土 粘性・縮まりなし 焼土粒少量
- 7 10YR4/4 褐色土 粘性あり 縮まりなし 焼土粒微量
- 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物微量
- 9 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし(10YR4/6褐色土含む)

RD280



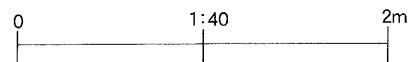
RD281



RD281(A-A')

- 1 10YR5/8 黄褐色土 粘性・縮まりあり
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物微量
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 炭化物混じる 黄褐色土を縮まりのない状態でブロック状に含む
- 5 5YR3/6 暗褐色土 粘性・縮まりなし 汚れた焼土で炭化物を上位に筋状に含む
- 6 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり

RD282については記録なし



第132図 RD277~281 土坑

### 3 炉・焼土遺構

59基の焼土・炉跡を検出した。これらは、屋外炉であったのか、住居に伴うものであったのか、或いは単に何らかの理由でそこで火を焚いた跡なのか判別がつかないものである。

何れも周囲に、付属する柱穴が無く、床面も確認できなかった。この中には、住居の施設としての地床炉や石囲い炉であってもその痕跡を失ったものもあると思われるので、ここでは焼土遺構も、石囲い炉も一括してRFの略号で統一し掲載する。なお掲載の順は検出した順である。

#### RF01 (第133図 写真図版133)

北区 FⅢ02グリッドで表土から50～60cmの面で検出。平面形は50×40cmの範囲に収まる不整形。最大8cmの厚さで焼土層が形成されている。周囲の遺構で最も近接しているものでもRA01（平安時代の住居跡）が北方20mの所にあり、全く独立した存在である。検出した面はRA01の検出面より上である。

出土遺物はなく、時期も不明であるが、RA01より新しいことだけは確かである。

#### RF02 (第133図 写真図版133)

北区 DⅢ18グリッドで表土から50～60cmの面で検出。平面形は30×40cmの範囲に収まる方形気味の不整形。焼土層は最大10cmの厚さで形成されている。

出土遺物はなく、時期も不明である。上記のRF01と同じ時期と思われる。

#### RF03 (第133図 写真図版133)

北区 DⅢ17グリッド。RA01の埋土上位で検出したが、RA01との関連はないと思われる。平面形は南北に長軸をもつ40×28cmの楕円形。焼土層は薄く5cm程である。中央よりやや東寄りの箇所の上の層からの堀込み跡が見られ、後世に攪乱を一部受けているようである。

出土遺物はない。時期は不明。上記のRF01、02と同時期と思われる。

なお、RF01～03を検出した箇所は、調査区内における遺構が平安時代の住居跡1棟のみであり他に遺構が検出されていない。さらに検出面は表土下50～60cmであるがその殆どは盛り土であるため、この辺を開田する前の段階での焼土遺構ではないかと思われる。

#### RF04 (第133図 写真図版133)

南区 KⅡ14グリッドのⅢ層下位で検出した。平面形は70×35cmの東西に長軸をもつ楕円形を呈し、焼土層は最大で13cmを測るが、断面には一部ブロック状に褐色土が混じっており、後世に攪乱をうけた跡ではないかと思われる。

出土遺物は無い。時期は不明である。

#### RF05 (第133図 写真図版134)

南区 KⅡ14グリッドのⅢ層下位で検出した。平面形は40×30cmに収まる円形基調の不整形である。焼土層は10cmを測り、炭化材混じりである。

出土遺物はない。上記のRF04と隣接し、検出状況も同じであるため、同時期と思われる。

R F 06 (第133図 写真図版134)

南区 K II 09グリッドのⅢ層下位で検出した。平面形は径85cmの円形を呈する。焼土層はレンズ状に形成されており、最大で10cm程である。焼土層の下部に、多量の炭化材が観察された。

出土遺物はなく時期は不明であるが、上記のRF04, 05と同時期と思われる。

R F 07 (第133図 写真図版134)

南区 L II 22グリッドのⅢ層下位で検出した。平面形は60×55cmの円形を呈する。焼土層は10cm程形成されており、周囲に焼土粒が散乱している。

出土遺物はなく時期不明であるが、上記RF06等と同時期と思われる。

R F 08 (第134図 写真図版134)

南区 K II 09グリッドのⅢ層下位で検出した。当初土坑のプランに見えたため、半截したところ、断面に焼土が検出されたので焼土遺構とした。よって、焼土遺構としての平面図は実測されないまま、精査してしまった。しかし、焼土そのものは、ブロック状に入っており、現地性であるという確証はもてない。

出土遺物は無く時期不明であるが層位から上記RF07等と同時期と思われる。

R F 09 (第134図 写真図版135)

南区 M II 03, 08グリッドのⅣ層下位で検出。石囲い炉である。平面形は、一部炉石を失っている箇所があるが、1.8×1.4mの楕円形をしていたと思われる。焼土層は最高で23cmを測るが、上位は焼土混じりの暗褐色土で、下位は炭化物が混じり汚れている感じがする。

周囲に柱穴や立ち上がりが見られず、RF登録したが、かなり大きい住居に伴うものだった可能性が高い。

(遺物) (第299図 写真図版199)

1566は底部に木葉痕をもち、LR縦回転の粗製深鉢であり、縄文時代後期初頭に属すると思われる。焼土を検出する直上から出土している。1567は石皿、1568は縦長の長軸方向に貫通孔をもつ石製品の欠損品である。

<時期> 出土遺物より、縄文時代後期初頭に近い時期と思われる。

R F 10 (第134図 写真図版135)

南区 K II 09グリッドのⅢ層下位で検出した。平面形は55×40cmの範囲に収まる不整形である。焼土層は最高で6cm程のレンズ状に形成されている。

出土遺物は無い。時期は検出状況から、上記RF04～08及びRD30(中～近世人骨出土)と同時期と思われる。

R F 11 (第135図 写真図版135)

南区 M II 01グリッドのⅤ層上位で検出した。平面形は115×95cmの円形基調の不整形で、焼土層は最高で20cmの厚さになっている。検出面でははっきりしない状況だったが、断面は厚く鮮やかな色をしている。周辺に柱穴など確認されず、RF登録したが、住居にともなう炉であった可能性が高い。

出土遺物はないが、検出状況から縄文時代と思われる。



R F 12 (第135図 写真図版135)

南区 M I 10グリッドのV層上位で検出した。平面形は95×55cmの楕円形基調の不整形で、東から西へ下がる傾斜を持って形成されている。焼土層は最大12cmの厚さがある。焼土そのものは明るい色だが、焼土以外の土が少量、ブロック状に混在している。

出土遺物は無いが、検出状況から時期は縄文時代と思われる。

R F 13 (第135図 写真図版136)

南区 M I 20、M II 16グリッドのV層上位で検出した。平面形は105×75cmの楕円形を呈する。焼土層は最高15cmの厚さがある。東から西に傾斜する斜面上にあり、検出面の上位にも焼土の一部と思われるにぶい赤色の広がり散乱していた。

出土遺物はないが、検出状況から縄文時代と思われる。

R F 14 (第135図 写真図版136)

南区 M II 11・12グリッドのV層で検出した。南2m程の所にRF15がある。平面形は165×130cmの楕円形基調の不整形である。焼土層は最高で15cmの厚さがある。焼土範囲の西側部分には焼土の上に暗褐色土が一部堆積している。

(遺物) (第299図 写真図版199)

1569の1点のみである。磨り面に凹部をもち側面に敲打面をもつ礫石器である。

<時期> 出土遺物から縄文時代であろうと思われるが、それ以上詳しいことは分からない。

R F 15 (第136図 写真図版136)

南区 M II 11グリッドのV層上位で検出した。北に2mほどの所にRF14がある。平面形は115×50cmの楕円形を呈しているが、断面での焼土の形成はまばらである。焼土層は最高で5cmである。

(遺物) (第299図 写真図版199)

1570は高台部分であろうか、底部に沈線で円形基調の曲線を描いている。縄文時代後期初頭のものと思われる。1571は口縁部で、半截竹管による施文が見られ、内湾気味に立ち上がる。本遺跡ではこの特色を持つものは、縄文時代中期初頭のものに多い。何れも焼土上面からの出土である。

<時期> 遺構の集中区であり、多量の土が長い年月の中で動かされていることを考えると、上記遺物から時期を特定する事は難しく、ここでは、縄文時代後期初頭かそれ以前ということしか分からない。

R F 16 (第136図 写真図版136)

南区 L II 16グリッドのV層で検出した。平面形は45×20cmの範囲に収まる瓢箪型である。焼土の層は最高でも5cm前後で、断面には2ブロックに分かれて観察された。或いは別々に形成されたものかもしれないが、表面では焼土の範囲が連続して検出されている。この周囲にはRF17、18、と19(石囲い炉)があり、それぞれが住居の床だった可能性が高い。

出土遺物はないが検出及び周囲の状況から、時期は縄文時代に属するとしか言えない。

R F 17 (第136図 写真図版137)

南区 L II 16グリッドのV層で検出した。平面形は45×25cmの楕円形を呈する。焼土層は最高でも5cm程である。前記と同じく、周囲にRF16、18、と19(石囲い炉)があり、それぞれ住居の床であった可能性が強い。出土遺物はない。RF16と同じように、縄文時代に属すると言えない。

R F 18 (第136図 写真図版137)

南区 L II 21グリッドのV層で検出した。平面形は50×25cmの範囲に収まる瓢箪型をしている。焼土の層は最高で5cmであるが、断面では連続する二つのブロックに分かれているため、RF16同様に二つのものかもしれない。これも上記同様に住居の床であった可能性が高い。

出土遺物はないが、周囲の状況及び検出状況より縄文時代に属するであろうがそれ以上は言及できない。

R F 19 (第136図 写真図版137)

南区 L II 21グリッドのV層中で検出した。石囲い炉である。一部調査不能箇所に入り込んでいるため全体像を把握できないが、平面形は楕円形を呈するのではなかろうか。規模も不明であるが焼土の広がり具合は、幅約35cmで、焼土層は最高で15cm程形成されている。炉石は残存する部分で見ると2列に組まれて焼土を囲む形になっていたようであるが大半は壊されている。周囲に柱穴、壁など確認できないが住居に伴うものであった可能性が高い。

出土遺物はない。時期は縄文時代と思われる。(RF16~19が住居に伴うものだとすると、その北西側にあるRA08やRA07の複式炉をもつ縄文時代中期後葉の住居跡に切られている。このことからRF16~19の時期は縄文時代中期後葉かそれ以前といえる。)

R F 20 (第136図 写真図版137)

南区 M I 10グリッドのV層上位で検出した。平面形は35×30cmの円形を呈する。焼土層は最高で7cmであるが、断面には、これとは別にブロック状に焼土が入り込む箇所も観察される。

出土遺物はない。時期は縄文時代であろう。

R F 21 (第137図 写真図版138)

南区 L II 01グリッドのIV層下位で検出した。平面形は120×80cmの範囲に収まる不整形である。純粋な焼土層は最高で12cmであるが、焼土層の中に暗褐色土のブロックが入り込んでおり、後世の攪乱を受けているようである。

出土遺物は無い。この周囲にRA04や同23がありこれらは縄文時代中期後葉から後期初頭である事を考えると、本遺構の時期は、縄文時代中期後葉以降であろうと思われる。

R F 22 (第137図 写真図版138)

南区 L II 06グリッドのV層上位で検出した。焼土の平面形は35×35cmの円形であるが、もともとは石囲い炉であったようである。抜き取られたと思われる炉石が焼土上及び周囲に散乱していた。焼土層は最高で20cm程あり、一部層状になっている箇所もある。周囲に柱穴は検出されなかった。

(遺物) (第299図 写真図版199)

1572は低い角状突起をもつ口縁部である。1573は連鎖状の隆帯を垂下させる胴部片である。  
〈時期〉 本遺構は、大木9式期の住居跡であるRA23の埋土中にある事、さらに出土遺物からみて縄文時代後期初頭であると思われる。

R F 23 (第137図 写真図版138)

南区 L I 05・10グリッドのV層中で検出した。表面には焼土は検出されず、平面形は不明であるが断面から、幅が85cmあるのが観察された。焼土層は最高で10cm程あるが、純粋な焼土というより、焼土粒と炭化物が混在した層である。表面には角礫が散乱し、中には火熱を受けた礫もあり、炉石だった可能性が高い。  
(遺物) (第300図 写真図版199)

1574、1575とも凹石であり、両面に凹面をもっている。  
〈時期〉 RA04 (縄文時代中期後葉から後期初頭) に隣接し、一部切られているので、後期初頭以降の時期と思われる。

R F 24 (第137図 写真図版138)

南区 L II 01グリッドのIV層下位からV層上位で検出した。ここは表面には焼土の広がりは見られなかったが、火熱を受けた形跡のある人頭大の礫が散乱していたことでRF登録した。平面形は不明である。断面には石が埋まってあるのが観察され、焼土も下位に形成されている。層厚7cm程で小規模である。表面に粗製深鉢の土器片が散乱していたが、遺構外登録したために掲載はしていない。

これ以外の遺物は出土していない。時期は隣接するRA18 (縄文時代中期末葉) より新しいと思われる。

R F 25 (第138図 写真図版139)

南区 L II 21グリッドのV層で検出した。平面形は径50cmの円形を呈する。焼土層はレンズ状に形成され、最高で10cmである。当初住居跡を想定していたが、周囲に柱穴、壁を確認できず焼土跡とした。

出土遺物はないが、周囲状況から、縄文時代中期後葉から後期初頭までの間のものと思われる。

R F 26 (第138図 写真図版139)

北区 H II 06グリッドのV層で検出した。表面での焼土の広がりには3つのブロックで構成されるが非常に薄く、断面で観察できる焼土はわずかに5cm程である。炉石も2点しか残ってなく、周囲は柱穴群で攪乱を受けている。

本遺構は、RA06精査時にRA06の炉と並んで検出されたものである。RA06の炉は石囲いの中に土器を敷き詰めたもので焼土は土器の上と下に形成されていた。この炉と眼鏡の上半分状に並んで検出されていることからみて、本遺構はRA06の炉の付属施設であった可能性が高い。

出土遺物はない。時期はRA06と同じく大木9式期のものであろう。

R F 27 (第138図 写真図版139)

南区 M II 06グリッドのV層中、RD70の精査中に検出した。本遺構の方が新しい。平面形は95×50cmの範囲に収まる不整形である。焼土層は最高15cmである。

出土遺物はない。時期は検出面からみて縄文時代中期後葉以降と思われる。

R F 28 (第138図 写真図版139)

北区 H II 06グリッドのIV層下位で検出した。平面形は70×45cmの範囲に収まる不整形である。炉石の一端はあるが大半は失われており、石の抜き取り跡と思われる箇所も見受けられる。焼土層は薄く5cm程であり、黒褐色土と互層になっている部分がある。

(遺物) (第300図 写真図版199)

炉の覆土より出土した1576の石鏃1点のみである。

<時期> 不明であるが炉の形態と検出面から、縄文時代であることは間違いないと思われる。

R F 29 (第139図 写真図版140)

南区 M I 25グリッドのV層上面で検出した。RD58土坑に切られており、全景は不明であるが110×80cmの範囲に収まる楕円形基調の不整形になると思われる。焼土層は最高で15cmである。表面では焼土が一円に広がっているが、断面では二つのブロックに分かれている。図には現れていないが、火熱を受けたと思われる礫が一つ埋まっているのが確認されたので炉跡とした。

出土遺物は無いが、検出面から見て縄文時代中期以降であることは間違いないであろう。

R F 30 (第139図 写真図版140)

南区 M I 15グリッドのV層上面で検出した。中央を柱穴状ピットに切られている。平面形は65×55cmの範囲に収まる不整形である。焼土層は中央部を欠いており、残存値で層厚は8cmある。周囲に柱穴状ピットが点在しているがこの焼土遺構との関連は不明である。

出土遺物は無い。上記RF29と同じ検出面であり、縄文時代中期以降であろうと思われる。

R F 31 (第139図 写真図版140)

南区 M I 15グリッドのV層上面で、上記のRF30から北西に20cm弱離れた箇所検出した。平面形は25×18cmの楕円形で焼土層は3cmと薄く、焼土の色もややくすんでいる。

出土遺物はないが、上記のRF29～30と同じく、その検出面から縄文時代中期以降と思われる。

R F 32 (第139図 写真図版140)

南区 M I 14グリッドのV層上面で検出した。平面形は32×25cmの円形基調の不整形である。焼土層はレンズ状に形成されており層厚は最高で6cmある。

出土遺物はないが、上記のRF29～31と同じく、その検出面から縄文時代中期と思われる。

R F 33 (第139図 写真図版141)

南区 M I 14グリッドのV層上面で、上記のRF32から北に40cm程の箇所検出した。平面形は50×45cmのほぼ円形であるが、断面では焼土層が2ブロックに分かれており、それぞれの層厚は最高で4cmである。

出土遺物はないが、上記のRF29～32と同じく、その検出面から縄文時代中期以降と思われる。

R F 34 (第140図 写真図版141)

南区 M I 20グリッドV層上面で検出した。当初焼土の広がり、その近くで35×20cmの礫を1点検出したが、精査を進めていくと、焼土の周囲に礫に連なる抜き取り痕を検出し、石囲い炉であったことが判明した。石囲い炉の規模は、炉石の外周で110×110cm程の円形であったと思われる。焼土層はレンズ状に形成され、最高で7cmである。周囲に柱穴や床面及び立ち上がりを確認することは出来なかった。

(遺物) (第300図 写真図版199)

炉の覆土から出土した1577の石錐1点のみである。

<時期> 不明であるが、検出面より、縄文時代中期以降と思われる。

R F 35 (第140図 写真図版141)

北区 H III 14グリッドで表土除去後にⅢ層中で検出した。平面形は45×35cmの範囲に収まる円形基調の不整形である。焼土層は最高で8cmである。

出土遺物はなく時期も不明である。周囲に遺構がないこと、及び検出面からみて、縄文時代のものとは断定できない。

R F 36 (第140図 写真図版141)

南区 M I 19・24グリッドのV層下位で検出した。平面形は170×80cmの範囲に収まる不整形であるが、その広がり具合及び断面を観察すると、二つの遺構であるように思われる。20×10cm前後の礫が数個埋まっており、元々は石囲い炉であった様である。焼土層はそれぞれがレンズ状に形成されており最大で15cmである。

(遺物) (第300図 写真図版191)

1578は大木7b式と思われる口縁部、1579は大木8b式の口縁部、1580はRLR縦回転の粗製深鉢口縁部の3点のみである。

<時期> 本遺構の北隣にRA10竪穴住居跡があり、この床面から大木7b式の土器片が出土している。本遺構はこの住居の外縁部に位置しており、検出面もRA10と大きな違いはないことから、RA10と同時期か或いは大きく下らない時期と思われる。縄文時代中期前葉かそれ以降であろう。

R F 37 (第141図 写真図版142)

南区 K I 25グリッドのV層で検出した。平面形は65×45cmの範囲に収まる不整形と径15cm、同20cmの円形のものも並んで検出された。焼土層は薄く、それぞれが5cm前後の厚さである。

出土遺物はない。本遺構はRA13竪穴住居跡の南外縁部にあたり、RA13は縄文時代中期前葉と思われるので、これと同時期か或いはこれ以降と思われる。

R F 38 (第141図 写真図版142)

南区 K II 08グリッドIV層中で検出した。平面形は90×45cmの楕円形である。焼土層は最大で13cmである。当初、土器が集中して検出されたが、周囲を広げると焼土層が確認されたので、焼土遺構として精査した。土器は焼土のほぼ中央北西よりの箇所到一个体分まとまってあり、焼土上面が若干の凹になっていた。

(遺物) (第300図 写真図版199)

1581はRLR縦回転施文の粗製深鉢であり火熱を受けている。他に1582の半円状扁平打製石器が1点出土している。

<時期> 出土した土器から縄文時代中期以降と思われる。

#### R F 39 (第141図 写真図版142)

南区 M II 03グリッドIV層下位で検出した。RD29土坑の底面にあった焼土の広がりを当初投げ込みと誤っていたが、精査してみると90×80cmの範囲に収まる不整形の焼土遺構となった。焼土層はレンズ状に形成されており最高で10cmである。

出土遺物は無い。検出状況から縄文時代中期以降であることは確実である。

#### R F 40 (第142図 写真図版142)

南区 N I 24グリッド表土除去後のIV層上位で検出した。平面形は85×55cmの範囲に収まる楕円形基調の不整形である。焼土層は最高12cm程形成されているが、さらに周囲及び下位に焼土混じりの土がある。

出土遺物は無い。時期は不明であるが、検出状況から縄文時代のもと思われる。

#### R F 41 (第142図 写真図版143)

南区 N I 19グリッドのIV層中で検出した。一部攪乱を受けている。平面形は70×45cmの範囲に収まる不整形である。焼土層は厚く最高で15cmである。図には現れていないが、一部に礫をかねており、元々は石囲い炉であった可能性があるが、周囲にその根拠となるべきものは確認できなかった。

出土遺物はない。時期は検出状況より縄文時代であると思われる。

#### R F 42 (第142図 写真図版143)

南区 O I 14グリッドの表土除去後IV層下位で検出した。石囲い炉である。焼土の広がりは1165×150cmの範囲に収まる不整形である。焼土層は炉石の内側に多いが一部南西方向にもはみ出して形成されている。層厚は最高で10cmである。

表土は田圃の耕作土であり、この直下に検出されたので周囲に立ち上がり等は確認できず、仮に住居に伴うものであっても、削平を受けていると思われる。本遺構の直下にはRA51竪穴住居跡がある。

(遺物) (第301図 写真図版199)

1583の深鉢口縁部1点のみ、焼土面より出土している。

<時期> 遺物から本遺構の時期を判定することは難しいが、本遺構の直下にRA51があり、これは縄文時代中期前葉を上限とする遺構のため、これより新しい遺構で、下限は縄文時代後期初頭までの間と思われる。

#### R F 43 (第143図 写真図版143)

南区 O I 19グリッドの表土除去後IV層下位で検出した。上記のRF42の南2m程の場所で検出状況は同じである。平面形は75×50cmの楕円形を呈し、焼土層は純粹なもので最高20cmであるがさらにその下位に焼土混じりの黒褐色土が存在する。周囲に石の抜き取り痕もなく、地床炉と思われる。

出土遺物はないが、RF42と条件は同じなため、これと同時期のもと思われる。

R F 44 (第143図 写真図版143)

南区 O I 08・09グリッドの表土除去後IV層下位～V層上位で検出した。当初点在する状態だったが、上面をきれいにすると115×100cmの範囲に収まるほぼ円形の平面形となった。焼土層は最高で20cmである。図にも現れているが、表面には存在しない石が、断面には現れており、元々は石囲い炉であった可能性がある。一部東側に柱穴が本遺構を切っている箇所が見られる。

出土遺物はないが、時期はその検出状況から前述のRF42、43と同時期と思われる。

R F 45 (第143図 写真図版145)

南区 O I 08グリッドの表土除去後、IV層下位～V層上位で検出した。平面形は130×95cmの楕円形を呈するが、周囲に炉石と思われる礫も検出されており、元々は石囲い炉であったと思われる。焼土層は最高で15cmである。

(遺物) (第301図 写真図版199)

石鏃が2点、焼土層の上位から出土している。1584は無茎で抉入、1585は有茎で先端部が欠損している。〈時期〉 遺物から本遺構の時期を推定することは難しいが、検出状況からみて前述のRF42、43、44と同時期と思われる。いわゆる縄文時代中期中葉から後期初頭の間であろう。

R F 46 (第143図 写真図版144)

南区 O I 13グリッドの表土除去後、IV層下位からV層上位で検出した。焼土は95×80cmの範囲に収まる方形基調の不整形であるが、この中に焼土ブロックが散在している。炉石と思われる礫も散在するが、焼土層からは浮いている。焼土層は最高で6cmであるが、断面にもブロックとして散在しているため、現地性としての根拠に乏しい。

(遺物) (第301図 写真図版199)

1586は口縁部から二条の垂下隆帯をもち、幅広の折返し帯にLRの押圧で鋸歯状の文様を描いている口縁部片。1587はやや内湾する口縁部片で隆沈線での区画内にRLRの施文をもつ大木8b式の特徴を持つものである。〈時期〉 出土遺物から見ると縄文時代中期中葉と思われるが、本遺構そのものが現地性でない可能性もあるため、出土遺物と焼土遺構との関連は断定できない。何れRF42～45と同状況下にあるため、時期も同時期と思われる。

R F 47 (第144図 写真図版144)

南区 N I 23・24グリッドの表土除去後IV層下位で炉石と思われる礫の散乱を確認し、精査の結果石囲い炉となった。平面形は径70cm前後の円形になるようである。焼土層ははっきりした赤褐色を呈してはいないが、最高で18cmである。断面図中の右側の縦に埋まっている石と、その直ぐ左に横転している石は接合するものであり、元々は45cmの高さをもつ平らな石がここだけ突出して立てられていたようである。

(遺物) (第301図 写真図版199)

1588は粗製深鉢胴部片でRL縦の施文のみであり、後期初頭のものと思われる。1589は深鉢口縁部片でRLの押圧を施し、隆帯を口縁部から垂下させるもので円筒下層d式～同上層a式にかけてのものと思われる。〈時期〉 出土遺物は縄文時代中期初頭と同後期初頭のものであるが、検出状況から考えると、前述のRF42～46と同じと思われる。

R F 48 (第144図 写真図版144)

南区 N I 18グリッドの表土除去後IV層下位からV層上位で検出した。周囲に径30cm大の礫が有るが1点だけであり、しかも浮いているため炉石とは思われない。焼土範囲は80×70cmの不整形であり、焼土層は最高で12cmである。

出土遺物は無い。時期はその検出状況から前述のRF42～47と同時期と思われる。

なお、RF42、43、44、45、46、47、48については、その検出状況は同じである。表土、いわゆるここでは田圃の耕作土であるが、これを除去した時点で検出されている。ために、もしこれらの遺構が住居に伴うものであったとしても、開田事業により壁、或いは床面までも削り取られた可能性は大である。

R F 49 (第144図 写真図版145)

北区 G III 06グリッドのV層中で検出した。石囲い炉であると思われるが、炉石は完全には回っていない。北東側には径10cm前後の礫を4個置いてあるだけで、西側には炉石の抜き取り痕も観察できなかった。焼土層は最高で10cmであるが部分的であり、炭化物混じりの褐色土と混在している。周囲に柱穴らしきものは検出できなかったが、周辺の土は非常に堅く締まっている。

(遺物) (第301図 写真図版199)

1590のみである。LR縦の粗製深鉢で内湾する口縁部片であり、縄文時代後期初頭のものと思われる。

<時期> 周囲には遺構を掘り上げた土が多く、出土遺物からの遺構の時期を特定するのは難しいが、検出状況も考慮に入れて考えると、縄文時代後期初頭位と思われる。

R F 50 (第145図 写真図版145)

北区 G II 13グリッドV層下位で検出した。1辺40cmの方形に石を配置し、そこからさらに南東側に細長い石を配しており、複式炉の一形態と思われるが、根拠に乏しい。理由は、炉石そのものが、全く火熱を受けた形跡が見あたらないこと、また、焼土が断面にも検出されていないこと、さらに、この周囲の複式炉の向きと逆行する事である。

本遺跡での複式炉はその前庭部を斜面下位に向ける傾向があるが、ここでは斜面に関係なく、むしろ斜面に直行する位置に石が配されている。周囲にも住居跡の形跡は観察できず、炉として機能していたかどうか疑わしいものである。

(遺物) (第301図 写真図版199)

1591の縦型で使用面が内湾する削搔器1点のみの出土である。

<時期> 複式炉だとすると縄文時代中期後葉と思われるが、前述のとおり確証はない。但し検出面から考えると、縄文時代中期のものと考えられる。

R F 51 (第145図 写真図版145)

北区 I II 08グリッドのII層上位で検出した。平面形は55×40cmの範囲に収まる楕円形基調の不整形である。焼土層は最高で10cmである。出土遺物は無い。周囲には近代と思われる柱穴群があり、検出面も同じである。よって、本遺構は近代のもの判断したい。



R F 52 (第145図 写真図版145)

北区 G II 25グリッドのRA44 (縄文時代中期後葉) の精査終了後下位のRA48 (縄文時代中期中葉から後葉の住居跡) 精査中、その埋土に設けたベルト部分で検出した。周囲はすでに精査のため掘り下げられており、柱穴を確認できない状況だったため、石囲い炉としてRF登録した。20×10cm前後の礫とその抜きとり痕が半円形に回っている。焼土層ははっきりとは形成されていないが、炭化物が少量、断面で観察できた。径80cm前後の円形になる模様である。

出土遺物は無い。時期はRA44とRA48の間に属するであろう。

RA44とRA48は重複している住居跡のため、本遺構の存在は、これら二つの住居の間にもう一つの住居跡の存在を示すものかもしれない。

R F 53 (第146図 写真図版146)

南区 K II 13グリッドの黒色土中で検出した。この黒色土とは、基本土層の観察箇所を観察できなかった層位で、VI層 (地山) の上位にある。これは調査区内では部分的にしか見られない層位である。平面形は径50cm程の円形であるが検出時に周囲を掘り下げすぎてしまったため、この範囲しか観察できなかった。断面形からも伺えるが、本来はもう少し広い範囲に形成されていたものと思われる。焼土層は最高で15cmまでしか記録出来なかった。出土遺物は無い。時期は縄文時代であることは間違いないが詳しいことは不明である。但し、同じ黒色土中にRA42 (複式炉をもつ縄文時代中期後葉) が作られており、これと同時期である可能性は高いと思われる。

R F 54 (第146図 写真図版146)

南区 O I 19グリッドで表土除去後、IV層下位からV層上位で検出した。平面形は60×45cmの楕円形に広がる。焼土層は最高で20cmであるが、焼土そのものはくすんだ色をしている。

(遺物) (第301図 写真図版199)

1592の1点のみである。焼土面と同じレベルから出土している。頸部と思われる。断面形がくの字になり蛇行垂下する沈線を持つ橋状取っ手が付く。大木7式と思われる。

<時期> 上記の土器が出土しているが、V層は遺構の土が掘り上げられたものであり、ここに焼土遺構が形成されたときにはすでにこの遺物を包含していたと思われる。本遺構の下にRA51として調査した竪穴住居跡があり、これは縄文時代中期から後期初頭の間に含まれる遺構である。ためにこれよりは新しく、RF42から同47と同じ時期と思われる。

R F 55 (第146図 写真図版146)

南区 O I 19グリッドで表土除去後、IV層下位からV層上位で検出した。前述のRF54の北隣で、検出状況もこれと同じである。垂角礫が散乱しており、石囲い炉が壊されたものと判断した。焼土層は最高で10cmである。

(遺物) (第301図 写真図版199)

1593~1595の礫石器が3点出土しているがこれらは、石囲い炉の部材として使われていた。1593は磨り面をもつ扁平な台石、1594は石皿の破片、1595は擦り面をもつ砥石である。

<時期> 上記のRF54と同時期と思われる。

R F 56 (第147図 写真図版146)

南区 O I 02グリッドで表土除去後、V層上位で検出した。平面形は55×35cmの楕円形を呈する石囲炉である。周囲は東から西にかけて下がる傾斜地でありそれに合わせるかのように、焼土面自体も傾斜して形成されている。焼土層は最高で12cmである。当初RA35(縄文時代中期前葉?)に伴うものと考えたが、位置的に検討すると無理があるため、RA35の西側(斜面下方)が削平された後に作られたものと考えた。なお周囲にはこれに伴う柱穴は検出できなかった。

(遺物)(第302図 写真図版199)

1596は不定形石器で炉内からの出土である。1597は安山岩(溶岩)を利用した石皿で、炉石として使われていた物である。

<時期> RA35は縄文時代中期前葉と思われる竪穴住居跡であり、この住居廃絶後に本遺構が作られているので、縄文時代中期前葉以降の時期と考えたい。

R F 57 (第147図 写真図版147)

南区 O I 01グリッドのV層中で検出した。調査区の西端で現用道路際に位置する。平面形は径40cm程の円形を呈する石囲い炉であり、焼土層は炉内の一部に最高5cm程形成されているのみである。周囲には柱穴や床面らしきものは検出されず、また調査区境に土層断面を設定し観察したが、住居としての壁の立ち上がりを確認できなかった。道路建設時に削平を受けた可能性がある。

出土遺物は無い。RF56から北西に1.5m離れた地点であり、検出状況も同じなため、RF56と同時期と考えられる。なおこの下位には縄文時代前期末葉の捨て場が形成されている。

R F 58 (第147図 写真図版147)

南区 N I 25グリッドのV層中で検出した。平面形は35×15cmの楕円形状である。焼土層は、検出面の焼土の広がりには比すと北寄りの部分に偏って層厚8cm程形成されている。

出土遺物は無い。本遺構の下位に縄文時代中期初頭頃のRA56竪穴住居跡がある、よって本遺構はこれより新しいものである。検出状況からすると、RF42から47及びRF54、55と同時期と思われる。

R F 59 (第147図 写真図版147)

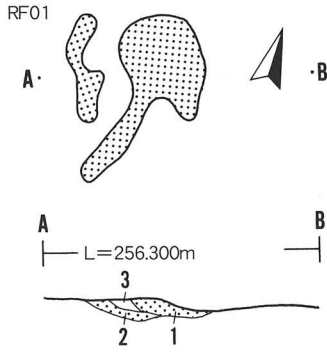
南区 N I 18グリッドのV層中で検出した。RA59と判断した竪穴住居跡の石囲い炉から南東に1m離れた地点で、レベルは20cmほど下がっている。土器埋設炉である。埋設土器は径30cmで、土器内には焼土は観察できず土器の周囲に取り囲むように形成されている。土器そのものは口縁部の一部と下部を欠き上半分だけ正位に埋設されていた様であったが、精査を進めていく中で土器の欠けた下部と上半分をずらして一緒に埋設している様に観察できた。

本来は住居の伴うものだった可能性があるが、周囲は土坑密集区で、住居の痕跡を確認することはできなかった。

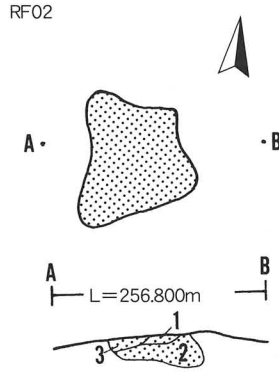
(遺物)(第302図 写真図版199)

1598、1599は埋設土器であり、同一個体である。口縁部に垂下隆帯をもち、LRとRLの押圧を施し胴部は結束第1種の横回転である。円筒上層aと思われる。

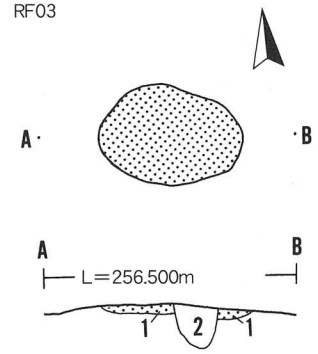
<時期> 出土遺物より縄文時代中期初頭と判断した。



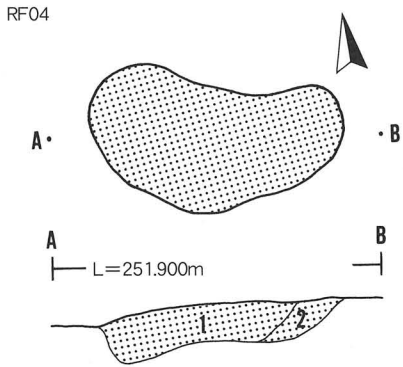
- RF01  
 1 7.5YR4/6 褐色土 焼土 粘性ややあり 縮まりなし  
 2 7.5YR3/4 暗褐色土 焼土 粘性・縮まりなし  
 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし



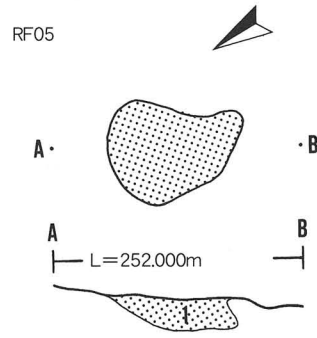
- RF02  
 1 5YR4/6 赤褐色土 焼土  
 2 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 焼土との混合土  
 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 表面に焼土散乱



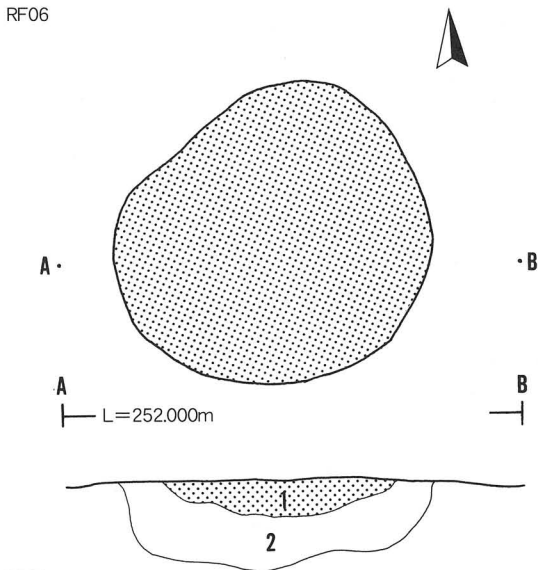
- RF03  
 1 5YR3/4 暗赤褐色土 焼土 炭化物あり  
 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし



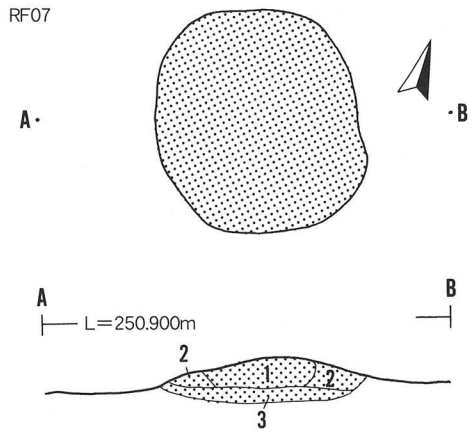
- RF04  
 1 10YR2/3 黒褐色土に5YR4/6赤褐色土(焼土)を含む 上面はブロック状 中～下面は層状に入る 炭含む  
 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性・縮まりなし 1の焼土部分を若干含む



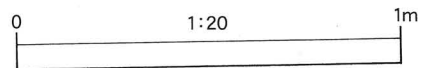
- RF05  
 1 5YR4/6 赤褐色土 粘性・縮まりなし



- RF06  
 1 5YR4/8 赤褐色土 粘性なし 縮まりあり 焼土 火山灰(To-a?)粒状に含む  
 2 10YR3/3 暗褐色土 表面に焼土散在

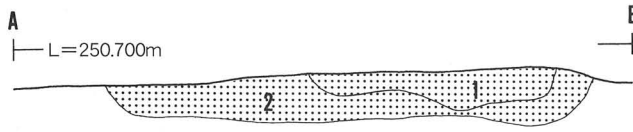


- RF07  
 1 5YR5/8 明赤褐色焼土 粘性・縮まりなし  
 2 10YR3/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし 焼土粒含む  
 3 10YR3/1 黒褐色土 粘性・縮まりなし 浮石 焼土粒含む



第133図 RF01~07 炉・焼土遺構

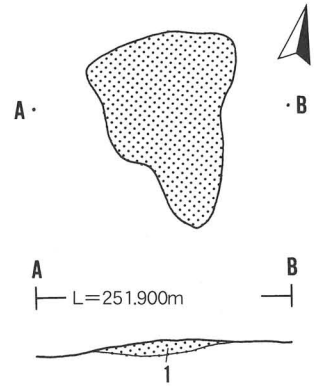
RF08



RF08

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性・縮まりなし 焼土ブロック
- 2 10YR2/2 黒褐色土と5YR4/6赤褐色土の混合 粘性・縮まりなし 床面は5YR4/6赤褐色土 焼土

RF10

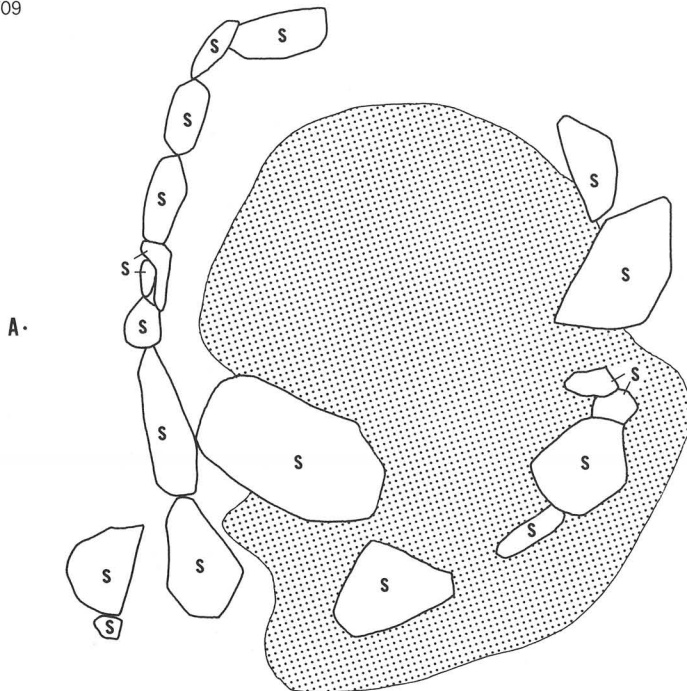


RF10

- 1 5YR4/8 赤褐色土 焼土 粘性・縮まりなし

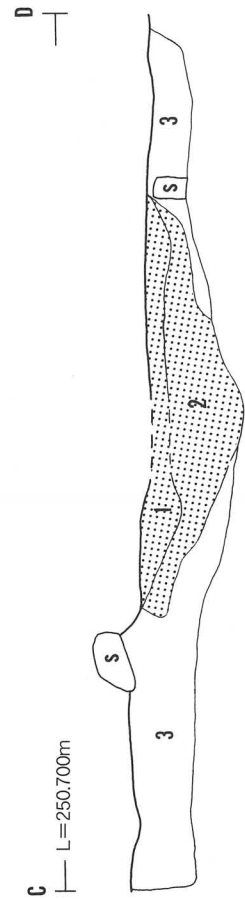
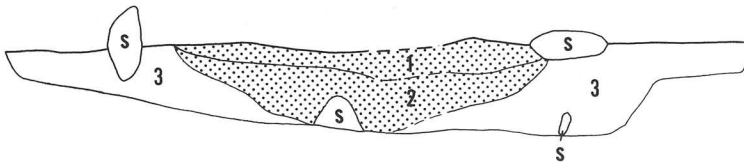
・D

RF09



A  
L=250.700m

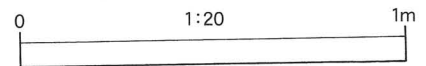
B



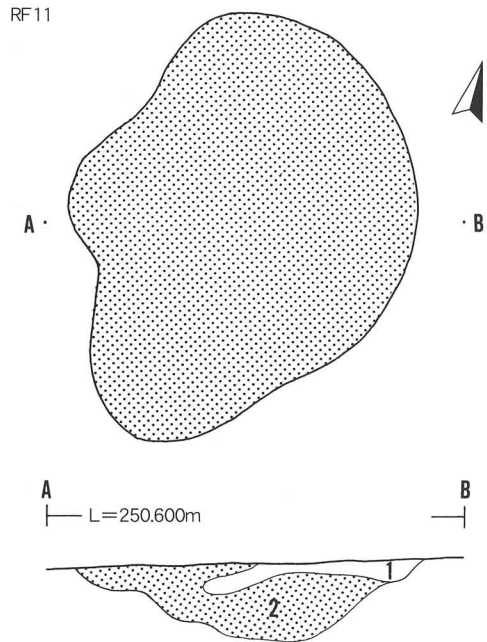
C  
L=250.700m

RF09

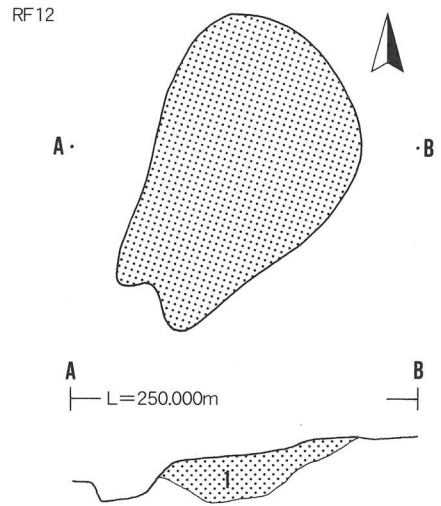
- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりなし 5YR4/8赤褐色土 粘性・縮まりなしの混土(焼土)
- 2 5YR4/8 赤褐色土 粘性・縮まりなし 10YR3/3暗褐色土や炭化物が混じり汚れている
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり



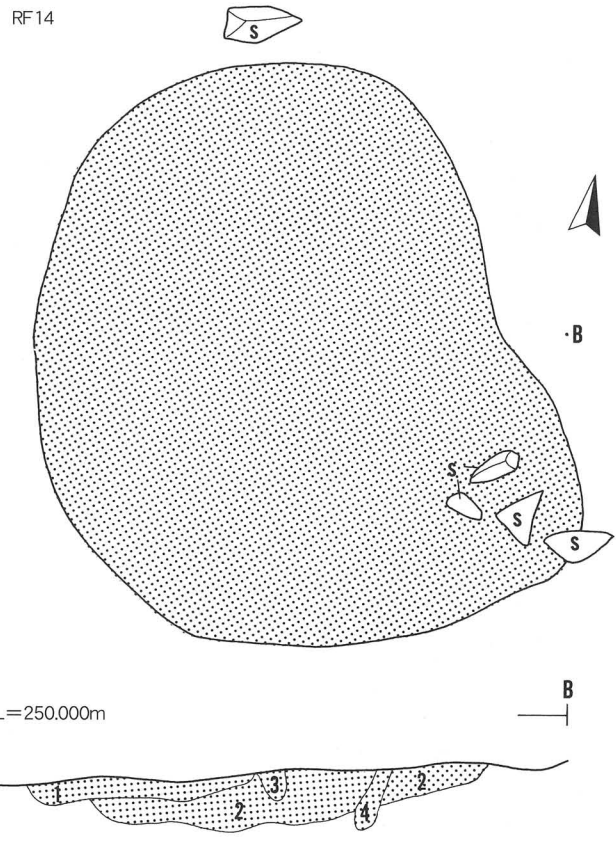
第134図 RF08~10 炉・焼土遺構



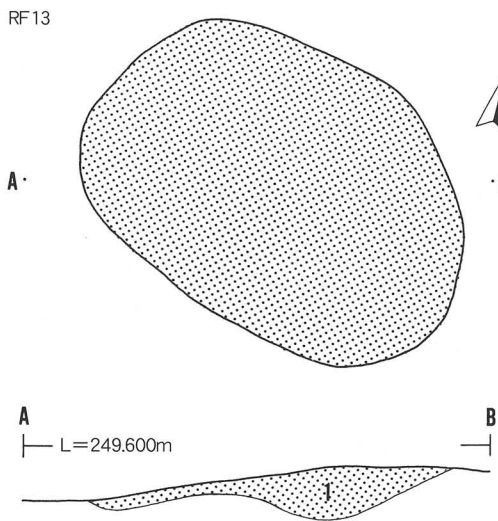
- RF11  
 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし  
 2 5YR4/8 赤褐色土 焼土 粘性なし 縮まりややあり



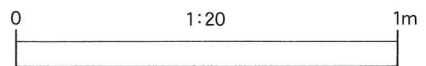
- RF12  
 1 5YR4/8 赤褐色土 粘性・縮まりなし 10YR3/3暗褐色土を  
 ブロック状に含む



- RF14  
 1 7.5YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり 焼土粒混在  
 2 2.5YR4/8 赤褐色土 焼土 粘性・縮まりなし  
 3 1と2の混合 焼土多量  
 4 7.5YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 焼土と混合

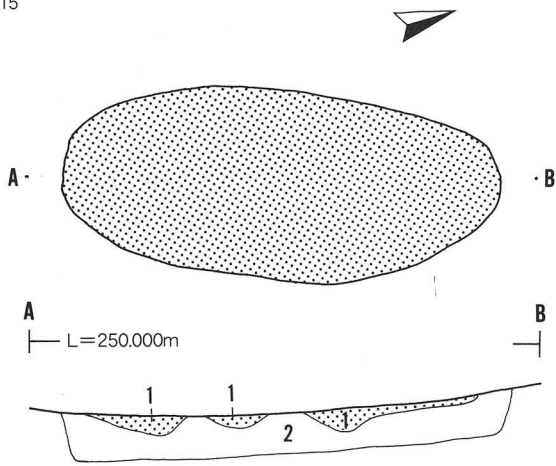


- RF13  
 1 5YR4/8 赤褐色土 焼土 粘性なし 縮まりややあり



第135図 RF11~14 炉・焼土遺構

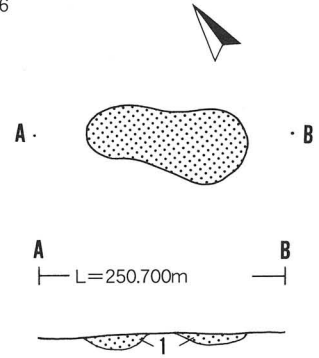
RF15



RF15

- 1 2.5YR4/8 赤褐色土 粘性・縮まりなし 部分的にはっきりしているところもあるが全体的に2と混合して汚れている
- 2 7.5YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 表面に焼土散在

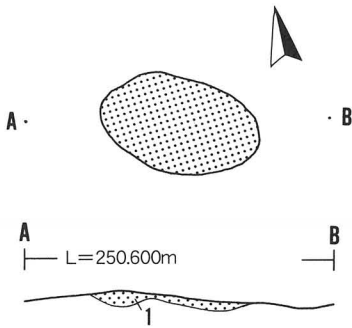
RF16



RF16

- 1 5YR3/4 暗赤褐色土 焼土 粘性・縮まりなし

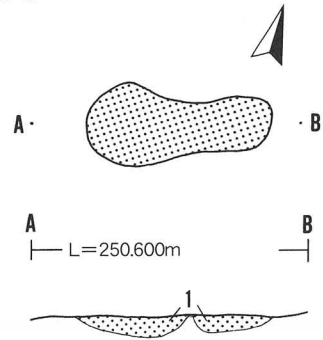
RF17



RF17

- 1 5YR3/4 暗赤褐色土 焼土 粘性・縮まりなし

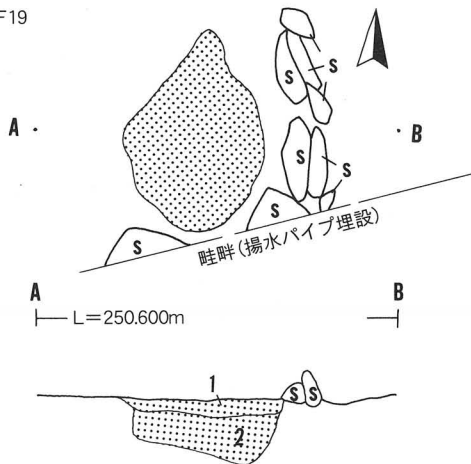
RF18



RF18

- 1 5YR4/6 赤褐色土 焼土 粘性・縮まりなし

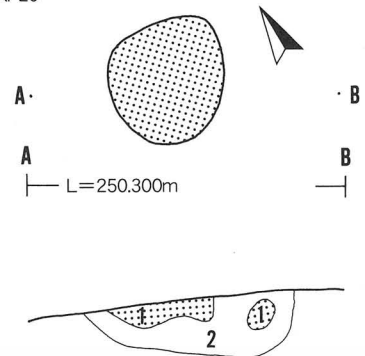
RF19



RF19

- 1 7.5YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりなし 表面に焼土散在
- 2 2.5YR4/8 赤褐色土 粘性・縮まりなし 焼土

RF20



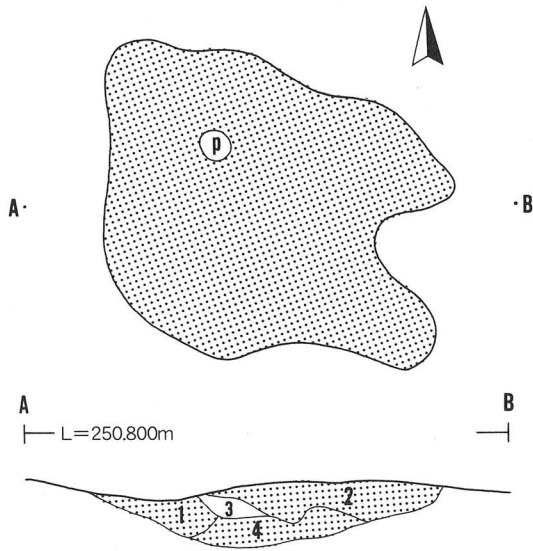
RF20

- 1 10YR4/6~4/8 褐色土~赤褐色土 焼土 粘性なし 縮まりややあり
- 2 7.5YR4/6 褐色土と10YR3/4暗褐色土の混合 粘性・縮まりなし



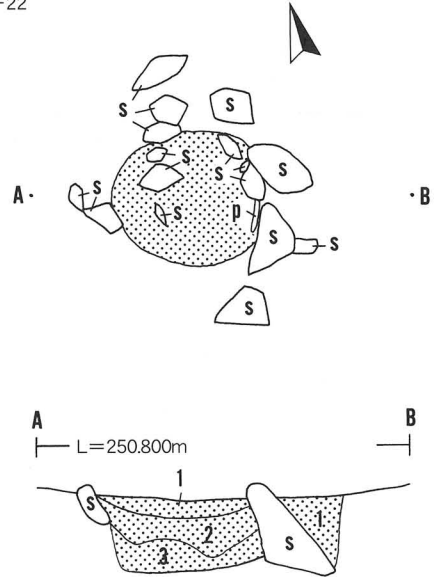
第136図 RF15~20 炉・焼土遺構

RF21



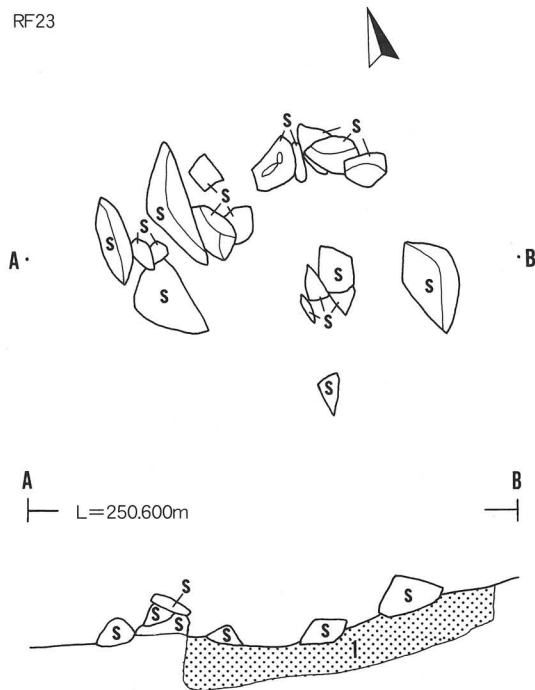
- RF21  
 1 2.5YR4/8 赤褐色土 粘性なし 縮みややあり  
 2 5YR5/8 明赤褐色土 粘性なし 縮みややあり  
 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし  
 4 1と3の混合土

RF22



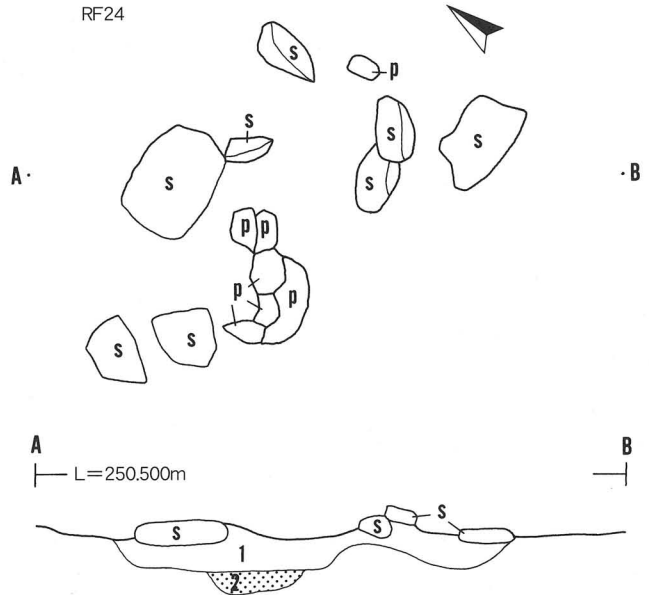
- RF22  
 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮みややあり 焼土粒含む  
 2 5YR4/8 赤褐色土 焼土 粘性なし 縮みややあり 10YR3/4暗褐色土が混合  
 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮みややあり 焼土をブロック状に含む

RF23



- RF23  
 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮みややあり 炭含む 焼土部分的に散在

RF24

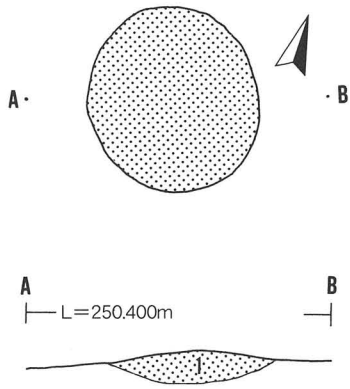


- RF24  
 1 10YR3/3 暗褐色土 赤色浮石が少し混じる 粘性なし 縮みややあり  
 2 5YR4/8 赤褐色土 焼土層 粘性なし 縮みややなし



第137図 RF21~24 炉・焼土遺構

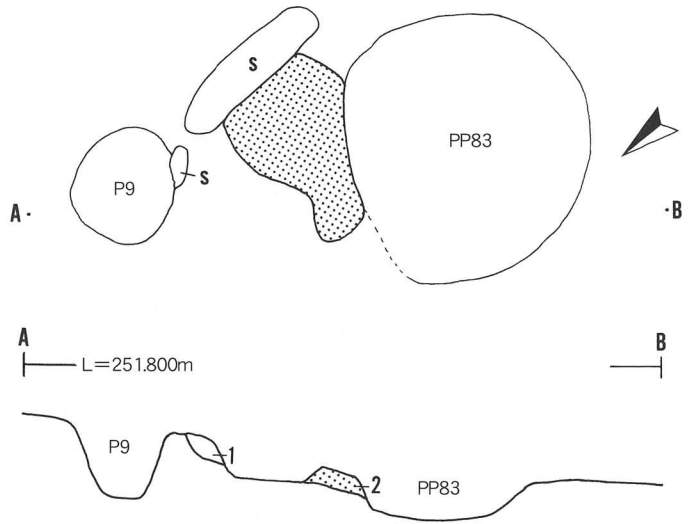
RF25



RF25

- 1 5YR5/8 明赤褐色土 炭化材微量含む 焼土層  
粘性・縮まりややあり

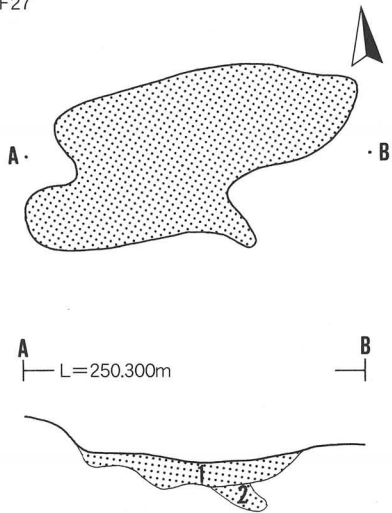
RF26



RF26

- 1 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量  
2 2.5YR3/6 暗赤褐色土 焼土 粘性なし 縮まりあり

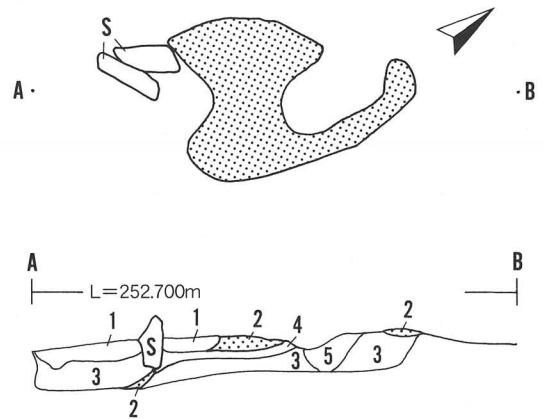
RF27



RF27

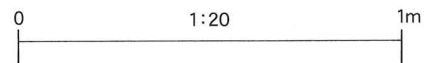
- 1 2.5YR4/8 赤褐色焼土 粘性・縮まりなし 10YR4/6褐色土  
粘性ややあり 縮まりなしをブロック状に含む  
2 5YR4/6 赤褐色焼土 粘性・縮まりなし

RF28



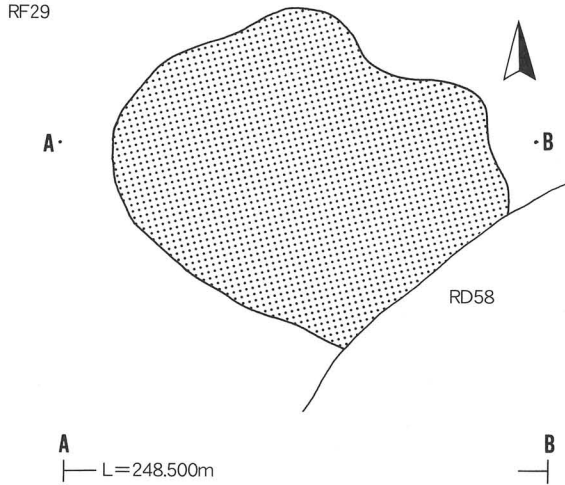
RF28

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 縮まりあり 浮石微量含む  
2 5YR3/6 暗赤褐色土 焼土 粘性・縮まりなし 汚れている  
3 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり  
4 10YR2/1 黒色土 粘性ややあり 縮まりなし  
5 5YR2/2 黒褐色土 粘性ややあり 縮まりなし

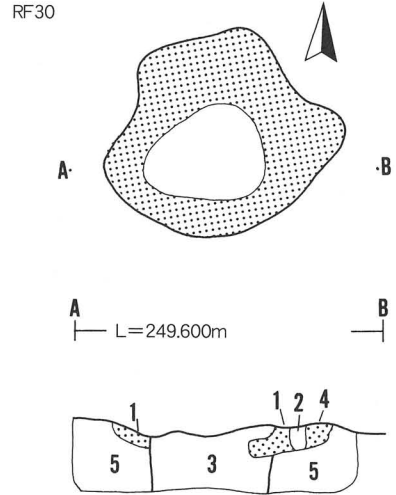


第138図 RF25～28 炉・焼土遺構

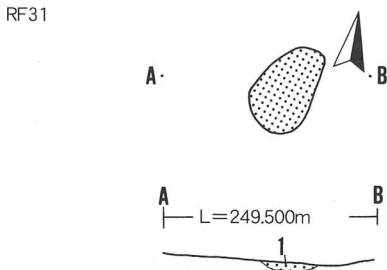




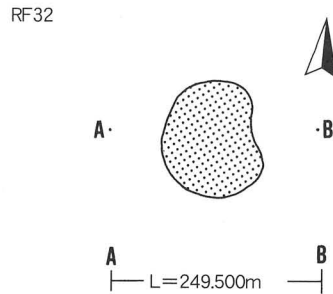
RF29  
1 5YR4/8 赤褐色焼土層 粘性なし 縮まりややあり



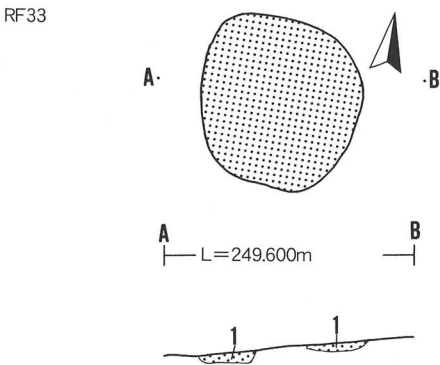
RF30  
1 5YR4/8 赤褐色土 粘性・縮まりなし  
2 7.5YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 木根?  
3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり  
4 5YR4/4 にぶい赤褐色土 粘性ややあり 縮まりなし 焼土混じり  
1と5の中間 混合土  
5 10YR4/4~5/4 褐色~にぶい黄褐色土 粘性・縮まりなし 砂混じり(地山)



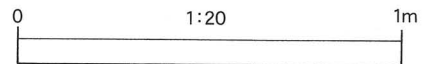
RF31  
1 5YR4/6 赤褐色土 粘性・縮まりなし



RF32  
1 5YR4/6 赤褐色土 粘性・縮まりなし 焼土層



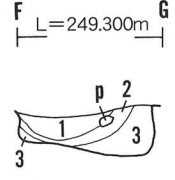
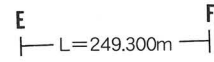
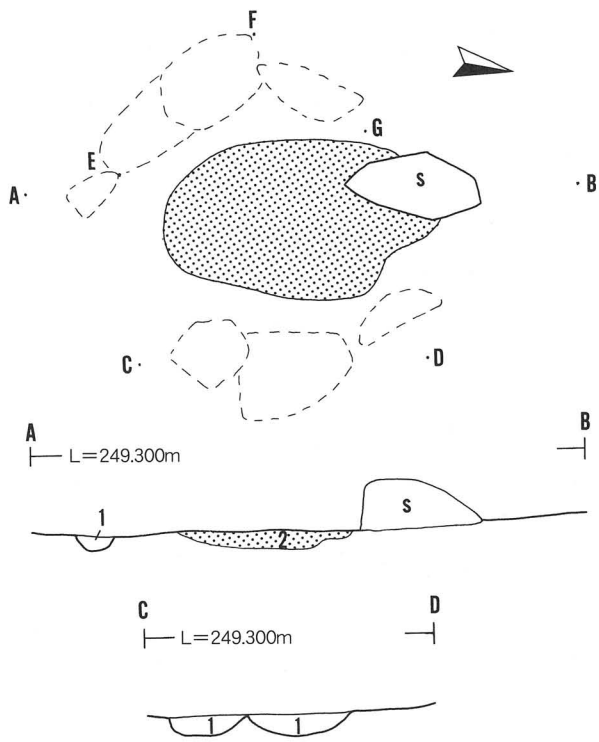
RF33  
1 5YR5/8 明赤褐色土 焼土層 粘性・縮まりなし



第139図 RF29~33 炉・焼土遺構

RF34

○ は石の抜き取り痕



RF34(E-F)

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりなし
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし

RF34(F-G)

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化粒1%未満含む
- 3 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/6褐色土の混合物 粘性・縮まりなし

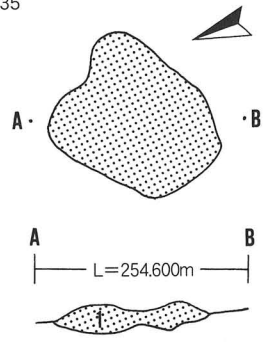
RF34(A-B)

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし
- 2 5YR4/8 赤褐色焼土 粘性・縮まりなし

RF34(C-D)

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし

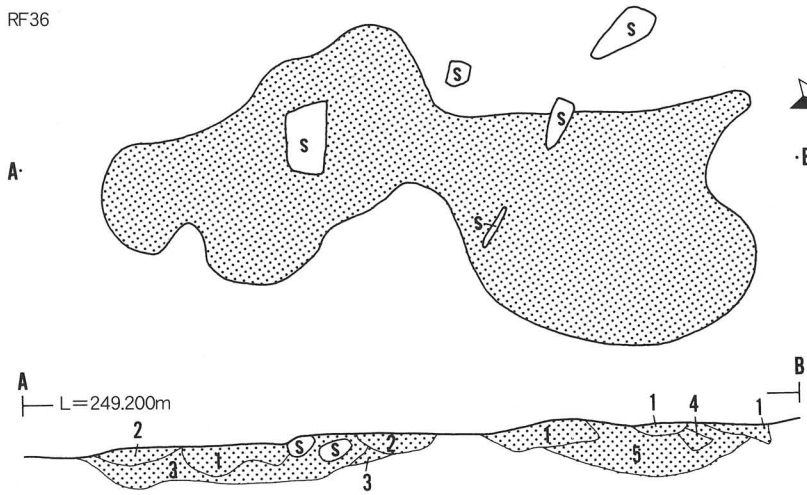
RF35



RF35

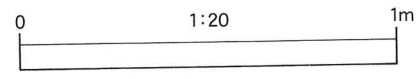
- 1 2.5YR3/6 暗赤褐色土 焼土 粘性ややあり 縮まりなし 10YR2/2黒褐色土をブロック状に含む

RF36



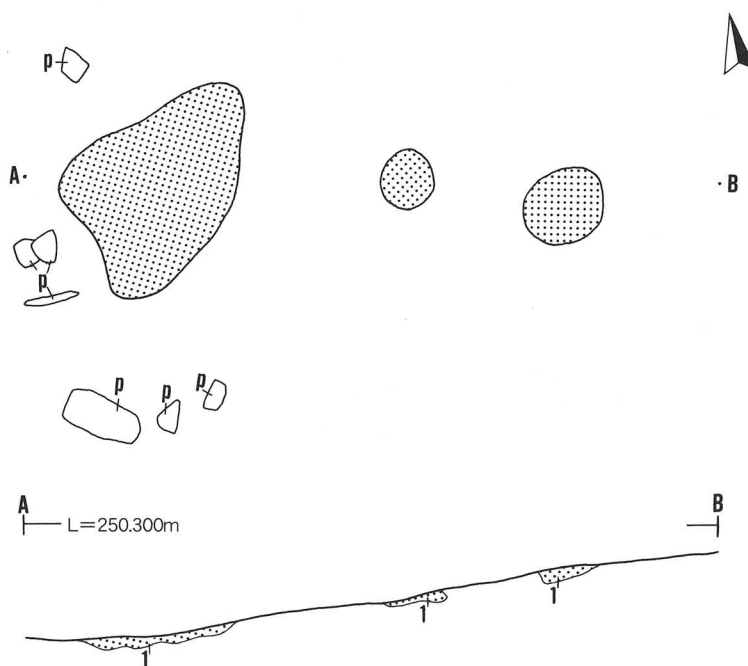
RF36

- 1 10YR3/2 黒褐色土主体に5YR4/8赤褐色焼土粒状混入 粘性ややあり 縮まりあり
- 2 5YR4/8 赤褐色焼土主体に10YR4/6褐色土混入 粘性なし 縮まりあり
- 3 10YR4/6 褐色土主体に5YR4/8赤褐色土 ブロック状に混入 粘性ややあり 縮まりかなりあり 炭化物微量含む
- 4 10YR4/6 褐色土主体に5YR4/8赤褐色土 ブロック状に混入 粘性ややあり 縮まりかなりあり
- 5 2.5YR4/8 赤褐色焼土 粘性なし 縮まりかなりあり 炭化物微量含む



第140図 RF34~36 炉・焼土遺構

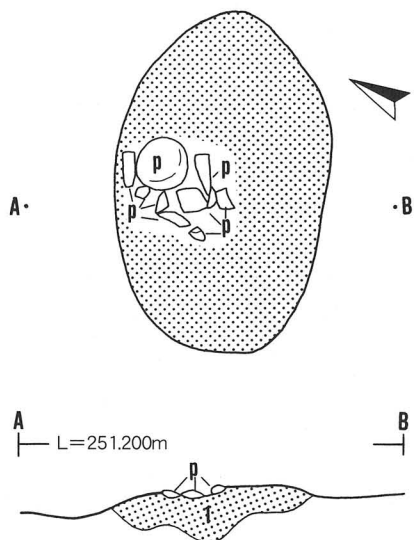
RF37



RF37

1 10YR3/4 暗褐色土主体に5YR4/8赤褐色土 焼土がブロック状に混入 粘性あり 縮まりややあり

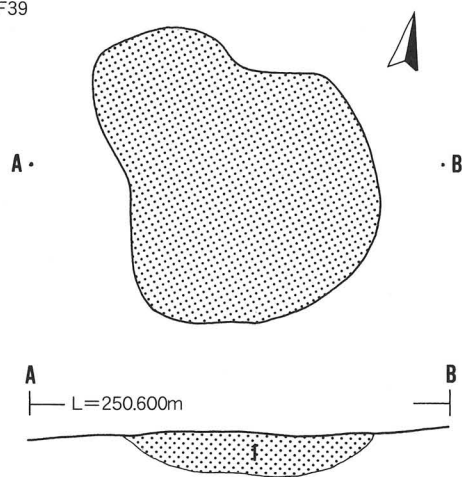
RF38



RF38

1 10YR1.7/1 黒色土主体に7.5YR4/6褐色土(焼土)混入 粘性あり 縮まりややあり

RF39



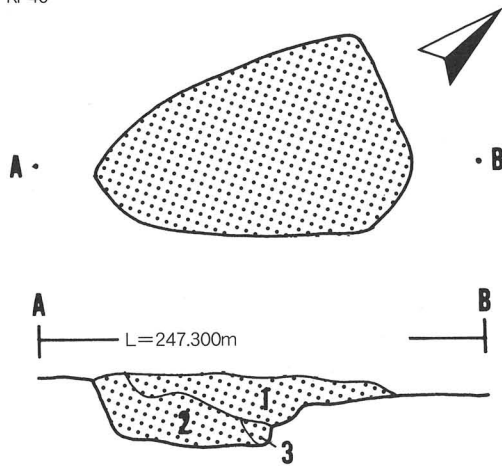
RF39

1 5YR4/8 赤褐色土 焼土 粘性・縮まりなし



第141図 RF37~39 炉・焼土遺構

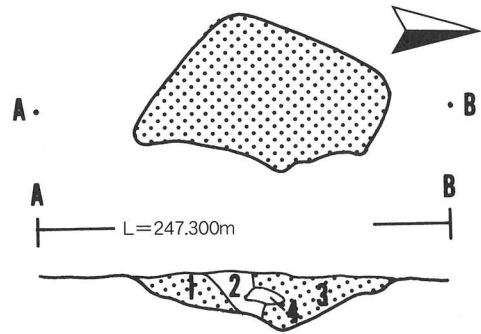
RF40



RF40

- 1 5YR4/6 赤褐色土 粘性なし 縮まりあり 褐色土含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりややなし 焼土含む
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりなし 焼土含む

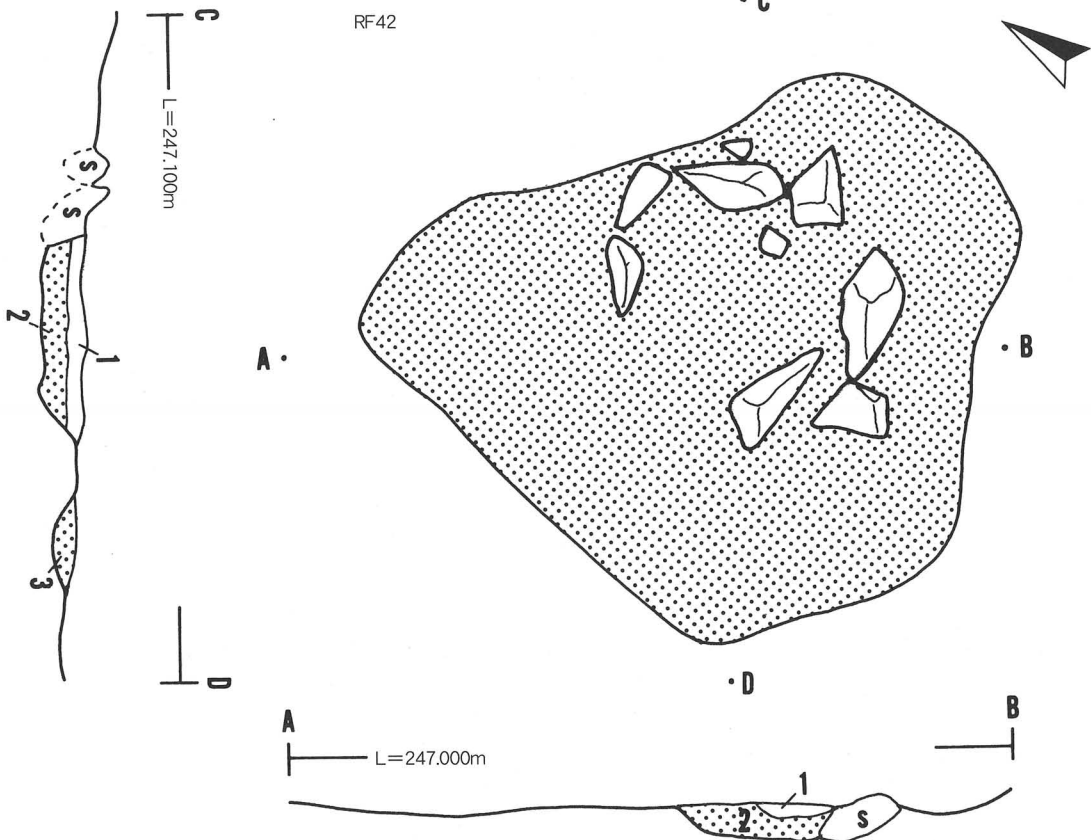
RF41



RF41

- 1 2.5YR4/8 赤褐色土 粘性なし 縮まりあり 暗褐色土含む
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりあり
- 3 2.5YR4/8 赤褐色土 粘性なし 縮まりあり
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりあり

RF42

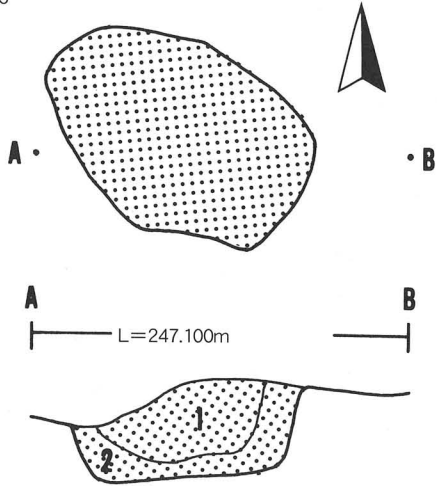


RF42 (A-B-C-D)

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりややなし 下部程焼土粒多い 炭化物含む
- 2 2.5YR4/6 赤褐色土 粘性なし 縮まりややなし 焼土
- 3 2.5YR4/6 赤褐色土と10YR4/4褐色土がブロック状に混合 粘性なし 縮まりややあり

第142図 RF40~42 炉・焼土遺構

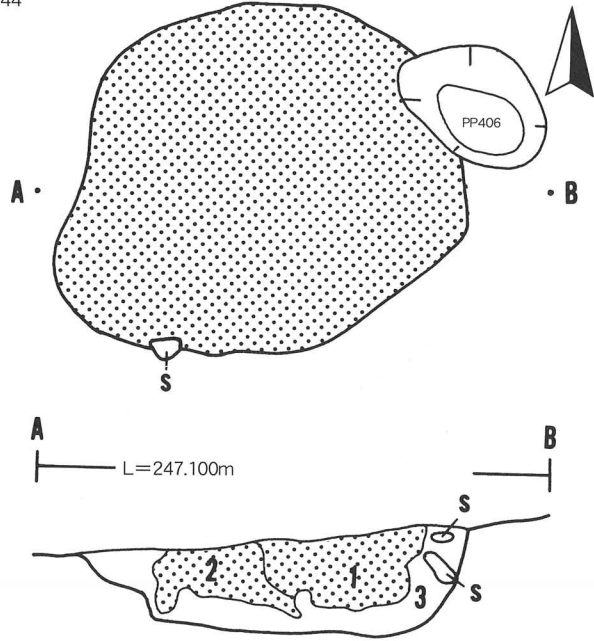
RF43



RF43

- 1 5YR4/6 赤褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 黒褐色土少量含む
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 縮まりややなし 焼土含む(少量)

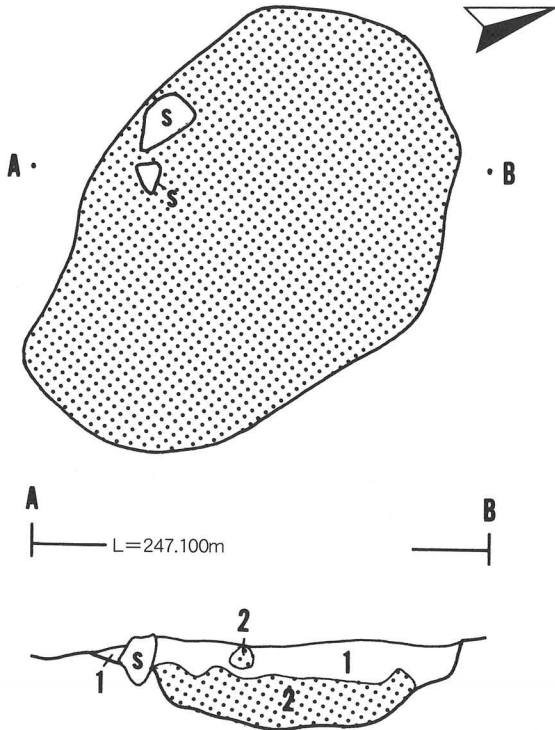
RF44



RF44

- 1 2.5YR4/8 赤褐色土 粘性なし 縮まりややあり
- 2 2.5YR4/8 赤褐色土と10YR3/3暗褐色土との混合土 粘性なし 縮まりややあり
- 3 10YR3/3 暗褐色土

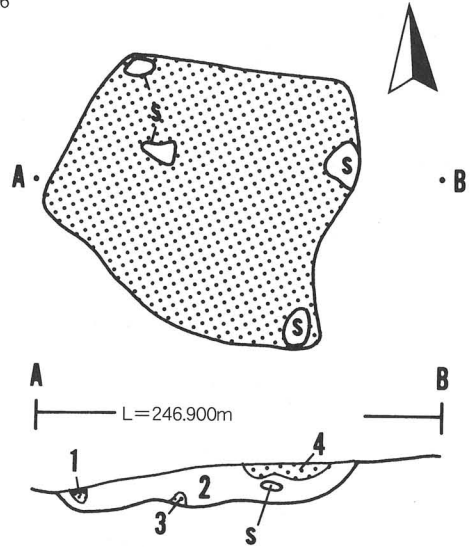
RF45



RF45

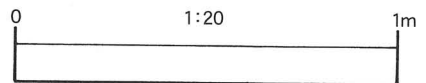
- 1 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 炭化物 焼土粒少量含む 礫あり
- 2 2.5YR4/8 赤褐色土 粘性なし 縮まりあり 焼土 非常によく焼けている かつ広範囲であった

RF46



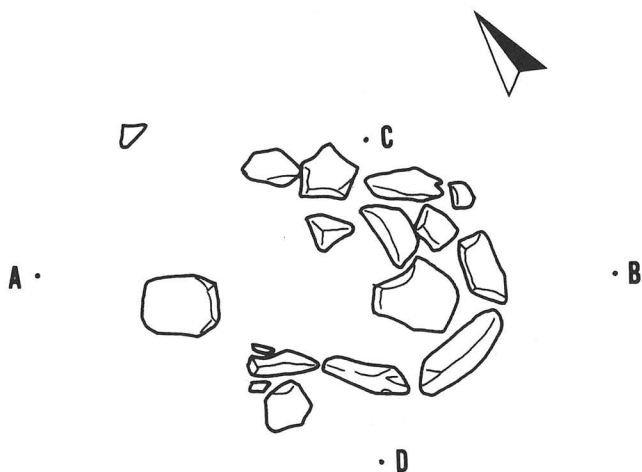
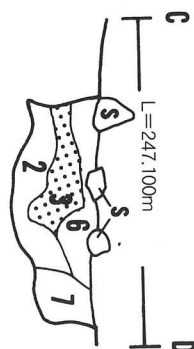
RF46

- 1 5YR4/6 赤褐色土 粘性なし 縮まりあり
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり オレンジの浮石微量
- 3 5YR3/4 暗赤褐色土 粘性なし 縮まりあり 濁っている
- 4 5YR4/6 赤褐色土 粘性なし 縮まりあり



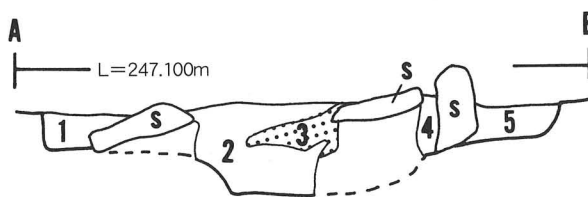
第143図 RF43~46 炉・焼土遺構

RF47

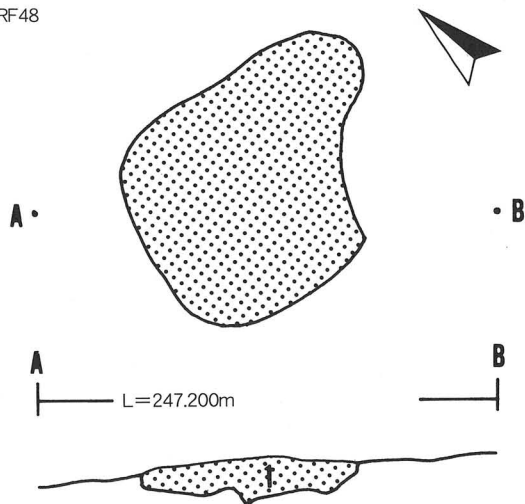


RF47(A-B, C-D)

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/6褐色土の混合土 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物微量
- 3 5YR5/6 明赤褐色土 10YR4/4褐色土の混合土 粘性・縮まりややあり
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性あり 縮まりややなし
- 5 10YR5/6 黄褐色土 粘性なし 縮まりややなし
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりあり
- 7 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり



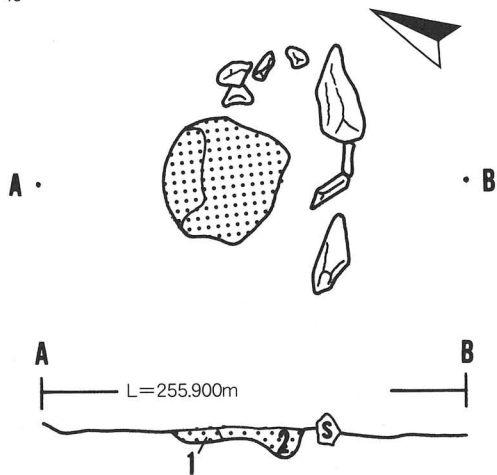
RF48



RF48

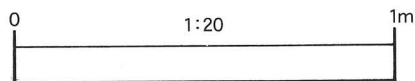
- 1 5YR4/6 赤褐色土に10YR3/3暗褐色土が混じる 粘性なし 縮まりあり

RF49



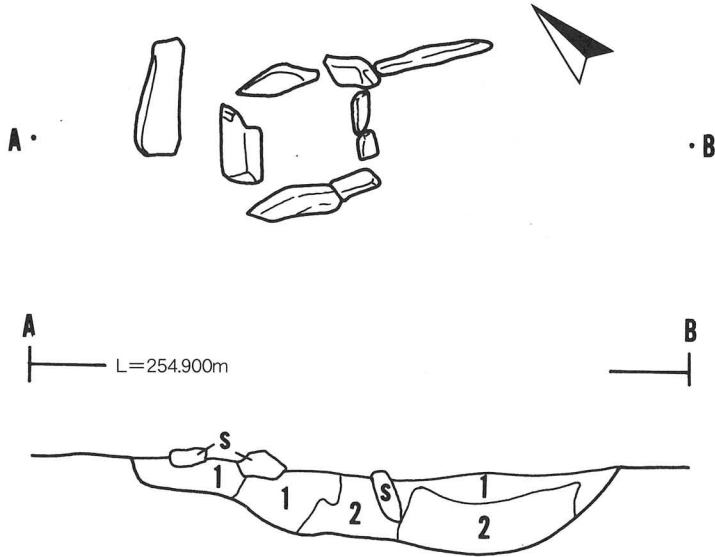
RF49

- 1 5YR3/6 暗赤褐色土 粘性なし 縮まりややあり 焼土
- 2 10YR3/3 暗褐色土に炭化土多く含む 粘性・縮まりややあり 焼土粒もあり



第144図 RF47~49 炉・焼土遺構

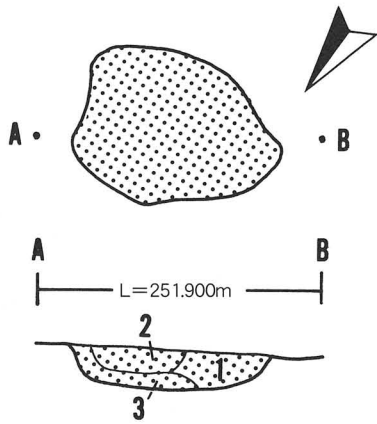
RF50



RF50

- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 浮石微量 植物根あり
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・締まりあり 浮石微量 植物根あり

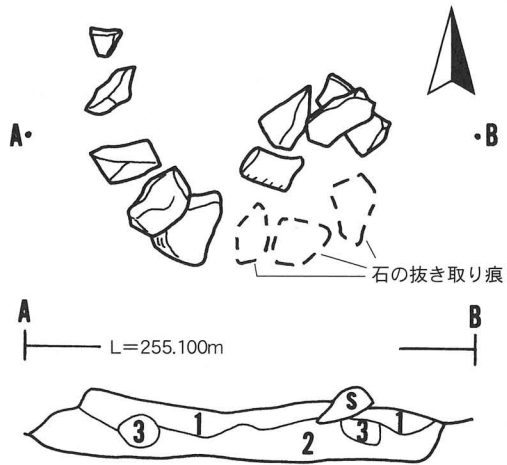
RF51



RF51

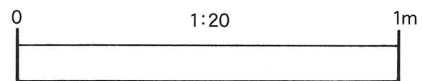
- 1 2.5YR4/8 赤褐色焼土 粘性なし 締まりややなし
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性・締まりなし 焼土粒と黄褐色土が粒状に混じる
- 3 2と同じだが 焼土の含有量が高い ブロック状に入る

RF52



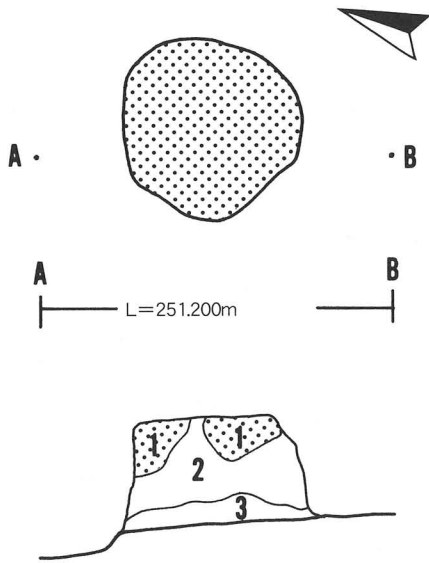
RF52

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 白色浮石微量
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり 締まりややなし
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりややなし 白色浮石微量含む



第145図 RF50~52 炉・焼土遺構

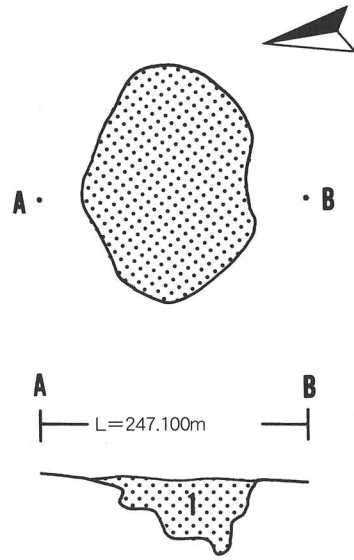
RF53



RF53

- 1 5YR3/4 暗赤褐色土 粘性なし 締まりややあり 但し純粋な焼土層ではなく  
10YR2/2黒褐色土ブロック状に含む
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性・締まりややあり 浮石極微量含む
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性・締まりややあり(2よりやや暗い感じ)

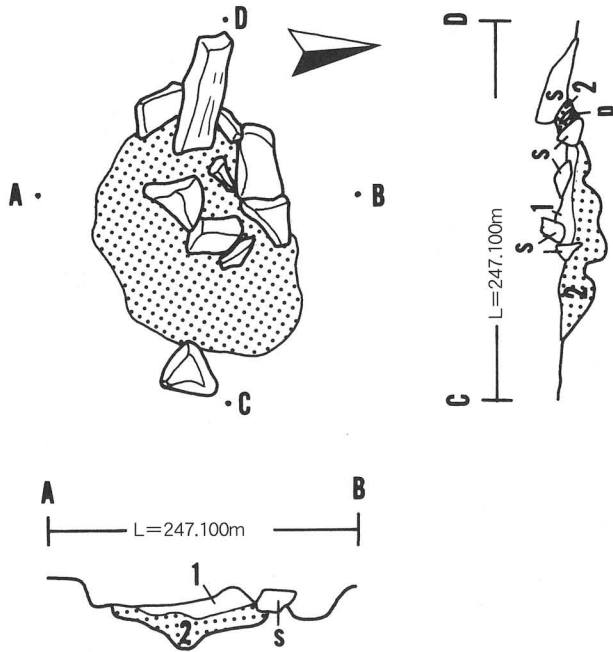
RF54



RF54

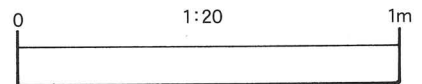
- 1 5YR4/4 にぶい赤褐色土 粘性なし 締まりややなし  
10YR3/3暗褐色土が混じる 浮石微量 植物根あり

RF55



RF55

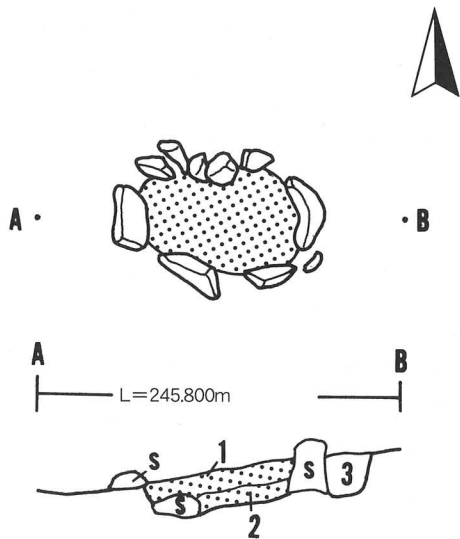
- 1 10YR3/4 暗褐色土 粘性・締まりなし
- 2 2.5YR4/8 赤褐色土 粘性なし 締まりややなし(焼土)



第146図 RF53~55 炉・焼土遺構



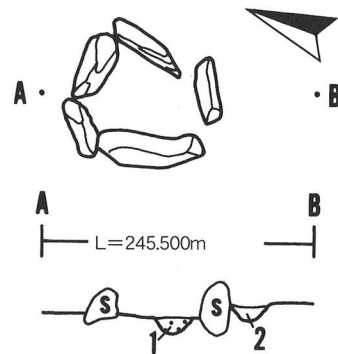
RF56



RF56

- 1 10YR3/4 暗褐色土 10YR2/3黒褐色土との混合土 5YR4/4にぶい赤褐色土(焼土)を含む 礫含む
- 2 5YR4/8 赤褐色土 10YR3/4暗褐色土が混じる 粘性なし 縮まりややなし 礫含む
- 3 10YR4/6 褐色土 10YR3/3暗褐色土との混合土 粘性ややあり 縮まりなし 浮石微量

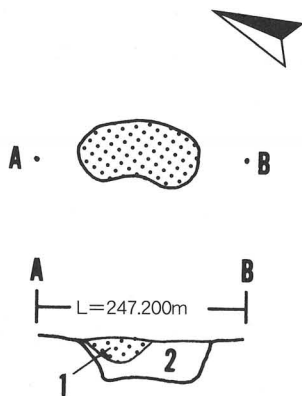
RF57



RF57

- 1 5YR4/6 赤褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし
- 2 10YR3/3 暗褐色土 10YR2/3黒褐色土との混合土 粘性なし 縮まりややなし 焼土若干含む

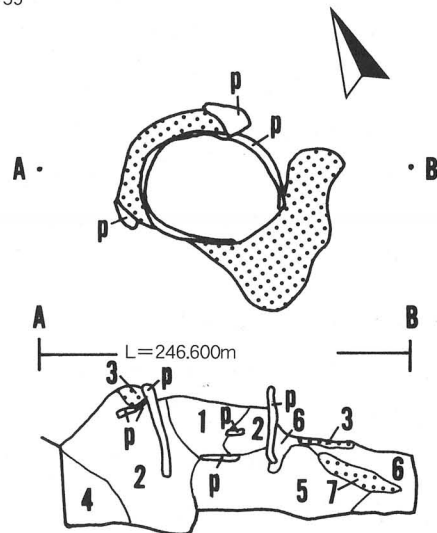
RF58



RF58

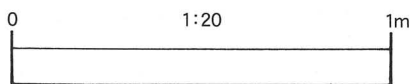
- 1 5YR3/6 暗赤褐色土 10YR4/4褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物微量
- 2 10YR4/4 褐色土 10YR4/6褐色土との混合土 粘性ややあり 縮まりややなし 炭化物少量

RF59



RF59

- 1 10YR6/8 明黄褐色土 粘性なし 縮まりややあり 上層部程白い
- 2 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややなし オレンジの浮石少量
- 3 5YR5/8 明赤褐色土 粘性なし 縮まりややあり
- 4 10YR4/4 褐色土 10YR5/6黄褐色土をブロック状に含む 粘性・縮まりややあり
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり 地山
- 6 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりややあり
- 7 5YR4/8 赤褐色土 粘性なし 縮まりややあり



第147図 RF56~59 炉・焼土遺構

#### 4 土器埋設遺構

土器埋設遺構は南区のO I 03グリッド内のみ集中して検出され、他の区域では検出されていない。しかも縄文時代中期前葉という時間帯の中に納まるように見受けられる。ただし、検出した層位はV層中である。この層位は当時の生活面であると思われるが、同時に黄褐色土と褐色及び暗褐色土が入り交じった土層であり、周囲の遺構を掘り上げた土が混然と堆積している土層である。当調査区においては、このV層が広く堆積しており、遺構の構築、廃棄、再構築等の過程で当グリッド以外の土器埋設遺構が壊されている可能性は大と思われる。よって当グリッドに平面的、時間的集中がなされたと判断することは早計と思われる。

##### R P 01 (第148図 写真図版148)

南区 O I 03グリッドのV層で検出した。口縁部を欠くが底部から胴部まで埋められた状態で検出された。周囲には掘り方と思われる埋土も観察された。土器内部は底部下の土と類似する土で埋まっており、内部からの出土遺物は特になかった。周囲に焼土は観察されなかったが、炭化物は少量検出されている。

(遺物) (第303図 写真図版200)

口縁部を欠いているが胴上部から底部までの深鉢である。頸部には絡条体を押圧した隆帯をもち、胴部は0段多条の横回転で施文している。本遺跡の他の土器と比較すると、円筒上層a式の特徴のように思われる。

<時期> 出土遺物より縄文時代中期前葉と思われる。

##### R P 02 (第148図 写真図版148)

南区 O I 03グリッドのV層で検出した。RD260 (フラスコ型土坑) の東側縁に正立の形で置かれていたが、胴部の半分のみで、底部、口縁部共になくRD260構築時に削平されたのかもしれない。周囲には焼土は見あたらないが、炭化物が少量検出されている。土器そのものから詳しい時代は断定できない。なお、整理時に土器への出土地点等を表す注記の不手際により、本遺構の土器が他の土器の中に紛れ込んでしまい、ここに掲載することが出来なかった。お詫びする次第である。

##### R P 03 (第148図 写真図版148)

南区 O I 03グリッドのV層で検出した。底部を欠き倒立の状態を検出したが、周囲を掘り下げたところ底部破片を検出した。元々底部があったのか、欠いていたのか判然としないが、底部片が周囲にあったことは、底部を有した形で埋設されていたものと思われる。土器の埋土中には特筆する状況は観察できなかった。

(遺物) (第303図 写真図版200)

口縁部を欠くが底部は元々有していたらしい。倒立の状態での検出である。器高は残存値40cm、底部径14cmである。胴部は複節 (RLR) 横回転のみ、底部は網代痕を磨り消している。胴部のみからでは判断しにくいだが、本遺跡で出土している他の土器と比較すると、円筒上層a式と思われる。

<時期> 埋設土器から縄文時代中期初頭と思われる。

##### R P 04 (第148図 写真図版148)

南区 P I 03グリッドのV層上位で、径30cmの土器が胴部上半と下半を欠き、中央部だけ埋設されていた。器高15cm。割れた土器を埋めたらしい。周囲に焼土もなく、埋土にも特に変わった様子が見られなかった。

(遺物) (第303図 写真図版200)

口縁部、胴部下半及び底部を欠いている。胴部文様は綾絡文を縦に回転させている。残存値で最大径24.6

cm、器高15cmであり、もともとは器高30cmはゆうに越える深鉢と思われる。

〈時期〉 本遺跡で、綾絡文を縦に回転させるのは、縄文時代前期末及び同中期前葉の土器に多く見受けられる。また、次項のRP05と検出地点、検出状況が酷似する事を考えれば、縄文時代中期前葉と考えられる。

#### R P 05 (第148図 写真図版148)

南区 P I 03グリッドのV層上位で検出した。正立する形で、完形である。周囲に20cm前後の礫が3点ほど有るがこの土器に伴う可能性は薄い。また焼土、炭化物等も見られない。断面には、この土器を埋めた掘方は観察できなかった。埋設の意図は不明である。

(遺物) (第303図 写真図版200)

完形である。胴上半部に膨らみを持ち、頸部が括れ口縁部で外傾する。器高24cm、最大径は口縁部で20cmである。口縁部上端に原体を波状に押圧し、その下部には斜及び斜が交差する刻みを施している。また刻みを持つ隆帯を4単位垂下させており、頸部の括れ部分には刻み列を一周させている。胴部は縦位の綾絡文となっている。大木7 a 式か円筒上層 a 式土器であろう。

〈時期〉 縄文時代中期前葉と思われる。

## 5 集石遺構

#### R H 01 (第149図 写真図版149)

〈位置〉 南区 K II 11グリッド 〈検出状況〉 基本土層では観察できなかった黒色土が堆積している箇所検出した。この黒色土はこの周辺だけにのみ堆積しており、VI層の上にある。〈平面形・規模〉 直径2mの範囲内に火熱を受けた形跡のある角礫、亜角礫がまとまって散乱し中央部ほど集中度が密である。また礫直下には焼土が最大厚15cm程形成されており、礫もろとも此処で火が焚かれた跡と思われる。前述のR A 12床面で検出された集石と非常によく似ている。しかし、周囲に柱穴や床面と思われる堅く締まった面、或いはカマド跡などは一切見られず、単独で形成されたもののように思われる。

(遺物) (第304図 写真図版200)

何れも焼土上の火熱を受けた角礫中からの出土であるが、一部焼土中に埋まっていた物もある。1604～1607はヘラナデの調整痕を有する甕の破片で、1608は表面に敲き目のある須恵器片である。

〈時期〉 出土遺物より平安時代と思われる。

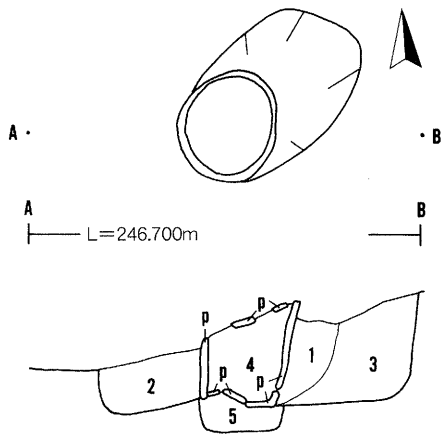
#### R H 02 (第149図 写真図版149)

〈位置〉 北区 G III 01グリッド 〈検出状況〉 平坦部では表土直下で礫が検出され、また斜面部では最初から礫が露出していた。このため本来はもっと多くの礫で構成されていたと考えられる。なお本遺構の北西約30mの所に観音堂がある。〈平面形・規模〉 平坦部では約120×80cmの範囲で箱形に礫が並べられている。またそこから斜面下に向かって2列になって延びている。これは石段の一部とも推測される。東側にも同様の配列があったようであるが一部しか残っていない。

(遺物) (第304図 写真図版200)

配列を構成する礫の中に石器を転用したものが3点ある。1609は磨り面をもつ台石、1610は石皿、1611は石棒の欠損品である。また、周辺からは古銭が3点出土している。2443・2444は古寛永、2437は新寛永である。〈時期〉不明であるが周辺出土遺物から近世以降と推定される。

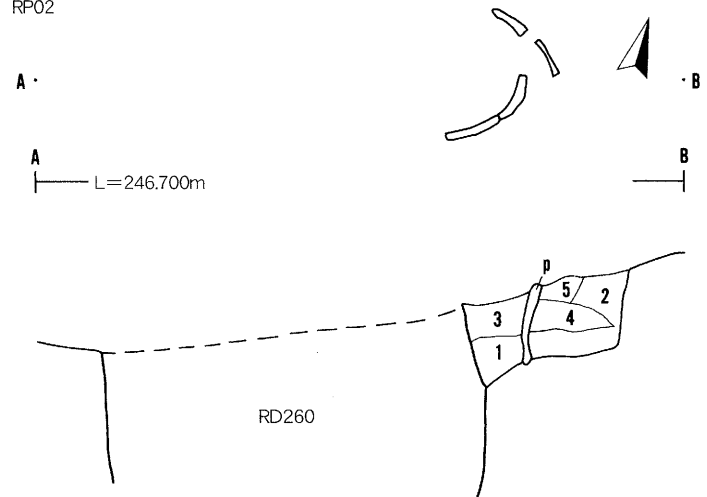
RP01



RP01

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 炭化物微量(堀込埋土)
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量
- 3 10YR5/8 黄褐色土 粘性あり 縮まりかなりあり
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりややなし
- 5 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりややなし

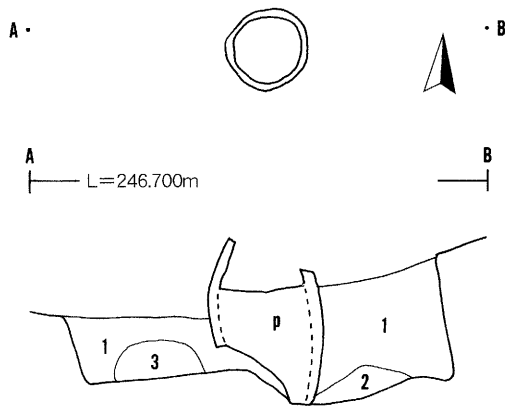
RP02



RP02

- 1 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 縮まりあり 浮石微量
- 3 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石 炭化物微量
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性・縮まりなし 炭化物微量

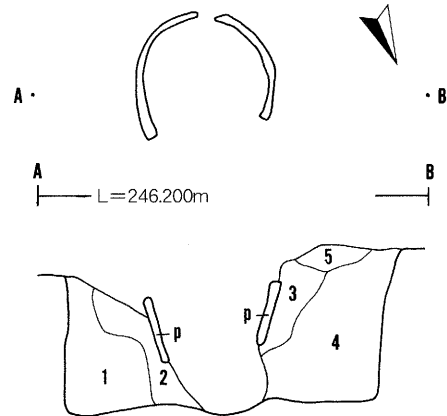
RP03



RP03

- 1 10YR4/6 褐色土と10YR3/4暗褐色土との混合土 粘性・縮まりややあり 浮石微量
- 2 10YR4/6 褐色土 粘性・縮まりあり
- 3 10YR4/6 褐色土 部分的に10YR3/3暗褐色土を含む 粘性・縮まりあり ほぼ2と同様

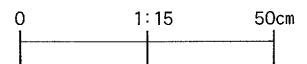
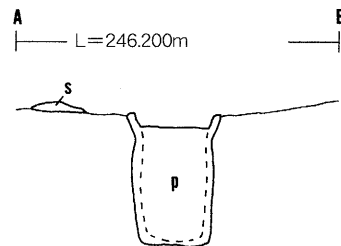
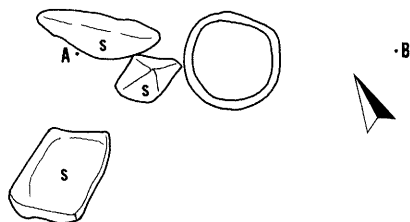
RP04



RP04

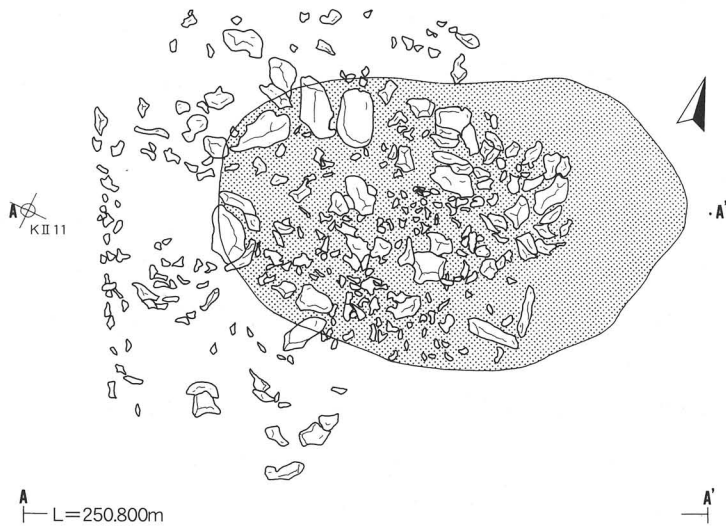
- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石微量
- 2 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりややあり 浮石少量
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性なし 縮まりあり
- 4 10YR4/6 褐色土 粘性なし 縮まりかなりあり
- 5 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 縮まりあり

RP05



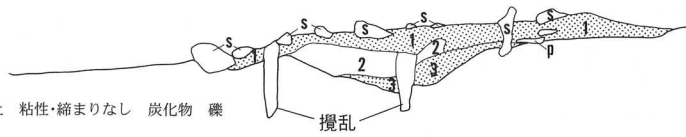
第148図 RP01~05 土器埋設遺構

RH01

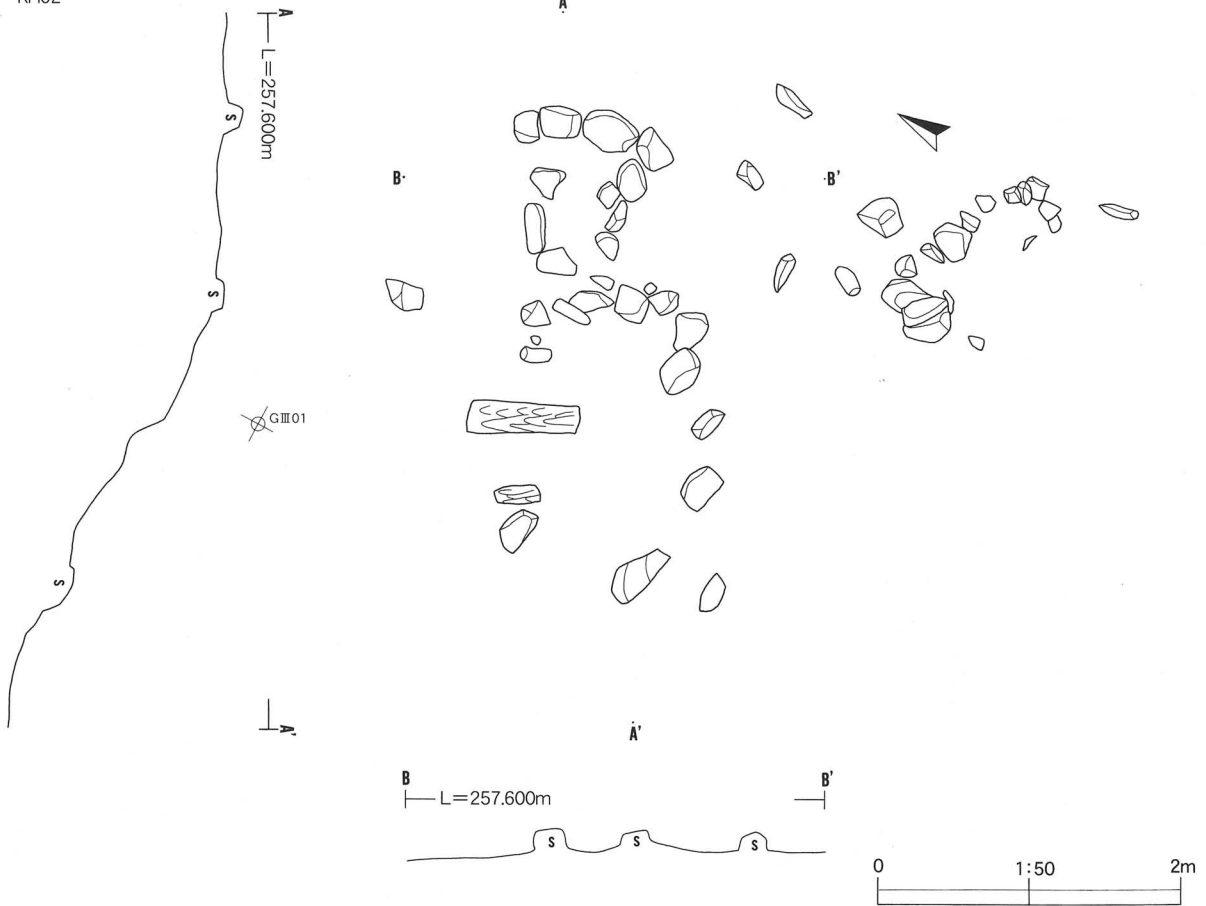


RH01

- 1 5YR4/8 赤褐色土 粘性・縮まりなし 炭化物 礫  
須恵器混入
- 2 7.5YR6/6 橙色土 粘性なし 縮まりあり 灰層
- 3 5YR4/8 赤褐色土 粘性なし 縮まりややあり 焼土層



RH02



第149図 RH01・02 集石遺構

## 6 柱穴状ピット群

本調査区では多数の柱穴状ピットが検出されたが、今回の調査では、径50cm前後までのものを柱穴状ピットとし、それ以上のものは土坑として登録し精査した。但し中にはこの目安以上の物であっても、明らかに柱穴として認められるものもある。

二カ年にわたる調査で500基近い柱穴状ピットを検出したが、調査区地権者の旧宅跡で検出された明らかに現代のものと思われるものなどを削除し、合計415基を登録した。内訳は、北区は107基、南区は308基である。南区が3倍弱の数であるが、これは竪穴住居跡や土坑など他の遺構数の比率にも当てはまる数である。

検出された柱穴状ピットの中には、柱間が規則性を持ち一定の方向に列をなす掘建て柱建物跡を構成するものは検出する事ができなかった。さらに焼土・炉跡の項でも若干触れたように、焼土・炉跡の精査の際には周辺に住居の形跡を探したが、竪穴住居跡計64棟中RA59を除いては周囲に伴う柱穴を確認できなかった。しかし、これだけの柱穴状ピットの存在は、検出された竪穴住居跡以外にも住居跡が存在した可能性大である。特に、本調査区は圃場整備のためそれまでの緩斜面上の畑地を、ブルドーザー4台で平坦な段々の水田に整地していった経緯を考え合わせると、より以上の遺構が存在したものと推測される。

本遺構については遺構配置図に柱穴状ピットのみを掲載してあるので、そちらを参照願いたい。ここでは表形式によるデータだけを記載することとする。

第2表 柱穴状ピット一覧表

北区

柱穴番号	開口部cm	深さcm	形状	位置
1	30×24	10	円	DⅢ18
2	32×26	12	円	DⅢ18
3	34×32	25	円	DⅢ17
4	26×22	18	円	DⅢ17
5	44×34	32	楕円	DⅢ17
6	36×30	24	円	DⅢ17
7	24×22	20	円	DⅢ17
8	28×(20)	15	円	DⅢ23
9	32×(28)	15	円	DⅢ23
10	36×28	17	円	DⅢ23
11	40×36	20	円	DⅢ22
12	26×20	14	円	DⅢ23
13	50×38	24	不整	DⅢ17
14	42×30	35	楕円	DⅢ17
15	30×28	10	円	DⅢ17
16	30×28	15	円	DⅢ12
17	34×26	20	円	DⅢ17
18	(34)×28	14	円	DⅢ17
19	28×(24)	23	円	DⅢ17
20	40×30	16	楕円	DⅢ17
21	60×42	42	不整	DⅢ17
22	42×40	10	円	DⅢ22
23	70×56	19	不整	DⅢ17
24	40×26	18	楕円	DⅢ17
25	32×28	14	円	DⅢ22
26	44×30	30	楕円	DⅢ22
27	38×34	28	円	HⅡ23
28	38×36	26	円	HⅡ22
29	30×26	22	円	HⅡ22
30	34×32	42	円	HⅡ17
31	48×(48)	25	円	HⅠ20
32	34×30	17	円	HⅠ20
33	36×32	8	円	HⅠ20
34	28×24	26	円	HⅡ17
35	56×44	19	楕円	HⅡ16
36	56×50	33	円	HⅡ16
37	72×(64)	30	円	HⅠ15
38	26×(24)	43	円	HⅠ20
39	60×58	31	円	HⅠ20
40	62×56	33	円	HⅠ20
41	58×52	35	円	HⅡ16
42	50×48	25	円	HⅡ16
43	26×22	10	円	HⅡ22
44	34×32	22	円	HⅡ16
45	40×40	30	円	HⅡ21
46	32×30	10	円	HⅡ16
47	28×28	24	円	HⅠ20
48	26×22	30	円	HⅡ21
49	54×44	42	楕円	HⅡ21
50	56×46	50	楕円	HⅡ21
51	48×(44)	18	円	HⅡ17
52	(56)×50	36	円	HⅡ17
53	46×42	33	円	HⅡ16

柱穴番号	開口部cm	深さcm	形状	位置
54	60×(60)	48	円	HⅠ15
55	46×44	26	円	HⅠ20
56	50×46	24	円	HⅡ16
57	36×34	51	円	IⅡ01
58	40×30	39	楕円	HⅡ16
59	30×26	23	円	HⅡ11
60	32×30	34	円	HⅡ12
61	28×26	22	円	HⅡ12
62	34×32	23	円	HⅡ12
63	32×28	27	円	HⅡ12
64	36×24	27	楕円	HⅡ12
65	38×30	36	円	HⅡ11
66	(40)×28	22	楕円	HⅡ12
67	34×(28)	21	円	HⅡ11
68	40×32	24	円	HⅡ11
69	42×34	46	円	HⅡ11
70	28×24	10	円	HⅠ15
71	34×28	20	円	HⅡ11
72	46×36	18	楕円	HⅠ10
73	38×32	31	円	HⅠ10
74	40×32	26	円	HⅠ10
75	(36)×34	32	円	HⅠ10
76	30×26	15	円	HⅡ06
77	34×28	24	円	HⅡ16
78	40×36	16	円	HⅡ11
79	40×38	52	円	HⅡ11
80	28×26	26	円	—
81	26×20	12	円	HⅡ06
82	34×28	13	円	HⅡ06
83	78×(72)	43	不整	HⅡ06
84	32×30	6	円	HⅠ10
85	28×24	14	円	HⅡ11
86	40×32	27	円	HⅡ11
87	62×52	43	楕円	HⅡ16
88	34×32	34	円	HⅡ16
89	26×26	25	円	HⅡ17
90	68×(64)	22	円	HⅠ15
91	40×40	26	円	HⅠ15
92	(72)×66	33	円	HⅡ11
93	40×28	12	楕円	HⅠ15
94	24×(24)	10	円	HⅠ10
95	24×(20)	16	円	HⅠ06
96	32×28	37	円	HⅡ16
97	44×(40)	34	円	HⅠ10
98	40×(40)	39	円	HⅠ10
99	54×40	37	楕円	HⅡ16
100	60×(36)	20	楕円	HⅠ06
101	48×44	14	円	HⅠ06
102	70×64	44	円	HⅡ11
103	26×24	26	円	HⅡ12
104	(72)×60	30	楕円	HⅡ16
105	32×28	25	円	HⅠ06

## 南区

柱穴番号	開口部cm	深さcm	形状	位置
106	38×38	18	円	L II 1 8
107	80×74	51	円	L II 1 8
108	58×48	9	楕円	L II 0 2
109	74×60	27	円	L II 0 2
110	70×46	56	楕円	L II 0 3
111	46×40	39	円	K II 1 2
112	30×24	53	円	K II 2 1
113	38×34	15	円	L II 1 1
114	44×40	15	円	L I 1 0
115	34×30	24	円	L I 1 5
116	50×46	11	円	L II 1 1
117	38×32	24	円	L II 0 3
118	42×40	42	円	K II 2 2
119	30×28	44	円	L II 0 1
120	34×30	41	円	K II 2 1
121	38×34	25	円	L II 0 6
122	48×46	28	円	K II 2 3
123	38×22	22	楕円	K II 2 1
124	62×54	50	円	H II 1 1
125	52×(50)	43	円	H II 1 1
126	84×74	91	円	M II 0 2
127	84×82	82	円	M II 0 1
128	42×40	37	円	M II 1 7
129	70×68	101	円	L II 2 2
130	66×66	92	円	M II 1 6
131	130×(104)	111	不整	M II 0 8
132	96×86	74	円	M I 2 5
133	84×76	102	円	L II 2 3
134	60×56	63	円	M II 0 6
135	106×94	118	円	M II 0 3
136	70×(68)	32	円	M II 1 2
137	90×62	46	楕円	M II 1 2
139	70×60	63	円	M II 2 1
140	56×56	64	円	M II 0 2
141	70×56	84	楕円	M II 0 2
142	62×52	107	円	L II 2 3
143	80×76	96	円	M II 0 3
144	78×62	33	楕円	L II 2 2
145	64×54	34	円	M II 0 1
146	58×56	40	円	M II 0 3
147	30×28	26	円	L I 2 5
148	22×22	51	円	L I 2 5
149	46×36	23	円	L I 2 5
150	18×16	34	円	L I 2 5
151	26×20	43	円	L I 2 5
152	36×32	62	円	L I 2 5
153	36×25	26	円	L I 2 5
154	(40)×(34)	23	円	L I 2 5
155	(36)×(34)	49	円	L I 2 5
156	32×28	33	円	L I 2 5
157	36×28	41	円	M I 0 5
158	30×28	78	円	M I 1 0
159	40×36	46	円	M I 1 0
160	36×26	44	円	M I 0 5
161	(36)×(30)	15	円	M I 1 0

(北区)

(北区)

柱穴番号	開口部cm	深さcm	形状	位置
162	(40)×(38)	17	円	M I 1 0
163	32×30	53	円	M II 0 1
164	32×28	24	円	M II 0 1
165	(32)×(20)	8	円	M I 1 0
166	24×22	24	円	M II 0 1
167	28×22	19	円	M I 1 0
168	48×40	23	円	M I 1 5
169	30×28	25	円	M II 0 6
170	30×28	18	円	M II 1 1
171	40×34	22	円	M II 0 8
172	28×22	42	円	M II 1 2
173	40×40	24	円	M II 1 2
174	36×30	52	円	M II 1 1
175	36×36	59	円	M II 1 2
176	32×24	25	楕円	M II 1 7
177	30×28	12	円	M II 1 2
178	38×26	27	楕円	M II 1 1
179	30×22	30	楕円	M II 1 1
180	28×18	24	楕円	M II 1 1
181	34×32	26	円	M II 1 1
182	34×34	16	円	M I 1 5
183	26×20	24	円	M I 1 5
184	24×26	29	円	M I 1 5
185	26×(26)	31	円	M I 1 5
186	30×(26)	50	円	M I 1 5
187	38×34	27	円	M I 1 5
188	28×28	29	円	M I 1 5
189	26×20	36	楕円	M I 2 0
190	34×28	34	楕円	M I 2 0
191	30×24	23	円	M I 2 0
192	50×(44)	26	円	M I 2 0
193	30×24	8	円	M II 1 6
194	40×38	28	円	M I 2 0
195	42×(36)	20	円	M I 2 0
196	46×36	31	楕円	M II 1 6
197	(56)×34	59	楕円	M I 2 0
198	28×26	22	円	M II 1 6
199	28×22	16	円	M II 1 6
200	30×26	38	円	M II 1 6
201	38×32	18	円	L I 2 5
202	24×20	18	円	M II 0 1
203	30×30	42	円	L II 2 1
204	36×32	2	円	M II 0 1
205	22×20	6	円	M II 0 1
206	44×36	14	円	L II 2 1
207	34×28	34	円	M II 0 6
208	34×34	52	円	M II 0 6
209	40×30	54	楕円	M I 1 0
210	36×36	42	円	M I 1 0
211	(36)×(20)	16	円	M I 1 0
212	44×28	20	楕円	M I 1 5
213	36×35	20	円	M I 1 5
214	34×32	22	楕円	M I 1 5
215	(30)×(30)	19	円	M I 1 5
216	36×30	37	円	M I 1 5



柱穴番号	開口部cm	深さcm	形状	位置
217	36×34	25	円	M I 1 1
218	64×40	12	楕円	M II 1 1
219	36×36	35	円	M II 1 6
220	30×26	47	円	M II 1 6
221	58×36	53	楕円	M II 0 6
222	(40)×(34)	3	円	L II 2 1
223	42×40	17	円	L II 2 1
224	48×44	24	円	M II 1 6
225	32×30	22	円	M II 1 6
226	(40)×34	28	円	M II 2 1
227	40×(36)	65	円	M II 2 1
228	(48)×(48)	8	円	M II 2 1
229	32×28	48	円	M II 2 1
230	52×50	63	円	M II 2 1
231	64×62	117	円	M II 2 1
232	26×24	16	円	M II 2 1
233	56×32	9	楕円	M II 2 1
234	48×34	52	円	M II 0 1
235	66×64	5	円	M II 0 1
236	40×(36)	25	円	M I 2 0
237	30×30	44	楕円	M I 2 0
238	50×42	19	円	M I 2 0
239	28×26	24	円	M II 0 2
240	(44)×(28)	14	楕円	M II 0 2
241	(30)×(28)	24	円	M II 0 2
242	46×28	47	楕円	M II 0 6
243	36×30	1	円	M I 1 1
244	(52)×46	31	円	M I 2 0
245	28×22	15	円	M II 1 1
246	28×26	47	円	M II 0 6
247	30×26	28	円	M I 2 0
248	50×42	70	円	M I 1 0
249	(28)×(20)	33	楕円	M II 0 6
250	48×46	27	円	L II 1 1
254	22×20	17	円	M II 0 8
255	24×22	37	円	L II 2 2
256	42×30	34	円	M I 0 4
257	42×40	29	円	M I 0 3
258	36×30	43	円	M I 0 9
259	48×42	25	円	M I 0 9
260	44×40	30	円	M I 0 9
261	92×58	19	楕円	M I 0 9
262	60×46	17	円	M I 0 9
263	52×40	17	円	M I 0 9
264	26×20	18	円	M I 0 9
265	44×36	16	円	L II 0 7
267	26×20	36	円	L I 1 0
268	24×24	36	円	L I 1 0
269	46×38	35	円	L II 0 6
272	36×26	44	円	L I 1 0
273	34×32	52	円	L I 2 5
274	48×36	23	楕円	L II 2 1
275	24×24	14	円	L I 2 5
276	43×33	24	楕円	L I 2 5
277	44×34	49	楕円	L I 2 5
278	52×44	48	円	L II 1 6

柱穴番号	開口部cm	深さcm	形状	位置
279	44×44	20	円	L II 1 6
280	52×44	80	円	K II 1 7
281	28×26	27	円	L II 1 1
282	30×28	40	円	L II 1 6
283	42×38	29	円	L II 0 6
284	72×40	21	楕円	L II 1 1
285	32×30	9	円	L II 1 6
286	40×28	40	楕円	L II 0 6
287	52×42	63	円	L II 0 2
288	38×30	33	円	L I 0 5
289	(60)×58	39	円	L I 0 5
290	44×26	18	楕円	L I 0 5
291	32×24	29	円	L I 0 5
292	18×18	10	円	L I 0 5
293	24×22	16	円	L I 0 5
294	58×48	29	円	L II 0 1
295	48×42	19	円	L II 0 2
296	34×24	12	円	L I 0 5
297	60×(60)	44	円	K II 2 5
298	52×50	50	円	K I 2 5
299	50×42	10	円	L I 0 5
300	30×22	47	円	L I 0 5
301	46×24	23	楕円	L I 0 5
302	70×54	40	楕円	L I 0 5
401	42×40	36	円	O I 0 3
402	36×30	16	円	N I 2 4
403	40×38	25	円	N I 2 4
406	42×30	23	楕円	O I 0 9
407	24×24	9	円	N I 0 9
408	36×30	34	円	N I 1 4
409	40×36	23	円	N I 1 4
410	28×26	12	円	N I 1 4
411	36×26	13	楕円	N I 1 5
412	38×30	21	円	N I 1 5
413	52×40	27	円	N I 1 5
414	26×22	23	円	N I 2 0
415	40×30	38	円	N I 2 0
419	(32)×(20)	39	楕円	N I 2 4
420	(42)×(32)	52	円	N I 1 5
421	(46)×(40)	25	円	N I 1 5
422	34×30	8	円	N I 1 3
423	36×28	22	円	N I 1 3
424	38×34	42	円	N I 1 3
425	34×32	16	円	N I 1 8
426	36×30	12	円	N I 1 4
427	28×28	24	円	N I 2 4
428	34×34	28	円	N I 2 4
429	38×30	16	円	N I 2 4
430	56×36	37	楕円	N I 2 4
431	48×(40)	26	円	N I 2 4
432	(54)×46	45	円	N I 1 4
433	36×(20)	38	楕円	O I 1 9
434	(40)×30	27	楕円	O I 1 8
435	(40)×36	35	円	O I 1 8
436	40×(36)	34	円	O I 1 8
437	44×40	17	円	O I 1 9

柱穴番号	開口部cm	深さcm	形状	位置
438	24×20	31	円	O I 1 9
439	38×34	45	円	O I 1 9
440	26×24	47	円	O I 1 9
441	56×48	54	楕円	O I 1 7
442	42×32	3	楕円	O I 2 3
443	26×20	49	円	O I 2 3
444	74×72	47	円	O I 1 2
445	56×52	40	円	O I 0 8
446	52×32	52	楕円	O I 1 3
447	70×64	51	円	O I 1 3
448	44×42	38	円	O I 1 2
449	42×40	12	円	O I 1 7
450	32×24	26	楕円	O I 0 7
451	48×34	27	円	O I 0 7
517	18×15	15	円	O I 1 5
519	18×15	6	楕円	O I 1 5
520	33×30	12	円	O I 2 0
521	15×15	5	円	O I 2 0
522	15×12	7	円	O I 2 0
523	15×12	10	楕円	O I 1 5
524	24×21	12	円	O I 2 0
525	15×12	6	楕円	O I 2 0
526	15×12	8	円	O I 1 9
527	21×21	10	円	O I 1 4
528	48×42	14	楕円	O I 1 4
530	(84)×66	18	楕円	N I 2 2
531	148×42	107	不整	N I 2 3
534	32×30	28	円	O I 0 4
535	(28)×28	26	円	O I 0 4
536	(36)×30	25	円	O I 0 4
537	32×30	26	円	O I 0 4
538	80×60	110	楕円	O I 0 4
539	46×36	38	円	O I 0 3
540	52×46	59	円	O I 0 3
541	66×52	37	円	M I I 2 2
542	96×68	52	楕円	M I I 2 1
543	24×20	26	円	O I 0 3
544	32×30	26	円	O I 0 4
545	46×30	20	楕円	O I 0 4
546	28×26	39	円	O I 0 4
547	28×28	24	円	O I 0 4
548	22×(20)	13	円	O I 0 4
549	(32)×22	24	楕円	O I 0 4

柱穴番号	開口部cm	深さcm	形状	位置
550	30×22	15	楕円	O I 0 4
551	24×18	28	円	O I 0 4
552	36×34	11	円	O I 0 4
553	26×20	20	楕円	O I 0 4
554	26×20	34	楕円	O I 0 4
555	28×26	10	円	O I 0 3
556	52×60	40	円	O I 0 3
557	51×42	9	不整	O I 1 9
558	30×21	9	楕円	O I 1 9
559	21×21	15	円	O I 1 9
560	24×21	15	楕円	O I 1 9
561	21×6	7	楕円	O I 1 9
562	15×15	5	円	O I 1 9
563	12×12	6	円	O I 1 9
564	18×18	11	円	O I 1 9
565	30×30	—	円	O I 1 9
566	18×18	11	円	O I 1 9
567	15×15	13	円	O I 2 0
568	18×15	6	楕円	O I 1 9
569	15×15	7	楕円	O I 2 0
570	21×15	8	楕円	O I 2 0
571	21×21	12	円	O I 1 9
572	15×12	6	楕円	O I 1 9
573	18×12	12	楕円	O I 1 9
574	21×15	10	楕円	O I 2 0
575	21×21	10	円	O I 1 9
576	30×30	6	円	O I 2 0
577	21×18	8	楕円	O I 2 5
578	15×15	8	円	O I 2 0
579	21×18	16	楕円	O I 2 0
580	36×24	15	楕円	O I 2 0
581	15×15	—	円	O I 2 0
582	(42)×30	35	楕円	N I 2 3
583	88×54	31	楕円	N I 2 3
584	40×36	39	円	N I 2 4
585	40×38	54	円	N I 2 4
586	22×22	—	円	N I 2 5
587	50×44	7	円	P I 0 2
588	44×38	45	円	P I 0 2
589	44×42	43	円	O I 2 2
590	32×(20)	2	楕円	P I 0 2
591	42×26	32	楕円	P I 0 2
592	(40)×26	7	楕円	P I 0 3

## V. 遺構外出土遺物

### 1 土器

遺構内外合わせてコンテナ（42×32×30cm）約160箱の土器が出土しており、うち遺構外出土土器は約50%弱である。出土層位はIV層（遺構検出面であり、縄文時代の生活面と思われる）～V層（遺構検出面であるが、遺構を掘り上げた土が多く混在している）が圧倒的に多いが、I層（表土、現耕作土）II層（圃場整備時の盛り土）III層（造成前の旧表土）からの出土もあり、土の移動に伴う調査区外からの流れ込みのものも結構混在しているものと思われる。

時期については縄文時代前期末（円筒下層d式、大木6式）、同中期（円筒上層a～d式、大木7a～10式）、後期初頭、のものがあり、その中でも中期のものが主体となる。それ以外に早期、弥生時代初頭の破片が若干出土している。他に土師器もあるが、その殆どは遺構内出土である。

掲載にあたっては、各土器型式の特徴をよく残しているものを抽出し、かつ、残存率の良いものを優先したが、希少なものについてはその限りではない。立体土器、破片土器併せて296点を掲載した。また、前期末から中期中葉期にかけての土器は、円筒式土器の特徴を持つものと大木式土器の特徴を持つものが同時に出土している。

1638～1640は縄文時代早期中葉の貝殻沈線文系の土器片である。1638は口縁部であるが、1639、1640も口縁部に近い部位と思われる。1638、1639は三戸式に1640は寺の沢式に類似する土器である。

1641～1696は縄文時代前期末葉のもので円筒下層d式土器に比定されるものである。口縁部に狭小な文様帯をもち、頸部に薄い隆帯や刺突列を施し胴部との境目を設けている。口縁部文様帯には、絡条体及び撚り糸の押圧が施され、胴部には木目状撚り糸文、羽状縄文、結束第一種、撚り糸文などが施される。1655は胴部上半は結束第一種0段多条、下半は多軸絡条体となっている。1642、1651、1667、1679、1690は口唇部にも原体押圧が施されている。胎土には植物繊維が含まれているが、総じて多くはなく、よく観察しなければ分からないものもある。なお、この種の土器は完形及び接合して器形の判別できるものは出土しておらず、殆どが破片である。

調査範囲南区の南西端の段丘縁には厚い遺物包含層が形成されており、捨て場として利用されていた場所らしい。此処は岩手町教育委員会で調査を行っているが、ここからは、完形に近い多くの円筒下層d式の特徴を有する土器が出土している。

1697～1727は縄文時代中期初頭から同中葉にかけてのもので円筒上層式に比定されるものであり、これらをさらに細分すると、以下に分類できるとと思われる。

1697～1722は口縁部は外反して、波状若しくは角状の突起を有し、隆帯を貼付け、圧痕による文様が密に施されている。胴部に文様を持つものはなく地紋のみとなっている。1712、1716、1721は口唇部にも圧痕を有する。これらの中の多くは波頂部から隆帯を垂下させており、胎土に少量の植物繊維を含むものも観察される。以上の特徴から、これらは円筒上層a式に比定される土器群であり、比較的多く出土している。

1723～1725は上記と同じく波状口縁を有し、隆帯を垂下させるが、口縁部文様帯にC字状の圧痕を並べて施文している。これらは円筒上層b式に比定されるものである。

1726は口縁部を外反させ、やや細い隆帯を貼り付け、刺突を多用しているもので円筒上層c式に比定され

る。本遺跡からの出土は少ない。

1727は上端を欠くが、胴部上半と思われる。細い隆帯を貼り付けしてしており、小破片で全体像はつかめないが、円筒下層d式に比定されるものではないかと思われる。但し本遺跡からの出土は極めて少ない。

1728～1791（1742～1745、1790を除く）は縄文時代前期末から、同中期前葉にかけての大木式系の土器群である。立体土器の1728～1730、1732～1734、1736、1737、1739～1741及び破片土器の1746～1748、1750～1770、1780、1785は並行する二条以上の沈線を有し、半截竹管による施文のように見受けられるもの及び同様に半截竹管による刺突、押し引きで施文するものである。1728～1731は口縁部が外反し、頸部が括れ、胴中央部～下半にかけて膨らみを有するが、1734は胴部上半に最大径を持つものである。1733、1735～1737、1740は胴部の膨らみを有しないもので1735は円筒上層a式土器に見られる器形である。1737、1740は頸部径と底部径の殆ど差の無い器形である。1741は台付の深鉢である。1742も上半のみであるが、下部の欠け口残存状況から下半に円筒形の部分を持つ台付鉢になるものと思われる。1743～1745は浅鉢である。1743、1744は無文であるが1743は波状口縁で上端が肥厚するのに対し1744は平口縁でくの字型に内湾している。1745は完形で胴部に縄文を施し口縁部に二条の平行沈線、一単位の波状突起を持つ。これらは大木6式から同7 a、7 b式に該当するものと思われるが、筆者の浅学により細分できず、一括して掲載する事とした。

1790、1792～1815及び1823は縄文時代中期中葉の大木式の土器群である。

1790、1792、1794、1796～1800は口縁部が内湾するもので、地紋の上に沈線による曲線基調の施文がなされる。1793はやや開き気味の器形であるが、口縁部に狭小の無文帯をもち、胴部には地紋の上に渦巻状の沈線による施文がなされている。1794は波状口縁の波頂部と思われ、円孔を持つ大突起となっている。

これらは大木8a式に比定されると思われる土器群であるが本遺跡では出土数が少ない。むしろ1794に類似する該期の土器は、段丘面で一段低い秋浦Ⅱ遺跡での調査時に多く出土している。

1801～1815、1823は隆帯及び隆沈線により渦巻状文様を多用するもので大木8b式に比定される土器群と思われる。1801は複節(RLR)を地紋とし、渦巻状に隆沈線で文様を描いている。口縁部はきつく内湾し、円孔を持つ突起を有している。1802は器形、文様構成からみると上端を欠くものと思われるが、これで完形となっており、焼成前に切断し整形されたものようである。1810は波状口縁で、波頂部下に渦巻文、さらに隆沈線での区画内に刺突列を施しているもので、本遺跡では異色である。1823は大きなうねりを持つ波状口縁になる模様でくの字状に内湾する。肩部はきつく張り出して数単位の舌状突起を持ち、その間に大胆な隆沈線による渦巻文を施している。焼成がよく灰褐色を呈し、全体像はかなり大きなものになると思われる。同様の破片は数点出土しているが何れも接合せず、器形は判別できない。浅鉢の可能性もある。

1817～1822、1824～1829は縄文時代中期後葉の土器群であり、大木9式に比定される。これらの土器群の出土量は豊富であり、特に遺構内からの出土が多い。

1817は沈線による逆U字状区画内に縄文が施文され、磨消しがなされている深鉢である。1818は沈線区画の間に早蕨状の沈線による文様を持つ。これを渦巻状とも見ることができ、前代の名残であろうか。1822、1824は逆U字状区画の他に楕円文を持つが、1824は区画内に縄文を施文する区画と刺突を施文する区画とに分けている。1826～1829は沈線による区画の他に、口縁部無文帯と胴部文様帯の間に刺突列を施すもので

ある。1826、1829は二条の、1827は一条の、1828は一条であるが波状のそれぞれ刺突列を有している。

1830～1834は縄文時代中期末葉の大木10式に比定される土器群である。本遺跡からの出土は、遺構内外含めて少ない。

これらの土器群は、沈線による区画を持つことは前代と共通であるが、その区画が、縦一辺倒ではなく、横への展開を見るようになる。1830は未だ前代の名残を有すると思われるが、1832、1834は沈線区画を曲線的に施し、区画内に縄文を充填している。1831は幅広の口縁部無文帯を持っている。1833は波状口縁となり、口唇部を肥厚させ、さらに隆帯的突起を口縁部下にめぐらせており、該期のものとしてよいかどうか、判断に迷うところである。

1835～1900は縄文時代後期初頭の土器群である。ここに掲載されている土器群はさらに細分されてしかるべきと思われるが、筆者の浅学によりそこまで至っておらず、2、3の特徴を列記するにとどめる。

深鉢に該当するものの殆どは波状口縁となっており、その中でも文様構成の分かる物は、胴部上半にのみ沈線による波状を基調とした施文がなされている。また、前代に比し、底部に網代痕、木葉痕を持つものが多くなっている。

1839、1840、1842等の胴下部に最大径を持ち頸部が絞まる壺型のものには縄文の施文はなく、磨かれた器面に沈線のみで、方形、或いは矢羽状の文様が施される。破片ではあるが、1866、1873～1879も同類と思われる。

口縁部を折返し、肥厚させるものも多い。1883～1890は単純な折返しであるが、1852、1853は折返して肥厚した狭小な口縁部にさらに沈線をめぐらせている。

数は多くはないが、隆帯を貼り付けているものもある。この特色は隆帯貼り付けだけにとどまらず、1835、1866～1872の様に隆帯上に刺突を施していることである。また、1844～1850にはボタン状若しくはドーナツ状の貼り付けがなされている。

紐を通したであろう孔を有するものもある。1835は鉢で、4単位区画の境界に口縁部の上端下端に2箇一对の橋状取手を持つ。底部は木葉痕（笹葉）になっている。1841も鉢で、口縁部に左右一对の孔を有している。さらに底部縁辺には孔と軸線を一にする位置に刻みを施しており、紐を通して吊り下げ易くする工夫がなされている様に思われる。蛇足であるが、左右の2カ所だけというところが、吊り下げたときの不安定さを連想させる。1839は釣り手と目される箇所は見あたらないが、底部縁辺に刻みを有し、軸線が直行する端ばしに設けられている。

1901～1906は粗製土器で、器形の分かるものを掲載したが、時期及び土器型式については不明である。

1904は浅鉢であるが口縁部が欠けていたとすれば、深鉢の下半と判断されるのではないかとと思われるくらい厚くつくられている。他は全部深鉢である。1901は口縁部はやや開き気味で折返しはなされ、胴部とは違う施文で、絡条体押圧がなされている。1902は胴部下半であるが、網目状撚り糸文が施され、底部には木葉痕（笹葉）が見られる。1903は口縁部が肥厚し、底部がやや張り出すものである。1905は口縁部に台形状突起を持ち、その部分だけ口唇部に胴部と同じ原体の押圧を行っている。1906は頸部ですぼまり、口縁部が開く深鉢で口唇部縁に刻み列を有している。

これら一群の土器は粗製であるため时期的なものは不明であるが、本遺跡の他の出土土器に比しておおよ

その類推はある程度可能かと思われる。巻末の土器観察表にはその類推を記載しているがあくまでも、疑問符が付くものである。

1907～1912は弥生式土器である。1907は数少ない口縁部辺であり、横位の並行沈線間に、交互刺突による施文がなされている。1908、1910は同一個体かもしれない。撚り糸押圧と二条一対の刺突列を横位に展開させている。1909は無文に細いが切れ込みの鋭い沈線で曲線を描いている。1911は細い原体による斜縄文である。1912は地文に鋭い沈線と円形の刺突列で曲線を描いている。

これらは、何れも小片であり器形を把握する事はできない。口縁部片は1907、1909の2点だけである。出土地点は何れも南区からで、層位もIV層より上である。また、これらに伴う遺構も確認されていないため、他からの流れ込みと思われる。

1913～1933は小型若しくはミニチュア土器或いは異種のを掲載した。

1913は胴中央部が膨らみ、頸部はすぼみ、口縁部が開く波状口縁となり、口唇部にも刺突列を施している。沈線による文様帯は胴部上半に限られ、波頭文と蛇行懸垂文がなされている。また胴部文様帯の境は横位の刺突列がなされている。小型深鉢で後期初頭と思われる。1914も小型深鉢で底部に木葉痕らしいものが観察される。1915は口縁部に狭小な無文帯をもち原体押圧により文様帯との区画をなしている。これも小型深鉢である。1916は口縁部で折返し肥厚させている。器高5cm強でミニチュア土器の範疇に入るものと思われる。1917は胴部上半を欠くが、沈線による懸垂文が見られ、大木9式の小型深鉢であろう。1918は口縁部を欠いているが、ミニチュア土器で、一対の紐を通す孔を持っている。胴部は無文に沈線による方形区画がなされる。胴部半ばで上下に分離しているが、故意なのか輪積みのためか判別できない。後期初頭のものであろう。1919は小型深鉢で口縁部を無文帯にしている。1920はミニチュア土器で器面調整がなされていない。1921もミニチュア土器で台付鉢の器形である。無文である。1922は小型深鉢で口縁部が内湾し、無文で輪積み痕が見られる。1923～1925はミニチュア土器で、無文である。1923は4単位の波状口縁と思われ、外反する。1924は平口縁で内湾する。1925は出土土器中最小の物で、器高、径共2cmほどである。1926、1927は台付鉢の台部分であろう、それぞれ網目状、斜縄文が施文されている。1928、1929は壺形土器の口縁部辺であるらしい。1928には朱を施した跡が見られる。1930は注口土器の注口部であり、中央部に段がついている。1931、1932は平面形が円形で取っ手付の蓋であると思われる。1933はその器形から小型の鉢とも思われたが底部の作りが平坦度を欠くため、蓋ではないかと思われる。輪積み痕を残している。これらの時期については、明らかな文様を有しているもの以外は不明であるが、縄文時代中期以降ではないかと思われる。

## 2 土製品

本遺跡からの土製品の出土は、土器の出土量に比すと多くはない。一番多いのは円盤状土製品で遺構内から55点、遺構外から107点出土している。土偶は遺構内から7点、遺構外から9点出土しているが、殆どが破片であり、全体像の分かるものは少ない。斧状土製品は遺構内7点、遺構外2点の出土であるが、遺構内では、RA08、同31の複式炉を持つ大型の竪穴住居跡から出土しているのが目に付く。他に耳栓、鐸状土製品、土球等が出土している。

1934～1942は土偶の破片である。完形の物はない。1934は目と思われる箇所を表面から裏面まで貫通

する孔で表現している。1935、1937、1938は刺突で、1936、1939、1940は沈線で、1941は沈線+刺突、1942は半截竹管による施文と思われる。

1943は土偶の足なのか、スプーン状土製品の取っ手なのか、不明である。円柱状の中央部が括れる作りになっている。

1944、1945は鐸状土製品である。向きは違うが、何れも上端に貫通孔を持つ。1945は完形である。

1946は中央に貫通孔を持つ。なつめ玉状であるが一部を欠いており、判然としない。1947は耳栓であり中央に貫通孔を持つ。平面形は鼓状、断面形は円形である。

1948は径5cmほどの土玉である。多少の凹凸が有り、ほぼ球形である。火熱はうけていないように思われ、稚拙な作りである。なお遺構内出土（RA51）のものはやや扁平で焼成の跡が分かるものである。

1950は有孔の斧状土製品の破片。1951は中央部片である。1949についてはこれらと同類と見て良いかどうか、判断に迷うところである。前述のように、斧状土製品については、竪穴住居埋土及び床上からまとまって出土しており、特にRA31（複式炉を持つ長径8m以上の大きな竪穴住居跡）床面の一定の場所から2点出土している。このRA31は柱穴脇に大木9式の深鉢を正位に半分ほど埋設していた住居跡である。

1952～2058は円盤状土製品である。1952～1954は有孔で、1955も中央部に孔になりきれない痕跡を持つ。また、1953、1955、1956は意識的に方形に作ったものと思われる。前述のように円盤状土製品は遺構内外合わせて162点出土しているが、この中で明らかに底部を利用したと思われるのがわずかに3点のみであり、網代痕が見られる1968と2047、RA13出土の247である。

### 3 石器

2年間にわたる調査で出土した石器の数は1508点である。うち遺構内出土は738点、遺構外出土は770点となる。これらを、器種ごとに分類し、各器種毎に代表的なものを選んで掲載した。

#### (1) 石鏃

出土数は260点で、うち遺構外出土は141点である。この中から遺構外は77点を掲載した。但し掲載するにあたって、基部の形態から以下の様に細分した。

I群 無茎鏃・・・中茎がないもので、基部の形態によりさらに二つに細分した。

1類 平基無茎鏃・・・中茎が無く、基部が直線的なもの（2059～2061、2135）

2類 凹基無茎鏃・・・中茎が無く、基部に抉入のあるもの（2062～2081）

II群 有茎鏃・・・中茎のあるもので、基部の形態によりさらに三つに細分した。

1類 平基有茎鏃・・・直線的な基部に中茎を持っているもの（2083～2091）

2類 凹基有茎鏃・・・明瞭な中茎を持ち、基部に抉入がなされたもの（2082）

3類 凸基有茎鏃・・・基部が突出しさらにそこから明瞭な中茎を持つもの（2092～2119、2121～2125、2130）

III群 尖基鏃・・・基部が尖り中茎の作り出しが不明瞭なもの（2120、2126～2129）

IV群 円基鏃・・・基部全体が丸みを帯びるもの（2131～2134）

#### (2) 石錐

出土数は26点で、うち遺構外出土は14点であり、この中から11点を掲載した。これらをその形状により次のように三分した。

I群 つまみ状の頭部を作り出し、細長い錐部を持つもの（2136～2143）

Ⅱ群 全体が棒状を呈するもの (2145)

Ⅲ群 不定形の剥片の一端に加工調整した錐部を作り出したもの (2144、2146)

I群については、頭部の形状、錐部の断面形、及び長さ等により細分が可能と思われるが、全体形状を知りうる出土点数が少ないため細分はできなかった。2139、2141、2142は錐部の一部を欠いている。

### (3) 石匙

出土数は70点で、うち遺構外出土は38点であり、この中から13点を掲載した。これらをその形状により次のように二分した。

I群 縦長石匙・・・つまみ部を上にしたとき、刃部が縦長となり側辺をなすもの

1類・・・刃部の二次調整が片面のみに施されているもの (2148、2151、2152)

2類・・・ " 両面に施されているもの (2147、2149)

Ⅱ群 横長石匙・・・つまみ部を上にしたとき、刃部が横長となるもの

1類・・・刃部の二次調整が片面のみに施されているもの (2150、2156)

2類・・・ " 両面に施されているもの (2153～2155、2157～2159)

2149は石質が砂質頁岩でその作り、石質ともに異種である。2153は凝灰岩製である。サイズは縦横とも1.6cmで実用に即したのかどうか疑問である。2159も欠損品であるがミニサイズであり石質は本遺跡では数少ない瑪瑙である。

### (4) 尖頭器

石鏃、石錐以外のもので、尖端部を持つものをまとめた、その形状は様々であるが分類は行わなかった。中には石鏃、石錐に属するものもあるかもしれない。

出土数は74点で、うち遺構外出土は39点であり、この中から20点を掲載した。

2160～2169、2179はドリル的なもの、2170～2178は刺突具的なものであろうか。

### (5) 削搔器

上記以外の剥片石器で、縁辺に刃部を有し、不定型なものを一括した。

出土数は429点で、うち遺構外出土は213点であり、この中から52点を掲載した。これらをその形状、刃部加工の仕方により以下のように分類した。

I群 側縁部にのみ二次調整がなされ、刃部を作り出しているもの、さらにその中で尖端部を持つものをAとした

1類・・・1側縁部のみに刃部を作り出しているもの (2181～2184、2189～2193、2200、2210)

A・・・尖端部を持つ (2180、2185、2217)

2類・・・両側縁部に刃部を作り出しているもの (2188、2194～2197、2199、2206、2208)

A・・・尖端部を持つ (2186、2211～2214、2216)

3類・・・3側縁部に刃部を作り出しているもの (2187、2203、2224、2227)

A・・・尖端部をもつ (2215)

Ⅱ群 全縁に二次調整で刃部を作り出しているもの、所謂ラウンドスクレパー状のもの (2226)

Ⅲ群 バルブを上にしてその対面に刃部を作り出しているもの、所謂エンドスクレイパー状のもの (2198、2201、2202、2204、2209、2220、2225)

Ⅳ群 欠損により形状不明のもの (2205、2207)

Ⅴ群 不定形で二次調整痕の希薄なもの (2218、2219、2221)

他に2222は三日月状を呈し全縁に二次調整がなされている異形石器である。2228、2230は側辺に鋸歯



状の加工がなされている。2231は両極打法による剥離痕が見られる。2229は全周に二次調整がなされるが、その断面形により石筥ではないかと思われる。

以上の掲載した剥片石器は、173点中その材質の殆どが(91.9%)頁岩であるが、頁岩以外では黒曜石1点(石鏃)、玉髓4点(石鏃2点、削搔器2点)、凝灰岩3点(石鏃1点、石匙1点、削搔器1点)、瑪瑙4点(石匙1点、尖頭器1点、削搔器2点)、鉄石英?1点(削搔器)、砂岩?1点(尖頭器)となっている。

#### (6) 磨製石斧

出土数は96点で、うち遺構外出土は60点でありこの中から36点を掲載した。

他の器種は遺構外、遺構内ともほぼ同数か、或いはどちらかがやや多い程度であるが、この磨製石斧だけは遺構外60点遺構内39点と圧倒的に遺構外出土数が多くなっているのが際だっている。

2232~2235は南区のO I 19グリッドのIV層下位、RA51の東隣りで検出されたもので4本重なった状態で出土している。何れも未使用のように思われる。埋納遺構とも思われるが、周囲に特に変わった状況もなく、埋納遺構としての痕跡を確認することはできなかった。

大きさについては、長さ14.9cmの2235、幅では5.4cmの2237、厚さでは4.2cmの2233、重さでは369.1gの2236が最高値である。特に際だって大きなものはない。逆に小型のものが目立ち、2262は長さ6.4cmであるが、幅1.4cm、厚さ1.0cmで鑿状に使われたのではなかろうか。2263も一回り小さいが同様であろう。他に欠損品であるが、2264~2267もミニチュアサイズである。

2255、2256は刃部が本来の磨製石斧の役割を果たせない状況になったものを再利用したものではなかろうか。どちらも厚く擦られており、敲き石か擦り石かに再利用されたもののように思われる。

#### (7) 打製石斧

出土数は6点あり何れも遺構外出土である。うち3点を掲載した。2268にはタール状の付着物が見られる。2269は上部に比し下部がやや広く、石筥となるのかもしれない。2270は上端を欠くものであろうか。

#### (8) 磨石、凹石、敲石

この3器種については、単独で使用されている物もあるが、複合的に使用されている物もある。その組み合わせは 磨石+敲石 磨石+凹石 敲石+凹石 磨石+敲石+凹石となる。これら複合的な物については、その顕著な使用痕によって器種特定をしてある。

ア 磨石は133点(遺構内72点、遺構外61点)出土したが、うち遺構外は28点掲載した。2271~2281は扁平な面に磨痕を持つものである。但し2271~2276、2281は片面のみ、2277~2280は両面に磨痕が見られる。2282、2284は4面にわたって磨痕が見られる。2283は4面中1面を欠くが、残り3面に磨痕があり、さらに1面に凹を有する。2285~2291は扁平な石の側面に磨痕を有しているものである。これらには共通して、敲打による剥離が見られる。2285、2290、2291には凹を有する面がある。2292、2293、2297は磨痕+敲打痕のものである。2294、2295、2298はやや縦長の先端部に磨面を有するもので2298にはさらに敲打痕も見られる。2296は扁平な石の側面に磨面を有するが、或いは、半円状扁平打製石器に分類した方が妥当かもしれない。

イ 凹石は139点(遺構内62点、遺構外77点)出土したが、うち遺構外は33点を掲載した。2305、2314、2335、2337以外は両面に凹を有し、その殆どは表裏同一箇所である。また凹は単孔だけとは限らず、連孔となっているものもあり、特に2317は縦長の扁平な面の上から下まで連続している。石質は砂岩が多いが、敲石、磨石との複合的なものはその限りではない。

凹+敲痕を有するもの・・・ (2321、2323、2325、2324、2326)

凹+磨痕を有するもの・・・ (2327、2328、2329、2330、2331、2332、2333)

凹+敲痕+磨痕を有するもの・・・ (2334、2335、2336、2337)

ウ 敲石は75点(遺構内37点、遺構外38点)出土し、うち遺構外は19点掲載した。石質は砂岩が多い。大きさは、大は手のひら全面で握れるものから、小は指段階で間に合うものまで。形状は扁平なもの、棒状のものと同様であるが、その殆どは自然の円礫を利用している。2341、2351は磨製石斧の転用と思われる。2372はサイズの的には大きく、片手で使用するにはかなりの握力を要するもので、後述の台石に含まれるものかもしれないが、使用面が先端部にもあるため、此处に分類した。

これらの敲石の使用面はざらざらした潰滅痕であるが、2354、2355だけは剥離面となっている。これは使用方法の違いによるものと思われ、前者は比較的小さな力で対象物に働きかけたのに対し後者は、大きな力で叩いた結果であろう。そういった意味では、同じ敲石でも2分できるかもしれない。

#### (9) 半円状扁平打製石器

出土数は30点で遺構外出土は13点である。うち6点掲載した。何れも扁平な石の縁辺部を使用するもので、形状は半円状若しくはそれに準ずる形である。使用面は顕著な擦痕をもち、中には潰滅痕に近いものもある。また使用面には叩いたことによると思われる剥離面が付随している。2301、2303は典型的なものである。

#### (10) 石皿

出土数は46点で遺構外出土は20点である。うち6点を掲載した。何れも欠損しているが、完形のものも遺構内から出土している。溶岩を用いているものが多い。2356は表裏とも凹を持つが、石質が多孔質のものであり自然面と思われる。2357は表裏に凹を持ち、石皿の欠損品を凹石として転用したものと思われる。2358は裏面に溝状の磨面が見られるが、これは、此处に掲載していないものにも多く見受けられる。砥石的に棒状のもの或いは、先端状のものを研磨するのに使用した跡と思われる。

#### (11) 石錘

出土数は2点で、遺構外出土は2362の1点である。石質は砂岩と思われる。扁平な自然礫の中心よりやや上の縁辺部の両側を打ち欠いている。出土数は2点のみで、出土数の少ないことが、本遺跡の特徴である。

#### (12) 砥石

出土数は42点で、遺構外出土は15点である。うち5点を掲載した。石質は2365だけが砂岩と思われるが、他は溶岩である。2363、2364は手のひらに納まる大きさであり、これを持って、対象物に働きかけたものとなれば磨石となるのであろうか。2365もサイズの的には同類であるが、磨り面が窪んでおり、これをもって研磨されたものは小型のものであろう。2366、2367は溝状の研磨痕を有し、石皿の裏面に見られるものと同類である。転用品か。

#### (13) 台石

ここで台石と規定したものは、何れも最大長30cm以上あり、使用にあたって、それを持って対象物に働きかけることが、大きさ、重さの面から困難であるが、使用痕を顕著に有するものである。

出土数は37点で、遺構外出土は15点である。うち4点を掲載した。2368は角柱状の表裏面に凹を有するもので重量は4043gである。2369は扁平な皿状の自然礫表面の中央部に敲打痕を有する。重量は6000gである。2370も角柱状の1側面に敲打痕を有するもので、重量は2735gである。2371はやや角柱状の1側面の半分以上にわたって磨面を有するもので、磨かれたようなすべすべした面となっている。重量は6500gである。なお遺構内から出土しているものの中には、炉石に利用されているものがあり、その使用面が表面となっているものもある。

#### (14) 石棒

出土数は27点で、遺構外出土は13点である。うち6点を掲載した。2373～2376は円柱状に整形されたもの、2377、2378は角柱状に整形されたものである。いずれも欠損しており、石質は安山岩である。但し、2377、2378については、自然礫として存在するものかもしれないが、近隣に産地が無く、他の河原石と同じように、目的を持って持ち込まれたものであることは間違いない。

#### (15) 石剣石刀類

厳密に言えば石剣と石刀と分けられるべきものであろうが、何れも完形のものではなく、かつ筆者の浅学によりその認定ができず、一括して石剣石刀類とした。

出土数は6点あり、全て遺構外である。うち4点を掲載した。2379は珪質頁岩で唯一整形の痕跡が見られるものであり、1側縁の片面のみに調整痕を有している。

### 4 石製品

出土数は29点（遺構内12点、遺構外17点）のうち、遺構外は16点掲載した。2383、2385は貫通孔をもつ垂れ飾りであろう。2385の孔の一つは未貫通である。2384は抉状耳飾りの欠損品である。2386～2394は円盤状の石製品で何れも一端及び全周を打ち欠いて整形している。何れも厚さは1cm未満である。石質は、粘板岩、砂岩、礫岩である。2395は扁平な円形になると思われ、非常によく磨かれているが名称不明である。2396～2398は球状のものである。2396は浮石、2397はホルンフェルス、2398はチャートである。前述の1948の球状土製品同様の用途であろうか、何れ意図的に持ち込まれたものと思われる。

### 5 金属製品

金属製品については、近世以降の遺物については遺構内外を問わずに、一括して図版に掲載した。但し、古代の遺物については、その殆どが土師器を伴う竪穴住居跡出土であり、遺構内出土遺物の項目に掲載してある。参考までに、鉄鏃1点、紡錘車1点、刀子1点である。

#### (1) 古銭

出土数は67点である。付近に観音堂が在ること、集石のRH02が社跡の可能性があること、及び墓坑が数基検出されたことにより、以上の点数となったものと思われる。67点中鉄銭は5点のみである。種類の判別できるものでは、皇宋通宝2点、洪武通宝5点、永樂通宝10点、寛永通宝31点（古寛永14点、新寛永11点、他不明6点）、大正九年の刻印のある一銭銅貨1点、他判別不能のもの18点である。

#### (2) 煙管

2463は銅製の雁首で1点のみである。

#### (3) 筒状製品

2464は鉄製で、刀子の縁であろうか。欠損しており、器種は判定できない。

#### (4) 釘

19点出土している。掲載は写真のみである。何れも鉄製である。頭部をL字形に作っており、断面は角となる。中には錆の付いていないものもあった。

他に、前述のように竪穴住居跡出土のものが3点ある。941はRA36、37埋土出土の鉄鏃であり最大長11.3cmを測る。948はRA53出土で鉄製の紡錘車で円形の径は5.4cm、軸径は4mmである。949は同じRA53のカマドから出土した鉄製刀子で欠損してはいるが最大長9.6cm、身幅1.1cm、厚さ0.35cmを測る。

### 第3表遺構内土器観察表

口：口縁部 胴：胴部 頸：頸部 底：底部

結束1：結束第一種羽状縄文 結束2：結束第二種羽状縄文 絡条庄：絡条体圧痕

撚糸：撚糸文 木目状：木目状撚糸文 網目状：網目状撚糸文 半竹：半截竹管

L、R：無節 LR、RL：単節 LRL、RLR：複節 縦：縦回転 横：横回転 斜：斜回転

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
1	RA02埋土	深鉢	完形	口：角状突起 四単位波頂部からLR圧痕の二条の垂下隆帯 頸部に隆帯 胴：LR横	ミガキ	円筒上層a	150	150
2	RA02埋土	深鉢	底	木葉痕(笹葉?)	—	不明	150	150
3	RA02埋土	深鉢	胴	羽状縄文	ナデ	不明	150	150
4	RA02埋土	深鉢	口	口：波状 頂部に鉢巻状貼付 二条の垂下隆帯 沈線	ナデ	大木7a	150	150
5	RA02埋土	深鉢	口	口：内側に折返し 半竹による二条一組の沈線を斜に施す	ナデ	大木7a	150	150
6	RA02埋土	深鉢	口	口唇部内側に肥厚 口唇部肩に刻目列 沈線と刺突列	ナデ	大木7a	150	150
7	RA02埋土	深鉢	胴	沈線と刺突列(2列)を横に展開	ミガキ	大木7a	150	150
8	RA02埋土	深鉢	口	口：無文帯 LR縦に隆沈線	ナデ	大木8b	150	150
9	RA02埋土	粗製深鉢	口～胴	折返口縁 LR横 胴：LR縦 綾絡	ナデ	後期初	150	150
10	RA02埋土	粗製深鉢	口	折返口縁 LR横	ナデ	後期初	150	150
16	RA03埋土	深鉢	口～胴	沈線で長楕円区画内に複節(RLR) 沈線で区画の後に磨消	ミガキ	大木9	151	150
17	RA03埋土	小型深鉢	完形	半円形に沈線で区画 内にRLR縦	ナデ	大木9	151	150
18	RA03埋土	小型深鉢	完形	内面スス付着 無文 砂礫多い	ナデ	大木9?	151	150
19	RA03埋土	深鉢	胴～底	結束1	ナデ	不明	151	150
20	RA03埋土	深鉢	胴～底	RL縦	ミガキ	不明	151	150
21	RA03埋土	深鉢	胴～底	LR縦 沈線	ナデ	大木9?	151	150
22	RA03埋土	深鉢	口	頸部に一条の隆帯で口縁部と胴部を分ける 口：LR 圧痕を6条	ナデ	不明	151	150
23	RA03埋土	深鉢	胴	棒状工具による押しで渦巻文 金雲母含む	ミガキ	大木系	151	150
24	RA03埋土	深鉢	口	口唇部肥厚 鋸状工具で鋸歯状の刻み 平行沈線を横、斜に施す	ナデ	大木7a	151	150
25	RA03埋土	深鉢	口	口：無文帯に横一条の隆帯 隆沈線による区画 地文 RL横	ナデ	大木8b	151	150
26	RA03埋土	深鉢	胴	隆沈線で区画 地文はRL縦	ナデ	大木8b	151	150
27	RA03埋土	深鉢	口	沈線区画内LR縦 磨消	ミガキ	大木9	151	150
28	RA03埋土	深鉢	胴	胴：途中から膨らむ 反転の単軸絡条体	ミガキ	不明	151	150
29	RA03ベルト	深鉢	口	二条の沈線を横に巡らせてその間に刺突列 薄い綾絡(縦)	ナデ	不明	151	150
30	RA03埋土	深鉢	口	LR横 平口縁に一本の角状突起	ミガキ	不明	151	150
38	RA04埋土下位	深鉢	口～胴	胴：膨らむ L縦	ナデ	不明	152	151
39	RA04埋土下位	深鉢	口～胴	口：広い無文帯に沈線で渦巻? 胴：LR縦 口胴境に刺突列を二条	ナデ	中期末	152	151
40	RA04埋土中位	深鉢	口～胴	沈線による楕円区画 区画内にLR縦	ミガキ	大木9	153	151
41	RA04床直	小型	口～底	LR縦	ナデ	大木9	153	151
42	RA04ベルト	小型	胴～底	RL縦	ナデ	中期	153	151
43	RA04埋土中位	深鉢	胴～底	底：網代痕 RL縦	ナデ	不明	153	151
44	RA04埋土中位	ミニチュア	底	三足	—	不明	153	151
45	RA04埋土中位	深鉢	口	口：RL圧痕 頸部隆帯上に刺突 胴：横位の羽状縄文	ミガキ	円筒下層d	153	151
46	RA04埋土中位	深鉢	口	口：縦に弧状貼付、胴部境に刻目付貼付 平行沈線と鋸歯状沈線を施す 胴：綾絡	ナデ	大木7a	153	151
47	RA04埋土下位	深鉢	胴	LR縦を地文に隆沈線による文様	ナデ	大木8b	153	151
48	RA04埋土下位	深鉢	口	隆沈線内にRL縦 波状	ミガキ	大木8b	153	151
49	RA04埋土下位	深鉢	口	沈線による楕円区画内にRL縦 その外周に円形刺突列を巡らす	ミガキ	大木9	153	151
50	RA04埋土中位	深鉢	口～胴	口：無文帯 頸：横に隆帯状張り出し貫通孔もつ(糸をとおす?) 胴：沈線での楕円区画内にLR縦	ナデ	後期初	153	151
51	RA04埋土中位	深鉢	口	沈線による曲線状の区画内にLR斜	ナデ	大木10	153	151
52	RA04埋土中位	深鉢	胴	沈線による曲線状の区画内にLR	ミガキ	大木10	153	151
53	RA04埋土中位	深鉢	胴	文様帯は上半は沈線を波状に 下半は地文となるRL縦	ナデ	後期初	153	151
54	RA04埋土中位	深鉢	胴	網目状 金雲母混在	ナデ	後期初	153	151
55	RA04埋土中位	深鉢	胴	LR縦を地文にしてその上に沈線で波状 入組の文様をもつ(1016と同期)	ナデ	後期初	154	151

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写図
56	RA04埋土	深鉢	底	燃糸文 木葉痕	—	不明	154	151
68	RA05炉	壺形	口～底	楕円区画一部にU字区画内にRL縦 両側に2個1対の橋状把手をもつ 底：網代痕	ミガキ	大木9	155	152
69	RA05床	鉢	口～底	口：内湾し、周囲に一条の刺突列をもつ 胴：LR縦	ナデ	中期	155	152
70	RA05焼土	粗製深鉢	胴～底	LR縦	ナデ	中期	155	152
71	RA05埋土	深鉢	口～胴	口：Lr 圧痕 胴：横位の羽状縄文 口唇部に刻目	ミガキ	円筒下層d	156	152
72	RA05埋土	深鉢	口	波状口縁 波頂部から太い隆帯垂下 口：裏側に貼付 肥厚させる	ナデ	大木7a	156	152
73	RA05埋土	深鉢	口～胴	口：弧状の隆帯で区画 隆帯上区画内にC字状の刺突を施す	ナデ	大木7a	156	152
74	RA05埋土下位	深鉢	口?	一部に朱が残っている	ナデ	後期初	156	152
75	RA05埋土	深鉢	口	厚い 内湾し口唇部が内側にせり出す 沈線による施文	ナデ	不明	156	152
76	RA05埋土	深鉢	口	緩い波状口縁 隆帯を横位に巡らし 胴部は隆帯区画内に縄文施文	ナデ	大木8b	156	152
77	RA05埋土下位	深鉢	口	隆帯で隅丸方形区画内にLR縦 キヤリバ型	ナデ	大木8a	156	152
78	RA05埋土下位	深鉢	胴	縄文を地文として隆帯による渦巻	ナデ	大木8b	156	152
79	RA05埋土	深鉢	口	楕円区画内に縄文LR縦 一部円形刺突列で楕円区画を行う	ナデ	大木9	156	152
80	RA05埋土	深鉢	胴	大きく張出す隆帯で渦巻 若しくは楕円区画を行う 外面ミガキ	ミガキ	大木9	156	152
81	RA05埋土	深鉢	口	沈線による楕円区画内にLR縦	ナデ	大木9	156	152
82	RA05埋土	深鉢	胴	楕円区画内にRL横が刺突を充填	ミガキ	大木9	156	152
83	RA05焼土	深鉢	口～胴	沈線区画内 LR縦 鱗状突起	ミガキ	大木10	156	152
84	RA05埋土	深鉢	口～胴	LR縦を地文に沈線で入組 他の文様を施す	ナデ	後期初	156	152
95	RA06炉敷設	深鉢	胴	RL縦に沈線を垂下させ、一部磨消	ナデ	大木9	157	152
96	RA06炉	深鉢	口	楕円区画内にRL縦	ナデ	大木9	157	152
97	RA06埋土	深鉢	胴	隆沈線区画内にRL縦	ナデ	大木9	157	152
99	RA07埋土上位	深鉢	口～胴	口：三条の沈線を横位に、その間に棒状工具による刺突列 胴：隆帯区画内にLR縦充填	ナデ	大木10	158	153
100	RA07北西埋設	不明	胴～底	燃糸文(L) 胴下半を埋設? 上半に火熱を受けた跡有	ナデ	大木9	158	153
101	RA07西側炉埋設	深鉢	胴～底	楕円区画 RLR縦 一部円形刺突も火熱を受ける	ミガキ	大木9	158	153
102	RA07埋土下位	ミニチュア	胴	無文	ナデ	不明	158	153
103	RA07埋土下位	深鉢	口	半竹による二条の沈線を鋸歯状に巡らせる	ナデ	大木7a	158	153
104	RA07埋土	深鉢	口?	二条の垂下する隆帯の間に蛇行垂下貼付をもつ 隆帯上にLR縦 地文はLR横	ナデ	大木7a	158	153
105	RA07埋土下位	深鉢	口	口：内側に肥厚 LR横を地文 二条の隆帯間に交互刺突列	ナデ	大木7a	158	153
106	RA07埋土下位	深鉢	口～胴	口：渦巻突起 LR縦 隆帯貼付	ナデ	大木8a?	158	153
107	RA07埋土	深鉢	口	波状口縁 隆沈線による渦巻	ナデ	大木8b	158	153
108	RA07埋土下位	深鉢	口～胴	RL縦を地文に隆帯を波状に貼付 頸部で括れ 胴部が膨らむ	ナデ	不明	158	153
109	RA07埋土上位	深鉢	口～胴	口：一条の隆帯を巡らす 胴：LR縦 胎土に砂粒多い	—	大木8b	158	153
110	RA07埋土	深鉢	胴	隆沈線区画内にRLR横	ミガキ	大木8b	158	153
111	RA07埋土下位	深鉢	胴	隆沈線による区画 LR縦	ナデ	大木9	158	153
112	RA07埋土上位	深鉢	口～胴	隆沈線によるモチーフ 地文はRLR(複節)?斜	ナデ	大木8b?	159	153
113	RA07埋土下位	深鉢	口～胴	口：内湾 楕円区画内にLR縦	ナデ	大木9	159	153
114	RA07埋土	深鉢	口	口：隆帯と刺突列を巡らす	ミガキ	大木8b	159	153
115	RA07埋土中位	深鉢	口～胴	波状口縁 沈線による楕円区画内にLR縦	ナデ	大木9	159	153
116	RA07埋土上位	深鉢	口～胴	沈線による区画内にLR縦	ナデ	大木10	159	153
117	RA07埋土上位	深鉢	口～胴	沈線による区画内にLR縦横 充填	ナデ	大木10	159	153
118	RA07東埋土	深鉢	底	RL縦 底：網代痕	—	不明	159	153
119	RA07埋土上位	深鉢	口～胴	口：外反する 一見粗製深鉢に見えるが5単位(?)の透かし窓をもつ LR縦を地文とする	ミガキ	不明	159	153
120	RA07埋土中位	深鉢	胴	LR縦と直前段反燃	ナデ	後期初	159	153
121	RA07埋土	深鉢	胴	三条の沈線	ナデ	後期初	159	153
122	RA07埋土	壺形?	胴	隆帯を横に巡らせ 釣手をもつ 釣手周囲にアスファルト(?)付着 朱(?)跡	ナデ	後期初	159	153
123	RA07埋土	深鉢	胴	L縦と直前段反燃横	ナデ	不明	159	153
124	RA07埋土	ミニチュア	口	沈線区画内 LR縦 口：外反	ナデ	大木9	159	153
125	RA07西埋土	ミニチュア	底	底：中央上底 LR縦	—	不明	159	153
137	RA08埋土中位	浅鉢	口	口：LRの圧痕を横位 蛇行垂下貼付及び渦巻をもち LR圧痕を施す	ミガキ	大木7b	161	154

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写図
138	RA08埋土下位	小型深鉢	口～底	口：3単位の波状? LR縦と横を地文に隆沈線による渦巻と垂下	ミガキ	大木8b	161	154
139	RA08埋土	深鉢	口～底	LR縦に沈線で楕円区画 磨消	ナデ	大木9	161	154
140	RA08埋土下位	小型深鉢	胴～底	L縦を地文 沈線で縦逆U字形 と円形を描く、胴中央に焼成後の穿孔有、スス付着	ミガキ	大木8 a	161	154
141	RA08埋土中位	小型深鉢	完形	口：3単位の波状 LR縦 沈線で楕円区画	ミガキ	大木9	161	154
142	RA08埋土	小型深鉢	胴～底	LR縦 底：中央で膨らむ為不安定、内は一面にアスファルト付着	—	不明	161	154
143	RA08埋土	深鉢	胴～底	LR縦を地文に垂下する沈線 底：網代痕を磨消	ミガキ	大木9	161	154
144	RA08東埋土上位	深鉢	口～底	口：波頂部に刻み 幅広の無文帯 肩が張出し、二条の刺突列 LR縦に沈線区画逆U字状	ナデ	最花式?	161	154
145	RA08埋土中位	深鉢	口～胴	口：内湾 肩が張る 沈線区画内にRLR縦	ナデ	大木9	162	154
146	RA08埋土中位	小型深鉢	口～底	口：4単位の波状 内湾 LR縦 胎土に石英を多く含む	ナデ	中期	162	154
147	RA08一部炉内	粗製深鉢	口～底	口：緩く外反 頸部括れ 胴部膨らむ RLR縦	ナデ	中期	162	154
148	RA08埋土中位	台付	台	表面ナデ	ナデ	不明	162	154
149	RA08埋土下位	ミニチュア	胴～底	肩部に4単位の鈎手	ナデ	不明	162	154
150	RA08埋土下位	深鉢	口	RLを横縦位に押圧	ミガキ	不明	162	154
151	RA08埋土	深鉢	口	口：緩い波状? 二山状突起 Rの圧痕を口唇部から施文	ミガキ	円筒上層a	162	154
152	RA08埋土	深鉢	口	口：波状 口唇部肥厚 波頂部から蛇行垂下隆帯 沈線を斜に施す	ミガキ	大木7a	162	154
153	RA08埋土下位	深鉢	口	隆帯巡らせ上にLRの圧痕 隆帯に沿って[形の刺突を施文	ミガキ	円筒上層c	162	154
154	RA08埋土上位	深鉢	口	口：波状 角状 肥厚 波頂部から二条の垂下隆帯 頸部に横位隆帯 Lの圧痕	ナデ	円筒上層a	162	154
155	RA08埋土下位	深鉢	口	口：山形突起 横二条の沈線と鋸歯状沈線 突起部から蛇行隆帯垂下 頸：隆帯上に刺突列	ナデ	大木7a	162	154
156	RA08埋土	深鉢	口	蛇行垂下隆帯と半竹による平行沈線が斜に施文される	ミガキ	大木7a	162	154
157	RA08埋土下位	深鉢	口?	キャリパ型(?) LR横を地文に沈線と刺突	ナデ	大木8 a?	162	154
158	RA08埋土下位	深鉢	胴	LR縦を地文に隆沈線による渦巻文と剣先状の棘	ナデ	大木8b	163	154
159	RA08埋土下位	深鉢	口～胴	LR縦を地文に隆沈線による渦巻 剣先状棘 緩い波状口縁	ナデ	大木8b	163	154
160	RA08埋土中位	深鉢	口	渦巻状突起 隆帯を曲線的に施文	ミガキ	大木8 a	163	154
161	RA08埋土上位	深鉢	口	突出する渦巻状口縁	ナデ	大木9	163	154
162	RA08埋土中位	深鉢	口～胴	口：波状 隆沈線による渦巻文RLR	ミガキ	大木8b	163	154
163	RA08埋土上位	深鉢	口	突出する渦巻状口縁で内湾する 垂下する隆帯で区画され、内にLR縦	ナデ	大木9	163	154
164	RA08埋土	深鉢	口～胴	口：波状 沈線による楕円区画 LR縦	ナデ	大木9	163	154
165	RA08埋土下位	深鉢	口～胴	口：緩い波状 沈線による楕円区画内にRL縦	ナデ	大木9	163	154
166	RA08埋土上位	深鉢	口	沈線による楕円区画内に刺突を充填	ナデ	大木9	163	154
167	RA08埋土上位	深鉢	口～胴	1111と接合 口：平、内湾 沈線を垂下させ区画内にLR縦	ナデ	大木9	163	154
168	RA08埋土下位	深鉢	口～胴	口：渦巻状突起から隆帯垂下 RL縦の地文に沈線を楕円状に施す 内面炭化	ナデ	大木9	163	154
169	RA08埋土下位	深鉢	口～胴	口：波状 幅広の無文帯 横位の沈線と刺突列で胴部と区画 胴：薄い沈線で曲線	ミガキ	大木9	163	155
170	RA08埋土下位	深鉢	胴	二条の刺突列 直下に沈線による楕円区画の可能性	ナデ	最花式	163	155
171	RA08埋土下位	深鉢	口～胴	口：波状 無文帯 刺突列が巡り直下に楕円文(?) RLR縦	ミガキ	最花式	163	155
172	RA08埋土中位	深鉢	胴	口：内湾? 沈線による楕円区画内にRLR縦	ナデ	大木9	164	155
173	RA08埋土	深鉢	口～胴	口：波状、沈線によるU字区画内にLR縦	ナデ	大木9	164	155
174	RA08埋土中位	深鉢	胴	隆沈線による区画 地文はRLR縦	ナデ	大木8b	164	155
175	RA08埋土	深鉢	口～胴	沈線で曲線的区画内にLR縦 充填	ミガキ	大木10	164	155
176	RA08埋土上位	深鉢	胴	綾絡 LR縦	ナデ	不明	164	155
177	RA08埋土中位	深鉢	胴	燃糸(R)縦	ナデ	不明	164	155
178	RA08埋土上位	深鉢	底	木葉痕	—	不明	164	155
179	RA08埋土中位	不明	底	網代痕	—	不明	164	155
180	RA08埋土中位	深鉢	口	口：波状 二山? 二条の隆帯垂下 LR圧痕	ナデ	不明	164	155
181	RA08埋土下位	深鉢	胴	長楕円状の貼付をもつ 貼付中央部が窪む	ミガキ	不明	164	155
207	RA09北西埋土	深鉢	口	口：横位 四条のLの圧痕 胴部境に円形刺突列 緩く内湾	ミガキ	円筒下層 d?	167	156
208	RA09埋土	深鉢	胴	LR 半竹による隆起線文 交互刺突による連続コの字状文	ナデ	大木8a	167	156

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
209	RA09北東埋土	浅鉢	口～胴	口：LRの圧痕 胴：RLR横に沈線	ミガキ	大木8a	167	156
210	RA09北西埋土	深鉢	胴	口唇部肥厚 口：無文帯 胴部境に隆帯 胴：RL縦	ミガキ	大木8b	167	156
211	RA09北西埋土	深鉢	口	沈線による楕円区画内にLR縦	ミガキ	大木9	167	156
212	RA09北東埋土	深鉢	口	沈線による楕円区画内にLR縦	ミガキ	大木9	167	156
213	RA09埋土	深鉢	口	口：緩い波状 沈線による楕円区画内にLR縦	ミガキ	大木9	167	156
217	RA10床	深鉢	口～胴	口：波状 逆W字状の貼付とLRの圧痕 胴：Y字状の垂下隆帯 横位の綾絡 スズ多量	ナデ	大木7b	168	157
218	RA10埋土	深鉢	胴	横位の隆帯の交点から垂下蛇行隆帯 楕円区画内にLR縦	ミガキ	大木7a	168	157
219	RA10埋土	深鉢	口	折返口縁 RL横	ナデ	不明	168	157
220	RA10埋土	深鉢	胴	RL縦に三条の沈線 外面スズ付着	ミガキ	大木9?	168	157
223	RA11床	深鉢	口～胴	口：6単位(?)小波状 RL縦に隆沈線で渦巻文 内外面スズ付着	ナデ	大木8b	169	157
224	RA11埋土	小型深鉢	口～底	口：4波状 胴：沈線による楕円区画内にLR縦	ナデ	大木9	169	157
225	RA11炉焼土中	小型深鉢	口～底	口：外反し 幅広の無文帯 LR縦に沈線区画外を磨消	ナデ	大木9	169	157
226	RA11炉	粗製小型鉢	口～底	口：狭小な無文帯で内湾気味 LR縦	ナデ	中期?	169	157
227	RA11埋土	深鉢	口～胴	口：やや外反 Lの圧痕横位 頸部隆帯上に刺突列 胴：羽状縄文横位 繊維の混入	ナデ	円筒下層d	169	157
228	RA11埋土	深鉢	胴	太い沈線でC字区画内に刺突列 充填	ナデ	中期末	169	157
229	RA11埋土	深鉢	胴	RLを地文に薄い沈線で曲線文	ナデ	大木9	169	157
230	RA13埋土下位	深鉢	口～胴	LR縦 火熱を受けた跡(胴下半に) 平口縁	ナデ	大木9?	169	157
231	RA13上埋土位	深鉢	口～胴	LR縦に沈線で楕円区画 外側を磨消 口：波状、内湾	ナデ	大木9	169	157
232	RA13埋土	深鉢	口～胴	口縁部と胴部境に段を付ける 口：無文帯 胴：合擦	ナデ	中期	170	157
233	RA13埋土	深鉢	口～胴	口：肥厚しLR横 下端に連続した刻み C字状の貼付で4単位の区画内に鋸歯状沈線	ナデ	大木7a	170	157
234	RA13埋土	深鉢	胴～底	LR縦 輪積みの後表面にさらに粘土を貼る 底：網代痕を磨消	ナデ	中期	170	157
235	RA13埋土下位	深鉢	口	口唇部、口縁部にLR圧痕 LR横	ミガキ	円筒上層a	171	157
236	RA13埋土上位	深鉢	口～胴	口：二山状突起? 絡条圧を横位に巡らす	ミガキ	円筒下層d	171	157
237	RA13埋土下位	深鉢	口～胴	口：2つの円形貼付 絡条圧 胴：RLR横	ミガキ	円筒上層a?	171	157
238	RA13埋土	深鉢	口～胴	小さな波状口縁 波頂部から貼付垂下 絡条圧	ナデ	円筒上層a	171	157
239	RA13埋土上位	深鉢	口～胴	二山の波状口縁にLR圧痕 波頂部下にボタン状貼付 胴：RL横	ミガキ	円筒上層a	171	157
240	RA13北埋土	深鉢	胴	不整然糸文	-	大木2	171	157
241	RA13埋土上位	深鉢	口	口：波状 頂部に刻目 波状に沿ってLRの圧痕と貼付 LR縦 金雲母混入	ナデ	大木7b	171	157
242	RA13北埋土	深鉢	口～胴	口：貼付隆帯 その下端に鋸歯状に刻目 頸部の括れも同じ 半竹による沈線	ミガキ	大木7a?	171	157
243	RA13埋土上位	深鉢	口～胴	口：小突起 三条のLR圧痕と刺突列を横位に展開 胴：横と縦の綾絡	ナデ	円筒上層a?	171	157
244	RA13埋土	深鉢	胴	楕円区画内にLR縦 口：無文帯境に刺突列を横位に施す	ミガキ	最花式	171	157
245	RA13埋土	深鉢	胴	沈線による楕円区画内にLR縦	ナデ	大木9	171	157
246	RA13埋土	深鉢	口	沈線による楕円区画内にRL縦 周囲を磨消	ミガキ	大木9	171	157
256	RA14埋土	深鉢	口～胴	口：LRの圧痕 頸部隆帯上に刺突 胴：羽状縄文	ナデ	円筒下層d	172	158
257	RA14埋土	深鉢	口	横位の沈線と縦位に刻目	ナデ	不明	172	158
258	RA14埋土	深鉢	口	口：内湾気味 縄文	ナデ	不明	172	158
262	RA15北西埋土	粗製深鉢	口～底	LR縦 口：緩く外反	ナデ	中期	173	158
263	RA15南東埋土	粗製深鉢	胴～底	RLR縦	-	中期	174	158
264	RA15埋土	ミニチュア	胴	LR縦	ナデ	不明	174	158
265	RA15北東埋土	深鉢	口	波頂部から垂下する隆帯 絡条圧	ナデ	円筒上層a	174	158
266	RA15埋土	深鉢	胴	隆沈線による渦巻文 RL縦	ナデ	大木8b	174	158
267	RA15埋土	深鉢	口	橋状把手 粘土紐貼付 LR縦	-	大木8a	174	158
268	RA15北東埋土	深鉢	口～胴	LR縦 口：狭小な無文帯 平口縁	ナデ	大木8b	174	158
269	RA15北東埋土	深鉢	口	波状口縁 渦巻状突起	ミガキ	大木9	174	158
270	RA15南西埋土	深鉢	口	波状口縁 沈線による楕円区画内に刺突	ナデ	大木9	174	158
271	RA15南東埋土	深鉢	口	沈線による楕円区画内に刺突	ナデ	大木9	174	158
272	RA15南東埋土	深鉢	口	波状口縁 沈線による楕円区画内に刺突	ナデ	大木9	174	158
273	RA15埋土下位	深鉢	口	口：やや内湾 沈線による楕円区画内にLR縦	ナデ	大木9	174	158
274	RA15南西埋土	深鉢	底	網代痕	ナデ	不明	174	158
275	RA15南西埋土	深鉢	底	木葉痕	ナデ	不明	174	158

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
280	RA16埋土	粗製深鉢	胴～底	RL横	ナデ	不明	175	159
281	RA16西埋土	深鉢	胴	沈線による曲線の区画内にRL縦 磨消	ナデ	大木10	175	159
282	RA16埋土	深鉢	口～胴	波状 折返口縁にLR横 胴：LR横 折返直下は無文帯で胴部と一条の沈線で区画	ナデ	後期初	176	159
283	RA16埋土	鉢	口～底	口：内湾 無文帯 LR斜	ナデ	中期?	176	159
284	RA16埋土	深鉢	口～胴	渦巻状突起 沈線による楕円区画内に刺突 内面スス付着	ナデ	大木9	176	159
285	RA16埋土	深鉢	胴	LR縦 沈線垂下	ナデ	大木9	176	159
286	RA16西埋土	壺形?	胴	隆帯と沈線による文様構成	ナデ	後期初	176	159
287	RA16西埋土	深鉢	胴	縄文に沈線で円形基調の文様	-	不明	176	159
288	RA16埋土	壺形?	胴	隆帯と沈線による文様構成	ナデ	後期初	176	159
289	RA16埋土	浅鉢?	口	突出する橋状把手 内外面にタール状付着物	-	大木8b?	176	159
291	RA17床	注口土器	口～底	隆沈線によるC字状文を横位に連続 刺突を充填	ナデ	大木10	177	159
292	RA17埋土	深鉢	胴～底	沈線による楕円区画内にLR縦 頸：隆帯	ナデ	大木9	177	159
293	RA17埋土	深鉢	底	木葉痕 中心からずれる	ナデ	不明	177	159
294	RA17埋土下位	深鉢	口～胴	胴部張り 頸部括れ 口：緩く外反 LR末端結節縦	ナデ	中期末	177	159
295	RA17埋土	深鉢	口	口縁上端と頸部隆帯上に刺突列 Lの圧痕を横位に施文	ミガキ	円筒上層a	177	159
296	RA17埋土	深鉢	口	沈線による楕円区画内にLR縦	ナデ	大木9	177	159
300	RA18埋土	浅鉢?	口～胴	横長楕円文と大波状文区画内にLR充填 口：きつく内湾	ナデ	大木10	178	159
301	RA18埋土	壺	胴～底	沈線のみによる施文	ナデ	後期初	178	159
302	RA18埋土	壺	胴	胴上部が張出す 沈線による方形 曲線施文 貼付	ナデ	後期初	178	159
303	RA18埋土	深鉢	口	派手な橋状突起をもつ	ナデ	大木8 a	178	159
304	RA18埋土	深鉢	胴	キャリバ? RL横と縦 隆帯貼付を横位に巡らす	ナデ	大木8 a?	178	159
305	RA18埋土	深鉢	胴	RL縦 沈線で舌状に区画 内を磨消	ミガキ	大木10	178	159
306	RA18埋土	深鉢	口	円形刺突列を施す	ナデ	不明	178	159
307	RA18埋土下位	深鉢	口	口：狭小な無文帯 LR縦に沈線を波状に施文	ナデ	後期初	178	159
308	RA18炉	深鉢	胴	RL縦に沈線で波状に施文 刺突	ナデ	後期初	178	159
309	RA18埋土	深鉢	口	口：貼付と突起をもつ 沈線による横長楕円文	ナデ	後期初	178	159
310	RA19埋土	深鉢	胴	木目状 繊維若干混じる	ナデ	円筒下層式?	179	160
311	RA19埋土	深鉢	胴	結束1横	ナデ	不明	179	160
313	RA20埋土	深鉢	胴	縦位の綫絡	ナデ	不明	179	160
314	RA20埋土	深鉢	口	薄い沈線で楕円区画内に刺突	ミガキ	大木9	179	160
316	RA21西埋土	深鉢	口	口：絡条圧 頸部刺突列 胴：燃糸	ミガキ	円筒下層d	179	160
317	RA21西埋土	深鉢	口	沈線で山形を表現 半竹による押引	ナデ	大木6か7	179	160
318	RA21埋土	深鉢	胴	沈線で楕円区画内にLR縦	ナデ	大木9	179	160
321	RA22南埋土	深鉢	口～底	RLR縦の地文 口：狭小な無文帯	ナデ	中期	179	160
322	RA22北埋土	深鉢	口	沈線による稚拙な逆U字文 LR縦 口：外反	ナデ	大木9	179	160
323	RA22北埋土	深鉢	口	沈線による逆U字文 LR縦	ナデ	大木9	179	160
324	RA22西埋土	深鉢	口	沈線による逆U字文 LR縦 緩い波状 内湾	ナデ	大木9	179	160
325	RA22南埋土	深鉢	口～胴	口：緩い波状で内湾する 胴：LR縦	ミガキ	大木9	179	160
327	RA23南西埋土	深鉢	口～胴	懸垂文にRL縦 楕円文に刺突	ミガキ	大木9	180	160
328	RA23南西埋土	深鉢	口	口：無文帯 胴部境に隆帯をおき 胴：LR縦	ナデ	大木8b	180	160
329	RA23埋土	深鉢	胴	LR縦に沈線で縦横に曲線を描く 一部無文帯に沈線	ナデ	不明	180	160
330	RA22炉	深鉢	口	内湾し頸部で括れ 胴部が張る(?) 沈線で三条に楕円文 LR縦 刺突	ナデ	大木9	180	160
331	RA23埋土	深鉢	口～胴	折返口縁 直下に逆山形に隆帯貼付を横位に展開 LR横 斜にLRの圧痕を施す	ナデ	円筒上層a	180	160
340	RA24埋土	深鉢	胴	LR縦の地文のみ	ナデ	不明	181	161
341	RA24埋土	深鉢	胴	沈線で楕円文 RL縦	ナデ	大木9	181	161
342	RA24埋土	深鉢	胴	沈線で楕円文 LR縦	ナデ	大木9	181	161
343	RA24埋土	深鉢	胴	沈線で区画内に縄文帯 一部に隆沈線 LR縦	ナデ	大木9	181	161
344	RA25埋土	深鉢	口～底	波状口縁部は上端を除き無文帯 LR縦に二条の沈線 金雲母混入 底：網代痕	ナデ	不明	182	161
345	RA25埋土	深鉢	口	口：やや外反 LR縦	ナデ	不明	182	161
346	RA25埋土	深鉢	胴	沈線で楕円文区画外にRL	ナデ	大木9	182	161
348	RA27埋土	深鉢	胴	沈線で区画内に縄文帯 LR縦 きつく湾曲	ナデ	大木9	182	161
350	RA28南西埋土	深鉢	胴～底	胴：結束1横 上部に貼付隆帯	ナデ	円筒上層a	183	161
351	RA28南埋土	深鉢	胴	LR縦 細長いU字状沈線	ナデ	大木9	183	161
352	RA28北東埋土	深鉢	胴～底	沈線による懸垂文にRL縦と磨消	ナデ	大木9	183	161



番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写図
353	RA28炉	深鉢	胴～底	LR縦に沈線で楕円 逆U字文 4単位で二条の隆帯垂下橋状把手く(?) 内黒 一部に朱有	—	大木9	183	161
354	RA28炉	深鉢	口～底	LR縦の地文のみ 口：無文帯 胴部膨らみ 頸部括れ 口縁やや外反気味に直立	ナデ	大木9	183	161
355	RA28北東埋土	深鉢	胴	隆沈線 区画内にRLR斜	ナデ	大木8b?	183	161
356	RA28埋土	深鉢	口	沈線による逆U字文 LR縦 緩い波状口縁 やや内湾する	ナデ	大木9	183	161
357	RA28南東埋土	深鉢	胴	沈線による曲線区画内に縄文帯 LR横	ナデ	大木9	183	161
358	RA28炉東埋土	ミニチュア	底	—	—	不明	183	161
364	RA29炉	小型深鉢	胴～底	LR縦 内コゲ	—	不明	184	161
365	RA29埋土	深鉢	口	口：上下端の隆帯上に絡条圧 口：絡条圧	ミガキ	円筒上層a	184	161
367	RA30埋土	深鉢	口	波状口縁に大きな渦巻突起 口：内湾 RL横	ミガキ	大木9	184	161
368	RA30埋土	深鉢	口	口：緩く外反 二重の沈線による円文内にRL横	ナデ	大木9	184	161
369	RA30埋土	深鉢	口	波状口縁 波頂部外反し、直下に渦巻状隆帯 RL縦	ナデ	大木9	184	161
370	RA30埋土	深鉢	口	波状口縁 波頂部下に渦巻隆帯 RL縦	ナデ	大木9	184	161
371	RA30埋土	深鉢	口	波状口縁 隆沈線による施文	ナデ	大木8b	184	161
372	RA30埋土	深鉢	胴	渦巻状の隆帯	ミガキ	大木9	184	161
373	RA30埋土	ミニチュア	口～底	植木鉢型 肩張り 口：内傾 無文	ナデ	不明	184	161
374	RA31柱穴際	深鉢	完形	口：無文帯 二条の隆帯で胴部と区画 胴：沈線による懸垂文と楕円文 RLR縦	ナデ	大木9	184	162
375	RA31埋土	深鉢	胴～底	胴：膨らみ 上部で一端括れ さらに膨らむ 隆沈線による渦巻と逆U字文 RLR縦 内コゲ	ナデ	大木8 a	184	162
376	RA31埋土	深鉢	胴	口：無文帯? 頸部に二条の隆帯が巡り、S字状の橋状把手を置く	ナデ	大木8 a	184	162
377	RA31埋土	深鉢	胴	口：無文帯? 頸部に二条の隆帯が巡り、S字状の橋状把手を置く	ナデ	大木8b	184	162
378	RA31埋土	深鉢	口	口：渦巻状突起をもつ 隆沈線による施文 LR縦	ミガキ	大木8b	185	162
379	RA31埋土	深鉢	胴	LR縦に隆沈線で渦巻文を描く	ナデ	大木8b	185	162
380	RA31埋土	深鉢	口～胴	口：S字状突起をもち、やや内湾 胴：沈線による懸垂文? RLR縦 内にタール状 斑点に付着	ナデ	大木8a?	185	162
381	RA31床	深鉢	口～胴	渦巻状突起を口縁にもち内湾する 逆U字文を沈線で描き RL縦	ミガキ	大木9	185	162
392	RA32埋土	粗製深鉢	胴～底	LRを縦横、斜と不規則に施文 コゲ跡 繊維含む	ナデ	前期末?	187	162
393	RA32埋土	粗製深鉢	胴	LRを縦横に施文 底：そっくりはずれている	ミガキ	不明	187	162
394	RA32埋土	深鉢	口～胴	口：上、下端にLRを縦列に圧痕 中間には横位にLR圧痕 胴：LRL縦	ナデ	円筒上層a	187	162
395	RA32埋土	深鉢	口	上端に縦位刻列 中段に横位沈線 下段に貝殻腹縁文 円文	ナデ	早期中葉	187	163
396	RA32埋土	深鉢	胴	木目状 繊維入る	ミガキ	円筒下層 d	187	163
397	RA32埋土	深鉢	口	2つの角状突起が肥厚 全面にLRの圧痕	ミガキ	円筒上層a	187	163
398	RA32東埋土	深鉢	口～胴	口：僅かに折返、直下に粘土紐貼付 その下に幅広のU字状に隆帯 LR横にLR圧痕	ナデ	大木7b	187	163
399	RA32埋土	深鉢	胴	LR横を沈文にRの圧痕を二条一組で施文	ミガキ	中期	187	163
400	RA32埋土	浅鉢?	口～胴	口：僅かに内湾 半竹による隆起線に交互刺突 胴：無文	ナデ	大木7b	187	163
404	RA34埋土上位	深鉢	口	口：無文帯に粘土板を波状に貼付	ナデ	不明	188	163
405	RA34埋土	深鉢	口	折返口縁? 口：多軸絡条体	ナデ	不明	188	163
406	RA34埋土	深鉢	口	口：横位に三条の絡条圧	ナデ	円筒下層 d?	188	163
407	RA34埋土位下	深鉢	胴	頸部指頭圧痕列をもつ隆帯を横位に置く	ナデ	不明	188	163
408	RA35右	深鉢	胴～底	頸部きつく外反し上部欠損 胴：円筒状 RLR横	ナデ	大木7a?	188	163
409	RA35南右	深鉢	口	太い沈線を横位に巡らし 弧状の貼付をおく (剥落)	ミガキ	大木7a	188	163
410	RA35西埋土	深鉢	口	頸部括れ外反する 垂下隆帯上に刻み 直下に張りコブ 沈線で波線を描く	ミガキ	大木7a	188	163
411	RA35西埋土	深鉢	胴	縦位の綾絡	ミガキ	大木7a	188	163
428	RA38埋土	深鉢	口～胴	口：3単位の緩い波状 RL縦	ナデ	大木9?	189	163
429	RA38埋土	粗製深鉢	口～胴	口：狭小な無文帯 LR縦 胴上部で内湾 砂礫多い	ナデ	大木9?	189	163
430	RA38埋土	粗製深鉢	胴～底	LR縦	ナデ	中期	189	163
431	RA38埋土	深鉢	口	沈線による曲線区画内にRL縦 金雲母多い コゲ	—	大木9	189	163
432	RA38埋土	深鉢	口～胴	口：外反し 胴：膨らむ 沈線の楕円区画 刺突群 内コゲ	—	大木9	189	163
436	RA40埋土	深鉢	口～胴	折返口縁 撚糸文R	ナデ	大木系	190	163
437	RA42埋土	深鉢	胴～底	土器埋設炉 沈線と磨消 RL縦	ミガキ	大木9	190	164
438	RA42埋土	深鉢	口～胴	沈線でS字状区画 磨消 RL縦	ナデ	大木10	190	164

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
439	RA42埋土	深鉢	胴	土器埋設炉 LR縦	ナデ	大木9?	190	164
440	RA42埋土	深鉢	口	口：無文帯 突起部に円孔 口唇部に沈線 胴：LR縦 隆沈線による渦巻文	ナデ	大木8b	191	164
441	RA42炉	深鉢	口?	横に大きく張り出す装飾帯	ミガキ	大木8b	191	164
442	RA42炉	深鉢	胴	RLR縦の地文 隆沈線による渦巻文	ミガキ	大木8b	191	164
443	RA42埋土	深鉢	口～胴	燃糸文 口：ミガキ 無文帯	ミガキ	不明	191	164
444	RA42埋土	深鉢	胴	胴：RL縦の地文のみ 頸部から外反して立ち上がる キャリパー型?	ナデ	大木8 a	191	164
446	RA43埋土	深鉢	口	やや内湾 沈線で区画 LR縦	ナデ	大木9	191	164
447	RA43埋土	深鉢	口	沈線区画内にRLR縦	ミガキ	大木9	191	164
448	RA43埋土	深鉢	口	やや内湾 沈線区画内に縄文 波状口縁?	ミガキ	大木9	191	164
453	RA44埋土	深鉢	口～底	楕円に沈線で区画内にLR縦 波状口縁	ミガキ	大木9	192	164
454	RA44埋土	小型深鉢	完形	楕円区画沈線内にRLR縦	ミガキ	大木9	192	164
455	RA44埋土	深鉢	口～胴	楕円区画 LRL縦 磨消	ミガキ	大木9	192	164
456	RA44埋土	深鉢	口～底	沈線で区画 低い隆帯 RLR縦	ミガキ	大木9	192	164
457	RA44埋土	深鉢	胴～底	沈線垂下 RLR縦 磨消 砂礫多い	ナデ	大木9	192	164
458	RA44埋土	深鉢	胴～底	楕円区画 LRL縦 磨消	ミガキ	大木9	192	164
459	RA44埋土	深鉢	胴～底	楕円区画沈線内にL縦	ミガキ	大木9	192	164
460	RA44埋土	深鉢	胴～底	沈線垂下 LR縦	ナデ	大木9	192	164
461	RA44埋土	小型深鉢	胴～底	沈線垂下 LR縦	ナデ	大木9	192	164
462	RA44埋土	深鉢	口～胴	緩い波状口縁 RLR縦?	ミガキ	大木9?	193	164
463	RA44埋土	粗製深鉢	胴	RLR縦	ナデ	不明	193	164
464	RA44埋土	小型鉢	完形	無文 砂礫多い	ナデ	不明	193	164
465	RA44埋土	深鉢	口	波状 隆沈線で曲線区画内にRL縦 内タール状付着	ナデ	大木8b	193	164
466	RA44埋土	深鉢	胴	波状 隆沈線で曲線区画内にRL縦 465と同一個体か? スス付着	-	大木8b?	193	164
467	RA44埋土	深鉢	口	波状 隆沈線を口縁に平行 さらに渦巻と垂下 RL縦	ナデ	大木9	193	165
468	RA44埋土	深鉢	口～胴	胴部膨らみ 頸部揺れ 口：外反する 沈線による逆U 字状区画内にRLR縦	ミガキ	大木9	193	165
469	RA44埋土	深鉢	口～胴	隆帯と沈線で楕円状区画内に刺突を充填	ナデ	大木9	193	165
470	RA44埋土	深鉢	口～胴	内湾し口縁部で立ち上がる 沈線による逆U字状区 画内にLR縦	ナデ	大木9	193	165
471	RA44埋土	不明	胴	無文 タール状 表裏に付着	ナデ	不明	193	165
472	RA44埋土	ミニチュア	完形	朱の跡、綾絡、肩部に12の刺突	-	大木9	193	165
488	RA45埋土	深鉢	口～胴	波頂部から隆帯垂下 口：隆帯 RLR縦 内スス付	ミガキ	大木9	195	165
489	RA46埋土	深鉢	胴～底	RL縦	ナデ	大木9?	195	165
490	RA46埋土	小型深鉢	胴	沈線区画 RLR縦	ミガキ	大木9	195	165
491	RA46埋土	深鉢	胴～底	RLR縦 沈線垂下	ナデ	大木9?	195	165
492	RA46埋土	深鉢	口	口：波状 沈線による楕円 逆U字状区画内に刺突及 びRL縦	ナデ	大木9	195	165
503	RA47埋土	深鉢	口	口：絡条圧 頸：刺突列	ミガキ	円筒下層 d	197	166
504	RA47埋土	深鉢	口	口：原体圧痕と刺突列 頸：隆帯に刺突列 繊維混	ミガキ	円筒下層 d	197	166
505	RA47埋土	深鉢	口	口：横位にナデ 擦痕を残す 頸部盛り上がり 胴：燃 糸文	ミガキ	円筒下層 d	197	166
506	RA47埋土	深鉢	胴	反燃	ナデ	後期初	197	166
507	RA47埋土	深鉢	胴	燃紐を模した貼付隆帯を波状に	ナデ	後期初	197	166
508	RA47埋土	小型深鉢	胴～底	無文	ナデ	大木6～7	197	166
518	RA48埋土	深鉢	口～底	波状（4単位）口縁 隆沈線 LR横	ナデ	大木8b	197	166
519	RA48埋土	深鉢	口～胴	口：狭小な無文帯 二条の隆沈線で渦巻文 RL縦 内面 剥落多い	ナデ	大木8b	197	166
520	RA48埋土	深鉢	口	沈線による区画内にRLR縦 区画外磨消 口：内湾	ナデ	大木9	198	166
521	RA48埋土	深鉢	口	波状口縁 外反 沈線による楕円 逆U字状区画内に RLR縦	ミガキ	大木9	198	166
522	RA48埋土下位	深鉢	胴	沈線による逆U字状区画と隆沈線による渦巻文 RLR縦 外面スス付着	ミガキ	大木9	198	166
523	RA48埋土	深鉢	口	沈線による区画内にRL縦	ミガキ	大木9	198	166
524	RA48埋土	深鉢	口	波状口縁 外反 沈線による曲線区画内に縄文	ナデ	大木9	198	166
525	RA48埋土	深鉢	胴	沈線と磨消帯により曲線を描く 地文RLR縦 頸：横 位二条の列点文	ナデ	最花式	198	166
526	RA48埋土	深鉢	口	口：内湾気味 上端小さく折返し RL縦	ナデ	不明	198	166
530	RA49埋土上位	小型深鉢	口～底	波状口縁 沈線区画 RL縦 磨消 胴上半膨らみ 一端内湾して立ち上がる	ミガキ	大木9	198	167
531	RA49埋土上位	深鉢	胴	波状口縁(4単位) 沈線区画 磨消 L縦	ミガキ	大木10	198	167

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
532	RA49埋土中位	深鉢	口～胴	沈線区画 LR縦 磨消 補修孔有	ナデ	大木10	198	167
533	RA49埋土中	深鉢	口～胴	LR縦 縦位の綾絡	ナデ	不明	199	167
534	RA49埋土上位	注口土器	口～胴	口：内湾し胴部膨らむ 注口部は口縁部際に上向きにつく	ナデ	後期初	199	167
535	RA49埋土上位	深鉢	胴～底	前々段多条 底：網代痕	ナデ	不明	199	167
536	RA49埋土下位	深鉢	胴～底	RL横	ナデ	不明	199	167
537	RA49埋土中位	深鉢	胴～底	RLR縦	ミガキ	不明	199	167
538	RA49埋土上位	深鉢	胴～底	RL縦	ミガキ	不明	199	167
539	RA49埋土上位	深鉢	胴～底	RL縦 底：網代痕を磨消	ナデ	不明	199	167
540	RA49埋土上位	深鉢	胴～底	L縦 底：上げ底	ミガキ	不明	199	167
541	RA49埋土	粗製深鉢	胴	炉埋設土器 RL横 火熱を受けた跡 煮こぼれ付着	ナデ	不明	199	167
542	RA49埋土下位	深鉢	胴～底	LR縦	ミガキ	不明	199	167
543	RA49東埋土	深鉢	口～胴	口：横位に絡条圧 頸部隆帯上に刺突列 胴：燃糸文	ミガキ	円筒下層d	200	167
544	RA49床	深鉢	口～胴	口：横位に四条のLの圧痕 頸部隆帯に繊維混入 胴：木目状	ミガキ	円筒下層d	200	167
545	RA49埋土	深鉢	口	口：横位に絡条圧 頸部隆帯上に刺突列 胴：RL縦 繊維混入	ミガキ	円筒下層d	200	167
546	RA49埋土中位	深鉢	口	垂下隆帯をもち 横位にLRの圧痕	ミガキ	円筒上層a	200	167
547	RA49埋土	深鉢	口	口唇部と頸部に交互に隆帯を貼り指頭圧痕 垂下隆帯にLRの圧痕 中間に絡条圧	ミガキ	円筒上層a	200	167
548	RA49埋土下位	深鉢	口	口：上下端に隆帯 垂下隆帯 全面に絡条圧有す	ミガキ	円筒上層a	200	167
549	RA49埋土下位	深鉢	口	横位の平行沈線と鋸歯状沈線 渦巻状隆帯貼付 頸部刺突列	ミガキ	大木7a	200	167
550	RA49東壁	深鉢	口	鋸歯状沈線	ミガキ	大木7a	200	167
551	RA49床	深鉢	口	鋸歯状沈線	ミガキ	大木7a	200	167
552	RA49埋土下位	深鉢	胴	半竹による押引	ナデ	不明	200	167
553	RA49埋土	深鉢	口	緩い波状 口縁上端と波頂部から垂下する隆帯に半竹の押引を施す LR横	ナデ	大木7a	200	167
554	RA49埋土下位	深鉢	口	内湾 LR横 細い隆帯貼付 半竹による押引	ミガキ	大木7a	200	167
555	RA49埋土下位	深鉢	口	波状? 波頂部から二条の垂下隆帯 沈線 LR横	ミガキ	大木7a	200	167
556	RA49埋土下位	深鉢	胴	隆帯貼付	ナデ	大木7a	200	167
557	RA49埋土	深鉢	口	口：Rの圧痕 頸部隆帯	ナデ	円筒上層a?	200	167
558	RA49埋土	深鉢	口	口：肥厚し内湾 縄文を地文にLの圧痕	ミガキ	大木8a	200	167
559	RA49埋土	深鉢	口	口：内湾 口縁に平行する沈線と斜行する沈線	ミガキ	大木8a	200	167
560	RA49埋土	深鉢	口	渦巻状突起 円形刺突沈線	ナデ	大木8b	200	167
561	RA49埋土中位	深鉢	口	口：緩い波状 内湾 無文帯 隆沈線による区画	ミガキ	大木8b	200	167
562	RA49埋土	深鉢	口	口：幅狭の無文帯 隆沈線による渦巻文 RLR縦	ミガキ	大木8b	200	167
563	RA49埋土	深鉢	口	波状口縁 沈線区画内にLR縦 磨消	ミガキ	大木9	200	167
564	RA49埋土	深鉢	口	波状口縁 頸部から外反し口：内湾 沈線による楕円区画内にRL縦	ミガキ	大木9	201	167
565	RA49埋土下位	深鉢	口	内湾 沈線区画内にLR横充填 磨消	ミガキ	大木10	201	167
566	RA49埋土	深鉢	口	内湾 沈線区画内にLR斜充填 磨消	ミガキ	大木10	201	167
567	RA49埋土下位	深鉢	胴	化粧上? 二条の刺突列で曲線を描く	ミガキ	大木10	201	168
568	RA49埋土	深鉢	胴	沈線による楕円区画内に刺突充填	ミガキ	大木9	201	168
569	RA49埋土下位	深鉢	胴	RL縦 頸部無文帯に二条の円形刺突列を回す	ミガキ	最花式	201	168
570	RA49埋土	深鉢	口	波状口縁 内湾 沈線による逆U字状区画内にLR縦 磨消	ミガキ	大木9	201	168
571	RA49埋土下位	深鉢	口	内側に折返口縁 LR横	ナデ	不明	201	168
572	RA49埋土下位	深鉢	口～胴	口：上端刻列 Lの圧痕 胴：やや膨らみ RL横	ミガキ	不明	201	168
573	RA49埋土上位	深鉢	口	口：突起をもち 鉢巻状に隆帯 LRの圧痕	ナデ	不明	201	168
574	RA49埋土	深鉢	口	ボタン状貼付 口：突起をもつ 全面に絡条圧	ナデ	円筒上層a	201	168
575	RA49埋土中位	深鉢	口	口：肥厚 波状 頸部隆帯 口肥厚部直下に波状の貼付 RLR横	ミガキ	円筒上層d	201	168
576	RA49埋土中位	深鉢	口	口：隆帯で区画内に横位の沈線	ミガキ	大木7a	201	168
577	RA49埋土中位	深鉢	口	薄い折返口縁 突起 LR横	ミガキ	不明	201	168
578	RA49南壁際	深鉢	口～胴	RLR縦	ミガキ	不明	201	168
579	RA49埋土中位	深鉢	口～胴	内湾する LR横,斜縦	ミガキ	後期初	201	168
580	RA49北埋土	深鉢	口	口：突起 LR斜	ミガキ	後期初	201	168
581	RA49西埋土	深鉢	口	RL縦	ナデ	不明	201	168
582	RA49北埋土	深鉢	口	台形突起 RL縦	ナデ	不明	201	168
583	RA49埋土	深鉢	底	木葉痕	-	不明	201	168

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
584	RA49埋土	深鉢	底	網代痕を磨消	ナデ	不明	201	168
609	RA50埋土	深鉢	胴～底	無文 内スス付着	ナデ	不明	204	169
610	RA50埋土位中	深鉢	口～胴	口：幅広に肥厚する 胴：境に段差 LR縦	ミガキ	不明	204	169
611	RA50埋土中位	深鉢	口	口：鋸歯状沈線、外反 頸部括れ 胴部膨らむ	ミガキ	大木7a	204	169
612	RA50埋土中位	深鉢	口	口：上端に幅広隆帯貼付 垂下隆帯二条で区画 区画内に波状の隆帯と沈線	ミガキ	大木7a	204	169
613	RA50埋土中位	深鉢	口	幅広の口縁部 平行沈線と半竹 LR斜 890と同一個体？	ミガキ	大木7a	204	169
614	RA50埋土中位	深鉢	胴	頸部に隆帯 上に半竹による押引 LR横	ミガキ	不明	204	169
615	RA50埋土	深鉢	胴	二条の垂下隆帯 一条は指頭圧痕 一条は蛇行	ミガキ	大木7a	204	169
617	RA51埋土	深鉢	口～胴	口：隆帯上にLR圧痕 結束1横	ミガキ	円筒上層a	205	169
618	RA51床上	小型深鉢	完形	口：隆帯上にLR圧痕 胴：RL縦	ナデ	円筒上層a	205	169
619	RA51埋土	深鉢	胴	綾絡 LR縦	ナデ	不明	205	169
620	RA51埋土	深鉢	口～底	角状突起(2単位) 口：LR圧痕 胴：LR横 胴下部ナデ	ナデ	大木7b	205	169
621	RA51埋土	浅鉢	完形	口：隆帯 LR圧痕 胴：L横	ミガキ	大木7b	205	169
622	RA51埋土	深鉢	口～底	口：隆沈線 隆帯状に爪状刺突列 胴：LR横 下半ナデ 口唇部に凹(4単位?)	ナデ	大木7b	205	169
623	RA51埋土	深鉢	完形	口：丸形の突起を2つ そこからV字状に隆帯を垂下 LRの圧痕 胴：LR横、斜	ナデ	大木7b	205	169
624	RA51南東埋土	浅鉢	口～底	LR横 胴下部	ナデ	大木7	206	169
625	RA51埋土	深鉢	口～胴	口：内側に折返し RL縦 三条の沈線で施文	ナデ	大木7a	206	169
626	RA51南側埋土	深鉢	完形	4単位の小突起から二又に薄い隆帯 胴：LR 綾絡 口唇：肥厚	ナデ	大木7a	206	169
627	RA51埋土	深鉢	胴～底	二条の隆沈線 内面スス付着 LR縦 RLR縦	ナデ	大木8 a	206	169
628	RA51埋土	深鉢	胴～底	二条の隆沈線 LR縦	ナデ	大木8 a	207	169
629	RA51埋土	深鉢	胴～底	隆沈線 RLR縦	ナデ	大木8b	207	169
630	RA51埋土	深鉢	口～胴	隆沈線 LR縦	ナデ	大木8b	207	169
631	RA51埋土	深鉢	口～胴	口：無文帯 MG 隆沈線 RLR斜	ナデ	大木8b	207	169
632	RA51埋土	深鉢	口～胴	波状口縁 平行する隆帯 胴：隆沈線 LR縦 剥落が多い	ミガキ	大木8b	207	169
633	RA51埋土	深鉢	口～胴	3単位の波状口縁 隆沈線 LR縦	ナデ	大木8 a	207	169
634	RA51埋土	深鉢	胴～底	隆沈線 RLR縦	ミガキ	大木8b	207	169
635	RA51埋土	深鉢	口～胴	波状口縁 隆沈線 RLR縦	ナデ	大木8b	208	170
636	RA51埋土	深鉢	口～胴	緩やかな波状口縁 隆沈線 LR縦	ミガキ	大木8b	208	170
637	RA51埋土	深鉢	口～胴	口：隆帯 RL斜	ナデ	大木8b?	208	170
638	RA51埋土	深鉢	胴～底	隆沈線 RL縦	ナデ	大木8b	208	170
639	RA51埋土	深鉢	口～底	A,B 波状口縁 RLR縦 沈線区画	ミガキ	大木9	208	170
640	RA51床上	粗製深鉢	口～胴	R 燃糸	ナデ	不明	208	170
641	RA51埋土	深鉢	口～胴	沈線と磨消 LR縦	ミガキ	大木10	209	170
642	RA51埋土	粗製深鉢	口～胴	RL横	ナデ	不明	209	170
643	RA51埋土	粗製深鉢	口～胴	RLR縦 粗製深鉢	ナデ	不明	209	170
644	RA51東炉辺	深鉢	胴～底	細い貼付 LR横 内面スス付着	-	不明	209	170
645	RA51埋土	深鉢	口～胴	波状口縁 三条の沈線と波頭文 胴：LR縦	ナデ	後期初	210	170
646	RA51埋土	深鉢	口～胴	口唇部に小突起 RL縦	ナデ	後期初	210	170
647	RA51埋土	粗製深鉢	口～胴	RL縦	ナデ	不明	210	170
648	RA51南側埋土	粗製深鉢	口～底	LR縦 粗製深鉢	ナデ	不明	210	170
649	RA51東側炉	粗製深鉢	胴～底	小礫多く含む	ナデ	不明	210	171
650	RA51埋土	深鉢	口～底	折返口縁 LR縦と横	ナデ	不明	211	171
651	RA51埋土	深鉢	胴	中央土器埋設炉 上部やや反する 火を受け内外面とも黒くなっている LR横	ミガキ	不明	211	171
652	RA51埋土	深鉢	胴～底	RL横 沈線	ミガキ	不明	211	171
653	RA51埋土	深鉢	胴～底	LR縦	ナデ	不明	211	171
654	RA51埋土	深鉢	胴～底	LR縦 胴下部と底部を工具による調整している	ナデ	不明	211	171
655	RA51埋土	深鉢	底	網代痕	ナデ	不明	211	171
656	RA51南埋土	深鉢	胴～底	底：上底 網代痕 無文 外面ミガキ	ミガキ	不明	211	171
657	RA51埋土	深鉢	胴～底	LR横 底：網代痕 繊維入る(?)	ナデ	不明	211	171
658	RA51埋土	深鉢	胴～底	RL縦	ナデ	不明	211	171
659	RA51床	小型深鉢	胴～底	RL縦	ミガキ	不明	211	171
660	RA51埋土	小型深鉢	胴～底	無文 金雲母入る	ナデ	不明	211	171
661	RA51埋土	深鉢	口	口：数条のLの圧痕 胎土に粗礫多い	ミガキ	円筒下層 d	212	171
662	RA51 埋土	深鉢	口	口：横位の絡条圧	ミガキ	円筒下層 d	212	171

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
663	RA51南埋土	深鉢	口	口：LRの圧痕 頸部隆帯上に鋸歯状刻み 粗砂多い	ナデ	大木7a?	212	171
664	RA51埋土	深鉢	口	口：上端肥厚 横位の絡条圧	ミガキ	円筒下層d	212	171
665	RA51埋土	深鉢	口	口：波状 角状突起? 絡条圧 胴：RL横 末端処理	ミガキ	円筒上層a	212	171
666	RA51南埋土	深鉢	口	口：外反 Lの圧痕	ミガキ	不明	212	171
667	RA51埋土	深鉢	口	口：上下端に隆帯 LRの圧痕	ミガキ	円筒上層a	212	171
668	RA51埋土	深鉢	口	口：波状 隆帯とLの圧痕	ナデ	不明	212	171
669	RA51埋土	深鉢	口	口：波状 上端に隆帯 Lの圧痕	ナデ	円筒上層a	212	171
670	RA51埋土上	深鉢	口	口：台形突起 下に楕円孔 RL横地文にLの圧痕をもつ隆帯を貼付	ミガキ	円筒上層d	212	171
671	RA51埋土下	深鉢	口	口：波状 隆帯 LとRを対に圧痕	ナデ	円筒上層a	212	171
672	RA51ベルト	深鉢	口	口：上端と下端に隆帯 中間に横位のLとRの圧痕	ミガキ	円筒上層a	212	171
673	RA51埋土	深鉢	口	口：大波状 無文にLの圧痕をもつ隆帯を貼付	ミガキ	円筒上層b	212	171
674	RA51埋土	深鉢	口	深い刺突列 鋸歯状沈線	ナデ	大木7a	212	171
675	RA51埋土	深鉢	口	口：肥厚 鋸歯状の刻み 横位の平行沈線	ミガキ	大木7a	212	171
676	RA51埋土	深鉢	口	口：緩く内湾 貼付隆帯 二条の刺突列	ナデ	大木7a	212	171
677	RA51	深鉢	口	半竹で渦巻状押し 縦横の刻み	ナデ	大木7a	212	171
678	RA51	深鉢	口	Lの圧痕とC字状刺突列 頸部に縦位Lの圧痕列	ナデ	円筒上層c	212	171
679	RA51	深鉢	口	口：内側に折返し 平行沈線間に半竹での刺突列 小突起有	ナデ	大木7a	212	171
680	RA51上	深鉢	口～胴	口：LとLRの圧痕を鋸歯状に施文	ミガキ	大木7b	212	171
681	RA51	深鉢?	口～胴	口：LとRLの圧痕を鋸歯状に施文 胴：0段多条(LR)	ミガキ	大木7b	213	172
682	RA51南側	深鉢	口	波状口縁 口唇部に溝 頸部隆帯上刺突列 口：無文帯	ミガキ	大木8b	213	172
683	RA51	深鉢	口～胴	波状口縁 隆沈線 RL縦	ミガキ	大木8b	213	172
684	RA51南	深鉢	口	口：幅広い無文帯 二条の沈線	ミガキ	大木系	213	172
685	RA51	深鉢	口	波状口縁 波頂部に円形凹 隆沈線 LR縦	ナデ	大木8b	213	172
686	RA51	深鉢	口	口：幅広い無文帯 隆沈線による渦巻文 LR縦	ミガキ	大木8b	213	172
687	RA51	深鉢	口	波状口縁 隆沈線 渦巻状突起 RLR縦 緩く内湾	ミガキ	大木8b	213	172
688	RA51	深鉢	口～胴	緩い波状口縁 頸部隆帯上に刺突列 RLR縦	ミガキ	大木8b	213	172
689	RA51南東	深鉢	口	波状口縁 頂部に円孔 口：無文帯 隆沈線 LR縦	ミガキ	大木8b	213	172
690	RA51	深鉢	口	波状口縁 口唇部に溝 波頂部に円孔? 沈線で横長楕円区画内に刺突充填	ナデ	大木8b	213	172
691	RA51南東	浅鉢?	口	内湾 口：下半は無文帯 小礫多い	ナデ	大木8b	213	172
692	RA51埋土	深鉢	口	口：幅広い無文帯 頸：円形刺突列を巡らせる	ミガキ	大木8b	213	172
693	RA51埋土	深鉢	口	円形刺突列	ミガキ	大木9	213	172
694	RA51埋土	深鉢	口	口：隆帯 緩い波状 RLR縦 内湾	ミガキ	大木8b	213	172
695	RA51埋土	深鉢	口	口：狭小に外反 沈線による楕円区画内にRLR縦 磨消	ミガキ	大木9	214	172
696	RA51埋土	深鉢	胴	頸：貼付(隆帯) Rの圧痕 胴：LR横	ミガキ	不明	214	172
697	RA51埋土	深鉢	口	Y字状隆帯 Lの圧痕	ナデ	不明	214	172
698	RA51埋土	深鉢	口	口唇部～口縁部 二条の刺突列		円筒上層c?	214	172
699	RA51埋土	深鉢	口	口：外反 頸部窪み 口～胴に橋状取っ手 縁に刻列	ナデ	後期初	214	172
700	RA51埋土	深鉢	胴	無文に半竹による平行沈線	ナデ	不明	214	172
701	RA51埋土	深鉢	胴	横位羽状縄文 絡条圧 繊維多い	ミガキ	不明	214	172
702	RA51埋土	深鉢	胴	無文に細い隆帯 V字状に貼付	ナデ	不明	214	172
703	RA51埋土	不明	底	網代痕		不明	214	172
704	RA51埋土	不明	底	笹葉痕		不明	214	172
705	RA51埋土	注口土器	注口部	—	—	不明	214	172
758	RA52埋土	深鉢	口	口：内湾 絡条圧	ミガキ	前期	219	174
759	RA52埋土	深鉢	胴	木目状	ナデ	前期	219	174
760	RA52埋土	深鉢	口	大波状口縁 刺突	ミガキ	不明	219	174
761	RA54埋土	壺(?)	胴	胴：橋状把手 隆帯による楕円区画 磨消 LR縦 朱塗り	ミガキ	大木9	219	174
762	RA54埋土	深鉢	口～胴	波状口縁 沈線による施文 RL横と縦	ナデ	後期初	219	174
763	RA54埋土	深鉢	口	口：LRの圧痕と縦位の隆帯	ナデ	円筒上層a	219	174
764	RA54埋土	深鉢	胴	隆沈線による渦巻文 RLR縦	ナデ	大木8b	219	174
765	RA54埋土	深鉢	胴	隆沈線による渦巻文 RLR縦	ミガキ	大木8b	219	174
766	RA54埋土	深鉢	口	沈線区画内にLR縦 スス付着		大木9	219	174
767	RA54埋土	深鉢	胴	沈線区画内にLR縦 磨消 二条の刺突列	ミガキ	最花式?	219	174
768	RA54埋土	深鉢	口	口：無文帯 頸部断面三角形の貼付隆帯	ナデ	後期初	219	174

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写図
769	RA54埋土	深鉢	口～胴	口：波状 無文帯に雲型沈線 胴：RL縦に沈線	ミガキ	後期初	219	174
770	RA54埋土	深鉢	口～胴	口：波状 無節Lrに沈線（雲型の）	ナデ	後期初	219	174
771	RA54埋土	深鉢	胴	RL縦	ナデ	後期初	219	174
772	RA54埋土	深鉢	口	折返口縁 LR横	ミガキ	後期初	220	174
773	RA54埋土	深鉢	底	網代痕		中期	220	174
774	RA54埋土	深鉢	底	木葉痕		不明	220	174
775	RA54埋土	深鉢	胴	肩部に貼付 上下に貫く円孔 沈線	ナデ	後期初	220	174
781	RA55埋土	深鉢	胴	土器埋設炉 頸：幅広の隆帯にLR圧痕 胴：LR縦 綾絡	ナデ	中期	221	175
782	RA55埋土	深鉢	口	頸部隆帯上にLの圧痕	ナデ	不明	221	175
784	RA56埋土	深鉢	口～胴	沈線と半竹による刺突 地文はLR	ナデ	不明	221	175
785	RA56埋土	深鉢	胴～底	不明 LR横 底：網代痕	ナデ	不明	221	175
786	RA56埋土	浅鉢か？	口	口：二条のLRの圧痕とLR横		大木7b	221	175
793	RA57埋土	粗製深鉢	口～胴	LR縦 綾絡	ナデ	不明	222	175
794	RA57埋土	深鉢	胴～底	L縦	ナデ	不明	222	175
795	RA57埋土	深鉢	底	網代痕 LR縦	ナデ	不明	222	175
796	RA57埋土	小型深鉢	胴～底	LR縦	ミガキ	不明	222	175
797	RA57埋土	深鉢	口～胴	4単位 波状口縁 RL縦	ナデ	後期初	222	175
798	RA57埋土	深鉢	口～底	口：沈線による文様 胴：RL縦 底：網代痕薄い	ナデ	後期初	222	175
799	RA57埋土	小型深鉢	完形	葦籠？ 写真サイズ1/3 沈線（太い）	ミガキ	後期初	223	175
800	RA57埋土	ミニチュア	胴～底	指紋？有 無文 輪積み部分で剥落	—	不明	223	175
801	RA57埋土	深鉢	口	口：Lの圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴：木目状？		円筒下層d	223	175
802	RA57埋土	深鉢	口	口：Rの圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴：木目状 織 維含む	ナデ	円筒下層d	223	175
803	RA57埋土	深鉢	口	波状突起 LRとRLの圧痕	ミガキ	円筒上層a	223	175
804	RA57埋土	深鉢	把手	縦位の絡条圧		円筒上層a?	223	175
805	RA57埋土	深鉢	口	口：Lの圧痕 頸部張出し 胴：縄文に隆帯貼付（渦 巻文）	ミガキ	大木7b	223	175
806	RA57埋土	深鉢	口	RLR縦に隆沈線	ミガキ	大木8b	223	175
807	RA57埋土	深鉢	口	波状口縁 波頂部 円孔をもつ突起 隆沈線による渦 巻文 RLR縦	ナデ	大木8b	223	175
808	RA57埋土	深鉢	口	波状口縁 内湾する沈線による楕円区画内に刺突 充填	ミガキ	大木9	223	175
809	RA57埋土	深鉢	口	波状口縁 沈線による楕円区画内にLr 縦 磨消	ミガキ	大木9	224	175
810	RA57埋土	深鉢	胴	沈線による区画内にLR縦 鱗状突起	ミガキ	大木10	224	175
811	RA57埋土	深鉢	口	波状口縁 LR縦を地文に沈線	ナデ	後期初	224	175
812	RA57埋土	深鉢	口	波状口縁 口：無文帯 胴部境に横位のLRの圧痕 LR 斜	ミガキ	後期初	224	175
813	RA57埋土	深鉢	胴	Lr 縦に沈線	ミガキ	後期初	224	175
839	RA58埋土	深鉢	胴～底	LR縦 綾絡	ナデ	不明	227	176
840	RA58埋土	深鉢	口	波状口縁の波頂部 貼付上にLとRを圧痕とC字状刺 突	ミガキ	円筒上層c?	227	176
841	RA58埋土	深鉢	口	無文 表面はケズリ？ 金雲母多量	ミガキ	中期	227	176
842	RA58埋土	深鉢	口	LR横 頸部を括れさせ、貼付を施す	ナデ	中期	227	176
844	RA59床	深鉢	口	口：Rの圧痕と垂下隆帯 胴：2対の縦位と横位の綾 絡	ミガキ	円筒上層a	227	176
845	RA59埋土	深鉢	口	口：LRの圧痕	ナデ	円筒下層d	227	176
846	RA59埋土	深鉢	口	波状口縁 絡条圧	ミガキ	円筒上層a	227	176
847	RA59埋土	深鉢	口	口：上下端に貼付 縦位の弧状沈線列	ミガキ	大木7a	227	176
848	RA59埋土	浅鉢	口	口：きつく内湾 無文	ミガキ	大木7	227	176
860	RA60埋土	深鉢	口	口：LRの圧痕 頸部刺突列	ミガキ	円筒下層d	228	177
861	RA60埋土	深鉢	口	口：肥厚 無文	ミガキ	不明	228	177
862	RA60埋土	深鉢	口	口：内湾 上部に貼付 剥落 縦位の綾絡	ナデ	大木7a	228	177
863	RA60埋土	深鉢	口	二条の平行する沈線で波状を描く	ミガキ	大木7a	228	177
872	RA62埋土	深鉢	口～胴	渦巻状突起と2箇の小突起 頸：4単位の粒状貼付と V状貼付 圧痕(LR,RL) 結束1	ナデ	大木7a	228	177
873	RA62埋土	深鉢	口	沈線 金雲母多い		大木7a	228	177
874	RA62埋土	深鉢	口	折返口縁 LR横	ミガキ	後期初	228	177
875	RA62埋土	深鉢	口	口：内湾 LR横に沈線	ミガキ	大木8a	228	177
880	RA63炉	深鉢	口～胴	口：LR圧痕 頸：隆帯 4単位の垂下する隆帯 胴：結 束1横と綾絡縦	ミガキ	円筒上層a	229	177
883	RA64埋土	小型深鉢	胴～底	LR横	ナデ	不明	230	178
884	RA64埋土	深鉢	口	LRの圧痕	ミガキ	円筒上層a	230	178

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
885	RA64埋土	深鉢	口	波状口縁 LRの圧痕	ナデ	円筒上層a	230	178
886	RA64埋土	深鉢	口	LRの圧痕 頸部刺突列 胴：綾絡 繊維含む	ナデ	円筒下層d	230	178
887	RA64埋土	深鉢	口～胴	口：LR圧痕と横位 一条の隆帯 胴：LR横	ミガキ	不明	230	178
888	RA64埋土	深鉢	口～胴	口：絡条圧 頸部隆帯上に刺突列 胴：LR横	ミガキ	円筒上層a	230	178
889	RA64埋土	深鉢	口	沈線と鋸歯状の刻み	ミガキ	大木6～7a	230	178
890	RA64埋土	深鉢	口	口：突起 渦巻文貼付 方形区画内に半竹による刺突列	ナデ	大木7a?	230	178
891	RA64埋土	深鉢	口～胴	口：折返し、無文		不明	230	178
905	RA01カマド	甕	胴	内外面ヘラナデ		平安	232	178
906	RA01カマド	甕	口～胴	ヘラケズリ、輪積痕明瞭、内面はヨコナデ、ヘラナデ		平安	232	178
907	RA01埋土	甕	口	内外面ヨコナデ、ヘラナデ、		平安	232	178
908	RA01カマド	甕	口	内外面ヨコナデ、ヘラナデ		平安	232	178
909	RA01埋土	甕	口	内外面ヨコナデ、ヘラナデ、		平安	232	178
910	RA01カマド	甕	口	内外面ヨコナデ、ヘラナデ		平安	232	178
911	RA01カマド	坏	底	ロクロ、底部は回転系切、赤焼き		平安	232	178
913	RA12埋土	甕	口～胴	内外面ヨコナデ、ヘラナデ		平安	232	178
914	RA12埋土	甕	胴	内外面ヘラナデ		平安	232	178
915	RA12埋土	甕	口	内外面ヨコナデ、ヘラナデ		平安	232	178
916	RA12埋土	坏	口～底	ロクロ、底部は回転系切		平安	232	178
917	RA12埋土	須恵器甕	胴	たたき目、あて具		平安	232	178
921	RA26カマド	甕	口～胴	内外面ヨコナデ、ヘラナデ、外面下部にヘラケズリ		平安	233	179
922	RA26煙道	甕	口～底	内外面ヘラナデ 923と同一個体		平安	233	179
923	RA26カマド	甕		内外面ヘラナデ 922と同一個体		平安	233	179
924	RA26埋土	甕	胴～底	ヘラナデ、下部がヘラケズリ、内面はヘラナデ		平安	233	179
925	RA26埋土	坏	口～底	ロクロ、一部にヘラケズリ、底部は回転系切		平安	233	179
926	RA26埋土	坏	口～底	ロクロ、底部は回転系切		平安	233	179
929	RA37埋土	甕	口～底	ヨコナデ、ミガキ、ナデ、ケズリ、内面ヘラナデ、底ヘラナデ		平安	234	179
930	RA37埋土	甕	口～底	ヨコナデ、ヘラナデ、内面ヘラナデ		平安	234	179
931	RA37床上	甕	口～底	ヘラナデ、内面ヨコナデ、ヘラナデ		平安	234	179
932	RA37埋土	甕	口～底	内外面ヨコナデ、ヘラナデ		平安	235	179
933	RA37埋土	甕	口～胴 口～胴	ヨコナデ、ヘラミガキ、内面ヨコナデ、ヘラナデ		平安	235	179
934	RA37カマド	甕	口～胴	内外面ヨコナデ、ヘラナデ		平安	235	179
935	RA37埋土	甕	口～胴	内外面ヨコナデ、ヘラナデ、外面ヘラケズリ		平安	235	179
936	RA37カマド	甕	底	ヨコナデ、ヘラケズリ、内面ヨコナデ、ヘラナデ		平安	235	179
937	RA37埋土	坏	口～底	ロクロ、回転系切		平安	235	179
942	RA53カマド	甕	口～胴	ヨコナデ、ヘラケズリ、内面ヨコナデ、ヘラナデ、底部木葉痕、		平安	236	180
943	RA53埋土	坏	口～胴	ヘラミガキ、内面黒色処理		平安	236	180
944	RA53カマド	甕	底	内外面ヨコナデ、ヘラナデ		平安	236	180
945	RA53埋土	坏	胴	ロクロ、回転系切		平安	236	180
950	RD013埋土	深鉢	胴	頸部にLR圧痕 L上部は無文 胴：LR縦	ナデ	後期?	237	180
951	RD013埋土	深鉢	口～底	0段多条 RL横と縦	ナデ	不明	237	180
952	RD014埋土中位	深鉢	口～胴	口：波状4単位 波頂部から隆帯垂下 LR圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴：綾絡	ミガキ	大木7a	237	180
953	RD014埋土下位	深鉢	口	口：絡条圧 口唇部LR横 頸部C字状刺突列 胴：第二種結束羽状横 繊維	ミガキ	円筒下層d	237	180
954	RD014埋土下位	深鉢	口	口：LR圧痕 口唇部LR横 頸部 刺突列をもつ隆帯	ミガキ	円筒下層d	237	180
955	RD014埋土下位	深鉢	～胴	口：外反し緩い波状 波頂部から刺突をもつ隆帯垂下 LとRの圧痕 胴：LR横と多軸絡条体	ミガキ	不明	237	180
956	RD014埋土上位	深鉢	口	口：山形の原体圧痕を重複させる 口唇部にも原体圧痕	ナデ	不明	237	180
957	RD014埋土下位	深鉢	口	口：肥厚 横位の沈線の間矢羽根状に沈線を並べる	ナデ	大木6	237	180
961	RD016埋土中位	深鉢	口～底	口：外傾 絡条圧 頸部に段差 胴：結束1横	ミガキ	円筒下層d	238	180
962	RD016埋土中位	粗製深鉢	口～底	LR横 胴下半に膨らみ 繊維を含む 胴下半 内側黒色化	ナデ	前期末	238	180
963	RD017埋土	深鉢	口	口：波状 波頂部から原体圧痕をもつ隆帯垂下 Lの圧痕 口唇部に貼付	ミガキ	中期?	238	180
964	RD017埋土	深鉢	口	口：三条の沈線 頸部 隆帯上に刻列	ナデ	不明	238	180

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写図
965	RD017埋土	深鉢	胴	LR横 半竹による押引	ミガキ	大木7a	238	180
966	RD019埋土	深鉢	口	口：緩い波状 沈線区画内にRL縦 磨消	ナデ	大木9	238	180
967	RD019埋土	深鉢	胴	沈線区画内にRL縦		大木9	238	180
969	RD023埋土	深鉢	胴	綾絡縦	ナデ	不明	238	180
970	RD023埋土	深鉢	胴	無節R縦 内ナシ		不明	238	180
971	RD023埋土	深鉢	口	隆帯をもつ 無文に沈線	ナデ	不明	238	180
973	RD025底	深鉢	口～胴	口：外傾 4単位の角状突起 隆帯 Lの圧痕 刺突列 胴：LR縦	ミガキ	円筒上層c	239	181
974	RD025底	深鉢	胴～底	頸部隆帯上にLR圧痕 胴：付加条	ミガキ	中期	239	181
975	RD031埋土	深鉢	口	口：沈線と圧痕列 口唇部に列点文	ナデ	? (後期?)	239	181
976	RD031埋土	台付鉢	蓋?	無文に沈線	ナデ	後期?	239	181
979	RD032埋土	深鉢	口～胴	LR縦に沈線で逆U字状区画	ミガキ	大木9	239	181
980	RD032埋土	深鉢	胴	沈線で区画した中にLR縦	ミガキ	大木9	239	181
982	RD034埋土	深鉢	口	口：波状 波頂部に刻み LR圧痕	ナデ	不明	239	181
983	RD037埋土	深鉢	口～胴	口：Lの圧痕 頸部隆帯に刺突列 胴：木目状縦 繊維	ナデ	円筒下層 d	239	181
984	RD037埋土	深鉢	口	口：上端貼付剥落 沈線を波状と縦位 頸部隆帯上に 三角形の刻み	ミガキ	大木7a	239	181
985	RD038埋土下位	深鉢	口～底	口：小突起 狭小な無文帯 胴：綾絡縦 内黒色化	ナデ	不明	240	181
986	RD038埋土下位	深鉢	口～胴	口：絡条圧 垂下する隆帯をもつ 頸部刺突列 胴：LR横 補修孔2つ	ナデ	円筒下層 d	240	181
987	RD038埋土下位	深鉢	胴	木目状 胴：やや膨らむ	ミガキ	円筒下層 d?	240	181
988	RD039埋土	深鉢	胴	R縦	ナデ	不明	240	181
990	RD040埋土中位	深鉢	口～胴	口：内湾し孔をもつ突起 LR横に隆沈線 胴：LR縦	ナデ	大木8 a	240	181
991	RD040埋土上位	深鉢	口～底	LR縦に沈線で逆U字文区画 区画外を磨消	ミガキ	大木9	240	181
992	RD040埋土	深鉢	口～胴	口：無文 きつく外反 頸部隆帯刻み 胴：綾絡縦	ナデ	不明	240	181
993	RD040埋土	深鉢	口	口：内湾し肥厚 LR縦に沈線	ミガキ	大木8a?	240	181
994	RD040埋土	深鉢	口	口：突起有 LRとRL圧痕 内黒		不明	240	181
995	RD040埋土	深鉢	胴	LR横 上部に隆帯とLR圧痕	ナデ	中期?	240	181
998	RD041埋土	深鉢	口～底	口：4単位の台形状突起に円孔 RL横に薄い隆帯と 沈線 胴：綾絡	ミガキ	大木7b	241	181
999	RD041埋土	深鉢	胴～底	LR横 胴下部無文帯 内面スス付着	ミガキ	円筒上層	241	181
1000	RD041埋土	深鉢	口～底	口：4単位 隆帯上にLの圧痕 胴：LR横	ミガキ	円筒上層b	241	181
1001	RD041埋土	深鉢	完形	口：二条のL圧痕 胴：L横と斜	ミガキ	中期	241	181
1002	RD041埋土	深鉢	口～底	口：隆帯を波状 刻み 胴：RL縦と横 内に輪積み痕	ナデ	円筒上層	242	182
1003	RD041埋土	深鉢	口～胴	口：外傾 隆帯と刺突充填 胴：結束1横	ミガキ	円筒上層c	242	182
1004	RD041埋土	深鉢	口～胴	口：内湾 キャリバー 沈線と刺突多用 胴：斜縄文	ナデ	大木8a?	242	182
1005	RD041埋土	深鉢	口	口：LR圧痕 X状貼付 内タル付着		大木7b?	242	182
1006	RD043底	深鉢	口～胴	口：折返し L横 胴：L縦 内外面スス付着	ナデ	後期初	242	182
1007	RD043埋土中位	深鉢	口～底	網目状	ミガキ	後期初	242	182
1008	RD043埋土中位	深鉢	胴～底	LR縦 底：木葉痕 金雲母		不明	243	182
1009	RD043埋土下位	深鉢	口	口：波状 LR横に沈線で長楕円区画 下半に無文帯	ナデ	後期初	243	182
1010	RD043埋土下位	鉢?	口～胴	口：外反 無文に波頭状 横楕円状の沈線区画 貼付部 貫通孔有	ミガキ	後期初	243	182
1011	RD043埋土下位	深鉢	口～胴	口：波状 LR圧痕で方形基調の区画 胴：LR縦 内スス付着多い		後期初	243	182
1012	RD043埋土中位	深鉢	口～胴	口：折返し LR横 胴：LR縦	ミガキ	後期初	243	182
1013	RD044埋土	深鉢	口～胴	口：四条のR圧痕 頸部やや括れ 胴：結束1横	ナデ	不明	243	182
1014	RD044埋土	深鉢	口	口：波頂部から隆帯垂下 Lの圧痕 頸部隆帯に刺 突列	ミガキ	円筒上層a	243	182
1015	RD044埋土	深鉢	口	口：緩い角状突起 Lの圧痕で縦位に	ナデ	不明	243	182
1016	RD044埋土	深鉢	口	口：やや内湾 平行沈線と半竹による刺突列	ナデ	大木7a?	243	182
1017	RD045埋土	深鉢	胴	頸部隆帯?に原体圧痕 胴：LR横、斜	ミガキ	不明	244	182
1018	RD045埋土	深鉢	胴	網目状	ナデ	後期	244	182
1020	RD046埋土上位	深鉢	胴	木目状 繊維	ミガキ	円筒下層 d	244	182
1021	RD046埋土上位	深鉢	口	口：横長溝をもつ突起 X状貼付 沈線で直線と波状 を描く	ナデ	大木7a	244	182
1022	RD046上埋土位	深鉢	口	口：角状突起 頂部より八字状に隆帯垂下、沈線で 直線と波状	ナデ	大木7a	244	182
1023	RD047埋土	深鉢	口	口：平行沈線と縦位の弧状沈線列 馬蹄形貼付 頸部刺突列	ナデ	大木7a	244	182



番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写図
1024	RD047埋土	深鉢	胴	網目状 一部にLR縦	ナデ	後期?	244	182
1025	RD048埋土	深鉢	口～胴	口：緩い波状 RとLの圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴：LとRの捺糸文	ナデ	円筒下層d	244	182
1026	RD048埋土	深鉢	口～胴	口：LR圧痕 頸部隆帯に刺突列 胴：木目状 繊維	ミガキ	円筒下層d	244	182
1027	RD048埋土	深鉢	口	口：波状? 平行沈線と縦位の弧状沈線列	ナデ	大木7a	244	182
1029	RD050埋土	深鉢	口～胴	口：緩い波状 外傾 横位の羽状 頸部 断面三角形状 隆帯 胴：木目状	ミガキ	不明	245	182
1030	RD050埋土	深鉢	口	口：波頂部刻み、絡条圧? 頸部 薄い隆帯上に刺突列	ミガキ	不明	245	182
1031	RD050埋土	深鉢	口	口：隆帯垂下 Rの圧痕 頸部刺突列	ミガキ	円筒下層d	245	182
1032	RD051埋土下位	深鉢	胴～底	頸：八字状貼付痕跡 胴：結束1縦 金雲母含	ミガキ	円筒上層	245	183
1033	RD051埋土	深鉢	口～底	口：肥厚 二条のLR圧痕 胴：RL横	ナデ	中期	245	183
1034	RD051埋土下位	粗製深鉢	口～底	LR横(0段多条)	ナデ	不明	245	183
1035	RD051埋土	浅鉢?	口	Lの圧痕 肩部を張出す	ミガキ	大木7b?	245	183
1036	RD051埋土	深鉢	胴	木目状	ナデ	円筒下層d	245	183
1038	RD052埋土	深鉢	口	口：内側に折返し状の段差 LR横 垂下隆帯をもち 下端にボタン状貼付	ナデ	大木7a?	246	183
1039	RD052埋土下位	深鉢	口	口：波状 橋状把手と隆帯 Rの圧痕	ナデ	中期	246	183
1040	RD053埋土	深鉢	口	口：上端二条の沈線 RL斜に沈線による曲線文 金雲母	ナデ	後期初	246	183
1042	RD054埋土下位	深鉢	口～胴	口：3単位の緩やかな角状突起 Lの圧痕 頸部張出し 刺突列 胴：反捺?横	ミガキ	円筒下層d	246	183
1043	RD054埋土	深鉢	口～底	口：4単位角状突起頂部に凹 隆帯上刺突列 LR圧痕 と綾絡 胴：結束1	ミガキ	円筒上層a	246	183
1044	RD054埋土	深鉢	口～胴	口：四条のLR圧痕 胴：LR横	ナデ	中期	247	183
1045	RD054埋土下位	深鉢	口	口：上端肥厚 三角状刻列 沈線を矢羽根状に並べ る 頸部内側肥厚し段をもつ	ミガキ	大木7a?	247	183
1046	RD054埋土	深鉢	口	口：Lの圧痕 口唇部にも	ミガキ	中期	247	183
1047	RD054埋土中位	深鉢	口～胴	口：波状 波頂部から隆帯垂下 Lの圧痕 胴：多軸 絡条体?	ナデ	円筒下層d	247	183
1048	RD054埋土下位	深鉢	口～胴	口：Lの圧痕 頸部刺突列 横位の綾絡 二条 胴：結束1横 繊維	ミガキ	円筒下層d	247	183
1049	RD054埋土下位	深鉢	口～胴	口：LRの圧痕 上下端に刺突列 胴：結束1 繊維混入	ミガキ	円筒下層d	247	183
1050	RD054埋土下位	深鉢	口～胴	口：二山状突起 外傾する頂部から隆帯を弧状に垂下 LRの圧痕 胴：RL横	ナデ	円筒上層a?	247	183
1051	RD055埋土	ミニチュア	口～底	無文	ナデ	不明	247	183
1052	RD056埋土	深鉢	口	口：波状 Lの圧痕を山形に 頸部刺突列	ミガキ	円筒下層d?	248	183
1053	RD056埋土	深鉢	口～胴	口：LRの圧痕 口唇部LR横 頸部刺突列 胴：結束1 繊維少		円筒下層d	248	183
1054	RD056埋土	深鉢	底	網代痕磨消		不明	248	183
1056	RD057埋土	深鉢	口	口：LRの圧痕 頸部刺突列	ミガキ	円筒下層d	248	183
1057	RD057埋土	深鉢	口～胴	口：狭小な無文帯 胴：隆沈線で区画内にLR縦	ミガキ	大木8b	248	183
1059	RD058埋土	深鉢	胴～底	LR縦 底：網代痕	ナデ	後期初	248	183
1060	RD058埋土	深鉢	口～胴	口：折返上にRL横 頸：RL圧痕 胴：上部のみRL横 以下はRL縦	ナデ	後期初	248	183
1061	RD058埋土	深鉢	口	口：波状 隆帯交点にボタン状貼付	ナデ	後期初	249	183
1062	RD058埋土	深鉢	口	口：無文帯 円孔 頸部隆帯に刺突列 胴：無文に沈線	ナデ	後期初	249	183
1064	RD059埋土	深鉢	口～胴	口：Rの圧痕 頸部刺突列 胴：膨らむ 結束1 繊維	ミガキ	円筒下層d	249	184
1065	RD060埋土	深鉢	口	口：絡条圧 口唇部にも	ナデ	円筒下層d	249	184
1066	RD060埋土下位	深鉢	胴	頸部 く字状 胴：綾絡縦	ミガキ	大木7a?	249	184
1067	RD060埋土	深鉢	胴	LR縦に沈線を区画 磨消	ナデ	大木9?	249	184
1069	RD061埋土	深鉢	口～胴	沈線で区画内にRL斜 磨消	ミガキ	大木9	249	184
1070	RD062埋土	深鉢	口	口：小突起 沈線を横位と斜に 頸部隆帯に刻み 胴：綾絡?	ナデ	大木7a	249	184
1071	RD062埋土	深鉢	口	口：波状 頂部より垂下隆帯 沈線 頸部括れ 胴：綾絡縦	ナデ	大木7a	249	184
1072	RD063埋土	深鉢	口～底	口：4単位の波状 絡条圧 頸部刺突列 胴：結束1	ミガキ	円筒下層d	249	184
1073	RD063埋土下位	深鉢	口～底	口：二段の沈線列 垂下隆帯と渦巻隆帯 頸部刺突列 胴：木目状 底：網代痕	ナデ	大木7a	250	184
1074	RD063埋土下位	深鉢	口～胴	口：Rの圧痕 頸部刺突列 胴：木目状 繊維	ナデ	円筒下層d	251	184
1075	RD063埋土下位	深鉢	口～胴	口：結節回転と絡条圧 頸部刺突列 胴：木目状 楕円孔	ミガキ	円筒下層d	251	184

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
1076	RD063埋土	深鉢	口～胴	口：波状 外傾しやや内湾 Rの圧痕と三角形状 頸部沈線 胴：張り、木目状	ミガキ	円筒下層d	251	184
1078	RD064埋土	深鉢	口～胴	口：絡条庄 頸部隆帯に刺突列 繊維少	ナデ	円筒下層d	251	184
1079	RD064埋土	深鉢	胴	結束2縦	ナデ	円筒下層d	251	184
1080	RD065埋土	深鉢	口～胴	口：無文帯 胴：上端に沈線 交点に凹 周囲を円形 刺突で囲む	ナデ	不明	251	184
1081	RD066埋土下位	深鉢	口～底	口：4単位 隆帯上にLの圧痕 馬蹄形の原体圧痕 胴：LR横とRL横	ナデ	円筒上層b	252	184
1082	RD066埋土下位	深鉢	口～底	口：4単位 隆帯上にLの圧痕 馬蹄形の原体圧痕 胴：LR横	ミガキ	円筒上層b	252	184
1083	RD066埋土中位	深鉢	口～底	口：4単位角状突起 隆帯 刺突充填 胴：LR横	ミガキ	円筒上層c	252	184
1084	RD066埋土下位	深鉢	口～底	隆帯を張り巡らせた中に刺突充填 胴：LR横	ミガキ	円筒上層c	252	184
1085	RD066埋土下位	深鉢	胴～底	頸部から外傾し立ち上がる? 胴：綾絡 底：網代痕	ミガキ	中期	253	184
1086	RD066埋土下位	深鉢	口～底	口：隆帯で4単位区画 刺突充填 胴：結束1横	ミガキ	円筒上層c	253	184
1087	RD066埋土下位	深鉢	口～底	頸：段差を持ち立ち上がる ややキャリバー型 胴：LR斜	ミガキ	中期	253	184
1088	RD066埋土上位	深鉢	胴～底	胴上半にLR縦の地文に平行沈線による曲線文 胴：下部無文	ミガキ	中期	253	185
1089	RD066埋土	深鉢	口～底	口：内湾 LR横に沈線で長楕円区画 胴：結束1	ミガキ	大木8a	253	185
1090	RD066埋土下位	深鉢	胴～底	結束1縦	ミガキ	円筒上層	254	185
1091	RD066埋土下位	深鉢	口～胴	口：一条の隆沈線 2単位の垂下隆帯 胴：LR横	ナデ	中期	254	185
1092	RD066埋土下位	深鉢	胴～底	胴：結束1	ミガキ	円筒上層	254	185
1093	RD066埋土下位	深鉢	胴～底	胴：RL横 金雲母含 底：網代痕	ミガキ	中期	254	185
1094	RD066埋土	深鉢	口	台形上突起 隆帯とLRの圧痕	ナデ	大木7b	254	185
1095	RD066埋土	深鉢	口～胴	口：波状 隆帯 Lの圧痕 刺突 胴：LR縦	ナデ	円筒上層c	254	185
1096	RD068埋土	深鉢	口～胴	口：無文帯 頸 二条の隆帯間に刺突列 胴：隆沈線 RLR縦	ナデ	大木8b	255	185
1097	RD070埋土	小型深鉢	口～底	頸部括れ 胴部膨らむ LR横	ナデ	中期?	255	185
1099	RD078埋土	深鉢	口～胴	口：段差をもちやや外傾 LR圧痕 口唇にも頸部に 刺突列 胴：木目状	ナデ	円筒下層d	255	185
1100	RD082埋土下位	深鉢	口～底	口：外反 垂下隆帯で4単位区画 Rの圧痕 胴：上半 に段 LR横 底：網代痕	ミガキ	円筒上層a	255	185
1101	RD084埋土	深鉢	口～胴	口：外傾し内湾 ボタン状突起 内側に隆帯 沈線 隆帯 胴：綾絡	ミガキ	大木7a	256	185
1102	RD084埋土	深鉢	口～胴	口：橋状把手 Lの圧痕 胴：綾絡縦	ミガキ	大木7a	256	185
1104	RD086埋土	深鉢	口～胴	口：Lの圧痕 頸部隆帯刺突列 胴：綾絡縦	ナデ	円筒下層d	256	185
1105	RD086埋土	深鉢	口	口：LRの圧痕 頸部刺突列	ミガキ	円筒下層d?	256	185
1106	RD086埋土	深鉢	口～胴	口：内に肥厚 隆沈線 LR横 頸部括れ	ミガキ	大木8a?	256	185
1109	RD087埋土	深鉢	胴～底	LR横	ナデ	中期	257	185
1110	RD087埋土下位	深鉢	口～胴	口：Rの圧痕 胴：LR横 繊維少	ナデ	円筒下層d	257	185
1111	RD087埋土下位	深鉢	口～胴	口：内側に肥厚 LR横 沈線で波状 突起 頸部無文帯 胴：LR横	ナデ	大木7a?	257	185
1112	RD088埋土	深鉢	口～胴	口：RとLの圧痕 頸部刺突列 胴：木目状	ナデ	円筒下層d	257	186
1113	RD088埋土	深鉢	胴	綾絡縦	ナデ	不明	257	186
1114	RD089埋土	深鉢	口	口：波状 C字状原体圧痕 LとRの圧痕 口唇部にも		円筒上層b	257	186
1115	RD089埋土	深鉢	口～胴	口：緩い波状 外反 沈線による楕円区画内にLR縦 磨消	ナデ	大木9	257	186
1116	RD090埋土	深鉢	口～胴	口：4単位波状 頂部から八字状隆帯垂下 Rの圧痕 口唇部にも 胴：捺条文 綾絡	ナデ	円筒上層a	257	186
1117	RD090埋土	深鉢	口～胴	口：緩い波状 Rの圧痕 頸部括れ 胴：LR横 繊維	ミガキ	円筒下層d	257	186
1120	RD091埋土	深鉢	口	口：折返し 沈線を斜に施す 上下に刺突列	ナデ	大木7a	258	186
1121	RD091埋土	深鉢	口	口：隆帯を弧状に貼付 沈線を斜と弧状	ナデ	大木7a	258	186
1122	RD091埋土	深鉢	口	口：内湾 沈線による区画内にRL縦 刺突 磨消	ミガキ	大木9	258	186
1123	RD091埋土	台付土器	台	台部、下部ほど外に張出す	-	不明	258	186
1125	RD092埋土中位	深鉢	口～底	口：外傾 肥厚させ刺突列 頸部括れ 胴上半膨らむ LR縦 付加条	ナデ	大木6	258	186
1126	RD092埋土下位	深鉢	口～胴	口：結束1のRLLR圧痕 頸部刺突列 胴：結束1 (0段多条)横 繊維	ナデ	円筒下層d	258	186
1128	RD095埋土中位	粗製深鉢	口～底	口：幅広に肥厚 LR横 胴：LR横と斜 厚く重い	ナデ	不明	259	186
1129	RD095埋土中位	粗製深鉢	口～胴	口：折返し状だが肥厚せず 或いは一条の沈線か 胴：LR横	ミガキ	中期?	259	186
1130	RD095埋土中位	深鉢	口～胴	口：1単位の突起? 隆帯を波状 頸部括れ胴膨らむ LR横	ミガキ	円筒上層?	259	186

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
1131	RD095埋土位中	深鉢	口	突起部にボタン状貼付 橋状把手 隆帯 Lの圧痕 馬蹄形原体圧痕	ナデ	円筒上層b	259	186
1132	RD095埋土	深鉢	口～胴	口：波状 折返し 隆帯 絡条圧 胴：LR横	ミガキ	不明	259	186
1133	RD095埋土下位	深鉢	胴	頸部が括れ 沈線と横のL字状貼付 胴：綾絡縦	ナデ	大木7b	259	186
1135	RD097埋土	深鉢	口～胴	口：LRの圧痕 胴：綾絡縦	ナデ	不明	259	186
1136	RD097埋土	深鉢	口	口：波状 沈線と絡条圧	ミガキ	不明	259	186
1137	RD098埋土	壺形	口～胴	口：4単位突起に貫通孔 無文に沈線で長楕円文 頸部括れ無文帯	ナデ	後期初	260	186
1138	RD099埋土	深鉢	口	口：山形突起をもつ LR横 口唇部にも	ミガキ	不明	260	186
1139	RD103埋土	深鉢	口	口：段をもちやや内湾 沈線で波状 直線を描く	ナデ	不明	260	186
1140	RD103埋土下位	深鉢	口	Lの圧痕 頸部隆帯上に刺突列	ミガキ	円筒上層a?	260	186
1141	RD105埋土	深鉢	口	口：横位の平行沈線		大木8	260	186
1142	RD105埋土	深鉢	口	口：LRの圧痕 口唇部にも 胴：木目状縦	ナデ	円筒下層d	260	186
1143	RD106埋土	深鉢	胴～底	RL横	ナデ	不明	260	186
1144	RD106埋土下位	粗製深鉢	口～底	口：折返的に肥厚 LR横	ナデ	不明	260	186
1147	RD111埋土上位	深鉢	胴～底	胴：上部外傾気味 LR縦 底：網代痕	ナデ	不明	260	187
1149	RD112埋土	深鉢	口	LとRの圧痕 C字状原体圧痕	ミガキ	円筒上層b	261	187
1150	RD112埋土	深鉢	口	口：舌状突起 やや内湾 LR圧痕 LR縦	ナデ	大木7b	261	187
1151	RD112埋土	深鉢	口	口：Lの圧痕 口唇部にも		大木7b	261	187
1152	RD115埋土	粗製深鉢	胴	LR縦 一部黒色	ミガキ	中期	261	187
1153	RD118埋土下位	深鉢	口～底	口：4単位台形突起 Lの圧痕をもつ隆帯と刺突 胴：LRL横	ナデ	円筒上層c	261	187
1154	RD118埋土上位	深鉢	口～胴	口：4単位台形突起に円孔 隆帯を貼り沈線で抑える 胴：RL横	ナデ	上層d?	261	187
1155	RD118埋土中位	深鉢	口～底	口：上端に縦位にLの圧痕列 横に沈線で方形区画と 渦巻 胴：LR縦(0段多糸)	ナデ	大木8 a	261	187
1156	RD118埋土下	深鉢	口～胴	口：上端に隆帯を波形 一部内面にも 縦位の刻列 RL横に沈線 胴：RL縦	ナデ	大木8 a	262	187
1157	RD118埋土下位	深鉢	口～胴	口：上端やや肥厚し内湾 頸部で段を付ける LR横 1087と同一個体	ミガキ	中期	262	187
1158	RD118埋土	深鉢	口	口：外傾 小突起 Lの圧痕 刺突 LR横に沈線	ナデ	大木8a?	262	187
1159	RD120埋土下位	深鉢	口～胴	口：4単位波状頂部から蛇行垂下降帯 半竹による 押し引き 胴：綾絡縦	ナデ	大木7a	262	187
1160	RD120埋土下位	深鉢	口～胴	口：4単位波状頂部から垂下降帯 Lの圧痕 頸部隆 帯上に刺突列 胴：綾絡縦	ナデ	円筒下層d	263	187
1161	RD120埋土下位	深鉢	口～胴	口：絡条圧 胴：結束1横	ナデ	円筒下層d	263	187
1162	RD120埋土下位	深鉢	口	口：LRの圧痕 頸部刺突列 繊維	ミガキ	円筒下層d	263	187
1163	RD120埋土	深鉢	口～胴	口：波状 外反 頂部から隆帯垂下 平行沈線 頸部隆帯 胴：LR横	ミガキ	中期	263	187
1164	RD122埋土	深鉢	胴～底	RLR横	ミガキ	不明	263	187
1165	RD122埋土	深鉢	口	口：逆T字状 隆帯垂下 LRの圧痕 口唇部にも 頸部刺突列	ミガキ	円筒上層a	263	187
1166	RD122埋土	深鉢	口	口：突起 逆T字状隆帯垂下 絡条圧 頸部隆帯 胴：LR横	ミガキ	円筒上層a	263	187
1167	RD122埋土	深鉢	口	口：内湾 突起 肥厚 波状沈線 押しによる施文	ミガキ	大木7a	264	187
1168	RD122埋土	口	口	平行沈線によりクランク 方形 半竹による押し	ミガキ	大木8a	264	187
1169	RD125埋土	甕	口～胴	口ク口使用、口縁部内湾		平安	264	188
1170	RD126埋土	胴～底	胴	LR縦 底：網代痕	ナデ	後期初	264	188
1171	RD128埋土下位	深鉢	口～底	口：二条のLR圧痕 胴：(RL横) 繊維多い	ミガキ	円筒下層d	264	188
1172	RD128埋土下位	深鉢	口～底	口：二条のR圧痕 頸：隆帯に刺突列 胴：結束1横 繊維少	ナデ	円筒下層d	264	188
1173	RD128埋土下位	深鉢	口～胴	口：弧状の貼付 横位に沈線で山形文を連続 頸：隆帯上に刺突列 胴：綾絡	ミガキ	大木7a	265	188
1174	RD128埋土下位	深鉢	口～胴	口：波状 沈線と貼付 胴：縦に綾絡 頸：隆帯上にLの圧痕	ミガキ	大木7a	265	188
1175	RD128埋土下位	深鉢	口～胴	口：横位に沈線と山形文を交互に連続 頸：隆帯に刺突列 胴：綾絡 磨消	ナデ	大木7a	265	188
1176	RD128埋土下位	深鉢	胴～底	綾絡	ミガキ	不明	265	188
1177	RD128埋土	深鉢	口～胴	口：L圧痕 口唇部にも 胴：綾絡 繊維	ミガキ	円筒下層d	265	188
1181	RD130埋土	深鉢	口～底	上底 補修孔 口：僅かに肥厚し刺突列 LR横	ナデ	不明	266	188
1182	RD130埋土	深鉢	口～胴	繊維入る 口：二条のLR圧痕 隆帯上に刺突列 胴：LR横	ナデ	円筒下層d	266	188
1183	RD130埋土	深鉢	胴～底	横位の綾絡	ミガキ	不明	266	188
1184	RD130埋土	深鉢	口～胴	口：LR圧痕 胴：結束1 下部に綾絡	ナデ	円筒下層d	266	188
1185	RD130埋土	深鉢	口	口：上下端を刺突をもつ隆帯 垂下降帯 Lの圧痕 口唇部L横	ミガキ	円筒下層d	266	188

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
1186	RD130埋土	深鉢	口～胴	口：LとRの圧痕 LR横 頸部刺突列 胴：綾絡縦 口唇部LR横	ミガキ	円筒下層 d	266	188
1188	RD131埋土	深鉢	口～底	RLR(斜)を地文に沈線で曲線文 底：網代痕	ナデ	後期初	267	188
1189	RD131埋土	深鉢	胴～底	LR縦 底：木葉痕 脆い	ナデ	後期初	267	188
1190	RD131埋土	深鉢	口～胴	口：無文帯 胴：隆帯貼付上に円形刺突列 沈線 クランク状	ナデ	後期初	267	188
1196	RD133埋土	深鉢	口～底	口：波状(4単位)折返 胴：RLR縦	ナデ	後期初	267	188
1197	RD133埋土	深鉢?	胴?	無文 輪積み痕 顕著	ナデ	不明	267	188
1198	RD134埋土	深鉢	口	波状 波頂部に円孔内湾LR横に沈線	ナデ	後期初	267	189
1199	RD134埋土	深鉢	口～胴	口：折返し 沈線	ナデ	後期初?	267	189
1200	RD134埋土	壺形?	胴	無文に沈線で曲線文	ナデ	後期初	267	189
1201	RD134埋土下位	粗製深鉢	口～胴	口：やや外反し 狭少な無文帯 胴：L縦	ナデ	後期初	267	189
1202	RD134埋土	壺形?	胴	無文に沈線	ナデ	後期初	267	189
1208	RD135埋土	ミニチュア	底?	-	-	不明	268	189
1209	RD137埋土下位	深鉢	胴～底	綾絡 縦RL	ミガキ	中期初	268	189
1210	RD137埋土	深鉢	口～胴	口：Rの圧痕で菱形文様 頸部に円形刺突列 胴：RL縦 繊維	ミガキ	円筒下層 d	268	189
1211	RD137埋土	深鉢	口～胴	口：折返し 絡条圧 胴：綾絡縦	ナデ	不明	268	189
1212	RD137埋土下位	深鉢	口～胴	口：やや外反 LR圧痕 頸部括れ 胴：やや張る、結束 1 LR横 繊維	ミガキ	円筒下層 d?	268	189
1216	RD139埋土	深鉢	胴～底	RLR横	ナデ	不明	269	189
1217	RD139埋土	深鉢	胴～底	LR縦	ナデ	不明	269	189
1218	RD139埋土	深鉢	口～胴	口：内側に薄く折返し小突起 Lの圧痕 胴：L縦	ミガキ	不明	269	189
1219	RD139埋土	深鉢	口～胴	口：Rの圧痕 頸部刺突列 胴：LR横 繊維	ナデ	円筒下層 d	269	189
1220	RD139埋土	深鉢	口	口：波状 頂部のドーナツ状突起から垂下蛇行隆帯 LR圧痕	ミガキ	大木7a	269	189
1223	RD140埋土	ミニチュア	口～胴	底部なし	ナデ	大木9	269	189
1227	RD141埋土	深鉢	胴～底	LR縦 繊維微量(?)	ミガキ	不明	270	189
1228	RD141埋土	小型土器	胴～底	綾絡縦 スス付着	ナデ	不明	270	189
1229	RD141埋土	深鉢	口	口：折返し RL圧痕 補修孔	ミガキ	円筒下層 d	270	189
1230	RD143埋土	深鉢	胴	頸：隆帯(圧痕)羽状縄文 綾絡	ナデ	円筒上層a?	270	189
1231	RD143埋土	深鉢	口～胴	口：横位に三条のLR圧痕 胴：LR横 繊維	ミガキ	円筒下層 d?	270	189
1234	RD144埋土	深鉢	胴～底	縦位の綾絡	ナデ	不明	270	189
1235	RD149埋土	深鉢	口～胴	波状隆帯とLR圧痕 胴：LR横	ナデ	円筒上層a	270	189
1236	RD149埋土	深鉢	口	縄文を地文に鋸歯状の沈線	ミガキ	大木7a	270	189
1237	RD149埋土	深鉢	口～胴	口：細い貼付と沈線 頸部段差 胴：沈線と交互刺突 搬入品?	ミガキ	五領ヶ台	270	189
1246	RD150埋土	深鉢	口～胴	折返 波状(6単位?)口縁 LR横 頸：無文帯 肩：LR圧痕 胴：LR縦 一部に横も	ナデ	不明	271	190
1251	RD152埋土	粗製深鉢	完形	口：折返風 RL縦 底：網代痕	ナデ	後期初?	272	190
1252	RD152埋土中位	深鉢	胴～底	RL縦を地文に沈線で底：網代痕 口縁部を欠くが欠けた面をそろえて平にしている	ナデ	後期初?	272	190
1253	RD152埋土中位	深鉢	胴	LR縦	ナデ	不明	272	190
1254	RD152埋土	深鉢	口～胴	波状口縁(6単位?)無文	ナデ	不明	272	190
1255	RD152埋土中位	深鉢	口～底	口：折返 4単位の波状 LR横 頸：無文帯 胴：LR縦を地文に沈線で三角文 底：木葉痕	ナデ	後期初	273	190
1256	RD152埋土	壺形	胴	垂下する隆帯で(4単位?)に区画 区画内に沈線	ナデ	後期初	273	190
1257	RD152埋土	深鉢	底	木葉痕	-	不明	273	190
1258	RD152埋土	深鉢	口～胴	口：波状突起 波頂部にボタン状貼付 ハの字状に垂下する隆帯上に円形刺突列 胴：LR縦	ナデ	後期	273	190
1259	RD152埋土	粗製深鉢	口～胴	RL横縦		後期	273	190
1265	RD154埋土	深鉢	口	口：絡条圧 頸部 隆帯上に刺突列 胴：横位綾絡	ミガキ	円筒下層 d	274	190
1266	RD154埋土	深鉢	口	隆帯貼付上に原体圧痕 C字状原体圧痕	ナデ	円筒上層b	274	190
1267	RD154埋土	深鉢	口	粘土紐貼付 頸部刺突		円筒下層d	274	190
1268	RD156埋土	深鉢	口～胴	口：橋状把手 絡条圧 胴：綾絡縦	ミガキ	中期	274	190
1269	RD156埋土	深鉢	口～底	口：隆帯貼付 LR縦横	ナデ	不明	274	191
1270	RD156埋土	深鉢	口～胴	口：折返 角状突起 LR横?	ナデ	後期初	274	190
1275	RD162埋土	深鉢	口～胴	キャリパー 口：細い隆帯貼付 剥落多い 胴：沈線とRL縦	ミガキ	大木8a	275	191
1276	RD163埋土	深鉢	胴	頸部 隆帯上に刺突列 横位の原体圧痕と綾絡 繊維有	ミガキ	円筒下層 d?	275	191
1277	RD165埋土	深鉢	胴	RL縦 沈線で区画 磨消	ナデ	大木9	275	191
1278	RD166埋土	深鉢	口	口：波状 外反 沈線による区画内にLR縦	ミガキ	大木9	275	191
1280	RD171埋土	深鉢	胴	沈線による区画 LR縦	ミガキ	大木9	275	191

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
1282	RD173埋土	深鉢	口	波状 楕円区画内に縄文	ミガキ	大木9	275	191
1283	RD173埋土	深鉢	底	網代痕		不明	275	191
1287	RD179埋土	高杯?	底	無文	ミガキ	後期初	275	191
1288	RD179埋土	深鉢	口	変形工字文	ミガキ	砂沢?	275	191
1290	RD186埋土	鉢	口~底	無文	ミガキ	不明	276	191
1291	RD186埋土	深鉢	口	口:横位の原体圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴:木目状 繊維	ナデ	円筒下層d	276	191
1292	RD186埋土	深鉢	口	沈線区画内 RLR縦	ナデ	大木9	276	191
1293	RD189埋土	深鉢	口	口:横位の原体圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴:木目状 繊維	ナデ	円筒下層d	276	191
1294	RD189埋土	深鉢	口	口:内湾上端に縄文直下に隆沈線 横位の沈線列	ミガキ	不明	276	191
1297	RD193埋土	深鉢	口	沈線区画内にL縦	ナデ	大木9	276	191
1298	RD193埋土	深鉢	口	沈線区画内にLR縦	ミガキ	大木9	276	191
1299	RD193埋土	深鉢	底	網代痕		中期	276	191
1302	RD196埋土中位	深鉢	口~底	4単位の突起 突起部から隆帯垂下 LRの圧痕 胴:LR横 砂礫多い	ナデ	円筒上層a?	276	191
1303	RD196埋土	深鉢	口~胴	折返口縁 無文	ナデ	不明	276	191
1304	RD196埋土	深鉢	口	口:突起 円孔有 隆帯貼付 頸部隆帯も含めて刻み有 沈線	ナデ	大木7a?	276	191
1305	RD196埋土	壺形?	胴	クランク状の沈線	ナデ	後期初	276	191
1309	RD202底	深鉢	口~底	口:折返し 角状突起(1単位) 豆状貼付 3単位 竹管による刺突列 捺糸(R)	ナデ	円筒上層c	277	191
1310	RD202埋土下位	深鉢	口~胴	口:4単位 小判型貼付 頸:隆帯上に指頭押圧 LR横	ミガキ	不明	277	191
1311	RD202埋土下位	深鉢	口~底	口:肥厚 1単位の突起 V字状に隆帯貼付 胴:綾絡を横 底:網代痕	ミガキ	大木7b	277	192
1312	RD202埋土下位	深鉢	胴~底	LR斜	ナデ	不明	277	191
1313	RD202底	深鉢	胴~底	LR横	ナデ	不明	277	191
1314	RD202埋土	深鉢	口	口:上端 段を付け肥厚 一面に絡条圧 波状 口唇部にも縄目	ミガキ	円筒下層d?	278	192
1315	RD202埋土	深鉢	口~胴	口:山形突起で無文に平行沈線で波状 一对の貼付コブ	ナデ	不明	278	192
1316	RD202埋土	深鉢	口~胴	口:僅かに波状 薄い粘土紐を薄く貼付 スス付着		不明	278	192
1321	RD204底	深鉢	口~胴	口:LRの圧痕 垂下隆帯 頸部隆帯上に縦位のLの 圧痕 胴:LR横	ナデ	円筒上層a	279	192
1322	RD204埋土下位	深鉢	胴~底	無文に半竹の押引 胴下部に焼成後の孔をもつ 内面スス付着	-	大木7a	279	192
1323	RD204埋土下位	深鉢	口~胴	口:LR横 横位の沈線と逆V字状の平行沈線 稲妻状垂下隆帯 胴:LR斜	ナデ	大木7a	279	192
1324	RD205埋土	深鉢	口	口:段差をもち、刺突列	ナデ	不明	279	192
1325	RD205埋土	深鉢	口	口:肥厚 無文帯に横位沈線 頸:括れ 胴張る C字状刺突列	ミガキ	大木7a?	279	192
1329	RD209埋土	深鉢	口	口:無文帯に列点文をもつ隆帯を貼る	ナデ	後期初	279	192
1331	RD210埋土中位	深鉢	口~底	口:4単位波状 口唇と頸の隆帯が波頂部から垂下 する隆帯と連結 絡条圧 胴:LR横	ナデ	円筒上層a	280	192
1332	RD210埋土中位	小型深鉢	胴~底	縄文僅かに残る	ナデ	不明	280	192
1333	RD210埋土中位	深鉢	胴~底	LR横	ミガキ	不明	280	192
1334	RD210埋土中位	深鉢	口~胴	口:4単位波状 口唇と頸に隆帯が波頂部から垂下 する隆帯と連結 LR圧痕 胴:LR横	ミガキ	円筒上層a	280	192
1336	RD211埋土中位	壺	口~底	算盤珠状 無文 隆帯を4本垂下させ、胴半ばの横位 隆帯と連結 底:木葉痕	ナデ	後期初	280	192
1337	RD211埋土中位	台付鉢	口~底	口:折返し 2単位波状 突起部から垂直に貫通孔 無文に沈線で波頭文	ナデ	後期初	280	192
1338	RD211埋土中位	不明	把手	橋状把手部が剥落したもの	-	大木8b?	280	192
1341	RD212埋土中位	深鉢	口~底	口:折返し LR横 底:網代痕を磨消	ミガキ	不明	281	193
1342	RD212埋土中位	深鉢	口~胴	LR横 内黒	ミガキ	不明	281	193
1343	RD212埋土中位	深鉢	口~胴	口:折返し 頸部に隆帯 LR横 内黒 スス	ナデ	不明	281	193
1344	RD212埋土	深鉢	口~胴	口:折返し 無文 外面ミガキ	ミガキ	後期初	281	193
1350	RD213埋土	深鉢	胴	口:肥厚 絡条圧 頸部隆帯にも	ミガキ	円筒下層d	281	193
1351	RD214埋土	深鉢	胴	口:Lの圧痕	ナデ	円筒下層d	281	193
1352	RD214埋土	深鉢	口~胴	口:LとRの圧痕 頸部刺突列 胴:結束1 繊維	ナデ	円筒下層d	281	193
1353	RD214埋土	深鉢	胴	口:やや内湾 沈線で弧状と直線	ナデ	大木7a	281	193
1354	RD214埋土	深鉢	胴	口:沈線で波状	ナデ	大木7a	281	193
1358	RD215埋土	粗製深鉢	口~胴	口:折返し LR横 胴:LR縦と横 スス付着		不明	282	193

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写図
1366	RD216埋土中位	深鉢	胴～底	LR横	ナデ	不明	282	193
1367	RD218埋土中位	深鉢	底	底部際までLR横を施文 底：上げ底気味	ナデ	後期初?	282	193
1368	RD218埋土	深鉢	口～胴	口：沈線で縦と横 胴：R横 繊維	ミガキ	前期	282	193
1369	RD218埋土	深鉢	口～胴	口：折返し 無文	ナデ	後期	282	193
1371	RD221埋土上位	深鉢	口～底	口：突起部から隆帯垂下し頸部隆帯に接する 口唇部隆帯 LR圧痕 胴：LR横	ナデ	円筒上層a?	283	193
1372	RD221埋土下位	深鉢	胴～底	LR横と縦	ナデ	不明	283	193
1373	RD221埋土	深鉢	胴～底	LR横	ナデ	不明	283	193
1374	RD221埋土	深鉢	胴～底	L横 底：網代痕磨消	ミガキ	中期?	283	193
1377	RD222埋土	深鉢	口～底	LR?	ナデ	不明	283	193
1378	RD223埋土	深鉢	口	口：LR縦にLRの圧痕と縦に綾絡	ミガキ	中期?	283	193
1379	RD224埋土	深鉢	胴	沈線間に交互刺突 無文	ミガキ	大木8a	283	193
1382	RD227底	深鉢	胴～底	LR横	ミガキ	不明	284	194
1383	RD227埋土	深鉢	口～胴	口：上端肥厚 LR圧痕	ミガキ	円筒下層d?	284	194
1384	RD227埋土	深鉢	口～胴	口：LR横 円形刺突列	ナデ	円筒下層d?	284	194
1385	RD230埋土	深鉢	口～胴	口：肥厚 篋状工具で縦位の沈線列 胴：綾絡縦	ナデ	不明	284	194
1386	RD230埋土	深鉢	口	波状 垂下隆帯 絡条圧	ミガキ	円筒上層a	284	194
1387	RD230埋土	深鉢	胴	隆沈線による渦巻	ミガキ	大木8b	284	194
1388	RD230埋土	深鉢	口～胴	口：僅かに波状 無文 頸部括れ 胴膨らむ LR縦 スス付着	ナデ	後期?	284	194
1389	RD230埋土	深鉢	胴	三条の沈線間にRL横の縄文帯	ナデ	後期中葉	284	194
1391	RD230埋土	甕	口～胴	ヘラケズリ、内面ヘラナデ		平安?	284	194
1392	RD231埋土	深鉢	口	口：角状突起 蕨手状隆帯垂下 Lの圧痕 頂部肥厚	ミガキ	円筒上層a	284	194
1393	RD231埋土	深鉢	口～胴	口：僅かに肥厚 LR横	ナデ	不明	284	194
1397	RD234埋土	深鉢	完形	口：折返し RLR横 金雲母多	ミガキ	後期?	284	194
1398	RD234埋土	深鉢	完形	口：やや外反 LR横?	ミガキ	不明	284	194
1403	RD236埋土	深鉢	口	口：Lの圧痕	ナデ	不明	285	194
1404	RD236埋土	深鉢	胴	結束1 横 繊維	ナデ	円筒下層d?	285	194
1407	RD237埋土	深鉢	完形	口：折返し やや外反 無文 胴部に薄く縦位の沈 線?	ミガキ	後期?	286	194
1408	RD237埋土	深鉢	口～底	口：4単位の角状突起 二条の絡条圧 胴：LR横	ミガキ	不明	286	194
1409	RD237埋土	深鉢	口～胴	口：やや外反し 肥厚 LR横 下位はLR縦	ミガキ	不明	286	194
1410	RD237埋土	深鉢	胴～底	LR横	ミガキ	不明	286	194
1411	RD237埋土	浅鉢	胴～底	無文		不明	286	194
1412	RD237埋土	深鉢	胴～底	胴上半できつく外傾 底部近くでも外傾 LR横	ミガキ	不明	286	194
1413	RD237埋土	深鉢	口	口：波状 頂部から蛇行垂下隆帯 LR横に沈線で 鋸歯状と直線 金雲母	ナデ	大木7a	286	194
1414	RD237埋土	深鉢	口	口：沈線と半竹による押引	ミガキ	大木7a	286	194
1415	RD237埋土	深鉢	胴	半竹の押引 刻みをもつ隆帯	ナデ	大木7a	286	194
1416	RD237埋土	深鉢	胴	半ばで張出し 上半は無文、下半は沈線区画内にLR縦 刺突	ミガキ	最花?	286	194
1420	RD238底	深鉢	口～胴	口：やや外反し折返し気味に肥厚 LR 胴：結束1	ミガキ	不明	287	195
1421	RD238底	深鉢	口～底	口：僅かに折返す LR?	ミガキ	不明	287	195
1422	RD238埋土	深鉢	口	1897と接合 口：角状突起 LR?圧痕	ミガキ	円筒上層a	287	195
1423	RD239埋土	深鉢	口～胴	口：低い台形突起 上端と下端に三角形刻み 鋸歯 状沈線 胴：綾絡縦	ナデ	大木7a	287	195
1424	RD239埋土	深鉢	口	口：Lの圧痕 頸部に段差	ミガキ	円筒下層d?	287	195
1425	RD239埋土	深鉢	口	口：波状 頂部から蛇行垂下隆帯 LR横 鋸歯状と直線の沈線 金雲母	ナデ	大木7a	287	195
1426	RD239埋土	深鉢	口～胴	口：折返し RL横 胴：RL横 綾絡横	ミガキ	不明	287	195
1427	RD239埋土	深鉢	口	口：縦位の沈線列と刺突列	ミガキ	大木7a	287	195
1434	RD240埋土	深鉢	口～胴	口：波状 波頂部から隆帯垂下 Lの圧痕 胴：LR斜 下半 結束1	ナデ	円筒上層a?	288	195
1435	RD240埋土	深鉢	口	口：内側で段差 鋸歯状沈線と刻み列 頸部突帯 胴：LR横	ナデ	大木7a	288	195
1436	RD243埋土	深鉢	胴～底	胴：RL縦 底 網代痕 スス付着		不明	288	195
1438	RD245埋土中位	深鉢	口～底	口：強く張出し内湾し上端でやや外反 上端に一对 の突起と刺突 沈線 胴：LR横	ミガキ	大木7a	289	195
1440	RD246埋土	深鉢	口～胴	口：波状 LR縦 沈線で曲線文	ナデ	後期初	289	195
1442	RD247底	深鉢	口～胴	口：横位のLR圧痕 LR横 4単位の短棒状貼付 胴：下半で膨らむ 綾絡横 金雲母	ミガキ	不明	289	195
1443	RD247埋土	深鉢	胴～底	LR横	ナデ	不明	289	195

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
1444	RD247埋土	深鉢	口	口：波状頂部から蛇行垂下隆帯 RL圧痕 緩く外傾し内湾	ナデ	大木7a	289	195
1448	RD249埋土	深鉢	口～胴	口：上下端に隆帯 絡条圧 胴：LR横	ナデ	円筒上層a?	289	195
1449	RD249埋土	深鉢	口	口：突起 頂部から蛇行隆帯垂下 沈線を斜	ナデ	大木7a	289	195
1450	RD249埋土	深鉢	底	粗い網代痕 胴に綾絡縦	ナデ	中期	289	195
1451	RD250埋土	深鉢	胴～底	RL縦? 外面ミガキ	ミガキ	不明	290	195
1452	RD250埋土	深鉢	口～胴	口：外傾 絡条圧 頸部括れ 胴上半、強く張出し 結束1?	ナデ	円筒下層d	290	195
1453	RD250埋土	深鉢	口	口：沈線で鋸歯状と直線 頸部隆帯	ミガキ	大木7a	290	195
1454	RD250埋土	深鉢	口～胴	口：上部に刻みをもつ突起 弧状隆帯 Lの圧痕 頸部隆帯に刻み 胴：綾絡縦	ミガキ	大木7a	290	195
1455	RD250埋土	深鉢	口	口：内側肥厚 横位と縦位の平行沈線 やや内湾	ナデ	大木7a	290	195
1456	RD250埋土	深鉢	口～胴	口：折返部無文 Lの圧痕を横位と鋸歯状 頸部段差 胴：綾絡縦	ナデ	大木7a	290	195
1457	RD251埋土	深鉢	口	口：二又突起 頂部から垂下隆帯 篋状工具での 刺突列	ミガキ	円筒上層a	290	196
1458	RD251埋土	深鉢	口～胴	口：絡条圧 頸部隆帯に刺突列 胴：未完の補修孔 金雲母多	ミガキ	円筒下層d	290	196
1460	RD252埋土	小型深鉢	口～底	口：折返し 波状? LR横	-	後期?	290	196
1461	RD252埋土	深鉢	胴	頸部隆帯上にRの圧痕 胴：LR横	ミガキ	中期?	290	196
1462	RD252埋土	深鉢	口	口：小突起に鉢巻状貼付 折返し LR横 頸部括れ 胴：張出し	ナデ	不明	290	196
1464	RD253埋土	蓋	蓋	切断土器 切断部に連続する凹凸	ナデ	後期初	291	196
1465	RD253底	深鉢	胴～底	RL縦 底：木葉痕(笹葉)	ナデ	後期初	291	196
1466	RD253埋土	深鉢	口～胴	口：網目状絡条圧 頸部隆帯 胴：木目状縦 繊維	ミガキ	円筒下層d	291	196
1467	RD253埋土	鉢?	口～胴	口：内側に肥厚 太い沈線 LR横 胴部膨らむ	ナデ	不明	291	196
1470	RD254埋土	深鉢	口～胴	口：絡条圧 頸部隆帯 胴：木目状 繊維 口唇部にも施文	ミガキ	円筒下層d	291	196
1471	RD257埋土	深鉢	口～胴	口：波状 渦巻状貼付 平行沈線 頸部括れ 隆帯上に 刻列 胴：三条一対の綾絡縦	ナデ	大木7a	291	196
1472	RD257埋土	深鉢	口～胴	口：小突起 刺突 胴：綾絡縦	ミガキ	大木?	291	196
1473	RD257埋土	深鉢	口	口：波状 鋸歯状沈線 頸部隆帯上に指頭圧痕	ナデ	大木7a	291	196
1475	RD258埋土	深鉢	胴～底	二条一対の沈線で小波状垂下 及び縦 横 斜の沈線	ナデ	中期?	291	196
1476	RD258埋土	深鉢	口～胴	口：外傾 LR横 頸部括れ 太い沈線 胴半ばで張る LR横	ナデ	不明	291	196
1477	RD258埋土	深鉢	口～胴	口：LとRの圧痕 外反頸部括れ隆帯上に刺突列 胴：結束1横 繊維 口唇に刻み	ミガキ	円筒下層d	292	196
1478	RD258埋土	深鉢	口～胴	口：Lの圧痕 頸部隆帯に刺突列 胴：木目状縦 繊維	ナデ	円筒下層d	292	196
1479	RD258埋土	深鉢	口～胴	口：無文帯 胴：RL縦に沈線	ミガキ	大木8a	292	196
1480	RD258埋土	深鉢	胴	頸部隆帯に指頭圧痕 胴：綾絡縦	ミガキ	大木7a?	292	196
1481	RD258埋土	深鉢	底	木葉痕(笹葉) 内黒色(スス?)		不明	292	196
1494	RD262埋土	深鉢	口～胴	口：やや外反 折返しを上段に LR横	ミガキ	不明	293	197
1501	RD266埋土	深鉢	口～胴	口：外傾 小突起 頂部から隆帯垂下 頸部太い沈線 でえぐる LR横	ミガキ	中期?	293	197
1502	RD266埋土	深鉢	口～胴	口：絡条圧 頸部隆帯に刺突列 胴：木目状	ミガキ	円筒下層d	293	197
1503	RD266埋土	深鉢	口	口：LR圧痕 頸部刺突列	ナデ	円筒下層d	293	197
1504	RD266埋土	深鉢	口～胴	口：絡条圧 一部縦位も 頸部隆帯 斜の刻み列 胴：結束1横	ミガキ	円筒下層d	293	197
1505	RD266埋土	深鉢	口	口：LR圧痕 垂下隆帯 頸部に段差	ミガキ	円筒上層a?	293	197
1506	RD266埋土	深鉢	口	口：折返し 内湾 無文 三日月状貼付	ミガキ	不明	293	197
1507	RD266埋土	粗製深鉢	口～胴	LR横	ナデ	不明	294	197
1509	RD270埋土	深鉢	口	沈線間にRL横	ナデ	後期初	294	197
1510	RD270埋土	深鉢	口	口唇部刻み 貫通孔をもつ突起 無文に沈線 朱の跡	ナデ	後期初	294	197
1511	RD270埋土	深鉢	口～胴	口：折返し 肩が張る 無文	ナデ	不明	294	197
1513	RD271埋土	深鉢	口	口：隆帯とRの圧痕	ナデ	円筒上層a?	294	197
1514	RD271埋土	深鉢	口	口：ドーナツ状突起から隆帯垂下 LR横	ナデ	大木7a	294	197
1519	RD272埋土	深鉢	口～胴	平行沈線間に刻列 ボタン状貼付 橋状取手 頸部隆帯に三角状刻列 胴：綾絡縦	ミガキ	大木7a	295	197
1520	RD272埋土	深鉢	口～胴	縦位の綾絡	ミガキ	中期?	295	197
1521	RD272埋土	深鉢	口～胴	口：絡条圧 頸部隆帯に刺突列 胴：木目状 口唇部にも施文	ナデ	円筒下層d	295	197
1522	RD272埋土	深鉢	口～胴	口：絡条圧 口唇部にも 胴：木目状縦 繊維	ナデ	円筒下層d	295	197

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
1523	RD272埋土	深鉢	口～胴	口：波状 内側肥厚 頂部からX字状隆帯 横位沈線と半竹の押引 胴：綾絡縦	ミガキ	大木7a	295	197
1524	RD272埋土	深鉢	口	口：波状 やや内湾 頂部から垂下隆帯 半竹刺突列	ミガキ	大木7a	295	197
1526	RD273埋土	深鉢	胴	口：LR圧痕 頸部隆帯上に刺突 胴：結束1	ナデ	円筒上層a?	295	197
1527	RD273埋土	深鉢	口	口：Lの圧痕 内湾気味 頸部に段差 繊維少	ミガキ	円筒下層d?	296	197
1528	RD273埋土	深鉢	口	口：Lの圧痕 頸部段差 繊維少 1527と同一個体? 補修孔未完	ミガキ	円筒下層d?	296	197
1529	RD273埋土	深鉢	口	口：波状 上端に刻み列 LRを斜に圧痕 頸部刺突列 1533と接合	ミガキ	大木7a	296	197
1530	RD273埋土	深鉢	口	口：Rの圧痕 頸部縦位R圧痕列	ナデ	中期初	296	197
1531	RD273埋土	深鉢	口～胴	口：外傾 突起 頂部より垂下隆帯 鼓状貼付 LR圧痕 胴：張出し,下半でしまる 綾絡横	ミガキ	大木7a	296	197
1532	RD273埋土	深鉢	口	口：突起 頂部から隆帯垂下 上下端にLR横 中間はLR圧痕	ミガキ	中期初	296	197
1533	RD273埋土	深鉢	口	口：上端刻み列 LR圧痕 一条渦巻 貼付をもつ 1529と接合	ミガキ	大木7a	296	198
1534	RD273埋土	深鉢	口	口：Lの圧痕 口唇部にも		中期初	296	198
1535	RD273埋土	深鉢	口	中空突起 刻みをもつ隆帯を渦巻 鋸歯状におく 三角形状刻み	ナデ	大木7a	296	198
1536	RD273埋土	深鉢	口	口：内側に薄く折返し 緩い波状? 無文に横位沈線と隆帯 隆帯上に刻み列	ナデ	大木7a	296	198
1537	RD273埋土	深鉢	口	口：波状、刻みをもつ隆帯を円、垂下弧状に配置 楯目状沈線	ナデ	大木7a	296	198
1543	RD276埋土	深鉢	胴～底	0段多条?	ミガキ	不明	297	198
1544	RD276埋土	深鉢	胴～底	LR横	ナデ	不明	297	198
1545	RD276埋土	深鉢	口	口：RL圧痕 頸部段差	ナデ	円筒下層d	297	198
1546	RD276埋土	深鉢	口	口：上端に縦位刻み列 その下は横位の沈線	ナデ	大木7a	297	198
1548	RD278埋土	深鉢	口	口：角状突起 Rの圧痕をもつ隆帯 LとRの圧痕	ミガキ	円筒上層a	297	198
1549	RD278埋土	深鉢	口～胴	口：斜の沈線と弧状の隆帯 頸部隆帯とともに刻み列 胴：綾絡縦	ミガキ	大木7a	297	198
1550	RD278埋土	深鉢	口	口：二山突起下に弧状貼付、直下に蛇行垂下隆帯 結束1横	ミガキ	大木7a	297	198
1551	RD278埋土	深鉢	口	口：突起部から二条の垂下隆帯 LRの圧痕	ミガキ	円筒上層a?	297	198
1557	RD280埋土	深鉢	口	口：沈線による変形I字文	ナデ	砂沢式	298	198
1561	RD282埋土	深鉢	口～胴	口：刺突列をもつ隆帯で長楕円区画 沈線で渦巻を連続 胴：綾絡縦	ミガキ	大木7a	298	198
1562	RD282埋土	深鉢	口～底	口：折返し 無文 底：木葉痕(笹葉)	ナデ	後期初	298	198
1563	RD282埋土	深鉢	口～胴	LR縦	ナデ	不明	298	198
1566	RF09埋土	粗製深鉢	口～底	LR縦 底：木葉痕	ナデ	後期初	299	199
1570	RF15	台付鉢	台	無文に沈線	-	後期初	299	199
1571	RF15	深鉢	口	口：やや内湾 上端に隆帯を鋸歯状に貼付 半竹の押引	ナデ	大木7a	299	199
1572	RF22	深鉢	口	角状突起 無文	ナデ	後期初	299	199
1573	RF22	壺?	胴	無文に隆帯で方形区画 隆帯上に押圧 朱の跡	ナデ	後期初	299	199
1578	RF36	深鉢	口	口：折返し上にLの圧痕列 下はLRの圧痕	ナデ	大木7b?	300	199
1579	RF36	深鉢	口	口：やや内湾 小突起 沈線で渦巻文 LR縦	ミガキ	大木8b	300	199
1580	RF36	深鉢	口～胴	内湾 RLR縦	ナデ	不明	300	199
1581	RF38	粗製深鉢	口～底	RLR縦 貫通孔 底：沈線	ミガキ	不明	300	199
1583	RF42	深鉢	口	LR横	ナデ	不明	301	199
1586	RF46	深鉢	口～胴	口：突起? 二条の隆帯垂下 幅広の折返し LR横にLRの圧痕を鋸歯状に 胴：LR横	ナデ	不明	301	199
1587	RF46	深鉢	口	口：狭少な無文帯 RLRに隆沈線	ミガキ	大木8b	301	199
1588	RF47	深鉢	胴	RL縦 火熱を受けた跡	ナデ	後期初?	301	199
1589	RF47	深鉢	口	口：RL圧痕 垂下隆帯	ミガキ	円筒下層d?	301	199
1590	RF49	深鉢	口～胴	口：内湾 LR縦	ナデ	不明	301	199
1592	RF54	深鉢	口	頸部 く字状に括れ 橋状把手 蛇行垂下沈線	ナデ	大木7a	301	199
1598	RF59	深鉢	口～胴	口：小波状 垂下隆帯 LRとRL圧痕 胴：結束1横	ミガキ	円筒上層a	302	199
1599	RF59	深鉢	胴～底	結束1横	ナデ	円筒上層a	302	199
1600	RP01 埋設土器	深鉢	胴～底	頸部 絡条圧と原体圧痕をもつ隆帯 胴：0段多条(LR)	ナデ	円筒上層a?	303	200
1601	RP03 埋設土器	深鉢	胴～底	RLR横 底：網代痕 磨消	ミガキ	中期初	303	200
1602	RP04 埋設土器	深鉢	胴	綾絡縦	ミガキ	中期?	303	200
1603	RP05 埋設土器	深鉢	口～底	口：刻みをもつ垂下隆帯で4単位区画 横位沈線間に縦位沈線列 胴：綾絡 砂多	ナデ	大木7a	303	200



番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
1604	RH01	甕	口～胴	内外面ヨコナデ、ヘラナデ		平安	304	200
1605	RH01	甕	胴～底	内外面ヘラナデ		平安	304	200
1606	RH01	甕	口～胴	内外面ヨコナデ、ヘラナデ		平安	304	200
1607	RH01	甕	口～胴	内外面ヨコナデ、ヘラナデ		平安	304	200
1608	RH01	須恵器甕	胴	たたき目		平安	304	200
1615	PP126	深鉢	口～胴	口：波状外反 沈線で斜と鋸歯状 頂部から隆帯垂下 頸部隆帯上に刻列 胴：綾絡縦	ナデ	大木7a	305	200
1616	PP126	深鉢	口	口：やや外反 沈線区画内にRL縦	ナデ	大木9	305	200
1617	PP126	深鉢	口	口：やや外反 沈線区画内にRLR縦	ナデ	大木9	305	200
1618	PP130	ミニチュア	口～底	口：きつく外反 無文		不明	305	200
1619	PP133	粗製深鉢	口～底	口：小波状外反 LR斜 底：網代痕	ナデ	後期初	305	200
1620	PP133	深鉢	口	口：折返し上にLR横 直下無文帯 胴：LR圧痕の 下にLR横	ナデ	後期初	305	200
1621	PP133	壺？	胴	RL縦 隆沈線で方形区画 交点にボタン状貼付	ナデ	後期初	305	200
1623	PP141	浅鉢？	口	渦巻状突起 円孔 RL縦 細い隆帯	ミガキ	大木8a	305	200
1627	PP256	深鉢	口～胴	頸部隆帯上に刺突列 結束1横 繊維有 口：上端 LR横 Lの圧痕	ミガキ	円筒下層d	306	200
1630	PP420	深鉢	口	口：撚糸文 原体圧痕 頸部刺突列 繊維有	ミガキ	円筒下層d	306	200
1634	PP531	深鉢	口～胴	口：横位と波状の平行沈線 垂下する二条の隆帯と 頸部隆帯に刺突 胴：綾絡縦	ナデ	大木7a	306	200
1635	PP532	深鉢	口～胴	口：上端LR横 垂下隆帯二条間にボタン状貼付 絡条圧 胴：LR横	ナデ	円筒上層a?	306	200
1636	PP532	深鉢	口～胴	口：絡条圧 頸部隆帯 胴：綾絡横 繊維少	ミガキ	円筒下層d?	306	200

第4表 遺構内石器観察表

( ) 数値は残存値、半円状石器：半円状扁平打製石器

番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	分類	備考	図版	写真
11	RA02	石鏃	2.6	1.6	0.6	1.82	珪質頁岩	II-1		150	150
12	RA02	尖頭器	3.8	3.4	0.8	10.37	頁岩			150	150
13	RA02	石槍	7.8	2.5	1.1	20.68	頁岩			150	150
14	RA02	削搔器	3.5	2.5	0.8	5.89	頁岩	I-2		150	150
15	RA02	半円状石器	14.1	4.9	1.9	235	砂岩			150	150
31	RA03	石鏃	4.9	2.1	0.9	7.87	頁岩	III		152	150
32	RA03	石匙?	(4.9)	4.0	1.5	23.9	頁岩	I-1?	欠損	152	150
33	RA03	石槍	(3.9)	3.2	1.3	15.91	頁岩		欠損	152	150
34	RA03	削搔器	4.4	3.3	1.1	11.5	頁岩	I-2?		152	150
35	RA03	削搔器	3.5	2.4	1.2	8.82	頁岩	V		152	150
36	RA03	磨石	10.2	8.4	1.4	206.5	砂岩			152	150
37	RA03	磨石	7.3	6.9	4.1	291.5	安山岩			152	150
59	RA04下位	石鏃	(2.8)	1.9	0.5	2.76	頁岩	IV	欠損	154	151
60	RA04中～下位	石匙	5.2	1.9	0.6	3.92	頁岩	I-1		154	151
61	RA04上～中位	石匙	8.3	4.0	1.1	21.31	頁岩	I-1		154	151
62	RA04床上 NO1	台石<敵>	(36.9)	14.9	12.7	12.9K	花崗閃緑岩			154	151
63	RA04上～中位	磨製石斧	10.2	5.3	3.0	260.6	砂岩			154	151
64	RA04下位	磨製石斧	(6.9)	4.6	2.6	130.8	ひん岩			154	151
65	RA04下位	凹石	(12.6)	5.5	3.6	299.9	砂岩			155	151
66	RA04上～中位	石皿	7.8	5.9	3.2	97	安山岩(溶岩)			155	151
67	RA04下位	磨石	8.6	5.0	3.9	241.4	アブライト(半花崗岩)			155	151
88	RA05	石匙	7.2	4.1	1.5	31.68	頁岩	I-1		157	152
89	RA05炉周辺	石錐	2.6	1.5	0.4	1.1	頁岩	I		157	152
90	RA05下位	削搔器	(3.4)	3.4	1.1	9.64	頁岩	IV	欠損	157	152
91	RA05床上	尖頭器	5.8	3.3	0.9	19.67	砂質頁岩			157	152
92	RA05床上	磨石	(9.6)	5.7	4.3	332.4	安山岩(溶岩・岩脈)		欠損	157	152
93	RA05床上	凹石	9.1	9.6	4.6	590.2	角礫岩			157	152
94	RA05床上	敵石	12.6	6.0	4.1	445.3	砂岩?			157	152
98	RA06北西	削搔器	3.6	(3.0)	0.6	4.52	頁岩	I-3 B	欠損	157	152
128	RA07上～中	石鏃	(3.2)	1.9	0.6	3.12	頁岩	I-2	欠損	160	153
129	RA07床上	尖頭器	5.4	2.3	1.5	12.56	頁岩			160	153
130	RA07西上位	削搔器	1.7	3.7	0.4	1.76	黒曜石	I-2		160	153
131	RA07中位	削搔器	5.5	4.0	1.3	21.11	珪質頁岩	I-1		160	153
132	RA07中位	削搔器	5.2	4.0	1.2	14.93	頁岩	I-1		160	153
133	RA07下位	削搔器	4.6	5.2	1.3	21.9	頁岩	I-1		160	153
134	RA07中～下位	削搔器	4.8	3.8	0.9	14.47	頁岩	II-2		160	153
135	RA07下位	磨石	10.7	9.2	6.8	961	安山岩(溶岩・岩脈)			160	153
136	RA07東炉石	凹石	16.4	9.3	6.9	1410	安山岩(溶岩・岩脈)			160	153
189	RA08床上	石鏃	(2.3)	1.8	0.5	1.63	頁岩	IV	欠損	166	156
190	RA08床上	石鏃	(2.4)	1.2	0.4	0.65	珪質頁岩	I-2	欠損	166	156
191	RA08上～中位	石匙	6.5	3.5	1.9	19.18	頁岩	I-1		166	156
192	RA08上～中位	石錐	3.7	2.3	0.6	1.98	頁岩	I	欠損	166	156
193	RA08複式炉周辺	削搔器	2.4	3.2	0.9	5.53	珪質頁岩	II?		166	156
194	RA08中～下位	削搔器	6.8	3.9	1.4	22.46	頁岩	I-3		166	156
195	RA08中位	削搔器	5.6	2.0	1.5	12.14	頁岩	I-1 B		166	156
196	RA08P3	削搔器	3.7	3.2	1.0	11.01	珪質頁岩	I-2		166	156
197	RA08上位	磨製石斧	(5.8)	5.6	2.4	120.4	閃緑岩(細粒)		欠損	166	156
198	RA08上位	磨製石斧	(5.9)	3.6	2.4	75	砂岩		欠損	166	156
199	RA08上～中位	磨製石斧	6.3	1.7	1.0	18.3	砂岩?			166	156
200	RA08	磨製石斧	4.7	2.7	0.9	18	砂岩			166	156
201	RA08複式炉石	凹石	13.3	6.3	2.4	300.5	砂岩?			166	156
202	RA08上～中位	磨石	(7.5)	6.7	3.7	189	砂岩?		欠損	166	156
203	RA08中位	台石<磨>	38.5	8.9	9.7	7000	花崗閃緑岩(中粒)			167	156
204	RA08下位	石皿	(8)	9.3	5.7	433	安山岩(溶岩)		欠損	167	156

番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	分類	備考	図版	写図
205	RA08中位	石皿	(10.9)	(10.7)	4.4	805	凝灰岩		欠損	167	156
206	RA08	砥石	(6)	(6.9)	3.7	89.5	安山岩(溶岩)		欠損	167	156
214	RA09北東	削搔器	3.3	5.2	1.3	11.66	頁岩	I-1		168	156
215	RA09北東	磨製石斧	5.5	4.1	1.7	61.8	砂岩?			168	156
216	RA09	磨製石斧	10.4	4.7	3.0	250.6	砂岩?			168	156
221	RA10	石鏃	5.0	1.6	1.0	4.15	頁岩	II-1		168	157
222	RA10	石棒	(17.6)	6.5	5.1	964	石英安山岩		欠損	168	157
248	RA13	石鏃	4.2	1.5	0.6	2.61	頁岩	II-3		172	158
249	RA13上位	石鏃	(4.2)	1.6	0.8	4	頁岩	II-3	欠損	172	158
250	RA13	石鏃	4.9	1.7	0.7	4.25	頁岩	II-1		172	158
251	RA13	石匙	3.2	4.7	0.7	10.75	頁岩	II-1		172	158
252	RA13	石錐	4.8	1.9	1.1	7.94	頁岩	I		172	158
253	RA13	削搔器	5.3	5.4	1.3	29.39	珪質頁岩	I-1		172	158
254	RA13	磨石	12.7	9.5	7.2	1234.2	安山岩(溶岩・岩脈)			172	158
255	RA13上位	敲石	14.7	5.5	3.6	670	花崗閃緑岩(細粒)			172	158
260	RA14中～下位	磨石	(8.5)	(8.1)	3.3	370.7	斑禰岩		欠損	173	158
261	RA14炉石	凹石	21.4	8.5	4.8	1360.2	礫岩			173	158
276	RA15P2	削搔器	5.4	3.9	0.9	14.07	珪質頁岩	I-2		175	158
277	RA15南東	半円状石器	15.2	6.2	3.3	368.1	ひん岩			175	158
278	RA15	凹石	11.7	9.2	6.6	980	砂岩?			175	158
279	RA15炉石	台石<磨>	46.4	14.4	12.6	14.6K	花崗閃緑岩(細粒)			175	158
290	RA16	石匙	7.7	3.1	0.9	18.31	頁岩	I-1		176	159
297	RA17	石鏃	4.2	1.9	1.0	6.27	頁岩	III		177	159
298	RA17	凹石	13.8	9.7	3.5	635	砂岩?			177	159
299	RA17炉石 !	敲石	(11.0)	10.9	3.3	780	花崗閃緑班岩(細粒)		欠損	178	159
312	RA19	石匙	8.2	2.9	0.8	13.1	頁岩	I-1		179	160
315	RA20	磨製石斧	11.5	(3.7)	2.3	133.8	砂岩		欠損	179	160
319	RA21	石錐	(6.0)	2.1	1.0	9.07	頁岩	I	欠損	179	160
326	RA22床上	石棒	31.0	9.9	8.4	4490	斑禰岩			180	160
333	RA23西	石鏃	2.9	1.6	0.5	1.23	頁岩	I-2		180	160
334	RA23炉	石鏃	(2.4)	1.7	0.8	2.54	珪質頁岩	I-2	欠損	180	160
335	RA23炉石	半円状石器	12.8	5.9	2.8	342	砂岩?			180	160
336	RA23西	磨製石斧	3.9	1.9	0.8	10.7	頁岩			180	160
337	RA23炉石	台石<敲>	23.9	20.7	7.0	5005	砂岩?			181	160
338	RA23炉石	石皿	28.2	19.5	6.5	6000	ひん岩			181	160
339	RA23	石皿	19.2	10.2	8.1	1130	安山岩(溶岩)			181	160
349	RA27炉石	凹石	13.7	8.6	6.1	1089	安山岩(溶岩・岩脈)			182	161
359	RA28南西	石鏃	2.2	1.4	0.3	0.5	頁岩	I-2		183	161
360	RA28南東	石鏃	(3.8)	1.7	0.8	3.82	頁岩	II-3	欠損	183	161
361	RA28南西	石鏃	3.7	1.1	0.9	2.98	頁岩	II-3		183	161
366	RA29	磨製石斧	8.4	4.8	2.2	162.8	砂岩			184	161
384	RA31	石鏃	(1.5)	1.3	0.2	0.35	頁岩	I-2	欠損	185	162
385	RA31	石鏃	2.8	1.9	0.6	2.4	珪質頁岩	I-2		185	162
386	RA31	石匙	5.9	8.4	1.6	31.29	頁岩	II-1		186	162
387	RA31	削搔器	5.5	2.4	1.1	10.05	頁岩	I-1 A		186	162
388	RA31	削搔器	3.5	7.2	1.2	16.15	頁岩	I-3		186	162
389	RA31	凹石	11.8	8.2	6.1	730	安山岩(溶岩・岩脈)			186	162
390	RA31	凹石	11.3	9.1	7.9	1200	安山岩(溶岩・岩脈)			186	162
391	RA31	台石<敲>	27.1	30.4	6.1	7800	花崗閃緑岩(細粒)			186	162
401	RA32ベルト	石鏃	2.7	1.0	0.5	1.06	頁岩	III		187	163
402	RA32ベルト	石鏃	(3.5)	1.6	0.5	2.38	頁岩	II-3	欠損	187	163
403	RA32	石鏃	(4.1)	1.7	0.7	3.59	頁岩	II-1	欠損	187	163
413	RA35南	石鏃	3.8	1.0	0.7	2.34	頁岩	III		188	163
414	RA35	石鏃	(2.2)	1.5	0.5	1.52	頁岩	II-1	欠損	188	163
415	RA35南	石鏃	3.3	1.9	0.9	4.85	頁岩	IV		188	163
416	RA35	石鏃	(3.9)	2.2	0.7	5.87	頁岩	III	欠損	188	163

番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	分類	備考	図版	写図
417	RA35	石鏃	2.6	1.6	0.5	1.7	頁岩	II-1		188	163
418	RA35	石鏃	(3.0)	1.3	0.6	2.07	頁岩	II-3	欠損	188	163
419	RA35	石鏃	(2.6)	1.7	0.5	1.64	頁岩	II-3	欠損	188	163
420	RA35	石鏃	2.6	1.3	0.6	1.64	頁岩	II-3		188	163
421	RA35	尖頭器	4.8	2.0	1.1	8.26	頁岩			188	163
422	RA35	尖頭器	6.5	1.2	0.9	22.12	頁岩			188	163
423	RA35	削搔器	4.3	2.3	0.5	4.61	頁岩	I-2 A		188	163
424	RA35	削搔器	2.9	1.6	0.5	3.02	頁岩	III		188	163
425	RA35	削搔器	4.8	3.4	1.5	15.23	頁岩	I-3		189	163
426	RA35	削搔器	6.2	2.8	1.3	16.59	頁岩	I-1		189	163
427	RA35	削搔器	(2.7)	2.9	0.9	5.32	頁岩	I-2	欠損	189	163
433	RA38	石匙	(3.8)	4.5	0.9	9.33	頁岩	II-1	欠損	189	163
434	RA38床	磨製石斧	12.6	4.9	2.7	299.3	閃緑岩(細粒)			189	163
435	RA38	半円状石器	(10.7)	6.2	2.6	249.2	ホルンフェンス		欠損	189	163
445	RA42	石槍	11.0	2.3	1.3	29.51	頁岩			191	164
449	RA43	石錐	(2.2)	(2.1)	0.4	2.13	頁岩	I?	欠損	191	164
450	RA43P2	削搔器	(3.9)	1.9	0.4	2.56	頁岩	I-3	欠損	191	164
452	RA43	敲石	9.0	4.1	1.9	89.2	頁岩			191	164
475	RA44	石槍	12.9	3.1	1.8	72.31	頁岩			193	165
476	RA44	尖頭器	3.7	2.1	0.7	4.92	頁岩			193	165
477	RA44	削搔器	6.0	3.4	1.2	17.07	頁岩	I-1		193	165
478	RA44	削搔器	3.9	3.1	0.9	11.32	頁岩	I-3		194	165
479	RA44	削搔器	4.7	3.6	1.1	22.94	頁岩	I-3		194	165
480	RA44	削搔器	5.3	5.7	1.4	27.43	頁岩	I-2		194	165
481	RA44	削搔器	5.6	3.9	1.1	14.38	頁岩	I-2 A		194	165
482	RA44	敲石	8.1	4.5	2.6	141	砂岩			194	165
483	RA44	石皿	(12.4)	(9.0)	3.4	286.8	凝灰岩		欠損	194	165
484	RA44	石棒	(12.8)	6.9	6.0	1010	砂岩		欠損	194	165
485	RA44	砥石	(5.1)	7.2	2.5	68.4	安山岩(溶岩)		欠損	194	165
486	RA44焼土	砥石	6.5	5.5	2.8	37.8	安山岩(溶岩)			194	165
487	RA44	石皿	35.5	24.2	7.8	5040	凝灰岩			195	165
494	RA46	石匙	5.7	5.4	1.7	31.81	頁岩	II-1		196	166
495	RA46	削搔器	7.3	6.3	2.2	82.6	頁岩	I-1		196	166
496	RA46	削搔器	4.7	3.2	0.6	10.84	頁岩	I-2 C		196	166
497	RA46	削搔器	5.3	3.1	0.8	10.63	頁岩	I-2		196	166
498	RA46	削搔器	4.8	4.4	1.3	16.88	頁岩	I-1		196	166
499	RA46	削搔器	6.3	3.7	1.5	20.03	頁岩	I-2		196	166
500	RA46	磨製石斧	(5.6)	3.9	2.4	83.7	閃緑岩(細粒)		欠損	196	166
501	RA46	磨製石斧	(9.9)	4.6	2.8	223	閃緑岩(細粒)		欠損	196	166
502	RA46	磨製石斧	18.3	6.2	3.8	673.2	砂岩			196	166
513	RA47	石鏃	3.7	(2.5)	0.4	3.84	頁岩	I-2	欠損	197	166
514	RA47	石鏃	3.3	1.8	0.8	4.03	頁岩	II-3		197	166
515	RA47	尖頭器	(2.9)	(2.1)	0.6	3.1	頁岩		欠損	197	166
516	RA47	削搔器	3.0	4.0	1.4	18.53	頁岩	II		197	166
517	RA47	削搔器	(1.5)	(3.1)	0.7	2.45	珪質頁岩	IV	欠損	197	166
527	RA48炉前庭部	削搔器	3.1	2.6	0.7	3.59	頁岩	II		198	166
528	RA48	磨製石斧	(10.1)	4.7	2.4	191.1	砂岩		欠損	198	166
529	RA48炉前庭部	敲石	7.6	3.0	1.9	68	閃緑岩(細粒)			198	166
587	RA49	石鏃	2.7	1.8	0.7	2.07	頁岩	IV		202	168
588	RA49南	石鏃	4.2	1.6	0.6	2.79	頁岩	II-1		202	168
589	RA49	石鏃	4.2	2.0	1.0	5.31	頁岩	II-3		202	168
590	RA49東	尖頭器	4.5	2.4	1.1	9.56	頁岩			202	168
591	RA49	石錐	6.4	0.7	0.8	3.33	頁岩	II		202	168
592	RA49	尖頭器	3.7	2.2	1.0	4.97	頁岩			202	168
593	RA49西	尖頭器	3.3	3.0	1.0	7.05	頁岩			202	168
594	RA49	尖頭器	3.9	2.3	1.1	7.05	頁岩			202	168

番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	分類	備考	図版	写図
595	RA49北	削搔器	3.8	1.7	1.1	4.74	頁岩	I-1		202	168
596	RA49	削搔器	2.3	1.3	0.6	1.54	頁岩	I-2 A		202	168
597	RA49	削搔器	(2.5)	1.7	0.7	2.6	頁岩	IV	欠損	202	168
598	RA49	削搔器	6.5	5.9	1.3	28.19	頁岩	I-2		202	168
599	RA49	削搔器	4.9	3.4	1.3	16.1	頁岩	I-2		202	168
600	RA49	削搔器	4.5	3.1	1.1	13.18	頁岩	I-1		202	168
601	RA49	削搔器	4.4	3.3	0.7	6.73	頁岩	I-1 A		202	168
602	RA49南	磨製石斧	5.7	4.3	1.5	65.5	輝緑凝灰岩			203	168
603	RA49	磨石	7.1	6.8	4.8	227.9	安山岩(溶岩)			203	168
604	RA49	磨石	8.1	6.9	4.3	367.3	砂岩			203	168
605	RA49	凹石	(11.9)	(6.6)	3.1	309.5	砂岩		欠損	203	168
606	RA49	凹石	15.8	7.8	4.6	940	砂岩			203	168
607	RA49東	石棒	(28.4)	12.3	10.4	6020	石英安山岩		欠損	203	168
608	RA49	石棒	(11.2)	11.5	11.2	2370	石英安山岩		欠損	203	168
616	RA50	砥石	8.3	6.4	3.4	148	安山岩(溶岩)			204	169
710	RA51	石鏃	2.8	1.6	0.3	0.81	頁岩	I-2		215	172
711	RA51南側	石鏃	2.1	1.5	0.2	0.53	頁岩	I-2		215	172
712	RA51ベルト	石鏃	3.2	1.7	0.7	2.56	頁岩	I-1		215	172
713	RA51	石鏃	3.5	1.2	0.5	1.57	頁岩	IV		215	172
714	RA51	石鏃	(3.7)	1.8	0.6	3.04	頁岩	II-1	欠損	215	172
715	RA51南側	石鏃	(3.3)	1.8	0.8	3.72	頁岩	II-1	欠損	215	172
716	RA51	石鏃	(3.6)	1.5	0.5	2.99	頁岩	II-3	欠損	215	172
717	RA51	石鏃	3.3	1.6	0.8	3.05	頁岩	II-3		215	172
718	RA51	石鏃	3.8	1.6	0.9	4.75	頁岩	II-3		215	172
719	RA51	石鏃	(4.0)	1.8	0.5	2.97	頁岩	II-3	欠損	215	172
720	RA51南側	石鏃	3.2	1.6	0.7	2.45	頁岩	II-3		215	172
721	RA51	石鏃	(2.9)	1.5	0.6	2.18	頁岩	II-3	欠損	215	172
722	RA51	石匙	3.9	7.7	1.3	23.76	頁岩	II-2		215	173
723	RA51	石匙	5.6	2.9	1.3	14.51	頁岩	I-1		215	173
724	RA51	石匙?	(5.1)	2.9	1.4	17.14	頁岩	I-1		215	173
725	RA51南側	石匙	7.4	5.5	1.7	42.99	頁岩	I-1	欠損	215	173
726	RA51	尖頭器	1.8	2.4	0.9	2.02	頁岩			215	173
727	RA51	尖頭器	3.2	2.3	5.5	4.42	頁岩			215	173
728	RA51	尖頭器	4.1	2.2	1.0	8.88	頁岩			215	173
729	RA51	削搔器	(3.1)	2.8	0.9	6.62	頁岩	I-1 A	欠損	215	173
730	RA51	削搔器	2.8	2.1	0.5	2.26	珪質頁岩	I-3		215	173
731	RA51	削搔器	5.3	(3.5)	1.5	20.15	頁岩	I-2 B	欠損	216	173
732	RA51	削搔器	4.2	3.2	1.2	19	頁岩	III		216	173
733	RA51	削搔器	4.4	2.9	1.3	13.79	頁岩	I-1		216	173
734	RA51南東	削搔器	3.5	3.0	0.9	9.79	頁岩	I-2		216	173
735	RA51	削搔器	4.8	2.5	0.9	11.01	頁岩	IV		216	173
736	RA51	削搔器	5.0	3.0	0.9	10.83	頁岩	I-1		216	173
737	RA51南	削搔器	4.2	2.4	8.5	4.05	頁岩	I-2 C		216	173
738	RA51	削搔器	4.4	1.8	0.9	3.82	頁岩	I-2 A		216	173
739	RA51	削搔器	3.5	2.2	0.6	3.9	頁岩	I-3		216	173
740	RA51	削搔器	8.1	5.6	1.6	63.64	頁岩	I-1 A		216	173
741	RA51南東	削搔器	8.1	6.7	4.5	204.69	頁岩			216	173
742	RA51南東	削搔器	4.2	3.5	1.2	11.75	頁岩	I-2		216	173
743	RA51	磨製石斧	(6.1)	5.1	2.5	110	頁岩		欠損	217	173
744	RA51南	磨石	3.9	3.2	3.2	46.9	砂岩			217	173
745	RA51南西	磨石	(8.7)	(4.7)	5.0	272.5	砂岩		欠損	217	173
746	RA51	磨石	5.9	5.0	5.5	217.7	ひん岩			217	173
747	RA51	磨石	5.0	4.5	3.7	79.3	安山岩			217	173
748	RA51床	凹石	12.5	4.2	3.7	325.8	砂岩			217	173
749	RA51ベルト	凹石	10.3	7.5	2.7	277.2	砂岩			217	173
750	RA51	半円状石器	(7.7)	7.8	2.8	231.3	砂岩		欠損	217	173

番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	分類	備考	図版	写図
751	RA51	半円状石器	14.7	7.2	2.9	411.2	砂岩			217	174
752	RA51	半円状石器	13.0	8.2	2.8	479	輝緑凝灰岩			217	174
753	RA51	敲石	12.4	7.2	5.2	695.8	砂岩			218	174
754	RA51	石皿	(20.3)	(14.5)	6.0	2040	砂岩		欠損	218	174
755	RA51	砥石	5.3	4.3	2.0	22.6	安山岩(溶岩)			218	174
776	RA54	削搔器	3.1	2.0	0.8	4.53	頁岩	Ⅲ		220	174
777	RA54	磨石	7.9	4.5	3.2	157.2	砂岩			220	174
778	RA54	磨石	8.2	9.7	7.8	960.1	花崗斑岩			220	174
779	RA54	凹石	19.0	6.7	2.6	499	頁岩			220	174
780	RA54北西	石皿	25.4	21.2	5.3	5250	安山岩			220	174
783	RA55	磨石	11.8	9.2	2.8	391	砂岩			221	175
787	RA56	石鏃	2.3	1.8	0.4	1.21	頁岩	I-2		221	175
788	RA56炉周辺	石鏃	4.1	1.8	0.7	3.07	頁岩	II-1		221	175
789	RA56	石錐	(4.3)	3.1	1.0	10.38	頁岩	Ⅲ	欠損	221	175
790	RA56	削搔器	3.6	2.6	0.6	6.41	頁岩	I-2		221	175
791	RA56	敲石	10.0	5.4	2.3	194.2	閃緑岩(細粒)			221	175
792	RA56	敲石	18.4	12.3	4.6	1071	砂岩			221	175
819	RA57	石鏃	4.2	2.3	1.1	9.25	頁岩	Ⅲ		224	176
820	RA57	石鏃	4.1	1.5	0.8	3.95	輝緑凝灰岩	II-3		224	176
821	RA57	石鏃	5.1	1.6	1.1	6.31	頁岩	II-3		224	176
822	RA57	石鏃	3.2	1.6	0.8	3.17	頁岩	II-3		224	176
823	RA57	石鏃	(2.4)	1.6	0.4	1.2	頁岩	II-3		224	176
824	RA57ベルト	石匙	5.1	3.2	1.0	12.3	頁岩	I-1		225	176
825	RA57^ 卍	石槍	(3.3)	2.0	0.9	6.08	頁岩		欠損	225	176
826	RA57	尖頭器	4.2	1.8	0.9	5.88	頁岩			225	176
827	RA57	尖頭器	4.4	2.4	1.6	11.92	頁岩			225	176
828	RA57ベルト	削搔器	3.4	3.3	1.0	7.12	頁岩	Ⅲ A		225	176
829	RA57	削搔器	2.1	3.2	1.0	5.91	頁岩	I-2		225	176
830	RA57	削搔器	3.3	1.7	0.5	2.9	頁岩	I-2		225	176
831	RA57	削搔器	(4.5)	5.0	1.0	20.15	頁岩	I-2 B	欠損	225	176
832	RA57	磨製石斧	(12.3)	5.1	2.5	270.2	閃緑岩(細粒)		欠損	225	176
833	RA57^ 卍	磨石	3.8	3.3	3.1	58.4	砂岩			225	176
834	RA57	半円状石器	6.2	9.4	2.5	180.7	砂岩			225	176
835	RA57床	凹石	18.5	6.4	2.4	362	砂岩			225	176
836	RA57焼土	石皿	23.3	28.2	4.7	2973	安山岩(溶岩)			226	176
837	RA57	石棒	(14.6)	(10.8)	9.2	2220	石英安山岩		欠損	226	176
838	RA57	石棒	(15.7)	9.0	7.5	1720	石英安山岩		欠損	226	176
850	RA59床	石鏃	1.8	(1.1)	0.2	0.26	頁岩	I-2	欠損	227	177
851	RA59	石鏃	2.1	(1.8)	0.6	1.89	瑪瑙	I-1	欠損	227	177
852	RA59床	石鏃	(3.1)	(1.6)	0.5	2.03	頁岩	I-2	欠損	227	177
853	RA59	石鏃	4.0	1.5	0.7	3.11	頁岩	II-3		227	177
854	RA59床	石匙	(4.4)	2.6	0.4	4.2	頁岩	I-1	欠損	227	177
855	RA59	石匙?	2.8	3.6	0.9	4.52	頁岩	?		227	177
856	RA59床	削搔器	3.2	3.1	1.0	6.21	頁岩	I-1		227	177
857	RA59床	削搔器	3.0	4.6	1.5	11.17	頁岩	V		227	177
858	RA59	削搔器	3.7	3.5	0.9	14.79	頁岩	V		227	177
859	RA59P4	磨製石斧	(5.1)	4.0	2.7	86	閃緑岩(細粒)		転用	227	177
864	RA60	石鏃	(4.0)	1.7	1.0	4.91	頁岩	II-3	欠損	228	177
865	RA60	石鏃	(3.2)	1.4	0.8	2.73	頁岩	II-3	欠損	228	177
866	RA60	尖頭器	4.3	2.4	1.0	8.13	頁岩			228	177
867	RA60	尖頭器	4.2	2.6	1.0	8.83	頁岩			228	177
868	RA60	削搔器	(3.3)	3.6	0.4	5.86	頁岩	I-2	欠損	228	177
869	RA60	削搔器	(2.0)	2.3	0.5	2.93	頁岩	IV	欠損	228	177
870	RA60	削搔器	5.3	3.8	1.1	26.11	頁岩	I-1		228	177
876	RA62	削搔器	5.2	2.9	0.7	9.05	頁岩	I-2 B		228	177
877	RA62	磨製石斧	9.5	6.3	2.5	293.3	輝緑凝灰岩			229	177

番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	分類	備考	図版	写真
878	RA62	磨石	9.6	6.8	4.1	450.2	砂岩			229	177
879	RA62	敲石	9.7	7.7	4.5	481.8	砂岩			229	177
881	RA63	削搔器	4.2	1.9	0.7	4.9	頁岩	I-1		229	177
893	RA64	石鏃	2.8	1.6	0.4	1.44	頁岩	I-2		230	178
894	RA64	石鏃	(4.6)	1.6	1.0	6.15	頁岩	II-3	欠損	230	178
895	RA64	石槍	(4.7)	2.8	1.3	12.51	頁岩		欠損	230	178
896	RA64	削搔器	3.0	2.3	0.8	2.76	頁岩	IV		230	178
897	RA64	石匙	4.3	1.9	0.9	4.12	頁岩	I-1		230	178
898	RA64	削搔器	4.3	2.2	1.1	7.73	頁岩	I-2 A		230	178
899	RA64	削搔器	4.0	2.0	0.7	5.29	頁岩	I-2		230	178
900	RA64	凹石	10.5	9.2	2.6	425.8	砂岩			231	178
901	RA64	磨石	23.3	7.0	5.1	814.3	砂岩			231	178
902	RA64	磨石	11.0	5.0	2.0	166.3	砂岩			231	178
903	RA64	敲石	5.6	2.8	1.9	48.4	砂岩			231	178
904	RA64A' 卍	砥石	21.3	18.1	12.0	4400	安山岩(溶岩)			231	178
912	RA01	敲石	(8.8)	7.4	6.2	591.4	安山岩(溶岩)		欠損	232	178
918	RA12	石鏃	5.7	1.7	1.1	6.29	珪質頁岩	II-3		233	178
919	RA12床	石鏃	3.9	1.7	1.0	4.04	頁岩	II-2		233	178
920	RA12	削搔器	2.5	4.5	0.8	5.98	頁岩	I-2 A		233	178
927	RA26	削搔器	4.9	4.8	0.9	22.37	頁岩	I-1		234	179
928	RA26	台石<磨>	37.3	13.6	6.1	6900	花崗岩			234	179
938	RA36	石鏃	3.4	2.4	0.8	6.04	頁岩	II-2		235	179
939	RA36	石鏃	4.3	1.4	0.8	3.56	頁岩	II-3		235	179
940	RA36	石匙	3.4	5.0	8.5	11.66	頁岩	II-2		235	179
946	RA53カマド	石鏃	(4.2)	2.0	0.8	5.66	頁岩	II-3	欠損	236	180
947	RA53カマド	凹石	16.6	11.1	9.0	2455	閃緑岩(細粒)			236	180
958	RD014中～下位	磨石	12.9	6.7	6.0	843.3	閃緑岩			237	180
959	RD014中～下位	敲石	(10.0)	(8.3)	5.3	661.8	ひん岩		欠損	237	180
960	RD014中～下位	半円状石器	15.1	10.0	3.8	670	砂岩?			238	180
968	RD019	磨石	7.5	4.6	6.2	281.4	安山岩(溶岩・岩脈)			238	180
972	RD023	石鏃	2.2	1.1	0.3	0.51	頁岩	I-2		238	180
989	RD039	石鏃	(2.1)	1.0	0.2	0.53	珪質頁岩	II-3		240	181
996	RD040	尖頭器	8.4	1.9	1.2	17.25	頁岩			240	181
997	RD040	削搔器	6.8	5.1	1.0	13.32	頁岩	I-1 A		240	181
1019	RD045	磨石	9.8	6.5	2.6	239.4	砂岩?			244	182
1028	RD049	磨石	11.4	7.2	5.7	769	安山岩			245	182
1037	RD051	尖頭器	8.7	3.0	0.9	28.66	頁岩			245	183
1041	RD053南	環状石斧	(8.0)	(4.7)	1.7	66.8	安山岩(溶岩・岩脈)		欠損	246	183
1055	RD056	磨石	(9.3)	8.2	3.8	498.8	斑縞岩		欠損	248	183
1058	RD057	凹石	14.5	4.7	3.8	310.7	砂岩?			248	183
1063	RD058	敲石	20.5	7.5	4.6	1133	斑岩			249	183
1068	RD060下位	凹石	12.7	6.7	1.9	225.1	砂岩?			249	184
1098	RD074	砥石	13.2	10.6	1.8	259.3	砂岩?			255	185
1103	RD084	石匙	7.7	2.6	1.3	28.06	頁岩	I-1		256	185
1107	RD086	凹石	10.3	8.9	5.4	735	砂岩?			256	185
1108	RD086	台石<敲>	29.0	10.5	7.8	3228	砂岩?			256	185
1118	RD090	磨製石斧	10.4	4.1	2.5	189.7	斑縞岩			257	186
1119	RD090	磨石	10.6	5.5	2.2	159.4	砂岩?			257	186
1124	RD091	半円状石器	14.4	9.4	5.0	1062	花崗閃緑岩(粗粒)			258	186
1127	RD092上位	石皿	27.3	13.8	10.6	2280	安山岩(溶岩)			258	186
1134	RD096	凹石	16.8	4.7	2.4	320	砂岩?			259	186
1145	RD106中位	石鏃	4.8	1.6	0.8	3.47	頁岩	II-1		260	186
1146	RD106中位	石鏃	2.9	1.5	0.6	1.97	珪質頁岩	I-2		260	186
1148	RD111中位	台石<磨>	34.5	28.4	5.7	11.2K	花崗閃緑岩			260	187
1179	RD128	半円状石器	13.0	5.2	2.4	225	砂岩			265	188
1180	RD128	凹石	9.7	8.5	4.4	530	花崗閃緑岩			265	188

番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	分類	備考	図版	写図
1187	RD130	敲石	10.2	7.7	2.7	380	砂岩			266	188
1193	RD131	石鏃	3.5	1.1	0.6	2.11	頁岩	Ⅲ		267	188
1194	RD131	砥石	(5.1)	5.6	2.5	36.1	安山岩(溶岩)		欠損	267	188
1195	RD131	凹石	11.4	4.7	2.6	204.2	砂岩			267	188
1204	RD134	磨石	12.1	7.7	3.0	409.4	砂岩			268	189
1205	RD134	磨石	13.3	6.1	4.2	370.6	砂岩			268	189
1206	RD134	石皿	(6.15)	(6.2)	(3.8)	82	安山岩(溶岩)		欠損	268	189
1207	RD134	石棒	(17.2)	4.8	4.7	521	流紋岩		欠損	268	189
1213	RD137	石匙	(2.5)	4.8	1.0	6.84	頁岩	Ⅱ-1	欠損	268	189
1214	RD137	尖頭器	7.3	1.7	1.1	10.5	頁岩			268	189
1215	RD137	削搔器	9.1	3.6	0.8	23.5	頁岩	I-2 A		268	189
1221	RD139	凹石	18.3	5.2	2.5	274.3	砂岩			269	189
1222	RD139	砥石	(11.6)	11.8	3.6	261.6	安山岩(溶岩)		欠損	269	189
1232	RD143	石鏃	2.9	1.7	0.6	2.35	頁岩	I-2		270	189
1233	RD143	石鏃	3.0	2.0	0.6	3.47	頁岩	Ⅳ		270	189
1239	RD149	石鏃	2.4	1.5	0.5	1.16	頁岩	I-2		271	190
1240	RD149	石鏃	(2.9)	1.5	0.7	2.5	頁岩	Ⅱ-3	欠損	271	190
1241	RD149	尖頭器	4.6	2.3	0.9	8.35	頁岩			271	190
1242	RD149	削搔器	2.6	1.8	0.4	1.96	頁岩	I-2		271	190
1243	RD149	磨製石斧	(4.6)	4.7	2.4	72.2	閃緑岩(細粒)		欠損	271	190
1244	RD149	敲石	(9.8)	6.4	2.3	236.6	砂岩		欠損	271	190
1245	RD149	敲石	12.9	7.6	4.3	613	砂岩			271	190
1247	RD150	削搔器	6.1	3.9	1.4	26.37	頁岩	I-1		271	190
1249	RD151	敲石	16.2	9.7	3.8	581.4	砂岩			271	190
1250	RD151	凹石	14.9	7.4	3.7	580	砂岩			271	190
1263	RD152	削搔器	2.6	4.6	0.8	7.56	頁岩	I-1 A		273	190
1264	RD152	磨石	13.0	7.2	5.7	731.2	安山岩			273	190
1273	RD156	石鏃	3.1	1.8	0.6	2.55	頁岩	Ⅱ-3		274	190
1274	RD156	凹石	12.1	7.2	2.2	228.9	砂岩			274	190
1279	RD167	尖頭器	4.8	1.9	1.0	7.67	頁岩			275	191
1281	RD171	削搔器	5.5	7.1	1.1	40.01	頁岩	Ⅲ		275	191
1284	RD174	削搔器	5.7	2.9	1.2	9.81	頁岩	I-2 A		275	191
1285	RD174	敲石	12.3	6.7	4.0	378	砂岩			275	191
1295	RD189	石鏃	(5.3)	1.7	0.8	6.23	頁岩	Ⅱ-1	欠損	276	191
1300	RD193	石棒	(15.7)	(9.7)	(9.7)	2145	石英安山岩		欠損	276	191
1301	RD193	磨製石斧	(4.8)	3.5	2.5	61.4	閃緑岩(細粒)		欠損	276	191
1306	RD198	石鏃	3.7	1.7	1.0	5.58	頁岩	Ⅲ		277	191
1307	RD198	凹石	11.5	8.6	4.7	635	花崗閃緑岩			277	191
1308	RD199	磨石	12.5	(5.6)	2.5	270.3	砂岩			277	191
1317	RD202	磨製石斧	(8.5)	4.3	2.4	171.9	閃緑岩(細粒)		欠損	278	192
1318	RD202	凹石	15.9	6.6	3.4	493	砂岩			278	192
1319	RD202	凹石	10.2	8.5	5.1	610	砂岩			278	192
1320	RD202	半円状石器	18.9	10.0	4.3	1060	砂岩			278	192
1326	RD205	削搔器	5.2	3.7	1.3	25.31	頁岩	I-1		279	192
1327	RD205	磨石	11.4	10.1	5.0	809.7	角閃ひん岩			279	192
1328	RD205	凹石	12.4	9.8	4.7	870	砂岩			279	192
1335	RD210	石鏃	(3.6)	2.0	0.7	3.67	頁岩	I-2	欠損	280	192
1339	RD211	石匙	5.6	3.0	0.8	11.95	頁岩	不明	欠損	280	192
1340	RD211	凹石?	10.3	7.9	4.0	458	砂岩			280	192
1345	RD212	尖頭器	7.0	3.5	1.8	35.81	頁岩			281	193
1346	RD212	削搔器	4.8	3.5	1.1	22.77	頁岩	I-1		281	193
1347	RD212	削搔器	(2.9)	3.9	0.7	6.33	頁岩	Ⅳ		281	193
1348	RD212	半円状石器	13.7	(7.1)	3.3	370	砂岩			281	193
1349	RD212	石棒	(12.5)	5.6	4.2	372.2	流紋岩		欠損	281	193
1356	RD214	磨石	5.3	4.8	3.5	120.9	砂岩			282	193
1357	RD214	凹石	11.5	6.4	2.3	256.9	砂岩			282	193



番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	分類	備考	図版	写図
1359	RD215	石鏃	4.8	2.6	1.0	10.71	頁岩	I-1		282	193
1360	RD215	石鏃	5.2	1.2	0.7	3.05	頁岩	II-3		282	193
1361	RD215	石匙?	(3.3)	2.1	1.1	5.34	珪質頁岩	I-1	欠損	282	193
1362	RD215	尖頭器	4.6	2.5	1.1	9.64	頁岩			282	193
1363	RD215	削搔器	4.4	3.0	1.0	13.54	頁岩	I-1		282	193
1364	RD215	削搔器	3.6	2.1	0.5	4.12	頁岩	I-2		282	193
1365	RD215	削搔器	6.0	4.2	1.2	33.4	頁岩	I-1		282	193
1375	RD221	尖頭器	6.0	2.5	1.0	16.91	頁岩			283	193
1376	RD221	凹石	14.1	5.6	3.7	377	砂岩			283	193
1380	RD224	磨石	(19.9)	7.4	3.9	868.8	砂岩		欠損	283	193
1394	RD231	石鏃	5.3	2.4	1.0	11.38	頁岩	IV		284	194
1395	RD231	石匙	(2.5)	(4.6)	1.0	9.18	頁岩	II-2	欠損	284	194
1396	RD233	尖頭器	5.1	2.6	1.3	15.54	頁岩			284	194
1399	RD234	凹石	(10.2)	4.7	3.5	232.7	砂岩		欠損	285	194
1400	RD234	石皿	25.7	(11.9)	4.5	2174	砂岩		欠損	285	194
1401	RD235	半円状石器	(11.1)	8.3	3.8	525.7	ひん岩		欠損	285	194
1402	RD235	半円状石器	(11.9)	3.6	3.3	642	閃緑岩		欠損	285	194
1405	RD236	石鏃	(3.3)	1.4	0.6	2.3	頁岩	III	欠損	285	194
1406	RD236	尖頭器	4.5	2.1	1.3	8.56	頁岩			285	194
1417	RD237	凹石	11.3	(9.1)	7.3	1076	はんれい岩			286	194
1418	RD237	半円状石器	16.3	6.5	2.8	483.9	砂岩			286	194
1419	RD237	石錘	10.7	5.6	1.5	143.7	頁岩			286	194
1429	RD239	石匙	2.3	3.5	6.8	3.89	頁岩	II-1		288	195
1430	RD239	磨製石斧	6.0	4.0	1.1	30.2	ホルンフェルス			288	195
1431	RD239	磨石	16.3	6.0	3.6	536.4	砂岩			288	195
1432	RD239	凹石	11.0	10.3	5.8	860	安山岩			288	195
1433	RD239	凹石	10.8	9.5	6.5	1053	砂岩			288	195
1439	RD245	削搔器	6.3	3.7	1.2	19	頁岩	I-2 A		289	195
1441	RD246	石匙	4.8	3.4	1.1	15.67	珪質頁岩	I-1		289	195
1446	RD247	削搔器	4.7	1.9	0.8	6.57	頁岩	I-1		289	195
1447	RD248	石鏃	5.5	1.7	0.7	6.16	頁岩	III		289	195
1459	RD251	凹石	14.5	6.8	3.6	525.7	砂岩			290	196
1463	RD252	凹石	14.9	6.1	3.6	475	砂岩			290	196
1469	RD253	削搔器	3.0	2.4	0.6	4.55	頁岩	II		291	196
1474	RD257	凹石	8.7	(7.1)	4.5	345.1	安山岩		欠損	291	196
1483	RD258	石錐	(3.0)	3.4	0.7	5.87	頁岩	I ?	欠損	292	196
1484	RD258	磨製石斧	11.0	5.2	3.3	326.8	閃緑岩(細粒)			292	196
1485	RD259	石鏃	3.5	1.9	0.9	3.7	瑪瑙	II-3		292	196
1486	RD259	石鏃	4.3	1.9	0.9	5.57	頁岩	II-3		292	196
1487	RD259	磨石	19.1	4.4	3.9	469.8	砂岩			292	196
1488	RD259	半円状石器	(13.7)	6.0	3.2	390	閃緑岩		欠損	292	196
1489	RD260	削搔器	3.6	3.3	1.4	18.08	頁岩	I-3		292	196
1490	RD260	削搔器	4.1	2.1	1.2	5.2	頁岩	II		292	196
1491	RD261	石鏃	3.5	1.3	0.6	1.92	頁岩	I-1		292	196
1492	RD261	石鏃	(3.9)	1.8	0.7	3.7	頁岩	II-3	欠損	292	196
1493	RD261	削搔器	7.2	4.7	1.7	38.83	頁岩	I-1		292	196
1496	RD264	削搔器	5.3	3.8	1.0	14.9	頁岩	V		293	197
1497	RD264	磨製石斧	(11.3)	(5.4)	3.5	242.3	閃緑岩(細粒)		欠損	293	197
1498	RD264	磨石	10.1	8.1	5.0	550.7	砂岩			293	197
1499	RD264	敲石	17.3	4.4	2.4	307.9	砂岩			293	197
1500	RD264	石棒	(10.1)	5.3	3.3	222.5	流紋岩		欠損	293	197
1508	RD266	石鏃	3.4	1.6	0.5	1.92	頁岩	II-3		294	197
1512	RD270	台石	15.3	12.8	2.8	656	砂岩			294	197
1515	RD271	石鏃	4.0	1.8	1.0	4.76	頁岩	II-3		294	197
1516	RD271	磨製石斧	8.7	3.6	1.7	84.3	閃緑岩(細粒)			294	197
1517	RD271	凹石	13.0	10.0	4.0	531.1	石英安山岩			294	197

番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	分類	備考	図版	写真
1518	RD271	敲石	7.2	4.7	3.7	177.2	砂岩			294	197
1525	RD272	削搔器	2.1	4.4	1.3	9.54	頁岩	I-1		295	197
1538	RD273	磨石	14.9	9.0	3.7	488.1	砂岩			296	198
1539	RD273	凹石	20.5	5.5	5.1	642	砂岩			296	198
1540	RD273	半円状石器	17.1	7.7	3.2	495.3	砂岩			296	198
1541	RD273	砥石	8.0	7.8	2.7	111.7	安山岩(溶岩)			296	198
1542	RD273	石棒	(7.9)	4.5	3.6	187.5	流紋岩		欠損	296	198
1547	RD276	砥石	(21.1)	14.6	6.7	2012	安山岩(溶岩)		欠損	297	198
1552	RD278	石鏃	3.1	2.0	0.8	3.99	頁岩	II-3		297	198
1553	RD278	尖頭器	3.8	2.9	0.7	5.83	頁岩			297	198
1554	RD278	磨製石斧	11.4	4.6	2.4	206.5	輝綠凝灰岩			297	198
1555	RD278	磨製石斧	13.5	3.2	1.9	139.7	輝綠凝灰岩			297	198
1556	RD278	敲石	6.1	3.8	1.5	51.8	砂岩			297	198
1558	RD280	石鏃	(3.9)	1.6	0.8	3.36	頁岩	II-3		298	198
1559	RD281	削搔器	5.6	5.0	1.1	16.93	頁岩	III		298	198
1560	RD281	削搔器	4.3	3.8	0.9	13.28	頁岩	III?		298	198
1565	RD282	石皿	23.3	(14.5)	3.9	2018	流紋岩		欠損	298	198
1567	RF09焼土	石皿	21.9	12.7	5.3	2445	砂岩?			299	199
1569	RF14焼土	凹石	12.8	10.2	5.3	1012	砂岩?			299	199
1574	RF23炉石	凹石	9.8	7.1	3.8	270	砂岩?			300	199
1575	RF23炉石	凹石	17.4	7.7	5.9	680	砂岩?			300	199
1576	RF28周辺	石鏃	5.1	1.9	0.5	4.49	頁岩	I-2		300	199
1577	RF34焼土	石錐	4.6	1.6	0.7	2.86	頁岩	I		300	199
1582	RF38	半円状石器	19.7	11.2	5.0	1610	砂岩?			300	199
1584	RF45	石鏃	3.2	1.6	0.6	1.98	頁岩	I-2		301	199
1585	RF45	石鏃	(3.5)	1.3	0.8	2.75	頁岩	II-3	欠損	301	199
1591	RF50	削搔器	6.6	3.2	0.7	15.36	頁岩	I-3		301	199
1593	RF55	台石<磨>	(22.7)	9.5	4.0	1381	砂岩			301	199
1594	RF55	石皿	(5.3)	(8.0)	(2.4)	104.4	凝灰岩		欠損	301	199
1595	RF55炉石	砥石	7.9	6.0	3.7	166.6	安山岩(溶岩)			301	199
1596	RF56	削搔器	6.6	3.8	0.7	22.4	頁岩	V		302	199
1597	RF56	石皿	18.8	21.0	7.6	3100	安山岩(溶岩)			302	199
1609	RH02	台石<磨>	23.8	10.9	6.5	2440	砂岩?			304	200
1610	RH02	石皿	27.5	8.0	9.0	2954	砂岩?			304	200
1611	RH02	石棒	26.0	9.8	7.2	2790	砂岩?			304	200
1612	PP051	尖頭器	3.5	2.5	0.7	6.12	頁岩			305	200
1613	PP080	磨製石斧	(10.2)	4.5	2.3	217.7	砂岩		欠損	305	200
1614	PP101	磨石	10.5	6.1	4.6	438	砂岩?			305	200
1622	PP133	石鏃	(3.6)	1.6	0.7	3.07	頁岩	II-3	欠損	305	200
1625	PP142	石匙	5.1	2.5	0.7	7.75	頁岩	I-1		306	200
1628	PP413	削搔器	5.4	4.1	0.8	16.56	頁岩	I-2		306	200
1629	PP413	削搔器	6.0	5.1	1.6	33.99	頁岩	I-2		306	200
1631	PP444	削搔器	3.8	2.7	1.5	11.01	頁岩	I-1		306	200
1632	PP444	削搔器	4.5	2.6	0.8	10.77	頁岩	I-3		306	200
1633	PP444	敲石	12.4	7.4	3.4	422.1	砂岩			306	200
1637	PP533	削搔器	3.6	2.6	0.5	4.15	頁岩	I-3		306	200

第5表 遺構外土器観察表

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
1638	K II 24V層	深鉢	口	口：上位に横位四条の沈線 斜位の沈線 横位斜位の格子状沈線 三戸式に類似	ナデ	早期前葉	307	201
1639	L II 03V層	深鉢	胴	横、斜位の格子目状沈線 三戸式に類似	ナデ	早期前葉	307	201
1640	南区IV層	深鉢	胴	横位の沈線 縦、斜位の沈線で格子目状 刺突列 補修孔 寺の沢式に類似	ナデ	早期中葉	307	201
1641	N I 23V層	深鉢	口～胴	口：絡条圧 頸部隆帯直下にも 胴：木目状 繊維 粗砂 口唇にも縄文	ナデ	円筒下層 d	307	201
1642	K II 16IV層	深鉢	口～胴	口：RとLの圧痕 胴：木目状 繊維 口唇部縄文	ミガキ	円筒下層 d	307	201
1643	K II 16IV層	深鉢	口～胴	口：絡条圧 頸部隆帯上に二条の刺突列 胴：木目状 繊維	ミガキ	円筒下層 d	307	201
1644	表採	深鉢	口～胴	口：絡条圧 頸部隆帯 胴：木目状 粗砂多い 繊維含む	ナデ	円筒下層 d	307	201
1645	N II 16IV層	深鉢	口～胴	口：絡条圧 頸部僅かな隆帯上にC字状刺突列 繊維 胴：木目状	ミガキ	円筒下層 d	307	201
1646	O I 22IV層	深鉢	口～胴	口：Lの圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴：木目状 繊維を含む	ミガキ	円筒下層 d	307	201
1647	L I 25IV～V層	深鉢	口～胴	口：LR圧痕 頸部隆帯上に刻み列 胴：木目状 繊維を含む	ミガキ	円筒下層 d	307	201
1648	K I 15IV層	深鉢	口～胴	口：絡条圧 頸部隆帯上に刺突列 胴：木目状 繊維を含む	ミガキ	円筒下層 d	307	201
1649	H I 10V層	深鉢	口～胴	口：LR圧痕 頸部 円形刺突列 胴：木目状 石英粒多い	ミガキ	円筒下層 d	307	201
1650	K I 25V層	深鉢	口～胴	口：LとRの圧痕 頸部刺突列 胴：捺糸圧痕 木目状 繊維を含む	ミガキ	円筒下層 d	307	201
1651	N I 12IV～V層	深鉢	口～胴	口：LR圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴：捺糸 繊維含む 内面剥落	—	円筒下層 d	307	201
1652	M I 16	深鉢	口	口：LR圧痕 頸部隆帯上に刺突列 繊維を含む	ナデ	円筒下層 d	307	201
1653	N I 07IV～V層	深鉢	口～胴	口：絡条圧 頸部隆帯上に刺突列 胴：横位の結節回転 縦位の木目状 口唇にも圧痕	ナデ	円筒下層 d	307	201
1654	N I 22IV層	深鉢	口	口：絡条圧 頸部隆帯上に刺突列 胴：木目状 繊維含む	ミガキ	円筒下層 d	307	201
1655	N I 19IV～V層	深鉢	口～胴	口：RL圧痕 頸部刺突列 胴：結束1 0段多条 下半 多軸絡条体 繊維を含む	ナデ	円筒下層 d?	307	201
1656	H III 16IV層	深鉢	口～胴	口：LとRの圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴：結束1 繊維を含む	ナデ	円筒下層 d	307	201
1657	南区表採	深鉢	口～胴	口：L圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴：結束1 繊維を含む	ナデ	円筒下層 d	307	201
1658	P I 03IV層	深鉢	口～胴	口：LR圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴：結束1 繊維含む	ミガキ	円筒下層 d	307	201
1659	N I 19V層	深鉢	口～胴	口：LR圧痕 頸部隆帯押圧 胴：結束1 スス付着 繊維を含む	ミガキ	円筒下層 d	307	201
1660	K II 20IV層	深鉢	口～胴	口：LとRLの圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴：0段多条 綾絡横 繊維 口唇にも縄文	ナデ	円筒下層 d	307	201
1661	K I 20 III～V層	深鉢	口～胴	口：RL圧痕 頸部刺突列 胴：結束1 横 繊維を含む	ナデ	円筒下層 d	308	201
1662	M I 16V層	深鉢	口～胴	口：絡条体(5類)圧痕 頸部括れ 胴 膨らむ 0段多条の 羽状縄文 繊維を含む	ナデ	円筒下層 d	308	201
1663	北区II層	深鉢	口～胴	口：LR圧痕 0段多条 頸部隆帯上に刻み列 胴：結束1 0段多条 繊維を含む	ナデ	円筒下層 d?	308	201
1664	K II 21V層	深鉢	口～胴	口：RL圧痕 頸部隆帯上にも 胴：綾絡横 結束1 横 繊維を含む	ミガキ	円筒下層 d	308	201
1665	K II 05IV層	深鉢	口～胴	口：絡条体(5類)圧痕 胴：結束1 繊維を含む	ミガキ	円筒下層 d	308	201
1666	K I 15V層	深鉢	口～胴	口：絡条体(5類)圧痕 口唇部LR横 頸部隆帯上に結 節回転 胴：捺糸と綾絡 繊維	ナデ	円筒下層 d	308	201
1667	N I 19	深鉢	口～胴	口：LとRの圧痕 口唇にも縄文 頸部隆帯上に刺突列 胴：横位の綾絡 繊維を含む	ミガキ	円筒下層 d	308	201
1668	N I 06IV～V層	深鉢	口	口：絡条圧 頸部隆帯上に刺突列	ナデ	円筒下層 d	308	201
1669	K I 25IV層	深鉢	口～胴	口：Lの圧痕 胴：無節(L)横 櫛引文 繊維を含む	ナデ	円筒下層 d	308	201
1670	K II 18IV層	深鉢	口	口：Lの圧痕 頸部隆帯上に刺突列 繊維 単孔	ミガキ	円筒下層 d	308	201
1671	南区IV層	深鉢	口～胴	口：LR圧痕 頸部隆帯上にも 胴：LR縦 綾絡 繊維を含む	ナデ	円筒下層 d	308	201
1672	O I 14V層	深鉢	口～胴	口：Lの圧痕 胴：綾絡 繊維を含む	ナデ	円筒下層 d?	308	201
1673	M II 21V層	深鉢	口～胴	口：LR圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴：綾絡 繊維を含む	ナデ	円筒下層 d	308	201
1674	N I 12 III層	深鉢	口～胴	口：LR圧痕 胴：捺糸 (L) 繊維を含む	ミガキ	円筒下層 d?	308	201
1675	L I 15V層	深鉢	口～胴	口：絡条体(5類)圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴：多軸 絡条体 繊維を含む	ナデ	円筒下層 d	308	201

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写図
1676	南区表採	深鉢	口～胴	口：絡条体(5類)圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴：無節L横 繊維	ミガキ	円筒下層d	308	201
1677	K I 16V層	深鉢	口	口LとRの圧痕 口唇部にも 胴：0段多条と付加条 を交互に施文 繊維	ミガキ	円筒下層d	308	201
1678	M I 24V層	深鉢	口～胴	口：Lの圧痕 胴：無節(L)横 繊維	ナデ	円筒下層d?	308	201
1679	L II 05IV層	深鉢	口～胴	口：Rの圧痕 口唇部にも 頸部隆帯上に二条の刺突列 胴：LR縦 繊維	ミガキ	円筒下層d	308	201
1680	表採	深鉢	口	口：緩い波状 LR圧痕 繊維多	ミガキ	円筒下層d?	308	201
1681	L II 03V層	深鉢	口～胴	口：RとLの圧痕 頸部隆帯上に刺突列 胴：多軸絡 条体 繊維	ナデ	円筒下層d	308	201
1682	南区V層	深鉢	口	口：Rの圧痕 頸部隆帯上に刺突列 繊維	ナデ	円筒下層d	308	201
1683	L I 15V層	深鉢	口	口：肥厚 絡条圧 頸部C字状刺突列 口唇部にも 施文	ナデ	円筒下層d	308	201
1684	K I 25	深鉢	口～胴	口：縦位の圧痕列と横位のLR圧痕 胴：0段多条 (LR)横 繊維	ナデ	円筒下層d	309	201
1685	K I 14V層	深鉢	口～胴	口：LR圧痕 胴：LR横 繊維	ミガキ	円筒下層d?	309	201
1686	K I 24V層	深鉢	口	口：絡条圧 繊維 補修孔	ミガキ	円筒下層d	309	202
1687	北区	深鉢	口	口：上端に刺突列 LR圧痕 頸部隆帯上に刺突列 繊維と粗砂	ナデ	円筒下層d	309	202
1688	南区中央IV層	深鉢	口	口：絡条圧 繊維	ミガキ	円筒下層d	309	202
1689	M II 02IV層	深鉢	口	口：LR圧痕 口唇部LR横 頸部刺突列	ミガキ	円筒下層d	309	202
1690	K I 14V層	深鉢	口	口：絡条圧 口唇部LR横	ナデ	円筒下層d	309	202
1691	K I 20IV～V層	深鉢	口～胴	口：上端折返しに原体圧痕 絡条圧 頸部隆帯上に 原体圧痕 胴：LR横 繊維	ミガキ	円筒下層d	309	202
1692	K I 14V層	深鉢	口	口：LR圧痕を横縦位に押圧 繊維	ナデ	円筒下層d	309	202
1693	K II 09IV層	深鉢	口～胴	口：絡条圧 頸部刺突列 胴：LR横 繊維 補修孔	ナデ	円筒下層d	309	202
1694	K II 11IV層	深鉢	口～胴	口：隆帯を縦と胴部境に横 隆帯上に刺突 Lの圧痕 胴：擦糸 繊維混入		円筒下層d	309	202
1695	P I 04V層	深鉢	口	口：内側に肥厚 LR圧痕 繊維なし	ナデ	円筒下層d?	309	202
1696	M II 01III層	深鉢	口～胴	口：肥厚 LR横 絡条圧 頸部圧痕 胴：LR横	ミガキ	円筒下層d	309	202
1697	K I 14V層	深鉢	口	口：LR圧痕 波状で角状? 繊維少	ミガキ	円筒上層a	309	202
1698	南区西IV層	深鉢	口	口：小突起(角状?) LR圧痕 繊維	ミガキ	円筒上層a	309	202
1699	K I 20V層	深鉢	口～胴	口：緩い波状(角状)で外反 4単位のボタン状貼付 胴：横位の結束1 金雲母混入	ナデ	円筒上層a	310	202
1700	南区V層	深鉢	口～胴	口：波状(角状)LRの圧痕 頸：薄い隆帯に刺突列 胴：LR横	ミガキ	円筒上層a	310	202
1701	K I 14V層	深鉢	口	口：波状(角状)LRの圧痕 波頂部にJ字状貼付	ミガキ	円筒上層a	310	202
1702	K I 19V層	深鉢	口～胴	口：4単位の波状(角状)山状に隆帯貼付 絡条圧 頸：隆帯 胴：LR横	ミガキ	円筒上層a	310	202
1703	K II 16IV層	深鉢	口～胴	口：外反 4波状 波頂部からJ字状貼付 頸：隆帯上に 刺突列 擦糸圧痕 胴：結束1	ナデ	円筒上層a	310	202
1704	O I 14V層	深鉢	口～胴	口：4波状(角状)で外反 垂下隆帯 LRの圧痕 胴：LR横	ミガキ	円筒上層a	311	202
1705	L I 10V層	深鉢	口	口：波状(角状)二条の垂下隆帯 擦糸LとRを押圧	ミガキ	円筒上層a	311	202
1706	K I 25V層	深鉢	口	口：角状突起 垂下隆帯 LR圧痕	ナデ	円筒上層a	311	202
1707	K I 25V層	深鉢	口	口：平垂下隆帯 LR圧痕 頸部刺突列	ミガキ	円筒上層a	311	202
1708	K I 19V層	深鉢	口	口：波状?隆帯をもつ 絡条圧	ミガキ	円筒上層a	311	202
1709	K I 20V層	深鉢	口～胴	口：波状(角状)垂下隆帯 RL圧痕 胴：無節(L)とLR 横 繊維少	ミガキ	円筒上層a	311	202
1710	K II 15II層	深鉢	口	口：波状 垂下隆帯 絡条圧 頸部隆帯 圧痕	ミガキ	円筒上層a	311	202
1711	K II 20IV層	深鉢	口	口：波状(角状) 絡条圧 刺突列	ミガキ	円筒上層a	311	202
1712	K II 18III層	深鉢	口	口：波状、垂下隆帯 絡条圧 口唇部 圧痕列	ミガキ	円筒上層a	311	202
1713	O I 22IV～V層	深鉢	口～胴	口：垂下隆帯 絡条圧 胴：RLR横	ミガキ	円筒上層a	311	202
1714	M II 06V層	深鉢	口～胴	口：波状 垂下隆帯 絡条圧 頸部隆帯 胴：LR横	ミガキ	円筒上層a	311	202
1715	南区表採	深鉢	口	口：波状(角状)垂下隆帯 LR圧痕	ミガキ	円筒上層a	311	202
1716	L I 05	深鉢	口	口：波状(角状)で内湾 ボタン状貼付 LR圧痕 頸部隆 帯上に刺突列 口唇部にも施文	ナデ	円筒上層a	312	202
1717	K I 20III層	深鉢	口～胴	口：波状 垂下隆帯 LR圧痕 胴：LR横 繊維少	ミガキ	円筒上層a	312	203
1718	K I 19V層	深鉢	口～胴	口：波状(角状)垂下隆帯 LR圧痕 頸部隆帯上に刺突 列 胴：RL横	ナデ	円筒上層a	312	203
1719	K I 24V層	深鉢	口～胴	口：平垂下隆帯 逆T字 絡条圧 胴：RLR横	ミガキ	円筒上層a	312	203
1720	K I 19V層	深鉢	口	口：平垂下隆帯 LR圧痕 頸部隆帯上に刺突列	ミガキ	円筒上層a	312	203
1721	K I 15I層	深鉢	口	口：波状(角状)垂下隆帯 LR圧痕 繊維少	ミガキ	円筒上層a	312	203

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
1722	K I 29V層	深鉢	口	口：隆帯をもつ波状 LR圧痕 頸部隆帯 繊維	ミガキ	円筒上層a	312	203
1723	K I 13Ⅲ層	深鉢	口～胴	口：波状 外反隆帯貼付 擦糸圧痕 C字状圧痕 胴：LR横	ミガキ	円筒上層b	312	203
1724	L I 04V層	深鉢	口	口：波状(角状) LとRの圧痕 C字状の原体圧痕	ミガキ	円筒上層b	312	203
1725	K I 25V層	深鉢	口	口：波状? LとRの圧痕 C字状の原体圧痕	ナデ	円筒上層b	312	203
1726	HⅢ 16IV層	深鉢	口	口：外反 細い隆帯貼付 刺突列	ナデ	円筒上層c	312	203
1727	K I 20IV～V層	深鉢	胴	胴：細い隆帯貼付	ナデ	円筒上層d?	312	203
1728	K I 08 不明	深鉢	口～底	口：波状(5単位)外反 横位 頸部括れ 胴：縦位に櫛描 波状文 胴下半膨らむ	ナデ	大木6	313	203
1729	K I 19V層	深鉢	口～胴	口：緩い4単位波状? 頂部から蛇行隆帯垂下 平行沈 線で直線と波状を交互に描く	ナデ	大木7a	313	203
1730	K I 14V層	深鉢	口～底	口：4単位波状 折返し LR横に三条の波状の沈線 頸部括れ 胴部張出し 綾絡 繊維混	ミガキ	大木7a	313	203
1731	K I 25V層	深鉢	口～胴	口：4単位波状 頂部渦巻状突起 波頂部直下に)字状 つまみ 胴：L横とRLR横	ナデ	大木6～7a	313	203
1732	M I 16V層	深鉢	口	口：外反 弧状貼付で区画内に斜に沈線密 頸部括れ 隆帯 胴：縦の綾絡 補修孔	ナデ	大木6	314	203
1733	N I 23V層	深鉢	口～胴	口：波状 やや外反し肥厚 平行沈線で大波状と縦位 ボタン状貼付 胴：結束2	ナデ	大木6	314	203
1734	K I 19V層	深鉢	口～胴	口：波状 波頂部下に逆三角形の貼付 内にボタン 状貼付 沈線 頸部隆帯 胴：綾絡	ナデ	大木6	314	203
1735	O I 22IV～V層	深鉢	口～底	口：幅広に折返し 直下に横位に五条の絡条圧 段差 をもち、下の胴部はRLR横	ナデ	中期初	314	203
1736	M I 09V層	深鉢	口～底	口：上、下端に隆帯 コブ状貼付 波状と直線の沈線 胴：縦位の綾絡	ナデ	大木7a	314	203
1737	L I 05V層	深鉢	口～胴	LR 口：幅広 V字状の隆帯と沈線区画内に半竹押引 頸部同隆帯	ミガキ	大木6	315	203
1738	K I 24V層	深鉢	口～胴	略 円筒型 胴：やや膨らむ 口：垂下隆帯で4単位に 区画 頸部薄い隆帯	ミガキ	大木7a?	315	203
1739	K I 16IV層	深鉢	口～胴	口：横位の波状沈線に垂下隆帯と弧状貼付 頸部隆 帯状に)字状刺突列 胴：綾絡縦	ナデ	大木7a	315	203
1740	K I 20IV～V層	深鉢	口～胴	半竹による直線 )字状 大波状沈線 頸部から逆三角 形の垂下隆帯	ナデ	大木7b	315	203
1741	K I 20V層	台付鉢	口～底	口：4単位波状? 渦巻突起 下に渦巻状貼付 波状と 直線の沈線 台部は外反	ミガキ	大木7a	316	204
1742	K I 20V層	台付鉢?	口	口：折返し 2単位の突起 LR横 砂多い	ナデ	中期	316	204
1743	K I 10IV～V層	浅鉢	口～胴	口：波状 僅かに肥厚 無文 横ナデ	ミガキ	大木7a?	316	204
1744	Oグリッド不明	浅鉢	口～胴	口：内湾 無文	ミガキ	大木7a?	316	204
1745	O I 24V層	浅鉢	完形	口：一単位の小突起 二条の横位の沈線 胴：LR横 黒い	ミガキ	不明	316	204
1746	M I 05IV層	深鉢	口	口：渦巻突起 橋状把手の西側に弧状の沈線列	ミガキ	大木7a?	317	204
1747	N I 19	深鉢	口～胴	口：波状 内側貼付 刻みをもつ ボタン状貼付の 両側に刺突列	ナデ	大木6	317	204
1748	K I 25IV～V層	深鉢	口	口：波状 沈線による波状 円形刺突をもつ 円文貼 付?	ミガキ	大木6?	317	204
1749	K I 20V層	深鉢	口～胴	口：渦巻突起 LR横 LR圧痕 橋状把手 胴：湾曲 LR横	ナデ	大木7a?	317	204
1750	K I 20V層	深鉢	口	口：沈線で縦、横、斜 曲線的に施文	ナデ	大木7a	317	204
1751	H I 10IV～V層	深鉢	口	口：半竹による刺突列を上下端に 平行沈線を斜位に 頸部括れ、胴張る	ミガキ	大木7a	317	204
1752	L I 23V層	深鉢	口	口：内側に貼付 半竹による沈線と押引	ミガキ	大木7a	317	204
1753	K I 16IV層	深鉢	口	口：上端貼付 RL横 橋状把手をもつ	ナデ	大木7a	317	204
1754	L I 10V層	深鉢	口	口：上端肥厚 縦位の刻み列 沈線で鋸歯状と曲線 内湾	ナデ	大木7a	317	204
1755	K I 25V層	深鉢	口	口：上端肥厚 横位と波状の沈線	ナデ	大木7a	317	204
1756	K I 25V層	深鉢	口	口：上端肥厚 刻み列をもつ弧状貼付 沈線で波状	ナデ	大木7a?	317	204
1757	L I 16V層	深鉢	口	口：上端折返し無文 平行沈線で鋸歯状に四条 縦位の沈線列 頸部刺突列	ミガキ	大木7a	317	204
1758	BIV11 I層	深鉢	口	口：折返し RL横に波状 直位の沈線	ナデ	大木7a	317	204
1759	K I 16V層	深鉢	口	口：上端貼付 三角状刻み 平行沈線を横位に三条 縦位に列をなす	ナデ	大木7a	317	204
1760	L I 25V層	深鉢	口	口：LR横 横、斜位の沈線と連弧状沈線 頸部指頭 圧痕	ミガキ	大木7a	317	204
1761	N I 21IV層	深鉢	口	口：波状 内外に肥厚 一部に三角状刻み 頂部から 垂下隆帯 斜の刻み列	ナデ	大木7a	317	204

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
1762	KⅡ08Ⅳ層	深鉢	口	口：折返し 縦位刻み列をもつ幅広隆帯と垂下する二条の隆帯 沈線	ナデ	大木7a	317	204
1763	LⅡ12Ⅴ層	深鉢	口	口：外傾して内湾 沈線を矢羽根状 横位の直波状沈線	ミガキ	大木7b?	317	204
1764	OⅠ07Ⅴ層	深鉢	口	口：平行沈線と横、斜、縦位は列をなす	ナデ	大木7a	317	204
1765	KⅠ20Ⅴ層	深鉢	口	口：山形突起 縦位の沈線列 横位の沈線	ナデ	大木7a	317	204
1766	KⅡ13Ⅲ層	深鉢	口	口：内側に肥厚 内湾気味 LR横 半竹による沈線と押引	ミガキ	大木7a	318	204
1767	KⅡ19Ⅲ層	深鉢	口	口：内側肥厚 LR横 半竹による沈線と押引	ミガキ	大木7a	318	204
1768	KⅡ19Ⅳ層	深鉢	口	口：内側に肥厚 3145と同一個体?	ナデ	大木7a	318	204
1769	KⅡ20Ⅳ層	深鉢	口	口：内側に折返し RL縦に半竹による沈線と押引	ミガキ	大木7a	318	204
1770	LⅡ19Ⅳ層	深鉢	口	口：角状突起 口縁に沿う貼付と平行沈線 半竹の刺突列 頸部隆帯にも	ナデ	大木7a	318	204
1771	MⅡ16Ⅳ層	深鉢	口	口：波状 内湾(刻みをもつ) 渦巻状貼付 Lの圧痕	ナデ	大木6	318	204
1772	KⅠ20Ⅴ層	深鉢	口	口：波状 頂部に渦巻貼付 直下に蛇行垂下隆帯 LR横	ナデ	大木7a	318	205
1773	KⅠ25Ⅴ層	深鉢	口	口：緩い波状 内側に渦巻貼付 橋状把手 LR横	ミガキ	大木7a	318	204
1774	MⅡ11Ⅲ～Ⅴ層	深鉢	口	口：台形突起 円孔をもつ 沈線区画内にLR横	ミガキ	大木7b	318	204
1775	NⅠ23Ⅳ層	深鉢	口～胴	口：緩い波状 頂部から二条の垂下隆帯間に蛇行隆帯 LRの圧痕 頸：刺突列 胴：RL縦	ミガキ	大木7a	318	205
1776	不明	深鉢	口	口：折返し 波状頂部に渦巻貼付 直下に交互刺突の垂下隆帯 LR横	ミガキ	大木7a	318	205
1777	KⅠ25Ⅴ層	深鉢	口	口：波状 折返し L状貼付内側にも 口唇に蛇行隆帯 頂部から垂下隆帯	ナデ	大木7a	318	205
1778	LⅠ15Ⅲ～Ⅳ層	深鉢	口	口：緩い波状 やや内湾 頂部に貼付直下から垂下隆帯二条 横位沈線二条 LR横	ナデ	大木7a	318	205
1779	KⅠ19Ⅴ層	深鉢	口	口：波状頂部に円形貼付 蛇行垂下隆帯 LR横	ナデ	大木7a?	318	205
1780	LⅠ25Ⅲ～Ⅴ層	深鉢	口	口：Lの圧痕をもつ二条の垂下隆帯 LR横に横位と波状の沈線	ナデ	大木7a	319	205
1781	MⅠ10Ⅴ層	深鉢	口	口：指頭圧痕をもつ二条の垂下隆帯、平行沈線を横、斜弧に 頸部隆帯上に刺突列	ナデ	大木7a	319	205
1782	NⅠ24	深鉢	口	口：上端内傾 刻みをもつ隆帯を曲線的に貼付 波状の沈線 蛇行垂下隆帯	ナデ	大木7a	319	205
1783	MⅡ11Ⅴ層	深鉢	口	口：上端肥厚 三角状刻み 平行沈線を斜と曲線	ミガキ	大木7a	319	205
1784	KⅠ25Ⅴ層	深鉢	口	口：上端肥厚 波頂部から垂下隆帯 沈線で波状と曲線文	ミガキ	大木7a	319	205
1785	NⅠ17Ⅴ層	深鉢	胴	半竹の押引(字状貼付) 蛇行垂下隆帯	ミガキ	大木7a	319	205
1786	KⅠ24Ⅴ層	深鉢	口～胴	口：幅広の垂下隆帯上にLR縦と三角状刻み LR横に沈線で曲線文 胴：綾絡縦	ナデ	大木7a	319	205
1787	南区表採	深鉢	口	口：上端折返し LR縦 波状と三角状沈線 円孔をもつボタン状貼付	ミガキ	大木6	319	205
1788	LⅡ03Ⅳ～Ⅴ層	深鉢	口	口：内側肥厚 RL縦 平行沈線で方形区画 頸部太い沈線(状貼付) 胴：平行沈線	ナデ	大木7a	319	205
1789	南区Ⅴ層	深鉢	口～胴	口：折返し 小突起 頂部から蛇行垂下隆帯 LR横	ナデ	大木7b?	319	205
1790	南区Ⅲ層	深鉢	口	口：緩い波状 波頂部に刻み列 内湾し内側肥厚 LR横に二条一對の沈線	ミガキ	大木8a	319	205
1791	LⅡ01Ⅴ層	深鉢	口	口：LR圧痕をもつ幅広隆帯を弧状に貼付	ナデ	大木7b?	319	205
1792	KⅡ05Ⅳ層	深鉢	口～胴	口：キャリパー型 口：大きくうねる山形の隆沈線とRL横 胴：RL縦	ナデ	大木8a?	319	205
1793	NⅠ23Ⅴ層	深鉢	口～胴	口：無文帯 頸部三条の沈線 胴：RLR縦に沈線で渦巻文	ナデ	大木8a	320	205
1794	MⅡ01層	深鉢	口	口：円孔をもつ大突起 RLR縦に隆帯	ミガキ	大木8a	320	205
1795	KⅡ24Ⅴ層	深鉢	口	口：突起 刺突列と縦位のLR圧痕	ナデ	大木8a	320	205
1796	南区北西Ⅲ層	深鉢	口	口：渦巻状突起 内湾 LR縦とLR圧痕	ナデ	大木8a	320	205
1797	LⅡ11Ⅰ層	深鉢	口～胴	口：狭小な無文帯 胴：RLR縦に隆沈線による渦巻文	ナデ	大木8a～8b	320	205
1798	KⅠ25Ⅴ層	深鉢	口	口：やや肥厚 内湾 キャリパーか 口唇部に小突起と凹 LR圧痕	ナデ	大木8a?	320	205
1799	KⅡ05Ⅳ層	深鉢	口	口：肥厚し内湾 キャリパー? 細い隆帯と沈線 RL横	ナデ	大木8a	320	205
1800	MⅡ12Ⅴ層	浅鉢?	口	口：小波状 隆帯と突起 胴：RLR縦に隆帯	ナデ	大木8a	320	205
1801	KⅡ19Ⅲ層	浅鉢?	口～胴	口：きつく内湾 円孔をもつ突起 胴：隆沈線による渦巻文 RLR縦	ミガキ	大木8b	320	205

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
1802	K II 10V層	深鉢	完形	口：波状? 頸部括れ やや外反して立ち上がる RLR縦に隆沈線で渦巻文	ミガキ	大木8b	320	205
1803	G III 17IV~V層	深鉢	口~胴	口：渦巻突起 隆沈線による渦巻文 RL縦	ナデ	大木8b	320	205
1804	北区北西IV層	深鉢	口	口：外反 狭小な無文帯 頸部刺突列 隆沈線	ミガキ	大木8b	320	205
1805	H II 01IV層	深鉢	口	口：渦巻突起 隆沈線 RL縦	ミガキ	大木8b	320	205
1806	H II 01V層	深鉢	口	口：隆沈線による区画が横に展開 RLR縦 キャリバー?	ナデ	大木8b	321	205
1807	南区V層	深鉢	口~胴	口：円孔をもつ突起 狭小な無文帯 隆沈線による渦巻文 L縦	ナデ	大木8b	321	206
1808	H II 01V層	深鉢	口~胴	口：狭小な無文帯 隆沈線による渦巻文	ナデ	大木8b	321	206
1809	H II 01IV層	深鉢	口~胴	口：渦巻突起 RLR縦に隆沈線で渦巻文	ミガキ	大木8b	321	206
1810	P I 04III~IV層	深鉢	口~胴	口：波状 角状(?)突起をもつ 波頂部下に渦巻貼付 隆沈線区画内に列点文 胴：LR縦	ミガキ	大木8b	321	206
1811	K II 13III層	浅鉢?	口	口：円孔をもつ突起 隆沈線 RLR縦	ミガキ	大木8b	321	206
1812	N I 23V層	深鉢	口	口：渦巻突起 円孔をもち橋状	ナデ	大木8b	321	206
1813	南区III~IV層	深鉢	口	口：渦巻突起 段差をもつ	ミガキ	大木8b	321	206
1814	H II 03IV層	深鉢	口	口：渦巻突起	ナデ	大木8b	321	206
1815	K II 13III層	深鉢	口	口：渦巻突起	ナデ	大木8b	321	206
1816	L I 15V層	深鉢	口~胴	榎木林式 口：無文 肩部張出し上に二条の刺突列 胴：LR縦	ミガキ	後期初	321	206
1817	L I 15III~V層	深鉢	口~胴	口：緩く外反 波状? 逆U字状の沈線区画内にLR縦 磨消	ミガキ	大木9	322	206
1818	G II 21V層	深鉢	口~胴	口：狭小な無文帯 蕨手状沈線と逆U字区画 LR縦	ナデ	大木9	322	206
1819	北区西III~V層	深鉢	口~胴	沈線による逆U字区画内にLR縦 磨消	ミガキ	大木9	322	206
1820	K II 24III~V層	深鉢	口	口：きつく内湾 沈線による逆U字状区画内にRL縦 磨消	ミガキ	大木9	322	206
1821	H II 01IV層	深鉢	口~胴	口：無文帯 胴：沈線による逆U字状区画内にRLR縦 磨消	ミガキ	大木9	322	206
1822	G III 16V層	深鉢	口~胴	口：波状 内湾 沈線による楕円 逆U字状区画内にLR縦 磨消 スス付着	ミガキ	大木9	322	206
1823	K III 09IV層	浅鉢	口~胴	口：きつく内湾 肩部張出し 舌状突起 隆沈線による渦巻文内に縄文 焼きがよく締まる	ミガキ	大木8b	322	206
1824	K II 24IV~V層	深鉢	胴	沈線区画内に刺突列とLRL縦 スス付着	ナデ	大木9	322	206
1825	K I 14V層	壺形	口~胴	口：幅広の無文帯 沈線による区画内にRLR縦	ミガキ	大木9	322	206
1826	K I 20V層	深鉢	胴	沈線による逆U字文と逆釣針状文様 区画内RL縦 頸部 列点文	ナデ	最花式	322	206
1827	M I 15V層	深鉢	口~胴	口：波状 無文帯 頸部 列点文 胴：沈線区画	ミガキ	最花式	322	206
1828	M I 10IV層	深鉢	口~胴	沈線による区画内にRL縦 列点文が波状に入る	ミガキ	最花式?	322	206
1829	K II 19III層	深鉢	胴	無文帯下部に列点文 その下に沈線区画 区画内にLRL縦	ナデ	最花式	322	206
1830	G区II~III層	深鉢	口~底	口：波状(4単位?) 沈線区画内にLR縦 胴下部にも沈線と縄文	ミガキ	大木10	323	206
1831	K II 19III層	深鉢	口~胴	口：幅広の無文帯 胴：沈線による曲線区画内にLR充填 円文	ナデ	大木10	323	206
1832	K II 16IV層	深鉢	口~胴	沈線によるC字状区画内にLRを充填	ナデ	大木10	323	206
1833	L II 17V層	深鉢	口	口：波状 沈線区画内L横を充填	ミガキ	大木10	323	206
1834	K II 10IV層	深鉢	胴	沈線による渦巻状区画内にLRを充填	ナデ	大木10	323	206
1835	K II 08IV層	鉢	口~底	木葉痕 管葉 口：4単位区画内に沈線 区画する隆帯上に刺突列 釣手	ナデ	後期初	323	207
1836	L II 16III~IV層	深鉢	口~底	口：小突起 沈線で波頭文 胴：Lr縦 底：網代	ナデ	後期初	323	207
1837	K II 24V層	深鉢	口~胴	口：波状4単位? 頂部僅かに二又 口縁に平行する沈線 胴：上半に波頭文 底：網代痕	ナデ	後期初	324	207
1838	L II 21V層	深鉢	口~底	口：8単位波状 頂部から刺突列垂下 LR縦 頸：一条の沈線 胴：上半に沈線 底：網代痕	ミガキ	後期初	324	207
1839	M II 22V層	壺	胴~底	沈線による曲線文 底部縁辺に4単位の刻み	ナデ	後期初	324	207
1840	K II 24 I層	壺?	胴~底	沈線による方形区画 焼きがよく締まる 底：周囲に突帯	ミガキ	後期初	324	207
1841	M I 20V層	鉢	口~底	刻みを対にもつ2単位の突起(釣手) 沈線による方形区画内にLRを充填	ミガキ	後期初	324	207
1842	K II 24V層	壺?	胴	隆帯で方形区画? 隆帯上に円形刺突列 区画内に斜のU字を沈線で描く	ナデ	後期初	325	207
1843	N I 23IV~V層	深鉢	口~胴	口：小波状 波頂部に小刻み? 無文帯に列点文 胴：二条の沈線の下にL縦	ナデ	後期初	325	207

番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
1844	FⅢ18Ⅰ～Ⅱ層	深鉢	口?	隆帯の交点にボタン状貼付 隆帯に刺突 胴:RL縦	ナデ	後期初	325	207
1845	MⅡ11Ⅲ～Ⅴ層	深鉢	口?	隆帯の交点にドーナツ状貼付 隆帯上にLR 胴:網目状?	ナデ	後期初	325	207
1846	LⅡ01Ⅴ層	深鉢	胴	RL縦を地文に二条の沈線で曲線文 沈線間を磨消 小ボタン状貼付	ナデ	後期初	325	207
1847	LⅠ10Ⅴ層	深鉢	口	口:波状 隆帯の交点にボタン状貼付	ナデ	後期初	325	207
1848	LⅡ01Ⅴ層	深鉢	口	口:波状 波頂部からの垂下隆帯と頸部横位隆帯の 交点にボタン状貼付	ナデ	後期初	325	207
1849	KⅡ20Ⅳ～Ⅴ層	深鉢	口	口:波状 口縁に平行する隆帯と垂下する隆帯 頸部横位隆帯交点にボタン状貼付	ナデ	後期初	325	207
1850	KⅡ19Ⅲ層	深鉢	口	口:波状 口縁に平行する隆帯と垂下する隆帯 頸部横位隆帯交点にボタン状貼付	ナデ	後期初	325	207
1851	KⅡ19Ⅳ層	深鉢	口	口:波状 口縁に平行する隆帯と波頂部から垂下 隆帯 横長に蛇行する沈線	ナデ	後期初	325	207
1852	MⅡ11Ⅲ～Ⅴ層	深鉢	口～胴	口:折返し部にLR横と沈線 磨消 幅広の無文帯 胴:LR縦を地文に沈線	ミガキ	後期初	325	207
1853	MⅡ11Ⅳ層	深鉢	口～胴	口:波状 折返し部にL横に平行沈線と磨消 無文帯 胴:RL縦に沈線で三角状文様	ナデ	後期初	326	207
1854	LⅡ09Ⅴ層	深鉢	口～胴	口:波状 折返し 波頂部から隆帯 無文帯をもち 胴:LR横に沈線	ナデ	後期初	326	207
1855	KⅡ24Ⅲ層	深鉢	口～胴	口:波状 波頂部に小刻み RL縦を地文に沈線に よる波頭文	ミガキ	後期初	326	207
1856	LⅡ11Ⅴ層	深鉢	口～胴	口:波状 RL縦を地文に沈線による波頭文 胴下半は地文のみ 金雲母混入	ナデ	後期初	326	207
1857	KⅡ24Ⅴ層	深鉢	口～胴	口:波状 波頂部に小刻み RL縦を地文に沈線に よる波頭文	ナデ	後期初	326	207
1858	KⅡ19Ⅲ層	深鉢	口～胴	口:波状 波頂部に刻み LR縦を地文に沈線に よる波頭文	ミガキ	後期初	327	208
1859	LⅡ03Ⅴ層	深鉢	口	口:波状 波頂部に小刻み RL縦を地文に沈線に よる波頭文	ミガキ	後期初	327	208
1860	KⅡ04Ⅳ層	深鉢	口～胴	口:波状 波頂部に刻み 直下に列点文 RL縦を 地文に沈線による波頭文	ナデ	後期初	327	208
1861	南区南Ⅰ～Ⅱ層	深鉢	口	口:小波状 波頂部に刻み RL横と沈線による 波頭文	ナデ	後期初	327	208
1862	KⅡ20Ⅳ～Ⅴ層	深鉢	口～胴	口:小波状 波頂部に小刻み LR縦を地文に沈線 による波頭文 列点文	ミガキ	後期初	327	208
1863	LⅡ11Ⅴ層	深鉢	口～胴	口:波状 波頂部に小突起 RL縦を地文に沈線に よる波頭文 列点文 金雲母混入	ナデ	後期初	327	208
1864	KⅡ19Ⅳ～Ⅴ層	深鉢	口	口:小波状? 沈線による波頭文 列点文	ナデ	後期初	327	208
1865	LⅡ16Ⅲ～Ⅳ層	深鉢	口	口:小波状 内湾 口唇部に刺突列 RL縦を地文 に沈線モチーフ 磨消有	ナデ	後期初	327	208
1866	KⅡ24Ⅴ層	壺形	胴	縦に二条の隆帯上に列点文 沈線で波頭文と三角形 様の文様を描く	ナデ	後期初	327	208
1867	MⅡ22Ⅴ層	深鉢	口	口:波状 口縁に平行する隆帯上に列点文 口縁に平行する沈線	ナデ	後期初	327	208
1868	KⅡ19Ⅲ層	深鉢	口	口:波状 波頂部から列点文 LR横に沈線	ナデ	後期初	327	208
1869	LⅡ11Ⅳ層	深鉢	口	口:波状 波頂部に縦位に列点文 折返し RL横に 沈線	ナデ	後期初	328	208
1870	KⅡ19Ⅳ層	深鉢	口	口:波状 折返し 波頂部より列点文 LR横に沈線	ナデ	後期初	328	208
1871	LⅠ15Ⅴ層	深鉢	口	口:波状 波頂部に縦位に列点文 隆帯で区画 沈線	ナデ	後期初	328	208
1872	KⅠ10Ⅴ層	深鉢	口	口:波状 波頂部に縦位に列点文 隆帯で区画 沈線	ナデ	後期初	328	208
1873	KⅡ09Ⅲ層	深鉢	胴	沈線 朱	ミガキ	後期初	328	208
1874	MⅡ12Ⅳ層	壺形	胴	隆帯を縦、横に貼り沈線を施す 金雲母入る	ミガキ	後期初	328	208
1875	南区南Ⅳ～Ⅴ層	壺形	胴	沈線 朱 スス付着	ミガキ	後期初	328	208
1876	MⅡ21Ⅳ～Ⅴ層	壺形	胴	隆帯と沈線で横長楕円区画 スス付着	ナデ	後期初	328	208
1877	KⅡ19Ⅳ層	壺形	胴	隆帯と沈線で横長楕円区画 突起を有する	ミガキ	後期初	328	208
1878	KⅡ04Ⅳ層	壺形	胴	頸部 鈔状の隆帯 朱? 内黒	ナデ	後期初	328	208
1879	MⅡ03Ⅳ層	壺形	胴	隆帯を横、縦に貼付 区画内に沈線	ナデ	後期初	328	208
1880	南区表採	壺形	口～胴	口:沈線による横長の楕円文	ナデ	後期初	328	208
1881	KⅡ15Ⅳ～Ⅴ層	深鉢	口	口:波状 LR横を地文に波頭文? 一部磨消	ミガキ	後期初	328	208
1882	南区中央Ⅳ層	深鉢	口	口:小波状 LR横に沈線による曲線文 一部磨消	ミガキ	後期初	328	208



番号	出土地点・層位	器種	部位	文様等	内面	時期	図版	写真
1883	LⅡ15Ⅲ～Ⅴ層	深鉢	口	口：波状 折返し部にL横 波頂部から摘み出し状 隆帯垂下	ナデ	後期初	328	208
1884	KⅡ09Ⅴ層	深鉢	口	口：波状 折返し上にLR横 折返し直下は無文帯	ナデ	後期初	328	208
1885	KⅡ08Ⅴ層	深鉢	口	口：波状 折返し 折返し上にLR横	ナデ	後期初	328	208
1886	LⅠ05Ⅴ層	深鉢	口～胴	口：折返し LR横	ミガキ	後期初	328	208
1887	LⅠ15Ⅴ層	深鉢	口	口：折返し 頸部まではLR横 胴：LR縦	ナデ	後期初	328	208
1888	MⅡ11	深鉢	口	口：折返し 上にLR横 直下は無文帯	ナデ	後期初	328	208
1889	KⅡ24Ⅲ～Ⅴ層	深鉢	口	口：折返し上にLR横 直下は無文帯	ナデ	後期初	328	208
1890	MⅡ16Ⅳ～Ⅴ層	深鉢	口	口：薄い折返し LR横	ナデ	後期初	328	208
1891	LⅠ15Ⅲ～Ⅴ層	深鉢	口～底	口：やや外反し無文帯 胴上半 LR横 中～下はLR縦	ナデ	後期初	329	208
1892	KⅡ20Ⅳ～Ⅴ層	深鉢	口～胴	緩い波状 波頂部二又 口：無文 頸：横位のRLの 圧痕 胴：RL縦	ナデ	後期初	329	208
1893	南区南Ⅲ層	深鉢	口～胴	口：幅広無文帯 頸部RL圧痕 胴：RL横	ナデ	後期初	329	208
1894	LⅠ10Ⅴ層	深鉢	口～胴	口：無文帯 頸部L圧痕 胴：L斜	ナデ	後期初	329	208
1895	LⅡ11Ⅰ層	深鉢	口～胴	口：無文帯にLR圧痕で横と斜のモチーフ 胴：LR斜と横	ナデ	後期初	329	208
1896	LⅡ17Ⅴ層	深鉢	口～胴	口：内湾 無文帯にL圧痕 胴：L縦? 一部剥落	ナデ	後期初	329	209
1897	LⅡ21Ⅴ層	深鉢	口～胴	口：無文帯 頸部L圧痕 胴：L縦	ナデ	後期初	329	209
1898	LⅡ11Ⅲ～Ⅴ層	深鉢	口～胴	口：幅広無文帯で外反 頸部LR圧痕 胴：LR横 金雲母入る	ナデ	後期初	329	209
1899	KⅡ19Ⅲ層	粗製深鉢	口～胴	口：8単位の波状 外反 頸部括れ 胴上部膨らむ LR斜 の地文のみ	ナデ	後期初	329	209
1900	KⅡ15Ⅳ層	深鉢	口	口：波状 緩く内湾 RL横	ミガキ	後期初	329	209
1901	KⅠ14Ⅴ層	深鉢	口～胴	口：外反し 折返気味に肥厚 絡条圧 胴：LR横	ミガキ	前期?	330	209
1902	NⅠ20Ⅴ層	深鉢	胴～底	木葉痕 笹葉 網目状 火熱受痕	ナデ	後期初	330	209
1903	OⅠ22Ⅳ層	深鉢	口～胴	口：折返気味肥厚 LR横 胴：LR斜	ナデ	前期?	330	209
1904	KⅡ10Ⅳ層	浅鉢	完形	平口縁 RL縦	ミガキ	中期	330	209
1905	KⅠ24Ⅴ層	深鉢	口～底	口：台形状突起 口唇：LRの圧痕 胴：LR横	ナデ	中期?	330	209
1906	KⅠ24Ⅴ層	深鉢	口～底	口：外反 口唇：角に刻列 頸部括れ 肩張り 胴部括れ LR横	ナデ	不明	330	209
1907	南区Ⅲ～Ⅳ層	深鉢	口	口：無文帯に横位の平行沈線間に交互刺突	ナデ	弥生	331	209
1908	南区Ⅱ～Ⅲ層	小片	胴	横位にLの圧痕 二条一組の刺突列を横位	ナデ	弥生	331	209
1909	KⅡ09Ⅳ層	小片	口	無文に沈線で緩い曲線を描く	ナデ	弥生	331	209
1910	南区攪乱	小片	胴	横位にLの圧痕 二条一組の刺突列を横位	ナデ	弥生	331	209
1911	MⅡ07Ⅳ層	小片	胴	RL斜	ナデ	弥生	331	209
1912	LⅡ21Ⅲ～Ⅳ層	小片	胴	縄文を地文に沈線と円形刺突で曲線を描く	ナデ	弥生	331	209
1913	OⅠ20Ⅳ層	小型深鉢	口～底	口：波状 沈線による波頭文と蛇行懸垂文 口唇部と 胴半ばに列点文 LR横	ナデ	後期初	331	209
1914	KⅡ24Ⅱ層	小型深鉢	口～底	R横 底：木葉痕?	ナデ	不明	331	209
1915	MⅡ06Ⅳ層	小型深鉢	口～底	口：狭小な無文帯 横位のRL圧痕 胴：RL横	ナデ	後期?	331	209
1916	MⅡ11Ⅲ～Ⅴ層	ミニチュア	口～胴	口：折返し LR横 胴：LR縦	ナデ	後期?	331	209
1917	KⅠ20Ⅴ層	小型深鉢	胴～底	沈線による方形区画 一対の釣手 輪積みの為か 胴半ばで上下に分離	ナデ	大木9	331	209
1918	LⅡ06Ⅴ層	ミニチュア	胴～底	沈線による方形区画 一対の釣手 輪積みの為か 胴半ばで上下に分離	ナデ	後期初	331	209
1919	MⅠ10Ⅴ層	小型深鉢	口～底	口：無文帯をもつ 胴：LR縦	ミガキ	不明	331	209
1920	LⅠ10Ⅴ層	ミニチュア	口～底	器面調整されていない	—	不明	331	209
1921	北区表探	ミニチュア	口～底	台付鉢 無文	ナデ	不明	331	209
1922	OⅠ03	小型深鉢	口～底	口：内湾 無文 輪積痕有	ナデ	不明	331	209
1923	MⅡ11Ⅲ～Ⅴ層	ミニチュア	口～胴	口：4単位波状? 無文	ナデ	不明	331	209
1924	LⅠ09Ⅴ層	ミニチュア	口～底	口：内湾 無文 黒くススけた箇所有	—	不明	331	209
1925	KⅠ20Ⅲ層	ミニチュア	完形	無文	ナデ	不明	331	209
1926	北区	台付き	台	網目状	—	不明	331	209
1927	MⅡ07Ⅳ層	台付き	台	僅かに縄文が残る	—	不明	331	209
1928	KⅡ19Ⅲ層	壺型土器	口?	朱の跡	ナデ	不明	331	209
1929	KⅡ20Ⅳ層	小型壺	口	無文	ナデ	不明	331	209
1930	LⅡ16Ⅴ層	注口土器	注口部	段をもつ	—	不明	331	209
1931	LⅠ15Ⅴ層	蓋	蓋	把手付 沈線	—	不明	331	209
1932	OⅠ07Ⅳ層	蓋	蓋	無文 把手付?	—	不明	331	209
1933	OⅠ24Ⅴ層	蓋	蓋	輪積痕を残す	ナデ	不明	331	209

第6表 遺構外石器観察表

番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	分類	備考	図版	写図
2059	土捨場	石鏃	3.4	(1.8)	0.6	3.17	頁岩	I-1	欠損	338	214
2060	HⅡ15Ⅱ層	石鏃	3.6	1.1	0.4	1.64	頁岩	I-1		338	214
2061	KⅡ14Ⅰ層	石鏃	(3.3)	1.3	0.5	2.81	頁岩	I-1	欠損	338	214
2062	Ⅱ03Ⅱ層	石鏃	3.3	1.9	0.5	3.06	頁岩	I-2		338	214
2063	LⅡ11Ⅲ層	石鏃	1.6	1.2	0.4	0.48	珪質頁岩	I-2		338	214
2064	表採	石鏃	3.2	1.6	0.5	2.2	頁岩	I-2		338	214
2065	南区表採	石鏃	2.8	1.5	0.7	1.99	頁岩	I-2		338	214
2066	KⅡ24Ⅲ層	石鏃	2.0	1.2	0.3	0.51	頁岩	I-2		338	214
2067	GⅡ19Ⅴ層	石鏃	2.3	1.5	0.4	0.82	頁岩	I-2		338	214
2068	OⅠ14Ⅴ層	石鏃	3.3	1.5	0.6	2.35	頁岩	I-2		338	214
2069	OⅠ22Ⅲ~Ⅳ層	石鏃	3.0	1.5	0.5	1.62	頁岩	I-2		338	214
2070	OⅠ10Ⅳ~Ⅴ層	石鏃	3.0	1.6	0.5	2.23	頁岩	I-2		338	214
2071	南区Ⅴ層	石鏃	2.4	1.5	0.5	1.57	頁岩	I-2		338	214
2072	LⅡ17Ⅴ層	石鏃	2.5	1.2	0.3	0.6	珪質頁岩	I-2		338	214
2073	LⅡ08Ⅰ層	石鏃	3.0	1.5	0.4	1.54	頁岩	I-2		338	214
2074	KⅡ14Ⅳ層	石鏃	2.0	1.1	0.3	0.29	黒曜石	I-2		338	214
2075	北区西Ⅱ層	石鏃	(2.2)	(1.4)	0.3	0.71	頁岩	I-2	欠損	338	214
2076	NⅠ23Ⅴ層	石鏃	3.1	1.8	0.5	2.25	頁岩	I-2		338	214
2077	KⅡ23Ⅲ層	石鏃	3.2	1.8	0.5	2.29	頁岩	I-2		338	214
2078	北区表採	石鏃	2.7	1.4	0.5	1.51	頁岩	I-2		338	214
2079	KⅡ14Ⅳ層	石鏃	(2.6)	1.4	0.5	1.12	頁岩	I-2	欠損	339	215
2080	NⅠ16Ⅴ層	石鏃	(3.2)	1.8	0.5	2.5	頁岩	I-2	欠損	339	215
2081	OⅠ22Ⅳ層	石鏃	2.4	1.8	0.5	1.67	頁岩	I-2		339	215
2082	KⅠ24Ⅴ層	石鏃	(2.8)	1.5	0.5	2.57	頁岩	Ⅱ-2	欠損	339	215
2083	KⅠ15Ⅴ層	石鏃	2.8	1.9	0.5	2.05	頁岩	Ⅱ-1		339	215
2084	南区Ⅴ層	石鏃	3.9	1.2	0.5	1.51	頁岩	Ⅱ-1		339	215
2085	HⅢ16Ⅳ層	石鏃	4.0	1.6	0.8	3.16	頁岩	Ⅱ-1		339	215
2086	LⅡ06Ⅴ層	石鏃	2.4	1.2	0.4	0.67	玉髓	Ⅱ-1		339	215
2087	KⅠ25Ⅴ層	石鏃	(3.2)	1.6	0.4	1.7	頁岩	Ⅱ-1	欠損	339	215
2088	GⅢ16Ⅴ層	石鏃	2.4	1.6	0.5	1.73	頁岩	Ⅱ-1		339	215
2089	OⅠ14Ⅴ層	石鏃	3.5	1.6	0.7	3.23	頁岩	Ⅱ-1		339	215
2090	PⅠ02Ⅳ層	石鏃	3.5	1.8	0.5	1.62	頁岩	Ⅱ-1		339	215
2091	OⅠ12Ⅳ~Ⅴ層	石鏃	2.6	1.7	0.5	1.62	頁岩	Ⅱ-1		339	215
2092	Ⅱ03	石鏃	4.0	1.4	0.6	2.79	頁岩	Ⅱ-3		339	215
2093	LⅡ17Ⅴ層	石鏃	4.4	1.4	0.5	1.94	頁岩	Ⅱ-3		339	215
2094	MⅡ06Ⅴ層	石鏃	5.8	1.6	1.1	6.36	頁岩	Ⅱ-3		339	215
2095	KⅠ25Ⅴ層	石鏃	(4.6)	1.4	0.6	3.93	頁岩	Ⅱ-3	欠損	339	215
2096	表採	石鏃	4.3	1.4	0.6	2.1	頁岩	Ⅱ-3		339	215
2097	KⅡ19Ⅲ層	石鏃	(2.8)	1.2	0.6	0.91	凝灰岩	Ⅱ-3	欠損	339	215
2098	KⅠ25Ⅴ層	石鏃	3.3	1.7	0.7	2.16	頁岩	Ⅱ-3		339	215
2099	KⅠ19Ⅴ層	石鏃	3.6	1.4	0.5	1.76	頁岩	Ⅱ-3		340	216
2100	南区中央Ⅴ層	石鏃	3.2	1.6	0.8	2.84	頁岩	Ⅱ-3		340	216
2101	LⅡ11Ⅰ層	石鏃	3.4	1.3	0.6	1.93	珪質頁岩	Ⅱ-3		340	216
2102	KⅡ15Ⅱ層	石鏃	2.0	0.9	0.5	1.01	頁岩	Ⅱ-3		340	216
2103	LⅡ11Ⅲ層	石鏃	2.3	1.1	0.7	1.61	珪質頁岩	Ⅱ-3		340	216
2104	KⅠ20Ⅴ層	石鏃	2.9	1.5	0.7	2.82	頁岩	Ⅱ-3		340	216
2105	HⅡ21Ⅱ層	石鏃	3.6	1.7	0.6	3.79	頁岩	Ⅱ-3		340	216
2106	KⅡ14Ⅲ層	石鏃	3.9	1.1	0.6	2.67	頁岩	Ⅱ-3		340	216
2107	LⅠ20Ⅲ層	石鏃	3.3	1.5	0.6	3.04	頁岩	Ⅱ-3		340	216
2108	OⅠ14Ⅴ層	石鏃	4.7	1.9	0.6	4.03	頁岩	Ⅱ-3		340	216
2109	KⅡ08Ⅲ層	石鏃	3.5	1.3	0.7	2.36	頁岩	Ⅱ-3		340	216
2110	OⅠ14Ⅴ層	石鏃	4.0	1.8	1.0	4.07	頁岩	Ⅱ-3		340	216
2111	南区表採	石鏃	3.3	1.3	0.5	2.03	頁岩	Ⅱ-3		340	216
2112	NⅠ23Ⅴ層	石鏃	4.1	1.9	0.5	2.84	頁岩	Ⅱ-3		340	216
2113	OⅠ09Ⅴ層	石鏃	4.0	1.2	0.6	2.08	頁岩	Ⅱ-3		340	216

番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	分類	備考	図版	写図
2114	○I 22IV~V層	石鏃	4.9	1.5	0.6	3.65	頁岩	II-3		340	216
2115	北区表採	石鏃	4.3	1.4	0.7	4.02	頁岩	II-3		340	216
2116	○I 06IV~V層	石鏃	2.9	1.1	0.4	1.06	頁岩	II-3		340	216
2117	NI 19IV層	石鏃	3.3	1.3	0.7	2.38	頁岩	II-3		340	216
2118	○I 03IV層	石鏃	(2.9)	1.3	0.5	1.5	頁岩	II-3	欠損	340	216
2119	LII 04IV層	石鏃	2.6	1.4	0.8	1.55	頁岩	II-3		341	217
2120	NI 23IV~V層	石鏃	5.7	1.5	0.8	5.76	頁岩	III		341	217
2121	LII 11 I層	石鏃	2.1	1.2	0.5	1.03	玉髓	II-3		341	217
2122	NI 19V層	石鏃	3.1	1.4	0.9	3.09	頁岩	II-3		341	217
2123	PI 02V層	石鏃	3.3	1.5	0.8	2.94	頁岩	II-3		341	217
2124	○I 06IV~V層	石鏃	3.3	1.4	0.6	2.52	頁岩	II-3		341	217
2125	○I 14V層	石鏃	3.2	1.3	0.4	1.21	頁岩	II-3		341	217
2126	LII 22V層	石鏃	3.2	1.0	0.5	1.71	頁岩	III		341	217
2127	NI 24周辺V層	石鏃	6.2	1.8	0.9	8.96	頁岩	III		341	217
2128	北区表採	石鏃	(2.7)	1.0	0.6	1.13	頁岩	III	欠損	341	217
2129	GIII 21V層	石鏃	2.5	0.8	0.3	0.72	頁岩	III		341	217
2130	LII 01V層	石鏃	(3.0)	1.3	0.7	2.55	頁岩	II-3	欠損	341	217
2131	KII 16V層	石鏃	3.8	1.4	0.5	2.43	珪質頁岩	IV		341	217
2132	○I 24V層	石鏃	2.9	1.5	0.5	2.12	頁岩	IV		341	217
2133	○I 12IV層	石鏃	4.3	1.5	0.7	4.45	頁岩	IV		341	217
2134	KII 24III層	石鏃	2.2	1.3	0.5	1.18	頁岩	IV		341	217
2135	○I 09V層	石鏃	3.3	2.3	0.7	5.14	頁岩	I-1		341	217
2136	KII 04II層	石鏃	4.3	2.3	0.9	5.26	頁岩	I		342	218
2137	北区II層	石鏃	3.3	2.1	0.4	1.42	頁岩	I		342	218
2138	南区廃土	石鏃	3.1	1.5	0.8	2.53	頁岩	I		342	218
2139	MII 01 I層	石鏃	(4.1)	1.9	0.5	2.21	頁岩	I	欠損	342	218
2140	○I 20IV層	石鏃	4.4	3.2	0.5	5.74	頁岩	I		342	218
2141	LII 14III層	石鏃	(2.3)	2.5	0.9	4.36	頁岩	I	欠損	342	218
2142	南区IV層	石鏃	(3.5)	1.7	0.9	3.73	頁岩	I	欠損	342	218
2143	KI 25V層	石鏃	4.9	1.5	0.7	2.79	頁岩	I		342	218
2144	MII 08V層	石鏃	4.2	1.6	0.8	4.24	頁岩	III		342	218
2145	KI 15V層	石鏃	5.4	1.0	0.9	4.19	頁岩	II		342	218
2146	○I 09IV~V層	石鏃	3.6	1.3	0.4	3.3	頁岩	III		342	218
2147	HII 05~02IV層	石匙	7.6	2.9	1.0	20.83	頁岩	I-2		342	218
2148	KI 20III層	石匙	6.5	2.3	1.4	15.75	頁岩	I-1		342	218
2149	LII 01V層	石匙	8.7	3.0	0.8	27.21	砂質頁岩	I-2		342	218
2150	KII 24III層	石匙	4.0	2.7	0.8	4.9	頁岩	II-1		342	218
2151	北区表採	石匙	5.6	2.3	0.7	8.86	頁岩	I-1		342	218
2152	KII 25~24III層	石匙	(4.5)	2.1	0.8	4.2	頁岩	I-1	欠損	342	218
2153	○I 04IV層	石匙	1.6	1.6	0.4	0.67	凝灰岩	II-2		342	218
2154	LII 21付近	石匙	4.7	7.1	1.6	24.6	珪質頁岩	II-2		342	218
2155	MII 12IV~V層	石匙	3.4	5.2	1.1	14.03	頁岩	II-2		342	218
2156	NI 12IV~V層	石匙	5.4	5.2	0.7	10.27	頁岩	II-1		343	218
2157	KII 23 I層	石匙	4.2	5.2	1.0	19.29	頁岩	II-2		343	218
2158	LII 22V層	石匙	(1.8)	3.5	0.9	4.68	頁岩	II-2	欠損	343	218
2159	MII 01 III層	石匙	(1.3)	2.6	0.4	1.19	瑪瑙	II-2	欠損	343	218
2160	NI 1819V層	尖頭器	5.2	2.3	1.3	10.43	頁岩			343	218
2161	南区表採	尖頭器	2.9	2.2	1.0	5.35	瑪瑙			343	218
2162	NI 17IV~V層	尖頭器	2.7	1.8	0.7	3.5	頁岩			343	218
2163	○I 20IV層	尖頭器	4.5	3.6	1.5	23.71	頁岩			343	218
2164	LII 03V層	尖頭器	3.2	2.1	0.9	5.15	頁岩			343	218
2165	○I 24V層	尖頭器	4.8	2.7	1.3	11.17	頁岩			343	219
2166	NI 22IV~V層	尖頭器	4.1	2.2	0.9	7.15	頁岩			343	219
2167	○I 03V層	尖頭器	4.5	2.4	0.8	9.31	頁岩			343	219
2168	KII 19III層	尖頭器	(2.5)	(1.2)	0.2	0.65	頁岩		欠損	343	219
2169	○I 12IV層	尖頭器	(3.6)	1.5	0.4	2.26	頁岩		欠損	343	219
2170	KII 04II層	尖頭器	5.9	2.5	0.8	13.51	頁岩			343	219

番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	分類	備考	図版	写図
2171	L II 05 V層	尖頭器	5.5	1.7	0.9	6.22	頁岩			343	219
2172	K II 04 II層	尖頭器	7.1	2.0	1.3	18.05	頁岩			343	219
2173	M II 01 III層	尖頭器	5.6	2.0	1.2	12.36	砂質頁岩			343	219
2174	南区東IV層	尖頭器	7.8	2.3	0.7	14.35	砂岩?			343	219
2175	南区IV~V層	尖頭器	4.7	2.2	1.1	11.28	頁岩			343	219
2176	N I 19 IV~V層	尖頭器	5.9	1.7	1.1	8.48	頁岩			344	219
2177	O I 20 IV層	尖頭器	6.2	2.3	1.2	12.64	頁岩			344	219
2178	K II 20 IV層	尖頭器	4.4	2.0	1.4	8.16	頁岩			344	219
2179	南区IV~V層	尖頭器	2.9	2.4	0.8	3.45	頁岩			344	219
2180	M II 12 IV層	削搔器	6.5	3.2	1.5	27.92	頁岩	I-1 A		344	219
2181	北区II層	削搔器	7.7	5.4	1.2	55.06	頁岩	I-1		344	219
2182	K I 19 V層	削搔器	5.4	2.6	1.1	13.92	頁岩	I-1		344	219
2183	M II 03 周辺IV層	削搔器	5.6	2.7	1.0	14.95	頁岩	I-1		344	219
2184	M II 11 IV層	削搔器	6.9	4.1	1.6	42.64	頁岩	I-1		344	219
2185	K II 24 IV層	削搔器	6.7	4.2	0.8	26.33	頁岩	I-1 A		344	219
2186	K II 20 IV層	削搔器	8.7	2.8	0.7	25	頁岩	I-2 A		344	219
2187	南区III~IV層	削搔器	3.3	3.8	0.9	10.36	頁岩	I-3		344	219
2188	南区V層	削搔器	4.6	2.9	0.4	5.71	頁岩	I-2		344	219
2189	L II 01 II~III層	削搔器	3.4	2.4	1.1	7.64	頁岩	I-1		344	219
2190	L II 11 V層	削搔器	3.5	2.8	0.7	6.17	頁岩	I-1		344	219
2191	南区表採	削搔器	5.7	2.7	1.2	12.2	頁岩	I-1		345	220
2192	北区西III層	削搔器	5.0	2.7	1.0	15.45	頁岩	I-1		345	220
2193	南区III~IV層	削搔器	(4.7)	2.8	0.5	9.28	頁岩	I-1	欠損	345	220
2194	N I 19 IV~V層	削搔器	6.7	4.2	0.8	14.39	頁岩	I-2		345	220
2195	O I 14 V層	削搔器	4.4	2.7	0.8	7.76	頁岩	I-2		345	220
2196	O I 03 付近IV層	削搔器	4.3	2.8	1.0	8.96	頁岩	I-2		345	220
2197	K II 25~24 III層	削搔器	3.4	2.2	0.8	3.81	頁岩	I-2		345	220
2198	L II 23 V層	削搔器	4.8	3.8	0.9	15.33	玉髓	III		345	220
2199	L II 11 V層	削搔器	4.3	5.1	1.3	11.18	凝灰岩	I-2		345	220
2200	北区表採	削搔器	4.3	6.9	1.7	35.01	頁岩	I-1		345	220
2201	L I 15 V層	削搔器	3.3	5.0	1.6	20.74	瑪瑙	III		345	220
2202	N I 24 V層	削搔器	3.3	2.7	1.4	9.87	頁岩	III ?		345	220
2203	L II 11 I層	削搔器	3.2	4.4	1.3	12.28	頁岩	I-3		345	220
2204	K II 19 III層	削搔器	2.3	3.5	0.9	6.27	頁岩	III		345	220
2205	K I 20 V層上	削搔器	(3.4)	(3.5)	0.6	6.89	頁岩	IV	欠損	346	220
2206	M II 01 III層	削搔器	4.3	3.1	0.7	10.94	玉髓	I-2		346	220
2207	L II 11 IV層	削搔器	(2.9)	2.3	0.7	3.48	珪質頁岩	IV	欠損	346	220
2208	H II 21 II層	削搔器	2.5	2.6	1.0	5.71	珪質頁岩	I-2		346	220
2209	D III 17 II層	削搔器	3.7	2.4	0.6	5.56	頁岩	III		346	220
2210	南区III~IV層	削搔器	5.0	3.4	0.9	10.16	頁岩	I-1		346	220
2211	N I 23 V層	削搔器	4.9	3.1	0.7	10.49	頁岩	I-2 A		346	220
2212	L II 11 III層	削搔器	6.3	4.6	1.4	28.05	頁岩	I-2 A		346	221
2213	O I 09 IV~V層	削搔器	9.4	7.2	1.8	108.33	頁岩	I-2 A		346	220
2214	北区西II層	削搔器	7.1	7.2	2.9	77.07	頁岩	I-2 A		346	221
2215	K II 25~24 III層	削搔器	8.3	3.2	1.2	23.52	頁岩	I-3 A		346	221
2216	N I 24 周辺V層	削搔器	6.3	2.9	1.0	14.44	頁岩	I-2 A		347	221
2217	L II 11 I層下	削搔器	3.7	3.2	0.9	7.92	頁岩	I-1 A		347	221
2218	K II 24 III層	削搔器	3.8	3.5	1.2	8.3	頁岩	V		347	221
2219	K II 19 III層	削搔器	5.8	2.8	1.6	17.38	頁岩	V		347	221
2220	L II 16 V層	削搔器	4.8	3.0	1.3	19.57	珪質頁岩	III		347	221
2221	不明	削搔器	4.2	3.9	1.5	20.42	頁岩	V		347	221
2222	K II 14 IV層	削搔器	4.8	2.3	0.8	8.77	頁岩		異形	347	221
2223	P I 02 V層	削搔器	5.5	2.9	1.3	22.01	頁岩	I-3		347	221
2224	N I 18	削搔器	6.2	4.9	2.1	40.15	瑪瑙	I-1		347	221
2225	K II 25~24 III層	削搔器	5.6	3.0	1.0	17.03	頁岩	III		347	221
2226	M II 02 III層	削搔器	2.4	2.2	0.8	4.11	鉄石英?	II		347	221
2227	K II 14 III層	削搔器	1.7	2.6	0.8	3.31	頁岩	I-3		347	221

番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	分類	備考	図版	写真
2228	K II 23 III層	削搔器	3.6	1.8	1.3	4.03	頁岩		鋸歯	347	221
2229	E III 01 III~IV層	削搔器	9.4	4.3	2.1	90.47	頁岩		石筥	347	221
2230	O I 12 IV層	削搔器	3.3	3.2	0.9	6.91	頁岩		鋸歯	347	221
2231	L II 03 V層	削搔器	2.3	2.3	0.7	4.23	頁岩		楔形	347	221
2232	O I 19 IV層ツト	磨製石斧	14.6	4.1	3.0	277.2	閃緑岩(細粒)			348	222
2233	O I 19 IV層ツト	磨製石斧	13.9	3.5	4.2	276.1	閃緑岩(細粒)			348	222
2234	O I 19 IV層ツト	磨製石斧	14.6	4.0	3.0	286	閃緑岩(細粒)			348	222
2235	O I 19 IV層ツト	磨製石斧	14.9	3.9	2.4	246.5	輝緑凝灰岩			348	222
2236	O I 10 V層	磨製石斧	14.2	5.0	3.3	369.1	閃緑岩(細粒)			348	222
2237	L I 20 V層	磨製石斧	14.5	5.4	2.9	346.8	緑色凝灰岩(?)			348	222
2238	K I 25 V層	磨製石斧	9.6	4.3	2.3	157.9	砂岩?			348	222
2239	M II 17 IV~V層	磨製石斧	8.6	4.3	2.8	174.4	閃緑岩(細粒)			348	222
2240	北区表採	磨製石斧	(7.6)	3.9	3.1	142.1	輝緑凝灰岩		欠損	348	222
2241	K II 04 II層	磨製石斧	(6)	4.5	2.0	89.4	砂岩		欠損	348	222
2242	K I 25 V層	磨製石斧	9.0	4.4	3.0	205.7	斑縞岩			348	222
2243	K II 24 IV層	磨製石斧	7.4	3.9	3.0	134.8	ひん岩			348	222
2244	O I 18 V層	磨製石斧	(8.2)	3.6	1.7	71.6	頁岩		欠損	349	222
2245	G III 16 IV~V層	磨製石斧	(3.6)	(2.7)	(1.2)	8.4	輝緑凝灰岩		欠損	349	222
2246	G III 20 V層	磨製石斧	(3.1)	5.3	(2.0)	27.4	閃緑岩(細粒)		欠損	349	222
2247	O I 14 土坑	磨製石斧	(3.9)	4.5	(1.1)	34.5	頁岩		欠損	349	222
2248	G III 16 IV~V層	磨製石斧	(2.2)	4.0	(1.5)	16.1	ひん岩		欠損	349	222
2249	N I 23 V層	磨製石斧	10.5	4.9	2.6	19.4	輝緑凝灰岩			349	222
2250	P I 04 III~IV層	磨製石斧	(13.3)	4.3	2.9	273.3	砂岩		欠損	349	222
2251	L II 11 V層	磨製石斧	9.3	4.1	2.1	141.7	閃緑岩(細粒)			349	222
2252	M II 08 IV層	磨製石斧	(7.8)	3.9	2.6	116	斑縞岩		欠損	349	223
2253	O I 25 IV層	磨製石斧	(5.6)	4.0	2.2	92.5	閃緑岩(細粒)		転用	349	223
2254	K I 20 III~V層	磨製石斧	(6.5)	3.8	1.3	61.6	頁岩		転用	349	223
2255	C II 02 I層	磨製石斧	10.5	4.3	2.5	182.4	砂岩?			349	223
2256	M II 11 V層	磨製石斧	8.9	4.7	3.1	222	ひん岩		転用	349	223
2257	南区IV~V層	磨製石斧	(5.5)	4.0	2.6	78.6	閃緑岩(細粒)		欠損	349	223
2258	N I 09表採	磨製石斧	(7.4)	4.0	2.3	105.9	輝緑凝灰岩		欠損	349	223
2259	K II 24 III層	磨製石斧	(5.9)	4.4	2.6	114.2	輝緑凝灰岩		欠損	349	223
2260	E III 13 III層	磨製石斧	11.2	4.8	2.4	190.5	砂岩			350	223
2261	K II 03 II層	磨製石斧	9.9	4.0	2.4	169.5	閃緑岩(細粒)			350	223
2262	L II 14 IV層	磨製石斧	6.4	1.4	1.0	19.2	頁岩			350	223
2263	N I 24 III~IV層	磨製石斧	5.1	1.6	1.0	14.5	輝緑凝灰岩			350	223
2264	K II 24 I層	磨製石斧	(2.5)	2.2	0.5	4	頁岩		欠損	350	223
2265	K II 14 III層	磨製石斧	(1.8)	1.2	0.9	2.3	頁岩		欠損	350	223
2266	L II 12 I層	磨製石斧	(1.5)	1.3	0.4	1.1	頁岩		欠損	350	223
2267	M II 01 III層	磨製石斧	(4.3)	1.9	0.8	13.2	頁岩		欠損	350	223
2268	M II 02 III層	打製石斧	7.9	3.1	1.5	36.3	頁岩		タール	350	223
2269	L II 17 V層	打製石斧	6.8	2.9	1.2	26.19	頁岩			350	223
2270	K I 19 V層	打製石斧	5.5	3.1	1.4	25.28	頁岩			350	223
2271	M II 16 IV層	磨石	8.0	6.5	4.4	321.2	砂岩?			350	223
2272	N I 24 III~IV層	磨石	10.7	8.0	4.4	590.7	砂岩			350	223
2273	M II 07 V層	磨石	11.9	10.2	6.0	1138.3	安山岩(溶岩・岩脈)			350	223
2274	C IV 02 I層	磨石	12.3	8.2	5.3	757	砂岩?			350	223
2275	N I 19 V層	磨石	8.1	(6.6)	6.1	496.6	閃緑岩(細粒)		欠損	350	223
2276	北区IV層	磨石	9.7	6.7	2.4	211.1	砂岩			350	223
2277	G III 16 IV~V層	磨石	7.9	5.7	3.7	230.1	砂岩			351	223
2278	G II 20 V層	磨石	7.6	4.8	3.4	190.5	砂岩			351	223
2279	L I 15 V層	磨石	12.5	9.5	5.9	1039.5	花崗閃緑岩			351	223
2280	L II 01 V層	磨石	12.7	9.4	6.3	1103.4	安山岩(溶岩・岩脈)			351	224
2281	O I 09 V層	磨石	9.6	9.8	4.0	537.2	砂岩			351	224
2282	L I 15 V層	磨石	13.6	9.3	6.4	1213.4	アブライト(半花崗岩)			351	224
2283	K II 18 III層	磨石	11.3	5.8	4.1	392	砂岩			352	224
2284	I III 23 II層	磨石	11.8	7.9	6.8	1032.6	花崗閃緑斑岩(細粒)			352	224

番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	分類	備考	図版	写図
2285	○I 09V層	磨石	19.0	9.0	5.0	1025.8	安山岩			352	224
2286	N I 24IV層	磨石	(16.6)	9.3	4.5	1041.2	砂岩		欠損	352	224
2287	○I 20IV層	磨石	19.5	7.7	3.1	740	砂岩			352	224
2288	南区Ⅲ層	磨石	(7.8)	3.1	1.5	50.3	砂岩?		欠損	352	224
2289	L II 11 I層	磨石	15.2	8.2	2.4	401.3	安山岩(溶岩・岩脈)			352	225
2290	N I 24V層	磨石	18.7	7.1	3.9	881.2	砂岩			353	225
2291	K II 23 I層	磨石	17.5	5.9	2.5	371.9	砂岩?			353	225
2292	K II 04 II層	磨石	11.0	6.9	4.5	523.7	閃緑岩			353	225
2293	南区IV~V層	磨石	12.8	6.6	2.3	316.4	砂岩			353	225
2294	K II 10IV層	磨石	6.3	2.1	1.7	40	斑瀾岩			353	225
2295	M II 02IV層	磨石	6.2	3.2	2.7	79.9	アプライト(半花崗岩)			353	225
2296	N I 23V層	磨石	10.5	6.9	3.5	348.8	凝灰岩			353	225
2297	○I 14V層	磨石	(12.0)	8.6	4.8	635.3	砂岩		欠損	353	225
2298	G III 17IV~V層	磨石	6.3	3.7	2.3	74.7	ひん岩			353	225
2299	N I 19V層	半円状石器	(16.4)	(8.6)	3.9	878	閃緑岩		欠損	354	225
2300	N I 19V層	半円状石器	9.4	6.7	2.8	346.7	砂岩			354	226
2301	南区東表採	半円状石器	13.4	6.3	1.7	202.4	砂岩			354	226
2302	N I 24IV層	半円状石器	15.0	5.4	2.6	520	砂岩			354	226
2303	K II 03 II層	半円状石器	10.6	5.2	1.9	139.4	砂岩			354	226
2304	南区表採	半円状石器	(13.3)	8.2	3.8	645	砂岩		欠損	354	226
2305	○I 14V層	凹石	12.1	6.3	3.6	403.5	砂岩			355	226
2306	K II 09 III層	凹石	15.6	5.1	3.3	334.7	砂岩			355	226
2307	○I 14V層	凹石	14.3	5.7	2.5	275.3	砂岩			355	226
2308	K II 23 III層	凹石	15.4	6.1	3.5	507	砂岩?			355	226
2309	K II 18 III層	凹石	10.9	8.4	2.0	290.5	砂岩			355	226
2310	K II 08 IV層	凹石	10.3	5.5	3.6	309.6	砂岩?			355	227
2311	○I 08 IV~V層	凹石	12.3	6.0	3.3	299	砂岩			355	227
2312	K II 14 V層	凹石	8.9	5.4	2.1	175.4	閃緑岩			355	227
2313	○I 05 V層	凹石	12.8	11.4	2.3	465.5	砂岩			355	227
2314	○I 14 V層	凹石	11.4	10.2	2.1	425	砂岩			356	227
2315	○I 19周辺	凹石	10.2	8.0	5.1	474.1	安山岩			356	227
2316	K II 09 IV層	凹石	8.5	5.4	3.0	181.5	礫岩			356	227
2317	K II 20 IV層	凹石	20.9	9.4	2.3	630	砂岩			356	227
2318	南区IV~V層	凹石	33.2	7.4	7.0	2700	閃緑岩			356	227
2319	K II 18 III層	凹石	(17.6)	5.5	4.4	735	砂岩		欠損	356	228
2320	G III 22 IV~V層	凹石	(17.5)	6.0	3.8	580	砂岩		欠損	357	228
2321	I III 23 II層	凹石	26.4	9.9	5.9	2303	花崗閃緑斑岩(細粒)			357	228
2322	M II 01 V層	凹石	(7.2)	5.0	2.6	148.8	砂岩?		欠損	357	228
2323	○I 09 V層	凹石	11.6	7.1	5.4	670	砂岩			357	228
2324	北区表採	凹石	12.4	6.3	4.3	448.6	砂岩?			357	228
2325	L II 03 V層	凹石	12.1	4.2	3.4	281.4	砂岩			357	228
2326	K II 08 III層	凹石	(9.1)	7.3	2.8	327.4	閃緑岩(細粒)		欠損	358	228
2327	南区西II層	凹石	9.0	8.1	3.5	408.9	斑瀾岩			358	229
2328	K II 23 I層	凹石	13.4	4.8	3.6	365.1	砂岩?			358	229
2329	○I 14 V層	凹石	(10.3)	7.1	4.0	427.1	砂岩		欠損	358	229
2330	M I 20 IV~V層	凹石	12.5	10.4	3.8	710	砂岩?			358	229
2331	N I 24 V層	凹石	12.6	4.9	4.8	396.4	砂岩			358	229
2332	N I 14 V層	凹石	8.7	7.6	6.1	580	花崗閃緑岩			358	229
2333	G III 16 IV~V層	凹石	10.1	6.8	5.1	695.1	凝灰岩			358	229
2334	K II 15 IV層	凹石	10.7	8.8	5.6	670	安山岩(溶岩・岩脈)			359	229
2335	K II 21 V層?	凹石	11.0	8.5	5.8	789	閃緑岩			359	229
2336	L II 09 V層	凹石	10.5	5.7	2.7	241.5	砂岩?			359	229
2337	K II 14 III層	凹石	9.1	8.1	5.4	589	安山岩(溶岩・岩脈)			359	229
2338	G II 10 IV層	敲石	6.1	5.2	2.2	105.7	砂岩			359	230
2339	L II 07 I層下	敲石	(6.3)	4.0	3.0	96.7	砂岩?		欠損	359	230
2340	K II 25周辺III層	敲石	10.8	5.8	1.8	134.1	砂岩			359	230
2341	H III 16 IV層	敲石	11.8	4.8	2.5	243.7	ひん岩		転用	359	230

番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	分類	備考	図版	写図
2342	O I 14V層	敲石	11.4	7.4	6.5	738.1	砂岩			359	230
2343	N I 19IV層	敲石	13.3	8.6	10.7	1753	閃緑岩(細粒)			360	230
2344	M I 10V層	敲石	(13.8)	8.7	4.6	855	砂岩?		欠損	360	230
2345	H II 21 III層	敲石	16.8	6.3	4.2	638	砂岩?			360	230
2346	南区V層	敲石	13.0	4.1	3.4	270.5	砂岩?			360	230
2347	N I 24V層	敲石	14.0	5.9	3.0	394.4	砂岩			360	230
2348	N I 22IV~V層	敲石	6.2	6.0	2.5	128.6	砂岩			360	230
2349	M I 10IV層	敲石	8.8	6.2	4.7	397.3	砂岩?			360	231
2350	K II 08 III層	敲石	9.7	6.7	5.0	402.9	砂岩			361	231
2351	M I 10V層	敲石	13.3	8.7	5.3	815	礫岩			361	231
2352	M II 17V層	敲石	(7.5)	4.5	3.2	211.2	砂岩?		転用	361	231
2353	L II 09V層	敲石	12.2	6.4	3.2	389.1	斑岩			361	231
2354	O I 09V層	敲石	13.3	9.0	3.5	471.4	砂岩			361	231
2355	北区I層	敲石	(24.3)	9.0	4.0	1340	砂岩		欠損	361	231
2356	南区IV~V層	石皿	(26.9)	(24.2)	9.4	5400	安山岩(溶岩)		欠損	362	232
2357	L I 15 III層	石皿	(8.5)	(8.6)	(2.7)	100.9	安山岩(溶岩)		欠損	362	232
2358	O I 14V層	石皿	21.3	(17.0)	4.5	1580	凝灰岩		欠損	362	232
2359	M II 07V層	石皿	39.9	(24.2)	7.2	10.1K	花崗閃緑岩		欠損	362	232
2360	L I 25V層	石皿	(10.0)	(9.4)	4.2	318.1	安山岩(溶岩)		欠損	362	232
2361	M I 15付近V層	石皿	(12.1)	(8.8)	3.1	339.4	凝灰岩		欠損	362	232
2362	L I 10V層	石錘	10.2	6.5	1.6	132.9	砂岩?			363	233
2363	表採	砥石	10.2	9.0	3.1	226	安山岩(溶岩)			363	233
2364	P I 04 III~IV層	砥石	(10.4)	(8.7)	6.5	523.3	安山岩(溶岩)		欠損	363	233
2365	K I 14V層	砥石	10.0	4.4	1.9	113.2	砂岩?			363	233
2366	南区表採	砥石	7.9	7.9	3.2	94.3	安山岩(溶岩)			363	233
2367	G III 16IV~V層	砥石	9.8	6.9	2.9	75.9	安山岩(溶岩)			363	233
2368	N I 23V層	台石<敲>	32.1	9.7	8.6	4043	砂岩			363	233
2369	M II 11IV層	台石<敲>	26.5	22.0	6.1	6000	花崗閃緑岩(細粒)			364	233
2370	P I 04 III~IV層	台石<敲>	38.8	8.5	7.1	2735	砂岩			364	234
2371	L II 01V層	台石<磨>	36.0	13.9	9.8	6500	砂岩?			364	234
2372	O I 10IV層	敲石+凹	17.8	11.3	9.1	2740	閃緑岩			364	234
2373	M II 02IV層	石棒	(15.6)	9.6	9.1	1995	石英安山岩		欠損	365	234
2374	K I 20V層	石棒	(12.0)	12.7	10.4	1910	石英安山岩		欠損	365	234
2375	M II 16 III~IV層	石棒	(17.5)	11.4	6.9	2130	安山岩(溶岩・岩脈)		欠損	365	235
2376	O II 06 II層	石棒	(33.3)	10.1	6.4	3275	安山岩		欠損	365	235
2377	L I 20V層	石棒	(23.9)	5.3	4.2	970	石英安山岩		欠損	366	235
2378	L II 25V層	石棒	(12.8)	6.4	4.2	580	石英安山岩		欠損	366	235
2379	O I 22V層	石剣石刀	21.3	4.4	3.2	361.2	珪質頁岩		欠損	366	235
2380	L II 16V層	石剣石刀	(8.5)	4.4	0.8	55.3	頁岩			366	235
2381	南区 III~V層	石剣石刀	(17.0)	5.9	1.5	182.2	頁岩		欠損	366	235
2382	K II 05北IV層	石剣石刀	(12.0)	3.9	2.4	229.8	砂岩?		欠損	366	235

第7表 土製品観察表

番号	出土地点・層位	器種	重量g	備考	図版	写真
57	RA04・上～中位	土偶	16.5	胸部破片	154	151
58	RA04・中～下位	円盤状土製品	15.7		154	151
85	RA05・上～中位	円盤状土製品	18.1	両側から穴あけ（途中）	156	152
86	RA05・下位	円盤状土製品	11.8		156	152
87	RA05・床上	円盤状土製品	11	破損	156	152
126	RA07・中～下位	円盤状土製品	16.9		159	153
127	RA07東・上位	円盤状土製品	14.9	破損	159	153
182	RA08・中央・上位	斧状土製品	70.6	端部破片有孔	165	155
183	RA08・上～中位	斧状土製品	191	ほぼ完形、端部を欠く有孔	165	155
184	RA08・上～中位	斧状土製品	70.9	半分	165	155
185	RA08・東・上位	斧状土製品	53.9	中央部破片	165	155
186	RA08・下位～床	斧状土製品	68.1	ほぼ完形、小型	165	155
187	RA08・下位	円盤状土製品	7.7	破損	165	155
188	RA08・中～下位	土偶	25.5		165	155
247	RA13・下位	円盤状土製品	55.6	底部利用	171	157
259	RA14	円盤状土製品	10.1		172	158
332	RA23	土偶	14.6	左胸部	180	160
347	RA25・炉焼土中	円盤状土製品	19.6	有孔円盤状	182	161
382	RA31・床上	斧状土製品	171.5	接合後完形、有孔	185	162
383	RA31・床上	斧状土製品	95.7	中央部破片	185	162
412	RA35 柱穴	円盤状土製品	7.2	無文、磨耗	188	163
473	RA44	土偶	34.5	脇腹？	193	165
474	RA44	円盤状土製品	9.6	沈線、縄文	193	165
493	RA46	円盤状土製品	13.5		195	165
509	RA47ベルト	耳栓	3.7	筒上	197	166
510	RA47	円盤状土製品	14.3	沈線、縄文	197	166
511	RA47	円盤状土製品	18.5		197	166
512	RA47ベルト	円盤状土製品	9.2	沈線	197	166
585	RA49	円盤状土製品	7.6		202	168
586	RA49上～中	円盤状土製品	13.2	沈線、縄文	202	168
706	RA51南	鐸状土製品	39.2	完形、沈線と刺突	214	172
707	RA51	円盤状土製品	7	沈線、縄文	214	172
708	RA51(PI04周辺)	円盤状土製品	14.8		214	172
709	RA51(PI04)	土球	64.2	やや扁平の団子状、焼けている	214	172
814	RA57	円盤状土製品	18.1		224	176
815	RA57	円盤状土製品	13.2		224	176
816	RA57	円盤状土製品	10.8	無文？	224	176
817	RA57	円盤状土製品	17		224	176
818	RA57ベルト	円盤状土製品	12.6	破損 1/2	224	176
843	RA58	円盤状土製品	27.3		227	176
849	RA59 P4	円盤状土製品	14.9		227	176
892	RA64	土偶	12.7	上半身	230	178
977	RD31	円盤状土製品	15.5		239	181
978	RD31	土偶	29.1	左胸部	239	181
981	RD32	円盤状土製品	11.2		239	181
1077	RD63	円盤状土製品	11		251	184
1178	RD128	円盤状土製品	14.4	破損 1/2	265	188
1191	RD131	円盤状土製品	14.8		267	188
1192	RD131上位	円盤状土製品	4	破損 1/2	267	188
1203	RD134	円盤状土製品	9.5	沈線、縄文	267	189
1224	RD140	円盤状土製品	7.6	破損 1/2	269	189
1225	RD140	円盤状土製品	9.4	破損 1/2、沈線、縄文	269	189
1226	RD140	蓋状	55.3	破損 1/4	269	189
1238	RD149	円盤状土製品	9.4	破損 1/2、縄文	270	189



番号	出土地点・層位	器種	重量g	備考	図版	写真
1260	RD152	円盤状土製品	11.9	縄文、沈線	273	190
1261	RD152	円盤状土製品	13.1		273	190
1262	RD152	円盤状土製品	8.2	破損 1/2	273	190
1271	RD156	円盤状土製品	28.8	有孔（両側から）、裏面黒	274	190
1272	RD156	円盤状土製品	21.8	裏面黒	274	190
1289	RD179	土偶	15.6	側部分、刺突あり	275	191
1330	RD209	円盤状土製品	8.4	隆沈線、破損1/2	279	192
1355	RD214	円盤状土製品	15.7		281	193
1381	RD226	円盤状土製品	9.7	沈線	284	194
1390	RD230	円盤状土製品	12.6	沈線、縄文	284	194
1428	RD239	円盤状土製品	11.6		287	195
1437	RD243	円盤状土製品	6.9		288	195
1445	RD247	円盤状土製品	7.9	破損 1/2	289	195
1468	RD253	円盤状土製品	24.9		291	196
1482	RD258	円盤状土製品	14.6	沈線、縄文	292	196
1495	RD262	円盤状土製品	20.6		293	197
1564	RD282	円盤状土製品	14.5	無文	298	198
1624	PP141	円盤状土製品	8.9		305	200
1626	PP144・上位	円盤状土製品	10.9		306	200
1934	L II 04・IV層	土偶	41.6	上半身	332	210
1935	P I 04・III～IV層	土偶	8.5	右上半身、刺突あり	332	210
1936	南区中央	土偶	20	胸部破片	332	210
1937	L II 01・II～III層	土偶	11.3	手足部	332	210
1938	M II 21・V層	土偶	5	?	332	210
1939	K I 25・III層	土偶	14.2	手足部	332	210
1940	I II 03・II～III層	土偶	13.8	手足部	332	210
1941	L II 16・III～IV層	土偶	12	?	332	210
1942	K II 24・I層	土偶	28.6	胸部?	332	210
1943	K I 14・V層	スプーン状土製品?	36.5		332	210
1944	O I 14土坑	鐔状土製品	7.5	破損上部のみ	332	210
1945	O I 19・IV層	鐔状土製品	32.2		332	210
1946	K I 25・V層	なつめ状土製品		一部欠損	332	210
1947	M II 21・IV～V層	耳栓	5.9		332	210
1948	土捨て場	土球	82	ボール状、焼けていない?	332	210
1949	L II 16・V層	三角柱状土製品?	293.3		333	210
1950	M I 05・IV層	斧状土製品	49.5	端部破片有孔	333	210
1951	M I 05・IV層	斧状土製品	51.5	中央部破片	333	210
1952	M I 09・V層	円盤状土製品	26.2	有孔円盤状、一部破損	334	211
1953	南区表採	円盤状土製品	10	有孔、破損	334	211
1954	O I 22・IV層	円盤状土製品	7.6	有孔、破損	334	211
1955	N I 18・V層	円盤状土製品	16.7	裏面有孔途中	334	211
1956	L II 19・IV層	円盤状土製品	14.1	隅丸方形	334	211
1957	O I 18・V層	円盤状土製品	12.4		334	211
1958	M I 25・V層	円盤状土製品	26.7		334	211
1959	M II 07・IV層	円盤状土製品	14.9		334	211
1960	K II 24・IV～V層	円盤状土製品	17.9		334	211
1961	K II 15・IV層	円盤状土製品	11.5	沈線による区画、区画外?縄文(大木9か10)	334	211
1962	北区・V層	円盤状土製品	10.2		334	211
1963	K II 20・IV層	円盤状土製品	18.2	半円状で周囲にすべて研磨、破損品再利用	334	211
1964	K II 19・IV層	円盤状土製品	17.6	一部破損(打ち欠き痕か?)	334	211
1965	K I 20・IV層	円盤状土製品	18.3	口縁部?	334	211
1966	N I 18・V層	円盤状土製品	21.5	綺麗に面取り	334	211
1967	L II 03・V層	円盤状土製品	24.9		334	211
1968	L II 03・II～III層	円盤状土製品	32.8	底部、網代痕	334	211
1969	L II 12・V層上	円盤状土製品	20.1		334	211
1970	M II 11・V層	円盤状土製品	37.1		334	211

番号	出土地点・層位	器種	重量g	備考	図版	写図
1971	北区・V層	円盤状土製品	10.9		334	211
1972	K II 10・IV層	円盤状土製品	42.1	無文	334	211
1973	K I 25・V層	円盤状土製品	26.7		334	211
1974	G区・Ⅲ～IV層	円盤状土製品	18.6	沈線のみ	335	211
1975	K I 25・Ⅲ層	円盤状土製品	25.5	隆帯、圧痕（円筒上層a?）	335	211
1976	F III 14・I層	円盤状土製品	11.8	沈線、縄文	335	211
1977	K II 15・K II 24・Ⅱ～Ⅲ層	円盤状土製品	15.1		335	211
1978	K II 19・IV層	円盤状土製品	22.6		335	211
1979	K II 24・I層	円盤状土製品	14.8		335	211
1980	L II 12・Ⅲ～IV層	円盤状土製品	16	破損	335	211
1981	L II 12・Ⅲ～IV層	円盤状土製品	20.2	圧痕?による区画、縄文	335	211
1982	D III 22・IV層	円盤状土製品	19.3		335	211
1983	K II 13・IV層	円盤状土製品	21.1		335	211
1984	K II 08・Ⅲ層	円盤状土製品	27.5		335	211
1985	O I 19周辺・V層?	円盤状土製品	25.2		335	211
1986	O I 14	円盤状土製品	13	内湾	335	211
1987	K II 19・V層	円盤状土製品	18	無文	335	212
1988	K II 19・Ⅲ～IV層	円盤状土製品	10.7		335	212
1989	北区・Ⅱ～Ⅲ層	円盤状土製品	21.3		335	212
1990	M I 10付近・IV層	円盤状土製品	18.5		335	212
1991	K II 25・IV～V層	円盤状土製品	23.1		335	212
1992	M II 08・IV層	円盤状土製品	16		335	212
1993	M II 06・V層	円盤状土製品	21.1	破損	335	212
1994	L II 23・V層	円盤状土製品	13.2		335	212
1995	L II 21.22・V層	円盤状土製品	18.1		335	212
1996	L II 07・V層	円盤状土製品	17.2		335	212
1997	L II 01・V層	円盤状土製品	17.2		335	212
1998	K II 24・IV層	円盤状土製品	14.4		335	212
1999	K II 04・Ⅱ層	円盤状土製品	22.9		336	212
2000	O I 19・V層	円盤状土製品	13.5		336	212
2001	K II 04・Ⅱ層	円盤状土製品	15.5		336	212
2002	K II 24・I層下	円盤状土製品	19.6	一部に隆帯（大木9式?）	336	212
2003	K II 24・I層	円盤状土製品	11.7		336	212
2004	M II 16・Ⅲ～IV層	円盤状土製品	16.4	沈線、縄文	336	212
2005	L II 21・IV層	円盤状土製品	18.5		336	212
2006	L II 16・V層	円盤状土製品	15.6		336	212
2007	M II 02・I層	円盤状土製品	15.2	沈線、縄文	336	212
2008	G区西・IV層	円盤状土製品	15.4		336	212
2009	L II 21・V層	円盤状土製品	18.2		336	212
2010	K II 08・IV層	円盤状土製品	11	沈線のみ	336	212
2011	K I 25・V層	円盤状土製品	13.5		336	212
2012	M II 22・V層	円盤状土製品	14		336	212
2013	K II 24・IV～V層	円盤状土製品	13.7		336	212
2014	D III 22・IV層	円盤状土製品	11.1	一部破損	336	212
2015	L II 12・V層上	円盤状土製品	14.7	沈線、縄文	336	212
2016	L II 11・V層	円盤状土製品	13.4		336	212
2017	L II 11・V層	円盤状土製品	10.1	無文	336	212
2018	M I 20.25・V層	円盤状土製品	13.3		336	212
2019	L I 10・V層	円盤状土製品	11.4		336	212
2020	O I 20V層	円盤状土製品	9.6		336	212
2021	L II 11・V層	円盤状土製品	10.6		336	212
2022	北区表採	円盤状土製品	34.9	沈線、縄文	336	213
2023	P I 03・Ⅲ～IV層	円盤状土製品	9.9		336	213
2024	O I 13・IV～V層	円盤状土製品	14.7	隆沈線、縄文	336	213
2025	K II 24・Ⅲ層	円盤状土製品	12.1	沈線、縄文	336	213
2026	M II 06・V層	円盤状土製品	13.1		336	213

番号	出土地点・層位	器種	重量g	備考	図版	写図
2027	MⅡ11・Ⅴ層	円盤状土製品	8.4		336	213
2028	MⅡ12・Ⅲ～Ⅳ層	円盤状土製品	10.1	沈線、縄文	336	213
2029	KⅡ13・Ⅲ層	円盤状土製品	15.1	沈線、縄文	337	213
2030	KⅡ19・Ⅲ層	円盤状土製品	12.4		337	213
2031	KⅡ15・Ⅱ～Ⅲ層	円盤状土製品	14.6		337	213
2032	LⅡ12・Ⅴ層上	円盤状土製品	11.6		337	213
2033	KⅡ24・Ⅲ～Ⅴ層	円盤状土製品	15.5		337	213
2034	LⅡ06・Ⅴ層	円盤状土製品	14.4		337	213
2035	LⅡ11・Ⅲ～Ⅳ層	円盤状土製品	10.4	沈線、縄文（後期？）	337	213
2036	KⅡ15・Ⅰ層	円盤状土製品	10.9		337	213
2037	LⅡ12・Ⅳ層	円盤状土製品	9.6	沈線による区画？区画内縄文、区画外磨消か？	337	213
2038	KⅡ19・Ⅲ層	円盤状土製品	8		337	213
2039	LⅡ12・Ⅲ～Ⅳ層	円盤状土製品	9.6	沈線による区画、区画内縄文、刺突（大木9か10）	337	213
2040	KⅡ24・Ⅰ層	円盤状土製品	8		337	213
2041	KⅡ15・Ⅱ層	円盤状土製品	7.9		337	213
2042	MⅡ11・Ⅲ～Ⅴ層上	円盤状土製品	4.7		337	213
2043	LⅡ06・Ⅱ～Ⅲ層	円盤状土製品	4.1	無文？	337	213
2044	LⅡ09・Ⅴ層	円盤状土製品	28.3	破損 4/3	337	213
2045	MⅡ02・Ⅳ層	円盤状土製品	12.5	一部破損	337	213
2046	KⅡ10・Ⅳ層	円盤状土製品	14.7	一部破損	337	213
2047	KⅠ25・Ⅴ層	円盤状土製品	14	底部、破損	337	213
2048	KⅡ19・Ⅳ層	円盤状土製品	13.3	破損、沈線・縄文	337	213
2049	LⅠ20・Ⅲ～Ⅴ層上	円盤状土製品	17.9		337	213
2050	MⅡ06・Ⅴ層	円盤状土製品	13.5		337	213
2051	北区表採	円盤状土製品	16.7		337	213
2052	OⅠ19・Ⅳ～Ⅴ層	円盤状土製品	8.7	破損 1/2	337	213
2053	北区表採	円盤状土製品	7.9	破損	337	213
2054	KⅡ15・Ⅳ層	円盤状土製品	8.7	破損、口縁部	337	213
2055	MⅡ02・Ⅲ層	円盤状土製品	10.6	破損	337	213
2056	KⅡ24・Ⅱ～Ⅲ層	円盤状土製品	9.6	破損	337	213
2057	KⅠ20・Ⅳ層	円盤状土製品	5.4		337	213
2058	LⅡ12・Ⅲ～Ⅳ層	円盤状土製品	11		337	213

第8表 石製品観察表

番号	出土地点・層位	器種	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	石質	備考	図版	写図
320	RA21西	垂飾品	5.2	1.6	0.6	7	滑石	欠損	179	160
362	RA28北東	石皿ミニチュア	5.9	3.1	1.1	7.9	軽石	完形	183	161
363	RA28西	不明	3.7	4.3	1.0	23	砂岩	V字状	183	161
451	RA43	ミガキ石?	1.7	2.5	1.1	6.8	頁岩	楕円球状	191	164
756	RA51	円盤状	3.4	3.4	0.8	13.9	頁岩	磨面を持つ	218	174
757	RA51	球状	5.5	5.6	3.9	122.8	凝灰岩	敲打痕	218	174
871	RA60	円盤状	5.8	5.3	1.3	51.5	凝灰岩	一部敲打痕	228	177
882	RA63	球状?	7.1	6.9	4.3	134.2	凝灰岩	凹石?	229	177
1248	RD150	球状	3.8	3.6	2.8	53.2	アプライト	磨面を持つ	271	190
1296	RD189	円盤状	5.2	4.9	0.8	21.4	凝灰岩	縁辺を磨る	276	191
1370	RD219	球状?	4.8	4.2	2.2	18.9	凝灰岩	欠損	283	193
1568	RF09焼土	垂飾品	5.0	3.2	1.5	28	滑石	欠損	299	199
2383	II 03 III層	垂飾品	2.6	5.8	2.4	47.3	閃緑岩(細粒)	完形	366	236
2384	PI 04 III~IV層	袂状耳飾り	2.4	2.2	1.2	6.8	珪質頁岩	欠損	366	236
2385	LI 10 V層	垂飾品	3.8	6.3	1.7	48	砂岩?	完形?	366	236
2386	LII 11 I層	円盤状	4.4	3.9	0.8	18.4	砂岩	敲打痕	367	236
2387	KII 24 V層	円盤状	4.4	5.1	0.9	30.1	礫岩	一部敲打痕	367	236
2388	LII 16 III~IV層	円盤状	3.7	4.4	9.5	17	粘板岩	敲打痕	367	236
2389	KII 24 V層	円盤状	3.9	4.0	0.5	10.2	粘板岩	一部敲打痕	367	236
2390	LII 21 IV層	円盤状	4.1	4.0	0.8	15	粘板岩	敲打痕	367	236
2391	LII 16 III~IV層	円盤状	4.0	3.8	0.4	7.6	粘板岩	一部敲打痕	367	236
2392	KI 25 III層	円盤状	3.3	3.2	0.5	7.7	砂質頁岩	敲打痕	367	236
2393	MI 20 IV~V層	円盤状	4.2	3.9	0.6	11.2	砂岩	敲打痕	367	236
2394	MII 08 IV層	円盤状	(3.7)	(3.8)	0.5	8.7	砂質頁岩	敲打痕	367	236
2395	MII 01 IV層	ミガキ石?	(4.4)	5.2	1.9	49.1	閃緑岩(細粒)	全面磨面	368	236
2396	NI 14 V層	球状	5.0	5.1	4.0	48.3	浮石	自然石?	368	236
2397	NI 24 周辺 V層	球状	5.7	5.1	5.8	290.4	ホルンフェルス	自然石?	368	236
2398	GIII 16 V層	球状	6.5	5.9	4.7	249.9	チャート	一部磨面	368	236

第9表 金属製品観察表

番号	出土地点・層位	器種	材質	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	備考	図版	写真
941	RA37埋土	鉄鏃	鉄	(11.3)	2.05	0.3	13.8	先端欠け	235	179
948	RA53付近	紡錘車	鉄	(6.3)	5.4	0.2	28.6	軸径4mm 軸の部分折れ	236	180
949	RA53 カマド	刀子	鉄	(9.6)	1.1	0.35	6.6		236	180
2399	RD02 埋土	古銭	銅	2.5	2.5	0.2	2.6	皇宋通宝	369	237
2400	RD06 埋土	古銭	銅	2.3	2.3	0.1	2.2	寛永通宝	369	237
2401	RD10 埋土	古銭	銅	2.5	2.5	0.1	3.5	寛永通宝(新)	369	237
2402	RD24 埋土	古銭	銅	2.5	2.5	0.2	11.3	寛永通宝(新) 3枚が接着	369	237
2402	RD24 埋土	古銭	銅	"	"	"		"	369	237
2402	RD24 埋土	古銭	銅	"	"	"		"	369	237
2403	RD24 埋土	古銭	銅	2.5	2.5	0.2	3.4	寛永通宝	369	237
2404	RD24 埋土	古銭	銅	2.4	2.4	0.2	3.5	寛永通宝(新)	369	237
2405	RD24 埋土	古銭	銅	2.5	2.5	0.2	2.8	寛永通宝(新)	369	237
2406	RD24 埋土	古銭	銅	2.38	2.38	0.1	2.4	寛永通報	369	237
2407	RD24 埋土	古銭	銅	2.5	2.5	0.2	3	寛永通宝(古)	369	237
2408	RD24 埋土	古銭	銅	2.3	2.3	0.1	2.5	寛永通宝(古)	369	237
2409	RD24 埋土	古銭	銅	2.55	2.55	0.1	2.8	寛永通宝(古)	369	237
2410	RD119付近	古銭	銅	2.5	2.5	0.2	3.4	不明	369	237
2411	PP36 埋土	古銭	銅	2.5	2.5	0.3	2.8	寛永通宝(古)	369	237
2412	PP36 埋土	古銭	銅	2.3	2.3	0.2	2.1	寛永通宝(新)	369	237
2413	PP69 埋土	古銭	銅	2.5	2.5	0.1	2.5	皇宋通宝	369	237
2414	PP73 埋土	古銭	銅	2.5	(2.5)	0.1	0.5	欠損	369	237
2415	PP73 埋土	古銭	銅	2.5	(2.5)	0.1	0.3	欠損 永楽通宝?	369	237
2416	PP91 埋土	古銭	銅	2.5	2.5	0.1	2.8	永楽通宝	369	237
2417	RD188 埋土	古銭	銅	2.4	2.4	0.1	1.9	不明	369	237
2418	RD188 埋土	古銭	銅	2.45	2.45	0.1	5.1	2枚接合	369	237
2418	RD188 埋土	古銭	銅	2.5	2.45	0.1		"	369	237
2419	KⅡ10Ⅳ層	古銭	銅	2.4	2.4	0.2	2.6	〇〇通宝	369	237
2420	南区中央Ⅲ層	古銭	銅	2.4	2.4	0.2	3.3	洪武通宝	369	237
2421	北区表探	古銭	銅	2.4	2.4	0.1	2.9	洪武通宝	369	237
2422	南区Ⅲ層	古銭	銅	2.3	2.3	0.2	2.8	洪武通宝	369	237
2423	南区Ⅲ層	古銭	銅	2	(2)	0.05	0.7	洪武通宝	369	237
2424	KⅡ10Ⅳ層	古銭	銅	1.9	1.9	0.1	0.7	洪武通宝	369	237
2425	南区Ⅲ層	古銭	銅	2.5	2.5	0.2	3	永楽通宝	369	237
2426	HⅡ21Ⅲ層	古銭	銅	2.4	2.4	0.1	1.4	永楽通宝	369	237
2427	KⅡ14 墓坑周辺	古銭	銅	2.5	2.5	0.2	3.3	永楽通宝	369	237
2428	HⅡ21Ⅲ層	古銭	銅	2.3	2.3	0.1	1.2	永楽通宝	369	237
2429	HⅡ21Ⅲ層	古銭	銅	2.2	2.2	0.1	1.5	永楽通宝	369	237
2430	HⅡ21Ⅲ層	古銭	銅	2.2	2.2	0.1	2.7	永楽通宝	369	237
2431	HⅡ21Ⅲ層	古銭	銅	2.1	2.1	0.05	0.8	永楽通宝	370	238
2432	HⅡ21Ⅲ層	古銭	銅	2.1	2.1	0.05	1	永楽通宝	370	238
2433	RH01周辺	古銭	銅	2.4	2.4	0.1	2.6	寛永通宝(新)	370	238
2434	ⅡⅢ03Ⅲ層	古銭	銅	2.4	2.4	0.1	2	寛永通宝(新)	370	238
2435	MⅡ01Ⅲ層	古銭	銅	2.5	2.5	0.1	3.4	寛永通宝(新)	370	238
2436	KⅡ15Ⅱ層	古銭	銅	2.5	2.5	0.1	2.6	寛永通宝(新)	370	238
2437	RH02周辺	古銭	銅	2.5	2.5	0.1	3.3	寛永通宝(新)	370	238
2438	KⅡ24Ⅰ層	古銭	銅	2.5	2.5	0.1	4	寛永通宝(新)	370	238
2439	FⅢ13Ⅰ層	古銭	銅	2.5	2.5	0.1	3.1	寛永通宝(古)	370	238
2440	KⅡ24Ⅰ層	古銭	銅	2.5	2.5	0.1	3.5	寛永通宝(古)	370	238
2441	LⅡ11Ⅰ層	古銭	銅	2.5	2.5	0.2	2.9	寛永通宝(古)	370	238

番号	出土地点	器種	材質	長さcm	幅さcm	厚さcm	重量g	備考	図版	写真
2442	K II 24 I層	古銭	銅	2.5	2.5	0.1	3.5	寛永通宝(古)	370	238
2443	RH02周辺	古銭	銅	2.4	2.4	0.2	3.3	寛永通宝(古)	370	238
2444	RH02周辺	古銭	鉄	2.3	2.3	0.1	2.1	寛永通宝(古)	370	238
2445	K II 24 I層	古銭	銅	2.3	2.3	0.1	2.5	寛永通宝(古)	370	238
2446	RH01周辺	古銭	銅	2.3	2.3	0.1	2.1	寛永通宝(古)	370	238
2447	F III 14 I層	古銭	鉄	2.3	2.3	0.2	2.7	寛永通宝(古)	370	238
2448	G II 05	古銭	鉄	2.38	2.38	0.2	3.5	寛永通宝(古)	370	238
2449	OI01 IV層	古銭	銅	2.3	0.85	0.1	1	寛永通宝 欠損	370	238
2450	H II 15 I～II層	古銭	鉄	2.4	1.3	0.3	1.5	不明欠損	370	238
2451	H II 15 I～II層	古銭	鉄	2.9	2.9	0.4	2.5	不明	370	238
2452	K II 14 墓坑周辺	古銭	銅	2.2	2.2	0.2	2	"	370	238
2453	F III 13 I層	古銭	銅	2.2	2.2	0.1	1.7	"	370	238
2454	H II 21 III層	古銭	銅	2.3	(2.3)	0.1	0.8	不明 2分割	370	238
2455	北区 IV層	古銭	銅	(2.15)	(2.1)	0.1	0.9	不明周辺欠	370	238
2456	南区 III層	古銭	銅	2.3	2.3	0.05	0.5	不明	370	238
2457	K II 10 IV層	古銭	銅	1.8	1.8	0.1	0.7	"	370	238
2458	南区 III層	古銭	銅	2.3	2.3	0.05	0.8	"	370	238
2459	南区 III層	古銭	銅	2.1	2.1	0.05	0.6	"	370	238
2460	南区 III層	古銭	銅	2.1	2.1	0.05	0.5	"	370	238
2461	K II 10 IV層	古銭	銅	1.6	1.6	0.1	0.3	"	370	238
2462	LI05 II～III層	古銭	銅	2.3	2.3	0.2	3.5	大正九年一銭	370	238
2463	K II 24 II～III層	煙管	銅	(5.15)	1.2	1.2	5	雁首	370	238
2464	RD197 埋土	刀子の縁	鉄	(3.5)	1.7	1.7	9.6		370	238
2465	南区中央 III～IV層	釘	鉄	6.4	0.5	1.2	5.7			239
2466	I III 23 II層	釘	鉄	5.4	0.6	1.5	5.4			239
2467	K II 24 I層	釘	鉄	4.3	0.7	1.3	2.4			239
2468	M II 06 III～IV層	釘	鉄	3.8	0.7	0.6	2.7	直角に曲がり、頭が丸		239
2469	南区 III層	釘	鉄	2.4	0.5	0.4	2.3	コの字型		239
2470	南区 III層	釘	鉄	7.4	0.7	0.7	10.8			239
2471	南区 III層	釘	鉄	6.7	0.7	1.1	7.3			239
2472	M II 01 III層	釘	鉄	6.2	0.5	0.4	5.7	頭の部分が切断		239
2473	RD68 埋土	釘?	鉄	3.3	1.7	2.3	8.4	接合して2473となる		239
2473	RD68 埋土	釘	鉄	4.3	0.8	0.6		接合して2473となる		239
2474	K II 14 墓坑周辺	釘	鉄	6.4	0.8	0.8	4.6			239
2475	K II 14 墓坑周辺	釘	鉄	6.4	0.6	0.6	6.8			239
2476	K II 14 墓坑周辺	釘	鉄	6.3	0.5	0.6	4.7			239
2477	K II 14 墓坑周辺	釘	鉄	6	0.5	0.5	5.6			239
2478	K II 14 墓坑周辺	釘	鉄	6	0.5	0.6	5.4			239
2479	K II 14 墓坑周辺	釘	鉄	4.1	0.5	0.4	2.5			239
2480	K II 14 墓坑周辺	釘	鉄	3.6	0.4	0.5	2.2			239
2481	K II 14 墓坑周辺	釘	鉄	3.8	0.5	0.4	2.2			239
2482	K II 14 墓坑周辺	釘	鉄	4.3	0.4	0.4	2	2分割		239
2483	K II 14 墓坑周辺	釘	鉄	3.1	0.4	0.2	1.5	錆なし		239

## VI. まとめ

### 1 土地利用について

調査区は、東北新幹線の路線区内に限られるため、南北に細長いものであったが、その限られた条件の中での調査により、次のことが明らかになった。

南北に320mの範囲内に二カ所の居住域が存在すること。このことはすでに北区、南区として説明してあるが、もう少し詳しく述べると、現在は造成により平坦地になっている部分の一部に、東から西にかけて当時は沢が入っていたらしい。沢としての名残は、一基の井戸と、土崩れを防ぐための石垣及び蛇籠のみによりしか伺い知ることはできないが、斜面上位を眺望すると、明らかに山懐に抱かれる地形と、両側に二つの張り出しを見て取れる。それぞれの尾根の延長上に居住域が形成されていたらしい。

北区の方は造成の影響は少なく、比較的元の地形が残っていると思われる。ここは、馬の背状に南西に向けて張り出している尾根筋の南斜面に竪穴住居跡、土坑が検出されたが、尾根の頂上部を境にして北斜面には、一切生活の痕跡は見られなかった。この範囲からは縄文時代の竪穴住居跡11棟、土坑31基が検出されており、時期は縄文時代中期中葉から後葉までの間と思われる。

一方南区は、田圃造成時にかなりの切り盛りが行われ、段々ではあるが南北に平坦な田圃に変えられている。もともとの地形は山裾の緩斜面で、なだらかに南西方向に張り出す舌状の台地状になっていたようである。さらに、南区内でも北側と南側で、段差若しくは急斜面で区切られていたようである。

南区北側部分（大グリッドK、L、M）には、複式炉を持つ竪穴住居が多く、大木9式土器が伴出している。また、土坑はフラスコ状のものが多く、中には後述するがRD66の例に見られるように、大木8b式土器と、円筒上層b式土器、円筒上層c式土器を伴出している土坑もある。

これに対し南区南側（大グリッドN、O、P）は北側部分との比高は5mほど低くなっている。この部分では複式炉を持つ竪穴住居は一切存在せず、石囲炉若しくは地床炉のみのものが増えてきている。土坑は北側と同じように、大規模なフラスコ状のものが多く見られる。

この南区南側部分の西縁は急峻な落ち込みになっており、ここに当時の捨て場が形成されていた。（この捨て場部分については、平成11・12年にかけて岩手町教育委員会によって調査が行われている）捨て場部分からは、円筒下層d式、大木6式、同7a式、同7b式、同8b式（少量）、後期初頭の土器が大量に出土しており、複式炉使用時に対応する遺物は出土していない。これらから類推すると、縄文時代中期後葉には南区南側は土地利用されておらず、むしろ縄文時代前期末～同中期前葉、同中葉（?）、それに間をおいて縄文時代後期初頭の生活域であったと思われる。但しこのことは調査結果からのみ言えることで、この場所が昭和30年代に、ブルドーザ4台により整地造成されていることを考えると、残存する遺構、遺物の上位にあつてすでに削平され、失われているものについてまでの言及はできないことを付記しておく。

南区において、平安時代の遺構は部分的には残存するが、たまたま掘り込みの深いものが造成時の難を逃れたようである。南区南側ではすでに、田圃の耕作土を除去した時点で焼土遺構、石囲い炉跡、柱穴状ピットが多数検出されており、これらと同レベル上でRA36、37で述べた平安時代の竪穴住居跡が検出されている。開田造成時に、浅い掘り込みをもつ竪穴住居跡（縄文時代後期初頭のものと同推測される）は削平され、床面のみを残すか或いはそのままそっくり削り取られたものも在ると思われる。そのときの土が、捨て場の上に二次堆積の形で覆い被さっていった事も考えられる。北区や南区北側の居住域についての捨て場がどの辺に形成されていたかは、調査範囲内では確認できなかったが、調査範囲外の近辺に存在すると思われる。

## 2 遺構について

### (1) 竪穴住居跡について

今回の調査で検出した竪穴住居跡は64棟であるが、うち6棟は平安時代のもので、残る58棟が縄文時代に属する。この58棟中、炉跡を検出できたものは48棟あり、これらを炉の形態で分類すると、以下のようになる。

地床炉のみ	石囲い炉のみ	土器埋設石囲い炉	土器埋設炉と石囲い炉を持つ	複式炉
10棟	15棟	2棟	2棟	19棟

(但し、土器埋設炉と石囲い炉を持つ住居跡2棟中RA51については複数の住居となる可能性がある) すでに、「IV. 検出された遺構と遺物」のなかで述べてあるが、ここでは、検出数の一番多い複式炉について、若干の説明を付記しておく。

検出した住居跡のなかで複式炉を持つものの占める割合は以下のとおりである。

	北区	南区北側	南区南側
検出した住居跡数	11棟	36棟	11棟
複式炉をもつ住居跡	5棟	14棟	無し

北区と南区は当時の沢によって隔てられており、距離的には離れているが、同時に複式炉を持つ住居跡が検出されている。これに対し南区北側と南区南側は現在の比高で5m弱の段差をもち、南側の方が低くなる隣接地である。ここでは複式炉を持つ住居跡と、持たない住居跡の分布がはっきりと分かれている。

つぎに本遺跡における複式炉の形態についてであるが、全般にその作りは岩手県南以南のものに比して雑である。前庭部に石敷きをしたり、土器を斜位に埋設したりというものは調査範囲内からは検出されていない。大体は石囲い部と掘り窪めた前庭部を併せ持つもので、埋設土器を伴うものはRA42とRA49の2棟のみである。その形態を詳述すると、

石囲い部+前庭部・・・RA03、RA22、RA27、RA28、RA31、RA38、RA48

石囲い部+石囲い部+前庭部・・・RA05、RA06(?), RA07-1(?), RA08、RA15、RA18、RA23

土器埋設+石囲い部+前庭部・・・RA07-2

土器埋設+土器埋設石囲い部+前庭部・・・RA42

土器埋設石囲い部+石囲い部+前庭部・・・RA49

不明・・・RA20 (焼土が連続する2ヶ所に形成され、炉石の一部が残存するのみ)

RA46 (石囲い部の一部は確認できたが、土坑に切られ全体像は残存せず。但しその位置から複式炉の可能性大である)

これらの住居跡の切り合いをしてみる (――― の左側が古く、右側が新しい)

RA03――― RA49

RA23――― RA21 ――― RA08 ――― RA07-2 ――― RA07-1

(RA21は炉未検出) RA15 ―― RA28 ┘

という図式が描かれるが、残念ながらこれをもって、複式炉の形態の新旧を論ずるにはあまりにも資料として乏しすぎる。ここでは事実のみを報告させてもらうだけにとどめたい。

その他、今回の調査において若干の特徴的な事項を箇条書きに記しておく。

- ・ 複式炉の前庭部はいずれも、斜面の下方に向けて設置されている、但しRA07-1、RA07-2は斜面と関係ないように一見見受けられるが、壁溝の反対側に設置されていることから、当時の斜面を意識した作りと



第10表 竪穴住居跡一覧表

遺構名	規模(m)	形態	柱穴	炉形態	時期
RA01	不明	方形?	3?	カマド	平安
RA02	不明	円形?	なし	石囲い炉	縄文時代中期前葉以降
RA03	4×3.6	楕円形	9	複式炉	縄文時代中期後葉
RA04	3.9×3.5	楕円形	9	不明	縄文時代中期後葉～後期初頭
RA05	5.2×4.6	円形	7	複式炉、地床炉	縄文時代中期後葉
RA06	4.0×4.0	円形	1	複式炉?	縄文時代中期後葉
RA07-1	5.1×4.8	円形	10	複式炉	縄文時代中期後葉～末葉
RA07-2	5.0×4.5	円形		複式炉	縄文時代中期後葉
RA08	9.2×9.2	円形	17	複式炉、石囲い炉	縄文時代中期後葉
RA09	3.8×?	円形or楕円形	1	地床炉?	縄文時代中期
RA10	不明	楕円形or隅丸方形	1	未検出	縄文時代中期前葉
RA11	4.3×3.8	楕円形	未検出	石囲い炉	縄文時代中期中葉～後葉
RA12	7×?	不明	未検出	未検出	平安
RA13	4.2×4.1	円形	未検出	石囲い炉	縄文時代中期前葉
RA14	3×3	円形or楕円形	7	石囲い炉	縄文時代中期前葉以降
RA15	9.3×8.5	楕円形	18	複式炉、地床炉	縄文時代中期後葉
RA16	4×?	楕円形	2	地床炉	縄文時代中期末葉～後期初頭
RA17	4.5×4	五角形?	4	石囲い炉	縄文時代中期末葉
RA18	4.2×3.9	円形	7	複式炉	縄文時代中期末葉
RA19	2.5×2.5	円形	1	未検出	縄文時代中期前葉～後期初頭
RA20	不明	円形or楕円形	未検出	複式炉?	縄文時代中期後葉～後期初頭
RA21	不明	不明	2	未検出	縄文時代中期後葉
RA22	4.5×4.5	円形	12	複式炉	縄文時代中期後葉
RA23	5×?	円形or多角形	17	複式炉	縄文時代中期後葉
RA24	4×4	隅丸方形	未検出	地床炉	縄文時代中期後葉～末葉
RA25	3×2.5	楕円形	3	石囲い炉	縄文時代中期後葉～後期初頭
RA26	3.2×4.2	台形状	2	カマド	平安
RA27	4×	六角形	3	複式炉?	縄文時代中期後葉～末葉
RA28	6.8×6.6	円形	8	複式炉	縄文時代中期後葉
RA29	不明	円形	8	地床炉	縄文時代中期前葉～中葉
RA30	4.4×3.6	楕円形	6	石囲い炉	縄文時代中期後葉
RA31	8.5×7	楕円形	4	複式炉	縄文時代中期後葉
RA32	5～6×?	円形or楕円形	13	未検出	縄文時代中期前葉～中葉
RA33	5.5×5.5	円形	25	地床炉	縄文時代中期
RA34	5.5×5.5	円形	26?	石囲い炉	縄文時代中期前葉～中葉
RA35	4.5×4.5	円形	22	未検出	縄文時代中期前葉?
RA36	3.6×?	隅丸方形	未検出	カマド跡?	平安
RA37	4×3.8	隅丸方形	1	カマド	平安
RA38	6.2×6.2	円形	13	複式炉、地床炉	縄文時代中期後葉
RA39	3.4×?	楕円形	未検出	石囲い炉	縄文時代
RA40	3.8×2.8	楕円形	1	未検出	縄文時代後期初頭
RA41	2.8×2.8	円形	未検出	未検出	縄文時代中期末葉以前
RA42	5以上	不明	4	複式炉	縄文時代中期後葉
RA43	4.5×4.5	円形	3	石囲い炉	縄文時代中期後葉
RA44	4.6×4.6	円形	5	地床炉	縄文時代中期後葉
RA45	7×?	円形	3	地床炉	縄文時代中期後葉
RA46	6.6×5.4	楕円形	5	複式炉?	縄文時代中期後葉
RA47	3.1×2.7	楕円形	未検出	地床炉	縄文時代中期後葉～後期初頭
RA48	4.9×4.9	円形	4	複式炉	縄文時代中期中葉～後葉
RA49	6×6	円形	10	複式炉	縄文時代中期後葉～末葉
RA50	3.5以上	円形	未検出	地床炉	縄文時代中期
RA51	6×?	楕円形	51	石囲い炉、石囲い土器埋設炉	縄文時代中期前葉～後期初頭
RA52	6×6	円形	2	未検出	縄文時代中期前葉以降
RA53	不明	不明	未検出	カマド	平安
RA54	4×4	円形	未検出	地床炉	縄文時代後期初頭
RA55	4×4	円形	2	石囲い土器埋設炉	縄文時代中期前葉
RA56	4×4	円形	3	未検出	縄文時代中期初頭
RA57	4.8×4.8	円形	29	複式炉、地床炉	縄文時代中期末葉
RA58	3×3	円形	2	石囲い炉	縄文時代中期末葉～後期初頭
RA59	不明	不明	5	石囲い炉	縄文時代前期末～中期初頭
RA60	3.6×3.2	円形	未検出	未検出	縄文時代中期前葉以降
RA61	不明	不明	3	石囲い炉	縄文時代
RA62	5.2×4	楕円形	4	石囲い炉	縄文時代中期前葉～中葉
RA63	不明	不明	3	石囲い土器埋設炉	縄文時代中期前葉
RA64	6×4	楕円形	19	石囲い炉、土器埋設炉	縄文時代中期前葉

見ることができると思う。

- ・ 複式炉を持つ住居に限らず言えることだが、壁溝を設ける場合、例外なく斜面上位に設置されており、これは明らかに斜面上位を意識した作りとなっている。
- ・ 複式炉の前庭部の壁際に、対になる小柱穴が外側に向け、斜に掘られているのが、RA08とRA31（両方も径8m規模の住居跡）で確認された。出入り口に該当するかどうかは、それ以外の物証がないので論じられない。
- ・ 調査区南区南側の斜面下位には捨て場が検出されている。（ここは岩手町教委区委員会により調査が行われた）ここからは、縄文時代前期末と中期前葉及び後期初頭の遺物が大量に出土しているが、複式炉に伴う、中期後葉の遺物は出土していない。前述のとおり、南区南側には複式炉を持つ住居は存在しないが、複式炉を持つ南区北側とは指呼の間である。この捨て場は縄文時代前期末、中期前葉、後期初頭（後期初頭の遺物については後世の二次堆積の可能性もあり得る）のものであって、複式炉を持っていた時代の捨て場があるとすれば、調査範囲外の近辺に存在すると思われる。

## (2) 土坑について

土坑はRDの記号で記載してある。RD001からRD282まで番号が付されているが、途中欠番となるものがあるので、実質277基を検出した。うち縄文時代に属すると思われるものは239基である。他は平安時代に属すると思われるもの2基、近世20基、時期不明16基である。

全般的なことについては、「IV検出された遺構と遺物 (2) 土坑」で述べてあるのでここでは、若干の特徴的なことのみを記しておく。

まず、縄文時代の住居との関係であるが、調査範囲内における検出数は事項のとおりである。

	北区	南区北側	南区南側	合計
検出した住居跡数	11棟	36棟	11棟	58棟
フラスコ状土坑	22基	71基	60基	153基
その他の土坑	9基	41基	36基	86基
土坑合計数	31基	112基	96基	239基

住居1棟につきフラスコ状土坑が何基かの割合かをはじきだすと、全体では1棟につき2.63基である。これを個々に見ると、北区において1棟につき2基、南区北側においては1棟につき1.97基だが、南区南側においては5.45基と高率になる。南区南側は複式炉を持つ住居跡の存在しない地域であるが、このことが何らかの理由になるものであろうか。もちろん、この試算は、集落跡を全面調査したものではなく、切り合いが激しく、時代も重複しているということを、前提にしなければならない。

次ぎに際だった特徴を持つ土坑についてであるが、これは形態とか検出状況ではなく、どのような遺物が出土したかということについてである。

その代表はRD66土坑で、遺物出土状況は第2分冊の写真図版131(365頁)に、さらに第252～254図(103～105頁)に土器は掲載してある。ここからは、円筒式土器と大木式土器が共伴しており、さらに円筒式土器でも、上層b式、上層c式土器が同時に出土している。大木式土器は8b式と思われる。南北の両文化の折衷的な土器もさることながら、此処では、明らかに違う形態の土器が共伴している。これらの土器は、一つの土坑から出土したことは間違いないが、埋土下位に上下関係を持って埋まっていたものである。残念ながら、調査時において個々の土器の上下関係を正確に記録できず、土坑内出土一括として処理してある。同様にRD41、118土坑においても円筒式土器と、大木式土器の共伴が見られる。

(3) 平安時代の遺構について

平安時代の竪穴住居跡6棟はそれぞれがまとまることなく、調査範囲内に散在している。RA01は北区の北側に位置し、縄文遺構の全く無い所である。RA12は南区北側中央東端の縄文遺構密集区に、RA26は北区の同密集区で複式炉を持つRA31の上に重複するRA30のさらに上位に存在する。RA36・37は南区南側東端に重複してあり。RA53は南区南側南端にある。これらからは回転糸切り痕を持つ土師器底部が出土しており、いずれも平安時代に比定したが、中でも時期差があるものかも知れない。

3 遺物について

(1) 土器について

縄文土器については、早期から後期までと、弥生、さらに平安時代の土師器、須恵器が出土しているが、遺構に伴い、また量的にも多いのが、縄文時代前期末、同中期、同後期初頭のものである。北の円筒式土器と南の大木式土器が見事に入り交じっており、縄文時代前期末の円筒下層d式から同中期前葉の円筒上層a式、さらに量的には多くないが同b、c式と続いている。一方大木式は、大木6式から7式、さらにこれも量的に多くないが8a、8b式、そして複式炉に伴う大量の9、10式が出土した。北緯40度ラインでは同時代の他遺跡でも同じ状況が見られるようである。

注目されるのは遺物番号1237のRD149出土土器である。これは明らかに他の土器と比べ異色である。関東の五領ヶ台式に類似しており、伴入品か、或いは、その知識のある者が作ったのではないと思われる。何れにしろ、流通を伺い知る資料であることには間違いない。ただ、残念ながら、これ一点のみの出土である。

平安時代の土師器、須恵器については、図版で示しているとおおりであるが、須恵器についてはごく少量の破片が出土しただけである。

(2) 石器について

出土した石器の総点数は1508点(石製品を含むと1537点)である。その中から同一器種出土点数50点以上の主なものを掲げれば下記のとおりである。

	石鏃	石匙	尖頭器	削搔器	磨製石斧	磨石	凹石	敲石
遺構内	119	32	35	216	36	72	62	37
遺構外	141	38	39	213	60	61	77	38
計	260	70	74	429	96	133	139	75

これらに次ぐものとしては、石皿が46点出土している。(遺構内26点、遺構外20点)

逆に出土数の少ない石器は、打製石斧6点、石槍9点で打製石斧は何れも遺構外からの出土である。また、特異なものでは、円筒土器文化に伴うものといわれる、半円状扁平打製石器が30点出土していることである。

(3) 土・石製品について

土偶は破片のみ16点、耳飾りと思われるものは僅か2点である等、出土した土器・石器の量に比し、これらの出土量は極めて少ないと思われる。がしかし、特異なものとして斧状土製品が9点出土している。これは本遺跡においては、複式炉を持つ大木9式期の住居床から出土しており、大木式の文化に特有のものではないと思われる。

円盤状の土製品が162点出土している。これらの用途については諸説あり定まっていないが、本遺跡から出土したもののうちで底部片を利用しているのは僅か3点のみである。普通底部片は丸く欠けるものが多いが、敢えてそれを使っている例が見られない。逆に底部片では不都合なことがあるのであろうか、もし不都合な点があるとすれば厚さの問題であらうか。用途がわかればこの点は解決されるであらうが、逆に底部片利用

が少ないことを手がかりにして、用途に迫れないものであろうか。

石製品についても出土数は少ないが、その中で比較的多いのが円盤状の石製品であり、土製品同様にある一定の厚さの石を選んで利用しているようである。周囲を打ち欠いているもの。あまり制作痕の見られないもの等あるが、規模的には一定の規格性を持っているようである。

#### (4) 金属製品について

平安時代の紡垂車、鎌、刀子の他に、近世遺物と思われる釘、煙管や68点の古銭が出土している。古銭については多くは寛永通宝であるが、永楽通宝、洪武通宝さらには、皇宋通宝もあり、平安時代と近世の間にもこの地域が利用されていた証と思われる。

## 4 おわりに

これまで述べてきたことを箇条書きすると

- ① 本遺跡は縄文時代から平安時代にかけての複合遺跡である。一部中世、近世で流通した銭貨も出土しており、広い意味ではこの時代をも含めた複合遺跡といえる。
- ② 縄文時代では、特に中期前葉から後葉、そして後期初頭にかけての生活の跡が窺える。但し中期中葉については、秋浦Ⅱ遺跡に比重が移るのかも知れない。
- ③ 縄文時代に当時の沢を挟んで、二つの生活域が存在したらしいことがわかった。
- ④ 出土土器の時代は、縄文時代早期、同前期末、同中期、同後期初頭、弥生、平安である。早期、弥生についてはその点数は微々たるものであり、遺構についても確認できなかったが、周囲に存在する可能性はある。
- ⑤ 出土土器のうち、特に縄文時代前期末から同中期中葉のものについては、南方の大木系土器と北方の円筒系土器の両方の要素が見られる。

さらに比高10m程下位に隣接する秋浦Ⅱ遺跡については、当センターから第347集として報告されているので詳しくはそちらを参照されたいが、若干の関連について述べておく。

此処で検出された38棟の竪穴住居跡中、時期の推測できるものは32棟ある。そのうちの10棟が縄文時代中期中葉であり、同後～末葉の複式炉をもつものは、僅か3棟となっている。調査区内に限った数値であるが、全面発掘したとしてもこの比率に大きな違いは出てこないと思われる。出土遺物についても、大木8a、8b式期のものが主となっている。此処に秋浦Ⅰ遺跡との違いが出ている。所謂、秋浦Ⅰ遺跡において生活の痕跡が希薄な縄文時代中期中葉には同Ⅱ遺跡に比重が移っている。そして、大木9式期には、同Ⅰ遺跡に比重が移っているのである。また、Ⅰ遺跡において出土数の多かった半円状扁平打製石器が、Ⅱ遺跡では出土していない。但し、円盤状土製品については、Ⅰ遺跡同様に、多数出土している。総じて、時期により、比高10mあるⅠ遺跡、Ⅱ遺跡を使い分け、或いは同時期に利用していたことが、分かった。

最後にお礼とお詫びを申し上げたい。

調査区は大規模な造成を受け、大量の遺物が流出したと聞いていたが、2カ年に渡る野外調査、さらに1年間の室内整理を通じて、膨大な情報を受け取ることが出来た。この事は大きな驚きでもあった。しかしその情報量の多さ故に、整理にのみ汲々としてしまい、その情報を活用した分析・考察にまで踏み込むことが出来なかった事は否めない事実である。これは偏に調査員の未熟さ故であり、お詫び申し上げる次第である。

遺跡は姿を変える運命にある。新幹線建設工事が進捗していく中で、秋浦Ⅰ遺跡の一部は報告書に姿を変えたわけだが、幸いにも、新幹線ルートの内側にまだその残存部が原形を留め眠っている。後世にまたその姿を現す機会があるかも知れない。このことは楽しみでもあり、悲しみでもある。

終わりにあたり、野外調査から報告書作成に至るまでの過程でお世話になった全ての方々に謝意を表したい。献身的に野外作業に従事していただいた岩手町の方々、わざわざ調査現場まで足を運んで指導して下さいました諸先生方。室内整理において迅速に作業を進めていただいた整理作業員の方々、また、暗中模索の筆者を時には鞭撻、時には指導して下さいました上司・同僚の方々にこの場を借りて深謝申し上げる次第である。

《引用・参考文献2》

- 小林達男、小林忠博他 1979 『縄文土器大観1～4』小学館
- 芹沢長介、坪井清足 1981 『縄文土器大成』2中期・3後期 講談社
- 戸沢充則 1994 『縄文時代研究事典』東京堂出版
- 村越 潔 1974 『円筒土器文化』考古学選書10 雄山閣
- 山内清男 1979 『日本先史土器の縄紋』先史考古学会
- 丹羽 茂他 1980 『縄文文化の研究4』雄山閣
- 鈴木道之助 1994 『図録・石器入門事典<縄文>』柏書房
- 岩手県立博物館 1982 『岩手の土器』県内出土資料の集成
- 興野義一 1970 「大木式土器理解のために (VI)」『考古学ジャーナル』No.48 ニュー・サイエンス社
- 福島県立博物館 1991 『縄文絵巻』
- 兵庫埋蔵銭調査会 1996 『日本出土銭総覧』1996年版
- 本間 宏 1987 「縄文時代後期初頭土器群の研究(1)」『よねしろ考古』第3号 よねしろ考古学研究会
- 本間 宏 1988 「縄文時代後期初頭土器群の研究(2)」『よねしろ考古』第4号 よねしろ考古学研究会
- 本間 宏 1994 「大木10式土器の考え方」『しのぶ考古』10
- 鈴木克彦 1998 「東北地方北部の縄文中期後半の土器」『研究紀要』3 青森県埋蔵文化財調査センター
- 池谷信之 1985 「東北地方における縄文時代中期末葉土器の変遷と後期土器の成立」『沼津市博物館紀要』12
- 熊谷常正 1989 「北上川中流域における大木8a式土器」『岩手県博物館研究報告第7集』
- 熊谷常正 1986 「門前式土器の検討」『岩手県立博物館研究報告第4号』
- 高木 晃 1995 「岩手県の縄文後期初頭土器群の一樣相」『紀要XV』(財)岩手県埋蔵文化財センター
- 高橋忠彦 1989 「秋田県の縄文時代後期の土器」『研究紀要第4号』秋田県埋蔵文化財センター
- 青森県教育委員 1974 『中の平遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第25集
- 北上市教育委員会 1983 『滝ノ沢遺跡』北上市文化財調査報告書第33集
- 岩手大学考古学研究会 1978 『大館町遺跡』盛岡市教育委員会
- 滝沢村教育委員会他 1986 『湯舟沢遺跡』滝沢村文化財調査報告書第2集
- 岩手町教育委員会 1994 『町内遺跡発掘調査報告書II』
- (財)岩手県埋蔵文化財センター 1983 『上里遺跡発掘調査報告書』岩埋文報告書第55集
- ” 1987 『和光6区遺跡発掘調査報告書』岩埋文報告書第114集
- ” 1989 『寺前I・II遺跡・片地家館跡発掘調査報告書』岩埋文報告書第140集
- ” 1994 『倍田IV遺跡発掘調査報告書』岩埋文報告書第207集
- ” 1995 『柳上遺跡発掘調査報告書』岩埋文報告書213集
- ” 1995 『上米内遺跡発掘調査報告書』岩埋文報告書第220集
- ” 1995 『上八木田I遺跡発掘調査報告書』岩埋文報告書第227集
- ” 1997 『田代遺跡発掘調査報告書』岩埋文報告書第262集
- ” 1998 『本内II遺跡発掘調査報告書』岩埋文報告書第271集
- ” 1998 『江刺家IV遺跡発掘調査報告書』岩埋文報告書第277集
- ” 1999 『下館銅屋遺跡発掘調査報告書』岩埋文報告書第297集

## 附編1 岩手県、秋浦 I 遺跡の火山灰分析

### 1. はじめに

東北地方北部の後期更新世以降に形成された土壌など地層の中には、十和田火山、岩手火山、秋田駒ヶ岳火山などの東北地方北部に分布する火山のほか、九州地方の始良火山や阿蘇火山、さらに中国・北朝鮮の国境に位置する白頭山（長白山）などの火山から噴出したテフラ（火山碎屑物、いわゆる火山灰）が多く分布している。これらのテフラの中には、理化学的な年代測定をはじめとする多くの手法により噴出年代が明らかにされた示標テフラがある。そこで、これらを過去の時間と空間の軸として編年を行う火山灰編年学（テフクロノロジー、tephrochronology）を利用することによって、遺物包含層の堆積年代や遺構の増築年代を知ることができるようになっている。

そこで、秋浦 I 遺跡において採取されたテフラ試料についても、テフラ検出分析と屈折率測定を行って、示標テフラとの同定を行うことになった。分析試料は、RA01P1に採取された試料である。

### 2. テフラ検出分析

#### (1) 分析試料と分析方法

試料中に含まれるテフラ粒子の量や特徴を調べるために、テフラ検出分析を行うことになった。分析の手順は次の通りである。

- 1) 試料10gを秤量。
- 2) 超音波洗浄と水洗を繰り返し、泥分を除去。
- 3) 80℃で恒温乾燥。
- 4) 実体顕微鏡によりテフラ粒子の量や特徴を観察。

#### (2) 分析結果

テフラ検出分析の結果を表1に示す。RA01P1には、最大径2.9mmの光沢のある白色軽石が比較的多く含まれている。

### 3. 屈折率測定

#### (1) 測定試料と測定方法

示標テフラとの同定精度を向上させるために、RA01P1について位相差法（新井，1972）により屈折率の測定を行った。

#### (2) 測定結果

屈折率の測定結果を表1に示す。火山ガラスの屈折率（ $n$ ）は、1.502-1.505であった。また、重鉱物としては、斜方輝石と単斜輝石のほか、カンラン石がわずかに含まれている。斜方輝石の屈折率（ $\gamma$ ）は、1.706-1.708である。これらのテフラ粒子は、その特徴から、915年に十和田火山から噴出したと考えられている十和田 a 火山灰（To-a、大池，1972、町田ほか，1981）に由来すると考えられる。したがって、試料はTo-aに同定される可能性が大きいと思われる。町田・新井（1992）により記載されているTo-aの火山ガラスの屈折率（ $n$ ：1.496-1.504）と比較すると、今回の分析試料に含まれる火山ガラスは若干ながら高い傾向にある。この違いは、基準とされている給源火山近くのTo-aに含まれる火山ガラスと試料の中に含まれる火山ガラスに厚さの違いがあり、水和の程度の差によって屈折率に若干の違いが生じていると考え

られる（新井房夫群馬大学名誉教授談）。

なお、試料の分析ではテフラの一次堆積層か否かの判断は不可能である。火山灰編年学では、テフラの一次堆積層を利用することが理想的であることから、今後は分析に先だってテフラ分析者による遺跡の土層断面の観察の行われることが期待される。

#### 4. まとめ

秋浦 I 遺跡において採取されたテフラ試料について、テフラ検出分析と屈折率測定を行った。その結果、岩手火山起源の完新世テフラと十和田火山から噴出した十和田 a テフラ (To-a, AD915) に由来する可能性の高いテフラ粒子が多く検出された。

#### 文献

- 新井房夫 (1972) 斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定—テフロクロロジーの基礎的研究、第四紀研究、11、p. 254-269.
- 町田 洋・新井房夫 (1992) 火山灰アトラス、東京大学出版会、276 p.
- 町田 洋・新井房夫・森脇 広 (1981) 日本海を渡ってきたテフラ、科学、51、p.562-569.
- 大池昭二 (1972) 十和田火山東麓における完新世テフラの編年、第四紀研究、11、p.232-233.

表1 秋浦 I 遺跡におけるテフラ検出分析結果

試料	軽石の量	軽石の色調	軽石の最大径
RA01P1	++	白	2.9mm

++++：とくに多い、+++：多い、++：中程度、  
+：少ない、-：認められない。

表2 秋浦 I 遺跡における屈折率測定結果

試料	火山ガラスの屈折率 (n)	重鉱物	
		組成	opx (γ) の屈折率
RA01P1	1.502-1.505	opx > cpx (o1)	1.706-1.708

o1：カンラン石、opx：斜方輝石、cpx：単斜輝石、屈折率の測定は、位相差法（新井、1972）による。（ ）は、量の少ないことを示す。

## 附編 2 岩手町秋浦 I 遺跡出土炭化材の樹種

高橋 利彦 (木工舎「ゆい」)

### 1. 試料

試料はNo.1～8の8点である。No.1・8は平安時代のものとされる住居址 (RA36) の埋土中から検出されたもので、その他の6点は縄文時代中期のものとされる住居址 (RA44・46・51・57) と縄文時代中期?のものとされる土坑 (RD172) の床上や埋土中から検出されたものである (表1)。用途は明らかにされていない。

### 2. 方法

試料を室内で自然乾燥させたのち木口・柾目・板目の3断面を作製、実体顕微鏡と走査型電子顕微鏡 (加速電圧15Kv) で観察・同定した。同時に電子顕微鏡写真図版 (図版1) も作製した。電子顕微鏡観察に当たっては (株) ニッテツ・ファイン・プロダクツ釜石試験分析センターのご協力をいただいた。記して感謝致します。なお、ネガ・フィルムと残った炭化材は木工舎「ゆい」に保管されている。

### 3. 結果

試料はクリとケヤキに同定された。試料の主な解剖学的特徴や一般的な性質は次のようなものである。なお、科名・学名・和名およびその配列は「日本の野生植物 木本 I・II」(1989) にしたがって、一般的な性質などについては「木の事典 第1巻～第17巻」(1979～1982) も参考にした。

#### ・クリ (*Castanea crenata*) ブナ科 No.1、2、3、4、5、7

環孔材で孔圏部は1～多列、孔圏外でやや急激に管径を減じたのち漸減しながら火炎状に配列する。大道管は単独、横断面では円形～楕円形、小道管は単独および2～3個が斜 (放射) 方向に複合、横断面では角張った楕円形～多角形。道管は単穿孔をもち、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単 (一部2) 列、1～15細胞高。柔組織は周囲状および短接線状。年輪界は明瞭。

クリは北海道南西部・本州・四国・九州の山野に自生し、また植栽される落葉高木である。材はやや重硬で、強度は大きく、加工はやや困難であるが耐朽性が高い。土木・建築・器具・家具・薪炭材、楢木や海苔粗朶などの用途が知られている。

#### ・ケヤキ (*Zelkova serrata*) ニレ科 No.6、8

環孔材で孔圏部は1～2列、孔圏外で急激に管径を減じたのち漸減、塊状に複合し接線～斜方向の紋様をなす。大道管は横断面では円形～楕円形、単独、小道管は横断面では多角形で複合管孔をなす。道管は単穿孔をもち、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性Ⅲ型、1～10細胞幅、1～30細胞高であるが時に60細胞高を越える。しばしば結晶を含む。柔組織は周囲状。年輪界は明瞭。

ケヤキは本州・四国・九州の谷沿いの肥沃地などに自生し、また屋敷林や並木として植栽される落葉高木で、時に樹高50mにも達する。材はやや重硬で、強度は大きいが加工は困難でなく、耐朽性が高く、木理が美しい。建築・造作・器具・家具・機械・彫刻・薪炭材など各種の用途が知られ、国産広葉樹材の中で



最良のものの一つに上げられる。

以上の同定結果を検出遺構などとともに一覧表で示す（表1）。

表1 秋浦I遺跡出土炭化材の樹種

試料番号	検出遺構	層位	時代	種名
1	RA36	埋土	平安	クリ
2	RA46	床上	縄文中期	クリ
3	RA51	埋土	縄文中期	クリ
4	RA57	床上	縄文中期	クリ
5	RA57（南端）	床上	縄文中期	クリ
6	RA44	床上	縄文中期	ケヤキ
7	RD172	埋土	縄文中期？	クリ
8	RA36-2	埋土	平安	ケヤキ

※：ほかにクリも認められた。

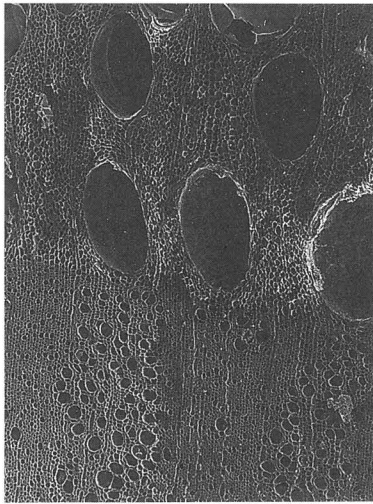
#### 4. 考案

試料は縄文時代中期と平安時代のもものとされることから、両者の間には3000年以上の時間間隙があることになるが、認められた樹種はともにクリとケヤキであった。この間に人間の側は社会や生活が大きく変化しているが、自然環境（森林植生）はそれほど変化してこなかった可能性もある。ただ、試料数が限られている上に用途など試料の性格も不明であることから推測の域を出るものではない。県内の遺跡からの出土材の樹種同定の報告はごく限られており、中でも炭化材の同定はこれまでほとんど行われていない。したがって、今回の同定結果については今後の類例の蓄積を待って検討したい。

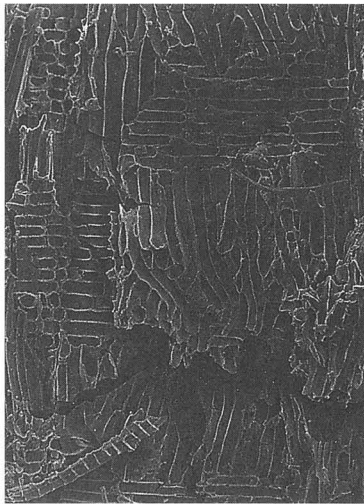
#### 引用文献

平井 信二 1979～1982 「木の事典 第1巻～第17巻」、かなえ書房。

佐竹 義輔・原 寛・亘理 俊次・富成 忠夫（編）1989 「日本の野生植物 木本I・II」、  
平凡社、321、305pp.



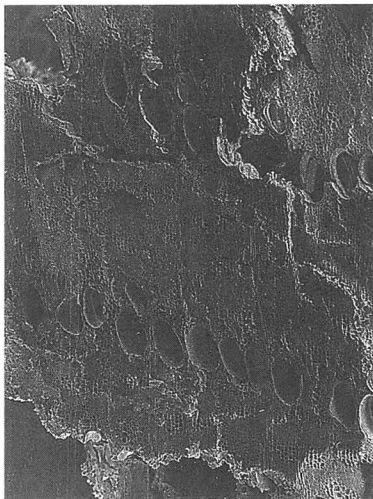
1 a



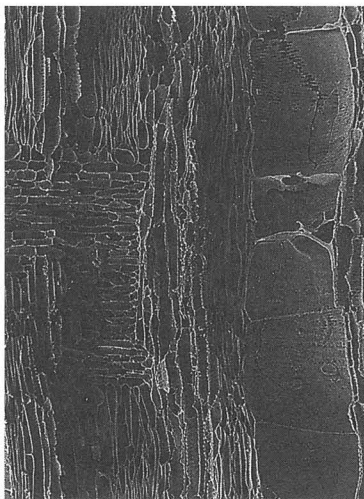
1 b



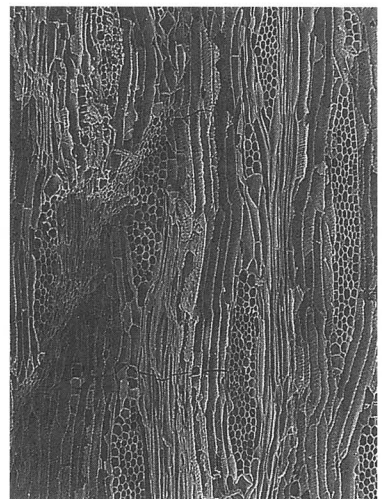
1 c



2 a



2 b



2 c

- 1. クリ No.1
- 2. ケヤキ No.8

a:木口 ×40 b:柁目 ×100 c:板目 ×100

## 報告書抄録

ふりがな	あきうらいちいせきはつくつちょうさほうこくしょ							
書名	秋浦 I 遺跡発掘調査報告書							
副書名	東北新幹線盛岡～八戸間建設工事関連遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第346集							
編著者名	古館貞身							
編集機関	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地 TEL019-638-9001							
発行年月日	西暦2001年 3月27日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
あきうらいちいせき 秋浦 I 遺跡	いわてけんいわてくん 岩手県岩手郡 いわてちようおおあざかわ 岩手町大字川 ぐちだいちわりあざ 口第19地割字 もんぜん 門前75-2ほか	03303	KE38-  0112	39度 55分 03秒	141度 13分 18秒	19970617 19971114 19980410 19980811	4,217㎡  2,630㎡	東北新幹線盛岡 ～八戸間建設工 事に伴う事前調 査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
秋浦 I 遺跡	集落跡	縄文時代  平安時代  近世他	竪穴住居跡 土坑 埋設土器 焼土・炉跡	58棟 239基 5基 59基	縄文土器（前期末・中 期・後期初頭）160箱 石器・石製品 1537点 土偶・土製品 191点	土師器 鉄鏃、刀子、紡錘車 古銭	縄文時代中期の集落跡の 上に、数は少ないが平安 時代の竪穴住居跡が存在 する複合遺跡	
			竪穴住居跡 土坑 墓坑 土坑	6棟 2基 4基 32基	2箱			

財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

所 長 伊 藤 民 也  
副 所 長 櫻 田 次 男

〔管理課〕

課 長	川 浪 清 徳	嘱 託	千 葉 芳 夫
課長補佐	山 崎 善 光	"	藤 島 恵 子
主 査	立 花 多加志	"	新 田 卜 ヨ
主 事	日 影 睦 夫	"	佐々木 光 重

〔調査第一課〕

課 長	佐々木 勝
課長補佐	佐々木 清 文
主任文化財 専門調査員	小山内 透
文化財 専門調査員	赤 石 登
"	吉 田 充
"	小 原 眞 一
"	小笠原 健一郎
"	金 野 進
"	鳥 居 達 人
"	金 子 昭 彦
"	東海林 淳 美
"	阿 部 勝 則
"	羽 柴 直 人
"	小野寺 正 之
"	菅 原 靖 男
"	長 村 克 稔
"	溜 浩 二 郎
"	菊 池 貴 広
"	村 上 拓
"	本 多 準 一 郎
"	北 村 忠 昭
"	丸 山 浩 治
"	村 木 敬
期 限 付 専 門 職 員	小 林 弘 卓
"	江 藤 敦
"	藤 原 賢 徳(6月退職)
"	菊 池 賢
"	井 上 信 介
"	川 又 晋
"	吉 田 真由美
"	北 田 博 義(11月退職)

〔調査第二課〕

課 長	高橋 與右衛門
課長補佐	中 川 重 紀
主任文化財 専門調査員	高 橋 義 介
"	金 子 佐知子
文 化 財 専 門 調 査 員	中 田 迪
"	工 藤 道 孝
"	古 舘 貞 身
"	阿 部 眞 澄
"	松 尾 芳 幸
"	工 藤 徹
"	前 田 稔
"	岩 渕 計
"	早 坂 悟
"	濱 田 宏
"	安 藤 由起夫
"	高 木 晃
"	千 葉 正 彦
"	佐 藤 淳 一
"	半 澤 武 彦
"	杉 沢 昭太郎
"	中 村 直 美
"	(星 雅 之)
期 限 付 専 門 職 員	鈴 木 聡(12月退職)
"	吉 川 徹
"	北 田 勲
"	吉 田 里 和
"	原 美津子
"	齋 藤 麻紀子
"	島 原 弘 征

---

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第346集

## 秋浦 I 遺跡発掘調査報告書

東北新幹線盛岡・八戸間建設工事関連遺跡発掘調査報告書

第1分冊

印刷 平成13年3月19日

発行 平成13年3月27日

発行 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地

電話 (019)638-9001

FAX (019)638-8563

印刷 川口印刷工業株式会社

〒020-0841 盛岡市羽場10-1-2

電話 (019)632-2211(代)

FAX (019)632-2217



